

ライフマネジメントに関する 高齢者の意識調査

2021 年 6 月

 生命保険文化センター

はじめに

「人生 100 年時代」の到来と言われるように、日本人の平均寿命は年々伸長しており、今後もますます延伸していくと考えられております。

こうした動きは、社会経済面での様々な問題を浮き彫りにします。たとえば、少子高齢化のさらなる進展により、持続可能な社会保障制度が求められる結果、公的年金の支給開始年齢の引き上げや健康保険や公的介護保険の保険料や自己負担割合の引き上げといった動きが実現化すれば、個人年金や民間の医療・介護保険の活用など「自助」が求められることが増えていくと考えられます。加えて、寿命の延伸による退職・引退後の期間の延長も伴って自己の生命寿命に対する資産寿命のマッチングはより顕著な課題となり、就労のあり方を含めた資産形成の重要性がさらに増大するものと思われます。

また、認知症高齢者の増加も見込まれるため、介護の問題にとどまらず、判断能力が低下した際の資産管理のあり方、さらには家族との関係などについても再考が必要になってくると考えられます。

その他にも退職・引退後の期間の延長は、地域コミュニティのような社会との接点などがますます重要になると思われます。

このように、長寿社会の進展は、生活者にとって様々な影響を与えることから、健康面や経済面、生きがいや家族・社会とのつながり等に関する人生設計がより重要となってきます。

（公財）生命保険文化センターでは、こうした問題への解決策を探るために「人生 100 年時代におけるライフマネジメント」研究会（座長：京都先端科学大学 西村周三教授）を開催しました（研究期間：2019 年 4 月～2021 年 6 月）。本調査は、この研究会における研究に資するべく、高齢者の生活実態や意識等を把握することを目的に実施されたものです。

本報告書が、「人生 100 年時代」における生活者の人生設計のあり方を探求するうえでの基礎資料としてご活用いただければ幸甚に存じます。

最後になりましたが、本調査全般にわたって質問票の作成に携わっていただいた研究会座長の西村教授をはじめ、研究会に参加された大学研究者の方々、生命保険業界の皆様に対してあらためて厚く御礼申し上げます。

2021 年 6 月

公益財団法人 生命保険文化センター
代表理事 浅野 僚也

<目 次>

はじめに
調査要領
調査フレーム
報告書を読むにあたって

調査結果

第Ⅰ章 健康状態

1. 健康状態	1
(1) 主観的健康観	1
(2) 客観的健康状態	3
2. 1日の歩行量	9
3. 車の運転	12
(1) 運転習慣・頻度	12
(2) 運転しない理由	15
(3) 免許証の返納意向	19

第Ⅱ章 性格特性・生活行動・リスク意識・金融保険リテラシー

1. 自身の性格特性・生活行動	23
(1) 自身の性格特性	23
(2) 過去の生活行動（夏休みの宿題の実施時期）	26
2. リスク意識	29
(1) 時間割引率	29
(2) リスク回避性	33
(3) 損失回避性	36
(4) リスク意識	39
3. 金融・保険リテラシー	43
(1) 金融・保険に関する知識への自信	43
(2) 利息計算	46
(3) 金融・保険に関する知識量	52
4. 特殊詐欺への対応	61
(1) 特殊詐欺の経験	61
(2) 電話がかかった時の対応	64
(3) 特殊詐欺被害を防ぐための行動	66

第Ⅲ章 家族・人とのつながり

1. 未婚	71
2. 家族とのつながり	73
(1) 家族形態	73
(2) 家族および付き合いのある親族	79
① 家族および付き合いのある親族	79
② 同居家族以外の家族および付き合いのある親族	82
(3) 社会貢献活動の実施状況と実施意向	87
(4) 相続・財産管理	91

① 相続準備の有無	91
② 判断能力低下時への準備の有無	96
③ 判断能力低下時の相談相手	101
④ 判断能力低下時の金融資産の取扱い方	108

第Ⅳ章 就労

1. 現在の就労形態	112
(1) 本人の現在の就労形態	112
(2) 現在就労している者の退職・引退予定年齢	115
(3) 退職金見込額	121
(4) 無職者の就業意向	125
2. 退職者の過去の主たる職業	129
(1) 退職者本人の過去の主たる職業	129
(2) 退職者の退職・引退年齢	131

第Ⅴ章 家計

1. 収入	133
(1) 昨年1年間の収入	133
(2) 公的年金収入	137
① 公的年金収入年額	137
② 年収に占める公的年金収入の割合	140
(3) 就労収入	145
① 就労収入年額	145
② 年収に占める就労収入の割合	149
2. 支出	155
(1) 夫婦の生活費月額	155
(2) 医療・介護費用月額	160
① 医療・介護費用月額	160
② 生活費に占める医療・介護費用の割合	164
3. 保有金融資産	169
(1) 世帯保有金融資産額	169
(2) 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）	172

第Ⅵ章 生活保障意識

1. 老後保障	175
(1) 老後資産形成	175
① 老後資産に係る不安	175
② 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか	179
③ 老後資産形成の私的準備状況	184
(2) 公的年金	188
① 公的年金制度の特徴	188
② 公的年金受給開始年齢についての認知	191
③ 公的年金受給の有無	194
④ 受給開始年齢を遅らせる場合の基準	197
2. 医療保障	200
(1) 自分の病気・ケガに係る経済的不安	200

(2) 医療保障の私的準備状況	203
3. 介護保障	207
(1) 自分の介護	207
① 自分の介護の有無	207
② 自分が要介護状態になることへの経済的不安	210
③ 自分の介護保障の私的準備状況	213
④ 介護スタッフに対する意向	217
ア) 日本人スタッフから受ける介護サービス	217
イ) 外国人スタッフから受ける介護サービス	220
(2) 親の介護	223
① 親の介護の有無	223
② 親が要介護状態になることへの経済的不安	226
③ 親の介護保障の私的準備状況	227
4. 遺族保障	231
(1) 自分が万一の際の経済的不安	231
(2) 遺族保障の私的準備状況	234
5. しておけばよかったと思う保障準備	238
 第 VII 章 長寿社会に対する意識	
1. 何歳まで生きたいと思うか	242
2. 長寿社会への不安感	246
3. 長寿社会において最も不安なこと	250
 付属統計資料	255
1. 属性間クロス	256
(1) 高齢者調査	256
(2) 中年層調査	284
2. サンプルデザイン（高齢者調査）	293
3. 質問票および単純集計結果	295
(1) 高齢者調査	295
(2) 中年層調査	310

調 査 要 領

1. 調査目的

多様化する長寿社会に対する高齢者の考え方、生活の実態・意向等を把握し、これからの長寿社会のあり方を検討することを目的とする。

2. 調査設計

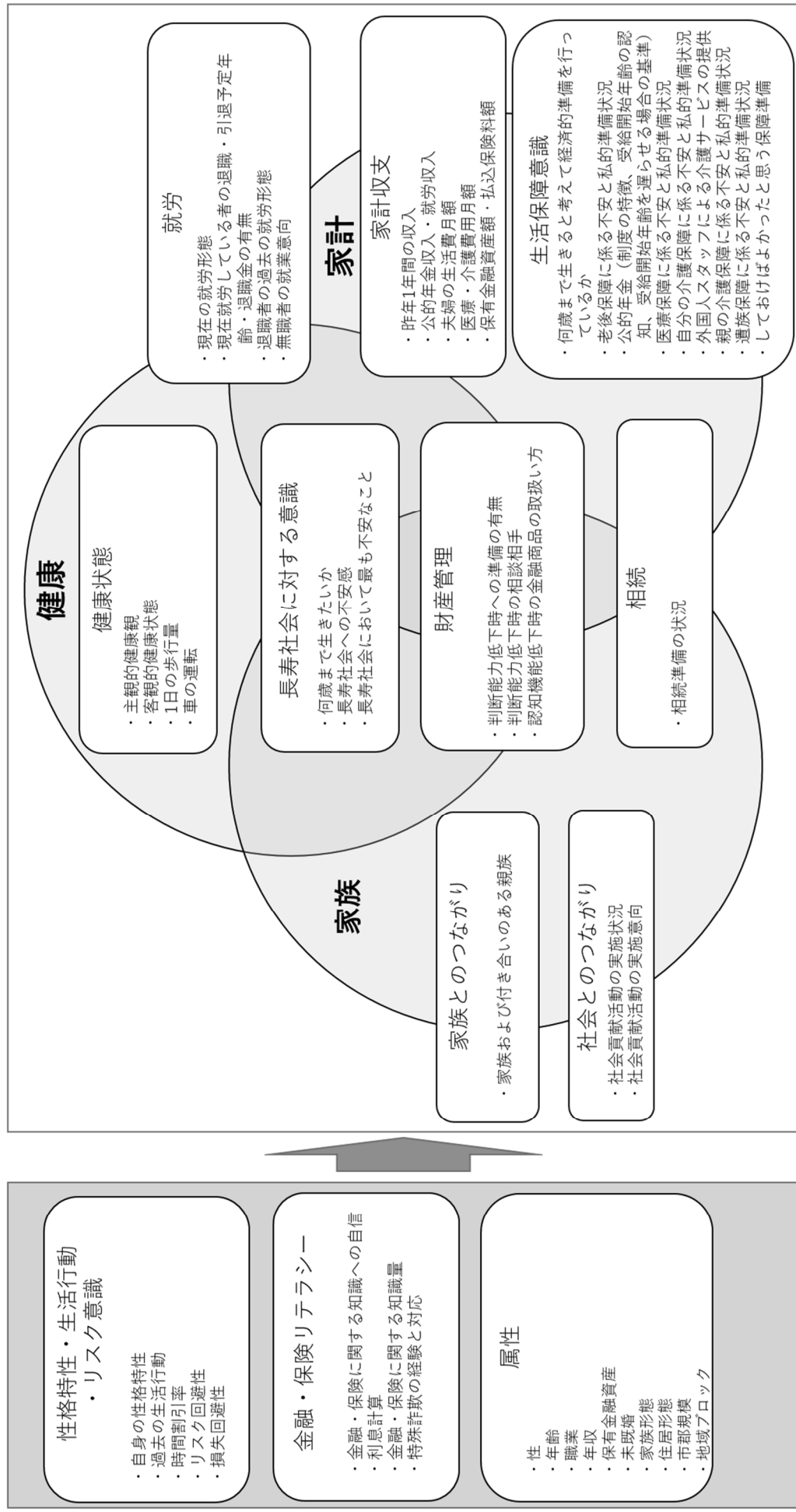
(1) 高齢者調査

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1) 調査地域 | 全国 (200 地点) |
| 2) 調査対象 | 60 歳以上の男女個人 |
| 3) 抽出方法 | 層化 2 段無作為抽出 |
| 4) 調査方法 | 留置聴取法 |
| 5) 調査時期 | 2020 年 10 月 8 日～11 月 15 日 |
| 6) 調査機関 | (一社) 中央調査社 |
| 7) 回収サンプル | 2,083 |

(2) 中年層調査

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1) 調査地域 | 全国 |
| 2) 調査対象 | 40 歳以上 59 歳以下の男女個人 |
| 3) 抽出方法 | 調査会社のモニター (性・年齢割付) |
| 4) 調査方法 | インターネット調査 |
| 5) 調査時期 | 2020 年 10 月 8 日～10 月 13 日 |
| 6) 調査機関 | マイボイスコム (株) |
| 7) 回収サンプル | 1,000 |

「ライフマネジメントに関する高齢者の意識調査」調査フレーム



報告書を読むにあたって

本報告書を読むにあたり、次の点にご留意ください。

1. 本文・図表中の数値と記号

(1) データ間の差の記述と表記

全体（各分析ベースにおける総数）と属性別などで分割したカテゴリーの割合を比較する場合は、“比率の差の検定”を行っています。

その結果、全体に比べて統計的に有意に高いと認められた場合、文章中では「高い」と記述し、図表中では○印を付しています。【表-A】

一方、有意に低いと認められた場合、文章中では「低い」と記述し、図表中では▲印を付しています。【表-B】

このとき、サンプル（標本）数の違いによって、全体の割合との差が小さいカテゴリーの割合に有意差が認められたり、逆に差が大きくても有意差が認められないことがあります。【表-C】

(2) 統合カテゴリーの割合

2つ以上のカテゴリーを1つのカテゴリーに統合してその割合(%)を表示する場合は、小数点の端数処理の関係で、統合前のカテゴリーの割合を単純に合計した数値とは相違する場合があります。【表-D】

【表】

		(単位：%)									
		N	受 け た い	た い ど う ち と ら 受 か け と	を 受 け る こ と	い ど え ち な い と も	を 受 け る こ と	た い ど く う ち な と ら い 受 か け と	い 受 け た く な	無 回 答	
全 体		2,083	8.1	10.3	18.4	45.4	33.8	17.9	15.9	2.4	
性 別	男 性	964	9.0	12.9	21.9	46.2	▲29.8	17.1	▲12.7	2.2	B A
	女 性	1,119	7.3	▲8.1	▲15.5	44.7	37.4	18.6	18.8	2.5	
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	11.6	11.3	22.9	48.7	▲26.6	14.7	▲11.9	1.7	C
	65～69歳	406	8.9	12.8	21.7	48.3	▲28.3	18.0	▲10.3	1.7	
	70～74歳	497	8.9	10.3	19.1	45.3	34.6	15.9	18.7	▲1.0	
	75～79歳	407	6.1	8.6	▲14.7	44.7	38.1	20.9	17.2	2.5	
	80～84歳	242	5.4	9.9	15.3	42.1	40.5	21.9	18.6	2.1	
	85～89歳	132	5.3	8.3	13.6	40.2	37.9	17.4	20.5	8.3	
	90歳以上	46	6.5	4.3	10.9	32.6	45.7	17.4	28.3	10.9	
											D

(注) *表-Cの場合、女性(18.8%)と85～89歳(20.5%)では、全体(15.9%)との差は85～89歳(4.6ポイント)の方が女性(2.9ポイント)を1.7ポイント上回っています。しかし、比率の差の検定を行うと、85～89歳は回答者数が132と少ないため、全体との差に有意差がありません。逆に女性は1,119と多いため、全体との間に有意差があり、○印がつきます。

*表-Dの場合、“受けたい”(8.9%)と“どちらかという受けたい”(10.3%)を合計すると19.2%ですが、各々の回答者数を合計し母数で除すと「受けることを許容」は19.1%となります。

2. 分析に用いる属性

本調査で分析に用いる属性とそのカテゴリーは、以下のとおりです。

なお、属性間のクロスについては、巻末「付属統計資料」を参照願います。

①性別

男性

女性

②年齢別

(本人)

60～64 歳

65～69 歳

70～74 歳

75～79 歳

80～84 歳

85～89 歳

90 歳以上

(配偶者)

49 歳以下

50～59 歳

60～64 歳

65～69 歳

70～74 歳

75～79 歳

80～84 歳

85～89 歳

90 歳以上

なお、中年層調査との比較においては、コメントはないものの、便宜的に以下のデータも掲載している。

40～44 歳

45～49 歳

50～54 歳

55～59 歳

③職業（現在）別

自営者

農林漁業

商工サービス業

自由業

常雇被用者

公務員

民間企業被用者

非正規社員

派遣社員・契約社員

パート・アルバイト

無職

その他

④年収別

収入はない

100 万円未満

100～500 万円未満

500～1, 000 万円未満

1, 000～2, 000 万円未満

2, 000 万円以上

⑤未既婚別

未婚

既婚（配偶者あり）

既婚（離別・死別）

⑥家族形態別

単身

夫婦のみ

2 世代世帯

夫婦と子のみ

親と自分（夫婦）のみ

3 世代世帯

自分（夫婦）と子と孫

親と自分（夫婦）と子

祖父母と親と自分（夫婦）

その他

⑦本人または夫婦年収別（世帯年収別）

100 万円未満

100～300 万円未満

300～500 万円未満

500～700 万円未満

700～1, 000 万円未満

1, 000～1, 500 万円未満

1, 500～2, 000 万円未満

2, 000 万円以上

⑧世帯保有金融資産額別

100 万円未満

100～1, 000 万円未満

1, 000～2, 000 万円未満

2, 000～5, 000 万円未満

5, 000 万円～1 億円未満

1 億円以上

⑨住居形態別

持家

持家・ローンあり

持家・ローンなし

持家・夫婦以外名義

借家

賃貸住宅

社宅

その他

⑩市郡規模別

21 大市

人口 10 万人以上の市

人口 10 万人未満の市

郡部

⑪地域ブロック別

東京

愛知

大阪

北海道

東北

関東（東京都除く）

北陸

中部（愛知県除く）

近畿（大阪府除く）

中国

四国

北九州

南九州

3. 高齢者調査と中年層調査の比較

本報告書では高齢者調査の結果を中心に記載していますが、中年層調査の結果についても参照する形で比較しています。ただし、2つの調査結果は調査方法が異なるため単純に比較することはできません。あくまでも参考としての比較であることに留意する必要があります。

なお、比較の際、グラフや図表上では、高齢者調査を「本調査（60 歳以上）」と記載しています。

第I章 健康状態

ここでは、自分自身の健康状態についての認識、歩行や車の運転などの行動状況について、捉えている。

1. 健康状態

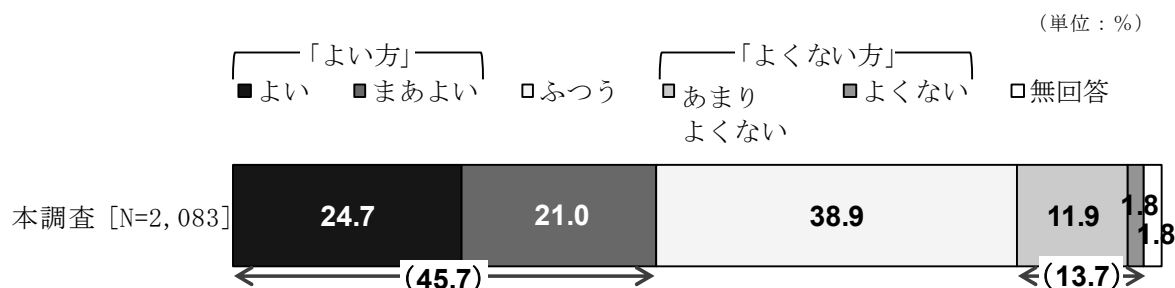
(1) 主観的健康観

Q1 あなたの今日の健康状態はいかがですか。この中から1つだけお答えください。

- 1 よい
- 2 まあよい
- 3 ふつう
- 4 あまりよくない
- 5 よくない

自身の主観的な健康状態については、「よい方」（“よい”と“まあよい”の回答の合計）が45.7%と、「よくない方」（“あまりよくない”と“よくない”の回答の合計）の13.7%を大きく上回っている。「ふつう」は38.9%で約4割となっている。〈図表I-1〉

〈図表I-1〉 主観的健康観



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「よい方」は低年齢層ほど高く、60～64歳で54.1%となっている。一方、「よくない方」は80歳以上の層でいずれも2割を超えて高くなっている。〈図表I-2〉

〈図表I-2〉 主観的健康観 [性・年齢別]

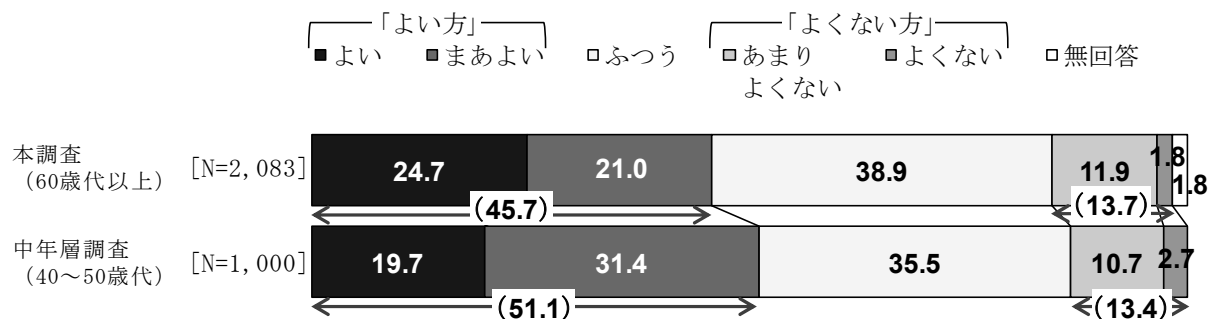
(単位：%)

		N	よい	まあよい	よい方	ふつう	よくない方	あまりよくない	よくない	無回答
全 体		2,083	24.7	21.0	45.7	38.9	13.7	11.9	1.8	1.8
性別	男 性	964	24.3	19.8	44.1	39.9	14.4	12.1	2.3	1.6
	女 性	1,119	25.0	22.0	47.0	38.0	13.0	11.7	1.3	2.0
本人年齢別	60～64歳	353	28.3	25.8	54.1	39.4	▲5.4	▲4.8	0.6	1.1
	65～69歳	406	27.3	22.7	50.0	40.1	▲8.9	▲7.6	1.2	1.0
	70～74歳	497	28.4	19.9	48.3	37.8	12.7	10.9	1.8	1.2
	75～79歳	407	22.4	18.7	▲41.0	41.0	16.0	14.5	1.5	2.0
	80～84歳	242	20.7	19.4	40.1	36.4	20.7	16.9	3.7	2.9
	85～89歳	132	▲11.4	15.2	▲26.5	38.6	29.5	25.8	3.8	5.3
	90歳以上	46	13.0	26.1	39.1	30.4	28.3	26.1	2.2	2.2

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「よい方」は中年層の 51.1%に比べて、60 歳代以上は 45.7 ポイント下回っている。一方、「よくない方」はほぼ同率で、違いはみられない。〈図表 I－3〉

〈図表 I－3〉 主観的健康観 「中年層調査」との比較：参考

(単位：％)



(単位：％)

		N	よい	まあよい	よい方	ふつう	方よくない	よあまりくまなりい	よくない
本調査	全 体	2,083	24.7	21.0	45.7	38.9	13.7	11.9	1.8
	60～64歳	353	28.3	25.8	54.1	39.4	5.4	4.8	0.6
	65～69歳	406	27.3	22.7	50.0	40.1	8.9	7.6	1.2
	70～74歳	497	28.4	19.9	48.3	37.8	12.7	10.9	1.8
	75～79歳	407	22.4	18.7	41.0	41.0	16.0	14.5	1.5
	80～84歳	242	20.7	19.4	40.1	36.4	20.7	16.9	3.7
	85～89歳	132	11.4	15.2	26.5	38.6	29.5	25.8	3.8
	90歳以上	46	13.0	26.1	39.1	30.4	28.3	26.1	2.2
中年層調査	全 体	1,000	19.7	31.4	51.1	35.5	13.4	10.7	2.7
	40～44歳	287	24.0	30.0	54.0	33.8	12.2	10.1	2.1
	45～49歳	267	19.9	32.2	52.1	33.7	14.2	9.7	4.5
	50～54歳	228	14.0	30.3	44.3	41.2	14.5	12.3	2.2
	55～59歳	218	19.7	33.5	53.2	33.9	12.8	11.0	1.8

(2) 客観的健康状態

Q2 ここにあげられている日常生活にさしかえがないか、1つ1つについて「はい」か「いいえ」でお答えください。

1 はい 2 いいえ

- (1) バスや電車を使って一人で外出できますか
- (2) 日用品の買い物ができますか
- (3) お湯をわかせますか
- (4) 請求書の支払いができますか
- (5) 銀行預金・郵便貯金の出し入れができますか
- (6) 年金などの書類が書けますか
- (7) 新聞を読んでいますか
- (8) 本や雑誌を読んでいますか
- (9) 健康についての記事や番組に興味がありますか
- (10) 友達の家を訪ねることがあります
- (11) 家族や友達の相談にのることがあります
- (12) 病人を見舞うことができますか
- (13) 若い人に自分から話しかけることがありますか
- (14) 一人で電話をかけられますか
- (15) 一人で薬を服用できますか

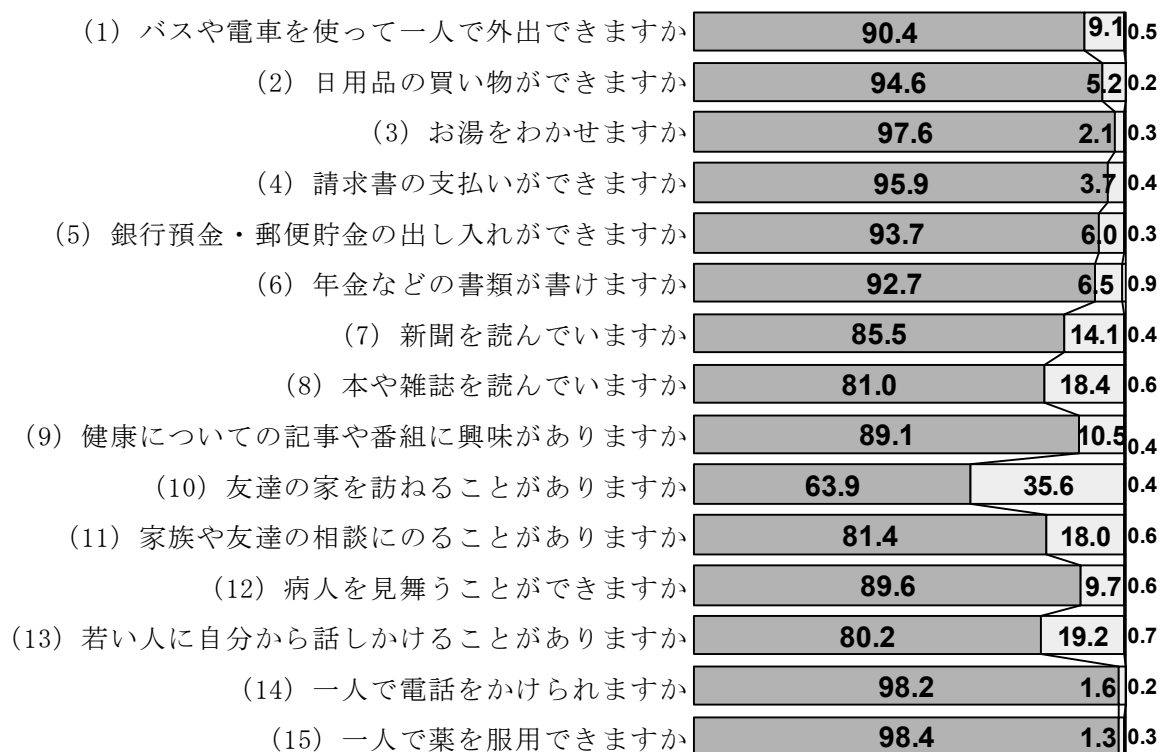
自身の具体的・客観的な健康状態について「はい」の回答をみると、「友達の家を訪ねること」が63.9%と、他に比べて顕著に低くなっている。〈図表Ⅰ－4〉

〈図表Ⅰ－4〉 客観的健康状態

(単位：%)

[N=2, 083]

□はい □いいえ □無回答



客観的な健康状態について「いいえ」の回答を性別にみると、「本や雑誌を読むこと」「健康についての記事や番組に興味」「友達の家を訪ねること」「家族や友達の相談にのること」「若い人に自分から話しかけること」は、男性が女性を上回っており、これらの行為が“できない・していない”という傾向は男性の方が高くなっている。逆に、「バスや電車を使って一人で外出」は男性より女性で高く、女性の方が“外出できない”傾向となっている。

年齢別にみると、「お湯をわかす」「友達の家を訪ねること」が“できない・していない”という傾向は、85歳以上の層で、「健康についての記事や番組に興味」が“ない”、「一人で薬を服用」「できない」は90歳以上の層で、それぞれ高くなっている。一方、「新聞を読むこと」を“していない”は、年齢層が比較的低い60～64歳で高くなっている。〈図表Ⅰ－5〉

〈図表Ⅰ－5〉 客観的健康状態〔性・年齢別〕 【「いいえ」の回答率】

(単位：％)

		N	(1) まてバス か人や で電 外車 出を で使 きつ	(2) で日 き用 ま品 すの か買 い 物 が	(3) かお 湯を わ か せ ま す	(4) で請 き求 ま書 すの か支 払 い が	(5) き金 まの す出 かし 入・ れ郵 が便 で貯	(6) 書年 け金 まな すど かの 書 類 が	(7) す新 か聞 を 読 ん で い ま	(8) い本 まや す雑 か誌 を 読 ん で
全 体		2,083	9.1	5.2	2.1	3.7	6.0	6.5	14.1	18.4
性別	男 性	964	▲ 7.4	4.5	1.8	3.4	7.0	6.4	13.8	21.8
	女 性	1,119	10.5	5.9	2.4	4.0	5.1	6.5	14.4	▲ 15.5
本人 年 齢 別	60～64歳	353	▲ 1.7	▲ 0.8	-	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 2.0	20.1	15.3
	65～69歳	406	▲ 3.0	▲ 1.2	▲ 0.2	▲ 0.7	▲ 1.0	▲ 2.2	11.8	▲ 11.8
	70～74歳	497	▲ 5.8	▲ 2.6	1.4	2.4	4.4	5.6	15.7	17.5
	75～79歳	407	8.1	3.9	1.2	2.9	4.7	5.7	▲ 9.1	18.2
	80～84歳	242	16.9	9.9	3.3	6.6	10.3	12.8	13.6	25.6
	85～89歳	132	30.3	17.4	6.8	12.1	18.2	17.4	14.4	27.3
	90歳以上	46	60.9	54.3	30.4	34.8	56.5	30.4	17.4	47.8

		N	(9) あ事健 りや康 ま番に す組つ かにい 興て 味の が記	(10) こ友 と達 がの あ家 りを ま訪 すね かる	(11) まに家 すの族 かるや こ友 と達 がの あ相 り談	(12) が病 で人 きを ま見 す舞 かう こと	(13) あ話若 りしい まか人 すけに かる自 こ分 とか がら	(14) ら一 れ人 まで す電 か話 を かけ	(15) き一 ま人 すで か薬 を 服用 で
全 体		2,083	10.5	35.6	18.0	9.7	19.2	1.6	1.3
性別	男 性	964	15.5	44.4	23.0	8.7	23.5	1.7	1.0
	女 性	1,119	▲ 6.3	▲ 28.1	▲ 13.7	10.6	▲ 15.4	1.5	1.5
本人 年 齢 別	60～64歳	353	11.6	▲ 30.6	▲ 10.2	▲ 4.5	▲ 13.3	▲ 0.3	-
	65～69歳	406	9.4	▲ 30.5	▲ 12.3	▲ 3.9	16.7	-	▲ 0.2
	70～74歳	497	10.1	33.0	17.3	▲ 7.2	17.3	▲ 0.6	0.8
	75～79歳	407	▲ 7.6	34.6	18.7	9.1	20.6	▲ 0.5	1.0
	80～84歳	242	12.4	40.9	24.8	14.0	24.0	3.7	2.1
	85～89歳	132	13.6	53.0	31.8	28.8	28.0	3.8	2.3
	90歳以上	46	23.9	78.3	54.3	56.5	41.3	28.3	21.7

客観的な健康状態について「いいえ」の回答を本人の現在の職業別にみると、「バスや電車を使って一人で外出」「若い人に自分から話しかけること」が“できない”傾向は、無職で高くなっている。〈図表Ⅰ－6〉

〈図表Ⅰ－6〉 客観的健康状態〔本人職業（現在）別〕 【「いいえ」の回答率】

（単位：％）

			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
		N	ましてバスや電車で出で	で日用品の買い物が	かお湯をわかします	で請求書の支払いが	き金の出金・入金が貯	書けまなすの書類が	す新聞を読んでいる	い本や雑誌を読ん
全 体		2,083	9.1	5.2	2.1	3.7	6.0	6.5	14.1	18.4
本人職業（現在）別	自 営 者	180	▲ 3.3	▲ 1.7	-	▲ 0.6	4.4	4.4	15.0	14.4
	農 林 漁 業	19	5.3	-	-	-	-	-	10.5	21.1
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	▲ 2.4	1.6	-	0.8	4.0	4.0	13.7	13.7
	自 由 業	37	5.4	2.7	-	-	8.1	8.1	21.6	13.5
	常 雇 被 用 者	222	▲ 0.5	▲ 0.9	-	1.8	▲ 2.7	▲ 2.7	10.4	14.9
	公 務 員	37	-	-	-	-	-	-	10.8	8.1
	民 間 企 業 被 用 者	185	▲ 0.5	▲ 1.1	-	2.2	3.2	3.2	10.3	16.2
	非 正 規 社 員	178	▲ 1.7	▲ 0.6	0.6	▲ 0.6	▲ 2.2	▲ 2.2	16.9	16.3
	派遣社員・契約社員	39	-	-	-	-	-	2.6	20.5	17.9
	パート・アルバイト	139	▲ 2.2	▲ 0.7	0.7	0.7	2.9	▲ 2.2	15.8	15.8
無 職	1,037	10.4	6.0	2.2	4.0	6.5	6.5	12.6	19.1	
そ の 他		24	-	-	-	-	-	-	25.0	16.7

			(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
		N	あ事健こ友まに家が病あ話若ら一き	りや康と達がのあ家をこ友をま見すけにす電	ますの族やこと達がのあ相り談	が人できを見舞かうこと	りしいまか人に自分とから	れ人まで電か話をかけ	き一人です薬を服用で
全 体		2,083	10.5	35.6	18.0	9.7	19.2	1.6	1.3
本人職業（現在）別	自 営 者	180	13.3	▲ 27.2	16.1	▲ 5.6	▲ 10.0	-	1.1
	農 林 漁 業	19	15.8	15.8	10.5	-	-	-	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	12.1	29.0	16.9	7.3	▲ 11.3	-	0.8
	自 由 業	37	16.2	27.0	16.2	2.7	10.8	-	2.7
	常 雇 被 用 者	222	12.6	32.0	▲ 11.7	▲ 2.3	▲ 10.8	0.5	-
	公 務 員	37	16.2	40.5	▲ 2.7	-	▲ 5.4	-	-
	民 間 企 業 被 用 者	185	11.9	30.3	13.5	▲ 2.7	▲ 11.9	0.5	-
	非 正 規 社 員	178	8.4	▲ 28.7	▲ 9.6	5.6	▲ 9.0	0.6	1.1
	派遣社員・契約社員	39	12.8	35.9	17.9	2.6	15.4	-	2.6
	パート・アルバイト	139	7.2	▲ 26.6	▲ 7.2	6.5	▲ 7.2	0.7	0.7
無 職	1,037	9.5	37.0	19.1	9.7	23.0	1.9	1.3	
そ の 他		24	4.2	37.5	12.5	4.2	16.7	-	-

客観的な健康状態についての「いいえ」の回答数から、「健康状態の区分」を以下のように設けた。

【健康状態の区分】

- 1 差し支えなし…「いいえ」の回答が1つもない
- 2 ほんの少し差し支えあり…「いいえ」の回答が1～2個
- 3 差し支えあり…「いいえ」の回答が3～5個
- 4 大いに差し支えあり…「いいえ」の回答が6個以上

健康状態の区分については、「差し支えなし」が45.7%と最も多くを占めている。次いで、「ほんの少し差し支えあり」33.1%、「差し支えあり」15.0%、「大いに差し支えあり」6.2%の順となっている。また、「いいえ」の回答数の平均は、1.6個となっている。〈図表Ⅰ－7〉

〈図表Ⅰ－7〉 客観的健康状態 【健康状態の区分】



性別にみると、「差し支えなし」は女性が男性を上回っている。逆に、「ほんの少し差し支えあり」「差し支えあり」は女性よりも男性の方が高くなっている。「大いに差し支えあり」は男女で特に差はみられない。

年齢別にみると、「大いに差し支えあり」は80歳以上の層でいずれも高くなっている。

「差し支えなし」の比率は、74歳以下の層では5割台であるのに対し、80歳以上の層では4割未満で、年齢層が高くなるにつれて、低くなる傾向がみられる。〈図表Ⅰ－8〉

〈図表Ⅰ－8〉 客観的健康状態【性・年齢別】 【健康状態の区分】

(単位：%)

		N	差し 支え なし	ほ ん の 少 し 支 え あ り	差 し 支 え あ り	大 い に 支 え あ り	「 い い え 」 の 回 答 数 平 均 (個)
全 体		2,022	45.7	33.1	15.0	6.2	1.6
性 別	男 性	934	▲36.7	○37.3	○19.5	6.5	1.8
	女 性	1,088	○53.5	▲29.5	▲11.1	5.9	1.4
本 人 年 齢 別	60～64歳	347	○51.6	32.9	13.5	▲2.0	1.1
	65～69歳	400	50.0	○37.8	▲11.0	▲1.3	1.0
	70～74歳	479	○50.5	30.9	14.0	4.6	1.4
	75～79歳	395	45.6	33.7	15.9	4.8	1.5
	80～84歳	234	▲36.3	34.6	18.4	○10.7	2.2
	85～89歳	125	▲28.0	28.8	○24.8	○18.4	3.0
	90歳以上	42	▲9.5	▲14.3	19.0	○57.1	6.7

本人の現在の職業別にみると、「差し支えなし」は自営者が 53.4%、パート・アルバイトが 60.0%と、それぞれ高くなっている。一方、「大いに差し支えあり」は常雇被用者、パート・アルバイトで低くなっている。(図表 I-9)

〈図表 I-9〉 客観的健康状態〔本人職業（現在）別〕 【健康状態の区分】

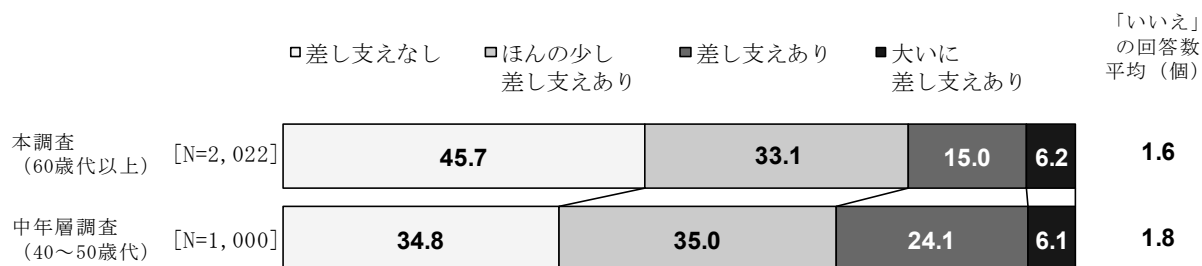
(単位：%)

		N	差し支えなし	差し支えの ほ少しあり	差し支えあり	差し支えに 大いあり	「いいえ」の 平均回答数 (個)
全 体		2,022	45.7	33.1	15.0	6.2	1.6
本人職業 (現在) 別	自 営 者	174	53.4	30.5	13.2	2.9	1.1
	農 林 漁 業	17	64.7	23.5	11.8	-	0.6
	商 工 サ ー ビ ス 業	122	50.8	32.8	13.9	2.5	1.2
	自 由 業	35	57.1	25.7	11.4	5.7	1.3
	常 雇 被 用 者	218	51.4	35.8	11.5	▲ 1.4	1.0
	公 務 員	36	55.6	36.1	8.3	-	0.8
	民 間 企 業 被 用 者	182	50.5	35.7	12.1	▲ 1.6	1.1
	非 正 規 社 員	174	57.5	28.7	12.1	▲ 1.7	1.0
	派遣社員・契約社員	39	48.7	33.3	15.4	2.6	1.3
	パート・アルバイト	135	60.0	27.4	11.1	▲ 1.5	0.9
	無 職	1,012	44.9	32.6	15.3	7.2	1.7
	そ の 他	22	45.5	36.4	18.2	-	1.2

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「差し支えなし」は中年層の 34.8%に比べて、60 歳代以上は 10.9 ポイント上回っている。一方、「差し支えあり」は中年層の 24.1%に比べて、60 歳代以上は 9.1 ポイント下回っている。〈図表 I－10〉

〈図表 I－10〉 客観的健康状態 【健康状態の区分】 「中年層調査」との比較：参考

(単位：％)



(単位：％)

		N	差し支えなし	ほんの少し 差し支えあり	差し支えあり	大いに 差し支えあり	「いいえ」 の回答数 平均 (個)
本調査	全 体	2, 022	45. 7	33. 1	15. 0	6. 2	1. 6
	60～64歳	347	51. 6	32. 9	13. 5	2. 0	1. 1
	65～69歳	400	50. 0	37. 8	11. 0	1. 3	1. 0
	70～74歳	479	50. 5	30. 9	14. 0	4. 6	1. 4
	75～79歳	395	45. 6	33. 7	15. 9	4. 8	1. 5
	80～84歳	234	36. 3	34. 6	18. 4	10. 7	2. 2
	85～89歳	125	28. 0	28. 8	24. 8	18. 4	3. 0
	90歳以上	42	9. 5	14. 3	19. 0	57. 1	6. 7
中年層調査	全 体	1, 000	34. 8	35. 0	24. 1	6. 1	1. 8
	40～44歳	287	35. 9	32. 4	26. 5	5. 2	1. 9
	45～49歳	267	33. 0	31. 1	27. 7	8. 2	2. 1
	50～54歳	228	33. 3	38. 2	22. 8	5. 7	1. 8
	55～59歳	218	37. 2	39. 9	17. 9	5. 0	1. 5

2. 1日の歩行量

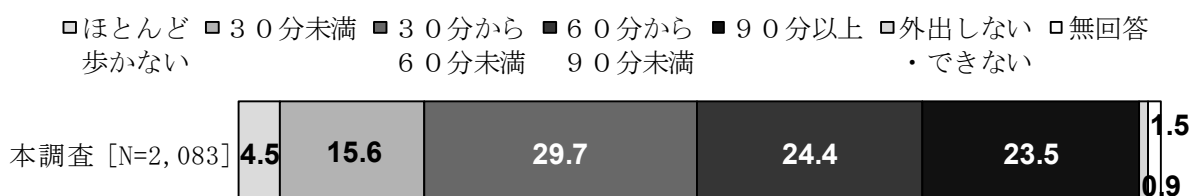
Q3 あなたは普段の生活の中で1日に何分くらい歩いていますか。散歩だけでなく、買い物や通勤・外出など移動時の歩行時間を含めてお答えください。また、杖・歩行器・車椅子などを使う場合も含めてお答えください。

- 1 ほとんど歩かない
- 2 30分未満
- 3 30分から60分未満
- 4 60分から90分未満
- 5 90分以上
- 6 外出しない・できない

普段の生活における1日の歩行量については、「30分から60分未満」が29.7%と最も多く、次いで「60分から90分未満」24.4%、「90分以上」23.5%の順になっている。「ほとんど歩かない」は4.5%、「外出しない・できない」は0.9%となっている。〈図表I-11〉

〈図表I-11〉 1日の歩行量

(単位：%)



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「90分以上」は、60歳代で高く、80歳以上の層でいずれも低くなっている。一方、「ほとんど歩かない」は85～89歳、90歳以上の層で高くなっている。〈図表I-12〉

〈図表I-12〉 1日の歩行量〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	ほとんど歩かない	30分未満	30分から60分未満	60分から90分未満	90分以上	外出しない・できない	無回答
全体		2,083	4.5	15.6	29.7	24.4	23.5	0.9	1.5
性別	男性	964	5.1	15.2	29.9	24.0	23.2	0.8	1.8
	女性	1,119	4.0	15.8	29.5	24.8	23.7	0.9	1.3
本人年齢別	60～64歳	353	▲2.0	13.9	28.9	26.3	28.0	—	0.8
	65～69歳	406	3.4	▲9.9	29.1	26.4	28.8	0.5	2.0
	70～74歳	497	3.2	15.3	30.0	23.7	26.2	0.4	1.2
	75～79歳	407	3.7	17.7	29.0	26.5	22.1	0.5	0.5
	80～84歳	242	6.6	18.2	33.5	24.8	▲14.9	0.4	1.7
	85～89歳	132	12.9	21.2	29.5	▲15.9	▲12.9	2.3	5.3
	90歳以上	46	19.6	32.6	23.9	▲4.3	—	17.4	2.2

本人の現在の職業別にみると、「90 分以上」は、民間企業被用者、非正規社員で、それぞれ高くなっている。民間企業被用者は「60 分から 90 分未満」でも高くなっている。〈図表 I－13〉

〈図表 I－13〉 1 日の歩行量〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	歩 か と な ん い ど	3 0 分 未 満	6 3 0 0 分 分 未 未 満 満 ら	9 6 0 0 分 分 未 未 満 満 ら	9 0 分 以 上	で外 き出 な し な い ・	無 回 答
	全 体	2,083	4.5	15.6	29.7	24.4	23.5	0.9	1.5
本人職業 (現在) 別	自 営 者	180	5.6	12.8	26.7	23.3	28.9	－	2.8
	農 林 漁 業	19	5.3	5.3	▲ 5.3	26.3	52.6	－	5.3
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	4.8	12.1	33.9	23.4	23.4	－	2.4
	自 由 業	37	8.1	18.9	▲ 13.5	21.6	35.1	－	2.7
	常 雇 被 用 者	222	▲ 0.5	▲ 8.1	▲ 23.4	32.4	34.2	－	1.4
	公 務 員	37	－	▲ 2.7	29.7	37.8	29.7	－	－
	民 間 企 業 被 用 者	185	▲ 0.5	▲ 9.2	▲ 22.2	31.4	35.1	－	1.6
	非 正 規 社 員	178	1.7	▲ 9.0	▲ 23.0	22.5	42.1	－	1.7
	派遣社員・契約社員	39	2.6	10.3	28.2	15.4	43.6	－	－
	パート・アルバイト	139	1.4	▲ 8.6	▲ 21.6	24.5	41.7	－	2.2
	無 職	1,037	5.1	16.4	31.4	25.8	▲ 19.4	0.9	▲ 1.0
	そ の 他	24	－	20.8	37.5	12.5	25.0	－	4.2

客観的健康状態別にみると、「60 分から 90 分未満」「90 分以上」は、差し支えなし層で高くなっている。一方、「ほとんど歩かない」「30 分未満」は、差し支えあり層、大いに差し支えあり層で高くなっている。〈図表 I－14〉

〈図表 I－14〉 1 日の歩行量〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

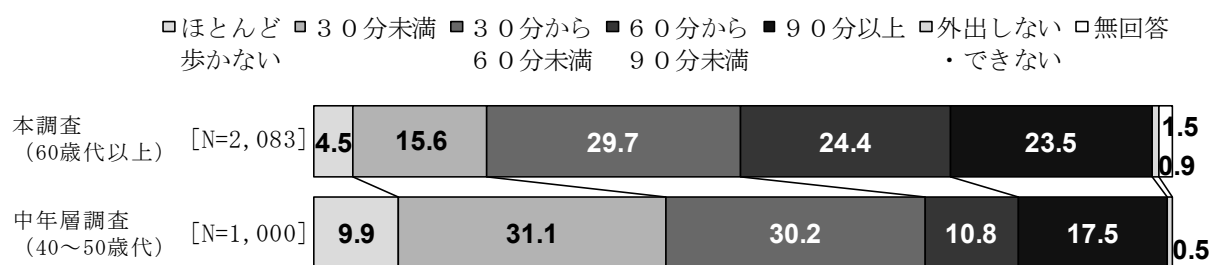
		N	歩 か と な ん い ど	3 0 分 未 満	6 3 0 0 分 分 未 未 満 満 ら	9 6 0 0 分 分 未 未 満 満 ら	9 0 分 以 上	で外 き出 な し な い ・	無 回 答
	全 体	2,083	4.5	15.6	29.7	24.4	23.5	0.9	1.5
客観的 健康 状態 別	差 し 支 え な し	925	▲ 0.8	▲ 10.3	30.2	28.1	29.7	－	1.0
	ほんの少し差し支えあり	669	▲ 3.0	15.7	31.2	25.4	23.2	0.3	1.2
	差 し 支 え あ り	303	7.6	24.1	31.0	▲ 19.1	▲ 16.2	1.0	1.0
	大 い に 差 し 支 え あ り	125	29.6	30.4	▲ 20.0	▲ 7.2	▲ 2.4	8.8	1.6

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、最も歩行量の多い「90 分以上」は中年層の 17.5%に比べて、60 歳代以上は 6.0 ポイント上回っている。逆に、最も歩行量の少ない「30 分未満」は中年層の 31.1%を、60 歳代以上は 15.5 ポイント下回っている。

全体的に、中年層に比べて、60 歳代以上は歩行量が多い傾向がみられる。〈図表 I－15〉

〈図表 I－15〉 1 日の歩行量 「中年層調査」との比較：参考

(単位：％)



(単位：％)

		N	ほとんど歩かない	30分未満	30分から60分未満	60分から90分未満	90分以上	外出しない・できない
本調査	全 体	2,083	4.5	15.6	29.7	24.4	23.5	0.9
	60～64歳	353	2.0	13.9	28.9	26.3	28.0	—
	65～69歳	406	3.4	9.9	29.1	26.4	28.8	0.5
	70～74歳	497	3.2	15.3	30.0	23.7	26.2	0.4
	75～79歳	407	3.7	17.7	29.0	26.5	22.1	0.5
	80～84歳	242	6.6	18.2	33.5	24.8	14.9	0.4
	85～89歳	132	12.9	21.2	29.5	15.9	12.9	2.3
	90歳以上	46	19.6	32.6	23.9	4.3	—	17.4
中年層調査	全 体	1,000	9.9	31.1	30.2	10.8	17.5	0.5
	40～44歳	287	9.8	34.5	27.2	11.5	16.4	0.7
	45～49歳	267	12.7	28.1	27.7	9.7	21.3	0.4
	50～54歳	228	7.9	30.3	36.8	9.6	14.5	0.9
	55～59歳	218	8.7	31.2	30.3	12.4	17.4	—

(1) 運轉習慣・頻度

Q10 普段の生活の中で、あなたは自動車を運転しますか。仕事で運転する場合も含みます。

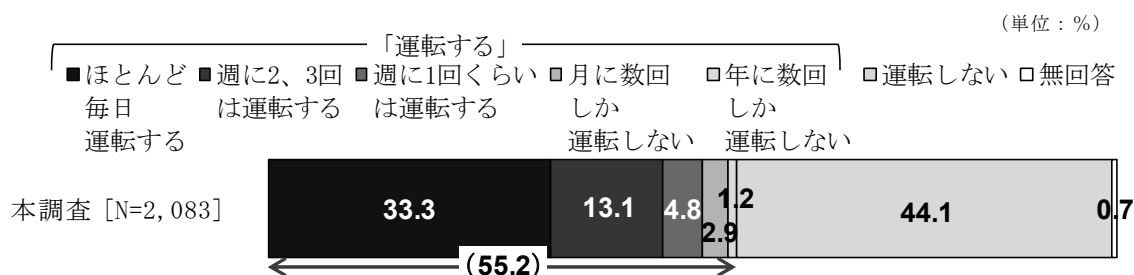
- 1 運転する 2 運転しない

Q10SQ1 (Q10で「運転する」と答えた方へ) 運転する場合、どのくらいの頻度で運転をしますか。

- 1 ほとんど毎日運転する
2 週に2、3回は運転する
3 週に1回くらいは運転する
4 月に数回しか運転しない
5 年に数回しか運転しない

運転の頻度としては「ほとんど毎日運転する」が33.3%と最も多くを占めている。「週に2、3回は運転する」は13.1%、「週に1回くらいは運転する」は4.8%で、頻度が低くなるほど比率は低下する傾向が見られる。(図表Ⅰ-16)

〈図表 I - 16〉 運転習慣・頻度



年齢別にみると、「運転する」は 60 歳代で高く、「ほとんど毎日運転する」もこれらの層で高い傾向が見られる。一方、「運転しない」は 75 歳以上の層でいずれも高くなっている。〈図表 I-17〉

〈図表 I - 17〉 運転習慣・頻度 [性・年齢別]

		N	ほとんどの毎日 運転する	週2、3回 は運転する	週1回 は運転する	月に数回 は運転する	年に数回 は運転する	運転する	運転しない	無回答
全 体		2,083	33.3	13.1	4.8	2.9	1.2	55.2	44.1	0.7
性別	男 性	964	44.1	16.0	7.8	3.5	1.6	72.9	▲26.5	0.6
	女 性	1,119	▲24.0	▲10.5	▲2.1	2.4	0.8	▲39.9	59.3	0.7
本人年齢別	60～64歳	353	51.0	15.0	6.5	4.2	1.1	77.9	▲21.5	0.6
	65～69歳	406	44.3	14.3	6.2	4.2	1.2	70.2	▲29.6	0.2
	70～74歳	497	34.0	15.7	5.4	▲1.6	1.8	58.6	40.8	0.6
	75～79歳	407	▲26.0	12.5	4.2	3.2	1.0	▲46.9	52.6	0.5
	80～84歳	242	▲18.2	9.5	2.5	1.2	0.8	▲32.2	66.9	0.8
	85～89歳	132	▲9.1	▲5.3	▲0.8	3.8	-	▲18.9	78.8	2.3
	90歳以上	46	▲6.5	4.3	-	-	-	▲10.9	87.0	2.2

本人の現在の職業別にみると、「運転しない」は無職で 49.6%と高くなっている。「運転する」は自営者で 78.9%、常雇被用者で 83.8%、非正規社員で 66.3%となっている。

派遣社員・契約社員では、「週に 1 回くらいは運転する」「月に数回しか運転しない」が高くなっており、運転頻度が比較的低い傾向がみられる。(図表 I-18)

〈図表 I-18〉 運転習慣・頻度〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	運 転 と す ん ど 毎 日	は 週 に 運 転 す る 3 回	い 週 は に 運 転 す る 1 回	運 月 に し 数 回 い し か	運 年 に し 数 回 い し か	運 転 す る	運 転 し な い	無 回 答
全 体		2,083	33.3	13.1	4.8	2.9	1.2	55.2	44.1	0.7
本人職業 (現在) 別	自 営 者	180	58.9	10.6	6.7	1.7	1.1	78.9	▲20.6	0.6
	農 林 漁 業	19	89.5	10.5	-	-	-	100.0	-	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	56.5	9.7	7.3	0.8	-	74.2	▲25.0	0.8
	自 由 業	37	51.4	13.5	8.1	5.4	5.4	83.8	▲16.2	-
	常 雇 被 用 者	222	56.8	14.4	5.9	4.1	2.7	83.8	▲16.2	-
	公 務 員	37	64.9	24.3	5.4	2.7	-	97.3	▲2.7	-
	民 間 企 業 被 用 者	185	55.1	12.4	5.9	4.3	3.2	81.1	▲18.9	-
	非 正 規 社 員	178	42.1	9.6	5.6	6.7	2.2	66.3	▲33.1	0.6
	派遣社員・契約社員	39	43.6	5.1	17.9	12.8	2.6	82.1	▲15.4	2.6
	パート・アルバイト	139	41.7	10.8	2.2	5.0	2.2	61.9	38.1	-
	無 職	1,037	▲27.1	14.0	5.1	2.6	1.0	▲49.8	49.6	0.7
その 他		24	37.5	16.7	4.2	4.2	-	62.5	37.5	-

客観的健康状態別にみると、「運転する」は差し支えなし層、ほんの少し差し支えあり層で高くなっている。一方、「運転しない」は差し支えあり層、大いに差し支えあり層で高くなっている。

「ほとんど毎日運転する」は差し支えなし層で高くなっている。(図表 I-19)

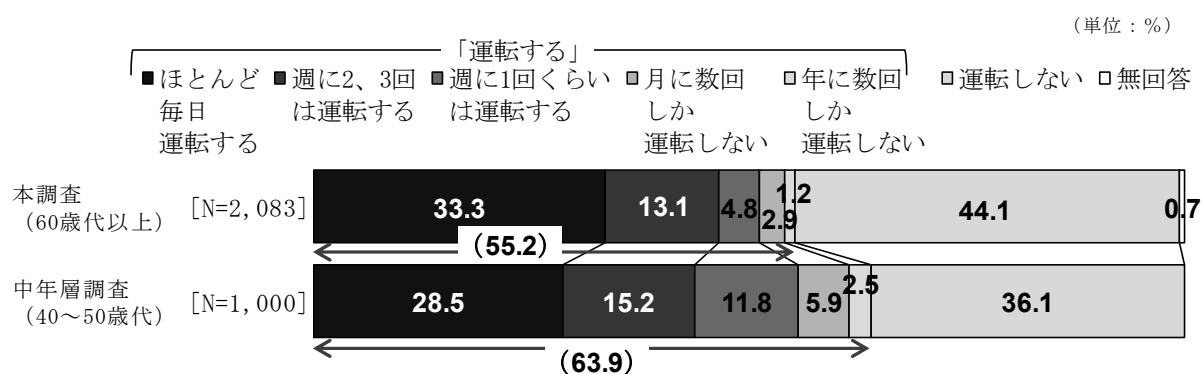
〈図表 I-19〉 運転習慣・頻度〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	運 転 と す ん ど 毎 日	は 週 に 運 転 す る 3 回	い 週 は に 運 転 す る 1 回	運 月 に し 数 回 い し か	運 年 に し 数 回 い し か	運 転 す る	運 転 し な い	無 回 答
全 体		2,083	33.3	13.1	4.8	2.9	1.2	55.2	44.1	0.7
客観的 健康 状態 別	差 し 支 え な し	925	39.7	14.2	3.8	2.9	1.0	61.5	▲37.9	0.5
	ほんの少し差し支えあり	669	32.4	14.2	6.7	3.3	1.9	58.6	41.1	0.3
	差 し 支 え あ り	303	▲26.7	11.9	5.0	2.6	0.3	▲46.5	53.1	0.3
	大 い に 差 し 支 え あ り	125	▲7.2	▲4.8	1.6	2.4	0.8	▲16.8	80.8	2.4

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「運転する」は中年層の 63.9%に比べて、60 歳代以上は 55.2 ポイント下回っている。〈図表 I－20〉

〈図表 I－20〉 運転習慣・頻度 「中年層調査」との比較：参考



(単位：％)

		N	ほとんど毎日運転する	週に2、3回は運転する	週に1回くらいは運転する	月に数回しか運転しない	年に数回しか運転しない	運転する	運転しない
本調査	全 体	2,083	33.3	13.1	4.8	2.9	1.2	55.2	44.1
	60～64歳	353	51.0	15.0	6.5	4.2	1.1	77.9	21.5
	65～69歳	406	44.3	14.3	6.2	4.2	1.2	70.2	29.6
	70～74歳	497	34.0	15.7	5.4	1.6	1.8	58.6	40.8
	75～79歳	407	26.0	12.5	4.2	3.2	1.0	46.9	52.6
	80～84歳	242	18.2	9.5	2.5	1.2	0.8	32.2	66.9
	85～89歳	132	9.1	5.3	0.8	3.8	－	18.9	78.8
	90歳以上	46	6.5	4.3	－	－	－	10.9	87.0
中年層調査	全 体	1,000	28.5	15.2	11.8	5.9	2.5	63.9	36.1
	40～44歳	287	28.2	16.0	10.1	4.9	2.4	61.7	38.3
	45～49歳	267	27.7	14.6	12.4	6.7	4.9	66.3	33.7
	50～54歳	228	28.5	14.0	12.3	5.7	1.3	61.8	38.2
	55～59歳	218	29.8	16.1	12.8	6.4	0.9	66.1	33.9

(2) 運転しない理由

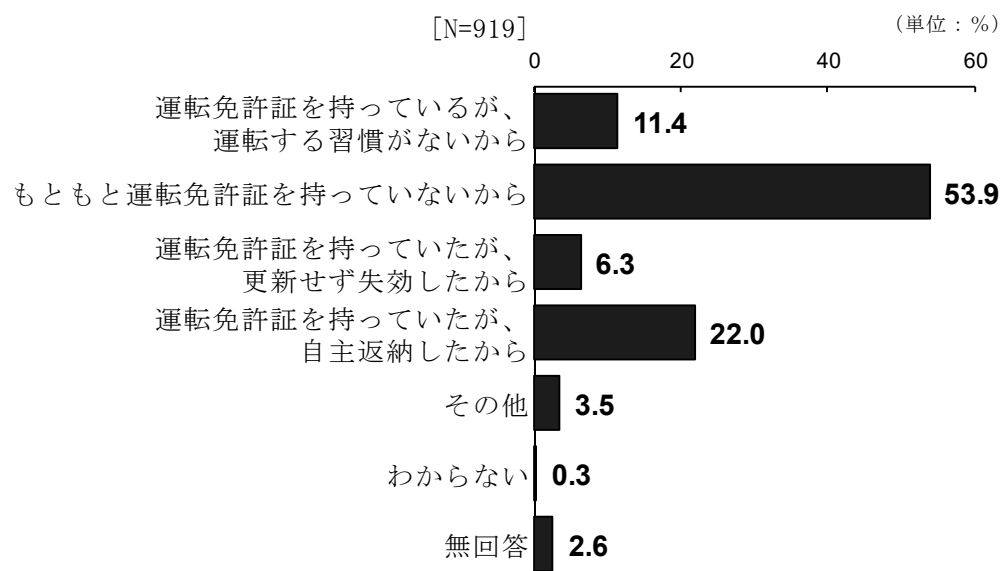
「運転しない」と回答した人に、その理由を以下のように尋ねた。

Q10SQ2 (Q10で「運転しない」と答えた方へ) 運転しない場合は、その理由をお答えください。

- 1 運転免許証を持っているが、運転する習慣がないから
- 2 もともと運転免許証を持っていないから
- 3 運転免許証を持っていたが、更新せず失効したから
- 4 運転免許証を持っていたが、自主返納したから
- 5 その他
- 6 わからない

運転しない理由は「もともと運転免許証を持っていないから」が 53.9%と最も多く、突出している。次いで、「運転免許証を持っていたが、自主返納したから」が 22.0%、「運転免許証を持っているが、運転する習慣がないから」が 11.4%の順となっている。〈図表 I－21〉

〈図表 I－21〉 運転しない理由



性別にみると、「もともと運転免許証を持っていないから」は女性が男性を大きく上回っている。「運転免許証を持っていたが、自主返納したから」は男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「運転免許証を持っていたが、自主返納したから」は75～79歳、80～84歳の層で高くなっている。「運転免許証を持っているが、運転する習慣がないから」は60歳代で高くなっている。〈図表Ⅰ－22〉

〈図表Ⅰ－22〉 運転しない理由〔性・年齢別〕

(単位：％)

		N	慣い運 がる転 なが免 い、許 か運証 ら転を す持つ 習て	をも 持と つも てとい 運な転 い免 か許 ら証	効い運 した転 たが免 か、許 ら更証 新を せ持つ ずつ 失て	たい運 かた転 らが免 、許 自証 主を 返持 納つ して	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体		919	11.4	53.9	6.3	22.0	3.5	0.3	2.6
性別	男 性	255	13.7	▲24.7	○11.0	○40.0	○7.5	0.4	2.7
	女 性	664	10.5	○65.1	▲4.5	▲15.1	▲2.0	0.3	2.6
本人 年齢別	60～64歳	76	○36.8	44.7	5.3	▲6.6	3.9	－	2.6
	65～69歳	120	○33.3	46.7	4.2	▲6.7	5.8	0.8	2.5
	70～74歳	203	12.8	53.7	7.4	19.7	4.4	－	2.0
	75～79歳	214	▲3.3	57.0	6.5	○27.1	2.3	0.5	3.3
	80～84歳	162	▲1.9	55.6	8.0	○29.6	2.5	－	2.5
	85～89歳	104	▲1.0	62.5	2.9	28.8	3.8	－	1.0
	90歳以上	40	－	47.5	10.0	32.5	－	○2.5	○7.5

本人の現在の職業別にみると、「運転免許証を持っていたが、自主返納したから」は無職で高くなっている。

「運転免許証を持っているが、運転する習慣がないから」は、商工サービス業で25.8%、民間企業被用者で34.3%、パート・アルバイトで24.5%となっている。〈図表Ⅰ－23〉

〈図表Ⅰ－23〉 運転しない理由〔本人職業（現在）別〕

（単位：％）

			慣る運 が転免 ない、許 か運証 ら転を する持 るつ 習て	をも 持つと てい運 ない免 か許 ら証	効いた運 したが免 から、許 更証を 新せず 失つて	たいた運 かた転免 らが、許 自証を 主返持 納つて	そ 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体		919	11.4	53.9	6.3	22.0	3.5	0.3	2.6
本人職業 （現在） 別	自 営 者	37	(24.3)	▲29.7	8.1	27.0	8.1	-	2.7
	農 林 漁 業	0	-	-	-	-	-	-	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	31	(25.8)	▲29.0	9.7	22.6	9.7	-	3.2
	自 由 業	6	16.7	33.3	-	50.0	-	-	-
	常 雇 被 用 者	36	(33.3)	▲33.3	8.3	▲8.3	(16.7)	-	-
	公 務 員	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	民 間 企 業 被 用 者	35	(34.3)	▲31.4	8.6	8.6	(17.1)	-	-
	非 正 規 社 員	59	(23.7)	61.0	3.4	▲10.2	-	-	1.7
	派遣社員・契約社員	6	16.7	83.3	-	-	-	-	-
	パート・アルバイト	53	(24.5)	58.5	3.8	11.3	-	-	1.9
無 職	514	▲8.4	53.1	7.0	(26.1)	2.7	0.2	2.5	
	そ の 他	9	-	55.6	-	22.2	(22.2)	-	-

客観的健康状態別にみると、「運転免許証を持っているが、運転する習慣がないから」は、差し支えなし層で高くなっている。また、「運転免許証を持っていたが、自主返納したから」「運転免許証を持っていたが、更新せず失効したから」は、ほんの少し差し支えあり層で高くなっている〈図表Ⅰ－24〉

〈図表Ⅰ－24〉 運転しない理由〔客観的健康状態別〕

（単位：％）

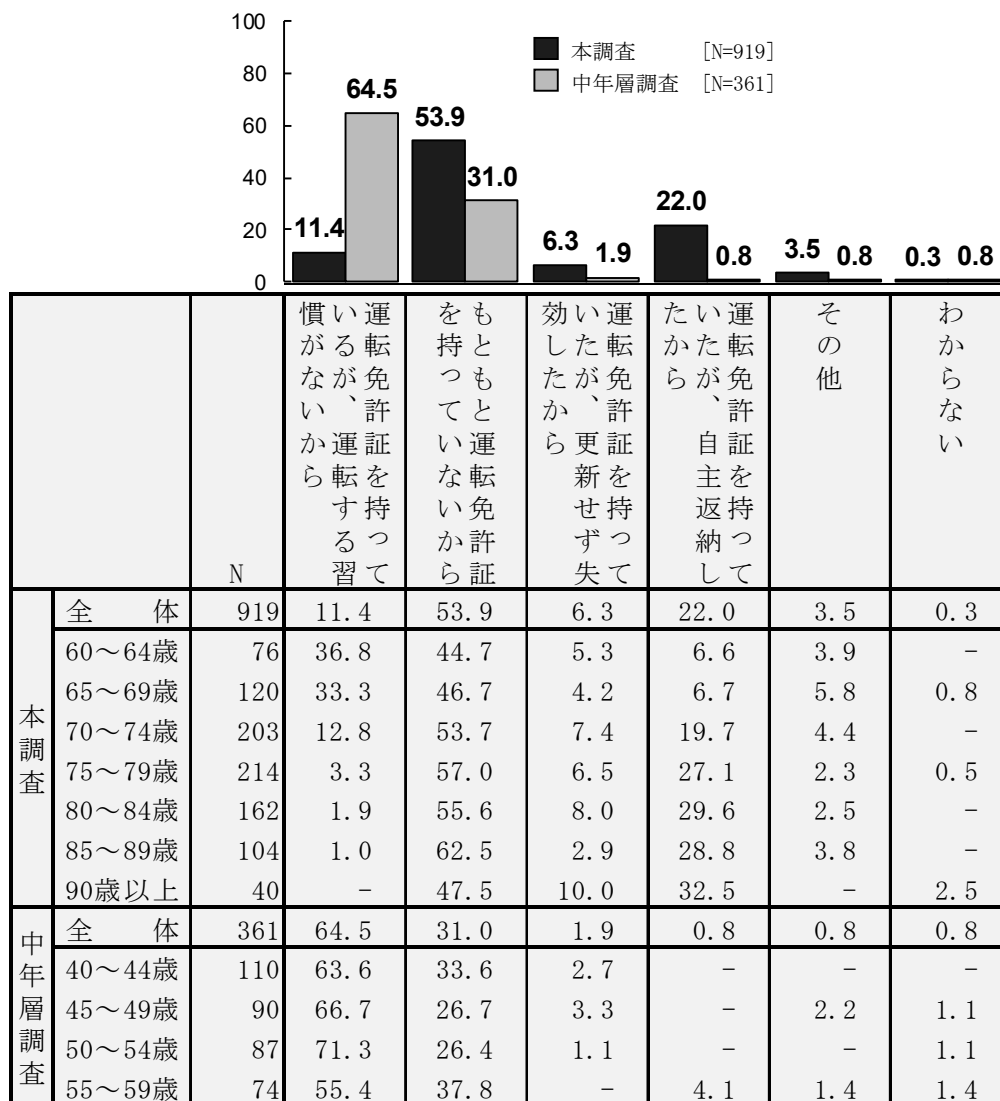
（単位：％）

			慣る運 が、免 ない、許 か運証 ら転を す持つ るつて 習て	をも 持とも てとい 運な 免か 許ら 証	効い運 した免 たが、 か、許 ら更証 新を せ持つ ずつ 失て	たい運 かた免 らが、 、許 自証 主を 返持 納つ て	そ 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体		919	11.4	53.9	6.3	22.0	3.5	0.3	2.6
客観的 健康 状態 別	差 し 支 え な し	351	15.4	56.4	▲ 3.7	▲17.4	3.1	-	4.0
	ほんの少し差し支えあり	275	12.0	▲47.3	9.1	26.2	3.3	0.4	1.8
	差 し 支 え あ り	161	7.5	55.9	6.8	24.2	4.3	-	1.2
	大 い に 差 し 支 え あ り	101	▲ 5.0	53.5	7.9	25.7	5.0	1.0	2.0

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「運転免許証を持っているが、運転する習慣がないから」は中年層の 64.5%に比べて、60 歳代以上は 11.4%と、大きく下回っている。一方、「もともと運転免許証を持っていないから」「運転免許証を持っていたが、自主返納したから」は、中年層に比べて、60 歳代以上がいずれも 20 ポイント以上と大きく上回っている。〈図表 I－25〉

〈図表 I－25〉 運転しない理由 「[中年層調査]との比較：参考」

(単位：%)



(3) 免許証の返納意向

現在、運転免許証を持っている人に、免許証の返納意向を以下のように尋ねた。

Q10SQ3 (Q10SQ1 で 1～5 または Q10SQ2 で 1 か 6 と答えた方へ)

現在、運転免許証を持っている方にお伺いします。運転免許証の自主返納について、あなたの考え方に最も近いものをこの中から 1 つだけお答えください。

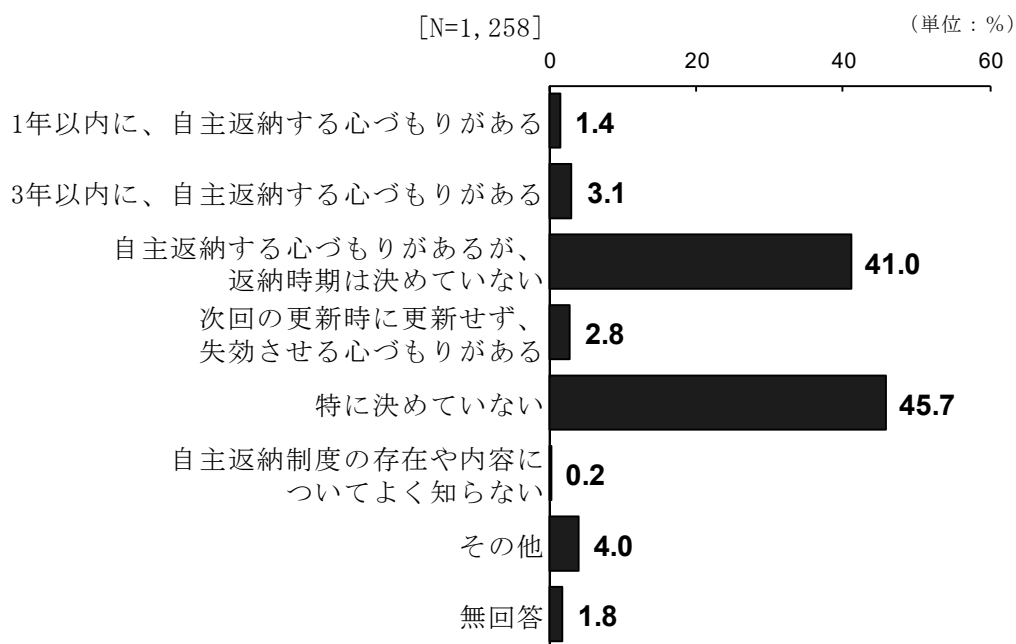
- 1 1 年以内に、自主返納する心づもりがある
- 2 3 年以内に、自主返納する心づもりがある
- 3 自主返納する心づもりがあるが、返納時期は決めていない
- 4 次回の更新時に更新せず、失効させる心づもりがある
- 5 特に決めていない
- 6 自主返納制度の存在や内容についてよく知らない
- 7 その他

免許証の返納意向については、「特に決めていない」が 45.7%と最も多い。

自主返納する心づもりがある人のうちでは「返納時期は決めていない」が 41.0%を占め、「1 年以内に」は 1.4%、「3 年以内に」は 3.1%と、期限を考えている人はわずかにとどまっている。

「次回の更新時に更新せず、失効させる心づもりがある」は 2.8%、「自主返納制度の存在や内容についてよく知らない」は 0.2%となっている。〈図表 I－26〉

〈図表 I－26〉 免許証の返納意向



性別にみると、「特に決めていない」は女性よりも男性で高くなっている。

年齢別にみると、「特に決めていない」は60歳代で高くなっている。

「自主返納する心づもりがあるが、返納時期は決めていない」は70歳代、「1年以内に、自主返納する心づもりがある」は80歳代で、それぞれ高くなっている。また、「次回の更新時に更新せず、失効させる心づもりがある」は80歳以上の層で高くなっている。〈図表Ⅰ－27〉

〈図表Ⅰ－27〉 免許証の返納意向〔性・年齢別〕

(単位：％)

		N	る納1 す年 る以 心内 づに も、 り自 が主 あ返	る納3 す年 る以 心内 づに も、 り自 が主 あ返	期り自 はが主 決あ返 める納 てがす い、る な返心 い納づ 時も	づせ次 もず、の り失更 があ効 るさ新 る更 心新	特 に 決 め て い な い	知や自 ら内主 な容返 いに納 つ制 い度 ての よ存 く在	そ の 他	無 回 答
全	体	1,258	1.4	3.1	41.0	2.8	45.7	0.2	4.0	1.8
性	男	739	1.2	3.1	39.1	2.6	49.7	－	3.5	▲ 0.8
別	女	519	1.7	3.1	43.7	3.1	▲ 40.1	0.4	4.6	3.3
本	60～64歳	303	－	－	▲ 31.7	▲ 0.3	59.7	0.3	5.3	2.6
人	65～69歳	326	0.9	1.8	37.7	1.8	52.8	－	4.0	0.9
年	70～74歳	317	1.9	3.2	46.4	3.5	▲ 39.7	－	3.8	1.6
齢	75～79歳	199	1.5	6.5	50.8	3.0	▲ 32.2	0.5	3.0	2.5
別	80～84歳	81	4.9	6.2	48.1	8.6	▲ 27.2	－	3.7	1.2
	85～89歳	26	7.7	15.4	38.5	11.5	26.9	－	－	－
	90歳以上	6	－	16.7	－	16.7	50.0	－	－	16.7

本人の現在の職業別にみると、「特に決めていない」は民間企業被用者で高くなっている。

「自主返納する心づもりがあるが、返納時期は決めていない」は自営者の商工サービス業、無職で、「次回の更新時に更新せず、失効させる心づもりがある」は無職で、それぞれ高くなっている。
 〈図表Ⅰ－28〉

〈図表Ⅰ－28〉 免許証の返納意向〔本人職業（現在）別〕

（単位：％）

			る納1 す年 る以 心内 づに も り自 が主 あ返	る納3 す年 る以 心内 づに も り自 が主 あ返	期り自 はが主 決あ返 める納 てがす い、る な返心 い納づ 時も	づせ次 もず回 り、の が失更 あ効新 るさ時 にせに る更心 新	特に 決 め て い な い	知や自 ら内主 な容返 いに納 つ制度 い度の よ存 く在	そ の 他	無 回 答
		N								
全 体		1, 258	1. 4	3. 1	41. 0	2. 8	45. 7	0. 2	4. 0	1. 8
本人職業 （現在） 別	自 営 者	151	-	1. 3	41. 7	0. 7	51. 0	-	4. 0	1. 3
	農 林 漁 業	19	-	-	▲10. 5	-	78. 9	-	10. 5	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	100	-	1. 0	51. 0	1. 0	44. 0	-	3. 0	-
	自 営 者	32	-	3. 1	31. 3	-	56. 3	-	3. 1	6. 3
	常 雇 被 用 者	198	0. 5	▲ 0. 5	▲33. 8	-	60. 1	0. 5	3. 5	1. 0
	公 務 員	36	-	-	38. 9	-	55. 6	-	2. 8	2. 8
	民 間 企 業 被 用 者	162	0. 6	0. 6	▲32. 7	-	61. 1	0. 6	3. 7	0. 6
	非 正 規 社 員	132	-	3. 0	41. 7	1. 5	47. 7	-	4. 5	1. 5
	派遣社員・契約社員	33	-	3. 0	39. 4	-	51. 5	-	6. 1	-
	パート・アルバイト	99	-	3. 0	42. 4	2. 0	46. 5	-	4. 0	2. 0
	無 職	560	1. 8	4. 1	44. 5	4. 1	▲39. 5	0. 2	4. 6	1. 3
	そ の 他	15	-	-	33. 3	6. 7	53. 3	-	6. 7	-

客観的健康状態別にみると、「3年以内に、自主返納する心づもりがある」は、大いに差し支えあり層で高くなっている。一方、「自主返納する心づもりがあるが、返納時期は決めていない」は、ほんの少し差し支えあり層で高くなっている。〈図表Ⅰ－29〉

〈図表Ⅰ－29〉 免許証の返納意向〔客観的健康状態別〕

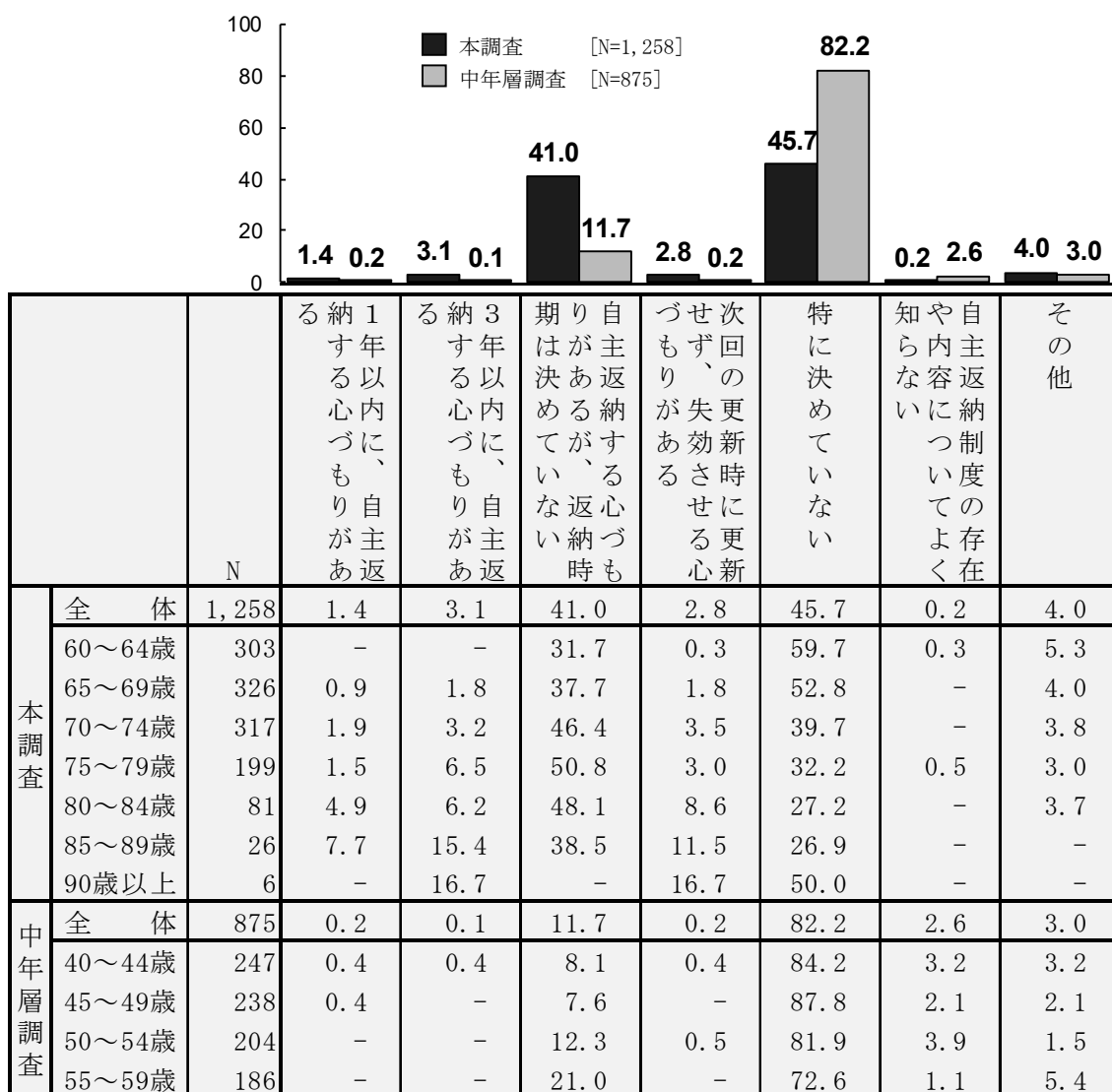
(単位：％)

		N	る納1 す年 る以 心内 づに も り自 が主 あ返	る納3 す年 る以 心内 づに も り自 が主 あ返	期り自 はが主 決あ返 める納 てがす い、る な返心 い納づ 時も	づせ次 もず回 り、の が失更 あ効新 るさ時 にせに る更心 新	特に 決 め て い な い	知や自 ら内主 な容返 いに納 つ制度 い度の よ存 く在	そ の 他	無 回 答
全 体		1,258	1.4	3.1	41.0	2.8	45.7	0.2	4.0	1.8
客観的 健康 状態 別	差 し 支 え な し	623	1.1	2.4	40.3	2.9	47.2	0.2	4.5	1.4
	ほんの少し差し支えあり	426	1.4	3.8	44.8	2.3	42.5	0.2	3.3	1.6
	差 し 支 え あ り	153	2.0	3.3	37.3	3.3	49.0	-	3.3	2.0
	大 い に 差 し 支 え あ り	27	3.7	11.1	▲22.2	3.7	48.1	-	3.7	7.4

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、中年層では「特に決めていない」が 82.2%を占めている点が、60 歳代以上と大きく異なる。中年層の自主返納する心づもりがある人のうちでは「返納時期は決めていない」が 11.7%と最も多くなっている。
 〈図表 I－30〉

〈図表 I－30〉 免許証の返納意向 「[中年層調査]」との比較：参考

(単位：%)



第II章 性格特性・生活行動・リスク意識・金融保険リテラシー

ここでは、自分自身の普段の行動、性格や考え方について、および金融・保険に関する知識について、捉えている。

1. 自身の性格特性・生活行動

(1) 自身の性格特性

Q5 まず、あなたご自身の性格や考え方についてお尋ねします。次の(1)から(10)までの言葉は、あなたご自身にどのくらい当てはまりますか。文章全体を見て、自分にどれだけ当てはまるかを評価してください。「強くそう思う」を「7」、「全く違うと思う」を「1」として、1つ選んでください。

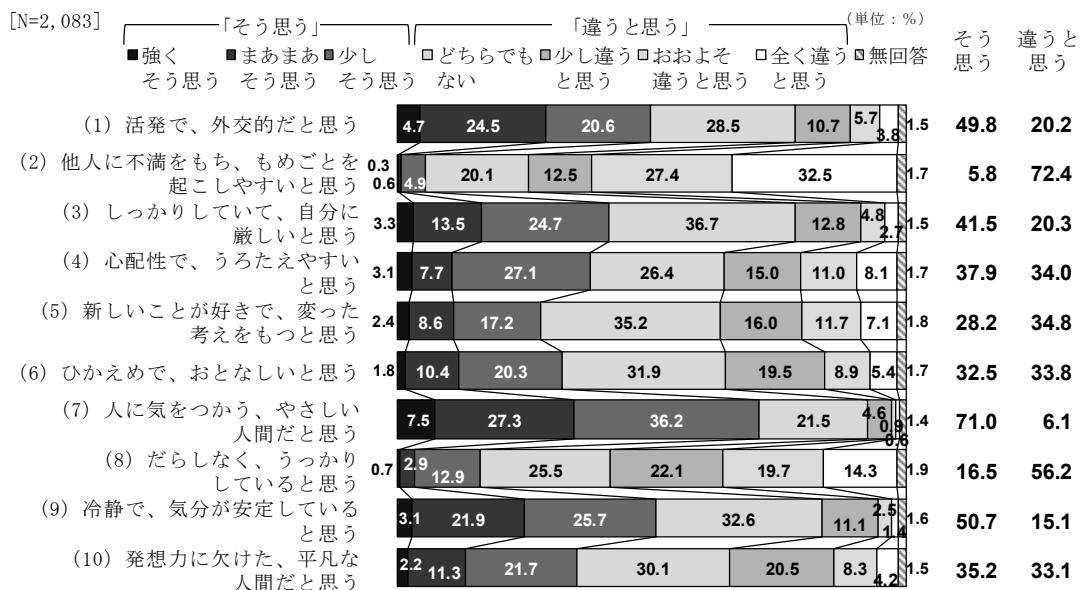
私は自分自身のことを…

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| (1) 活発で、外交的だと思う | 1 全く違うと思う |
| (2) 他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う | 2 おおよそ違うと思う |
| (3) しっかりしていて、自分に厳しいと思う | 3 少し違うと思う |
| (4) 心配性で、うろたえやすいと思う | 4 どちらでもない |
| (5) 新しいことが好きで、変った考えをもつと思う | 5 少しそう思う |
| (6) ひかえめで、おとなしいと思う | 6 まあまあそう思う |
| (7) 人に気をつかう、やさしい人間だと思う | 7 強くそう思う |
| (8) だらしくなく、うっかりしていると思う | |
| (9) 冷静で、気分が安定していると思う | |
| (10) 発想力に欠けた、平凡な人間だと思う | |

自身の性格特性について、「そう思う」（“強くそう思う” “まあまあそう思う” “少しそう思う”の回答の合計）が最も多いのは、「人に気をつかう、やさしい人間だと思う」が71.0%、次いで、「冷静で、気分が安定していると思う」が50.7%、「活発で、外交的だと思う」が49.8%の順となっている。

逆に、「違うと思う」（“全く違うと思う” “おおよそ違うと思う” “少し違うと思う”の回答の合計）が最も多いのは、「他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う」が72.4%となっている。〈図表Ⅱ-1〉

〈図表Ⅱ-1〉 自身の性格特性



自身の性格特性について「そう思う」の回答を性別にみると、「他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う」「新しいことが好きで、変った考えをもつと思う」「ひかえめで、おとなしいと思う」は、男性が女性を上回っている。一方、「心配性で、うろたえやすいと思う」「発想力に欠けた、平凡な人間だと思う」は男性より女性で高くなっている。

年齢別にみると、積極的な評価の「しっかりしていて、自分に厳しいと思う」は75～79歳、90歳以上、「冷静で、気分が安定していると思う」は90歳以上で、それぞれ高くなっている。逆に、消極的な評価の「心配性で、うろたえやすいと思う」は75～79歳、「発想力に欠けた、平凡な人間だと思う」は80～84歳で、それぞれ高くなっている。〈図表Ⅱ－2〉

〈図表Ⅱ－2〉 自身の性格特性〔性・年齢別〕 【「そう思う」の回答率】

(単位：％)

		N	(1) と活 思発 うで、 外交 的だ	(2) こち他 し、人 やもに すめ不 いご満 とを思 をも起	(3) とてし 思、つ う自か 分りに し厳て しい	(4) え心 や配 す性 いで、 と思 うう ろた	(5) もで新 つと変 い思つ こと うたが 考え好 きを
全 体		2,083	49.8	5.8	41.5	37.9	28.2
性別	男 性	964	47.6	8.5	41.7	▲31.8	33.6
	女 性	1,119	51.7	▲3.4	41.4	43.1	▲23.6
本人 年 齢 別	60～64歳	353	50.1	7.1	39.4	37.4	29.5
	65～69歳	406	48.5	6.2	▲34.5	▲33.5	28.3
	70～74歳	497	48.5	5.8	40.0	38.2	27.0
	75～79歳	407	50.6	▲3.4	46.2	42.3	26.3
	80～84歳	242	54.5	8.3	45.9	33.5	28.5
	85～89歳	132	47.0	3.8	47.0	44.7	32.6
	90歳以上	46	47.8	4.3	56.5	41.3	34.8

		N	(6) なひ しか いえ とめ 思で うお と	(7) 思や人 うさに し気い を人つ 間か だう、 と	(8) うかだ りらし しなく いく、 とう思 つ	(9) 定冷 し静 てで、 い気 と分 思が う安	(10) う平発 凡想 な力 人に 間欠 だけ とた、 思
全 体		2,083	32.5	71.0	16.5	50.7	35.2
性別	男 性	964	37.0	69.4	15.1	52.4	▲28.1
	女 性	1,119	▲28.7	72.4	17.6	49.3	41.4
本人 年 齢 別	60～64歳	353	29.7	71.4	19.8	49.0	▲27.8
	65～69歳	406	28.8	68.2	17.0	48.5	35.0
	70～74歳	497	33.6	70.8	16.3	50.7	36.0
	75～79歳	407	36.4	72.5	13.3	48.9	37.1
	80～84歳	242	31.4	72.3	14.5	53.7	42.1
	85～89歳	132	35.6	76.5	18.9	56.8	34.8
	90歳以上	46	39.1	58.7	19.6	67.4	34.8

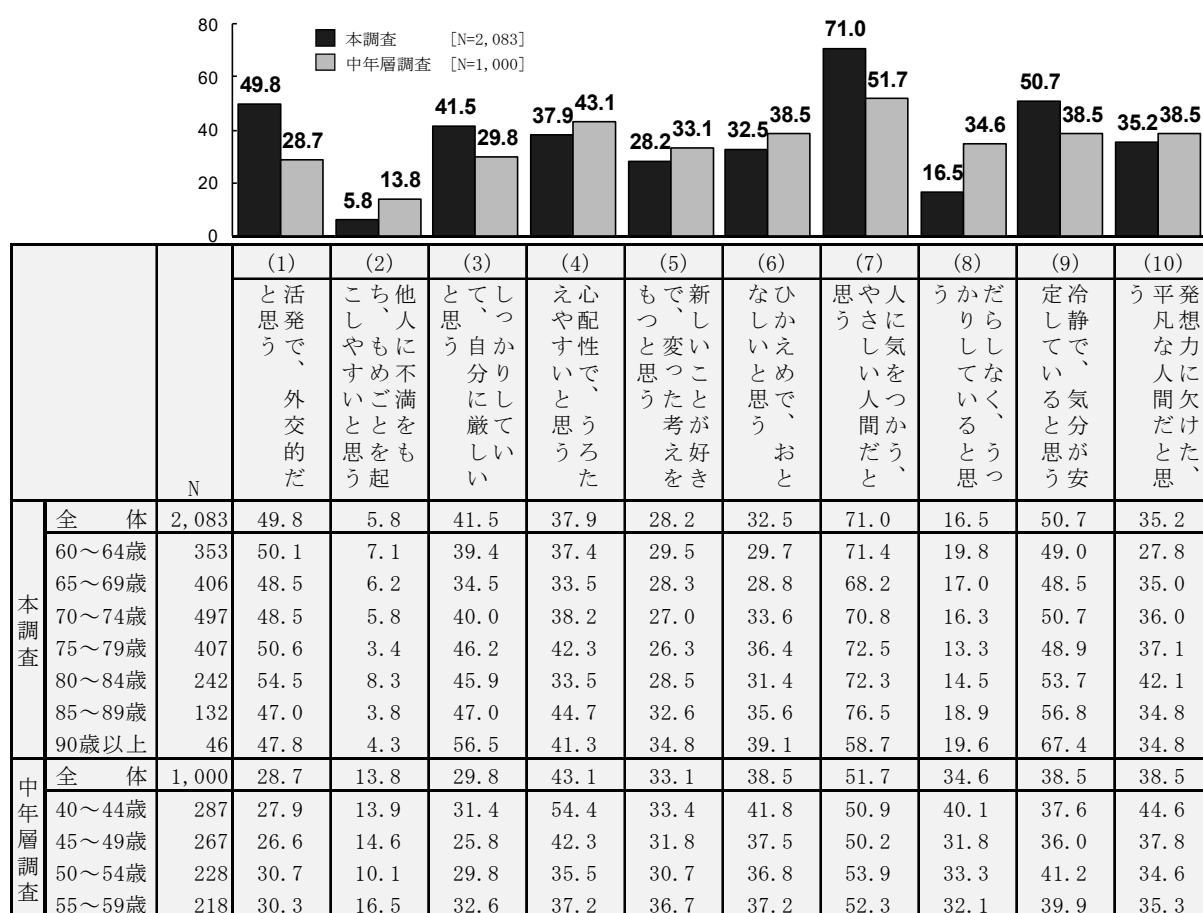
調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、積極的な評価の「活発で、外交的だと思う」「しっかりしていて、自分に厳しいと思う」「人に気をつかう、やさしい人間だと思う」「冷静で、気分が安定していると思う」は、中年層より 60 歳代以上の方がいずれも 10 ポイント以上大きく上回っている。

一方、消極的な評価の「他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う」「心配性で、うろたえやすいと思う」「ひかえめで、おとなしいと思う」「だらしなく、うっかりしていると思う」は、60 歳代以上が中年層を 5 ポイント以上、下回っている。特に開きが大きいのは「だらしなく、うっかりしていると思う」で、18.1 ポイント差となっている。

全体的に、中年層に比べると、60 歳代以上は自身の性格特性をポジティブに捉える傾向がみられる。〈図表Ⅱ－3〉

〈図表Ⅱ－3〉 自身の性格特性 「中年層調査」との比較：参考 【そう思う」の回答率】

(単位：%)



(2) 過去の生活行動（夏休みの宿題の実施時期）

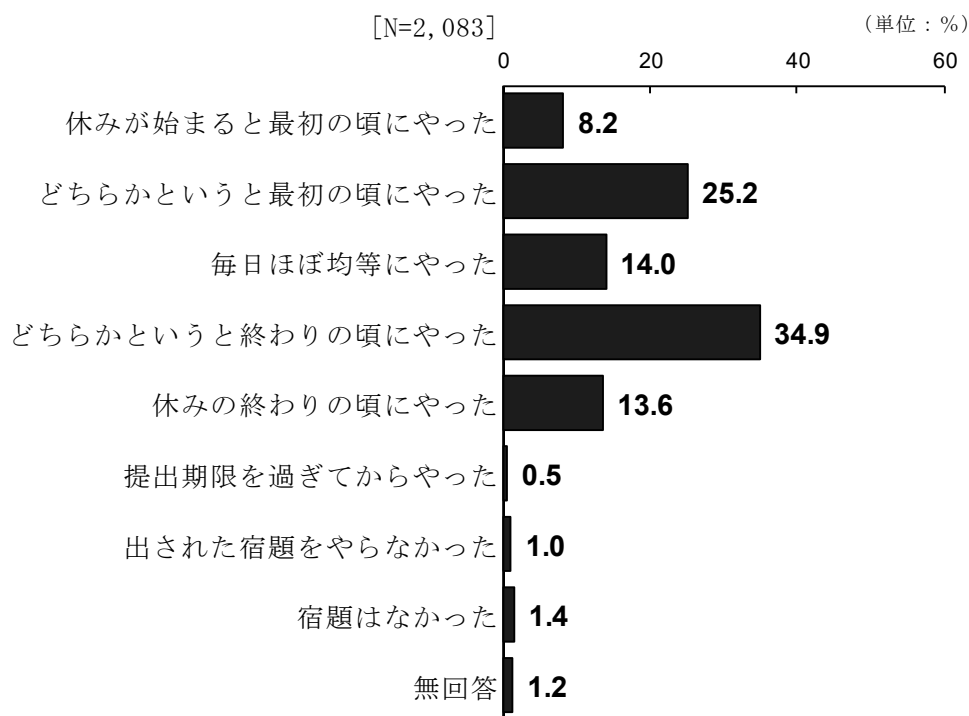
Q7 あなたの過去の経験についてお尋ねします。あなたが子どもの時、夏休みや冬休みのような長い休みに出された宿題をいつ頃やるが多かったですか。この中から1つだけお答えください。

- 1 休みが始まると最初の頃にやった
- 2 どちらかというとも最初の頃にやった
- 3 毎日ほぼ均等にやった
- 4 どちらかというとも終わりの頃にやった
- 5 休みの終わりの頃にやった
- 6 提出期限を過ぎてからやった
- 7 出された宿題をやらなかった
- 8 宿題はなかった

長い休みに出された宿題をやる時期については、「どちらかというとも終わりの頃にやった」が34.9%と最も多い。次いで、「どちらかというとも最初の頃にやった」が25.2%、「毎日ほぼ均等にやった」が14.0%、「休みの終わりの頃にやった」が13.6%と続いている。

総じて、「最初の頃に」比べて「終わりの頃に」やったという人が多い傾向となっている。（図表Ⅱ－4）

〈図表Ⅱ－4〉 過去の生活行動（夏休みの宿題の実施時期）



性別にみると、「どちらかというとも最初の頃にやった」と「毎日ほぼ均等にやった」は、男性よりも女性で高くなっている。一方、「どちらかというとも終わりの頃にやった」「休みの終わりの頃にやった」「提出期限を過ぎてからやった」は、男性の方が女性を上回っている。

女性は比較的「最初の頃に」、男性は比較的「終わりの頃に」やった、という傾向がみられる。

年齢別にみると、「毎日ほぼ均等にやった」は75～79歳で高くなっている。

「休みが始まると最初の頃にやった」は85～89歳で高く、「どちらかというとも終わりの頃にやった」は、85歳以上の層で低くなっている。

総じて、年齢層が高くなるほど、「最初の頃に」やったという傾向がみられる。〈図表Ⅱ－5〉

〈図表Ⅱ－5〉 過去の生活行動（夏休みの宿題の実施時期）〔性・年齢別〕

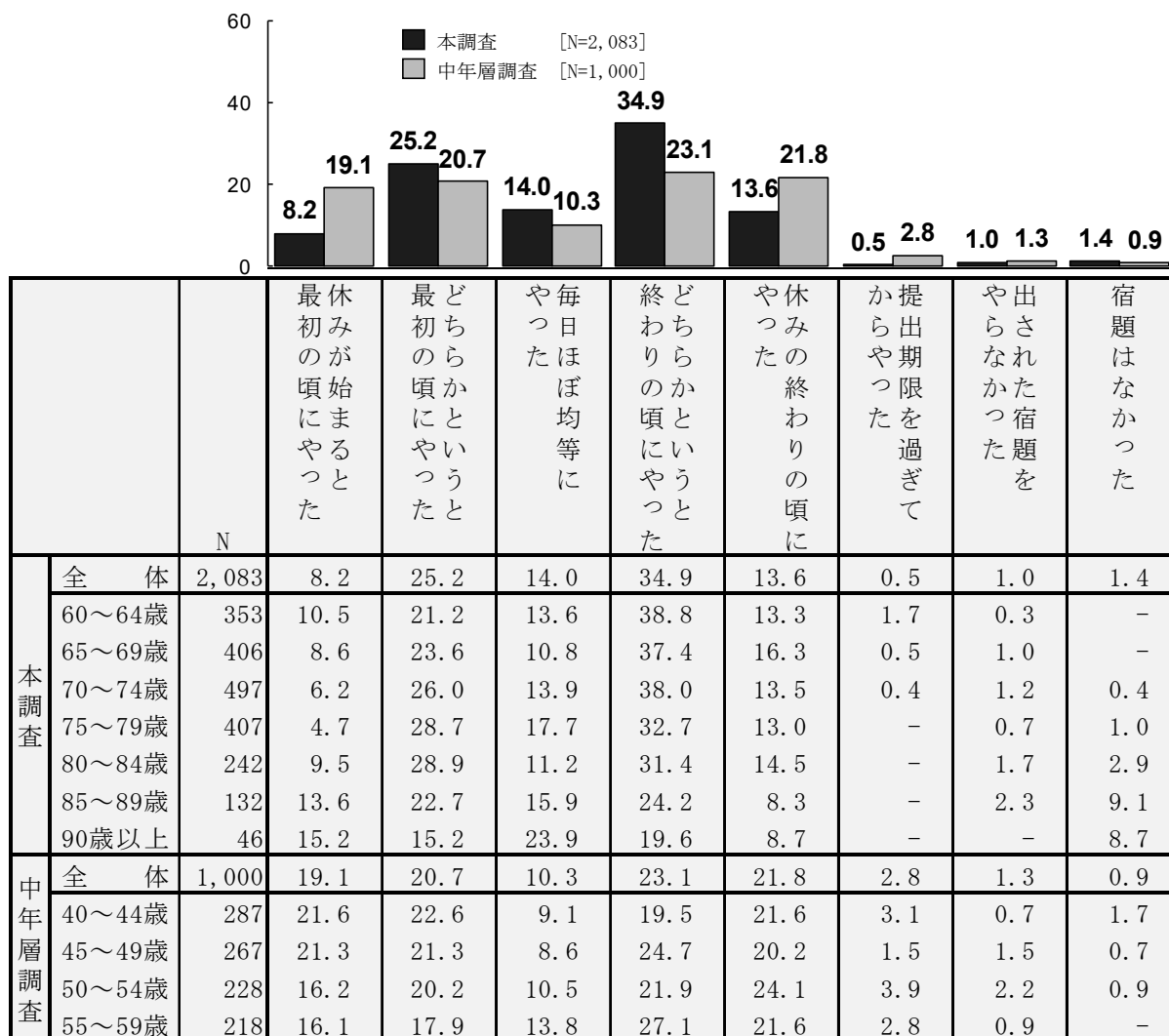
（単位：％）

		N	最初 の頃 に ま や る と た	最初 の頃 か に と や い つ う と た	毎日 た ほ ぼ 均 等 に	終わ り の 頃 に い や う と た	休 み の 終 わ り の 頃 に	提出 期 限 を 過 ぎ て	出 さ な か た 宿 題 を	宿 題 は な か つ た	無 回 答
全	体	2,083	8.2	25.2	14.0	34.9	13.6	0.5	1.0	1.4	1.2
性	男	964	7.5	▲21.2	▲9.1	37.8	19.3	0.8	1.5	1.6	1.3
別	女	1,119	8.8	28.6	18.2	▲32.5	▲8.7	▲0.2	0.6	1.3	1.2
本人 年 齢 別	60～64歳	353	10.5	21.2	13.6	38.8	13.3	1.7	0.3	－	0.6
	65～69歳	406	8.6	23.6	▲10.8	37.4	16.3	0.5	1.0	－	1.7
	70～74歳	497	6.2	26.0	13.9	38.0	13.5	0.4	1.2	▲0.4	0.4
	75～79歳	407	▲4.7	28.7	17.7	32.7	13.0	－	0.7	1.0	1.5
	80～84歳	242	9.5	28.9	11.2	31.4	14.5	－	1.7	2.9	－
	85～89歳	132	13.6	22.7	15.9	▲24.2	8.3	－	2.3	9.1	3.8
	90歳以上	46	15.2	15.2	23.9	▲19.6	8.7	－	－	8.7	8.7

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、両極となる「休みが始まると最初の頃にやった」と「休みの終わりの頃にやった」は、いずれも中年層が 60 歳代以上を大きく上回っている。一方、60 歳代以上の方が高くなっているのは「どちらかというと終わりの頃にやった」で、中年層を 11.8 ポイント上回っている。〈図表Ⅱ－6〉

〈図表Ⅱ－6〉 過去の生活行動（夏休みの宿題の実施時期） 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）



2. リスク意識

(1) 時間割引率

以下では、時間割引率（せっかちさ）を捉えるために、今すぐなら 1 万円受け取ることができ、1 年間待てば 1 万円以上受け取れる状況を想起させ、1 年後に受け取れる金額の差異からいずれを好むかを尋ねた。

Q8 あなたはお金をもらえることになりました。今すぐお金をもらうなら、1 万円受け取ることができません。1 年待ってお金をもらうなら、1 万円以上のお金を受け取ることができます。それぞれの金額の組合せについてあなたが好む方をお答えください。

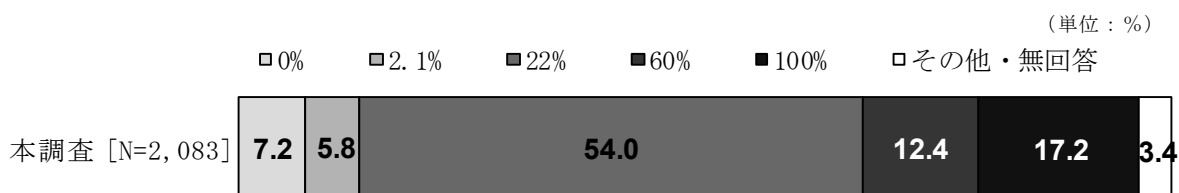
- (1) 今すぐ、10,000 円受け取るのと、1 年後、10,020 円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000 円受け取る 2 1 年後、10,020 円受け取る
- (2) それでは、今すぐ、10,000 円受け取るのと、1 年後、10,400 円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000 円受け取る 2 1 年後、10,400 円受け取る
- (3) それでは、今すぐ、10,000 円受け取るのと、1 年後、14,000 円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000 円受け取る 2 1 年後、14,000 円受け取る
- (4) それでは、今すぐ、10,000 円受け取るのと、1 年後、18,000 円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000 円受け取る 2 1 年後、18,000 円受け取る

【時間割引率】：「今日よりも将来お金を受け取る方がよい」という選択に切り替わった前後で要求する金利（＝切り替わる前後の金利の平均値）

- 1 0% … (1) ～ (4) の回答がすべて 2
- 2 2.1% (= (0.2%+4%) / 2) … (1) の回答が 1、(2) ～ (4) の回答がすべて 2
- 3 22% (= (4%+40%) / 2) … (1) ～ (2) の回答がすべて 1、(3) ～ (4) の回答がすべて 2
- 4 60% (= (40%+80%) / 2) … (1) ～ (3) の回答がすべて 1、(4) の回答が 2
- 5 100% … (1) ～ (4) の回答がすべて 1
- 6 その他・無回答 … 上記に当てはまらない回答

その結果、「22%」が 54.0%と過半数を占めている。次いで、「100%」が 17.2%、「60%」が 12.4%となっている。〈図表Ⅱ－7〉

〈図表Ⅱ－7〉 時間割引率



性別にみると、男性の方が女性に比べ時間割引率が高い（せっかちな）傾向がみられ、「100%」は女性より男性の方が 6.0 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、高年齢層ほど時間割引率が高い（せっかちな）傾向がみられ、「100%」は 80 歳以上の層でいずれも高くなっており、逆に、60 歳代ではいずれも低くなっている。〈図表Ⅱ－8〉

〈図表Ⅱ－8〉 時間割引率〔性・年齢別〕

（単位：％）

		N	0%	2.1%	22%	60%	100%	その他・無回答
全 体		2,083	7.2	5.8	54.0	12.4	17.2	3.4
性別	男 性	964	7.0	▲ 4.1	52.5	13.0	20.4	3.0
	女 性	1,119	7.5	7.1	55.3	11.9	▲ 14.4	3.8
本人年齢別	60～64歳	353	9.1	6.5	60.9	11.6	▲ 10.2	1.7
	65～69歳	406	5.4	5.7	58.4	13.5	▲ 13.8	3.2
	70～74歳	497	6.8	5.6	55.3	13.1	16.7	2.4
	75～79歳	407	6.4	6.1	50.9	13.0	18.4	5.2
	80～84歳	242	9.5	5.0	▲ 45.9	12.8	23.1	3.7
	85～89歳	132	7.6	6.1	50.0	▲ 6.8	27.3	2.3
	90歳以上	46	8.7	2.2	▲ 30.4	8.7	34.8	15.2

本人年収別にみると、特に差はみられない。〈図表Ⅱ－9〉

〈図表Ⅱ－9〉 時間割引率〔本人年収別〕

（単位：％）

		N	0%	2.1%	22%	60%	100%	その他・無回答
全 体		2,083	7.2	5.8	54.0	12.4	17.2	3.4
本人年収別	収入はな い	292	8.9	8.6	51.4	12.7	15.4	3.1
	100 万 円 未 満	435	6.0	5.5	54.9	11.5	18.6	3.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	6.9	5.5	54.5	13.5	16.7	2.9
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	7.4	5.2	61.5	▲ 5.2	17.8	3.0
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	4.0	12.0	56.0	8.0	20.0	-
	2,000 万 円 以 上	13	15.4	-	38.5	7.7	23.1	15.4

世帯保有金融資産別にみると、「2.1%」は2,000～5,000万円未満層で高くなっている。

一方、「60%」は100～1,000万円未満層で高く、2,000万円以上1億円未満の各層では低くなっている。また、「100%」は100万円未満層で高く、1,000万円以上1億円未満の各層で、低くなっている。

総じて、低資産層ほど時間割引率（せっかちさ）が高い傾向がみられる。〈図表Ⅱ－10〉

〈図表Ⅱ－10〉 時間割引率〔世帯保有金融資産別〕

（単位：％）

		N	0%	2.1%	22%	60%	100%	その他 ・ 無回答
全 体		2,083	7.2	5.8	54.0	12.4	17.2	3.4
金融資産別 世帯保有	100 万 円 未 満	303	7.9	5.6	▲43.9	13.9	26.1	2.6
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	5.9	4.4	54.5	15.4	17.6	2.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	8.4	4.4	63.0	8.8	▲12.5	2.9
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	4.6	10.3	65.9	▲7.9	▲9.9	▲1.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	6.7	8.4	69.7	▲3.4	▲8.4	3.4
	1 億 円 以 上	23	4.3	4.3	60.9	8.7	17.4	4.3

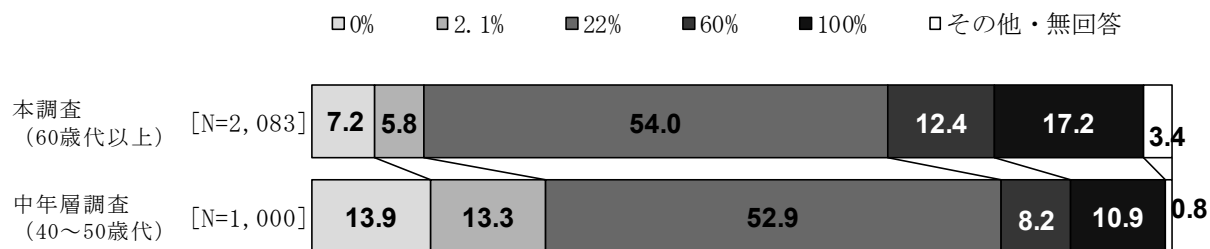
調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「22%」が最も多くを占める点は同様に、回答率も大きく変わらない。

「60%」は 60 歳代以上が 4.2 ポイント上回っており、「100%」は中年層の 10.9%を、60 歳代以上が 6.3 ポイント上回っている。逆に、「2.1%」「0%」は中年層が 60 歳代以上を上回っている。

これらのことから、中年層に比べて 60 歳代以上の方が、時間割引率（せっかちさ）が高いことがみてとれる。〈図表Ⅱ－11〉

〈図表Ⅱ－11〉 時間割引率 「中年層調査」との比較：参考]

(単位：%)



(単位：%)

		N	0%	2.1%	22%	60%	100%	その他・無回答
本調査	全 体	2,083	7.2	5.8	54.0	12.4	17.2	3.4
	60～64歳	353	9.1	6.5	60.9	11.6	10.2	1.7
	65～69歳	406	5.4	5.7	58.4	13.5	13.8	3.2
	70～74歳	497	6.8	5.6	55.3	13.1	16.7	2.4
	75～79歳	407	6.4	6.1	50.9	13.0	18.4	5.2
	80～84歳	242	9.5	5.0	45.9	12.8	23.1	3.7
	85～89歳	132	7.6	6.1	50.0	6.8	27.3	2.3
	90歳以上	46	8.7	2.2	30.4	8.7	34.8	15.2
中年層調査	全 体	1,000	13.9	13.3	52.9	8.2	10.9	0.8
	40～44歳	287	13.9	15.3	50.2	7.7	11.5	1.4
	45～49歳	267	18.7	13.9	47.6	9.4	10.1	0.4
	50～54歳	228	11.4	11.8	57.0	7.5	11.0	1.3
	55～59歳	218	10.6	11.5	58.7	8.3	11.0	—

(2) リスク回避性

「リスク回避性」を捉えるため、傘を持ち歩く降水確率について尋ねた。

Q6 あなたの普段の生活についてお尋ねします。あなたは、お出かけになるとき、天気予報の降水確率が何%以上ならば傘を持って出かけますか。

☐ ☐ ☐ %以上

0 いつも傘を持ち歩いている

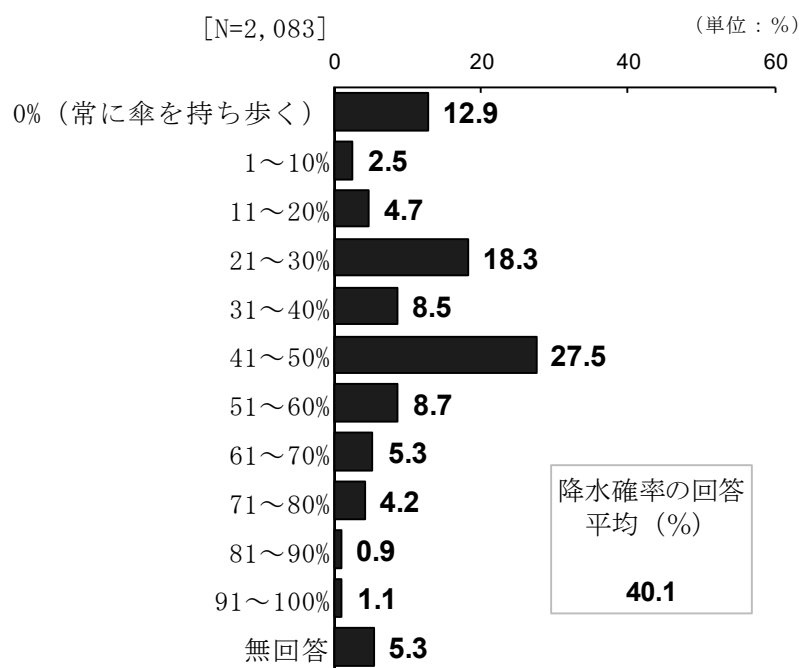
【リスク回避性】

- | | | | |
|---|--------------|----|---------|
| 1 | 0%（常に傘を持ち歩く） | 7 | 51～60% |
| 2 | 1～10% | 8 | 61～70% |
| 3 | 11～20% | 9 | 71～80% |
| 4 | 21～30% | 10 | 81～90% |
| 5 | 31～40% | 11 | 91～100% |
| 6 | 41～50% | | |

その結果、「41～50%」が 27.5%と最も多く、次いで「21～30%」18.3%の順になっている。また、「0%（常に傘を持ち歩く）」は 12.9%となっている。

降水確率からみたリスク回避性の平均は、40.1%となっている。〈図表Ⅱ－12〉

〈図表Ⅱ－12〉 リスク回避性



性別にみると、「0%（常に傘を持ち歩く）」は男性よりも女性の方が高く、一方、「51～60%」「71～80%」は男性が女性を上回っている。

降水確率からみたリスク回避性の平均は、女性が 37.9%、男性が 42.7%であり、全体的に、女性に比べて男性の方が、リスク回避性は低い傾向がみられる。

年齢別にみると、「1～10%」は、80 歳代で高くなっている。「31～40%」は 60～64 歳の層で高く、80 歳代で低くなっている。また、これらに比べてよりリスク回避性が低くなる「51～60%」は、65～69 歳で高くなっている。

降水確率からみたリスク回避性の平均は、80～84 歳が 37.4%、85～89 歳が 36.0%となっており、リスク回避性は他の年齢層に比べてやや高い傾向となっている。（図表Ⅱ－13）

〈図表Ⅱ－13〉 リスク回避性〔性・年齢別〕

（単位：％）

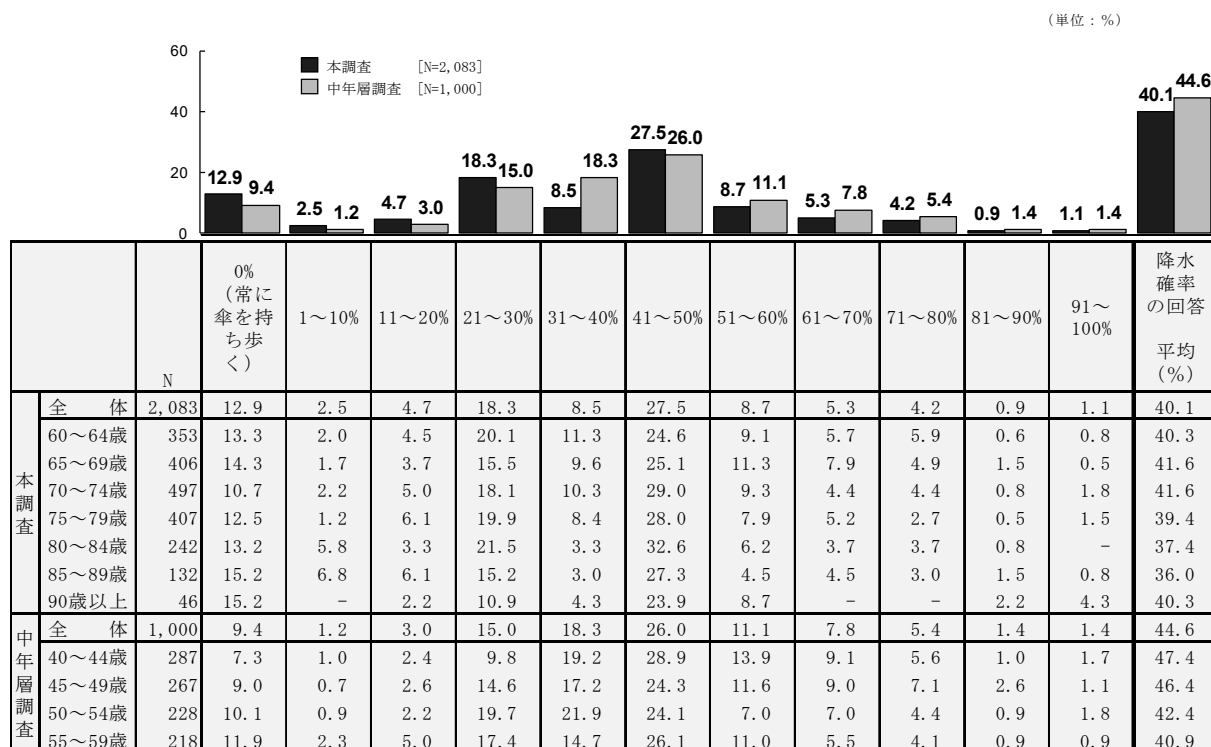
		N	0% (常に 傘を持 ち歩 く)	1～10%	11～20%	21～30%	31～40%	41～50%
全 体		2,083	12.9	2.5	4.7	18.3	8.5	27.5
性別	男 性	964	▲10.3	2.3	5.2	17.0	8.5	26.5
	女 性	1,119	○15.1	2.8	4.3	19.5	8.6	28.4
本人 年 齢 別	60～64歳	353	13.3	2.0	4.5	20.1	○11.3	24.6
	65～69歳	406	14.3	1.7	3.7	15.5	9.6	25.1
	70～74歳	497	10.7	2.2	5.0	18.1	10.3	29.0
	75～79歳	407	12.5	1.2	6.1	19.9	8.4	28.0
	80～84歳	242	13.2	○5.8	3.3	21.5	▲3.3	32.6
	85～89歳	132	15.2	○6.8	6.1	15.2	▲3.0	27.3
	90歳以上	46	15.2	－	2.2	10.9	4.3	23.9

		N	51～60%	61～70%	71～80%	81～90%	91～ 100%	無回答	降水 確率 の回答 平均 (%)
全 体		2,083	8.7	5.3	4.2	0.9	1.1	5.3	40.1
性別	男 性	964	○10.6	6.0	○5.2	1.2	1.5	5.8	42.7
	女 性	1,119	▲7.1	4.6	▲3.3	0.6	0.8	4.9	37.9
本人 年 齢 別	60～64歳	353	9.1	5.7	5.9	0.6	0.8	▲2.0	40.3
	65～69歳	406	○11.3	○7.9	4.9	1.5	0.5	3.9	41.6
	70～74歳	497	9.3	4.4	4.4	0.8	1.8	4.0	41.6
	75～79歳	407	7.9	5.2	2.7	0.5	1.5	6.1	39.4
	80～84歳	242	6.2	3.7	3.7	0.8	－	5.8	37.4
	85～89歳	132	4.5	4.5	3.0	1.5	0.8	○12.1	36.0
	90歳以上	46	8.7	－	－	2.2	○4.3	○28.3	40.3

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、降水確率からみたリスク回避性の平均は、中年層の 44.6%に比べて、60 歳代以上は 40.1%と下回っている。また、「0%（常に傘を持ち歩く）」は中年層の 9.4%に比べて、60 歳代以上は 12.9%とやや上回っている。

総じて、中年層に比べて、60 歳代以上はリスク回避性が高い傾向がみられる。〈図表Ⅱ－14〉

〈図表Ⅱ－14〉 リスク回避性 「[中年層調査]との比較：参考」



(3) 損失回避性

投資行動からみた損失回避性を捉えるため、以下のように、ある投資状況を思い浮かべて、自分ならどうしたいかについて尋ねた。

Q9 あなたは自由に使える 10 万円のお金を持っています。その 10 万円を使って金融商品に投資すると、2 万円増えて 12 万円になる可能性と 1 万円減って 9 万円になる可能性が半分ずつあります。あなたなら、10 万円を使ってこの金融商品に投資しますか。それとも、投資しないですか。この中から 1 つだけお答えください。

【損失回避性】

- 1 投資する
- 2 投資しない
- 3 どんな金融商品であっても投資しない

提示した投資状況の損失回避性については、「投資しない」が 54.9%を占め、「投資する」の 15.4%を大きく上回っている。なお、「どんな金融商品であっても投資しない」は 28.9%となっている。〈図表Ⅱ－15〉

〈図表Ⅱ－15〉 損失回避性

(単位：%)

■投資する ■投資しない □どんな金融商品であっても投資しない □無回答

本調査 [N=2, 083]	15.4	54.9	28.9	0.8
----------------	------	------	------	-----

性別にみると、「投資しない」については、大きな差はみられない。「投資する」は男性が女性を大きく上回り、逆に、「どんな金融商品であっても投資しない」は女性が男性を上回っている。

年齢別にみると、「投資しない」「投資する」ともに、特に差はみられない。「どんな金融商品であっても投資しない」は 60～64 歳の層で低くなっている。〈図表Ⅱ－16〉

〈図表Ⅱ－16〉 損失回避性 [性・年齢別]

(単位：%)

		N	投資する	投資しない	投資品 でん しあ な な い て 融 も 商	無 回 答
全 体		2, 083	15.4	54.9	28.9	0.8
性別	男 性	964	20.2	53.2	▲25.9	0.6
	女 性	1, 119	▲11.3	56.3	31.5	1.0
本人 年 齢 別	60～64歳	353	17.0	58.9	▲23.8	0.3
	65～69歳	406	17.5	51.7	29.6	1.2
	70～74歳	497	16.7	55.1	28.0	0.2
	75～79歳	407	12.8	56.0	29.2	2.0
	80～84歳	242	14.0	52.9	32.6	0.4
	85～89歳	132	10.6	56.1	33.3	—
	90歳以上	46	15.2	45.7	37.0	2.2

本人年収別にみると、「投資する」は、500～1,000 万円未満層で高くなっており、100 万円未満層では低くなっている。一方、「どんな金融商品であっても投資しない」は 500～1,000 万円未満層で低くなっている。〈図表Ⅱ－17〉

〈図表Ⅱ－17〉 損失回避性 [本人年収別]

(単位：%)

		N	投資する	投資しない	しでもない でも金融商品 投資	無回答
全 体		2,083	15.4	54.9	28.9	0.8
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	13.0	53.4	32.5	1.0
	100 万 円 未 満	435	▲12.2	58.2	29.2	0.5
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	16.0	54.4	29.0	0.7
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	25.2	54.8	▲18.5	1.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	36.0	48.0	16.0	-
	2,000 万 円 以 上	13	23.1	46.2	30.8	-

世帯保有金融資産別にみると、「投資する」は、2,000 万円以上の高資産層で高く、一方、100 万円未満層では 9.9%と低くなっている。〈図表Ⅱ－18〉

〈図表Ⅱ－18〉 損失回避性 [世帯保有金融資産別]

(単位：%)

		N	投資する	投資しない	しでもない でも金融商品 投資	無回答
全 体		2,083	15.4	54.9	28.9	0.8
金融 資産 別	100 万 円 未 満	303	▲9.9	57.4	32.3	0.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	14.6	53.7	31.3	0.4
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	15.8	54.6	28.6	1.1
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	27.5	52.0	▲20.2	0.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	22.7	51.3	25.2	0.8
	1 億 円 以 上	23	43.5	39.1	17.4	-

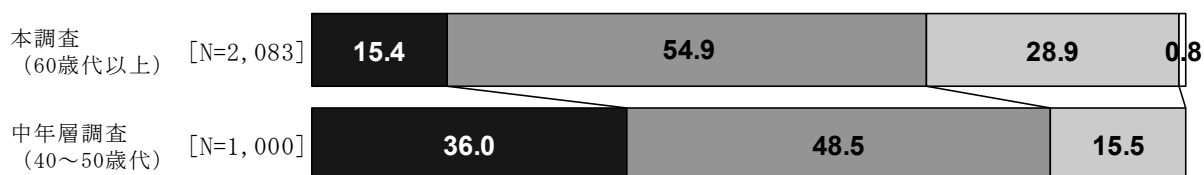
調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「投資しない」は中年層の 48.5%に比べて、60 歳代以上は 54.9%と 6.4 ポイント上回っている。「どんな金融商品であっても投資しない」も、中年層の 15.5%に比べて、60 歳代以上は 28.9%と大きく上回っている（13.4 ポイント差）。

一方、「投資する」は中年層の 36.0%に比べて、60 歳代以上は 20.6 ポイント下回っており、総じて、中年層に比べて、60 歳代以上は損失回避性が高い傾向がみられる。〈図表Ⅱ－19〉

〈図表Ⅱ－19〉 損失回避性 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）

■投資する ■投資しない □どんな金融商品であっても投資しない □無回答



（単位：％）

		N	投資する	投資しない	しでど なあん いつな て金 も融 投商 資品
本調査	全 体	2,083	15.4	54.9	28.9
	60～64歳	353	17.0	58.9	23.8
	65～69歳	406	17.5	51.7	29.6
	70～74歳	497	16.7	55.1	28.0
	75～79歳	407	12.8	56.0	29.2
	80～84歳	242	14.0	52.9	32.6
	85～89歳	132	10.6	56.1	33.3
	90歳以上	46	15.2	45.7	37.0
中年層調査	全 体	1,000	36.0	48.5	15.5
	40～44歳	287	40.1	45.3	14.6
	45～49歳	267	32.2	50.2	17.6
	50～54歳	228	36.0	49.1	14.9
	55～59歳	218	35.3	50.0	14.7

(4) リスク意識

前述のリスク回避性と損失回避性の回答結果から、「リスク意識」を以下のように設けた。

Q6 あなたの普段の生活についてお尋ねします。あなたは、お出かけになるとき、天気予報の降水確率が何%以上ならば傘を持って出かけますか。

%以上

0 いつも傘を持ち歩いている

【リスク回避性】

- | | | | |
|---|---------------|----|---------|
| 1 | 0% (常に傘を持ち歩く) | 7 | 51～60% |
| 2 | 1～10% | 8 | 61～70% |
| 3 | 11～20% | 9 | 71～80% |
| 4 | 21～30% | 10 | 81～90% |
| 5 | 31～40% | 11 | 91～100% |
| 6 | 41～50% | | |

Q9 あなたは自由に使える10万円のお金を持っているとします。その10万円を使って金融商品に投資すると、2万円増えて12万円になる可能性と1万円減って9万円になる可能性が半分ずつあります。あなたなら、10万円を使ってこの金融商品に投資しますか。それとも、投資しないですか。この中から1つだけお答えください。

【損失回避性】

- 1 投資する
- 2 投資しない
- 3 どんな金融商品であっても投資しない

【リスク意識】

※リスク回避性と損失回避性の回答結果に以下の点数を与えて、加算（数量化）＝リスク意識量とする
 [リスク回避性の回答：「61%～100%」⇒3点、「21%～60%」⇒2点、「0%～20%」⇒1点]

+

[損失回避性の回答：「投資する」⇒3点、「投資しない」⇒2点、「どんな金融商品であっても投資しない」⇒1点]

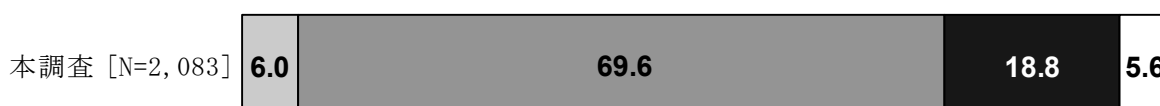
- 1 リスク積極度低…リスク意識量が2点
- 2 リスク積極度中…リスク意識量が3～4点
- 3 リスク積極度高…リスク意識量が5～6点
- 4 無回答あり…上記に当てはまらない回答

その結果、「リスク積極度中」が69.6%と圧倒的に多く、「リスク積極度高」は18.8%、「リスク積極度低」は6.0%となっている。〈図表Ⅱ－20〉

〈図表Ⅱ－20〉 リスク意識

(単位：%)

□ リスク積極度低 ■ リスク積極度中 ■ リスク積極度高 □ 無回答あり



性別にみると、「リスク積極度高」は女性より男性で高く、「リスク積極度中」「リスク積極度低」はいずれも男性より女性で高い。

年齢別にみると、「リスク積極度低」は、90 歳以上で高くなっており、「リスク積極度中」は 90 歳以上で低くなっている。〈図表Ⅱ－21〉

〈図表Ⅱ－21〉 リスク意識〔性・年齢別〕

(単位：％)

		N	リスク積極度低	リスク積極度中	リスク積極度高	無回答あり
全 体		2,083	6.0	69.6	18.8	5.6
性別	男 性	964	▲ 4.5	▲ 65.5	②4.2	5.9
	女 性	1,119	⑦7.3	⑦73.2	▲ 14.1	5.4
本人年齢別	60～64歳	353	4.0	72.2	21.8	▲ 2.0
	65～69歳	406	5.9	68.5	21.7	3.9
	70～74歳	497	▲ 3.8	72.6	19.5	4.0
	75～79歳	407	6.9	69.5	16.2	7.4
	80～84歳	242	8.7	70.7	14.5	6.2
	85～89歳	132	9.8	63.6	14.4	⑩12.1
	90歳以上	46	⑩13.0	▲ 39.1	19.6	⑩28.3

本人年収別にみると、「リスク積極度高」が 500～1,000 万円未満層で高くなっている以外は、特に差はみられない。〈図表Ⅱ－22〉

〈図表Ⅱ－22〉 リスク意識〔本人年収別〕

(単位：％)

		N	リスク積極度低	リスク積極度中	リスク積極度高	無回答あり
全 体		2,083	6.0	69.6	18.8	5.6
本人年収別	収入はなし	292	4.8	70.5	18.5	6.2
	100 万円 未 満	435	5.5	71.5	16.3	6.7
	100 ～ 500 万円 未 満	1,072	6.6	70.1	18.8	▲ 4.5
	500 ～ 1,000 万円 未 満	135	5.9	64.4	②7.4	2.2
	1,000 ～ 2,000 万円 未 満	25	－	68.0	32.0	－
	2,000 万円 以 上	13	－	76.9	7.7	15.4

世帯保有金融資産別にみると、「リスク積極度高」は2,000～5,000万円未満層で高くなっており、「リスク積極度中」は100～1,000万円未満層で高くなっている。〈図表Ⅱ－23〉

〈図表Ⅱ－23〉 リスク意識〔世帯保有金融資産別〕

(単位：％)

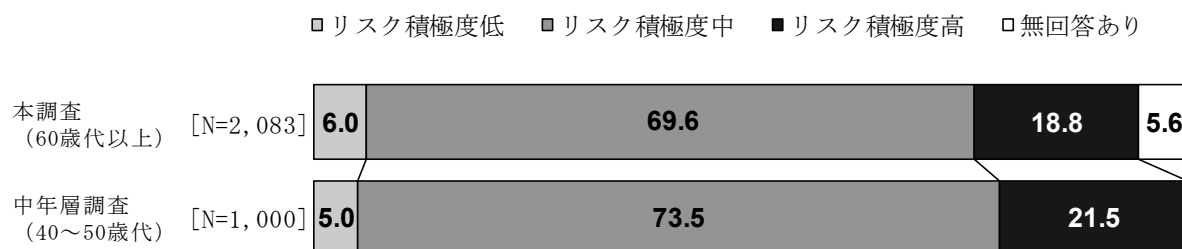
			リ ス ク 積 極 度 低	リ ス ク 積 極 度 中	リ ス ク 積 極 度 高	無 回 答 あり
		N				
全 体		2,083	6.0	69.6	18.8	5.6
金融資産別 世帯保有	100 万 円 未 満	303	6.9	67.3	19.8	5.9
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	5.7	73.2	17.5	▲ 3.6
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	6.2	73.3	16.8	3.7
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	4.0	64.9	30.1	▲ 1.0
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	7.6	68.1	21.8	2.5
	1 億 円 以 上	23	-	65.2	34.8	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「リスク積極度高」は中年層の 21.5%に比べて、60 歳代以上は 2.7 ポイント下回っている。「リスク積極度中」も中年層の 73.5%に比べて、60 歳代以上は 3.9 ポイント下回っている。

総じて、中年層に比べて、60 歳代以上はリスク積極度が低い傾向がみられる。〈図表Ⅱ－24〉

〈図表Ⅱ－24〉 リスク意識 「中年層調査」との比較：参考]

(単位：%)



(単位：%)

		N	リスク積極度低	リスク積極度中	リスク積極度高
本調査	全 体	2,083	6.0	69.6	18.8
	60～64歳	353	4.0	72.2	21.8
	65～69歳	406	5.9	68.5	21.7
	70～74歳	497	3.8	72.6	19.5
	75～79歳	407	6.9	69.5	16.2
	80～84歳	242	8.7	70.7	14.5
	85～89歳	132	9.8	63.6	14.4
	90歳以上	46	13.0	39.1	19.6
中年層調査	全 体	1,000	5.0	73.5	21.5
	40～44歳	287	4.2	75.6	20.2
	45～49歳	267	4.5	69.7	25.8
	50～54歳	228	4.8	75.4	19.7
	55～59歳	218	6.9	73.4	19.7

3. 金融・保険リテラシー

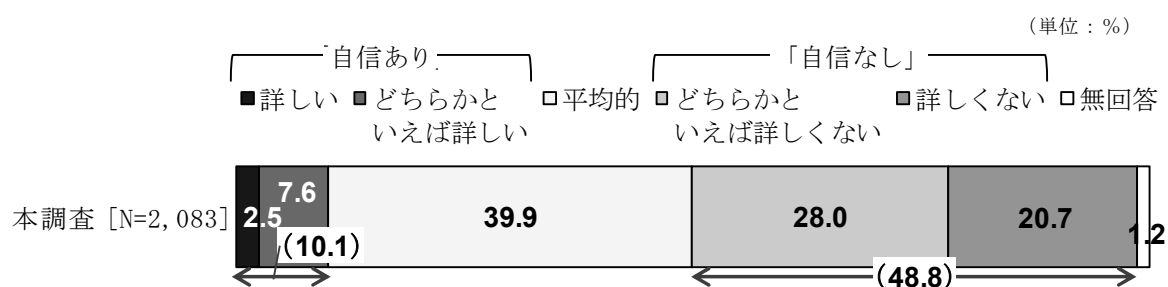
(1) 金融・保険に関する知識への自信

Q17 あなたは、他の人と比べて、金融や保険について詳しいと思いますか。

- 1 詳しい
- 2 どちらかといえば詳しい
- 3 平均的
- 4 どちらかといえば詳しくない
- 5 詳しくない

金融や保険に関する知識について、「自信あり」（「詳しい」と「どちらかといえば詳しい」の回答の合計）は 10.1%で、「自信なし」（「どちらかといえば詳しくない」と「詳しくない」の回答の合計）の 48.8%を大きく下回っている。〈図表Ⅱ－25〉

〈図表Ⅱ－25〉 金融・保険に関する知識への自信



性別にみると、「自信あり」と「平均的」は女性よりも男性の方が高く、「自信なし」は男性より女性で高くなっている。

年齢別にみると、「自信あり」は特に差はみられない。「自信なし」は 85～89 歳の層で高くなっている。また、「詳しくない」に注目すると、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表Ⅱ－26〉

〈図表Ⅱ－26〉 金融・保険に関する知識への自信〔性・年齢別〕

（単位：％）

		N	詳しい	えど ばち 詳ら しか い と い	自信 あり	平均 的	自信 なし	い えど ばち 詳ら しか く と ない	詳 し く な い	無 回 答
全 体		2, 083	2.5	7.6	10.1	39.9	48.8	28.0	20.7	1.2
性別	男 性	964	3.5	9.6	13.2	42.5	42.8	26.7	16.2	1.5
	女 性	1, 119	1.6	5.9	7.5	37.6	53.9	29.2	24.7	1.0
本人 年 齢 別	60～64歳	353	2.8	7.9	10.8	41.1	46.7	30.6	16.1	1.4
	65～69歳	406	2.7	7.6	10.3	43.1	45.3	27.3	18.0	1.2
	70～74歳	497	2.0	8.7	10.7	41.0	47.7	31.6	16.1	0.6
	75～79歳	407	2.5	7.1	9.6	40.0	49.4	26.0	23.3	1.0
	80～84歳	242	2.9	7.4	10.3	34.7	53.7	26.4	27.3	1.2
	85～89歳	132	1.5	5.3	6.8	32.6	58.3	23.5	34.8	2.3
	90歳以上	46	4.3	6.5	10.9	37.0	47.8	15.2	32.6	4.3

本人年収別にみると、「自信あり」は高収入層ほど高くなっている傾向がみられる。逆に「自信なし」は低収入層ほど高くなっている。〈図表Ⅱ－27〉

〈図表Ⅱ－27〉 金融・保険に関する知識への自信 [本人年収別]

(単位：%)

		N	詳しい	えど ばち 詳しい しか い とい	自信 あり	平均 的	自信 なし	い えど ばち 詳しい しか く と ない	詳 し く な い	無 回 答
全 体		2,083	2.5	7.6	10.1	39.9	48.8	28.0	20.7	1.2
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	1.7	▲ 3.8	▲ 5.5	▲ 33.9	58.9	28.8	30.1	1.7
	100 万 円 未 満	435	▲ 0.9	▲ 4.8	▲ 5.7	36.8	57.2	29.7	27.6	▲ 0.2
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	2.3	8.5	10.8	42.4	▲ 45.5	28.6	▲ 16.9	1.2
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	7.4	15.6	23.0	46.7	▲ 28.1	▲ 20.0	▲ 8.1	2.2
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	8.0	20.0	28.0	32.0	40.0	28.0	12.0	-
	2,000 万 円 以 上	13	15.4	15.4	30.8	53.8	▲ 15.4	15.4	-	-

世帯保有金融資産別にみると、「自信あり」は高資産層ほど高くなっている傾向がみられ、逆に、「自信なし」は100万円未満層で60.4%と最も高く、高資産層になるほど低くなっている傾向がみられる。〈図表Ⅱ－28〉

〈図表Ⅱ－28〉 金融・保険に関する知識への自信 [世帯保有金融資産別]

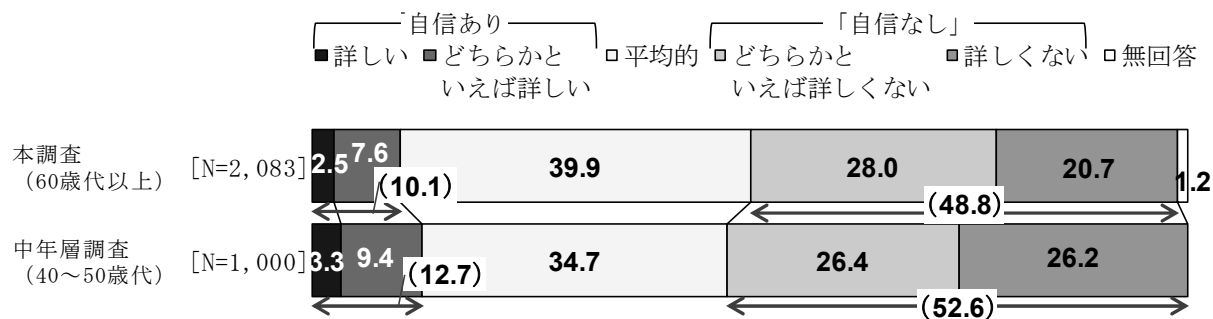
(単位：%)

		N	詳しい	えど ばち 詳しい しか い とい	自信 あり	平均 的	自信 なし	い えど ばち 詳しい しか く と ない	詳 し く な い	無 回 答
全 体		2,083	2.5	7.6	10.1	39.9	48.8	28.0	20.7	1.2
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	303	1.7	▲ 4.0	▲ 5.6	▲ 32.0	60.4	29.7	30.7	2.0
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	2.5	6.6	9.1	40.2	50.3	30.2	20.1	▲ 0.4
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	1.8	7.7	9.5	45.8	▲ 43.2	25.6	17.6	1.5
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	3.6	10.9	14.6	46.7	▲ 37.4	24.8	▲ 12.6	1.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	6.7	15.1	21.8	47.9	▲ 29.4	▲ 20.2	▲ 9.2	0.8
	1 億 円 以 上	23	8.7	26.1	34.8	43.5	▲ 21.7	17.4	4.3	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「自信あり」は中年層の 12.7%に比べて、60 歳代以上は 2.6 ポイント下回っている。一方、「自信なし」も中年層の 52.6%に比べて、60 歳代以上は 3.8 ポイント下回っている。〈図表Ⅱ－29〉

〈図表Ⅱ－29〉 金融・保険に関する知識への自信 「中年層調査」との比較：参考

(単位：％)



(単位：％)

		N	（単位：％）						
			詳しい	えど ち ら し か い と い	自信 あり	平均 的	自信 なし	いえど ち ら し か く と ない	詳 し く な い
本調査	全 体	2,083	2.5	7.6	10.1	39.9	48.8	28.0	20.7
	60～64歳	353	2.8	7.9	10.8	41.1	46.7	30.6	16.1
	65～69歳	406	2.7	7.6	10.3	43.1	45.3	27.3	18.0
	70～74歳	497	2.0	8.7	10.7	41.0	47.7	31.6	16.1
	75～79歳	407	2.5	7.1	9.6	40.0	49.4	26.0	23.3
	80～84歳	242	2.9	7.4	10.3	34.7	53.7	26.4	27.3
	85～89歳	132	1.5	5.3	6.8	32.6	58.3	23.5	34.8
	90歳以上	46	4.3	6.5	10.9	37.0	47.8	15.2	32.6
中年層調査	全 体	1,000	3.3	9.4	12.7	34.7	52.6	26.4	26.2
	40～44歳	287	2.8	10.1	12.9	30.3	56.8	27.5	29.3
	45～49歳	267	3.7	7.5	11.2	32.6	56.2	26.2	30.0
	50～54歳	228	3.1	9.2	12.3	39.9	47.8	26.3	21.5
	55～59歳	218	3.7	11.0	14.7	37.6	47.7	25.2	22.5

(2) 利息計算

Q18 あなたは、100 万円を預貯金口座に預け入れました。金利は、年率 2%だとします。また、この口座には誰もこれ以上お金を預け入れないとして、1 年後、口座の残高はいくらになっていると思いますか。次の中から、最も近いと思う金額をお答えください。

- 1 100 万円
- 2 102 万円
- 3 110 万円
- 4 その他
- 5 わからない

正答の「102 万円」が 69.6%と最も多く、抜きんでている。次いで、「100 万円」が 6.4%、「110 万円」が 0.4%と続いている。「その他」は 4.9%、「わからない」は 15.9%と 1 割台半ばに達している。〈図表Ⅱ－30〉

〈図表Ⅱ－30〉 利息計算 1

(単位：%)



性別にみると、正答の「102 万円」は女性の 64.0%に比べ、男性が 76.1%と大きく上回っている。一方、「わからない」は男性より女性の方が上回っている。

年齢別にみると、正答の「102 万円」は 60 歳代で高くなっており、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。逆に「わからない」は高年齢層ほど高くなっている。〈図表Ⅱ－31〉

〈図表Ⅱ－31〉 利息計算 1 [性・年齢別]

(単位：%)

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない	無回答
全 体		2, 083	6. 4	69. 6	0. 4	4. 9	15. 9	2. 7
性別	男 性	964	▲ 5. 1	76. 1	0. 4	4. 6	▲11. 5	2. 3
	女 性	1, 119	7. 6	▲64. 0	0. 4	5. 3	19. 7	3. 0
本人年齢別	60～64歳	353	5. 9	76. 8	0. 6	8. 2	▲ 6. 8	1. 7
	65～69歳	406	7. 1	74. 6	—	3. 9	▲12. 3	2. 0
	70～74歳	497	6. 0	72. 4	—	5. 4	14. 3	1. 8
	75～79歳	407	6. 6	▲65. 1	1. 0	4. 7	18. 2	4. 4
	80～84歳	242	7. 0	▲61. 2	1. 2	4. 1	24. 4	2. 1
	85～89歳	132	4. 5	62. 1	—	1. 5	26. 5	5. 3
	90歳以上	46	8. 7	▲45. 7	—	—	39. 1	6. 5

本人年収別にみると、正答の「102 万円」は、100 万円以上 1,000 万円未満の各層で高くなっている。一方、「わからない」は、収入はない、100 万円未満の各層で高くなっている。〈図表Ⅱ－32〉

〈図表Ⅱ－32〉 利息計算 1 [本人年収別]

(単位：％)

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない	無回答
全 体		2,083	6.4	69.6	0.4	4.9	15.9	2.7
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	9.9	▲62.7	-	4.5	21.2	1.7
	100 万 円 未 満	435	7.8	▲65.1	1.1	4.1	19.3	2.5
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	5.4	73.0	0.4	5.0	▲13.7	2.4
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	▲2.2	80.7	-	7.4	▲6.7	3.0
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	-	84.0	-	4.0	12.0	-
	2,000 万 円 以 上	13	15.4	61.5	-	15.4	-	7.7

世帯保有金融資産別にみると、正答の「102 万円」は、高資産層ほど高くなっている。一方、「わからない」は、100 万円未満層で 21.5%と最も高く、おおむね高資産層ほど低くなっている。〈図表Ⅱ－33〉

〈図表Ⅱ－33〉 利息計算 1 [世帯保有金融資産別]

(単位：％)

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない	無回答
全 体		2,083	6.4	69.6	0.4	4.9	15.9	2.7
金 融 資 産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	303	8.9	▲62.0	0.7	3.3	21.5	3.6
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	7.2	72.5	0.6	▲2.8	15.7	▲1.1
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	7.7	73.3	0.4	6.2	▲10.3	2.2
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	▲2.3	82.1	0.3	9.3	▲4.3	1.7
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	2.5	84.0	0.8	7.6	▲4.2	0.8
	1 億 円 以 上	23	4.3	91.3	-	4.3	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、正答の「102 万円」は中年層の 84.1%に比べて、60 歳代以上は大きく下回っている（14.5 ポイント差）。一方、「わからない」は、中年層に比べて、60 歳代以上が 6.3 ポイント上回っている。（図表Ⅱ－34）

〈図表Ⅱ－34〉 利息計算 1 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）



（単位：％）

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない
本調査	全 体	2,083	6.4	69.6	0.4	4.9	15.9
	60～64歳	353	5.9	76.8	0.6	8.2	6.8
	65～69歳	406	7.1	74.6	－	3.9	12.3
	70～74歳	497	6.0	72.4	－	5.4	14.3
	75～79歳	407	6.6	65.1	1.0	4.7	18.2
	80～84歳	242	7.0	61.2	1.2	4.1	24.4
	85～89歳	132	4.5	62.1	－	1.5	26.5
	90歳以上	46	8.7	45.7	－	－	39.1
中年層調査	全 体	1,000	4.2	84.1	1.0	1.1	9.6
	40～44歳	287	2.8	82.2	2.1	0.7	12.2
	45～49歳	267	4.9	84.6	0.4	0.7	9.4
	50～54歳	228	4.4	84.2	0.4	1.3	9.6
	55～59歳	218	5.0	85.8	0.9	1.8	6.4

前問で、最も近いと思う金額を答えた人（「わからない」「無回答」を除く回答者）に、5年後の口座残高を以下のように尋ねた。

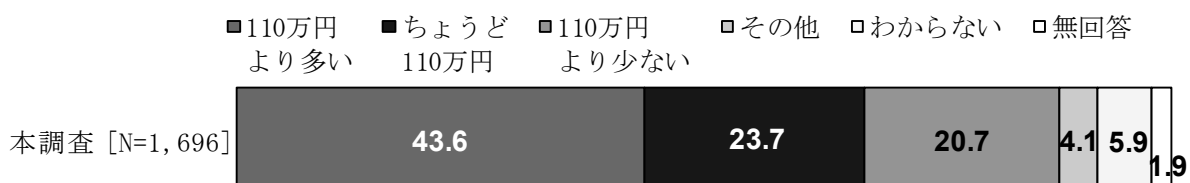
Q18SQ (Q18で1～4と答えた方へ) では、5年後には口座の残高はいくらになっていると思いますか。

- 1 110万円より多い
- 2 ちょうど110万円
- 3 110万円より少ない
- 4 その他
- 5 わからない

正答の「110万円より多い」が43.6%と最も多く、次いで、「ちょうど110万円」が23.7%、「110万円より少ない」が20.7%と続いている。〈図表Ⅱ－35〉

〈図表Ⅱ－35〉 利息計算2

(単位：%)



性別にみると、正答の「110万円より多い」は女性の36.8%に比べ、男性が50.8%と大きく上回っている。一方、「ちょうど110万円」「110万円より少ない」は男性より女性の方が上回っている。

年齢別にみると、正答の「110万円より多い」は65～69歳の層で高くなっている。「わからない」は概ね高年齢層ほど高くなっている。〈図表Ⅱ－36〉

〈図表Ⅱ－36〉 利息計算2〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	110万円 より多 い	ち ょう ど 110万円	110万円 より少 ない	その他	わ か ら な い	無回答
全 体		1,696	43.6	23.7	20.7	4.1	5.9	1.9
性別	男 性	831	50.8	▲20.1	▲18.7	4.0	4.9	1.6
	女 性	865	▲36.8	27.2	22.7	4.3	6.8	2.3
本人 年 齢 別	60～64歳	323	43.3	25.7	22.9	4.0	▲2.5	1.5
	65～69歳	348	48.9	▲19.5	23.3	3.7	4.6	—
	70～74歳	417	42.9	23.3	21.1	5.3	4.3	3.1
	75～79歳	315	41.0	25.4	18.1	4.4	8.9	2.2
	80～84歳	178	43.8	25.3	▲14.6	3.4	10.1	2.8
	85～89歳	90	38.9	26.7	23.3	1.1	8.9	1.1
	90歳以上	25	36.0	20.0	16.0	4.0	16.0	8.0

本人年収別にみると、正答の「110万円より多い」は、概ね高収入層で高く、100～1,000万円未満の各層で高く、収入はない、100万円未満の各層で低くなっている。一方、「ちょうど110万円」「わからない」は、100万円未満層で高くなっている。〈図表Ⅱ－37〉

〈図表Ⅱ－37〉 利息計算2〔本人年収別〕

(単位：％)

		N	110万円 より多 い	ちよう ど 110万円	110万円 より少 ない	その他	わから ない	無回答
全 体		1,696	43.6	23.7	20.7	4.1	5.9	1.9
本人 年 収 別	収 入 は な い	225	▲34.2	27.1	24.9	4.0	8.0	1.8
	100 万 円 未 満	340	▲35.6	27.9	21.8	3.2	8.8	2.6
	100 ～ 500 万 円 未 満	899	46.6	22.4	20.0	4.2	5.3	1.4
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	122	60.7	▲15.6	14.8	4.9	▲0.8	3.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	22	68.2	－	31.8	－	－	－
	2,000 万 円 以 上	12	16.7	33.3	41.7	8.3	－	－

世帯保有金融資産別にみると、正答の「110万円より多い」は、高資産層ほど高くなっている。〈図表Ⅱ－38〉

〈図表Ⅱ－38〉 利息計算2〔世帯保有金融資産別〕

(単位：％)

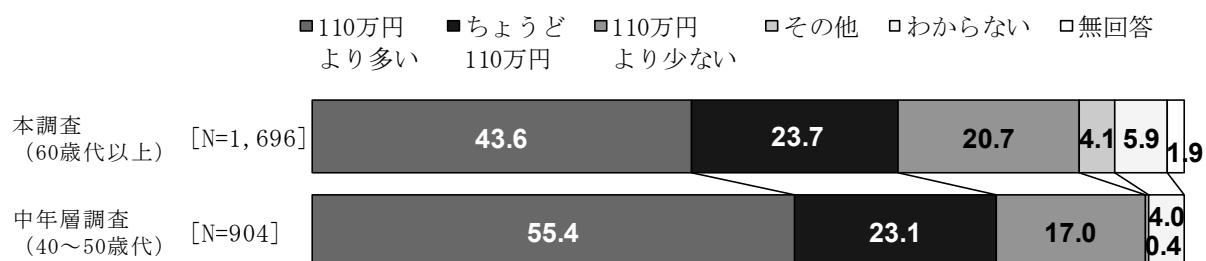
		N	110万円 より多 い	ちよう ど 110万円	110万円 より少 ない	その他	わから ない	無回答
全 体		1,696	43.6	23.7	20.7	4.1	5.9	1.9
金融 資産 別 世帯 保有	100 万 円 未 満	227	▲35.7	26.0	21.1	6.2	9.7	1.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	438	43.2	25.1	21.7	▲2.5	5.3	2.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	239	49.4	22.2	21.3	5.4	▲1.3	0.4
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	284	54.9	▲19.0	▲15.1	4.6	4.9	1.4
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	113	56.6	▲13.3	18.6	7.1	3.5	0.9
	1 億 円 以 上	23	52.2	30.4	13.0	－	－	4.3

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、正答の「110万円より多い」は中年層の55.4%に比べて、60歳代以上は大きく下回っている（11.8ポイント差）。

一方、「110万円より少ない」は、中年層に比べて、60歳代以上が3.7ポイント上回っている。「わからない」はほぼ同率で、違いはみられない。〈図表Ⅱ－39〉

〈図表Ⅱ－39〉 利息計算2 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）



（単位：％）

		N	110万円より多い	ちょうど110万円	110万円より少ない	その他	わからない
本調査	全 体	1,696	43.6	23.7	20.7	4.1	5.9
	60～64歳	323	43.3	25.7	22.9	4.0	2.5
	65～69歳	348	48.9	19.5	23.3	3.7	4.6
	70～74歳	417	42.9	23.3	21.1	5.3	4.3
	75～79歳	315	41.0	25.4	18.1	4.4	8.9
	80～84歳	178	43.8	25.3	14.6	3.4	10.1
	85～89歳	90	38.9	26.7	23.3	1.1	8.9
	90歳以上	25	36.0	20.0	16.0	4.0	16.0
中年層調査	全 体	904	55.4	23.1	17.0	0.4	4.0
	40～44歳	252	58.3	25.0	15.5	－	1.2
	45～49歳	242	48.8	24.4	19.0	1.2	6.6
	50～54歳	206	54.9	24.3	14.1	0.5	6.3
	55～59歳	204	60.3	18.1	19.6	－	2.0

(3) 金融・保険に関する知識量

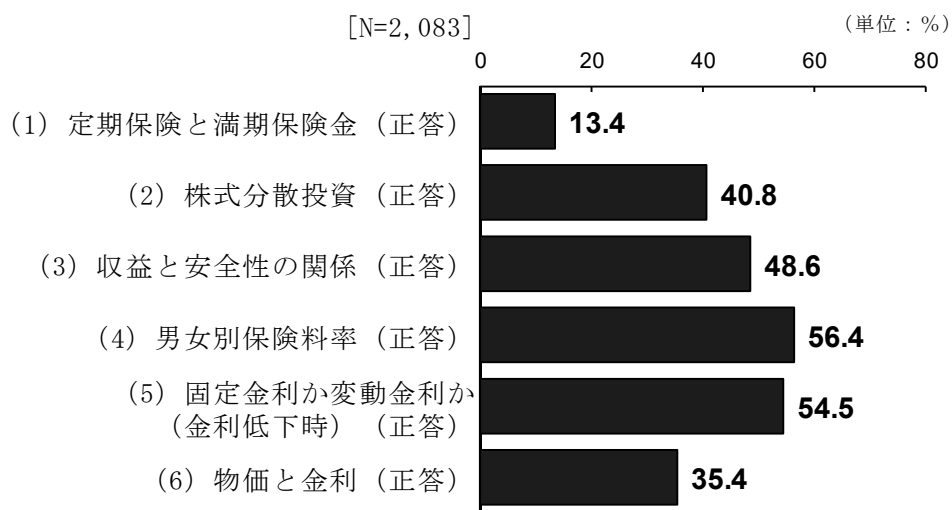
Q19 ここにあげられている保険や金融に関する説明は正しいと思いますか。それとも間違っていると思いますか。

- | | |
|---|-------------|
| | 1 正しいと思う |
| (1) 定期保険は満期時に満期保険金を受け取れる | 2 間違っていると思う |
| (2) 一般的に、多くの会社の株式を同時に保有するよりも
1社の株式だけを保有する方が投資収益は安定する | 3 わからない |
| (3) 収益率が高い金融資産は、安全性が低い傾向にある | |
| (4) 生命保険の保険料は、同じ年齢で比較すると、男女間で同じである | |
| (5) お金を預ける場合、金利が下がり続けているときは固定金利の商品が望ましい | |
| (6) 物価上昇率が高い時期は金利が高くなる | |

保険や金融に関する説明の正答率は、「男女別保険料率（同年齢で同じは<誤答>）」56.4%、「固定金利か変動金利か（金利低下時は固定金利の商品が望ましいは<正答>）」54.5%が5割台となっている。次いで、「収益と安全性の関係（収益率が高ければ安全性は低いは<正答>）」48.6%、「株式分散投資（1社保有の方が収益は安定するは<誤答>）」40.8%、「物価と金利（物価上昇率が高い時期は金利も高いは<正答>）」35.4%が続いている。

最も低いのは「定期保険と満期保険金（満期時に満期保険金を受け取れるは<誤答>）」13.4%で、1割超にとどまっている。（図表Ⅱ－40）

〈図表Ⅱ－40〉 金融・保険に関する知識量 【正答率】



性別にみると、「男女別保険料率（同年齢で同じは<誤答>）」は、特に差がみられないものの、他の5つの正答については、いずれも女性より男性で高くなっている。

年齢別にみると、「男女別保険料率（同年齢で同じは<誤答>）」は60歳代で高くなっており、高年齢層ほど概ね低くなっている傾向がみられる。

「株式分散投資（1社保有の方が収益は安定するは<誤答>）」も60～64歳で55.0%と高く、高年齢層ほど低くなっている。

「収益と安全性の関係（収益率が高ければ安全性は低いは<正答>）」「物価と金利（物価上昇率が高い時期は金利も高い<正答>）」は、60～64歳で高くなっている。

「固定金利か変動金利か（金利低下時は固定金利の商品が望ましいは<正答>）」と、正答率が最も低い「定期保険と満期保険金（満期時に満期保険金を受け取れるは<誤答>）」は、60歳代で高くなっている。（図表Ⅱ－41）

〈図表Ⅱ－41〉 金融・保険に関する知識量〔性・年齢別〕 【正答率】

（単位：％）

			(1) (満期保険金と 正答)	(2) (株式分散投資 正答)	(3) (収益と安全性 正答)	(4) (男女別保険料率 正答)	(5) (固定金利か 変動金利 正答)	(6) (物価と金利 正答)
		N						
全 体		2,083	13.4	40.8	48.6	56.4	54.5	35.4
性別	男 性	964	16.4	50.2	57.8	57.8	61.0	45.3
	女 性	1,119	▲10.9	▲32.6	▲40.7	55.1	▲48.9	▲26.8
本人 年齢別	60～64歳	353	20.1	55.0	54.7	70.5	60.6	42.2
	65～69歳	406	18.0	47.0	52.5	70.4	59.9	39.2
	70～74歳	497	12.7	45.3	50.7	59.0	56.5	36.6
	75～79歳	407	▲8.8	▲31.9	45.5	▲51.1	▲49.4	▲31.0
	80～84歳	242	9.9	▲26.9	▲40.5	▲33.5	48.8	▲26.9
	85～89歳	132	9.8	▲25.8	40.9	▲35.6	▲43.9	29.5
	90歳以上	46	—	▲21.7	37.0	▲21.7	43.5	37.0

本人年収別にみると、正答率が最も低い「定期保険と満期保険金（満期時に満期保険金を受け取れるは<誤答>）」は、100～500万円未満層で高く、収入はない、100万円未満の各層で低くなっている。

他の5つの正答についても、100～1,000万円未満の各層で高く、収入はない、100万円未満の層で低くなっているという傾向がみられる。〈図表Ⅱ－42〉

〈図表Ⅱ－42〉 金融・保険に関する知識量〔本人年収別〕 【正答率】

（単位：％）

			(1) (正答) 満期保険金と	(2) (正答) 株式分散投資	(3) (正答) の収益と安全性	(4) (正答) 男女別保険料率	(5) (正答) か固定金利低下時	(6) (正答) 物価と金利
		N						
全 体		2,083	13.4	40.8	48.6	56.4	54.5	35.4
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	▲ 8.9	▲27.4	▲34.2	▲50.3	▲42.1	▲25.3
	100 万 円 未 満	435	▲10.3	▲30.6	▲41.8	52.6	▲47.4	▲28.3
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	15.0	45.2	53.1	59.3	59.1	37.8
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	18.5	70.4	68.1	66.7	77.0	57.0
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	24.0	76.0	80.0	68.0	72.0	52.0
	2,000 万 円 以 上	13	7.7	46.2	61.5	69.2	69.2	69.2

世帯保有金融資産別にみると、正答率が最も低い「定期保険と満期保険金（満期時に満期保険金を受け取れるは<誤答>）」は、5,000 万円～1 億円未満層、1,000～2,000 万円未満層で高く、100 万円未満層で低くなっている。

「株式分散投資（1 社保有の方が収益は安定するは<誤答>）」「収益と安全性の関係（収益率が高ければ安全性は低いは<正答>）」「男女別保険料率（同年齢で同じは<誤答>）」「固定金利か変動金利か（金利低下時は固定金利の商品が望ましいは<正答>）」は、いずれも高資産層ほど高くなっている。

「物価と金利（物価上昇率が高い時期は金利も高いは<正答>）」は、1,000 万円以上の各層で、高くなっている。〈図表Ⅱ－43〉

〈図表Ⅱ－43〉 金融・保険に関する知識量〔世帯保有金融資産別〕 【正答率】

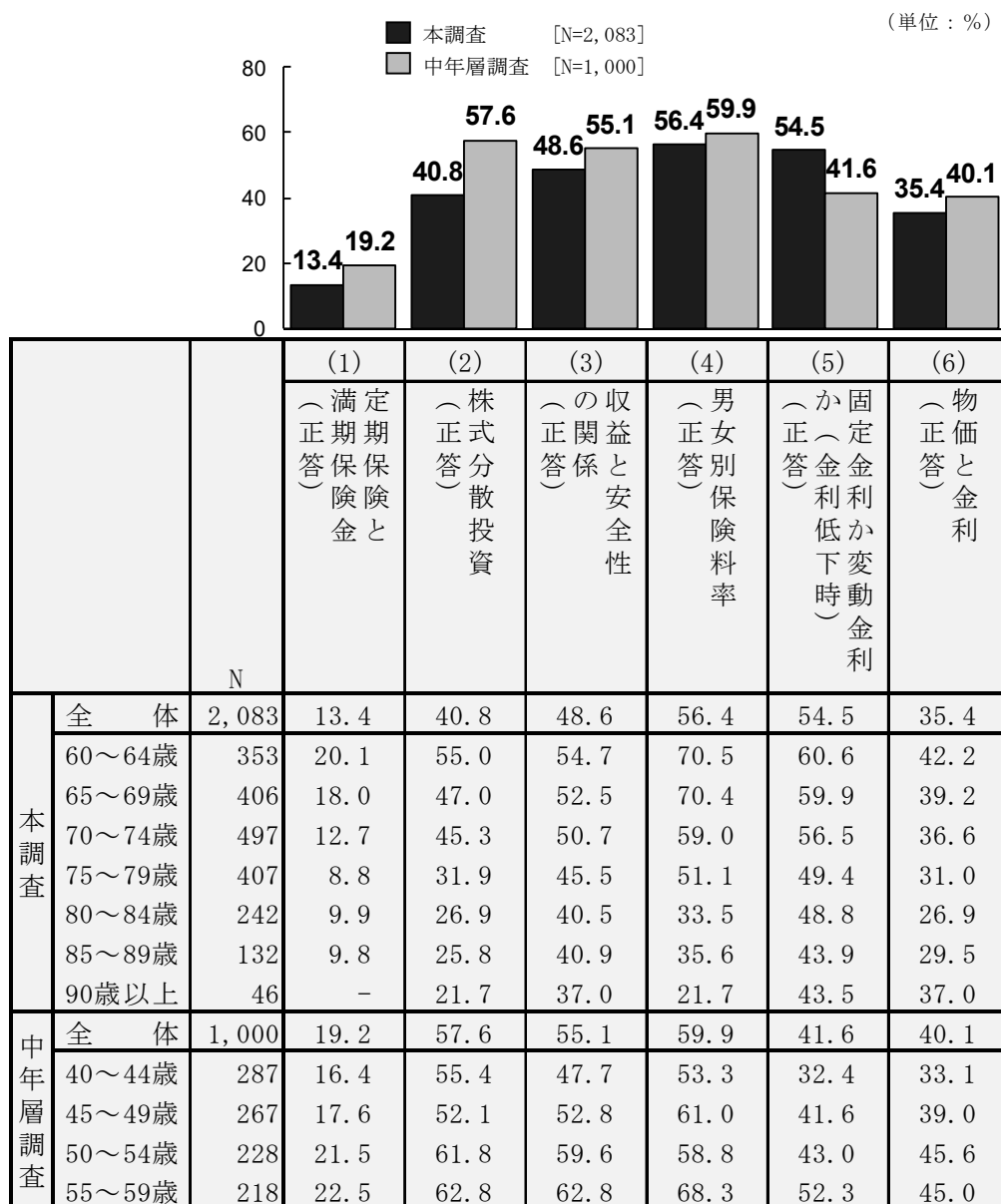
（単位：％）

			(1) （満定期 正答） 定期保 險金と 險金	(2) （株式分 正答） 散投 資	(3) （の収益 正答） と安 全性	(4) （男女別 正答） 保 険料 率	(5) （か固定 正答） 金利 低下 時） 変動 金利	(6) （物価と 正答） 金利
		N						
全 体		2,083	13.4	40.8	48.6	56.4	54.5	35.4
金融資産別 世帯保有	100 万円 未 満	303	▲9.2	▲29.4	▲37.3	▲47.2	▲38.9	30.7
	100 ～ 1,000 万円 未 満	527	12.3	▲36.8	51.0	⑥1.9	⑤8.6	35.3
	1,000 ～ 2,000 万円 未 満	273	①8.3	⑤0.5	⑤7.5	⑥4.5	⑥1.5	④4.0
	2,000 ～ 5,000 万円 未 満	302	13.6	⑥0.9	⑥6.6	⑥7.2	⑥9.5	④6.7
	5,000 万円 ～ 1 億 円 未 満	119	②1.0	⑥8.1	⑦0.6	⑥9.7	⑦9.8	④7.9
	1 億 円 以 上	23	26.1	⑧2.6	⑧7.0	⑧7.0	73.9	⑥5.2

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「固定金利か変動金利か（金利低下時は固定金利の商品が望ましいは<正答>）」は、中年層の 41.6%に比べて 60 歳代以上が大きく上回っている（12.9 ポイント差）。

他の 5 つの正答については、いずれも中年層の方が上回っており、最も開きが大きいのは「株式分散投資（1 社保有の方が収益は安定するは<誤答>）」の 16.8 ポイント差となっている。〈図表Ⅱ－44〉

〈図表Ⅱ－44〉 金融・保険に関する知識量 「中年層調査」との比較：参考 【正答率】



前述の保険や金融に関する説明の正答率の回答結果（正答数）から、以下のように「金融・保険知識量」を設けた。

Q19 ここにあげられている保険や金融に関する説明は正しいと思いますか。それとも間違っていると思いますか。

- | | |
|---|-------------|
| | 1 正しいと思う |
| (1) 定期保険は満期時に満期保険金を受け取れる | 2 間違っていると思う |
| (2) 一般的に、多くの会社の株式を同時に保有するよりも
1社の株式だけを保有する方が投資収益は安定する | 3 わからない |
| (3) 収益率が高い金融資産は、安全性が低い傾向にある | |
| (4) 生命保険の保険料は、同じ年齢で比較すると、男女間で同じである | |
| (5) お金を預ける場合、金利が下がり続けているときは固定金利の商品が望ましい | |
| (6) 物価上昇率が高い時期は金利が高くなる | |

【金融・保険知識量】

※保険や金融に関する説明の正答率の回答結果から、正答数ごとに以下の区分を行う

- 1 リテラシー高…正答数が5～6
- 2 リテラシー中…正答数が2～4
- 3 リテラシー低…正答数が0～1
- 4 無回答あり…上記に当てはまらない回答

その結果、「リテラシー中」が49.4%と最も多く、次いで「リテラシー低」が29.5%、「リテラシー高」が15.9%となっている。〈図表Ⅱ－45〉

〈図表Ⅱ－45〉 金融・保険に関する知識量 【金融・保険知識量】

（単位：％）

	■ リテラシー高	■ リテラシー中	□ リテラシー低	□ 無回答あり
本調査 [N=2, 083]	15.9	49.4	29.5	5.1

性別にみると、「リテラシー高」は男性が女性を大きく上回っている。逆に、「リテラシー低」は女性が男性を大きく上回っている。

年齢別にみると、「リテラシー高」は60～64歳で24.4%と最も高く、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。逆に「リテラシー低」は高年齢層ほど高く、80歳以上では4割を超えている。〈図表Ⅱ－46〉

〈図表Ⅱ－46〉 金融・保険に関する知識量〔性・年齢別〕 【金融・保険知識量】

(単位：％)

		N	リ テ ラ シ ー 高	リ テ ラ シ ー 中	リ テ ラ シ ー 低	無 回 答 あ り
全 体		2,083	15.9	49.4	29.5	5.1
性 別	男 性	964	22.8	49.9	▲24.1	▲3.2
	女 性	1,119	▲10.0	49.1	34.2	6.7
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	24.4	52.7	▲18.4	4.5
	65～69歳	406	21.2	52.7	▲22.7	3.4
	70～74歳	497	17.3	50.9	26.8	5.0
	75～79歳	407	▲10.3	48.2	35.4	6.1
	80～84歳	242	▲6.2	47.1	42.1	4.5
	85～89歳	132	▲9.8	▲38.6	43.9	7.6
	90歳以上	46	8.7	▲34.8	45.7	10.9

本人年収別にみると、「リテラシー高」は高収入層ほど高くなる傾向がみられ、収入はない、100万円未満の各層では低くなっている。一方、「リテラシー低」は低収入層ほど高くなっている。〈図表Ⅱ－47〉

〈図表Ⅱ－47〉 金融・保険に関する知識量〔本人年収別〕 【金融・保険知識量】

(単位：％)

		N	リ テ ラ シ ー 高	リ テ ラ シ ー 中	リ テ ラ シ ー 低	無 回 答 あ り
全 体		2,083	15.9	49.4	29.5	5.1
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	▲ 7.9	▲ 42.1	④ 44.2	5.8
	100 万 円 未 満	435	▲ 8.7	50.1	③ 36.8	4.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	① 18.5	⑤ 52.1	▲ 25.1	4.4
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	③ 34.8	51.1	▲ 10.4	3.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	④ 40.0	48.0	12.0	－
	2,000 万 円 以 上	13	23.1	61.5	7.7	7.7

世帯保有金融資産別にみると、「リテラシー高」は高資産層ほど高くなっている。一方、「リテラシー低」は低資産層ほど高くなっている。

「リテラシー中」は、100万円未満層で低く、100～1,000万円未満、2,000～5,000万円未満、5,000万円～1億円未満の各層で高くなっている。〈図表Ⅱ－48〉

〈図表Ⅱ－48〉 金融・保険に関する知識量〔世帯保有金融資産別〕 【金融・保険知識量】

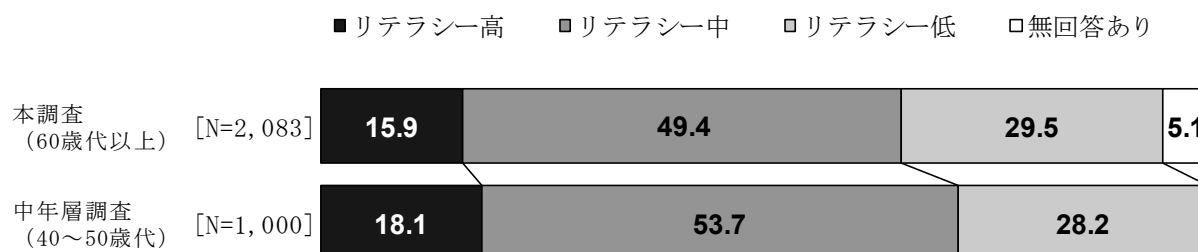
(単位：％)

		N	リ テ ラ シ ー 高	リ テ ラ シ ー 中	リ テ ラ シ ー 低	無 回 答 あ り
全 体		2,083	15.9	49.4	29.5	5.1
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	303	▲ 9.9	▲ 42.2	④ 44.9	3.0
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	14.8	⑤ 54.8	26.9	▲ 3.4
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	② 21.2	53.8	▲ 21.2	3.7
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	③ 25.2	⑤ 59.3	▲ 13.2	▲ 2.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	③ 28.6	⑥ 60.5	▲ 8.4	2.5
	1 億 円 以 上	23	③ 39.1	60.9	－	－

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「リテラシー高」と「リテラシー低」については、中年層と 60 歳代以上で大きな違いはみられない。一方、「リテラシー中」は中年層の 53.7%に比べて、60 歳代以上は 49.4%と 4.3 ポイント下回っている。
 〈図表Ⅱ－49〉

〈図表Ⅱ－49〉 金融・保険に関する知識量 「中年層調査」との比較：参考 【金融・保険知識量】

(単位：％)



(単位：％)

		N	リテラシー高	リテラシー中	リテラシー低
本調査	全 体	2,083	15.9	49.4	29.5
	60～64歳	353	24.4	52.7	18.4
	65～69歳	406	21.2	52.7	22.7
	70～74歳	497	17.3	50.9	26.8
	75～79歳	407	10.3	48.2	35.4
	80～84歳	242	6.2	47.1	42.1
	85～89歳	132	9.8	38.6	43.9
	90歳以上	46	8.7	34.8	45.7
中年層調査	全 体	1,000	18.1	53.7	28.2
	40～44歳	287	12.9	50.5	36.6
	45～49歳	267	17.3	54.9	27.8
	50～54歳	228	22.4	49.6	28.1
	55～59歳	218	21.6	60.6	17.9

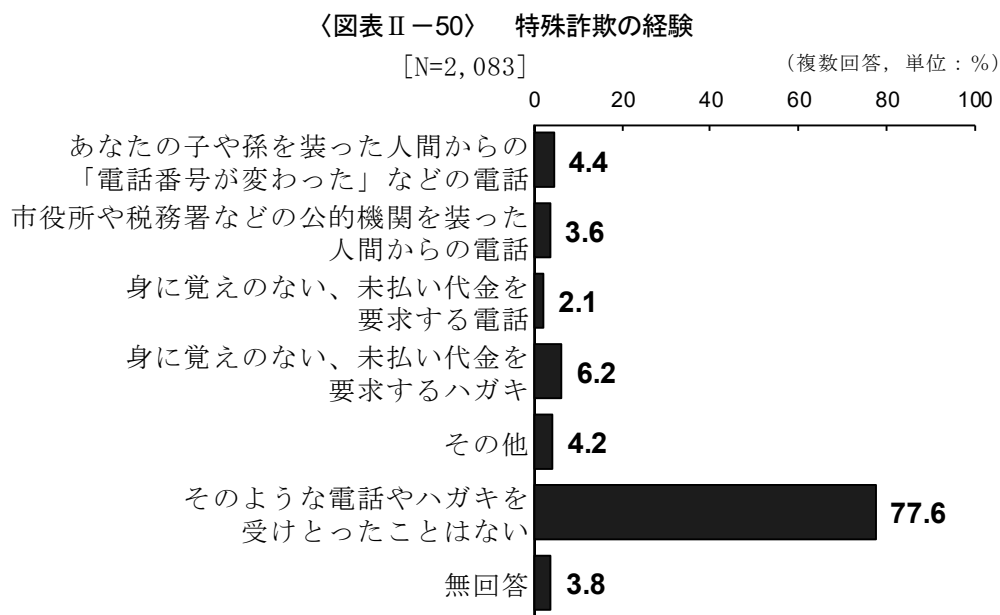
4. 特殊詐欺への対応

(1) 特殊詐欺の経験

- Q11 あなたは、過去 1 年間に、次のような詐欺の電話やハガキを受けとったことはありますか。この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)
- 1 あなたの子や孫を装った人間からの「電話番号が変わった」「鞆をなくした」などの電話
 - 2 市役所や税務署などの公的機関を装った人間からの「税金や医療費が還付される」などの電話
 - 3 身に覚えのない、未払い代金を要求する電話
 - 4 身に覚えのない、未払い代金を要求するハガキ
 - 5 その他
 - 6 そのような電話やハガキを受けとったことはない

特殊詐欺の経験としては、「そのような電話やハガキを受けとったことはない」が 77.6%と、8 割近くを占めている。

具体的な経験としては「身に覚えのない、未払い代金を要求するハガキ」が 6.2%と最も多く、次いで「あなたの子や孫を装った人間からの「電話番号が変わった」などの電話」が 4.4%、「市役所や税務署などの公的機関を装った人間からの電話」が 3.6%、「身に覚えのない、未払い代金を要求する電話」が 2.1%の順となっている。〈図表Ⅱ－50〉



性別にみると、「あなたの子や孫を装った人間からの「電話番号が変わった」などの電話」や「市役所や税務署などの公的機関を装った人間からの電話」、「身に覚えのない、未払い代金を要求するハガキ」は、男性よりも女性の方が高くなっている。一方、「そのような電話やハガキを受けとったことはない」は、男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「身に覚えのない、未払い代金を要求するハガキ」は 60～64 歳で、「あなたの子や孫を装った人間からの「電話番号が変わった」などの電話」は 80 歳代の層で、「市役所や税務署などの公的機関を装った人間からの電話」は 75～79 歳で、それぞれ高くなっている。

また、「そのような電話やハガキを受けとったことはない」は 65～69 歳で高くなっている。〈図表Ⅱ－51〉

〈図表Ⅱ－51〉 特殊詐欺の経験〔性・年齢別〕

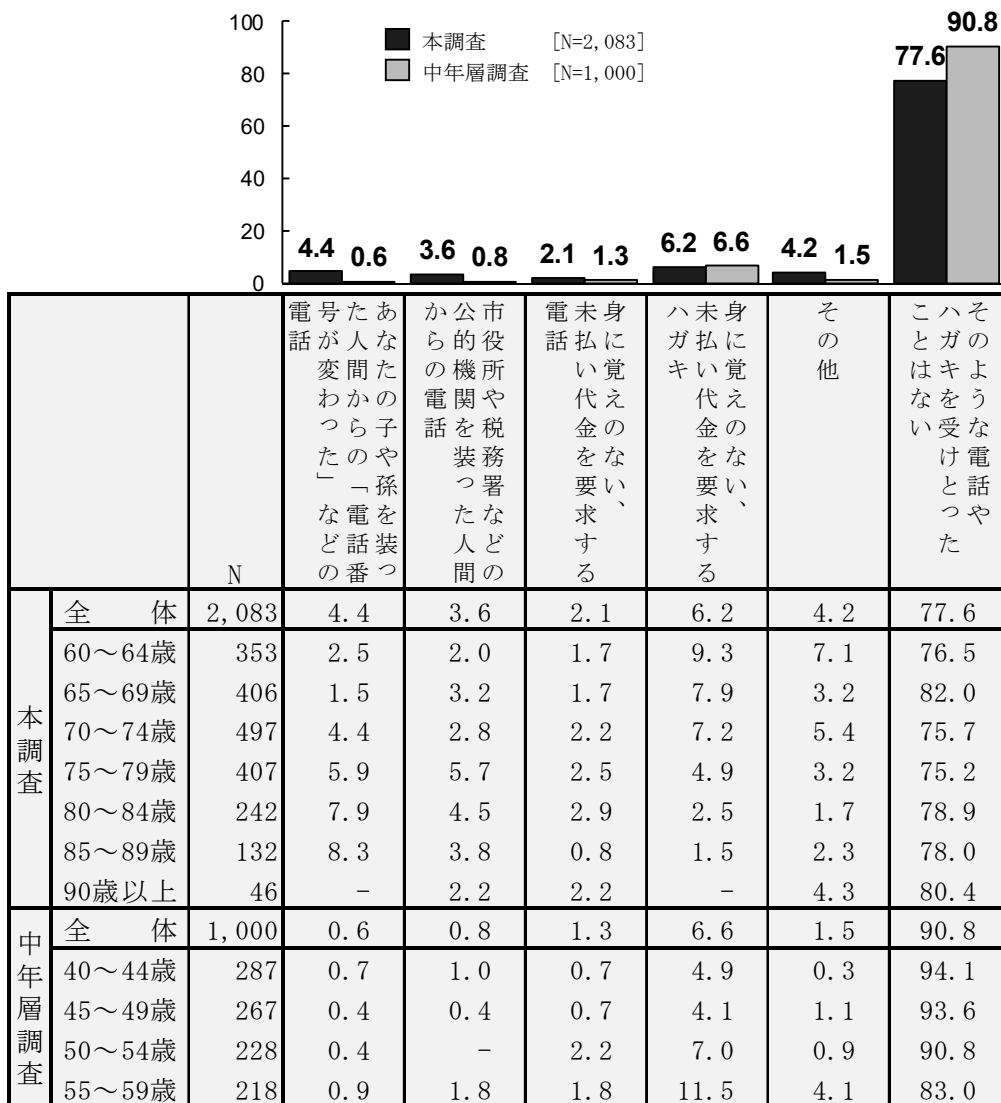
(複数回答、単位：%)

		N	電話があなたと変わった「わかつた」などの話の番号	公的機関や税務署などからの電話	身に覚えのない、未払い代金を要求する	身に覚えのない、未払い代金を要求するハガキ	その他	その他はよくない受けた電話や	無回答
全体		2,083	4.4	3.6	2.1	6.2	4.2	77.6	3.8
性別	男性	964	▲ 3.3	▲ 2.6	2.2	▲ 4.7	3.3	82.0	3.3
	女性	1,119	5.3	4.4	2.0	7.5	4.9	▲ 73.8	4.3
本人年齢別	60～64歳	353	2.5	2.0	1.7	9.3	7.1	76.5	2.5
	65～69歳	406	▲ 1.5	3.2	1.7	7.9	3.2	82.0	▲ 2.0
	70～74歳	497	4.4	2.8	2.2	7.2	5.4	75.7	3.6
	75～79歳	407	5.9	5.7	2.5	4.9	3.2	75.2	5.2
	80～84歳	242	7.9	4.5	2.9	▲ 2.5	▲ 1.7	78.9	3.7
	85～89歳	132	8.3	3.8	0.8	▲ 1.5	2.3	78.0	7.6
	90歳以上	46	－	2.2	2.2	－	4.3	80.4	10.9

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「そのような電話やハガキを受けとったことはない」は中年層の 90.8%に比べて、60 歳代以上は 13.2 ポイント下回っている。具体的な経験として、中年層より 60 歳代以上が上回っているのは、「あなたの子や孫を装った人間からの「電話番号が変わった」などの電話」「市役所や税務署などの公的機関を装った人間からの電話」となっている。〈図表Ⅱ－52〉

〈図表Ⅱ－52〉 特殊詐欺の経験 「[中年層調査]との比較：参考」

(複数回答、単位：%)



(2) 電話がかかった時の対応

前問で、詐欺の電話を受け取ったことがあるという人に、その時の対応を以下のように尋ねた。

Q11SQ (Q11 で 1～3 のいずれかに答えた方へ) その電話がかかってきた時、どういう対応をしましたか。この中から 1 つお答えください。

- 1 電話で相手と話している時に詐欺だと気がついた
- 2 電話で相手と話している時は詐欺だと気がつかなかったが、被害には遭わなかった
- 3 詐欺であることを最後まで気がつかずに被害に遭ってしまった
- 4 その他

詐欺の電話への対応としては、「電話で相手と話している時に詐欺だと気がついた」が **75.9%**と最も多く、次いで「電話で相手と話している時は詐欺だと気がつかなかったが、被害には遭わなかった」が 14.1%で、「詐欺であることを最後まで気がつかずに被害に遭ってしまった」は 0.5%となっている。〈図表Ⅱ－53〉

〈図表Ⅱ－53〉 電話がかかった時の対応

(単位：%)



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみても、特に差はみられない。〈図表Ⅱ－54〉

〈図表Ⅱ－54〉 電話がかかった時の対応 [性・年齢別]

(単位：%)

		N	いる電 た時話 にで 詐相 欺手 だと 話 気し がて つい	わか詐 なつ欺 かただ つがと た、気 被が 害つ にか はな 遭	にま詐 遭で欺 つ気で てがあ しつる まかこ つずと たにを 被最 害後	そ の 他	無 回 答
全 体		191	75.9	14.1	0.5	3.7	5.8
性 別	男 性	72	73.6	11.1	1.4	5.6	8.3
	女 性	119	77.3	16.0	—	2.5	4.2
本 人 年 齢 別	60～64歳	21	▲57.1	19.0	—	9.5	14.3
	65～69歳	22	81.8	9.1	—	—	9.1
	70～74歳	43	79.1	11.6	—	2.3	7.0
	75～79歳	55	78.2	14.5	1.8	1.8	3.6
	80～84歳	33	75.8	12.1	—	9.1	3.0
	85～89歳	15	73.3	26.7	—	—	—
	90歳以上	2	100.0	—	—	—	—

金融・保険知識量別にみると、「電話で相手と話している時に詐欺だと気がついた」は、リテラシー中で、低くなっている。〈図表Ⅱ－55〉

〈図表Ⅱ－55〉 電話がかかった時の対応〔金融・保険知識量別〕

(単位：％)

		N	電話に 相手と 話して 気が ついた	詐欺 かた ただ つが 、気 被害 つに はな 遭	詐欺 で気 であ るこ とを 被害 後	そ の 他	無 回 答
全 体		191	75.9	14.1	0.5	3.7	5.8
金融・ 保険 知識 量別	リテラシー高	21	95.2	－	－	－	4.8
	リテラシー中	111	▲68.5	18.0	－	6.3	7.2
	リテラシー低	50	84.0	12.0	2.0	－	2.0

(3) 特殊詐欺被害を防ぐための行動

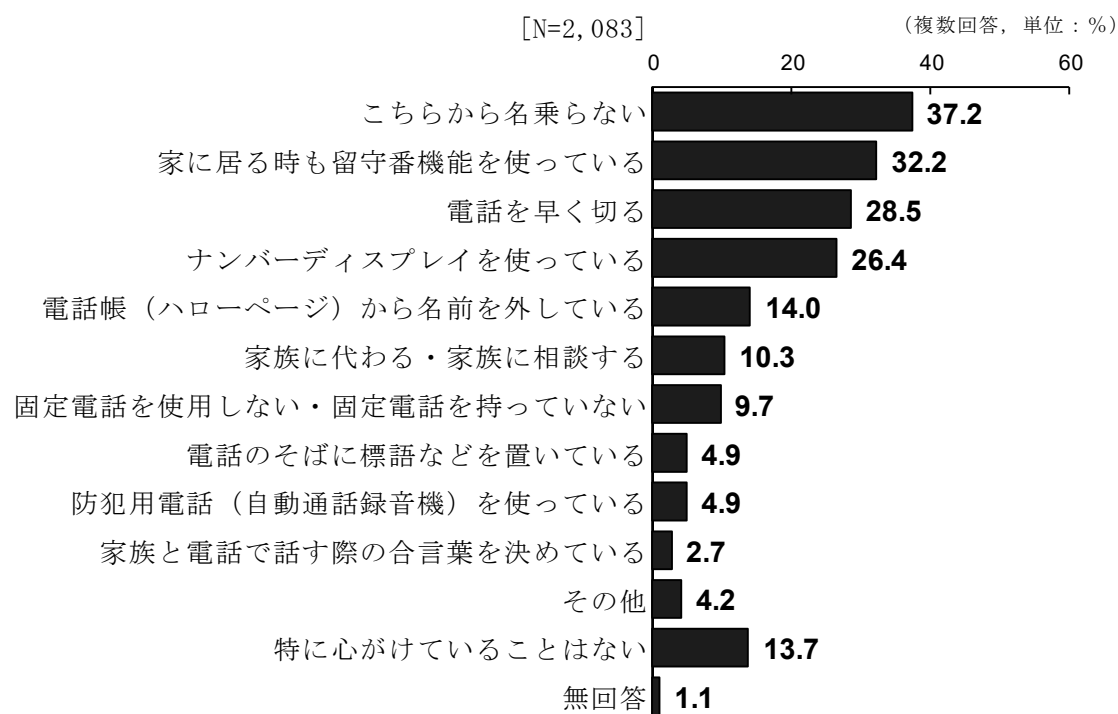
Q12 あなたは現在、振り込み詐欺や還付金等詐欺などの特殊詐欺の被害を防ぐために行っていることはありますか。この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 電話のそばに標語などを置いている
- 2 家族と電話で話す際の合言葉を決めている
- 3 電話帳（ハローページ）から名前を外している
- 4 ナンバーディスプレイを使っている
- 5 家に居る時も留守番機能を使っている
- 6 防犯用電話（自動通話録音機）を使っている
- 7 固定電話を使用しない・固定電話を持っていない
- 8 こちらから名乗らない
- 9 電話を早く切る
- 10 家族に代わる・家族に相談する
- 11 その他
- 12 特に心がけていることはない

特殊詐欺の被害を防ぐための行動としては、「こちらから名乗らない」が 37.2%と最も多く、次いで、「家に居る時も留守番機能を使っている」(32.2%)、「電話を早く切る」(28.5%)、「ナンバーディスプレイを使っている」(26.4%) までが、2～3 割台で続いている。

一方、「特に心がけていることはない」は 13.7%となっている。(図表Ⅱ－56)

〈図表Ⅱ－56〉 特殊詐欺被害を防ぐための行動



性別にみると、「特に心がけていることはない」は、女性よりも男性で高くなっている。逆に、「こちらから名乗らない」「電話を早く切る」「家族に代わる・家族に相談する」は、女性が男性を上回っている。

年齢別にみると、「こちらから名乗らない」は60～64歳で高く、85歳以上層で低くなっている。また、「ナンバーディスプレイを使っている」「固定電話を使用しない・固定電話を持っていない」は、おおむね高年齢層ほど低くなっている。「電話帳（ハローページ）から名前を外している」も、60～64歳で高く、80～84歳、90歳以上で低くなっている。

「電話を早く切る」は75～79歳、85～89歳で高く、65～69歳、70～74歳で低くなっている。

「家族に代わる・家族に相談する」は、概ね高年齢層ほど高くなっている。

「特に心がけていることはない」は、85～89歳で高くなっている。〈図表Ⅱ－57〉

〈図表Ⅱ－57〉 特殊詐欺被害を防ぐための行動〔性・年齢別〕

（複数回答、単位：％）

		N	こちらから名乗らない	家族に代わる・家族に相談する	電話を早く切る	ナンバーディスプレイを使っている	電話帳（ハローページ）から名前を外している	固定電話を使用していない
全 体		2,083	37.2	32.2	28.5	26.4	14.0	9.7
性別	男 性	964	▲30.4	31.8	▲26.1	24.4	12.4	▲5.6
	女 性	1,119	(43.1)	32.4	(30.5)	28.2	15.4	(14.3)
本人年齢別	60～64歳	353	(41.9)	(36.8)	26.3	(34.6)	(17.6)	(12.7)
	65～69歳	406	37.7	29.6	▲23.6	(34.7)	16.0	(13.8)
	70～74歳	497	38.6	(39.0)	▲24.7	27.8	15.5	9.3
	75～79歳	407	38.3	32.4	(34.9)	▲21.9	12.0	9.6
	80～84歳	242	34.3	▲23.1	33.5	▲15.7	▲9.5	12.4
	85～89歳	132	▲27.3	▲22.7	(37.1)	▲11.4	11.4	(18.9)
	90歳以上	46	▲15.2	▲17.4	19.6	15.2	▲2.2	(21.7)
		N	ど電を話のいそでばいにする標語な	い話防る録犯音機電話を（使自つ動て通	るの家合族言と葉電を話決でめ話てすい際	そ の 他	こ特 とに は心 なが いけ て い る	無 回 答
全 体		2,083	4.9	4.9	2.7	4.2	13.7	1.1
性別	男 性	964	▲3.8	4.6	2.4	3.8	(18.6)	1.2
	女 性	1,119	(5.9)	5.3	3.0	4.5	▲9.6	0.9
本人年齢別	60～64歳	353	4.0	4.5	3.4	2.8	11.6	0.6
	65～69歳	406	▲3.0	3.7	▲1.0	3.4	12.8	0.2
	70～74歳	497	5.8	5.2	3.2	5.2	12.7	1.0
	75～79歳	407	5.4	5.2	2.7	3.9	13.0	0.5
	80～84歳	242	6.2	5.8	3.3	3.7	16.1	1.2
	85～89歳	132	5.3	6.1	4.5	3.8	(22.7)	(3.8)
	90歳以上	46	8.7	6.5	－	(15.2)	17.4	(8.7)

リスク意識別にみると、「こちらから名乗らない」はリスク積極度中の層で高く、リスク積極度高の層で低くなっている。リスク積極度中の層では、「家に居る時も留守番機能を使っている」「電話帳（ハローページ）から名前を外している」も高くなっている。〈図表Ⅱ－58〉

〈図表Ⅱ－58〉 特殊詐欺被害を防ぐための行動〔リスク意識別〕

（複数回答、単位：％）

		N	名こ 乗ち らら ない ら	機家 能に を居 る時 ても 留守 番	電 話 を 早 く 切 る	イナ を 使 バ っ て デ イ ス プ レ	てジ電 い）話 るか帳 らへハ 名前ロー を外ペ しー	・家 族に 代わ る	てい固 い・定 ない固 定電話 を使用 しな
	全 体	2,083	37.2	32.2	28.5	26.4	14.0	10.3	9.7
リ ス ク 意 識 別	リスク積極度低	125	37.6	35.2	36.0	23.2	13.6	8.0	9.6
	リスク積極度中	1,450	39.4	33.9	29.2	27.2	15.2	10.8	9.4
	リスク積極度高	391	▲32.7	29.9	25.1	27.9	12.8	10.0	10.5
		N	ど電 を話 のそ ばに る標 語な	い話防 る録犯 音用電 機）話 をへ使 つ動 て通	るの家 合族と 言葉電 を決 め話 てす い際	そ の 他	こ特 とに は心 なが いけ て い る	無 回 答	
	全 体	2,083	4.9	4.9	2.7	4.2	13.7	1.1	
リ ス ク 意 識 別	リスク積極度低	125	4.8	6.4	2.4	4.8	15.2	0.8	
	リスク積極度中	1,450	5.4	5.1	2.5	4.3	▲12.1	▲0.7	
	リスク積極度高	391	3.6	4.3	4.1	3.1	16.6	0.8	

金融・保険知識量別にみると、「ナンバーディスプレイを使っている」はリテラシー高の層で高く、リテラシー低の層で低くなっている。

「こちらから名乗らない」「家に居る時も留守番機能を使っている」は、リテラシー中の層で高く、リテラシー低の層で低くなっている。「固定電話を使用しない・固定電話を持っていない」もリテラシー中の層で高くなっている。

「特に心がけていることはない」は、リテラシー低の層で高くなっている。〈図表Ⅱ－59〉

〈図表Ⅱ－59〉 特殊詐欺被害を防ぐための行動〔金融・保険知識量別〕

(複数回答、単位：％)

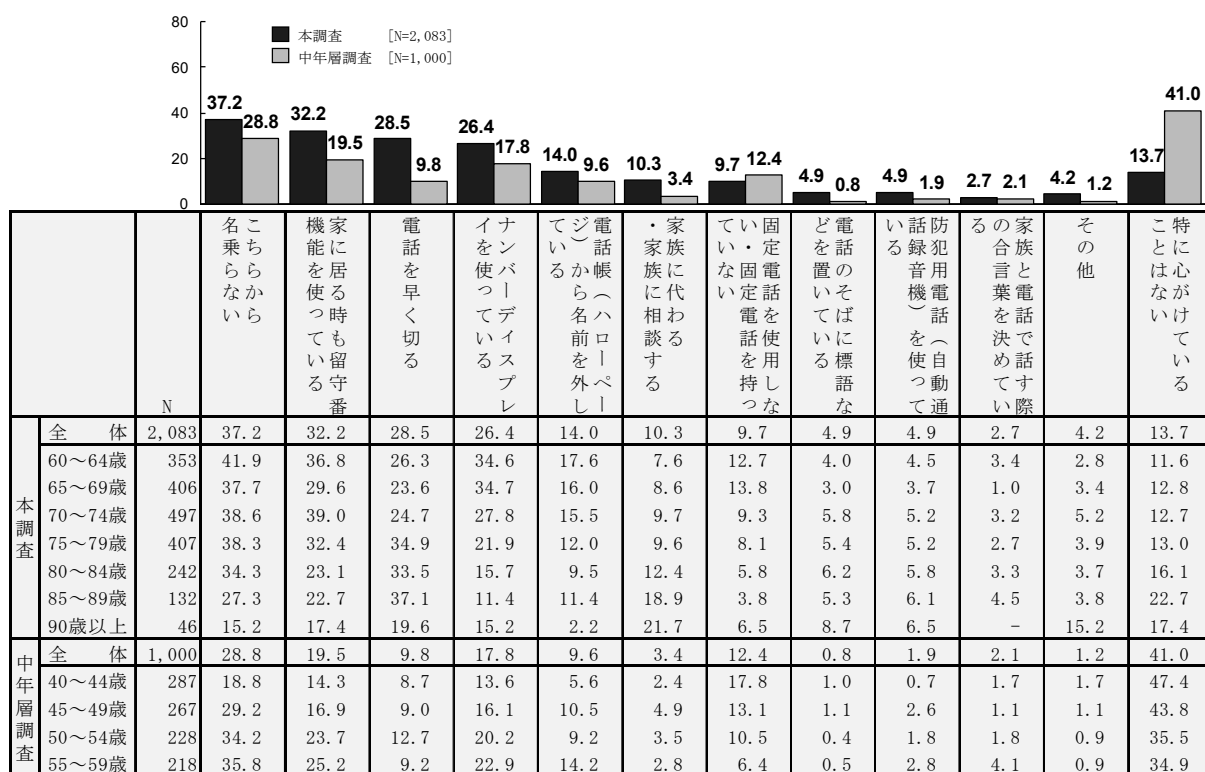
		N	こちらから名乗らない	家に居る時も留守番機能を使う	電話を早く切る	ナンバーディスプレイを使う	電話帳(ハローペー)	家族に代わる	固定電話を使用しない
全 体		2,083	37.2	32.2	28.5	26.4	14.0	10.3	9.7
金融・保険知識量別	リテラシー高	332	37.0	34.6	▲20.8	36.4	16.9	7.5	9.0
	リテラシー中	1,030	41.2	35.1	30.3	28.2	15.1	10.7	11.1
	リテラシー低	615	▲31.1	▲25.7	29.6	▲18.7	▲10.9	11.4	7.8
		N	電話の置きそばに標語など	防犯用電話(録音機)を使う	家族と電話を決め話す際の合言葉	その他	特に心がけている	無回答	
全 体		2,083	4.9	4.9	2.7	4.2	13.7	1.1	
金融・保険知識量別	リテラシー高	332	3.9	5.1	3.0	5.4	15.4	0.6	
	リテラシー中	1,030	5.5	5.7	2.5	4.0	▲10.4	▲0.3	
	リテラシー低	615	4.7	3.9	3.3	4.4	19.2	1.3	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、多くの行動で 60 歳代以上は中年層を上回っている。特に開きの大きいのは、「電話を早く切る」(18.7 ポイント差)、「家に居る時も留守番機能を使っている」(12.7 ポイント差)となっている。

両者の開きが比較的小さいのは、「家族と電話で話す際の合言葉を決めている」「防犯用電話(自動通話録音機)を使っている」「固定電話を使用しない・固定電話を持っていない」などとなっている。〈図表Ⅱ－60〉

〈図表Ⅱ－60〉 特殊詐欺被害を防ぐための行動 「[中年層調査]との比較：参考」

(複数回答、単位：%)



第III章 家族・人とのつながり

ここでは、自分自身の家族や人とのつながりについて、捉えている。

1. 未既婚

F7 あなたは結婚していらっしゃいますか。この中からお答えください。

- 1 未婚
- 2 既婚（配偶者あり）
- 3 既婚（離別・死別）

本人の未既婚の別については、「既婚（配偶者あり）」が 70.6%を占めている。次いで、「既婚（離別・死別）」が 24.3%、「未婚」が 4.2%となっている。〈図表Ⅲ－1〉

〈図表Ⅲ－1〉 未既婚



性別にみると、「既婚（配偶者あり）」と「未婚」は、女性より男性で高くなっている。一方、「既婚（離別・死別）」は、女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「既婚（配偶者あり）」は高年齢層ほど低くなっている。一方、「既婚（離別・死別）」は高年齢層ほど高くなっている。〈図表Ⅲ－2〉

〈図表Ⅲ－2〉 未既婚〔性・年齢別〕

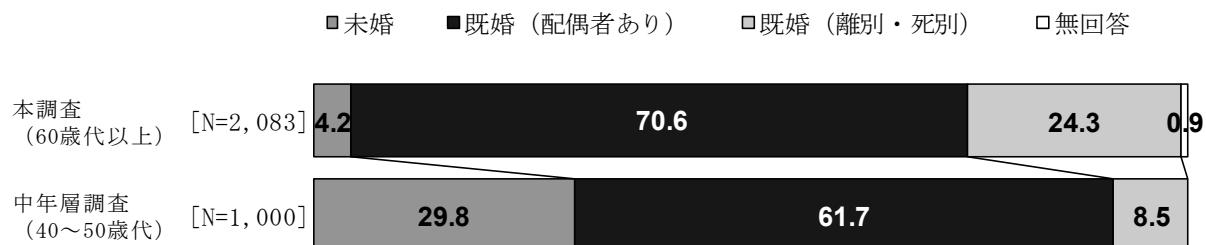
（単位：％）

		N	未婚	既婚（配偶者あり）	既婚（離別・死別）	無回答
全 体		2, 083	4. 2	70. 6	24. 3	0. 9
性別	男 性	964	5. 5	80. 1	▲13. 8	0. 6
	女 性	1, 119	▲3. 1	▲62. 5	33. 3	1. 1
本人年齢別	60～64歳	353	6. 5	82. 7	▲9. 6	1. 1
	65～69歳	406	5. 7	77. 3	▲16. 7	0. 2
	70～74歳	497	4. 2	74. 6	▲20. 3	0. 8
	75～79歳	407	3. 4	67. 1	28. 7	0. 7
	80～84歳	242	2. 1	▲59. 9	37. 2	0. 8
	85～89歳	132	1. 5	▲44. 7	53. 0	0. 8
	90歳以上	46	-	▲37. 0	56. 5	6. 5

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「既婚（配偶者あり）」「既婚（離別・死別）」のいずれも、60 歳代以上が中年層を上回っている（それぞれ、8.9 ポイント差、15.8 ポイント差）。一方、「未婚」は中年層が 29.8%と 60 歳代以上を 25.6 ポイント上回っている。〈図表Ⅲ－3〉

〈図表Ⅲ－3〉 未既婚 「中年層調査」との比較：参考]

（単位：％）



（単位：％）

		N	未婚	既婚（配偶者あり）	既婚（離別・死別）
本調査	全 体	2,083	4.2	70.6	24.3
	60～64歳	353	6.5	82.7	9.6
	65～69歳	406	5.7	77.3	16.7
	70～74歳	497	4.2	74.6	20.3
	75～79歳	407	3.4	67.1	28.7
	80～84歳	242	2.1	59.9	37.2
	85～89歳	132	1.5	44.7	53.0
	90歳以上	46	－	37.0	56.5
中年層調査	全 体	1,000	29.8	61.7	8.5
	40～44歳	287	36.9	58.2	4.9
	45～49歳	267	30.0	62.9	7.1
	50～54歳	228	30.3	59.2	10.5
	55～59歳	218	19.7	67.4	12.8

2. 家族とのつながり

(1) 家族形態

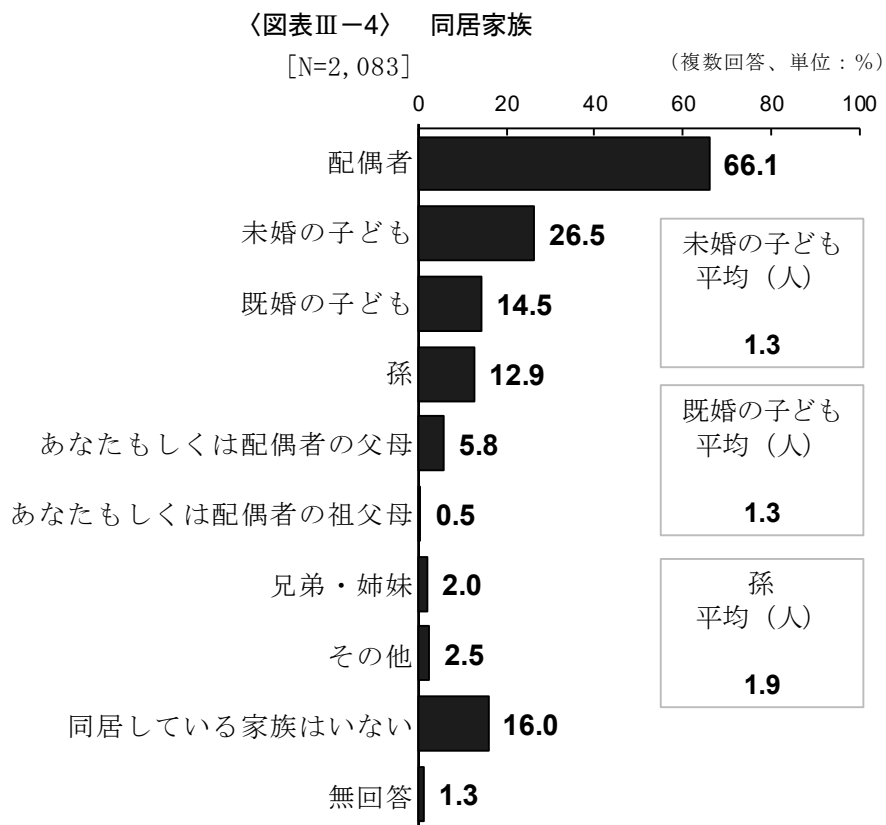
F13 あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。

なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1 配偶者 | 7 兄弟・姉妹 |
| 2 未婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 8 その他 |
| 3 既婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 9 同居している家族はいない |
| 4 孫 (<input type="text"/> 名) | |
| 5 あなたもしくは配偶者の父母 | |
| 6 あなたもしくは配偶者の祖父母 | |

同居している家族については、「配偶者」が 66.1%と最も多く、次いで、「未婚の子ども」が 26.5%、「既婚の子ども」が 14.5%、「孫」が 12.9%となっている。また、「同居している家族はいない」は 16.0%となっている。

ちなみに、「未婚の子ども」「既婚の子ども」の平均はいずれも 1.3 人、「孫」の平均は 1.9 人となっている。〈図表Ⅲ-4〉



性別にみると、「配偶者」「あなたもしくは配偶者の父母」は、女性より男性の方が上回っている。「既婚の子ども」と「同居している家族はいない」は、女性の方が男性より高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」は60歳代の層で7割台と高くなっており、高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。一方、「既婚の子ども」「孫」は高年齢層ほど高くなっている。

「あなたもしくは配偶者の父母」は60歳代の層で高くなっている。

「同居している家族はいない」は80歳代で高く、60歳代の層では低くなっている。〈図表Ⅲ－5〉

〈図表Ⅲ－5〉 同居家族〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：％)

		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	母はあなたもしくは父	父はあなたもしくは母	兄弟・姉妹
全 体		2,083	66.1	26.5	14.5	12.9	5.8	0.5	2.0
性別	男 性	964	74.4	27.1	▲11.8	11.5	7.1	0.7	2.3
	女 性	1,119	▲58.9	26.0	16.9	14.1	▲4.7	0.4	1.8
本人年齢別	60～64歳	353	79.0	39.1	▲5.9	▲5.4	17.3	1.1	1.4
	65～69歳	406	73.6	29.6	▲9.4	▲9.9	10.3	1.7	2.7
	70～74歳	497	68.4	23.5	13.1	11.7	▲2.2	-	1.6
	75～79歳	407	62.7	24.6	17.9	17.0	▲1.5	-	1.5
	80～84歳	242	▲55.0	▲19.4	21.5	18.2	-	-	3.3
	85～89歳	132	▲40.9	▲17.4	25.8	21.2	▲0.8	-	3.0
	90歳以上	46	▲34.8	15.2	43.5	23.9	-	-	-

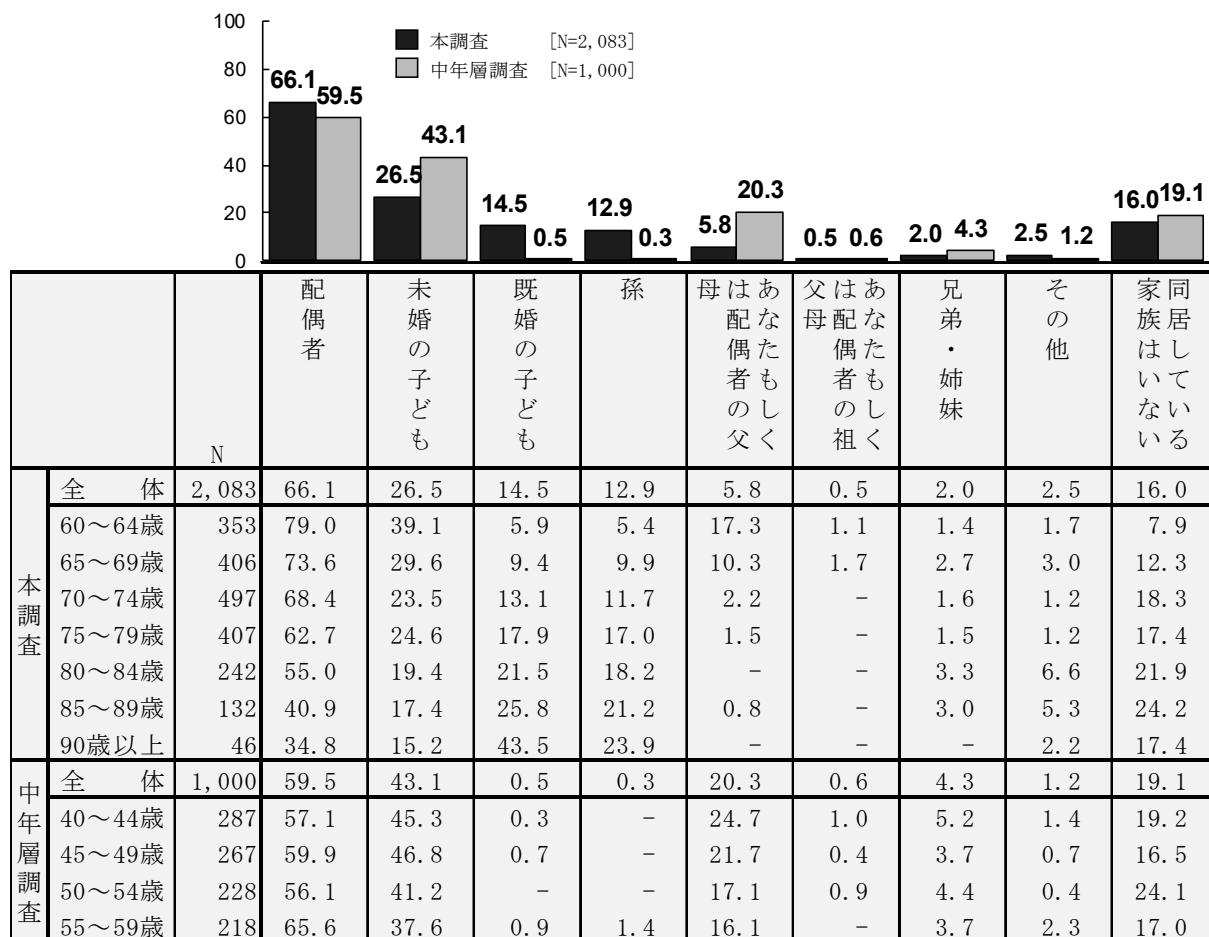
		N	その他	同居家族はしていない	無回答	未婚の子ども 平均（人）	既婚の子ども 平均（人）	平均（人） 孫
全 体		2,083	2.5	16.0	1.3	1.3	1.3	1.9
性別	男 性	964	▲1.7	▲13.5	1.0	1.3	1.4	1.9
	女 性	1,119	3.3	18.1	1.5	1.2	1.3	2.0
本人年齢別	60～64歳	353	1.7	▲7.9	2.0	1.4	1.3	2.1
	65～69歳	406	3.0	▲12.3	0.5	1.3	1.3	1.9
	70～74歳	497	▲1.2	18.3	1.2	1.2	1.3	2.0
	75～79歳	407	1.2	17.4	1.0	1.2	1.3	2.0
	80～84歳	242	6.6	21.9	1.2	1.2	1.4	2.0
	85～89歳	132	5.3	24.2	0.8	1.2	1.3	1.7
	90歳以上	46	2.2	17.4	8.7	1.0	1.3	1.4

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上の方が中年層を大きく上回っているのは「既婚の子ども」「孫」で、それぞれ 14.0 ポイント差、12.6 ポイント差となっている。

一方、中年層の方が 60 歳代以上を大きく上回っているのは「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」で、それぞれ 16.6 ポイント差、14.5 ポイント差となっている。〈図表Ⅲ－6〉

〈図表Ⅲ－6〉 同居家族 「〔中年層調査〕との比較：参考」

(複数回答、単位：%)



前述の同居している家族の選択肢から、以下のように「家族形態」を設定した。

F13 あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。

なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1 配偶者 | 7 兄弟・姉妹 |
| 2 未婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 8 その他 |
| 3 既婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 9 同居している家族はいない |
| 4 孫 (<input type="text"/> 名) | |
| 5 あなたもしくは配偶者の父母 | |
| 6 あなたもしくは配偶者の祖父母 | |

【家族形態】

- 1 単身…F13 が「同居している家族はいない」
- 2 夫婦のみ…F13 が「配偶者」のみ
- 3 2世代世帯…家族形態の 4～5
- 4 夫婦と子のみ…F13 が「配偶者」と「子ども」のみ
- 5 親と自分（夫婦）のみ…F13 が「あなたもしくは配偶者の父母」（と「配偶者」）のみ
- 6 3世代世帯…家族形態の 7～9
- 7 自分（夫婦）と子と孫…F13 が「子ども」と「孫」
- 8 親と自分（夫婦）と子…F13 が「子ども」と「あなたもしくは配偶者の父母」
- 9 祖父母と親と自分（夫婦）
…F13 が「あなたもしくは配偶者の父母」と「あなたもしくは配偶者の祖父母」
- 10 その他…上記に当てはまらない回答

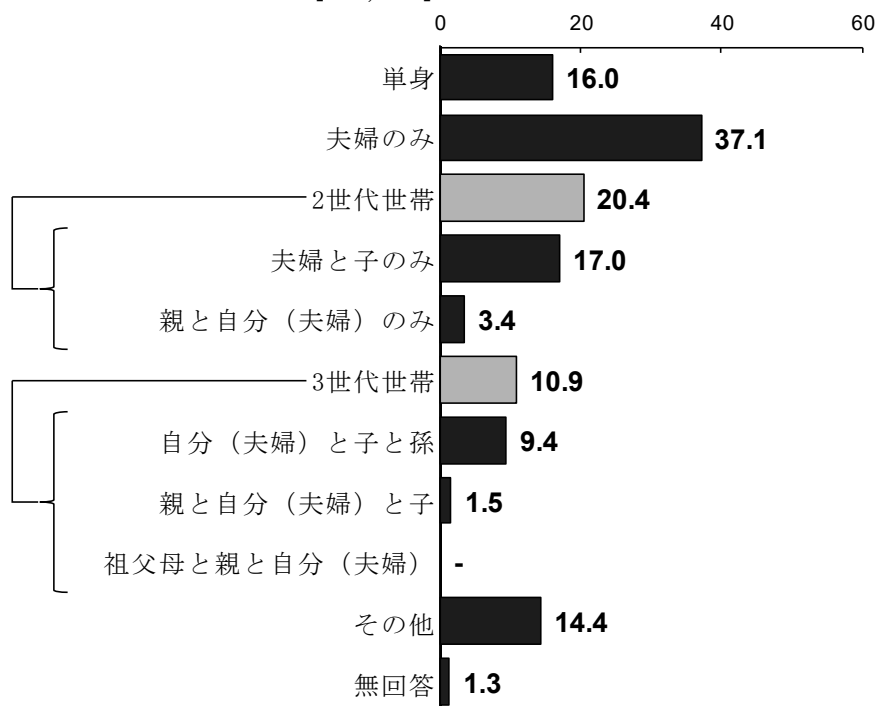
その結果、「夫婦のみ」が 37.1%と最も多く、次いで、「夫婦と子のみ」が 17.0%、「単身」が 16.0%との順となっている。

なお、「2世代世帯」（“夫婦と子のみ”と“親と自分（夫婦）のみ”の回答の合計）は 20.4%、「3世代世帯」（“自分（夫婦）と子と孫”、“親と自分（夫婦）と子”と“祖父母と親と自分（夫婦）”の回答の合計）は 10.9%となっている。〈図表Ⅲ－7〉

〈図表Ⅲ－7〉 家族形態

[N=2, 083]

(単位：%)



性別にみると、「夫婦のみ」「夫婦と子のみ」「親と自分（夫婦）のみ」は、女性より男性の方が上回っている。一方、「単身」は女性の方が男性より高くなっている。

年齢別にみると、「単身」と「自分（夫婦）と子と孫」は、概ね高年齢層ほど高くなっている。

「夫婦のみ」は70～74歳で高く、以降、高年齢層ほど低くなっている。

「夫婦と子のみ」は、高年齢層になるほど低くなっている傾向がみられる。〈図表Ⅲ－8〉

〈図表Ⅲ－8〉 家族形態〔性・年齢別〕

（単位：％）

（単位：％）

		N	単身	夫婦のみ	2世代世帯	夫婦と子のみ	親と自分（夫婦）のみ
全 体		2,083	16.0	37.1	20.4	17.0	3.4
性別	男 性	964	▲13.5	○40.4	○24.0	○19.6	○4.4
	女 性	1,119	○18.1	▲34.3	▲17.2	▲14.7	▲2.5
本人年齢別	60～64歳	353	▲7.9	33.1	○38.5	○28.0	○10.5
	65～69歳	406	▲12.3	39.4	○25.6	19.2	○6.4
	70～74歳	497	18.3	○42.7	17.7	16.7	▲1.0
	75～79歳	407	17.4	37.8	▲14.7	14.3	▲0.5
	80～84歳	242	○21.9	35.1	▲10.3	▲10.3	－
	85～89歳	132	○24.2	▲28.0	▲6.1	▲6.1	－
	90歳以上	46	17.4	▲17.4	▲6.5	6.5	－

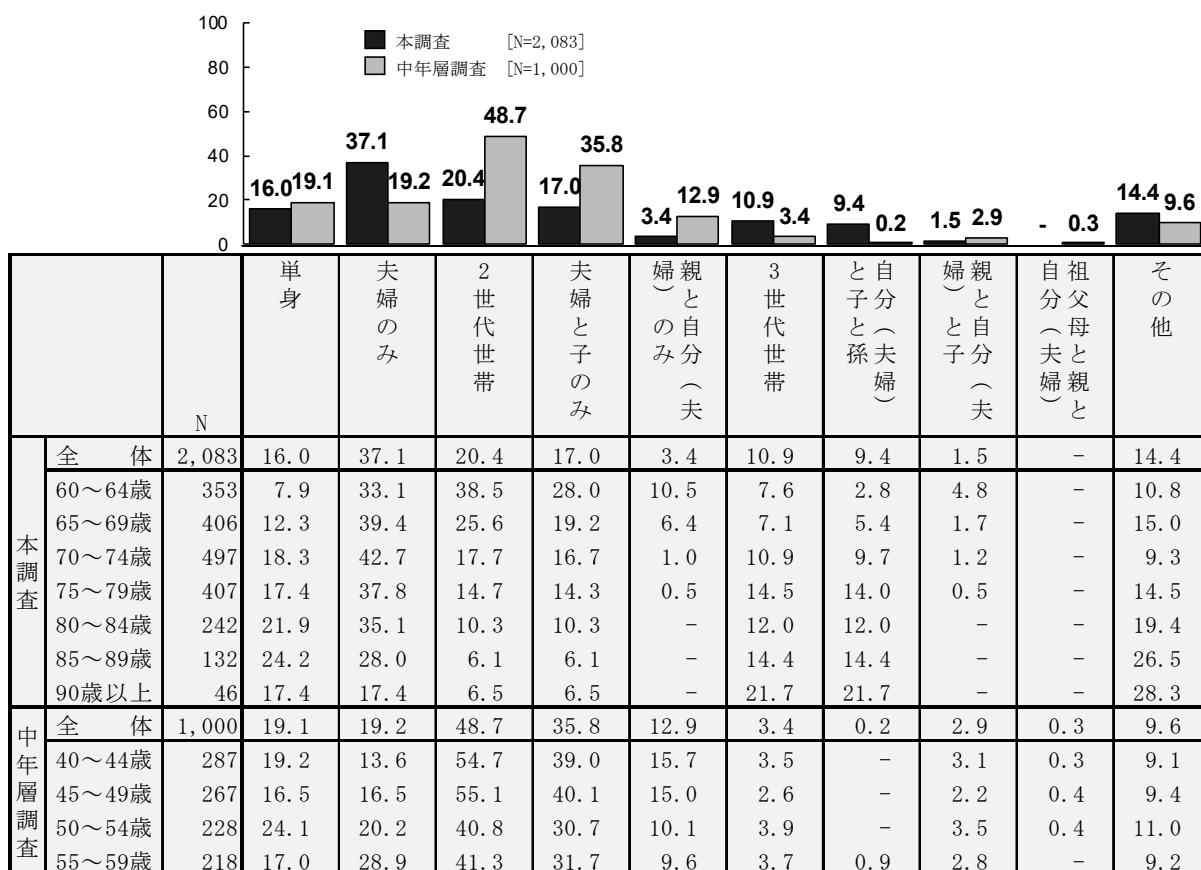
		N	3世代世帯	と自分と（孫夫婦）	親と自分（夫婦）	自祖父（父母と親）	その他	無回答
全 体		2,083	10.9	9.4	1.5	－	14.4	1.3
性別	男 性	964	9.9	8.2	1.7	－	▲11.3	1.0
	女 性	1,119	11.8	10.4	1.4	－	○17.0	1.5
本人年齢別	60～64歳	353	▲7.6	▲2.8	○4.8	－	▲10.8	2.0
	65～69歳	406	▲7.1	▲5.4	1.7	－	15.0	0.5
	70～74歳	497	10.9	9.7	1.2	－	▲9.3	1.2
	75～79歳	407	○14.5	○14.0	0.5	－	14.5	1.0
	80～84歳	242	12.0	12.0	－	－	○19.4	1.2
	85～89歳	132	14.4	○14.4	－	－	○26.5	0.8
	90歳以上	46	○21.7	○21.7	－	－	○28.3	○8.7

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上の方が中年層を上回っているのは、「夫婦のみ」(17.9 ポイント差)、「自分(夫婦)と子と孫」(9.2 ポイント差)となっている。

一方、中年層の方が 60 歳代以上を大きく上回っているのは、「2 世代世帯」(28.3 ポイント差)で、そのうち「夫婦と子のみ」が 18.8 ポイント差、「親と自分(夫婦)のみ」が 9.5 ポイント差となっている。(図表Ⅲ－9)

〈図表Ⅲ－9〉 家族形態 「[中年層調査]との比較：参考」

(単位：%)



(2) 家族および付き合いのある親族

① 家族および付き合いのある親族

F14 あなたのご家族や付き合いのある親族をこの中からすべてあげてください。

ここでは、単身赴任や施設などに入居されているご家族や親族も含みます。

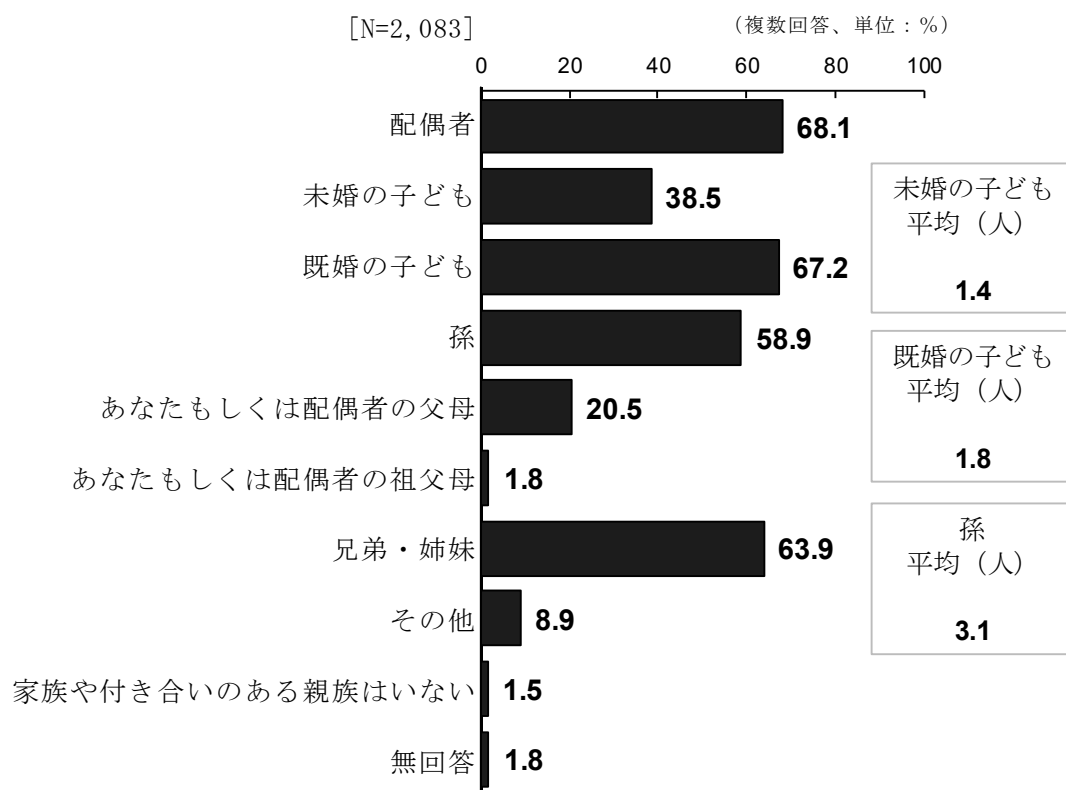
なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1 配偶者 | 7 兄弟・姉妹 |
| 2 未婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 8 その他 |
| 3 既婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 9 家族や付き合いのある親族はいない |
| 4 孫 (<input type="text"/> 名) | |
| 5 あなたもしくは配偶者の父母 | |
| 6 あなたもしくは配偶者の祖父母 | |

家族および付き合いのある親族については、「配偶者」(68.1%)、「既婚の子ども」(67.2%)、「兄弟・姉妹」(63.9%)が6割台で高くなっており、次いで「孫」が58.9%となっている。

「家族や付き合いのある親族はいない」は1.5%にとどまっている。(図表Ⅲ－10)

〈図表Ⅲ－10〉 家族および付き合いのある親族



性別にみると、「配偶者」「あなたもしくは配偶者の父母」「あなたもしくは配偶者の祖父母」は、女性より男性の方が上回っている。「既婚の子ども」「孫」は、女性の方が男性より高くなっている。ちなみに、「家族や付き合いのある親族はいない」は女性より男性で高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。

一方、「既婚の子ども」「孫」は、60～64歳で低くなっている。〈図表Ⅲ－11〉

〈図表Ⅲ－11〉 家族および付き合いのある親族〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

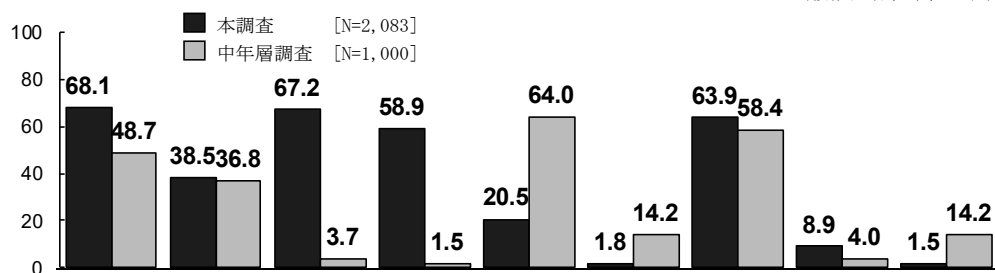
		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	母はあなたも配偶者の父く	父はあなたも配偶者の祖く	兄弟・姉妹
全 体		2,083	68.1	38.5	67.2	58.9	20.5	1.8	63.9
性別	男 性	964	77.1	38.1	▲64.9	▲56.0	23.5	2.7	62.6
	女 性	1,119	▲60.3	38.8	69.1	61.4	▲18.0	▲1.1	65.0
本人年齢別	60～64歳	353	81.9	57.5	▲51.6	▲41.9	55.2	4.2	73.4
	65～69歳	406	75.1	44.3	65.0	55.9	35.2	4.9	71.9
	70～74歳	497	71.4	▲33.6	72.2	65.2	▲13.1	▲0.6	64.2
	75～79歳	407	▲63.4	34.6	70.5	62.9	▲4.9	－	61.7
	80～84歳	242	▲57.4	▲27.7	71.5	64.9	▲0.8	－	▲53.3
	85～89歳	132	▲41.7	▲25.8	74.2	61.4	▲2.3	－	▲47.7
	90歳以上	46	▲37.0	▲19.6	78.3	73.9	－	－	▲37.0
		N	その他	はい家族 のあや いる付 親き 族合	無回答	未婚の子ども 平均 (人)	既婚の子ども 平均 (人)	平均(孫 人)	
全 体		2,083	8.9	1.5	1.8	1.4	1.8	3.1	
性別	男 性	964	▲6.6	2.4	1.3	1.4	1.8	3.1	
	女 性	1,119	10.8	▲0.8	2.2	1.3	1.8	3.1	
本人年齢別	60～64歳	353	12.7	2.3	0.8	1.5	1.7	2.7	
	65～69歳	406	6.9	2.0	1.2	1.3	1.8	3.1	
	70～74歳	497	8.0	1.4	1.4	1.3	1.9	3.3	
	75～79歳	407	6.9	1.2	2.2	1.3	1.9	3.2	
	80～84歳	242	9.9	0.8	2.9	1.4	1.7	3.0	
	85～89歳	132	12.1	1.5	2.3	1.2	1.7	3.2	
	90歳以上	46	8.7	－	8.7	1.0	2.0	3.5	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上の方が中年層を大きく上回っているのは、「既婚の子ども」(63.5 ポイント差)、「孫」(57.4 ポイント差)、「配偶者」(19.4 ポイント差)となっている。

一方、中年層の方が 60 歳代以上を大きく上回っているのは、「あなたもしくは配偶者の父母」(43.5 ポイント差)、「あなたもしくは配偶者の祖父母」(12.4 ポイント差)で、「家族や付き合いのある親族はいない」も中年層の方が 12.7 ポイント上回っている。〈図表Ⅲ－12〉

〈図表Ⅲ－12〉 家族および付き合いのある親族 [「中年層調査」との比較：参考]

(複数回答、単位：%)



		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	母はあなたもしくは父く	父はあなたもしくは祖く	兄弟・姉妹	その他	はい家族ないや付き合いある親族合
本調査	全 体	2,083	68.1	38.5	67.2	58.9	20.5	1.8	63.9	8.9	1.5
	60～64歳	353	81.9	57.5	51.6	41.9	55.2	4.2	73.4	12.7	2.3
	65～69歳	406	75.1	44.3	65.0	55.9	35.2	4.9	71.9	6.9	2.0
	70～74歳	497	71.4	33.6	72.2	65.2	13.1	0.6	64.2	8.0	1.4
	75～79歳	407	63.4	34.6	70.5	62.9	4.9	－	61.7	6.9	1.2
	80～84歳	242	57.4	27.7	71.5	64.9	0.8	－	53.3	9.9	0.8
	85～89歳	132	41.7	25.8	74.2	61.4	2.3	－	47.7	12.1	1.5
	90歳以上	46	37.0	19.6	78.3	73.9	－	－	37.0	8.7	－
中年層調査	全 体	1,000	48.7	36.8	3.7	1.5	64.0	14.2	58.4	4.0	14.2
	40～44歳	287	42.5	31.4	－	－	69.3	26.5	59.2	4.5	14.6
	45～49歳	267	48.3	36.7	0.7	－	68.5	14.2	57.3	1.9	18.0
	50～54歳	228	48.7	38.6	3.1	1.3	60.5	6.6	55.3	1.8	13.6
	55～59歳	218	57.3	42.2	12.8	5.5	55.0	6.0	61.9	8.3	9.6

②同居家族以外の家族および付き合いのある親族

前述の同居している家族と、家族および付き合いのある親族の回答結果から、以下のように「同居家族以外の家族および付き合いのある親族」を設定した。

F13 あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。

なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(○はいくつでも)

F14 あなたのご家族や付き合いのある親族をこの中からすべてあげてください。

ここでは、単身赴任や施設などに入居されているご家族や親族も含みます。

なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(○はいくつでも)

【同居家族以外の家族および付き合いのある親族】

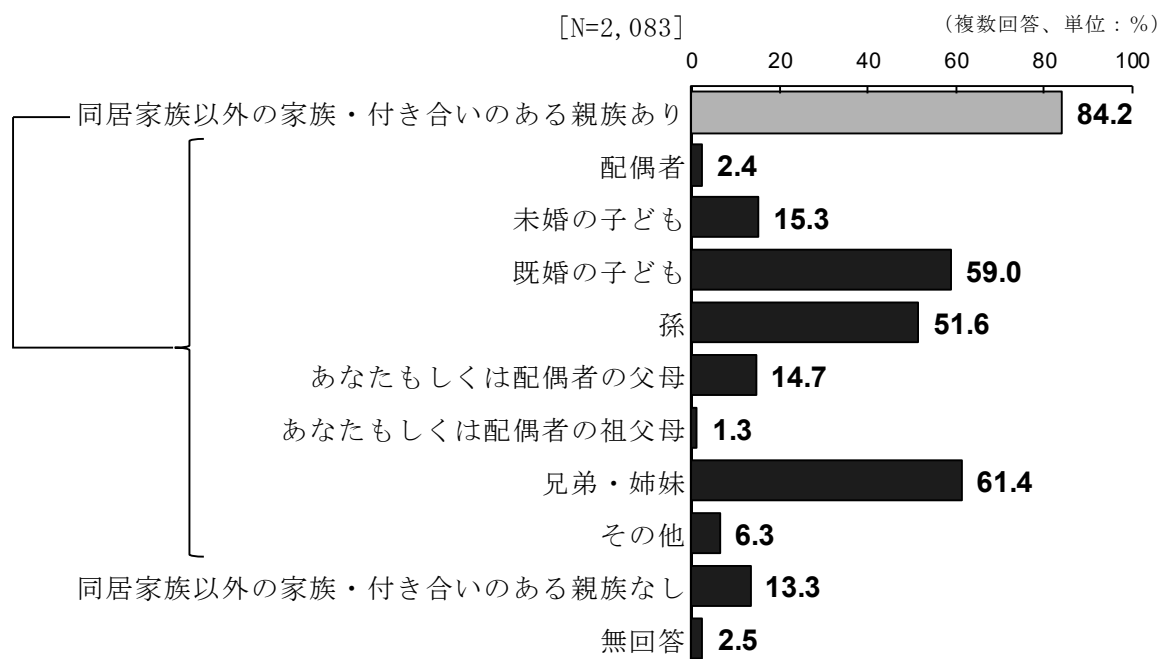
※F13 で該当せず(同居していない)、F14 で該当の回答結果から、以下を作成

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1 配偶者 | 7 兄弟・姉妹 |
| 2 未婚の子ども | 8 その他 |
| 3 既婚の子ども | 9 同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり |
| 4 孫 | 10 同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし |
| 5 あなたもしくは配偶者の父母 | |
| 6 あなたもしくは配偶者の祖父母 | |

その結果、同居していない家族や親族としては、「兄弟・姉妹」が61.4%と最も多く、次いで「既婚の子ども」が59.0%、「孫」が51.6%となっている。「親族あり」は合わせて84.2%を占めている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は13.3%となっている。(図表Ⅲ－13)

〈図表Ⅲ－13〉 同居家族以外の家族および付き合いのある親族



性別にみると、「孫」は男性より女性の方が高く、「あなたもしくは配偶者の父母」「あなたもしくは配偶者の祖父母」は男性の方が女性より高くなっている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。

「既婚の子ども」「孫」は70～74歳で高く、60～64歳で低くなっている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は80～84歳で高く、60～64歳で低くなっている。(図表Ⅲ－14)

〈図表Ⅲ－14〉 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	同居家族以外の家族 あり	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	あなたもしくは 配偶者の父母は	あなたもしくは 配偶者の祖父母は	兄弟・姉妹	その他
全体		2,083	84.2	2.4	15.3	59.0	51.6	14.7	1.3	61.4	6.3
性別	男性	964	82.8	3.0	14.3	58.0	▲49.1	16.4	2.0	60.0	▲5.0
	女性	1,119	85.3	1.8	16.2	59.8	53.8	▲13.2	▲0.7	62.7	7.5
本人年齢別	60～64歳	353	88.7	2.5	24.9	▲49.0	▲39.4	38.0	3.1	72.0	11.0
	65～69歳	406	85.0	2.0	18.5	59.6	50.5	24.9	3.2	68.7	▲3.9
	70～74歳	497	86.3	3.2	13.3	65.6	58.8	▲10.7	0.6	61.8	6.8
	75～79歳	407	83.5	1.5	12.8	60.4	53.8	▲3.4	－	60.0	5.7
	80～84歳	242	▲76.0	2.9	▲9.1	57.0	52.5	▲0.8	－	▲50.0	▲3.3
	85～89歳	132	81.8	1.5	10.6	58.3	49.2	▲1.5	－	▲43.9	6.8
	90歳以上	46	73.9	2.2	▲4.3	56.5	60.9	－	－	▲37.0	6.5
		N	同居家族以外の家族 なし	無回答							
全体		2,083	13.3	2.5							
性別	男性	964	15.5	▲1.8							
	女性	1,119	▲11.4	3.2							
本人年齢別	60～64歳	353	▲9.3	2.0							
	65～69歳	406	13.3	1.7							
	70～74歳	497	11.3	2.4							
	75～79歳	407	14.0	2.5							
	80～84歳	242	21.1	2.9							
	85～89歳	132	15.2	3.0							
	90歳以上	46	13.0	13.0							

未既婚別にみると、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり」は既婚（配偶者あり）層で高くなっている。なお、「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、既婚（離別・死別）層で低くなっている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は未婚層で 33.0%と高くなっている。〈図表Ⅲ－15〉

〈図表Ⅲ－15〉 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔未既婚別〕

（複数回答、単位：％）

		N	同居家族以外の家族・家族以外に付き合いのある親族あり	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	あなたもしくは配偶者の父または母は	あなたもしくは配偶者の祖父母は	兄弟・姉妹	その他
全 体		2,083	84.2	2.4	15.3	59.0	51.6	14.7	1.3	61.4	6.3
未既婚別	未婚	88	▲63.6	－	－	▲1.1	▲1.1	▲6.8	－	60.2	○12.5
	既婚（配偶者あり）	1,471	○86.7	○3.3	○17.9	○63.6	○54.9	○18.6	1.6	○64.4	6.1
	既婚（離別・死別）	506	81.8	－	▲10.7	56.7	51.8	▲5.1	0.6	▲54.5	6.3
		N	同居家族以外の家族・家族以外に付き合いのある親族なし	無回答							
全 体		2,083	13.3	2.5							
未既婚別	未婚	88	○33.0	3.4							
	既婚（配偶者あり）	1,471	▲11.8	▲1.5							
	既婚（離別・死別）	506	14.0	○4.2							

家族形態別にみると、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり」は単身、夫婦のみ、親と自分（夫婦）のみの各層で、それぞれ高くなっている。また、「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は夫婦と子のみの層で、高くなっている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は自分（夫婦）と子と孫の層で、高くなっている。（図表Ⅲ－16）

〈図表Ⅲ－16〉 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔家族形態別〕

（複数回答、単位：％）

		N	同居家族以外 の家族・親族 あり	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	あなた もしくは 配偶者の 父母は	あなた もしくは 配偶者の 祖父母は	兄弟・ 姉妹	その他
全 体		2,083	84.2	2.4	15.3	59.0	51.6	14.7	1.3	61.4	6.3
家族形態別	単 身	333	88.6	4.2	12.0	58.6	51.4	▲5.7	0.6	61.0	8.4
	夫 婦 の み	773	90.8	—	22.5	74.3	64.6	20.6	1.6	66.2	▲4.7
	2 世 代 世 帯	424	88.2	▲0.5	15.8	▲54.5	▲45.3	20.5	1.7	70.0	9.0
	夫 婦 と 子 の み	354	87.3	—	14.1	▲54.0	▲45.5	24.6	1.7	68.4	7.9
	親と自分（夫婦）のみ	70	92.9	2.9	24.3	57.1	44.3	—	1.4	78.6	14.3
	3 世 代 世 帯	227	▲74.4	1.3	▲6.6	▲43.2	▲43.6	▲8.8	0.4	57.7	7.5
	自分（夫婦）と子と孫	195	▲72.3	1.0	▲5.1	▲41.0	▲44.1	10.3	—	▲54.9	6.2
	親と自分（夫婦）と子	32	87.5	3.1	15.6	56.3	40.6	—	3.1	75.0	15.6
そ の 他		299	▲71.2	10.0	▲7.7	▲43.5	▲38.1	▲7.0	1.7	▲45.8	4.3
		N	同居家族以外 の家族・親族 なし	無回答							
全 体		2,083	13.3	2.5							
家族形態別	単 身	333	▲8.7	2.7							
	夫 婦 の み	773	▲8.5	▲0.6							
	2 世 代 世 帯	424	11.3	▲0.5							
	夫 婦 と 子 の み	354	12.1	▲0.6							
	親と自分（夫婦）のみ	70	7.1	—							
	3 世 代 世 帯	227	22.5	3.1							
	自分（夫婦）と子と孫	195	24.1	3.6							
	親と自分（夫婦）と子	32	12.5	—							
そ の 他		299	27.8	1.0							

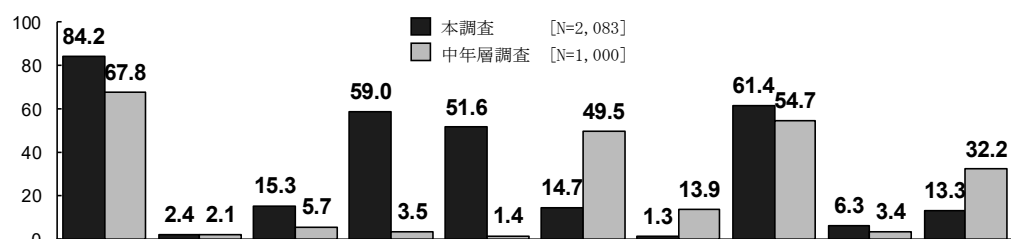
調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上の方が中年層を大きく上回っているのは、「既婚の子ども」(55.5 ポイント差)、「孫」(50.2 ポイント差)となっている。

一方、中年層の方が 60 歳代以上を大きく上回っているのは、「あなたもしくは配偶者の父母」(34.8 ポイント差)、「あなたもしくは配偶者の祖父母」(12.6 ポイント差)となっている。

「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は、中年層で 32.2%と 60 歳代以上の 13.3%を 18.9 ポイント上回っている。〈図表Ⅲ－17〉

〈図表Ⅲ－17〉 同居家族以外の家族および付き合いのある親族 [「中年層調査」との比較：参考]

(複数回答、単位：%)



		N	同居家族以外の家族・親族以外	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	配あな	配あな	兄弟・姉妹	その他	同居家族以外の家族・親族以外
本調査	全 体	2,083	84.2	2.4	15.3	59.0	51.6	14.7	1.3	61.4	6.3	13.3
	60～64歳	353	88.7	2.5	24.9	49.0	39.4	38.0	3.1	72.0	11.0	9.3
	65～69歳	406	85.0	2.0	18.5	59.6	50.5	24.9	3.2	68.7	3.9	13.3
	70～74歳	497	86.3	3.2	13.3	65.6	58.8	10.7	0.6	61.8	6.8	11.3
	75～79歳	407	83.5	1.5	12.8	60.4	53.8	3.4	—	60.0	5.7	14.0
	80～84歳	242	76.0	2.9	9.1	57.0	52.5	0.8	—	50.0	3.3	21.1
	85～89歳	132	81.8	1.5	10.6	58.3	49.2	1.5	—	43.9	6.8	15.2
	90歳以上	46	73.9	2.2	4.3	56.5	60.9	—	—	37.0	6.5	13.0
中年層調査	全 体	1,000	67.8	2.1	5.7	3.5	1.4	49.5	13.9	54.7	3.4	32.2
	40～44歳	287	67.6	1.0	1.4	—	—	53.3	25.4	55.1	3.8	32.4
	45～49歳	267	64.0	2.6	3.7	0.4	—	52.4	14.2	53.9	1.9	36.0
	50～54歳	228	65.8	3.1	7.0	3.1	1.3	45.6	6.6	51.3	1.8	34.2
	55～59歳	218	74.8	1.8	12.4	12.4	5.0	45.0	6.0	58.7	6.4	25.2

(3) 社会貢献活動の実施状況と実施意向

社会貢献活動の実施の有無、および実施意向について尋ね、その結果を以下のようにまとめた。

Q4 あなたは過去 1 年にボランティアのような社会貢献活動をしましたか。

1 はい 2 いいえ

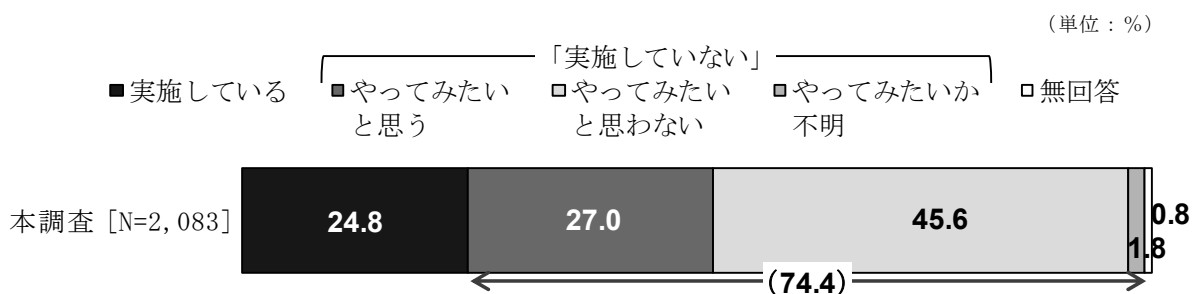
SQ (Q4 で「いいえ」と答えた方へ) できることがあれば今後ボランティアのような社会貢献活動をやってみたいと思いますか。

1 やってみたいと思う 2 やってみたいと思わない

社会貢献活動を「実施している」は24.8%で、「実施していない」は74.4%となっている。

実施していない人のうちでは、「やってみたいと思わない」が 45.6%で、「やってみたいと思う」の 27.0%を上回っている。〈図表Ⅲ－18〉

〈図表Ⅲ－18〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「実施している」は70～74歳で高く、85歳以上で低くなっている。
「やってみたいと思う」は高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。〈図表Ⅲ－19〉

〈図表Ⅲ－19〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔性・年齢別〕

(単位：％)

		N	実施 して いる	実施 して いない	思 や う つ て み た い と	思 や わ つ な い み た い と	不 や 明 つ て み た い か	無 回 答
全	体	2,083	24.8	74.4	27.0	45.6	1.8	0.8
性	男	964	26.3	72.9	25.3	45.9	1.8	0.7
別	女	1,119	23.5	75.6	28.4	45.4	1.8	0.9
本人 年 齢 別	60～64歳	353	21.5	78.2	(38.2)	▲38.5	1.4	0.3
	65～69歳	406	26.4	72.7	(36.2)	▲35.2	1.2	1.0
	70～74歳	497	(28.4)	▲70.8	27.0	42.9	1.0	0.8
	75～79歳	407	27.8	72.0	▲20.6	48.6	2.7	0.2
	80～84歳	242	22.3	76.9	▲16.5	(59.1)	1.2	0.8
	85～89歳	132	▲17.4	79.5	▲12.1	(63.6)	3.8	(3.0)
	90歳以上	46	▲6.5	(91.3)	▲13.0	(71.7)	(6.5)	2.2

本人の現在の職業別にみると、「実施している」は公務員で高くなっている。

「やってみたいと思う」は民間企業被用者、およびパート・アルバイトで高く、無職で低くなっている。〈図表Ⅲ－20〉

〈図表Ⅲ－20〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔本人職業（現在）別〕

(単位：％)

		N	実施 して いる	実施 して いない	思 や う つ て み た い と	思 や わ つ な い み た い と	不 や 明 つ て み た い か	無 回 答
全	体	2,083	24.8	74.4	27.0	45.6	1.8	0.8
本人 職 業 （ 現 在 ） 別	自営業者	180	27.2	72.2	31.1	40.0	1.1	0.6
	農林漁業	19	36.8	63.2	26.3	31.6	5.3	-
	商工サービス業	124	25.8	73.4	32.3	41.1	-	0.8
	自由業	37	27.0	73.0	29.7	40.5	2.7	-
	常雇被用者	222	27.0	72.1	(38.3)	▲32.9	0.9	0.9
	公務員	37	(43.2)	▲56.8	37.8	▲18.9	-	-
	民間企業被用者	185	23.8	75.1	(38.4)	▲35.7	1.1	1.1
	非正規社員	178	21.3	78.1	(43.3)	▲34.3	0.6	0.6
	派遣社員・契約社員	39	23.1	76.9	38.5	38.5	-	-
	パート・アルバイト	139	20.9	78.4	(44.6)	▲33.1	0.7	0.7
	無職	1,037	26.0	73.3	▲24.4	47.4	1.4	0.7
	その他	24	25.0	70.8	37.5	29.2	4.2	4.2

未既婚別にみると、「実施している」および「やってみたいと思う」は既婚（配偶者あり）層で高くなっている。

「やってみたいと思わない」は既婚（離別・死別）層で高くなっている。〈図表Ⅲ－21〉

〈図表Ⅲ－21〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔未既婚別〕

(単位：％)

		N	実施している	実施していない	やってみたいと思う	やってみたいと思わない	やってみたいと思わない	無回答
全 体		2,083	24.8	74.4	27.0	45.6	1.8	0.8
未既婚別	未婚	88	▲12.5	86.4	34.1	48.9	3.4	1.1
	既婚（配偶者あり）	1,471	26.8	▲72.7	29.0	▲42.2	1.4	▲0.5
	既婚（離別・死別）	506	▲20.9	77.7	▲20.2	54.9	2.6	1.4

家族形態別にみると、「実施している」は単身層で低くなっている。「やってみたいと思う」は、2世代世帯、親と自分（夫婦）と子の各層で、それぞれ高くなっている。〈図表Ⅲ－22〉

〈図表Ⅲ－22〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔家族形態別〕

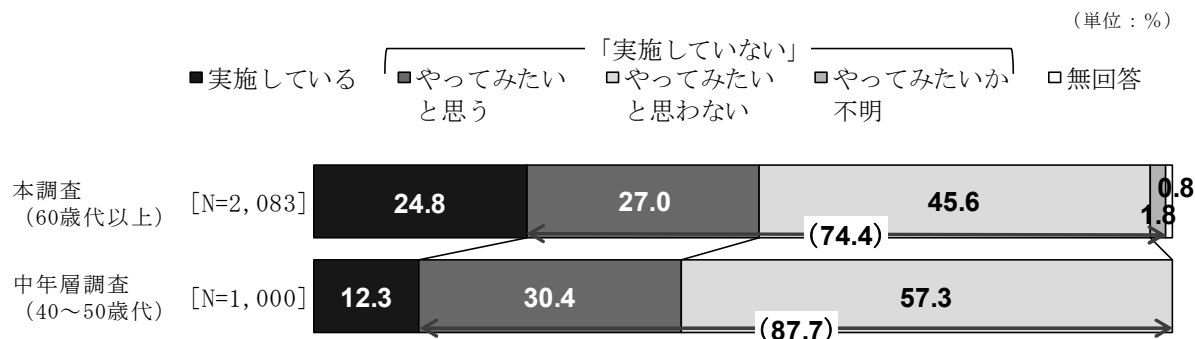
(単位：％)

		N	実施している	実施していない	やってみたいと思う	やってみたいと思わない	やってみたいと思わない	無回答
全 体		2,083	24.8	74.4	27.0	45.6	1.8	0.8
家族形態別	単身	333	▲20.4	77.8	24.3	49.5	3.9	1.8
	夫婦のみ	773	26.9	72.6	26.6	44.4	1.6	0.5
	2世代世帯	424	25.7	74.1	34.2	▲38.7	1.2	0.2
	夫婦と子のみ	354	26.6	73.2	32.2	▲40.1	0.8	0.3
	親と自分（夫婦）のみ	70	21.4	78.6	44.3	▲31.4	2.9	－
	3世代世帯	227	29.1	70.0	22.9	45.8	1.3	0.9
	自分（夫婦）と子と孫	195	29.7	69.2	▲19.5	48.2	1.5	1.0
	親と自分（夫婦）と子	32	25.0	75.0	43.8	31.3	－	－
	その他	299	▲19.7	79.3	24.4	53.5	1.3	1.0

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「実施している」は中年層の 12.3%に比べて、60 歳代以上は 24.8%と 12.5 ポイント上回っている。

「やってみたいと思う」は中年層が 30.4%、60 歳代以上が 27.0%で、3.4 ポイント差と極端に大きな差はみられない。〈図表Ⅲ－23〉

〈図表Ⅲ－23〉 社会貢献活動の実施状況と実施意向 「中年層調査」との比較：参考]



(単位：%)

		N	実施している	実施していない	思や うつ て み た い と	思や わつ な て い み た い と	不 や 明 つ て み た い か
本調査	全 体	2,083	24.8	74.4	27.0	45.6	1.8
	60～64歳	353	21.5	78.2	38.2	38.5	1.4
	65～69歳	406	26.4	72.7	36.2	35.2	1.2
	70～74歳	497	28.4	70.8	27.0	42.9	1.0
	75～79歳	407	27.8	72.0	20.6	48.6	2.7
	80～84歳	242	22.3	76.9	16.5	59.1	1.2
	85～89歳	132	17.4	79.5	12.1	63.6	3.8
	90歳以上	46	6.5	91.3	13.0	71.7	6.5
中年層調査	全 体	1,000	12.3	87.7	30.4	57.3	—
	40～44歳	287	9.4	90.6	37.6	53.0	—
	45～49歳	267	10.5	89.5	25.5	64.0	—
	50～54歳	228	11.8	88.2	28.9	59.2	—
	55～59歳	218	18.8	81.2	28.4	52.8	—

(4) 相続・財産管理

①相続準備の有無

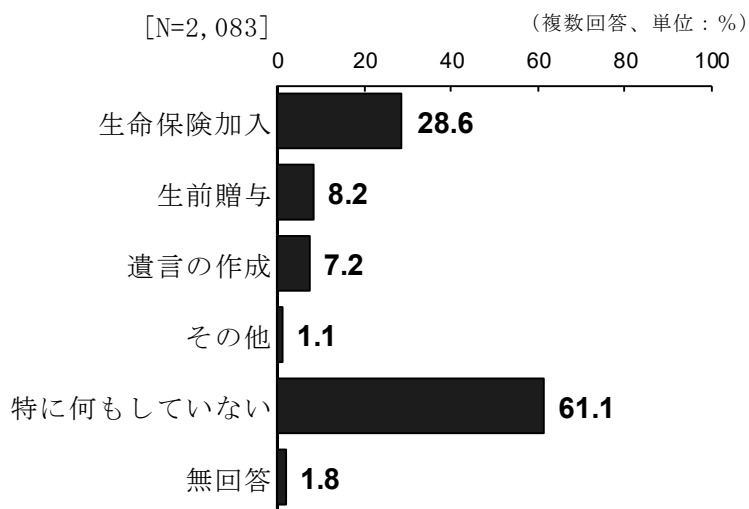
Q35 あなたはご自身に万一があった場合のための相続準備をしていますか。

この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 遺言の作成
- 2 生前贈与
- 3 生命保険加入
- 4 その他
- 5 特に何もしていない

相続準備については、「特に何もしていない」が 61.1%を占めている。具体的な相続準備としては、「生命保険加入」が 28.6%と最も多く、「生前贈与」が 8.2%、「遺言の作成」が 7.2%の順となっている。〈図表Ⅲ－24〉

〈図表Ⅲ－24〉 相続準備の有無



性別にみると、特に差がみられない。

年齢別にみると、「生命保険加入」は65～69歳で高くなっており、概ね高齢層ほど低くなっている傾向がみられる。

「生前贈与」は60～64歳で低く、85～89歳で高くなっている。

「遺言の作成」は60～64歳で低く、80歳代の層で1割超と高くなっている。〈図表Ⅲ－25〉

〈図表Ⅲ－25〉 相続準備の有無〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：％)

			生命 保 険 加 入	生 前 贈 与	遺 言 の 作 成	そ の 他	し 特 て に い 何 な も い	無 回 答
	N							
全	体	2,083	28.6	8.2	7.2	1.1	61.1	1.8
性	男	964	27.0	8.8	8.0	1.2	61.6	1.6
別	女	1,119	29.9	7.6	6.6	0.9	60.7	2.0
本	60～64歳	353	29.7	▲ 4.2	▲ 3.1	0.6	64.0	1.4
人	65～69歳	406	33.5	6.4	6.4	1.0	59.4	1.0
年	70～74歳	497	30.6	10.3	5.6	1.4	60.6	▲ 0.4
齢	75～79歳	407	25.6	8.8	9.3	1.2	62.2	2.2
別	80～84歳	242	26.0	8.3	10.3	0.8	61.2	2.5
	85～89歳	132	21.2	13.6	14.4	1.5	57.6	4.5
	90歳以上	46	▲15.2	8.7	8.7	－	60.9	10.9

未婚別にみると、「遺言の作成」は未婚層で高くなっている。他は、特に差がみられない。〈図表Ⅲ－26〉

〈図表Ⅲ－26〉 相続準備の有無〔未婚別〕

(複数回答、単位：％)

			生命 保 険 加 入	生 前 贈 与	遺 言 の 作 成	そ の 他	し 特 て に い 何 な も い	無 回 答
	N							
全	体	2,083	28.6	8.2	7.2	1.1	61.1	1.8
未	未	88	20.5	4.5	13.6	2.3	67.0	－
既	既婚（配偶者あり）	1,471	28.6	7.7	6.9	1.0	61.8	1.5
婚	既婚（離別・死別）	506	30.0	9.9	7.1	1.0	58.7	2.2
別								

家族形態別にみると、「遺言の作成」は単身層で高くなっている。他は、特に差がみられない。〈図表Ⅲ－27〉

〈図表Ⅲ－27〉 相続準備の有無〔家族形態別〕

(複数回答、単位：％)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	その他	し特に なに何 もない	無 回答
全 体		2,083	28.6	8.2	7.2	1.1	61.1	1.8
家族 形態 別	単 身	333	25.8	9.3	11.1	1.8	60.4	1.5
	夫婦のみ	773	27.7	8.3	8.4	1.3	62.2	1.2
	2世代世帯	424	32.3	6.1	5.2	0.9	59.7	0.9
	夫婦と子のみ	354	32.5	6.5	5.6	0.8	58.8	1.1
	親と自分(夫婦)のみ	70	31.4	4.3	2.9	1.4	64.3	－
	3世代世帯	227	30.4	9.3	8.4	0.4	60.4	1.8
	自分(夫婦)と子と孫	195	29.7	9.2	8.2	0.5	59.5	2.1
	親と自分(夫婦)と子	32	34.4	9.4	9.4	－	65.6	－
	その他	299	28.1	9.0	▲2.3	0.3	61.5	3.7

本人年収別にみると、「生命保険加入」は概ね(1,000～2,000万円未満層までの)高収入層ほど高くなっている傾向がみられる。

「生前贈与」は500～1,000万円未満層から上の高収入層で高くなっている。

「遺言の作成」は2,000万円以上層で30.8%と特に高くなっている。

「特に何もしていない」は、収入はない層で70.5%と高くなっている。〈図表Ⅲ－28〉

〈図表Ⅲ－28〉 相続準備の有無〔本人年収別〕

(複数回答、単位：％)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	その他	し特に なに何 もない	無 回答
全 体		2,083	28.6	8.2	7.2	1.1	61.1	1.8
本人 年 収 別	収入はない	292	▲21.9	6.5	▲2.1	0.7	70.5	2.1
	100万円未満	435	27.1	▲4.8	6.0	1.1	65.1	1.1
	100～500万円未満	1,072	30.6	8.9	8.8	1.2	▲58.5	1.5
	500～1,000万円未満	135	37.8	15.6	9.6	0.7	▲48.9	2.2
	1,000～2,000万円未満	25	48.0	20.0	4.0	4.0	▲40.0	－
	2,000万円以上	13	15.4	23.1	30.8	－	46.2	－

世帯保有金融資産別にみると、「生命保険加入」「生前贈与」は概ね高資産層ほど高くなっている。
「遺言の作成」は 5,000 万円～1 億円未満層で高くなっている。
「特に何もしていない」は、100 万円未満層で 72.6%と高くなっている。〈図表Ⅲ－29〉

〈図表Ⅲ－29〉 相続準備の有無〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：％)

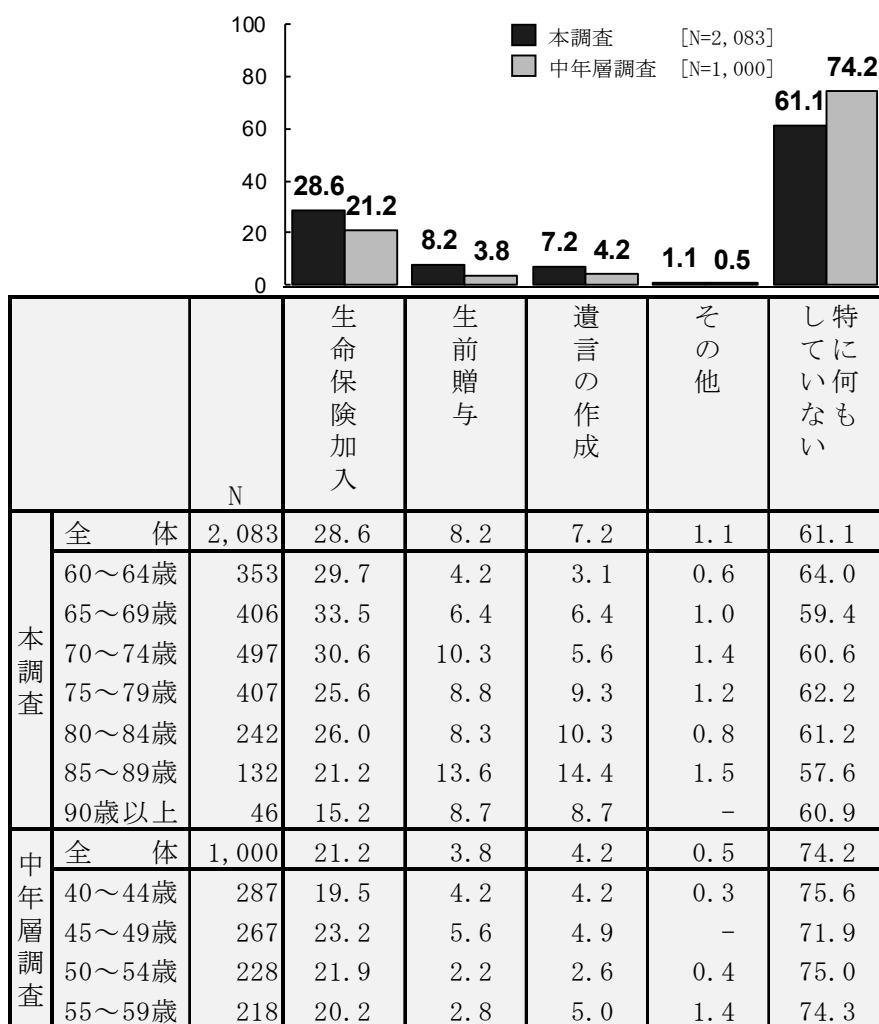
		N	生命 保 険 加 入	生 前 贈 与	遺 言 の 作 成	そ の 他	し特 てに い何 なも い	無 回 答
全 体		2,083	28.6	8.2	7.2	1.1	61.1	1.8
金融 資産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	303	▲18.8	▲4.3	▲2.6	1.7	(72.6)	1.7
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	(32.1)	7.0	5.7	1.1	60.7	▲0.8
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	31.9	6.2	8.1	－	59.3	0.7
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	(36.8)	(11.9)	9.9	1.7	▲51.3	1.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	(37.8)	(23.5)	(15.1)	(3.4)	▲44.5	1.7
	1 億 円 以 上	23	(56.5)	(26.1)	13.0	－	▲21.7	－

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、具体的な相続準備の「生命保険加入」「生前贈与」「遺言の作成」は、いずれも 60 歳代以上の方が中年層を上回っている。一方、「特に何もしていない」は中年層の方が 60 歳代以上を大きく上回っている（13.1 ポイント差）。

〈図表Ⅲ－30〉

〈図表Ⅲ－30〉 相続準備の有無 「中年層調査」との比較：参考

（複数回答、単位：％）



②判断能力低下時への準備の有無

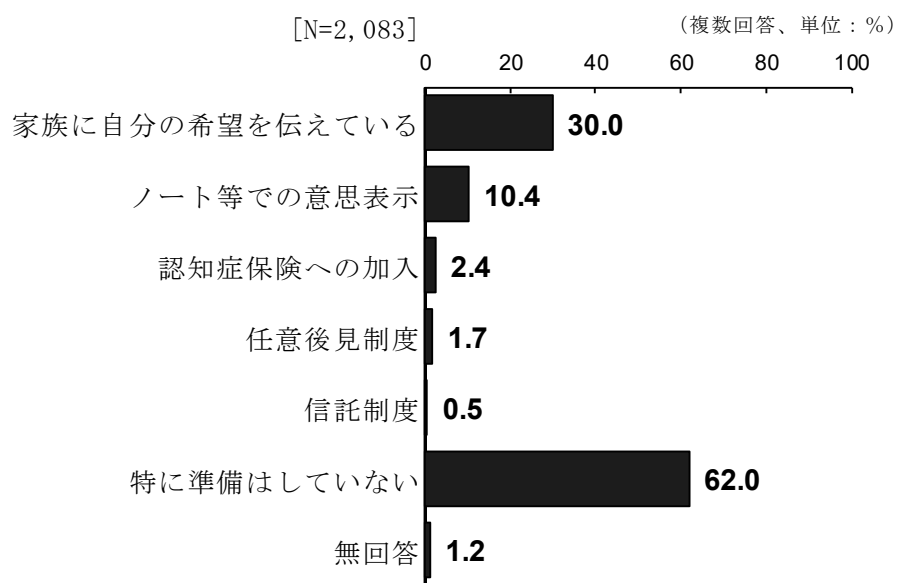
Q36 将来、判断能力が不十分になったときに備えてどのような準備をしていますか。

この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 ノート等での意思表示
- 2 信託制度
- 3 任意後見制度
- 4 家族に自分の希望を伝えている
- 5 認知症保険への加入
- 6 特に準備はしていない

判断能力低下時への準備については、「特に準備はしていない」が 62.0%を占めている。具体的な準備としては、「家族に自分の希望を伝えている」が 30.0%と最も多く、次いで「ノート等での意思表示」が 10.4%、「認知症保険への加入」が 2.4%となっている。〈図表Ⅲ－31〉

〈図表Ⅲ－31〉 判断能力低下時への準備の有無



性別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」「任意後見制度」は、女性の方が男性を上回っている。「特に準備はしていない」は男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は80～84歳で高く、60歳代の層で低くなっている。「ノート等での意思表示」は60～64歳で低くなっている。

「特に準備はしていない」は60歳代の層で高くなっており、75～79歳、80～84歳の各層で低くなっている。〈図表Ⅲ－32〉

〈図表Ⅲ－32〉 判断能力低下時への準備の有無〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：％)

		N	望家を族に 伝えて分の 希望	意思ノ ト表示 等での	加認 入知 症保 険への	任意 後見 制度	信託 制度	し特に い準備 いは	無 回 答
全	体	2,083	30.0	10.4	2.4	1.7	0.5	62.0	1.2
性	男	964	▲26.1	9.2	1.9	▲1.0	0.3	67.1	1.1
別	女	1,119	33.3	11.4	2.9	2.3	0.6	▲57.6	1.2
本	60～64歳	353	▲22.1	▲5.7	2.8	1.1	0.3	72.5	0.6
人	65～69歳	406	▲24.4	8.6	3.9	2.0	0.5	67.0	1.0
年	70～74歳	497	31.6	12.3	2.2	2.6	0.2	60.2	▲0.2
齢	75～79歳	407	33.4	13.0	1.5	1.7	0.5	▲57.5	1.7
別	80～84歳	242	38.4	12.4	2.9	1.2	0.8	▲53.3	1.2
	85～89歳	132	37.1	12.1	－	0.8	0.8	56.8	3.0
	90歳以上	46	28.3	4.3	－	－	2.2	58.7	6.5

未既婚別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は既婚（離別・死別）層で高く、既婚（配偶者あり）層、未婚層で低くなっている。

「任意後見制度」「信託制度」は未婚層で高くなっている。

「特に準備はしていない」は未婚層、既婚（配偶者あり）層で高くなっている。〈図表Ⅲ－33〉

〈図表Ⅲ－33〉 判断能力低下時への準備の有無〔未既婚別〕

(複数回答、単位：％)

		N	望家を族に 伝えて分の 希望	意思ノ ト表示 等での	加認 入知 症保 険への	任意 後見 制度	信託 制度	し特に い準備 いは	無 回 答
全	体	2,083	30.0	10.4	2.4	1.7	0.5	62.0	1.2
未	未	88	▲18.2	8.0	2.3	5.7	2.3	73.9	1.1
既	既婚（配偶者あり）	1,471	▲28.7	10.0	2.5	1.4	0.4	63.6	▲0.7
婚	既婚（離別・死別）	506	36.4	12.5	2.0	2.0	0.4	▲55.5	1.8

家族形態別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は自分（夫婦）と子と孫の層で高く、夫婦と子のみで低くなっている。

「ノート等での意思表示」は単身層、夫婦のみ層で高く、夫婦と子のみ層で低くなっている。

「任意後見制度」は親と自分（夫婦）と子で高くなっている。

「特に準備はしていない」は夫婦と子のみ層で高くなっている。〈図表Ⅲ－34〉

〈図表Ⅲ－34〉 判断能力低下時への準備の有無〔家族形態別〕

(複数回答、単位：％)

		N	望家を族に 伝えて分の 希望	意ノ 思ト 表等 での	加認 入知 症保 険への	任意 後見 制度	信託 制度	し特に ない準 な備 いは	無 回 答
	全 体	2,083	30.0	10.4	2.4	1.7	0.5	62.0	1.2
家族 形 態 別	単 身	333	33.6	(14.1)	1.8	2.7	0.9	57.4	1.2
	夫 婦 の み	773	31.3	(12.8)	2.8	▲ 0.9	0.4	60.3	▲ 0.5
	2 世 代 世 帯	424	▲ 22.6	▲ 7.8	2.8	2.4	0.2	(69.8)	0.5
	夫 婦 と 子 の み	354	▲ 22.9	▲ 6.5	2.3	2.5	0.3	(70.3)	0.6
	親と自分（夫婦）のみ	70	21.4	14.3	5.7	1.4	－	67.1	－
	3 世 代 世 帯	227	35.2	8.4	2.2	2.2	－	59.0	0.9
	自分（夫婦）と子と孫	195	(36.9)	9.2	1.5	1.0	－	57.4	1.0
	親と自分（夫婦）と子	32	25.0	3.1	6.3	(9.4)	－	68.8	－
	そ の 他	299	30.8	▲ 5.7	1.7	1.7	0.7	62.5	(3.0)

本人年収別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は100～500万円未満層で高くなっている。他は、特に差がみられない。〈図表Ⅲ－35〉

〈図表Ⅲ－35〉 判断能力低下時への準備の有無〔本人年収別〕

(複数回答、単位：％)

		N	望家を族に 伝えて分の 希望	意ノ 思ト 表等 での	加認 入知 症保 険への	任意 後見 制度	信託 制度	し特に ない準 な備 いは	無 回 答
	全 体	2,083	30.0	10.4	2.4	1.7	0.5	62.0	1.2
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	26.0	7.5	2.4	0.7	0.7	65.1	1.7
	100 万 円 未 満	435	30.6	10.1	1.8	1.6	－	62.5	0.9
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	(32.1)	11.5	2.5	2.1	0.7	60.1	▲ 0.7
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	29.6	8.1	3.7	2.2	0.7	63.0	1.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	24.0	12.0	4.0	－	－	64.0	－
	2,000 万 円 以 上	13	23.1	15.4	－	－	－	69.2	－

世帯保有金融資産別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は、100万円未満層で低く、100～1,000万円未満層で高くなっている。

「ノート等での意思表示」は5,000万円～1億円未満層で高くなっている。

「特に準備はしていない」は100万円未満層で70.3%と高くなっている。〈図表Ⅲ－36〉

〈図表Ⅲ－36〉 判断能力低下時への準備の有無〔世帯保有金融資産別〕

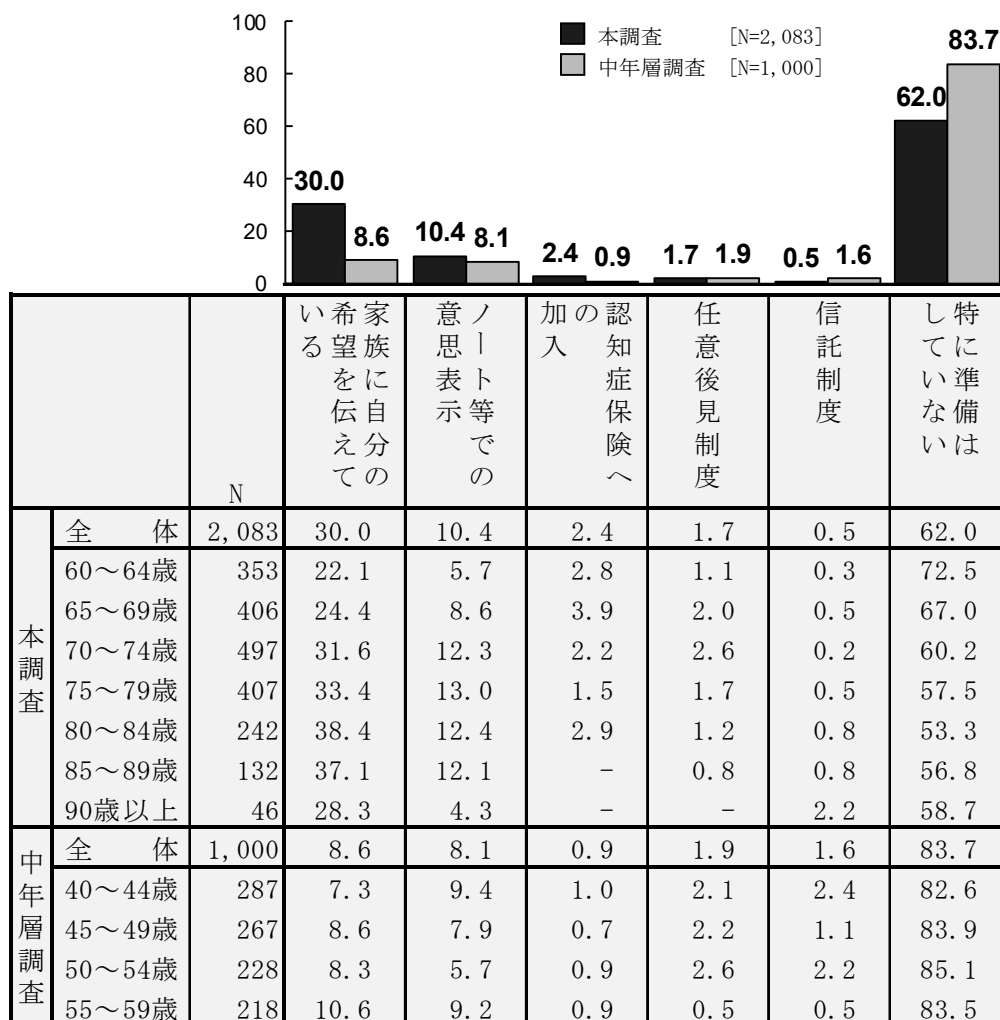
(複数回答、単位：%)

		N	望家を族に 伝えて自分 の希望	意思ノ ト表示 等での	加認 入知 症保 険への	任意 後見 制度	信託 制度	し特に 準備 は	無 回答
全 体		2,083	30.0	10.4	2.4	1.7	0.5	62.0	1.2
金融 資産 別 世帯 保有	100 万 円 未 満	303	▲24.1	7.9	3.3	0.7	0.7	70.3	0.7
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	33.8	11.0	2.5	1.9	0.4	▲58.4	▲0.2
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	27.5	11.4	2.6	2.9	－	63.0	0.4
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	34.8	11.6	2.0	0.7	0.7	60.3	0.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	33.6	20.2	5.0	2.5	1.7	▲52.9	0.8
	1 億 円 以 上	23	52.2	4.3	－	－	－	47.8	－

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上の方が中年層を上回っているのは「家族に自分の希望を伝えている」で、21.4 ポイント差となっている。一方、「特に準備はしていない」は中年層が 83.7%と、60 歳代以上の 62.0%を 21.7 ポイント上回っている。〈図表Ⅲ－37〉

〈図表Ⅲ－37〉 判断能力低下時への準備の有無 「〔中年層調査〕との比較：参考」

(複数回答、単位：%)



③判断能力低下時の相談相手

Q37 将来、判断能力が不十分になったときにどのような相談相手がいますか。

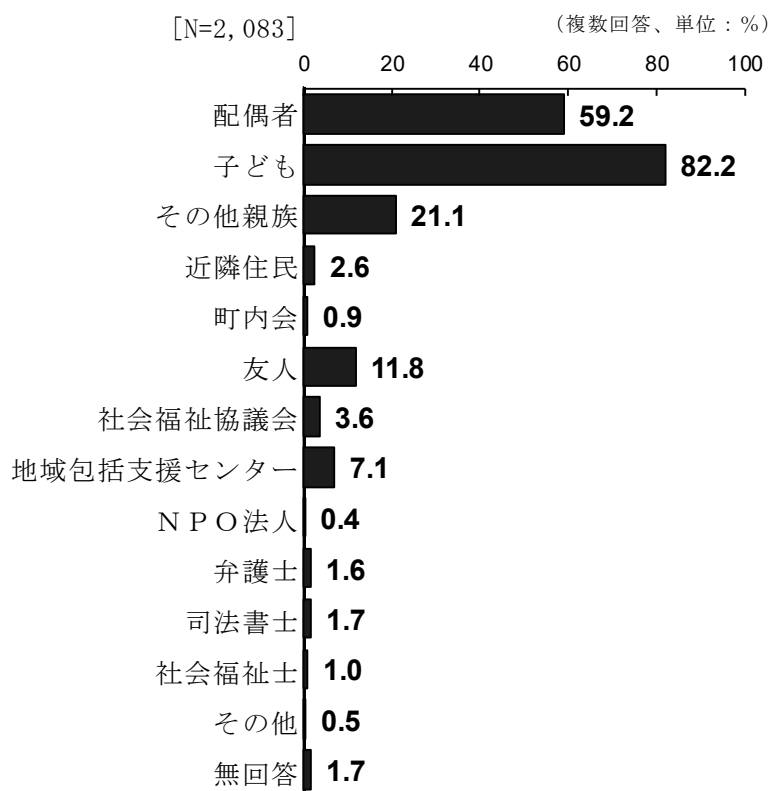
この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 配偶者 | 8 地域包括支援センター |
| 2 子ども | 9 NPO 法人 |
| 3 その他親族 | 10 弁護士 |
| 4 近隣住民 | 11 司法書士 |
| 5 町内会 | 12 社会福祉士 |
| 6 友人 | 13 その他 |
| 7 社会福祉協議会 | |

判断能力低下時の相談相手については、「子ども」が 82.2%を占め、最も多くなっている。次いで、「配偶者」が 59.2%、「その他親族」が 21.1%、「友人」が 11.8%と続いている。

組織、専門家の相談相手としては、「地域包括支援センター」が 7.1%、「社会福祉協議会」が 3.6%となっている。〈図表Ⅲ－38〉

〈図表Ⅲ－38〉 判断能力低下時の相談相手



性別にみると、「配偶者」「司法書士」は女性よりも男性の方が高くなっている。一方、「子ども」「友人」は女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「配偶者」「友人」は高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。

「その他親族」は 60～64 歳で、「社会福祉協議会」は 75～79 歳で、それぞれ高くなっている。「子ども」は 60～64 歳で低くなっている。〈図表Ⅲ－39〉

〈図表Ⅲ－39〉 判断能力低下時の相談相手〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	子ども	その他親族	近隣住民	町内会	友人	社会福祉協議会
全	体	2,083	59.2	82.2	21.1	2.6	0.9	11.8	3.6
性別	男	964	70.6	▲77.2	19.5	2.4	1.1	▲8.7	3.1
	女	1,119	▲49.3	86.6	22.5	2.8	0.7	14.4	4.1
本人年齢別	60～64歳	353	71.4	▲77.6	26.1	1.7	0.3	18.4	2.0
	65～69歳	406	70.0	79.6	24.6	1.7	0.5	15.3	3.7
	70～74歳	497	63.4	84.7	19.7	2.4	1.0	11.9	3.8
	75～79歳	407	▲53.6	81.6	18.7	3.9	1.5	▲8.1	5.9
	80～84歳	242	▲45.9	84.7	17.4	3.3	0.8	▲7.9	2.5
	85～89歳	132	▲33.3	87.9	19.7	3.8	1.5	▲4.5	3.8
	90歳以上	46	▲19.6	91.3	13.0	－	2.2	▲2.2	－
		N	地域包括支援センター	NPO法人	弁護士	司法書士	社会福祉士	その他	無回答
全	体	2,083	7.1	0.4	1.6	1.7	1.0	0.5	1.7
性別	男	964	6.0	0.5	2.1	2.4	1.1	0.2	2.3
	女	1,119	8.0	0.3	1.3	▲1.2	0.8	0.8	1.3
本人年齢別	60～64歳	353	4.8	0.3	2.3	1.7	1.1	0.6	1.7
	65～69歳	406	6.2	0.5	2.0	1.5	0.7	0.2	1.5
	70～74歳	497	7.6	0.4	1.6	1.8	1.0	0.4	▲0.6
	75～79歳	407	7.6	0.7	1.2	2.0	1.0	0.7	2.7
	80～84歳	242	9.1	－	1.7	2.1	1.7	0.8	1.7
	85～89歳	132	9.8	－	0.8	1.5	－	0.8	2.3
	90歳以上	46	4.3	－	－	－	－	－	6.5

未既婚別にみると、「配偶者」「子ども」は既婚（配偶者あり）層で高くなっている。

「その他親族」「友人」「弁護士」は未婚層で、「町内会」は既婚（離別・死別）で、それぞれ高くなっている。〈図表Ⅲ－40〉

〈図表Ⅲ－40〉 判断能力低下時の相談相手〔未既婚別〕

（複数回答、単位：％）

			配偶者	子ども	その他親族	近隣住民	町内会	友人	社会福祉協議会
		N							
全 体		2,083	59.2	82.2	21.1	2.6	0.9	11.8	3.6
未既婚別	未婚	88	－	▲ 2.3	○ 72.7	2.3	1.1	○ 25.0	3.4
	既婚（配偶者あり）	1,471	○ 83.8	○ 86.4	▲ 17.3	2.5	▲ 0.6	11.1	3.3
	既婚（離別・死別）	506	－	84.8	23.5	3.0	○ 1.8	11.1	4.7
		N	セ地域 ン域 タ包 ！括 支 援	N P O 法 人	弁 護 士	司 法 書 士	社 会 福 祉 士	そ の 他	無 回 答
全 体		2,083	7.1	0.4	1.6	1.7	1.0	0.5	1.7
未既婚別	未婚	88	11.4	－	○ 4.5	2.3	1.1	1.1	○ 6.8
	既婚（配偶者あり）	1,471	6.7	0.4	1.7	1.6	1.1	▲ 0.2	▲ 0.8
	既婚（離別・死別）	506	7.5	0.4	1.0	2.2	0.6	○ 1.4	○ 2.8

家族形態別にみると、「配偶者」は夫婦のみ、夫婦と子のみ、親と自分（夫婦）と子の各層で高くなっている。

「子ども」は夫婦と子のみ、自分（夫婦）と子と孫の各層で高くなっている。

「その他親族」は単身、親と自分（夫婦）のみの各層で高く、夫婦のみ、夫婦と子のみの各層で低くなっている。

「友人」は単身、親と自分（夫婦）と子の各層で高くなっている。〈図表Ⅲ－41〉

〈図表Ⅲ－41〉 判断能力低下時の相談相手〔家族形態別〕

（複数回答、単位：％）

		N	配偶者	子ども	その他親族	近隣住民	町内会	友人	社会福祉協議会
全 体		2,083	59.2	82.2	21.1	2.6	0.9	11.8	3.6
家族形態別	単 身	333	▲ 3.9	▲ 66.4	○ 32.4	3.6	○ 2.1	○ 15.6	5.1
	夫 婦 の み	773	○ 84.5	84.0	▲ 16.9	3.1	0.5	10.5	3.4
	2 世 代 世 帯	424	○ 84.0	○ 87.3	20.3	1.4	0.5	11.6	3.3
	夫 婦 と 子 の み	354	○ 86.7	○ 91.5	▲ 17.2	1.7	0.6	11.0	3.7
	親と自分（夫婦）のみ	70	70.0	▲ 65.7	○ 35.7	－	－	14.3	1.4
	3 世 代 世 帯	227	53.3	○ 92.5	18.1	3.1	○ 2.2	14.1	4.0
	自分（夫婦）と子と孫	195	▲ 49.2	○ 92.8	15.9	2.6	2.1	12.3	4.1
	親と自分（夫婦）と子	32	○ 78.1	90.6	31.3	6.3	3.1	○ 25.0	3.1
そ の 他		299	▲ 29.1	82.3	23.7	1.7	0.3	8.7	3.3
		N	セ 地 ン 域 タ 包 ！ 括 支 援	N P O 法 人	弁 護 士	司 法 書 士	社 会 福 祉 士	そ の 他	無 回 答
全 体		2,083	7.1	0.4	1.6	1.7	1.0	0.5	1.7
家族形態別	単 身	333	9.3	0.9	2.1	2.4	0.9	○ 1.5	○ 4.2
	夫 婦 の み	773	7.0	0.3	1.6	▲ 0.9	0.8	0.1	▲ 0.8
	2 世 代 世 帯	424	8.3	0.5	2.6	○ 3.1	0.9	0.5	0.7
	夫 婦 と 子 の み	354	8.2	0.6	2.5	2.8	0.8	0.3	0.8
	親と自分（夫婦）のみ	70	8.6	－	2.9	4.3	1.4	1.4	－
	3 世 代 世 帯	227	4.0	0.4	0.4	0.9	0.9	0.4	0.9
	自分（夫婦）と子と孫	195	4.6	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	1.0
	親と自分（夫婦）と子	32	－	－	－	－	－	－	－
そ の 他		299	5.4	－	0.7	1.7	1.7	0.3	2.7

本人年収別にみると、「配偶者」は 500～2,000 万円未満の各層で、「友人」、「地域包括支援センター」は 100 万円未満層で、それぞれ高くなっている。

「弁護士」は 2,000 万円以上の高収入層で 38.5%と高くなっている。〈図表Ⅲ－42〉

〈図表Ⅲ－42〉 判断能力低下時の相談相手〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	子ども	その他親族	近隣住民	町内会	友人	社会福祉協議会
全 体		2,083	59.2	82.2	21.1	2.6	0.9	11.8	3.6
本人年収別	収入はな い	292	54.1	86.3	19.2	2.4	1.4	12.3	4.1
	100 万 円 未 満	435	61.6	83.0	20.5	3.9	1.4	15.4	5.1
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	57.7	81.6	22.8	2.4	0.8	10.9	3.5
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	69.6	80.7	21.5	1.5	－	9.6	1.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	92.0	80.0	24.0	－	－	12.0	－
	2,000 万 円 以 上	13	53.8	84.6	7.7	－	－	15.4	－
		N	地域包括支援センター	NPO法人	弁護士	司法書士	社会福祉士	その他	無回答
全 体		2,083	7.1	0.4	1.6	1.7	1.0	0.5	1.7
本人年収別	収入はな い	292	5.1	0.3	1.0	0.7	0.7	1.0	2.4
	100 万 円 未 満	435	9.7	0.2	0.7	1.6	2.1	0.7	1.6
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	7.0	0.4	▲ 1.0	1.9	0.7	0.4	▲ 0.9
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	5.2	－	4.4	3.0	0.7	－	1.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	－	4.0	4.0	4.0	－	4.0	－
	2,000 万 円 以 上	13	－	－	38.5	－	－	－	－

世帯保有金融資産別にみると、「配偶者」は高資産層ほど高くなっている。

「子ども」は100万円未満層で低く、2,000～5,000万円未満層で高くなっている。

「その他親族」「友人」は5,000万円～1億円未満層で高くなっている。

「弁護士」は1億円以上の高資産層で8.7%と高くなっている。〈図表Ⅲ－43〉

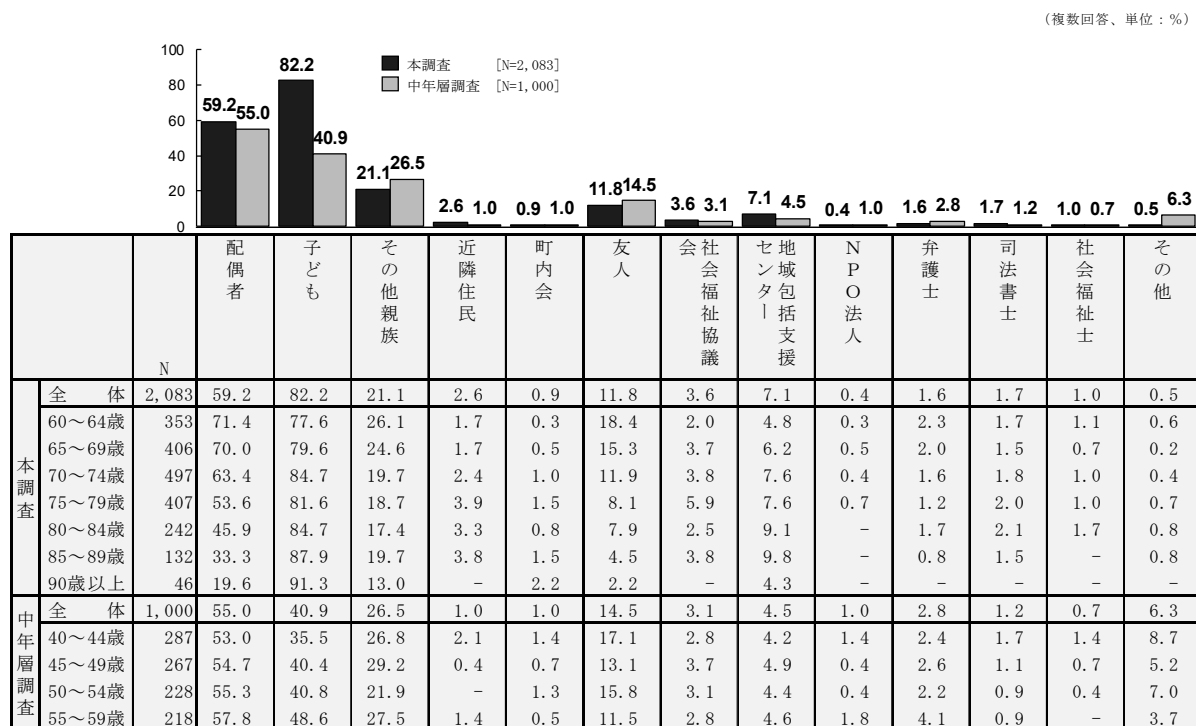
〈図表Ⅲ－43〉 判断能力低下時の相談相手〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	子ども	その他親族	近隣住民	町内会	友人	社会福祉協議会
全 体		2,083	59.2	82.2	21.1	2.6	0.9	11.8	3.6
金融資産別	100 万 円 未 満	303	▲50.8	▲77.2	18.8	3.3	1.7	9.9	5.0
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	56.5	83.7	21.4	4.2	1.1	12.3	3.4
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	69.6	81.3	23.1	1.5	0.4	15.0	4.4
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	74.2	86.8	24.5	2.0	0.3	10.9	4.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	72.3	85.7	28.6	2.5	0.8	18.5	2.5
	1 億 円 以 上	23	82.6	91.3	17.4	-	-	13.0	-
		N	セ 地 ン 域 タ 包 ！ 括 支 援	N P O 法 人	弁 護 士	司 法 書 士	社 会 福 祉 士	そ の 他	無 回 答
全 体		2,083	7.1	0.4	1.6	1.7	1.0	0.5	1.7
金融資産別	100 万 円 未 満	303	8.3	0.3	0.7	1.3	1.7	1.0	1.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	6.8	0.8	1.1	2.5	0.6	-	▲0.6
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	6.6	0.7	2.2	2.2	1.1	0.4	-
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	8.9	0.3	2.6	1.3	1.0	0.3	0.7
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	6.7	-	3.4	1.7	1.7	0.8	2.5
	1 億 円 以 上	23	-	-	8.7	-	-	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上の方が中年層を大きく上回っているのは「子ども」で、41.3 ポイント差となっている。一方、「その他の親族」は中年層の方が 5.4 ポイント上回っている。それ以外については、両者に大きな差はみられない。〈図表Ⅲ－44〉

〈図表Ⅲ－44〉 判断能力低下時の相談相手 【「中年層調査」との比較：参考】



④判断能力低下時の金融資産の取扱い方

Q38 将来、判断能力が不十分になったときに株や証券などの金融資産を家族や成年後見人にどのように扱って欲しいですか。(○は1つだけ)

- 1 そのまま保持する
- 2 適切に運用する
- 3 売却して現金資産にする
- 4 保持していない
- 5 回答したくない
- 6 その他

判断能力低下時の金融資産の取扱い方については、(金融資産を)「保持していない」が43.3%を占めている。また、「回答したくない」も10.5%となっている。

具体的な取扱い方としては、「適切に運用する」が19.8%と最も多く、「売却して現金資産にする」が12.0%、「そのまま保持する」が8.5%と続いている。〈図表Ⅲ－45〉

〈図表Ⅲ－45〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方

(単位：%)

■そのまま保持する ■適切に運用する ■売却して現金資産にする □保持していない □回答したくない □その他 □無回答

本調査 [N=2, 083]	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	4.5
					1.5	

性別にみると、「回答したくない」は女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「そのまま保持する」は90歳以上で高くなっている。

「適切に運用する」は高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。〈図表Ⅲ－46〉

〈図表Ⅲ－46〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	そのまま保持する	適切に運用する	売却して現金資産にする	保持していない	回答したくない	その他	無回答
全	体	2, 083	8. 5	19. 8	12. 0	43. 3	10. 5	1. 5	4. 5
性	男 性	964	7. 9	21. 5	12. 9	44. 5	▲ 8. 8	1. 3	▲ 3. 1
別	女 性	1, 119	9. 1	18. 4	11. 2	42. 2	○ 11. 9	1. 6	○ 5. 6
本	60～64歳	353	7. 4	○ 24. 1	14. 4	39. 4	11. 6	1. 4	▲ 1. 7
人	65～69歳	406	9. 1	20. 4	13. 3	44. 1	8. 6	1. 5	3. 0
年	70～74歳	497	7. 2	20. 1	12. 1	45. 5	10. 5	1. 2	3. 4
齢	75～79歳	407	7. 9	17. 9	10. 3	44. 5	11. 8	2. 0	5. 7
別	80～84歳	242	9. 1	17. 4	12. 0	45. 9	9. 1	0. 4	6. 2
	85～89歳	132	11. 4	18. 9	7. 6	39. 4	9. 8	3. 0	○ 9. 8
	90歳以上	46	○ 21. 7	10. 9	6. 5	▲ 28. 3	15. 2	2. 2	○ 15. 2

未婚別にみると、「適切に運用する」は既婚（配偶者あり）層で高く、既婚（離別・死別）層で低くなっている。〈図表Ⅲ－47〉

〈図表Ⅲ－47〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔未婚別〕

（単位：％）

		N	その まま 保持す	適切 に運用する	売却して 現金資産にする	保持 して いない	回答 した くない	その他	無 回 答
全 体		2,083	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	1.5	4.5
未 既 婚 別	未 婚	88	4.5	22.7	9.1	40.9	13.6	3.4	5.7
	既婚（配偶者あり）	1,471	8.4	21.6	12.8	42.4	10.2	1.3	▲ 3.3
	既婚（離別・死別）	506	9.9	▲14.6	10.3	46.4	10.7	1.8	6.3

家族形態別にみると、「適切に運用する」は夫婦と子のみ層で高くなっている。

「売却して現金資産にする」は夫婦のみ層で高く、自分（夫婦）と子と孫の層で低くなっている。

「保持していない」は3世代世帯で高くなっている。〈図表Ⅲ－48〉

〈図表Ⅲ－48〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔家族形態別〕

（単位：％）

			るその まま保 持す	適切 に運 用す る	現 金資 産に する	保 持し てい ない	回 答し たく ない	そ の 他	無 回 答
		N							
全 体		2,083	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	1.5	4.5
家 族 形 態 別	単 身	333	8.4	18.0	12.0	41.1	11.4	1.8	7.2
	夫 婦 の み	773	8.8	20.6	13.8	42.4	9.8	▲ 0.6	3.9
	2 世 代 世 帯	424	8.0	23.6	14.2	41.7	9.2	1.7	▲ 1.7
	夫 婦 と 子 の み	354	8.5	24.3	13.8	41.5	8.5	1.7	▲ 1.7
	親と自分（夫婦）のみ	70	5.7	20.0	15.7	42.9	12.9	1.4	1.4
	3 世 代 世 帯	227	7.0	16.7	▲ 6.6	50.7	11.9	2.2	4.8
	自分（夫婦）と子と孫	195	7.2	17.9	▲ 4.6	49.2	13.3	2.1	5.6
	親と自分（夫婦）と子	32	6.3	9.4	18.8	59.4	3.1	3.1	-
	そ の 他	299	10.0	17.4	▲ 7.7	45.5	11.4	2.3	5.7

本人年収別にみると、「適切に運用する」は100万円未満層以下の低収入層で低く、500～1,000万円未満層で高くなっている。「売却して現金資産にする」は高収入層ほど高くなる傾向がみられる。

「保持していない」は500～1,000万円未満層より上の高収入層で低くなっている。〈図表Ⅲ－49〉

〈図表Ⅲ－49〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔本人年収別〕

(単位：％)

		N	るその のまま 保持す	適切 に運 用す る	現売 金却 し資 産に する	保 持し てい ない	回 答し たく ない	そ の 他	無 回 答
	全 体	2,083	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	1.5	4.5
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	▲ 5.5	▲14.0	▲ 7.5	47.9	17.1	2.1	5.8
	100 万 円 未 満	435	9.7	▲15.4	11.5	46.7	10.3	2.1	4.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	9.0	21.2	12.9	45.1	▲ 7.8	▲ 0.9	▲ 3.2
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	8.9	34.8	16.3	▲24.4	11.9	1.5	2.2
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	12.0	24.0	32.0	▲20.0	4.0	4.0	4.0
	2,000 万 円 以 上	13	7.7	61.5	-	▲ 7.7	15.4	-	7.7

世帯保有金融資産別にみると、「そのまま保持する」「適切に運用する」「売却して現金資産にする」の具体的な取扱い方は、いずれも高資産層になるほど高くなっている傾向がみられる。

「保持していない」は低資産層ほど高くなっている。〈図表Ⅲ－50〉

〈図表Ⅲ－50〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔世帯保有金融資産別〕

(単位：％)

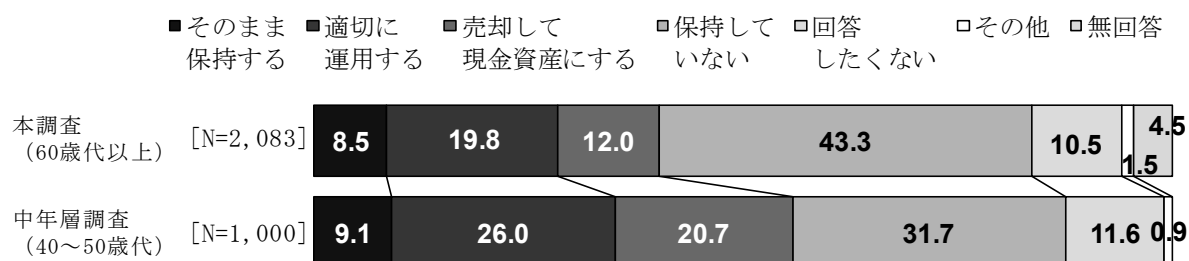
		N	るその のまま 保持す	適切 に運 用す る	現売 金却 し資 産に する	保 持し てい ない	回 答し たく ない	そ の 他	無 回 答
	全 体	2,083	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	1.5	4.5
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	303	▲ 5.6	▲11.2	▲ 6.6	57.4	13.2	1.7	4.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	8.0	16.9	10.6	51.6	9.1	1.5	▲ 2.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	9.9	21.2	16.8	41.4	9.5	-	▲ 1.1
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	11.6	34.1	18.9	▲26.5	▲ 5.3	1.3	2.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	12.6	34.5	23.5	▲21.8	▲ 5.0	0.8	1.7
	1 億 円 以 上	23	21.7	47.8	13.0	▲ 4.3	4.3	8.7	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「保持していない」は 60 歳代以上（43.3%）が中年層（31.7%）を 11.6 ポイント上回っている。

具体的な取扱い方としては、「適切に運用する」「売却して現金資産にする」がいずれも中年層をそれぞれ 6.2 ポイント、8.7 ポイントずつ下回っている。（図表Ⅲ－51）

〈図表Ⅲ－51〉 判断能力低下時の金融資産の取扱い方 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）



（単位：％）

		N	そのまま保持	適切に運用する	売却して現金資産にする	保持していない	回答したくない	その他
本調査	全 体	2,083	8.5	19.8	12.0	43.3	10.5	1.5
	60～64歳	353	7.4	24.1	14.4	39.4	11.6	1.4
	65～69歳	406	9.1	20.4	13.3	44.1	8.6	1.5
	70～74歳	497	7.2	20.1	12.1	45.5	10.5	1.2
	75～79歳	407	7.9	17.9	10.3	44.5	11.8	2.0
	80～84歳	242	9.1	17.4	12.0	45.9	9.1	0.4
	85～89歳	132	11.4	18.9	7.6	39.4	9.8	3.0
	90歳以上	46	21.7	10.9	6.5	28.3	15.2	2.2
中年層調査	全 体	1,000	9.1	26.0	20.7	31.7	11.6	0.9
	40～44歳	287	11.2	25.8	20.9	33.1	8.7	0.3
	45～49歳	267	8.6	24.3	19.9	33.7	12.7	0.7
	50～54歳	228	7.0	27.6	18.0	31.1	14.9	1.3
	55～59歳	218	9.2	26.6	24.3	28.0	10.6	1.4

第Ⅳ章 就労

ここでは、自分自身の現在および過去の就労状況について、捉えている。

1. 現在の就労形態

(1) 本人の現在の就労形態

本人の現在の就労形態を捉えるために、自身の職業について以下のように尋ねた。

F3 あなたのご職業は何ですか。（何でしたか。）この中から1つだけお答えください。

なお、既にご退職された方は、最も長く従事したご職業をお答えください。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 農・林・漁業の自営者・家族従事者 | 7 民間企業（正社員） |
| 2 商工・サービス業の自営者（法人組織の経営者） | 8 派遣社員・契約社員 |
| 3 商工・サービス業の自営者（個人事業の経営者） | 9 パート・アルバイト |
| 4 商工・サービス業の家族従事者 | 10 無職（専業主婦・主夫を含む） |
| 5 自由業 | 11 その他 |
| 6 公務員 | |

【本人の現在の就労形態】

以下①～③のいずれかに該当する者をベース（※）に、上記の回答を以下のように設定した。

①退職・引退前の者（退職・引退年齢＞本人年齢）

②退職・引退年齢に達し（退職・引退年齢≤本人年齢）、上記の回答が「無職」の者

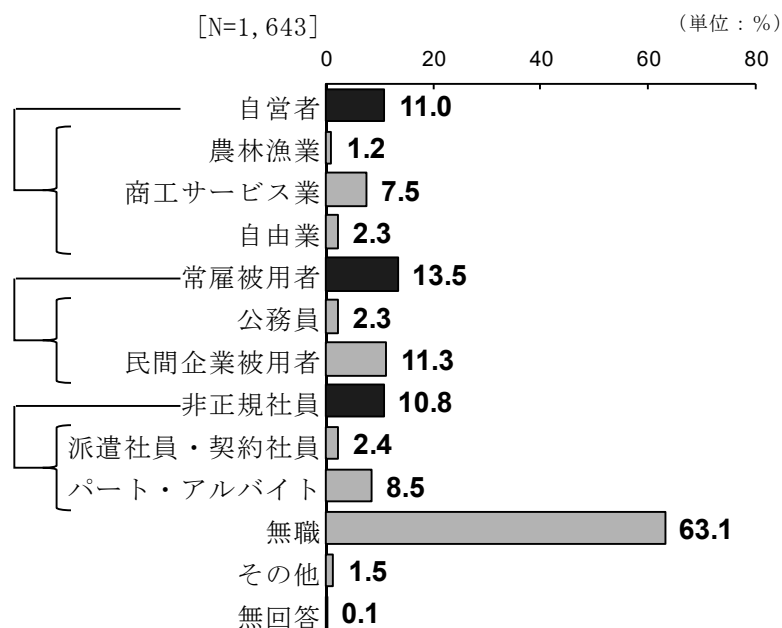
③退職・引退した者（上記の回答が「無職」以外であれば「無職」と振り直し）

（※）退職・引退年齢に達したが働いている者は、上記質問の回答では現在の職業が不明であるため、集計ベースからは除外している。

- | | | |
|------------------|----------------|-------------------|
| 1 自営者…F3=1～5 | 5 常雇被用者…F3=6～7 | 9 派遣社員・契約社員…F3=8 |
| 2 農林漁業…F3=1 | 6 公務員…F3=6 | 10 パート・アルバイト…F3=9 |
| 3 商工サービス業…F3=2～4 | 7 民間企業被用者…F3=7 | 11 無職…F3=10 |
| 4 自由業…F3=5 | 8 非正規社員…F3=8～9 | 12 その他…F3=11 |

その結果、専業主婦・主夫を含む「無職」が 63.1%と最も多くを占めている。次いで、「常雇被用者」13.5%、「自営者」11.0%、「非正規社員」10.8%となっている。〈図表Ⅳ－1〉

〈図表Ⅳ－1〉 本人の現在の就労形態



性別にみると、「自営者（農林漁業を除く、商工サービス業と自由業）」「常雇被用者」は、女性より男性で高くなっている。一方、「非正規職員（派遣社員・契約社員を除く、パート・アルバイト）」「無職」は、女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「自営者」とそのうちの「農林漁業」は、65～69歳で高くなっている。「常雇被用者」は60～64歳で高くなっている。

「非正規社員」は年齢層が高くなるほど低く、60～64歳では22.1%であるが、80～84歳では0.5%となっている。一方、「無職」は高年齢層ほど高くなっている。〈図表Ⅳ－2〉

〈図表Ⅳ－2〉 本人の現在の就労形態〔性・年齢別〕

(単位：%)

			自営者	農林漁業	商工サービス業	自由業	常雇被用者	公務員	民間企業被用者
		N							
全 体		1,643	11.0	1.2	7.5	2.3	13.5	2.3	11.3
性別	男 性	819	15.4	1.5	10.5	3.4	20.0	3.2	16.8
	女 性	824	▲ 6.6	0.8	▲ 4.6	▲ 1.1	▲ 7.0	▲ 1.3	▲ 5.7
本人年齢別	60～64歳	307	11.1	1.3	7.5	2.3	35.8	5.9	30.0
	65～69歳	346	14.7	2.3	9.2	3.2	16.5	3.2	13.3
	70～74歳	398	12.6	1.3	9.0	2.3	▲ 9.5	1.5	▲ 8.0
	75～79歳	297	8.4	0.7	6.1	1.7	▲ 4.7	▲ 0.7	▲ 4.0
	80～84歳	186	7.5	－	4.8	2.7	▲ 1.6	－	▲ 1.6
	85～89歳	81	7.4	－	7.4	－	－	－	－
	90歳以上	28	－	－	－	－	－	－	－

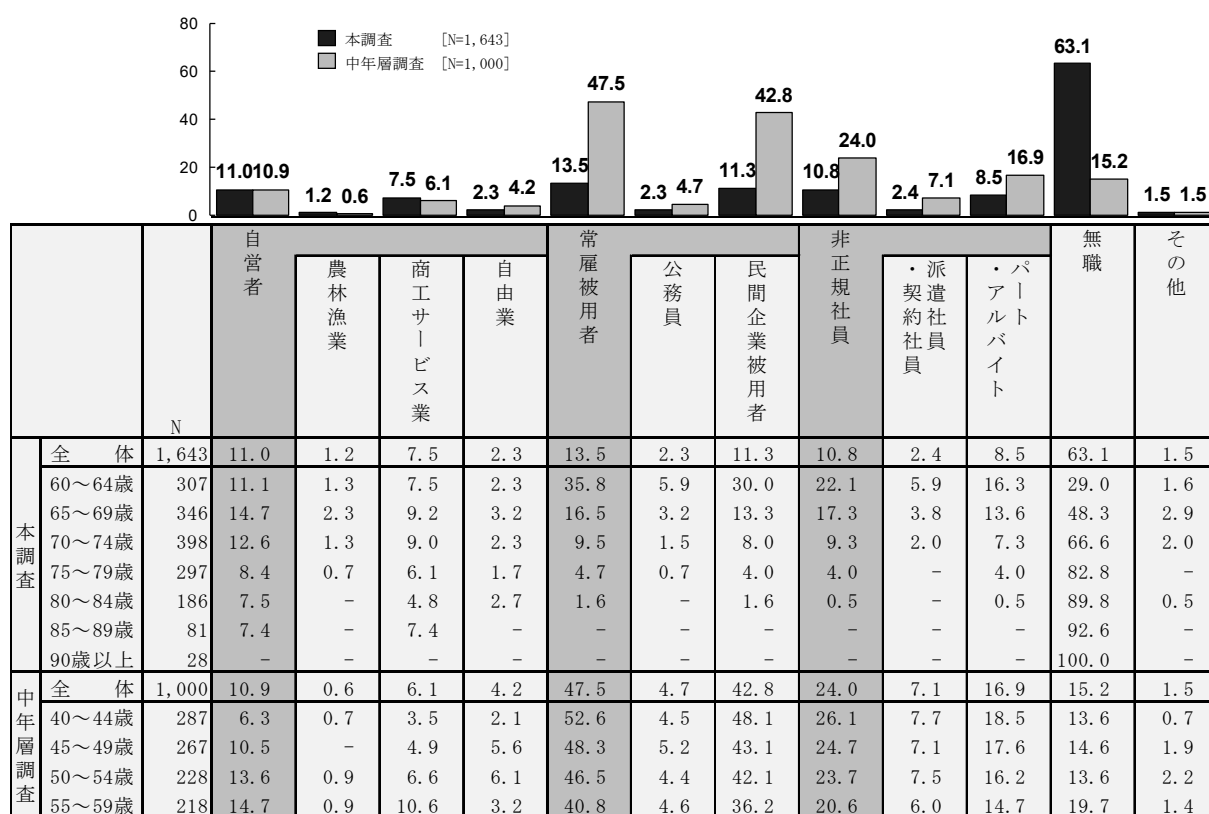
			非正規社員	・派遣社員	・パート アルバイト	無職	その他	無回答
		N						
全 体		1,643	10.8	2.4	8.5	63.1	1.5	0.1
性別	男 性	819	▲ 5.5	2.8	▲ 2.7	▲ 57.1	2.0	－
	女 性	824	16.1	1.9	14.2	69.1	1.0	0.2
本人年齢別	60～64歳	307	22.1	5.9	16.3	▲ 29.0	1.6	0.3
	65～69歳	346	17.3	3.8	13.6	▲ 48.3	2.9	0.3
	70～74歳	398	9.3	2.0	7.3	66.6	2.0	－
	75～79歳	297	▲ 4.0	－	▲ 4.0	82.8	－	－
	80～84歳	186	▲ 0.5	－	▲ 0.5	89.8	0.5	－
	85～89歳	81	－	－	－	92.6	－	－
	90歳以上	28	－	－	－	100.0	－	－

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「常雇被用者」は、60 歳代以上が中年層を大きく下回っている（34.0 ポイント差）。「非正規社員」も 60 歳代以上は中年層を大きく下回っているが、その開きは 13.2 ポイント差となっている。「自営者」はほぼ同率で、特に差はみられない。

一方、「無職」は、中年層より 60 歳代以上の方が大きく上回っている（47.9 ポイント差）。〈図表 IV-3〉

〈図表 IV-3〉 本人の現在の就労形態 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）



(2) 現在就労している者の退職・引退予定年齢

現在就労している者の退職・引退予定年齢を捉えるため、自身の退職・引退予定年齢について以下のように尋ねた。

F5 あなたの退職・引退（予定）年齢は何歳ですか。定年後の再就職なども含め、収入を伴う仕事から完全に退職・引退した（する予定の）年齢をお答えください。

歳で

- 1 退職・引退済
- 2 退職・引退予定

【現在就労している者の退職・引退予定年齢】

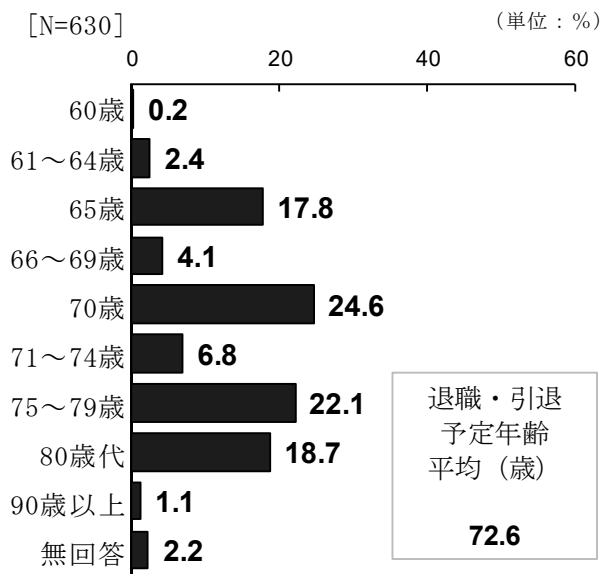
F5 で退職・引退予定と回答した人に限った、年齢回答から設定

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 60 歳 | 6 71～74 歳 |
| 2 61～64 歳 | 7 75～79 歳 |
| 3 65 歳 | 8 80 歳代 |
| 4 66～69 歳 | 9 90 歳以上 |
| 5 70 歳 | |

その結果、「70 歳」が 24.6%と最も多く、次いで、「75～79 歳」22.1%までが 2 割台となっており、以下、「80 歳代」18.7%、「65 歳」17.8%となっている。

退職・引退予定年齢の平均は、72.6 歳となっている。〈図表Ⅳ－4〉

〈図表Ⅳ－4〉 現在就労している者の退職・引退予定年齢



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、各年齢層での主な回答は以下の通りとなっている。

60～64歳では、「65歳」が46.2%、「70歳」が28.9%

65～69歳では、「70歳」が47.8%、「75～79歳」が26.1%

70～74歳では、「71～74歳」が22.3%、「75～79歳」が51.1%

75～79歳では、「80歳代」が82.1%

総じて、現在就労している者においては、実年齢より数年～5年先を、退職・引退予定年齢としている傾向がみられる。〈図表IV-5〉

〈図表IV-5〉 現在就労している者の退職・引退予定年齢〔性・年齢別〕

(単位：%)

			60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳
		N					
全 体		630	0.2	2.4	17.8	4.1	24.6
性別	男 性	362	0.3	2.5	17.1	3.6	21.8
	女 性	268	-	2.2	18.7	4.9	28.4
本人 年 齢 別	60～64歳	225	0.4	6.7	46.2	5.3	28.9
	65～69歳	184	-	-	▲ 4.3	7.6	47.8
	70～74歳	139	-	-	-	-	▲ 1.4
	75～79歳	56	-	-	-	-	-
	80～84歳	20	-	-	-	-	-
	85～89歳	6	-	-	-	-	-
	90歳以上	0	-	-	-	-	-

			71～74歳	75～79歳	80歳代	90歳以上	無回答	退職・引退 平均 予定 (年齢)
		N						
全 体		630	6.8	22.1	18.7	1.1	2.2	72.6
性別	男 性	362	7.2	22.1	21.3	1.7	2.5	73.0
	女 性	268	6.3	22.0	15.3	0.4	1.9	72.0
本人 年 齢 別	60～64歳	225	▲ 0.9	▲ 7.1	▲ 3.6	-	0.9	67.8
	65～69歳	184	5.4	26.1	▲ 7.1	-	1.6	71.9
	70～74歳	139	22.3	51.1	22.3	-	2.9	75.7
	75～79歳	56	-	▲ 7.1	82.1	3.6	7.1	81.1
	80～84歳	20	-	-	90.0	5.0	5.0	84.1
	85～89歳	6	-	-	33.3	66.7	-	91.0
	90歳以上	0	-	-	-	-	-	-

本人の現在の職業別にみると、「60 歳」「65 歳」は公務員、「61～64 歳」「65 歳」は民間企業被用者で高くなっている。一方、「66～69 歳」「70 歳」は非正規社員で、「75～79 歳」「80 歳代」「90 歳以上」は自営者で高くなっている。

総じて、退職・引退予定年齢は、常雇被用者より非正規社員、さらに非正規社員より自営者で、より高齢になる傾向がみられる。〈図表Ⅳ－6〉

〈図表Ⅳ－6〉 現在就労している者の退職・引退予定年齢〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

			60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳
		N					
全 体		630	0.2	2.4	17.8	4.1	24.6
本人職業（現在）別	自 営 者	180	－	－	▲ 1.7	2.2	20.6
	農 林 漁 業	19	－	－	－	－	21.1
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	－	－	▲ 2.4	2.4	21.0
	自 由 業	37	－	－	－	2.7	18.9
	常 雇 被 用 者	222	0.5	4.5	31.5	4.5	20.3
	公 務 員	37	2.7	5.4	43.2	5.4	▲10.8
	民 間 企 業 被 用 者	185	－	4.3	29.2	4.3	22.2
	非 正 規 社 員	178	－	2.8	18.0	6.7	34.3
	派遣社員・契約社員	39	－	5.1	25.6	5.1	38.5
	パート・アルバイト	139	－	2.2	15.8	7.2	33.1
無 職	10	－	－	30.0	－	30.0	
そ の 他	24	－	－	12.5	－	37.5	

			71～74歳	75～79歳	80歳代	90歳以上	無回答	退職・引退 平均 予定年齢 (歳)
		N						
全 体		630	6.8	22.1	18.7	1.1	2.2	72.6
本人職業（現在）別	自 営 者	180	5.6	27.8	38.9	3.3	－	76.8
	農 林 漁 業	19	－	26.3	52.6	－	－	76.8
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	5.6	29.0	35.5	4.0	－	76.7
	自 由 業	37	8.1	24.3	43.2	2.7	－	77.0
	常 雇 被 用 者	222	6.8	19.4	▲12.2	0.5	－	70.5
	公 務 員	37	10.8	13.5	8.1	－	－	68.9
	民 間 企 業 被 用 者	185	5.9	20.5	▲13.0	0.5	－	70.8
	非 正 規 社 員	178	8.4	20.8	▲ 9.0	－	－	71.0
	派遣社員・契約社員	39	10.3	15.4	－	－	－	69.3
	パート・アルバイト	139	7.9	22.3	▲11.5	－	－	71.5
無 職	10	－	20.0	20.0	－	－	72.0	
そ の 他	24	12.5	25.0	12.5	－	－	72.3	

本人年収別にみると、「75～79歳」は100～500万円未満で高くなっている。〈図表Ⅳ－7〉

〈図表Ⅳ－7〉 現在就労している者の退職・引退予定年齢〔本人年収別〕

(単位：％)

		N	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳
全 体		630	0.2	2.4	17.8	4.1	24.6
本人 年 収 別	収 入 は な い	11	－	－	18.2	－	27.3
	100 万 円 未 満	117	－	－	13.7	5.1	27.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	377	－	2.7	17.5	4.2	23.9
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	80	1.3	3.8	22.5	3.8	27.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	23	－	4.3	26.1	4.3	17.4
	2,000 万 円 以 上	8	－	－	－	－	－

		N	71～74歳	75～79歳	80歳代	90歳以上	無回答	退職・引退 平均 予定年齢 (歳)
全 体		630	6.8	22.1	18.7	1.1	2.2	72.6
本人 年 収 別	収 入 は な い	11	－	－	54.5	－	－	75.2
	100 万 円 未 満	117	7.7	19.7	23.1	0.9	2.6	73.2
	100 ～ 500 万 円 未 満	377	6.9	24.9	17.0	1.1	1.9	72.5
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	80	8.8	13.8	15.0	1.3	2.5	71.4
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	23	4.3	13.0	26.1	－	4.3	72.0
	2,000 万 円 以 上	8	－	62.5	25.0	12.5	－	79.6

世帯保有金融資産別にみると、「61～64歳」は5,000万円～1億円未満層、「70歳」は100～1,000万円未満層で、それぞれ高くなっている。〈図表Ⅳ－8〉

〈図表Ⅳ－8〉 現在就労している者の退職・引退予定年齢〔世帯保有金融資産別〕

(単位：％)

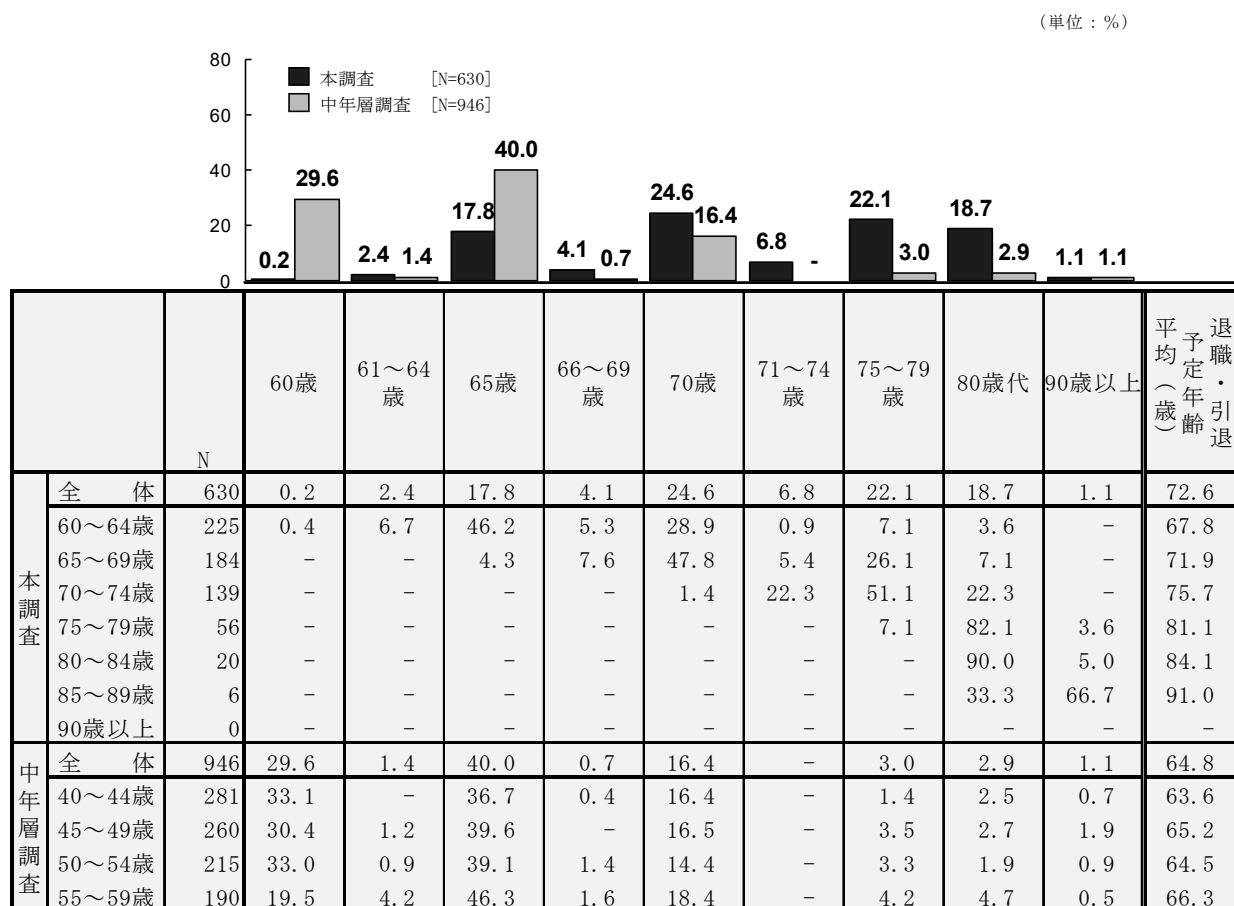
		N	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳
全 体		630	0.2	2.4	17.8	4.1	24.6
金融資産別 世帯保有	100万円未満	99	－	－	18.2	5.1	19.2
	100～1,000万円未満	167	0.6	－	15.6	3.6	32.3
	1,000～2,000万円未満	101	－	5.0	22.8	5.9	18.8
	2,000～5,000万円未満	113	－	3.5	14.2	6.2	27.4
	5,000万円～1億円未満	37	－	13.5	10.8	－	21.6
	1億円以上	9	－	－	22.2	－	22.2

		N	71～74歳	75～79歳	80歳代	90歳以上	無回答	退職・引退 平均 予定年齢 (歳)
全 体		630	6.8	22.1	18.7	1.1	2.2	72.6
金融資産別 世帯保有	100万円未満	99	8.1	24.2	20.2	－	5.1	72.7
	100～1,000万円未満	167	4.2	24.0	18.0	0.6	1.2	72.5
	1,000～2,000万円未満	101	7.9	17.8	20.8	－	1.0	71.9
	2,000～5,000万円未満	113	8.8	25.7	13.3	－	0.9	72.1
	5,000万円～1億円未満	37	10.8	13.5	21.6	8.1	－	73.5
	1億円以上	9	－	33.3	22.2	－	－	73.1

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上の方が中年層を大きく上回っているのは「75～79 歳」「80 歳代」で、それぞれ 19.1 ポイント差、15.8 ポイント差となっている。

退職・引退予定年齢の平均は、60 歳代以上で 72.6 歳、中年層で 64.8 歳と、60 歳代以上が大きく上回っている。〈図表Ⅳ－9〉

〈図表Ⅳ－9〉 現在就労している者の退職・引退予定年齢 「中年層調査」との比較：参考



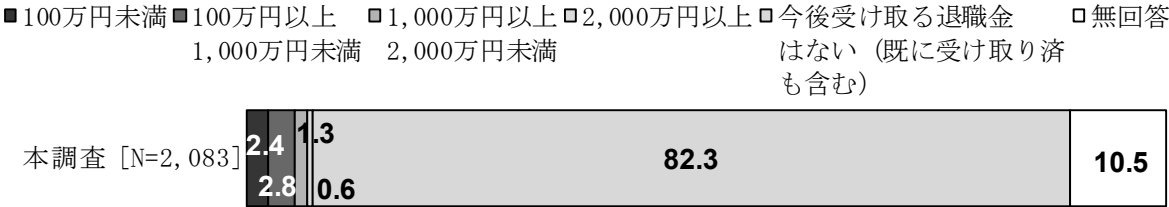
(3) 退職金見込額

F6	あなたご自身が今後受け取る予定の退職金の見込み額は税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。
1	100 万円未満
2	100 万円以上 1,000 万円未満
3	1,000 万円以上 2,000 万円未満
4	2,000 万円以上
5	今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）

退職金見込額については、「今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）」が 82.3%を占めている。具体的な見込額としては、「100 万円以上 1,000 万円未満」2.8%、「100 万円未満」2.4%、「1,000 万円以上 2,000 万円未満」1.3%、「2,000 万円以上」0.6%と続いている。〈図表Ⅳ－10〉

〈図表Ⅳ－10〉 退職金見込額

（単位：％）



性別にみると、「今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）」は、特に差がみられない。具体的な見込額のうち、「100 万円以上 1,000 万円未満」「1,000 万円以上 2,000 万円未満」「2,000 万円以上」は、男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）」は 60～64 歳で低くなっており、同層では、「100 万円未満」「100 万円以上 1,000 万円未満」「1,000 万円以上 2,000 万円未満」が高くなっている。

「100 万円以上 1,000 万円未満」は、65～69 歳でも高くなっている一方、70 歳代で低くなっている。（図表Ⅳ－11）

〈図表Ⅳ－11〉 退職金見込額〔性・年齢別〕

（単位：％）

			100万円未満	100万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上	は今後受け取る退職金 ない（既に受け取り済も含む）	無回答
		N						
全 体		2,083	2.4	2.8	1.3	0.6	82.3	10.5
性別	男 性	964	2.7	4.0	2.4	1.1	83.5	▲ 6.2
	女 性	1,119	2.1	▲ 1.8	▲ 0.4	▲ 0.2	81.3	14.1
本人年齢別	60～64歳	353	4.8	6.2	4.2	1.7	▲ 75.9	▲ 7.1
	65～69歳	406	3.0	5.2	1.7	1.2	82.0	▲ 6.9
	70～74歳	497	2.8	▲ 1.4	0.8	－	84.3	10.7
	75～79歳	407	1.7	▲ 0.7	－	0.2	85.0	12.3
	80～84歳	242	－	2.1	0.8	0.4	84.7	12.0
	85～89歳	132	－	－	－	－	81.1	18.9
	90歳以上	46	－	2.2	－	－	80.4	17.4

本人の現在の職業別にみると、「今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）」は非正規社員（そのうちのパート・アルバイト）と、無職で高くなっている。

「2,000 万円以上」は自営者（そのうちの商工サービス業）、公務員で高くなっている。〈図表Ⅳ－12〉

〈図表Ⅳ－12〉 退職金見込額〔本人職業（現在）別〕

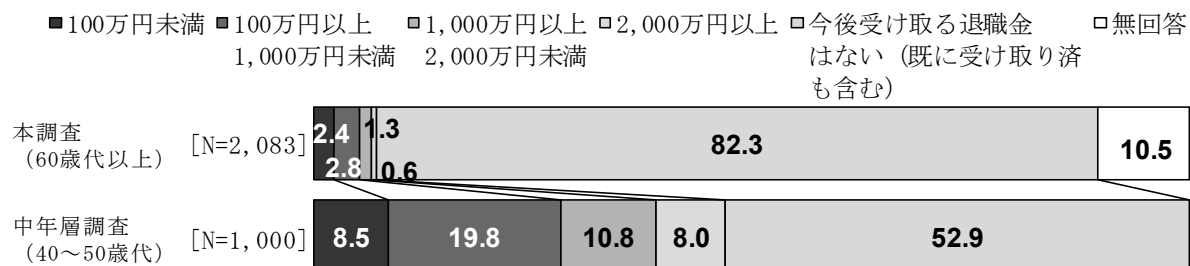
（単位：％）

			100万円 未満	100万円 以上 1,000万 円未満	1,000万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上	は今後 受け取 る退職 金 （既に 受け取 り済も 含む）	無回答
		N						
全 体		2,083	2.4	2.8	1.3	0.6	82.3	10.5
本人職業 （現在） 別	自 営 者	180	6.7	11.1	6.1	3.9	▲69.4	▲ 2.8
	農 林 漁 業	19	10.5	-	-	5.3	78.9	5.3
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	7.3	14.5	8.1	4.8	▲63.7	▲ 1.6
	自 由 業	37	2.7	5.4	2.7	-	83.8	5.4
	常 雇 被 用 者	222	9.9	12.6	6.3	1.4	▲65.3	▲ 4.5
	公 務 員	37	5.4	2.7	5.4	5.4	81.1	-
	民 間 企 業 被 用 者	185	10.8	14.6	6.5	0.5	▲62.2	▲ 5.4
	非 正 規 社 員	178	5.1	2.2	0.6	0.6	89.3	▲ 2.2
	派遣社員・契約社員	39	2.6	7.7	2.6	2.6	84.6	-
	パート・アルバイト	139	5.8	0.7	-	-	90.6	▲ 2.9
	無 職	1,037	-	-	-	-	94.0	▲ 6.0
	そ の 他	24	-	4.2	-	8.3	87.5	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）」は、中年層よりも 60 歳代以上が大きく上回っている（29.4 ポイント差）。一方、具体的な見込額は、いずれも中年層が 60 歳代以上を上回っている。
 〈図表Ⅳ－13〉

〈図表Ⅳ－13〉 退職金見込額 「[中年層調査]」との比較：参考

（単位：％）



（単位：％）

		N	100万円未満	100万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上	今後受け取る退職金 はない（既に受け取り済も含む）
本調査	全 体	2,083	2.4	2.8	1.3	0.6	82.3
	60～64歳	353	4.8	6.2	4.2	1.7	75.9
	65～69歳	406	3.0	5.2	1.7	1.2	82.0
	70～74歳	497	2.8	1.4	0.8	－	84.3
	75～79歳	407	1.7	0.7	－	0.2	85.0
	80～84歳	242	－	2.1	0.8	0.4	84.7
	85～89歳	132	－	－	－	－	81.1
	90歳以上	46	－	2.2	－	－	80.4
中年層調査	全 体	1,000	8.5	19.8	10.8	8.0	52.9
	40～44歳	287	8.4	25.1	13.6	4.9	48.1
	45～49歳	267	9.7	23.2	9.7	7.5	49.8
	50～54歳	228	8.3	15.4	9.6	10.5	56.1
	55～59歳	218	7.3	13.3	9.6	10.1	59.6

(4) 無職者の就業意向

自身の職業について尋ねている設問で、「無職（専業主婦・主夫を含む）」と回答した人に、今後の就業意向を以下のように尋ねた。

F3SQ (F3で「無職（専業主婦・主夫を含む）」と答えた方へ) あなたができる仕事があれば働きたい
と思いますか。
1 はい
2 いいえ

無職者の就業意向については、就業意向を示す「はい」は 17.9%で、「いいえ」（就業意向なし）が 80.0%を占めている。〈図表Ⅳ－14〉

〈図表Ⅳ－14〉 無職者の就業意向

(単位：%)

□はい □いいえ □無回答

本調査 [N=424]	17.9	80.0	2.1
-------------	------	------	-----

性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「はい」（就業意向あり）は 60 歳代で高く、80 歳代で低くなっている。〈図表Ⅳ－15〉

〈図表Ⅳ－15〉 無職者の就業意向〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	はい	いいえ	無回答
	全 体	424	17.9	80.0	2.1
性別	男 性	15	6.7	86.7	6.7
	女 性	409	18.3	79.7	2.0
本人年齢別	60～64歳	57	28.1	68.4	3.5
	65～69歳	62	40.3	58.1	1.6
	70～74歳	96	17.7	82.3	-
	75～79歳	92	15.2	82.6	2.2
	80～84歳	52	5.8	94.2	-
	85～89歳	51	2.0	90.2	7.8
	90歳以上	14	-	100.0	-

世帯年収別にみると、特に差はみられない。〈図表Ⅳ－16〉

〈図表Ⅳ－16〉 無職者の就業意向〔世帯年収別〕

(単位：％)

		N	はい	いいえ	無回答
全 体		424	17.9	80.0	2.1
世帯年収別	100 万 円 未 満	14	14.3	85.7	－
	100 ～ 300 万 円 未 満	66	19.7	80.3	－
	300 ～ 500 万 円 未 満	51	25.5	74.5	－
	500 ～ 700 万 円 未 満	19	15.8	78.9	5.3
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	13	30.8	61.5	7.7
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	4	25.0	75.0	－
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	1	－	100.0	－
	2,000 万 円 以 上	1	－	100.0	－

世帯保有金融資産別にみると、「いいえ」（就業意向なし）が 100～1,000 万円未満で低くなっている。〈図表Ⅳ－17〉

〈図表Ⅳ－17〉 無職者の就業意向〔世帯保有金融資産別〕

(単位：％)

		N	はい	いいえ	無回答
全 体		424	17.9	80.0	2.1
金融資産別 世帯保有	100 万 円 未 満	43	25.6	72.1	2.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	93	23.7	▲72.0	4.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	49	16.3	83.7	－
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	53	13.2	86.8	－
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	26	7.7	92.3	－
	1 億 円 以 上	2	－	100.0	－

客観的健康状態別にみると、「はい」（就業意向あり）は差し支えなし層で高く、健康状態が悪化するにつれて低くなっている傾向がみられる。〈図表Ⅳ－18〉

〈図表Ⅳ－18〉 無職者の就業意向〔客観的健康状態別〕

（単位：％）

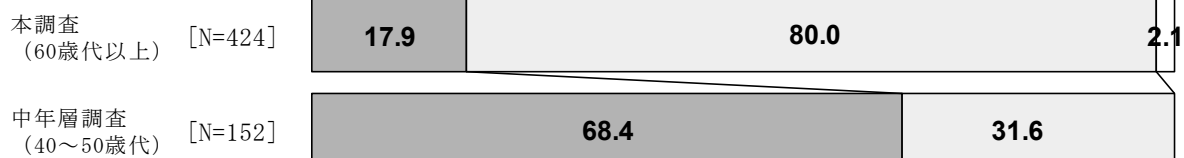
		N	はい	いいえ	無回答
全 体		424	17.9	80.0	2.1
客観的健康状態別	差し支えなし	195	22.1	76.4	1.5
	ほんの少し差し支えあり	130	17.7	80.8	1.5
	差し支えあり	51	11.8	86.3	2.0
	大いに差し支えあり	34	5.9	88.2	5.9

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「はい」（就業意向あり）は中年層の 68.4%に比べて、60 歳代以上は大きく下回っている（50.5 ポイント差）。〈図表Ⅳ－19〉

〈図表Ⅳ－19〉 無職者の就業意向 「中年層調査」との比較：参考]

（単位：％）

□ はい □ いいえ □ 無回答



（単位：％）

		N	はい	いいえ
本調査	全 体	424	17.9	80.0
	60～64歳	57	28.1	68.4
	65～69歳	62	40.3	58.1
	70～74歳	96	17.7	82.3
	75～79歳	92	15.2	82.6
	80～84歳	52	5.8	94.2
	85～89歳	51	2.0	90.2
	90歳以上	14	-	100.0
中年層調査	全 体	152	68.4	31.6
	40～44歳	39	84.6	15.4
	45～49歳	39	66.7	33.3
	50～54歳	31	61.3	38.7
	55～59歳	43	60.5	39.5

2. 退職者の過去の主たる職業

(1) 退職者本人の過去の主たる職業

退職者本人の過去の主たる職業を捉えるために、自身の職業について以下のように尋ねた。

- F3** あなたのご職業は何ですか。（何でしたか。）この中から1つだけお答えください。
 なお、既にご退職された方は、最も長く従事したご職業をお答えください。
- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 農・林・漁業の自営者・家族従事者 | 7 民間企業（正社員） |
| 2 商工・サービス業の自営者（法人組織の経営者） | 8 派遣社員・契約社員 |
| 3 商工・サービス業の自営者（個人事業の経営者） | 9 パート・アルバイト |
| 4 商工・サービス業の家族従事者 | 10 無職（専業主婦・主夫を含む） |
| 5 自由業 | 11 その他 |
| 6 公務員 | |

【退職者本人の過去の主たる職業】

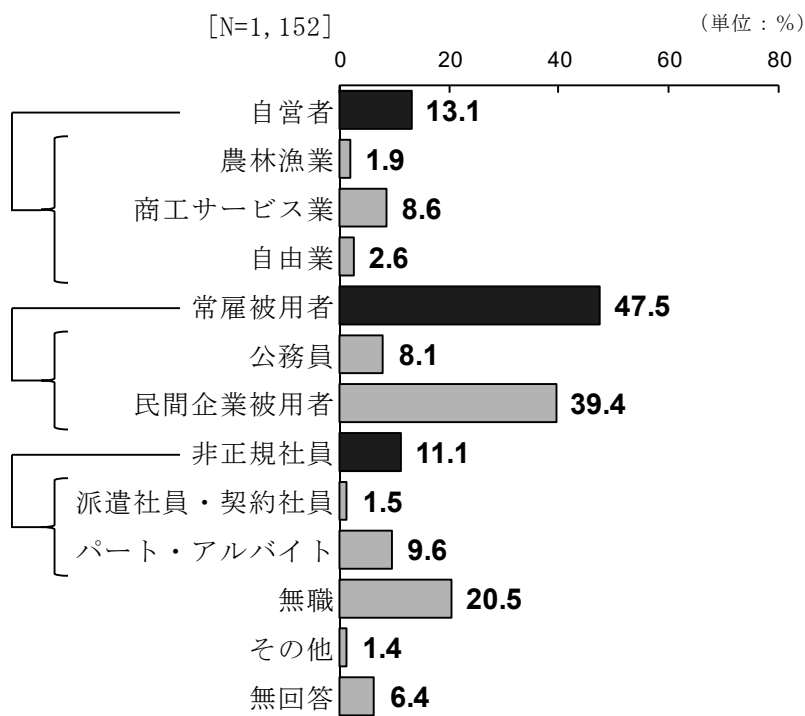
退職・引退済と回答した者をベースに、上記の回答を以下のように設定した。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 自営者…F3=1～5 | 7 民間企業被用者…F3=7 |
| 2 農林漁業…F3=1 | 8 非正規社員…F3=8～9 |
| 3 商工サービス業…F3=2～4 | 9 派遣社員・契約社員…F3=8 |
| 4 自由業…F3=5 | 10 パート・アルバイト…F3=9 |
| 5 常雇被用者…F3=6～7 | 11 無職…F3=10 |
| 6 公務員…F3=6 | 12 その他…F3=11 |

その結果、「常雇被用者」が47.5%と最も多く、そのうち「民間企業被用者」が39.4%と約4割を占めている。「自営者」は13.1%、「非正規社員」は11.1%で、専業主婦・主夫を含む「無職」は、20.5%となっている。

「自営者」のうちでは、「商工サービス業」8.6%が比較的多い。また、「非正規社員」のうち、「パート・アルバイト」は9.6%となっている。〈図表Ⅳ－20〉

〈図表Ⅳ－20〉 退職者本人の過去の主たる職業



性別にみると、「自営者」とそのうちの「商工サービス業」、「常雇被用者」は、女性より男性で高くなっている。一方、「非正規職員（派遣社員・契約社員を除く、パート・アルバイト）」「無職」は、女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「自営者」は80～84歳、90歳以上で、それぞれ高くなっており、逆に、60～64歳では1.1%と極端に低くなっている。

「公務員」は、60～64歳で高くなっている。

「非正規社員」は65～69歳、「無職」は60～64歳で、それぞれ高くなっている。〈図表Ⅳ－21〉

〈図表Ⅳ－21〉 退職者本人の過去の主たる職業〔性・年齢別〕

（単位：％）

			自 営 者	農 林 漁 業	商 工 サ ー ビ ス 業	自 由 業	常 雇 被 用 者	公 務 員	民 間 企 業 被 用 者
		N							
全 体		1,152	13.1	1.9	8.6	2.6	47.5	8.1	39.4
性別	男 性	551	16.5	2.5	11.1	2.9	66.4	10.0	56.4
	女 性	601	▲10.0	1.3	▲ 6.3	2.3	▲30.1	▲ 6.3	▲23.8
本人 年 齢 別	60～64歳	95	▲ 1.1	－	▲ 1.1	－	44.2	13.7	30.5
	65～69歳	182	9.9	2.2	7.1	0.5	45.1	11.0	34.1
	70～74歳	286	12.2	0.7	9.4	2.1	48.3	7.0	41.3
	75～79歳	284	12.7	1.4	8.1	3.2	48.9	6.7	42.3
	80～84歳	184	20.1	3.3	10.3	6.5	50.0	6.5	43.5
	85～89歳	89	15.7	4.5	10.1	1.1	46.1	6.7	39.3
	90歳以上	32	31.3	6.3	21.9	3.1	40.6	9.4	31.3
		N	非 正 規 社 員	・ 派 遣 契 約 社 員	・ パ ー ト ア ル ト バ イ ト	無 職	そ の 他	無 回 答	
全 体		1,152	11.1	1.5	9.6	20.5	1.4	6.4	
性別	男 性	551	▲ 3.1	1.3	▲ 1.8	▲ 1.3	0.7	12.0	
	女 性	601	18.5	1.7	16.8	38.1	2.0	▲ 1.3	
本人 年 齢 別	60～64歳	95	10.5	4.2	6.3	35.8	2.1	6.3	
	65～69歳	182	15.9	1.1	14.8	21.4	1.6	6.0	
	70～74歳	286	13.3	1.7	11.5	19.6	1.0	5.6	
	75～79歳	284	10.2	2.1	8.1	18.7	1.4	8.1	
	80～84歳	184	9.2	－	9.2	▲14.1	1.1	5.4	
	85～89歳	89	5.6	－	5.6	24.7	2.2	5.6	
	90歳以上	32	－	－	－	18.8	－	9.4	

(2) 退職者の退職・引退年齢

退職者の退職・引退年齢を捉えるため、自身の退職・引退年齢について以下のように尋ねた。

F5 あなたの退職・引退（予定）年齢は何歳ですか。定年後の再就職なども含め、収入を伴う仕事から完全に退職・引退した（する予定の）年齢をお答えください。

歳で

- 1 退職・引退済
- 2 退職・引退予定

【退職者の退職・引退年齢】

このうち、退職・引退済と回答した者をベースに、以下のカテゴリーを設けた。

- | | | | |
|---|---------|----|---------|
| 1 | 50 歳未満 | 7 | 70 歳 |
| 2 | 50～59 歳 | 8 | 71～74 歳 |
| 3 | 60 歳 | 9 | 75～79 歳 |
| 4 | 61～64 歳 | 10 | 80 歳代 |
| 5 | 65 歳 | 11 | 90 歳以上 |
| 6 | 66～69 歳 | | |

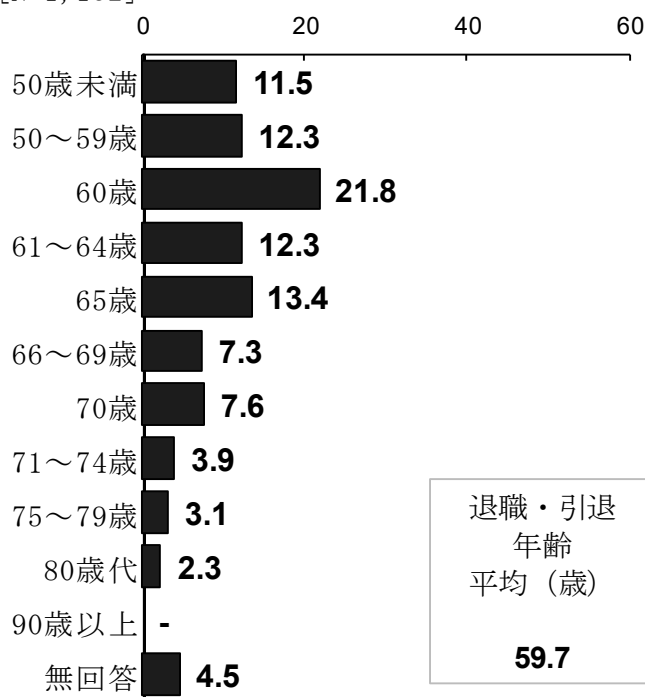
その結果、「60 歳」が 21.8%と最も多く、次いで、「65 歳」が 13.4%、「50～59 歳」および「61～64 歳」がそれぞれ 12.3%、「50 歳未満」が 11.5%となっている。

退職・引退予定年齢の平均は、59.7 歳となっている。〈図表Ⅳ－22〉

〈図表Ⅳ－22〉 退職者の退職・引退年齢

[N=1, 152]

(単位：%)



性別にみると、退職・引退年齢が「50代以下」（「50歳未満」「50～59歳」）は、男性よりも女性の方が高くなっている。一方、「60歳」を除いた「60代」（「61～64歳」「65歳」「66～69歳」）、「75～79歳」「80歳代」は、男性が女性を上回っている。

退職・引退年齢の平均は、男性が64.7歳、女性が55.1歳と男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、各年齢層での主な回答は以下の通りとなっている。

60～64歳では、「50歳未満」が32.6%、「60歳」が27.4%

65～69歳では、「50～59歳」が18.7%、「60歳」が19.2%、「65歳」が25.3%

70～74歳では、「60歳」が17.8%、「65歳」が15.0%

また、75～79歳、80～84歳、85～89歳では、いずれも「60歳」が最も多くなっている（それぞれ、21.1%、31.0%、19.1%）。

90歳以上では、「80歳代」が25.0%と最も多く、次いで、「60歳」が15.6%となっている。

退職・引退年齢の平均は、60～64歳で50.4歳、65～69歳および70～80歳代で概ね60歳前後、90歳以上で68.0歳となっている。〈図表Ⅳ－23〉

〈図表Ⅳ－23〉 退職者の退職・引退年齢〔性・年齢別〕

（単位：％）

		N	50歳未満	50～59歳	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳
全 体		1,152	11.5	12.3	21.8	12.3	13.4	7.3	7.6
性別	男 性	551	▲ 1.1	▲ 6.7	22.1	○ 16.9	○ 19.6	○ 9.6	8.2
	女 性	601	○ 21.1	○ 17.5	21.5	▲ 8.2	▲ 7.7	▲ 5.2	7.0
本人年齢別	60～64歳	95	○ 32.6	16.8	27.4	17.9	-	-	-
	65～69歳	182	11.5	○ 18.7	19.2	14.8	○ 25.3	7.1	-
	70～74歳	286	12.2	12.9	17.8	12.9	15.0	○ 10.8	9.8
	75～79歳	284	8.5	11.3	21.1	13.7	12.0	6.3	9.2
	80～84歳	184	▲ 6.0	▲ 7.1	○ 31.0	8.2	9.2	6.5	○ 11.4
	85～89歳	89	10.1	10.1	19.1	6.7	11.2	9.0	10.1
	90歳以上	32	6.3	3.1	15.6	3.1	12.5	6.3	9.4

		N	71～74歳	75～79歳	80歳代	90歳以上	無回答	平均退職・引退年齢（歳）
全 体		1,152	3.9	3.1	2.3	-	4.5	59.7
性別	男 性	551	4.5	○ 4.5	○ 3.3	-	3.4	64.7
	女 性	601	3.3	▲ 1.8	▲ 1.3	-	5.5	55.1
本人年齢別	60～64歳	95	-	-	-	-	5.3	50.4
	65～69歳	182	-	-	-	-	3.3	58.0
	70～74歳	286	○ 5.9	-	-	-	2.4	59.2
	75～79歳	284	5.3	○ 7.0	-	-	5.6	60.9
	80～84歳	184	3.3	○ 6.5	○ 6.5	-	4.3	63.0
	85～89歳	89	5.6	1.1	○ 6.7	-	○ 10.1	61.4
	90歳以上	32	6.3	○ 9.4	○ 25.0	-	3.1	68.0

第V章 家計

ここでは、世帯の収入内訳（年収）と支出（生活費、医療・介護費の月額）および世帯として保有している資産について捉えている。

1. 収入

自分自身と配偶者（配偶者がいない場合は自分自身のみ）の昨年1年間の収入内訳について以下のよう尋ねた。その結果を(1) 昨年1年間の収入、(2) 公的年金収入、(3) 就労収入の順にみていく。

F15 あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の昨年1年間の収入額（税込み）の内訳はどのようになりますか。

（1）公的年金と（2）働いて得る収入、（3）その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですでお答えください。なお、収入がない場合は、0円とお答えください。

- | | | | |
|--------------------------|-----|----------------------|----|
| (1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金) | 年間約 | <input type="text"/> | 万円 |
| (2) 働いて得る収入 | 年間約 | <input type="text"/> | 万円 |
| (3) その他の収入 | 年間約 | <input type="text"/> | 万円 |

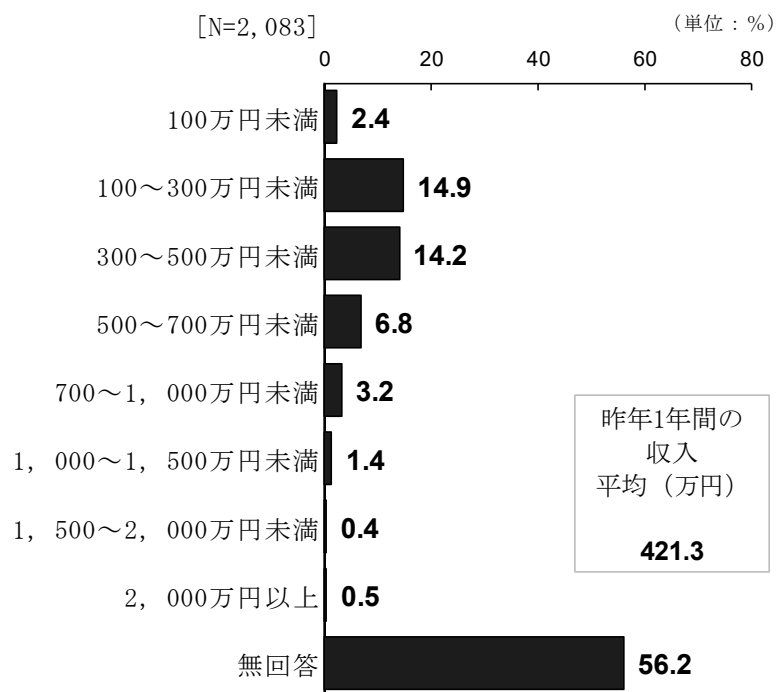
(1) 昨年1年間の収入

昨年1年間の収入については、「100～300万円未満」の14.9%、「300～500万円未満」の14.2%が多く、次いで、「500～700万円未満」の6.8%の順となっている。

「500万円未満」は約32%、「700万円以上」は約6%となっている。

平均の年間収入は、421.3万円となっている。〈図表V-1〉

〈図表V-1〉 昨年1年間の収入



性別にみると、「100 万円未満」は、女性の方が男性を上回っている。一方、「300～500 万円未満」「500～700 万円未満」は、男性の方が女性より高くなっている。年間収入の平均は、女性の 385.3 万円より男性の 458.9 万円が上回っており、総じて、男性の方が年間収入は高い傾向となっている。

年齢別にみると、「100～300 万円未満」は概ね高年齢層ほど高くなっており、逆に「500～700 万円未満」「700～1,000 万円未満」は高年齢層になるほど低くなっている傾向がみられる。

年間収入の平均も、概ね高年齢層になるほど低くなっている傾向がみられる。〈図表 V-2〉

〈図表 V-2〉 昨年 1 年間の収入〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	100万円 未満	100～ 300万円 未満	300～ 500万円 未満	500～ 700万円 未満	700～ 1,000 万円 未満
全 体		2,083	2.4	14.9	14.2	6.8	3.2
性別	男 性	964	▲ 1.6	13.6	16.2	8.4	3.3
	女 性	1,119	3.1	16.1	▲ 12.4	▲ 5.4	3.1
本人 年 齢 別	60～64歳	353	2.0	▲ 8.5	15.3	11.3	7.6
	65～69歳	406	▲ 0.5	12.6	16.5	9.6	4.7
	70～74歳	497	2.0	▲ 11.9	15.9	6.4	3.2
	75～79歳	407	3.4	19.2	14.7	▲ 4.4	▲ 0.2
	80～84歳	242	5.0	21.1	10.3	▲ 3.3	▲ 0.4
	85～89歳	132	3.8	25.0	▲ 6.1	▲ 1.5	1.5
	90歳以上	46	-	19.6	4.3	4.3	2.2
		N	1,000～ 1,500 万円 未満	1,500～ 2,000 万円 未満	2,000 万円 以上	無回答	平 均 昨 年 年 （ 収 入 1 万 入 年 円 ） 間 の
全 体		2,083	1.4	0.4	0.5	56.2	421.3
性別	男 性	964	1.8	0.7	0.7	▲ 53.7	458.9
	女 性	1,119	1.2	▲ 0.1	0.3	58.4	385.3
本人 年 齢 別	60～64歳	353	3.4	0.8	0.8	▲ 50.1	544.5
	65～69歳	406	1.7	0.7	0.7	53.0	495.5
	70～74歳	497	1.4	-	0.2	59.0	409.8
	75～79歳	407	0.7	-	0.2	57.0	310.4
	80～84歳	242	0.4	0.8	0.4	58.3	313.6
	85～89歳	132	-	-	0.8	61.4	394.6
	90歳以上	46	-	-	-	69.6	287.7

本人の現在の職業別にみると、「100万円未満」「100～300万円未満」は無職で高くなっている。「300～500万円未満」は公務員、「500～700万円未満」は商工サービス業、民間企業被用者、非正規社員で、それぞれ高くなっている。

年間収入の平均は、自由業の624.1万円が最も高く、自営者は563.5万円、常雇被用者は569.0万円であるのに対し、非正規社員は455.0万円、無職は332.9万円と低くなっている。〈図表V-3〉

〈図表V-3〉 昨年1年間の収入〔本人職業（現在）別〕

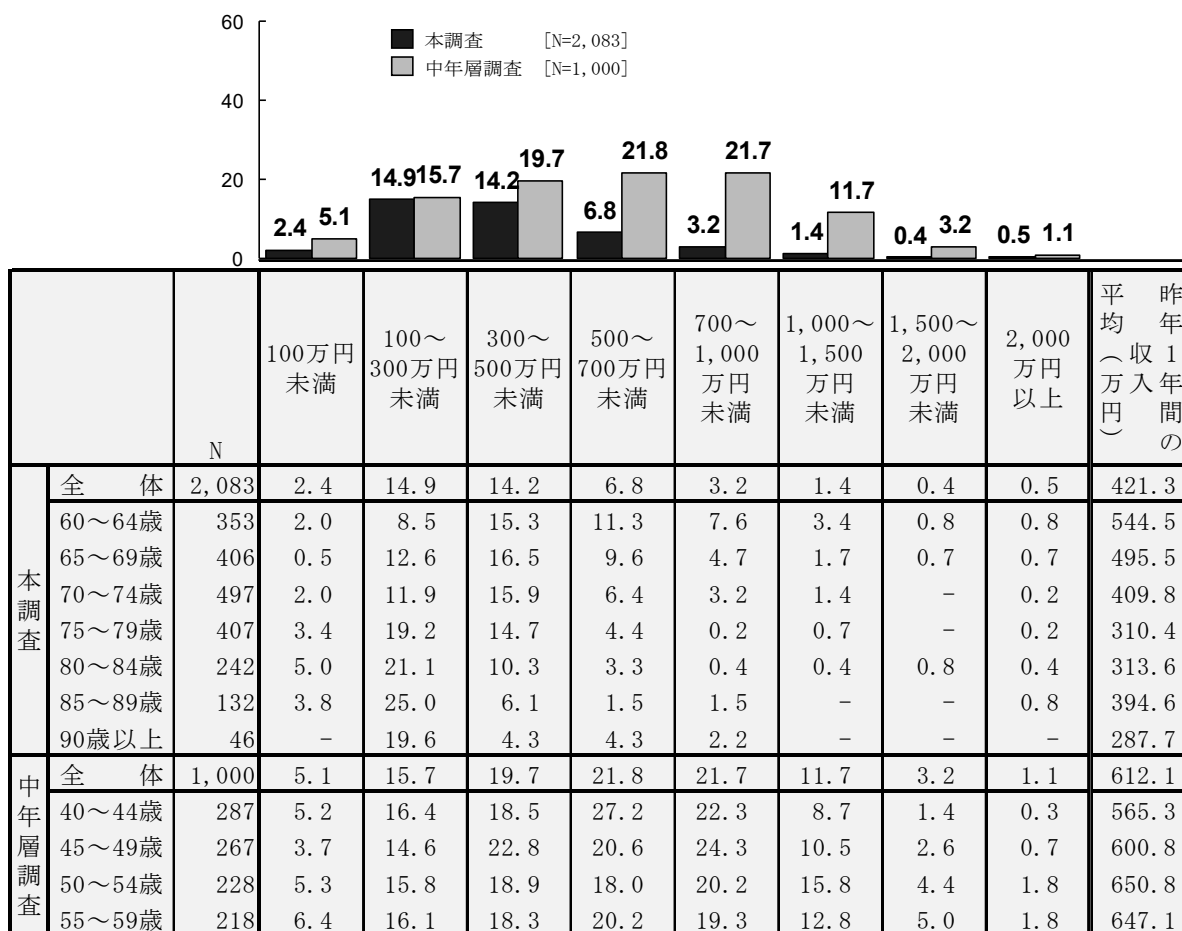
（単位：％）

		N	100万円 未満	100～ 300万円 未満	300～ 500万円 未満	500～ 700万円 未満	700～ 1,000 万円 未満
全 体		2,083	2.4	14.9	14.2	6.8	3.2
本人職業 （現在） 別	自 営 者	180	2.8	10.0	17.2	12.2	6.1
	農 林 漁 業	19	5.3	10.5	31.6	5.3	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	2.4	8.9	19.4	13.7	7.3
	自 由 業	37	2.7	13.5	▲ 2.7	10.8	5.4
	常 雇 被 用 者	222	-	▲ 6.3	19.4	14.4	5.9
	公 務 員	37	-	8.1	27.0	10.8	13.5
	民 間 企 業 被 用 者	185	-	▲ 5.9	17.8	15.1	4.3
	非 正 規 社 員	178	1.1	13.5	15.7	10.7	8.4
	派遣社員・契約社員	39	-	5.1	20.5	10.3	17.9
	パート・アルバイト	139	1.4	15.8	14.4	10.8	5.8
本人職業 （現在） 別	無 職	1,037	3.3	19.3	14.9	▲ 5.4	▲ 2.0
	そ の 他	24	-	12.5	16.7	12.5	-
		N	1,000～ 1,500 万円 未満	1,500～ 2,000 万円 未満	2,000 万円 以上	無回答	平 均 昨 年 1 年 間 収 入 （ 万 円 ）
全 体		2,083	1.4	0.4	0.5	56.2	421.3
本人職業 （現在） 別	自 営 者	180	3.3	1.7	1.7	▲ 45.0	563.5
	農 林 漁 業	19	10.5	-	-	36.8	464.1
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	2.4	1.6	1.6	▲ 42.7	566.7
	自 由 業	37	2.7	2.7	2.7	56.8	624.1
	常 雇 被 用 者	222	3.2	0.9	0.9	▲ 49.1	569.0
	公 務 員	37	5.4	-	-	▲ 35.1	560.5
	民 間 企 業 被 用 者	185	2.7	1.1	1.1	51.9	571.3
	非 正 規 社 員	178	1.1	-	-	49.4	455.0
	派遣社員・契約社員	39	2.6	-	-	43.6	568.5
	パート・アルバイト	139	0.7	-	-	51.1	418.3
本人職業 （現在） 別	無 職	1,037	▲ 0.9	0.2	-	54.1	332.9
	そ の 他	24	-	4.2	8.3	45.8	857.1

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、年間収入の平均は、60 歳代以上で 421.3 万円、中年層で 612.1 万円であり、中年層よりも 60 歳代以上は年間収入が低くなっている。〈図表Ⅴ－4〉

〈図表Ⅴ－4〉 昨年 1 年間の収入 「中年層調査」との比較：参考

(単位：％)



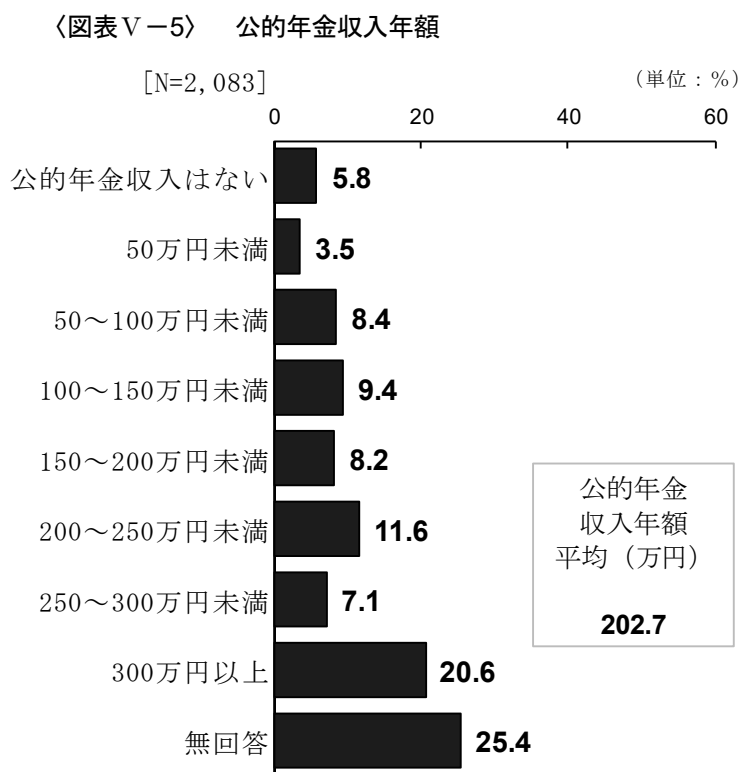
(2) 公的年金収入

①公的年金収入年額

公的年金収入年額については、「300 万円以上」が 20.6%と最も多い。次いで、「200～250 万円未満」の 11.6%、「100～150 万円未満」の 9.4%、「50～100 万円未満」の 8.4%、「150～200 万円未満」の 8.2%という順となっている。

「100 万円未満」は約 12%、「200 万円以上」は約 39%となっている。

「公的年金収入はない」は 5.8%であり、平均の公的年金収入額は、202.7 万円となっている。〈図表 V－5〉



性別にみると、「公的年金収入はない」は女性より男性で高くなっている。「50～100 万円未満」は、女性の方が男性を上回っている。公的年金収入年額の平均は、性別では大きな差がみられない。

年齢別にみると、「公的年金収入はない」「50 万円未満」は 60～64 歳で高くなっている。
より高額な「300 万円以上」は、70～84 歳の各層で 2 割台と高くなっている。

「100～150 万円未満」「200～250 万円未満」は 75～79 歳で高くなっている。

公的年金収入年額の平均は、60～64 歳（83.0 万円）が最も低く、次いで、90 歳以上（202.9 万円）、65～69 歳（206.7 万円）の順となっている。70～80 歳代では、平均 220～230 万円台と大きな差はみられない。（図表 V-6）

〈図表 V-6〉 公的年金収入年額〔性・年齢別〕

（単位：％）

		N	公的年金収入はない	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満
全 体		2,083	5.8	3.5	8.4	9.4	8.2
性別	男 性	964	8.3	2.9	▲ 6.5	8.1	8.0
	女 性	1,119	▲ 3.7	4.0	10.1	10.5	8.3
本人年齢別	60～64歳	353	26.1	8.5	8.2	▲ 5.4	▲ 3.4
	65～69歳	406	4.4	3.7	6.9	10.1	8.6
	70～74歳	497	▲ 1.4	2.4	9.5	9.3	9.1
	75～79歳	407	▲ 0.5	2.0	8.1	13.0	8.4
	80～84歳	242	▲ 0.4	2.5	9.9	7.0	10.7
	85～89歳	132	▲ 0.8	—	7.6	10.6	8.3
	90歳以上	46	—	4.3	10.9	10.9	15.2
		N	200～250万円未満	250～300万円未満	300万円以上	無回答	平均収入（公的年金収入の年間平均額）
全 体		2,083	11.6	7.1	20.6	25.4	202.7
性別	男 性	964	12.7	8.2	21.7	23.7	205.2
	女 性	1,119	10.6	6.2	19.7	27.0	200.4
本人年齢別	60～64歳	353	▲ 5.9	▲ 3.7	▲ 3.1	35.7	83.0
	65～69歳	406	14.3	8.6	19.7	23.6	206.7
	70～74歳	497	10.1	8.2	27.4	22.7	230.0
	75～79歳	407	14.5	7.1	25.6	▲ 20.9	224.3
	80～84歳	242	13.2	7.0	26.4	22.7	231.6
	85～89歳	132	13.6	9.1	19.7	30.3	235.9
	90歳以上	46	6.5	2.2	17.4	32.6	202.9

本人の現在の職業別にみると、「公的年金収入はない」は、自由業（21.6%）、派遣社員・契約社員（17.9%）、民間企業被用者（17.3%）で、特に高くなっている。

低額の「50万円未満」「50～100万円未満」は自営者、パート・アルバイトで高くなっている。

無職では、「公的年金収入はない」および低額の「50万円未満」「50～100万円未満」が低く、一方、「200万円以上」の高額帯でいずれも高くなっている。

公的年金収入年額の平均は、無職が234.6万円と最も高く、次いで公務員の202.0万円。他の層は100万円台で、自由業（106.3万円）が最も低くなっている。〈図表V-7〉

〈図表V-7〉 公的年金収入年額〔本人職業（現在）別〕

（単位：％）

		N	公的年金収入はない	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満
全 体		2,083	5.8	3.5	8.4	9.4	8.2
本人職業（現在）別	自 営 者	180	13.9	8.3	17.2	11.1	7.8
	農 林 漁 業	19	10.5	15.8	21.1	5.3	5.3
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	12.1	7.3	17.7	13.7	9.7
	自 由 業 者	37	21.6	8.1	13.5	5.4	2.7
	常 雇 被 用 者	222	17.1	5.4	5.4	7.7	9.0
	公 務 員	37	16.2	2.7	2.7	2.7	10.8
	民 間 企 業 被 用 者	185	17.3	5.9	5.9	8.6	8.6
	非 正 規 社 員	178	10.7	7.9	13.5	9.0	7.3
	派遣社員・契約社員	39	17.9	7.7	5.1	5.1	5.1
	パート・アルバイト	139	8.6	7.9	15.8	10.1	7.9
別	無 職	1,037	▲ 2.2	▲ 1.9	▲ 7.0	10.2	8.9
	そ の 他	24	8.3	4.2	12.5	16.7	12.5
		N	200～250万円未満	250～300万円未満	300万円以上	無回答	平均収入（公的年金） （万円）
全 体		2,083	11.6	7.1	20.6	25.4	202.7
本人職業（現在）別	自 営 者	180	7.8	3.9	▲ 8.9	21.1	122.6
	農 林 漁 業	19	15.8	5.3	5.3	15.8	118.4
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	7.3	4.0	▲ 8.9	19.4	127.5
	自 由 業 者	37	5.4	2.7	10.8	29.7	106.3
	常 雇 被 用 者	222	10.4	7.7	▲ 10.8	26.6	148.8
	公 務 員	37	5.4	10.8	27.0	21.6	202.0
	民 間 企 業 被 用 者	185	11.4	7.0	▲ 7.6	27.6	137.3
	非 正 規 社 員	178	7.9	7.9	▲ 13.5	22.5	156.4
	派遣社員・契約社員	39	10.3	7.7	20.5	20.5	157.8
	パート・アルバイト	139	7.2	7.9	▲ 11.5	23.0	155.9
別	無 職	1,037	14.2	8.6	28.1	▲ 18.9	234.6
	そ の 他	24	12.5	4.2	12.5	16.7	155.0

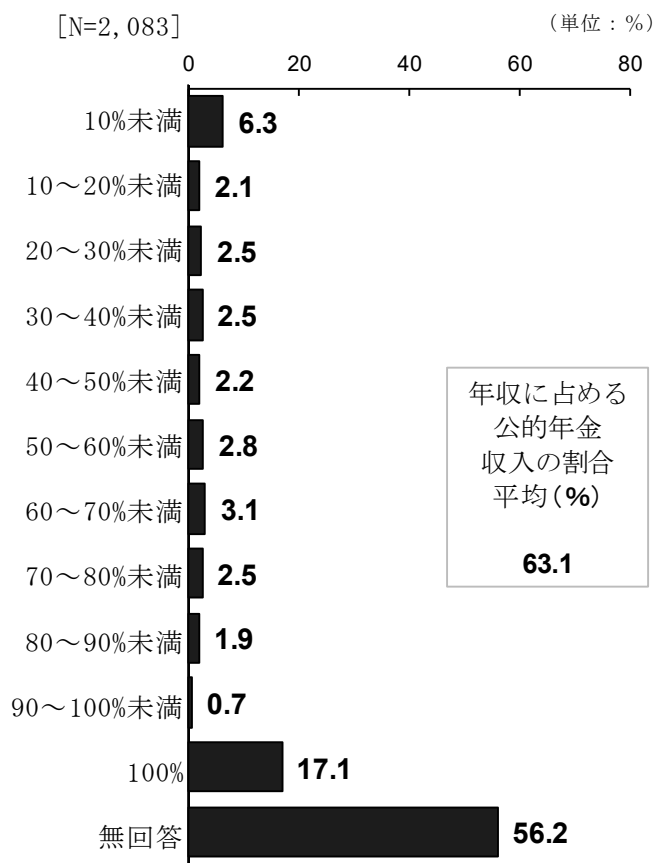
②年収に占める公的年金収入の割合

年収に占める公的年金収入の割合については、「100%」が 17.1%と最も多く、次いで、「10%未満」の 6.3%が続いている。

「30%未満」は約 11%、「50%未満」は約 16%で、「70%以上」は約 22%となっている。

年収に占める公的年金収入の割合の平均は、63.1%となっている。〈図表V－8〉

〈図表V－8〉 年収に占める公的年金収入の割合



性別にみると、「10%未満」は、男性の方が女性より高くなっている。年収に占める公的年金収入の割合の平均は、男性の 57.8%より女性の 68.2%が上回っており、女性の方が年収に占める公的年金収入の割合は高い傾向となっている。

年齢別にみると、「100%」は 60 歳代の層で低く、75～89 歳までの層で高くなっている。一方、「10%未満」は 60～64 歳で高くなっている。

年収に占める公的年金収入の割合の平均は、高年齢層になるほど高くなっている傾向がみられる。
 〈図表 V-9〉

〈図表 V-9〉 年収に占める公的年金収入の割合〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50～60%未満	60～70%未満
全 体		2,083	6.3	2.1	2.5	2.5	2.2	2.8	3.1
性別	男 性	964	8.8	2.4	2.7	2.9	2.3	2.8	3.4
	女 性	1,119	▲ 4.2	1.9	2.3	2.2	2.1	2.8	2.9
本人年齢別	60～64歳	353	28.3	3.1	2.3	2.5	2.0	4.2	▲ 1.4
	65～69歳	406	4.4	3.4	4.4	4.9	2.7	3.9	5.2
	70～74歳	497	▲ 1.4	2.2	3.0	3.2	3.4	3.2	4.4
	75～79歳	407	▲ 0.5	1.2	2.0	1.2	1.2	1.7	3.2
	80～84歳	242	▲ 1.7	0.8	0.8	0.8	1.2	1.2	▲ 0.8
	85～89歳	132	▲ 0.8	－	0.8	0.8	0.8	0.8	1.5
	90歳以上	46	－	2.2	－	－	2.2	－	－
		N	70～80%未満	80～90%未満	90～100%未満	100%	無回答	合的年金に均収占（入め%のる）割公	
全 体		2,083	2.5	1.9	0.7	17.1	56.2	63.1	
性別	男 性	964	2.5	2.3	0.6	15.6	▲ 53.7	57.8	
	女 性	1,119	2.6	1.6	0.7	18.4	58.4	68.2	
本人年齢別	60～64歳	353	1.4	▲ 0.6	0.3	▲ 3.7	▲ 50.1	23.6	
	65～69歳	406	3.4	2.2	0.5	▲ 11.8	53.0	57.0	
	70～74歳	497	2.8	1.8	0.4	15.1	59.0	66.9	
	75～79歳	407	2.9	2.9	0.7	25.3	57.0	82.3	
	80～84歳	242	1.2	1.7	1.7	29.8	58.3	86.3	
	85～89歳	132	3.8	1.5	－	28.0	61.4	89.0	
	90歳以上	46	－	4.3	4.3	17.4	69.6	87.3	

本人の現在の職業別にみると、「100%」は無職で高く、自営者で低くなっている。一方、「10%未満」は派遣社員・契約社員（23.1%）、常雇被用者（18.9%）が特に高くなっている。

年収に占める公的年金収入の割合の平均は、無職が 82.3%と最も高い。自営者は 29.5%、常雇被用者は 30.0%、非正規社員は 35.0%となっている。（図表V－10）

〈図表V－10〉 年収に占める公的年金収入の割合〔本人職業（現在）別〕

（単位：％）

			10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50～60%未満	60～70%未満
		N							
全 体		2,083	6.3	2.1	2.5	2.5	2.2	2.8	3.1
本人職業（現在）別	自 営 者	180	15.6	9.4	6.7	6.1	3.3	6.1	3.3
	農 林 漁 業	19	15.8	10.5	10.5	-	5.3	10.5	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	15.3	9.7	7.3	8.9	4.0	5.6	2.4
	自 由 業	37	16.2	8.1	2.7	-	-	5.4	8.1
	常 雇 被 用 者	222	18.9	3.6	2.7	6.3	4.1	5.0	5.0
	公 務 員	37	18.9	-	-	5.4	5.4	13.5	10.8
	民 間 企 業 被 用 者	185	18.9	4.3	3.2	6.5	3.8	3.2	3.8
	非 正 規 社 員	178	15.2	2.2	4.5	6.2	3.9	7.9	5.6
	派遣社員・契約社員	39	23.1	2.6	7.7	7.7	5.1	5.1	2.6
	パート・アルバイト	139	12.9	2.2	3.6	5.8	3.6	8.6	6.5
本人職業（現在）別	無 職	1,037	▲ 1.7	▲ 0.7	▲ 1.6	▲ 1.2	1.5	▲ 1.8	2.8
	そ の 他	24	16.7	-	12.5	8.3	4.2	-	8.3
		N	70～80%未満	80～90%未満	90～100%未満	100%	無回答	合 計 的 年 収 平 金 に 均 収 占 入 め る 割 公	
全 体		2,083	2.5	1.9	0.7	17.1	56.2	63.1	
本人職業（現在）別	自 営 者	180	1.7	-	-	▲ 2.8	▲ 45.0	29.5	
	農 林 漁 業	19	-	-	-	10.5	36.8	36.4	
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	2.4	-	-	▲ 1.6	▲ 42.7	28.5	
	自 由 業	37	-	-	-	▲ 2.7	56.8	28.9	
	常 雇 被 用 者	222	4.1	1.4	-	-	▲ 49.1	30.0	
	公 務 員	37	8.1	2.7	-	-	▲ 35.1	41.9	
	民 間 企 業 被 用 者	185	3.2	1.1	-	-	51.9	26.8	
	非 正 規 社 員	178	2.8	2.2	-	-	49.4	35.0	
	派遣社員・契約社員	39	2.6	-	-	-	43.6	25.9	
	パート・アルバイト	139	2.9	2.9	-	-	51.1	38.0	
本人職業（現在）別	無 職	1,037	3.0	2.3	1.3	28.0	54.1	82.3	
	そ の 他	24	-	4.2	-	-	45.8	31.9	

世帯年収別にみると、「100%」は低年収層ほど高く、100万円未満層で74.0%となっている。一方、「10%未満」は高年収層ほど高くなっている。

年収に占める公的年金収入の割合の平均は、低年収層ほど高く、300万円未満の各層において80%を超えている。〈図表V-11〉

〈図表V-11〉 年収に占める公的年金収入の割合〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50～60%未満	60～70%未満
全 体		2,083	6.3	2.1	2.5	2.5	2.2	2.8	3.1
世帯 年 収 別	100万円未満	50	6.0	－	4.0	－	－	－	6.0
	100～300万円未満	311	4.5	1.9	2.9	4.8	2.3	5.5	5.1
	300～500万円未満	295	9.8	3.4	5.4	5.4	5.4	7.5	10.2
	500～700万円未満	141	24.8	7.1	6.4	7.8	10.6	10.6	9.9
	700～1,000万円未満	67	35.8	13.4	14.9	13.4	7.5	3.0	3.0
	1,000～1,500万円未満	30	50.0	16.7	16.7	6.7	3.3	6.7	－
	1,500～2,000万円未満	8	62.5	12.5	12.5	－	12.5	－	－
	2,000万円以上	10	70.0	30.0	－	－	－	－	－
		N	70～80%未満	80～90%未満	90～100%未満	100%	無回答	合的 年 年 収 平 金 に 均 収 占 め る 割 公	
全 体		2,083	2.5	1.9	0.7	17.1	56.2	63.1	
世帯 年 収 別	100万円未満	50	8.0	2.0	－	74.0	－	86.6	
	100～300万円未満	311	2.9	3.5	1.6	65.0	－	81.7	
	300～500万円未満	295	9.5	6.4	2.0	34.9	－	66.3	
	500～700万円未満	141	7.1	4.3	2.1	▲ 9.2	－	42.2	
	700～1,000万円未満	67	3.0	4.5	－	▲ 1.5	－	25.5	
	1,000～1,500万円未満	30	－	－	－	－	－	14.2	
	1,500～2,000万円未満	8	－	－	－	－	－	11.3	
	2,000万円以上	10	－	－	－	－	－	5.5	

世帯保有金融資産別にみると、「100%」は100～1,000万円未満層で22.6%と高くなっている。
 年収に占める公的年金収入の割合の平均は、1,000万円未満の各層で60%台、1,000万円～1億円未満の各層で50%台、1億円以上層で30%台となっている。〈図表V-12〉

〈図表V-12〉 年収に占める公的年金収入の割合〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	10%未満	10～20% 未満	20～30% 未満	30～40% 未満	40～50% 未満	50～60% 未満	60～70% 未満
全 体		2,083	6.3	2.1	2.5	2.5	2.2	2.8	3.1
金融資産別 世帯保有	100万円未満	303	5.6	1.0	3.0	3.3	3.0	1.3	2.6
	100～1,000万円未満	527	5.5	1.9	2.7	3.0	2.1	4.0	3.6
	1,000～2,000万円未満	273	11.0	4.4	1.5	2.6	3.3	3.7	3.3
	2,000～5,000万円未満	302	11.6	3.0	3.3	2.3	2.0	3.6	6.0
	5,000万円～1億円未満	119	5.9	5.9	4.2	5.9	5.9	3.4	2.5
	1億円以上	23	8.7	13.0	17.4	8.7	-	4.3	8.7
		N	70～80% 未満	80～90% 未満	90～100% 未満	100%	無回答	合的年金に 均収占 (入める %)の割公	
全 体		2,083	2.5	1.9	0.7	17.1	56.2	63.1	
金融資産別 世帯保有	100万円未満	303	3.6	0.7	-	20.5	55.4	66.2	
	100～1,000万円未満	527	1.5	2.5	0.2	22.6	▲50.5	67.5	
	1,000～2,000万円未満	273	3.3	2.6	1.8	17.9	▲44.7	57.6	
	2,000～5,000万円未満	302	5.6	3.6	2.0	18.2	▲38.7	59.4	
	5,000万円～1億円未満	119	2.5	2.5	0.8	15.1	▲45.4	55.4	
	1億円以上	23	-	-	-	8.7	▲30.4	37.8	

(3) 就労収入

①就労収入年額

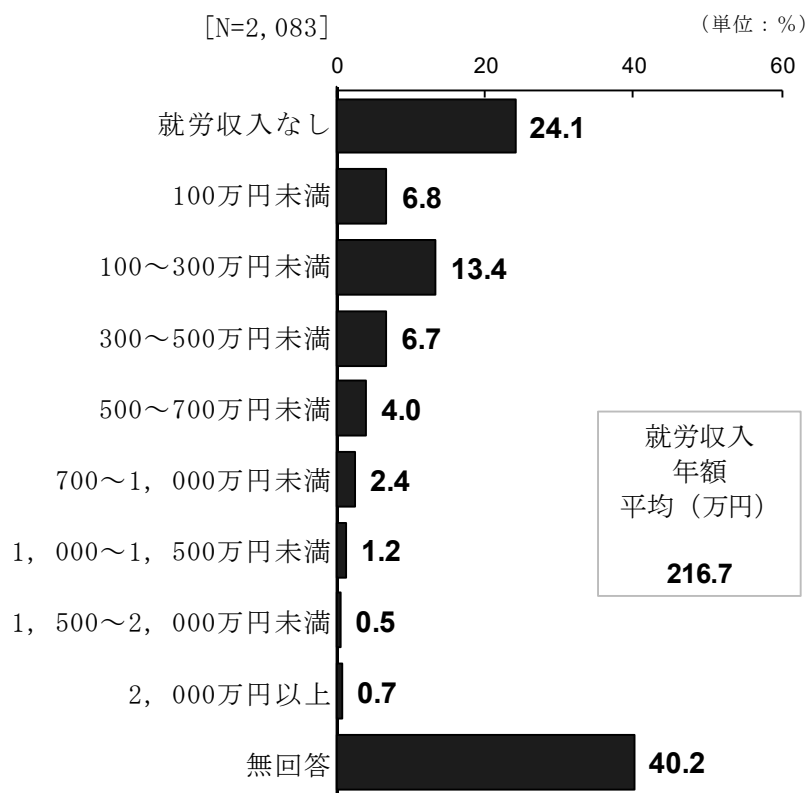
就労収入年額については、「就労収入なし」が 24.1%を占めている。

具体的な就労収入年額としては、「100～300 万円未満」の 13.4%が最も多く、次いで、「100 万円未満」が 6.8%、「300～500 万円未満」が 6.7%、「500～700 万円未満」が 4.0%の順となっている。

「300 万円未満」は約 20%、「500 万円以上」は約 9%となっている。

平均の就労収入年額は、216.7 万円となっている。〈図表 V－13〉

〈図表 V－13〉 就労収入年額



性別にみると、「就労収入なし」は女性の方が男性を上回っている。一方、「100～300万円未満」「300～500万円未満」は、男性の方が女性より高くなっている。就労収入年額の平均は、女性の171.6万円より男性の260.6万円が上回っており、総じて、男性の方が就労収入年額は高い傾向となっている。

年齢別にみると、「就労収入なし」は60歳代で低く、高年齢層ほど高くなっている。一方、「100～1,000万円」の金額帯は、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。

就労収入年額の平均は、60～64歳の464.9万円が最も高く、高年齢層になるほど急激に低くなっている。〈図表V-14〉

〈図表V-14〉 就労収入年額〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	就労収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満
全 体		2,083	24.1	6.8	13.4	6.7	4.0	2.4
性別	男 性	964	▲22.0	7.1	15.4	9.8	4.7	3.1
	女 性	1,119	25.8	6.5	▲11.8	▲4.0	3.4	1.9
本人年齢別	60～64歳	353	▲5.9	5.1	19.0	16.1	13.3	8.8
	65～69歳	406	▲17.2	8.1	22.2	10.6	4.9	2.7
	70～74歳	497	21.9	9.5	15.9	4.8	2.6	▲1.0
	75～79歳	407	33.7	7.4	▲7.6	▲2.2	▲0.5	▲0.5
	80～84歳	242	39.7	▲3.7	▲4.1	▲2.1	▲0.4	0.8
	85～89歳	132	39.4	3.0	▲2.3	▲0.8	—	—
	90歳以上	46	34.8	—	—	—	—	—

		N	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平均就労収入年額(万円)
全 体		2,083	1.2	0.5	0.7	40.2	216.7
性別	男 性	964	1.6	0.9	1.0	▲34.5	260.6
	女 性	1,119	1.0	▲0.1	0.4	45.0	171.6
本人年齢別	60～64歳	353	5.1	1.7	1.1	▲23.8	464.9
	65～69歳	406	1.0	0.7	1.5	▲31.0	266.2
	70～74歳	497	0.6	—	0.6	43.1	158.6
	75～79歳	407	—	—	0.2	47.9	65.0
	80～84歳	242	0.4	—	0.4	48.3	70.9
	85～89歳	132	—	0.8	—	53.8	46.9
	90歳以上	46	—	—	—	65.2	—

本人の現在の職業別にみると、「就労収入なし」は無職で 38.4%と高くなっている。

「100 万円未満」は自営者、パート・アルバイトで高くなっている。

就労収入年額の平均は、自由業の 603.3 万円が最も高く、自営者は 446.4 万円、常雇被用者は 417.5 万円であるのに対し、非正規社員は 244.4 万円、無職は 88.7 万円と低くなっている。〈図表 V－15〉

〈図表 V－15〉 就労収入年額〔本人職業（現在）別〕

（単位：％）

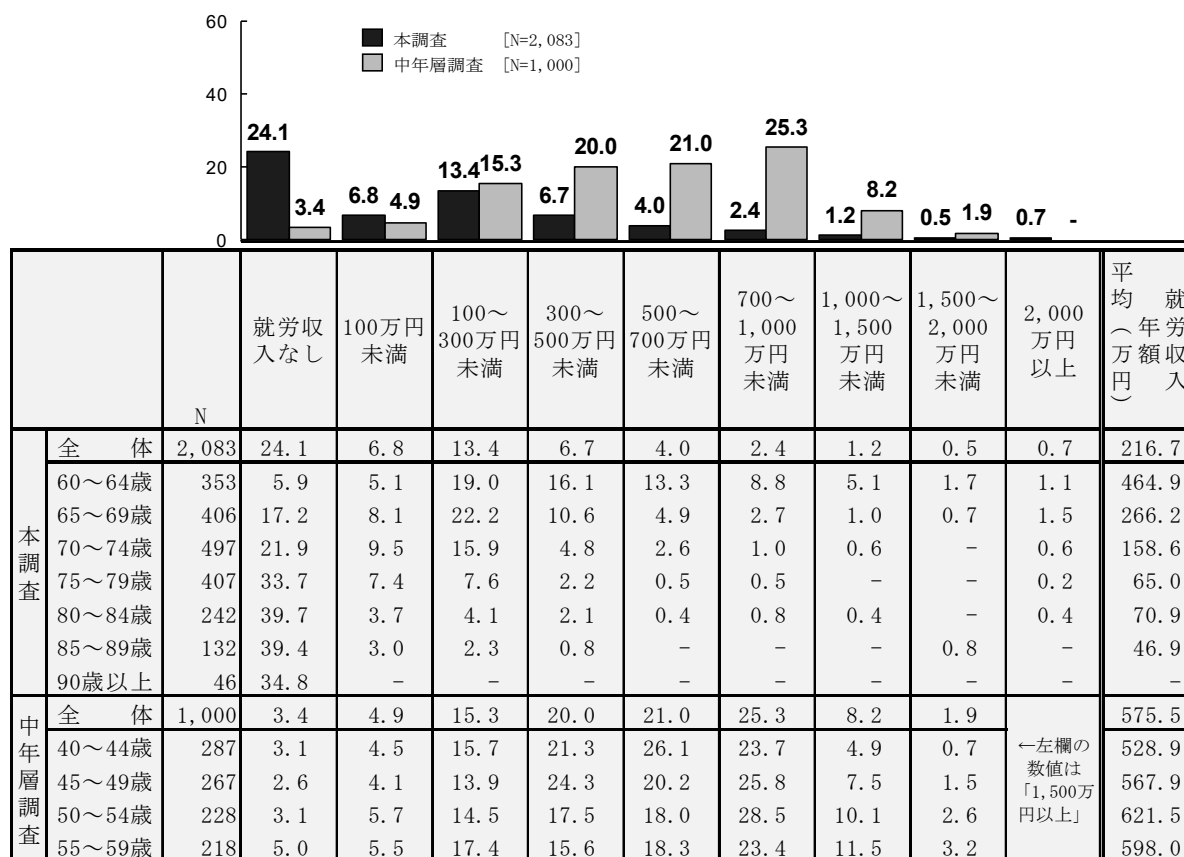
		N	就労収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満
全 体		2,083	24.1	6.8	13.4	6.7	4.0	2.4
本人職業（現在）別	自 営 者	180	▲ 3.9	(10.6)	(25.6)	(13.3)	(11.7)	(7.2)
	農 林 漁 業	19	10.5	15.8	21.1	(21.1)	-	5.3
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	▲ 1.6	10.5	(29.8)	(11.3)	(14.5)	(8.1)
	自 由 業 者	37	▲ 8.1	8.1	13.5	(16.2)	8.1	5.4
	常 雇 被 用 者	222	-	9.5	(29.7)	(23.0)	(11.7)	(7.7)
	公 務 員	37	-	13.5	(32.4)	(16.2)	8.1	(16.2)
	民 間 企 業 被 用 者	185	-	8.6	(29.2)	(24.3)	(12.4)	(5.9)
	非 正 規 社 員	178	▲ 1.1	(18.5)	(37.1)	(14.6)	(8.4)	2.2
	派遣社員・契約社員	39	-	5.1	(33.3)	(30.8)	(15.4)	2.6
	パート・アルバイト	139	▲ 1.4	(22.3)	(38.1)	10.1	6.5	2.2
無 職		1,037	(38.4)	▲ 5.2	▲ 5.9	▲ 2.1	▲ 1.4	▲ 1.2
そ の 他		24	-	16.7	(33.3)	(20.8)	-	-
		N	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平均 就 （年 労 万 額 収 円 入）	
全 体		2,083	1.2	0.5	0.7	40.2	216.7	
本人職業（現在）別	自 営 者	180	(4.4)	0.6	(3.9)	▲18.9	446.4	
	農 林 漁 業	19	5.3	-	-	21.1	271.9	
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	(4.0)	0.8	(3.2)	▲16.1	430.8	
	自 由 業 者	37	(5.4)	-	(8.1)	27.0	603.3	
	常 雇 被 用 者	222	(3.6)	(1.8)	0.9	▲12.2	417.5	
	公 務 員	37	(5.4)	-	-	▲ 8.1	402.0	
	民 間 企 業 被 用 者	185	(3.2)	(2.2)	1.1	▲13.0	420.8	
	非 正 規 社 員	178	1.7	-	-	▲16.3	244.4	
	派遣社員・契約社員	39	(5.1)	-	-	▲ 7.7	361.0	
	パート・アルバイト	139	0.7	-	-	▲18.7	207.2	
無 職		1,037	▲ 0.4	0.3	▲ 0.2	(45.0)	88.7	
そ の 他		24	4.2	(4.2)	(8.3)	▲12.5	558.5	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上では「就労収入なし」が中年層を大きく上回っている。

就労収入年額の平均は、60 歳代以上で 216.7 万円、中年層で 575.5 万円と、60 歳代以上が大きく下回っている。〈図表 V-16〉

〈図表 V-16〉 就労収入年額 「中年層調査」との比較：参考

(単位：%)



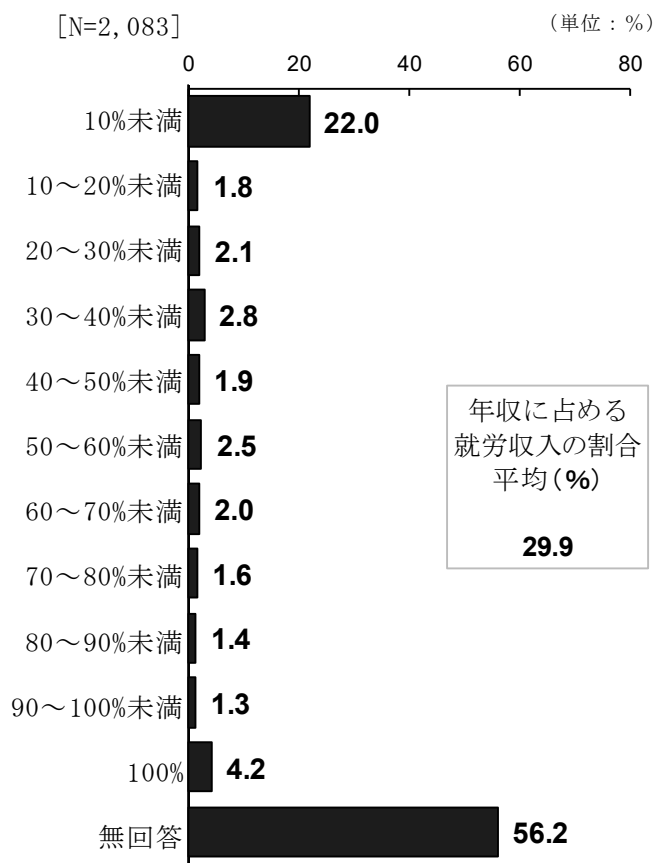
②年収に占める就労収入の割合

年収に占める就労収入の割合については、「10%未満」が 22.0%と最も多く、次いで、「100%」の 4.2%が続いている。

「30%未満」は約 26%、「50%未満」は約 31%で、「70%以上」は約 9%となっている。

年収に占める就労収入の割合の平均は、29.9%となっている。〈図表V－17〉

〈図表V－17〉 年収に占める就労収入の割合



性別にみると、「100%」は、男性の方が女性より高くなっている。年収に占める就労収入の割合の平均は、男性の35.1%が女性の25.0%が上回っており、男性の方が年収に占める就労収入の割合は高い傾向となっている。

年齢別にみると、「100%」は60～64歳で高くなっている。一方、「10%未満」は60～64歳で低く、75～89歳の各層で高くなっている。

年収に占める就労収入の割合の平均は、60～64歳で71.2%と最も高く、高年齢層になるほど低くなっている傾向がみられる。〈図表V-18〉

〈図表V-18〉 年収に占める就労収入の割合〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50～60%未満	60～70%未満
全 体		2,083	22.0	1.8	2.1	2.8	1.9	2.5	2.0
性別	男 性	964	20.6	1.6	2.4	3.3	2.1	2.7	2.4
	女 性	1,119	23.2	2.1	1.9	2.4	1.8	2.3	1.7
本人年齢別	60～64歳	353	▲ 5.4	1.4	1.7	2.3	2.5	3.1	2.5
	65～69歳	406	▲ 16.3	2.2	3.7	3.9	3.2	4.4	3.4
	70～74歳	497	19.9	2.4	3.2	4.2	2.2	2.8	2.8
	75～79歳	407	31.9	2.5	1.2	2.5	0.7	1.5	▲ 0.7
	80～84歳	242	35.1	0.4	0.8	1.2	1.2	0.8	0.8
	85～89歳	132	34.8	0.8	—	0.8	0.8	0.8	—
	90歳以上	46	30.4	—	—	—	—	—	—
		N	70～80%未満	80～90%未満	90～100%未満	100%	無回答	年収に占める就労収入の割合平均(%)	
全 体		2,083	1.6	1.4	1.3	4.2	56.2	29.9	
性別	男 性	964	1.9	1.7	1.3	6.3	▲ 53.7	35.1	
	女 性	1,119	1.4	1.2	1.3	▲ 2.3	58.4	25.0	
本人年齢別	60～64歳	353	2.0	3.4	5.1	20.4	▲ 50.1	71.2	
	65～69歳	406	3.2	2.5	2.0	▲ 2.2	53.0	36.2	
	70～74歳	497	1.4	1.0	▲ 0.4	▲ 0.6	59.0	24.1	
	75～79歳	407	1.2	▲ 0.2	—	▲ 0.5	57.0	11.1	
	80～84歳	242	0.4	0.4	—	▲ 0.4	58.3	8.0	
	85～89歳	132	0.8	—	—	—	61.4	4.4	
	90歳以上	46	—	—	—	—	69.6	—	

本人の現在の職業別にみると、「10%未満」は無職で 35.7%と高くなっている。

年収に占める就労収入の割合の平均は、自由業が 68.2%と最も高くなっている。自営者は 62.8%、常雇被用者は 65.3%、非正規社員は 59.0%となっている。〈図表V－19〉

〈図表V－19〉 年収に占める就労収入の割合〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

			10%未満	10～20% 未満	20～30% 未満	30～40% 未満	40～50% 未満	50～60% 未満	60～70% 未満
		N							
全 体		2,083	22.0	1.8	2.1	2.8	1.9	2.5	2.0
本人職業（現在）別	自 営 者	180	▲ 3.9	1.1	1.7	(7.2)	(5.6)	4.4	(5.0)
	農 林 漁 業	19	15.8	-	-	-	(10.5)	-	5.3
	商 工 サ ビ ス 業	124	▲ 2.4	0.8	2.4	(8.9)	(4.8)	(6.5)	(5.6)
	自 由 業	37	▲ 2.7	2.7	-	5.4	5.4	-	2.7
	常 雇 被 用 者	222	▲ 0.9	3.2	3.2	(7.7)	2.3	(5.0)	(5.9)
	公 務 員	37	-	(8.1)	5.4	(16.2)	5.4	(8.1)	2.7
	民 間 企 業 被 用 者	185	▲ 1.1	2.2	2.7	(5.9)	1.6	4.3	(6.5)
	非 正 規 社 員	178	-	(3.9)	(4.5)	5.1	(7.9)	(6.2)	(5.1)
	派遣社員・契約社員	39	-	2.6	2.6	2.6	(10.3)	2.6	5.1
	パート・アルバイト	139	-	(4.3)	(5.0)	(5.8)	(7.2)	(7.2)	(5.0)
	無 職	1,037	(35.7)	1.5	1.9	▲ 1.4	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 0.6
の 他		24	-	(8.3)	4.2	-	4.2	4.2	(12.5)

			70～80% 未満	80～90% 未満	90～100% 未満	100%	無回答	年 収 に 占 め る 就 労 収 入 の 割 合 平 均 (%)
		N						
全 体		2,083	1.6	1.4	1.3	4.2	56.2	29.9
本人職業（現在）別	自 営 者	180	(6.1)	(6.7)	2.8	(10.6)	▲ 45.0	62.8
	農 林 漁 業	19	5.3	(10.5)	5.3	10.5	36.8	56.4
	商 工 サ ビ ス 業	124	(8.1)	(5.6)	2.4	(9.7)	▲ 42.7	62.7
	自 由 業	37	-	(8.1)	2.7	(13.5)	56.8	68.2
	常 雇 被 用 者	222	3.2	2.3	2.7	(14.9)	▲ 49.1	65.3
	公 務 員	37	-	-	2.7	(16.2)	▲ 35.1	55.2
	民 間 企 業 被 用 者	185	(3.8)	2.7	2.7	(14.6)	51.9	68.0
	非 正 規 社 員	178	3.4	1.7	(5.1)	(7.9)	49.4	59.0
	派遣社員・契約社員	39	(10.3)	2.6	2.6	(15.4)	43.6	67.1
	パート・アルバイト	139	1.4	1.4	(5.8)	5.8	51.1	56.4
	無 職	1,037	▲ 0.9	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.0	54.1	10.8
の 他		24	4.2	4.2	4.2	8.3	45.8	61.2

世帯年収別にみると、「10%未満」は低年収層ほど高く、100万円未満層で86.0%となっている。一方、「90～100%未満」や「100%」は、高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。年収に占める就労収入の割合の平均は、高年収層ほど高くなっている。〈図表V-20〉

〈図表V-20〉 年収に占める就労収入の割合〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50～60%未満	60～70%未満
全 体		2,083	22.0	1.8	2.1	2.8	1.9	2.5	2.0
世帯年収別	100万円未満	50	86.0	2.0	2.0	4.0	—	—	—
	100～300万円未満	311	74.3	2.9	1.6	3.9	3.9	3.5	2.6
	300～500万円未満	295	45.4	5.4	9.8	8.5	4.4	7.5	5.1
	500～700万円未満	141	24.8	4.3	5.7	10.6	6.4	9.9	7.1
	700～1,000万円未満	67	14.9	9.0	—	4.5	3.0	6.0	10.4
	1,000～1,500万円未満	30	16.7	—	3.3	3.3	10.0	3.3	3.3
	1,500～2,000万円未満	8	—	—	—	12.5	12.5	—	12.5
	2,000万円以上	10	10.0	—	—	—	—	—	—
		N	70～80%未満	80～90%未満	90～100%未満	100%	無回答	年収に占める就労収入の割合平均(%)	
全 体		2,083	1.6	1.4	1.3	4.2	56.2	29.9	
世帯年収別	100万円未満	50	2.0	—	—	4.0	—	7.7	
	100～300万円未満	311	2.9	1.0	1.0	2.6	—	13.8	
	300～500万円未満	295	2.7	2.7	2.0	6.4	—	28.3	
	500～700万円未満	141	5.0	4.3	3.5	18.4	—	47.3	
	700～1,000万円未満	67	9.0	9.0	9.0	25.4	—	62.3	
	1,000～1,500万円未満	30	3.3	10.0	10.0	36.7	—	67.6	
	1,500～2,000万円未満	8	—	—	25.0	37.5	—	78.6	
	2,000万円以上	10	20.0	30.0	30.0	10.0	—	78.8	

世帯保有金融資産別にみると、特に差はみられない。〈図表Ⅴ－21〉

〈図表Ⅴ－21〉 年収に占める就労収入の割合〔世帯保有金融資産別〕

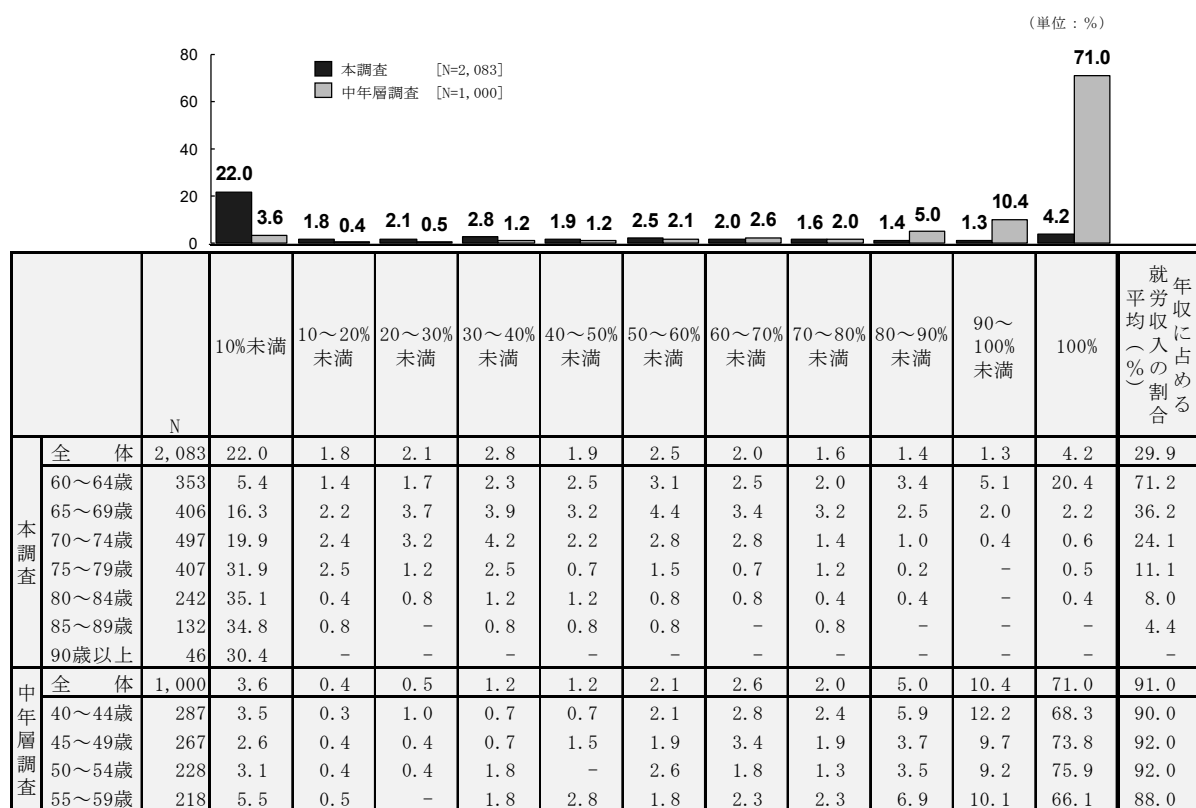
(単位：％)

		N	10%未満	10～20% 未満	20～30% 未満	30～40% 未満	40～50% 未満	50～60% 未満	60～70% 未満
全 体		2,083	22.0	1.8	2.1	2.8	1.9	2.5	2.0
金融資産別 世帯保有	100 万 円 未 満	303	24.4	1.3	3.3	2.3	1.0	2.0	2.6
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	25.2	2.1	2.5	2.8	1.7	4.0	2.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	22.7	1.8	2.9	5.9	3.3	2.9	2.9
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	28.1	3.6	3.3	4.3	2.6	3.0	1.7
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	28.6	3.4	0.8	1.7	3.4	4.2	2.5
	1 億 円 以 上	23	39.1	-	4.3	-	-	4.3	8.7
		N	70～80% 未満	80～90% 未満	90～ 100% 未満	100%	無回答	年収に占める就 労収入の割合 平均（％）	
全 体		2,083	1.6	1.4	1.3	4.2	56.2	29.9	
金融資産別 世帯保有	100 万 円 未 満	303	2.6	0.7	1.0	3.3	55.4	26.6	
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	1.3	2.5	1.1	3.8	▲50.5	28.8	
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	1.1	1.5	2.6	7.7	▲44.7	36.3	
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	2.6	2.0	2.3	7.6	▲38.7	32.9	
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	2.5	2.5	0.8	4.2	▲45.4	29.0	
	1 億 円 以 上	23	4.3	4.3	4.3	-	▲30.4	29.1	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上では「10%未満」が中年層を大きく上回っている。逆に、中年層では「100%」が 60 歳代以上を大きく上回っている。

年収に占める就労収入の割合の平均は、60 歳代以上で 29.9%であるのに対し、中年層では 91.0%と、60 歳代以上が大きく下回っている。〈図表 V－22〉

〈図表 V－22〉 年収に占める就労収入の割合 「[中年層調査]との比較：参考」



2. 支出

自分自身と配偶者（配偶者がいない場合は自分自身のみ）の生活費について以下のように尋ねた。その結果を（1）夫婦の生活費月額、（2）医療・介護費用月額の順にみていく。

F16 あなたと配偶者の夫婦 2 人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の生活費についてお伺いします。（1）月々の生活費（注）と（2）医療・介護費用として窓口で支払っている月々の金額のそれぞれについて、おおよそで結構ですでお答えください。なお、費用の支出がない場合は、0 円とお答えください。

（注）含めるもの：衣食住関連費や光熱費、交通費、通信費などの他、医療・介護費や教養・娯楽費、子供や孫・親等への仕送り、教育費、税・社会保険料
除くもの：住宅ローンなどのローン返済額や貯蓄や保険料の支払い

- （1） 月々の生活費 月額約 万円
（2） 医療・介護費用 月額約 万 ☐ 千円

（1）夫婦の生活費月額

夫婦の生活費月額については、「20～25 万円未満」が 18.0%と最も多く、次いで、「15～20 万円未満」が 13.7%、「10～15 万円未満」が 13.0%、「25～30 万円未満」が 11.7%の順となっている。

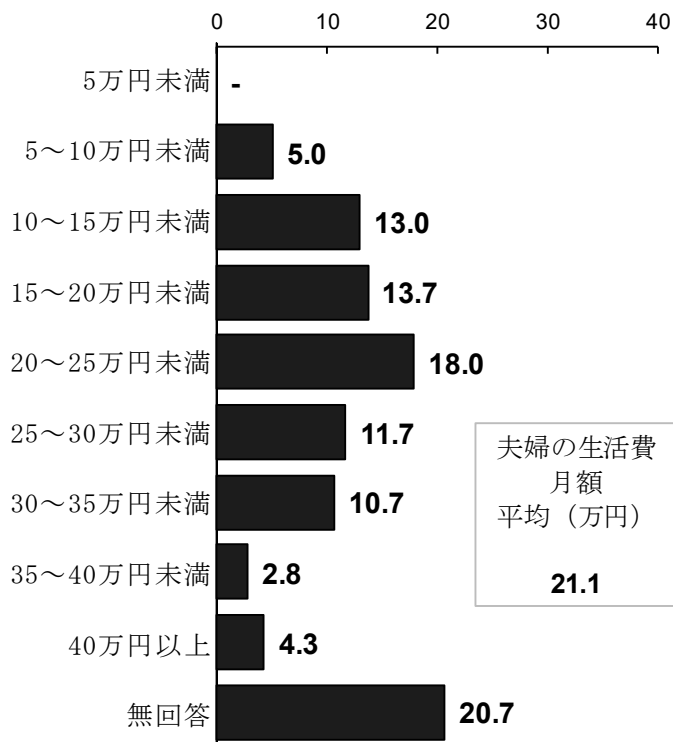
「20 万円未満」は約 32%、「30 万円以上」は約 18%となっている。

平均の生活費月額は、21.1 万円となっている。〈図表 V－23〉

〈図表 V－23〉 夫婦の生活費月額

[N=2, 083]

（単位：％）



性別にみると、「5～10 万円未満」は、男性より女性の方が上回っている。一方、「30～35 万円未満」は男性の方が女性より高くなっている。

生活費月額平均は、性別では大きな差はみられない。

年齢別にみると、「5～10 万円未満」「10～15 万円未満」は、概ね高年齢層になるほど高くなっている傾向がみられる。一方、「30～35 万円未満」は概ね高年齢層ほど低くなっている。

「20～25 万円未満」は 75～79 歳で高く、85 歳以上の層で低くなっている。

「40 万円以上」は 60～64 歳で高くなっている。

生活費月額平均は、60～64 歳の 24 万円が最も高く、高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表 V-24)

〈図表 V-24〉 夫婦の生活費月額〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	5万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20～25万円未満	25～30万円未満
全 体		2,083	-	5.0	13.0	13.7	18.0	11.7
性別	男 性	964	-	▲ 3.8	11.7	13.5	18.4	12.3
	女 性	1,119	-	○ 6.1	14.1	13.9	17.6	11.2
本人年齢別	60～64歳	353	-	▲ 2.3	9.9	11.6	20.1	10.5
	65～69歳	406	-	▲ 2.5	11.3	13.5	20.0	14.3
	70～74歳	497	-	5.0	12.5	13.9	17.5	13.5
	75～79歳	407	-	○ 7.1	14.0	14.7	○ 21.4	10.8
	80～84歳	242	-	6.6	16.5	17.4	14.5	8.7
	85～89歳	132	-	○ 9.1	18.2	14.4	▲ 8.3	10.6
	90歳以上	46	-	10.9	15.2	-	▲ 4.3	6.5
		N	30～35万円未満	35～40万円未満	40万円以上	無回答	平均 夫婦 (月額生活費)	
全 体		2,083	10.7	2.8	4.3	20.7	21.1	
性別	男 性	964	○ 13.0	3.3	5.2	▲ 18.8	22.2	
	女 性	1,119	▲ 8.8	2.3	3.6	○ 22.4	20.1	
本人年齢別	60～64歳	353	○ 15.3	3.4	○ 9.1	17.8	24.0	
	65～69歳	406	10.8	2.7	4.2	20.7	21.9	
	70～74歳	497	○ 13.1	3.0	3.2	18.3	21.2	
	75～79歳	407	▲ 7.6	2.2	2.7	19.4	19.5	
	80～84歳	242	7.4	3.7	4.5	20.7	19.9	
	85～89歳	132	6.8	0.8	1.5	○ 30.3	17.5	
	90歳以上	46	4.3	2.2	2.2	○ 54.3	17.1	

世帯年収別にみると、「5～10 万円未満」は低収入層ほど高くなっており、一方、「40 万円以上」は概ね高収入層ほど高くなっている傾向がみられる。

「10～15 万円未満」「15～20 万円未満」は、100～300 万円未満層で高くなっており、

「20～25 万円未満」「25～30 万円未満」は、300～500 万円未満層で高くなっている。

生活費月額平均は、概ね高収入層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表 V-25〉

〈図表 V-25〉 夫婦の生活費月額〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	5万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20～25万円未満	25～30万円未満
全 体		2,083	-	5.0	13.0	13.7	18.0	11.7
世帯年収別	100 万円 未 満	50	-	22.0	22.0	12.0	10.0	10.0
	100 ～ 300 万円 未 満	311	-	8.0	31.5	25.1	18.0	▲ 5.8
	300 ～ 500 万円 未 満	295	-	▲ 0.3	10.2	12.5	27.5	25.4
	500 ～ 700 万円 未 満	141	-	▲ 0.7	▲ 3.5	10.6	20.6	16.3
	700 ～ 1,000 万円 未 満	67	-	-	▲ 4.5	7.5	14.9	14.9
	1,000 ～ 1,500 万円 未 満	30	-	3.3	3.3	10.0	▲ 3.3	13.3
	1,500 ～ 2,000 万円 未 満	8	-	-	-	-	-	12.5
	2,000 万 円 以 上	10	-	-	-	-	10.0	10.0

		N	30～35万円未満	35～40万円未満	40万円以上	無回答	平均夫婦 (月額生活費)
全 体		2,083	10.7	2.8	4.3	20.7	21.1
世帯年収別	100 万円 未 満	50	4.0	-	2.0	18.0	14.8
	100 ～ 300 万円 未 満	311	▲ 2.3	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 8.0	15.5
	300 ～ 500 万円 未 満	295	16.3	2.4	▲ 0.3	▲ 5.1	22.3
	500 ～ 700 万円 未 満	141	22.7	9.2	12.8	▲ 3.5	26.8
	700 ～ 1,000 万円 未 満	67	28.4	4.5	19.4	▲ 6.0	29.7
	1,000 ～ 1,500 万円 未 満	30	23.3	6.7	33.3	▲ 3.3	31.1
	1,500 ～ 2,000 万円 未 満	8	25.0	12.5	50.0	-	41.3
	2,000 万 円 以 上	10	20.0	-	40.0	20.0	34.4

世帯保有金融資産別にみると、「5～10 万円未満」「10～15 万円未満」は低資産層ほど高くなっている傾向がみられ、一方、「40 万円以上」では高資産層ほど高くなっている。

生活費月額平均は、高資産層ほど高くなっている。〈図表V－26〉

〈図表V－26〉 夫婦の生活費月額〔世帯保有金融資産別〕

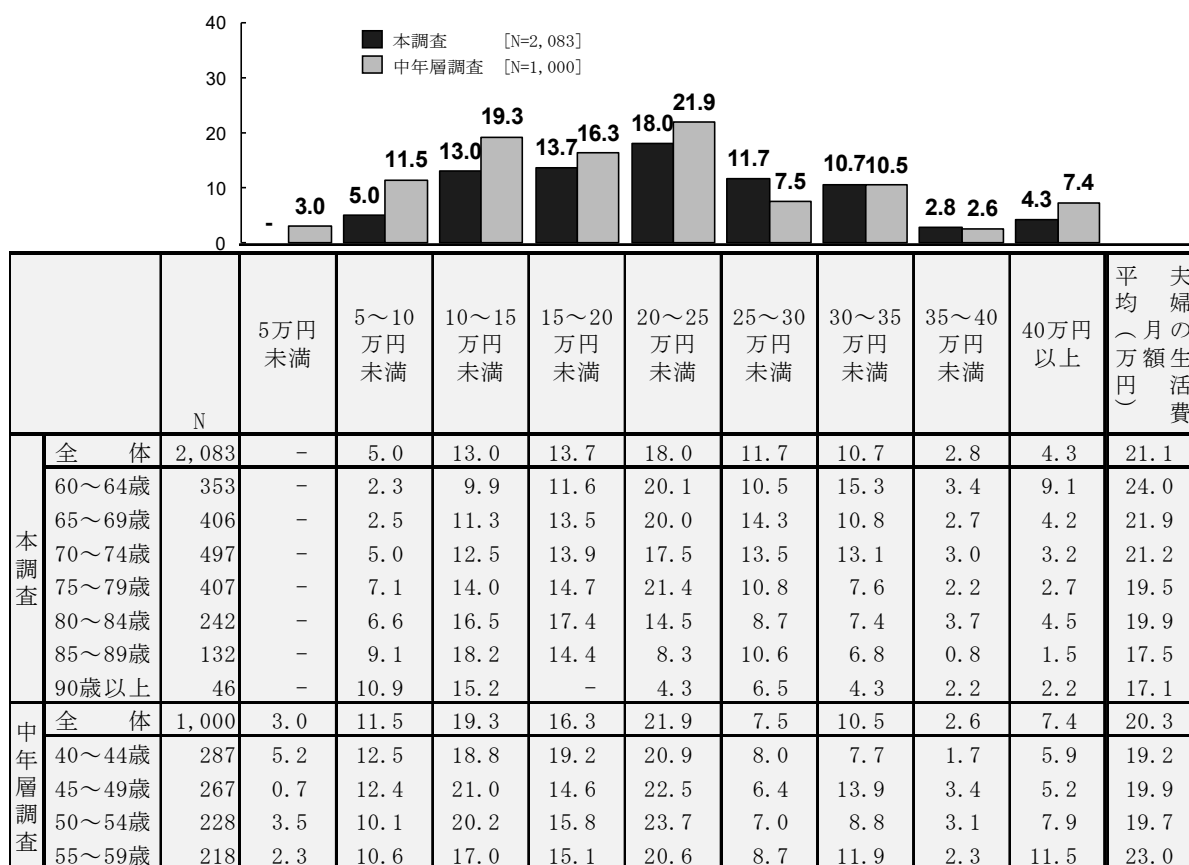
(単位：％)

			5万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20～25万円未満	25～30万円未満
		N						
全 体		2,083	－	5.0	13.0	13.7	18.0	11.7
金融資産別 世帯保有	100 万円 未 満	303	－	11.2	23.4	15.2	21.1	▲ 6.9
	100 ～ 1,000 万円 未 満	527	－	5.3	18.0	17.5	21.3	11.6
	1,000 ～ 2,000 万円 未 満	273	－	▲ 1.1	11.0	17.6	23.1	19.0
	2,000 ～ 5,000 万円 未 満	302	－	▲ 1.3	▲ 6.3	14.6	18.2	18.5
	5,000 万円 ～ 1 億円 未 満	119	－	2.5	▲ 5.0	▲ 7.6	16.0	19.3
	1 億 円 以 上	23	－	－	4.3	－	4.3	13.0
		N	30～35万円未満	35～40万円未満	40万円以上	無回答	平均 夫婦 (月 額の 生活 費)	
全 体		2,083	10.7	2.8	4.3	20.7	21.1	
金融資産別 世帯保有	100 万円 未 満	303	▲ 7.3	1.7	▲ 1.3	▲ 11.9	17.1	
	100 ～ 1,000 万円 未 満	527	9.5	▲ 1.5	2.8	▲ 12.5	19.5	
	1,000 ～ 2,000 万円 未 満	273	13.9	1.8	4.8	▲ 7.7	22.4	
	2,000 ～ 5,000 万円 未 満	302	18.5	7.6	7.9	▲ 7.0	25.0	
	5,000 万円 ～ 1 億円 未 満	119	21.8	9.2	11.8	▲ 6.7	27.0	
	1 億 円 以 上	23	21.7	8.7	47.8	－	36.1	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、生活費月額の平均では、両者で大きな差はみられない。〈図表 V－27〉

〈図表 V－27〉 夫婦の生活費月額 「中年層調査」との比較：参考]

(単位：%)



(2) 医療・介護費用月額

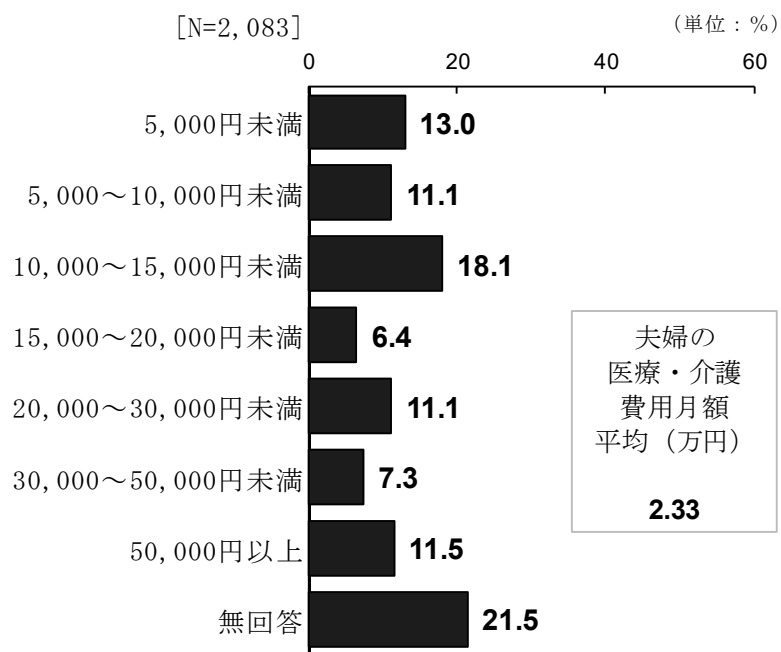
①医療・介護費用月額

医療・介護費用月額については、「10,000～15,000 円未満」の 18.1%が最も多く、次いで、「5,000 円未満」が 13.0%、「50,000 円以上」が 11.5%、「5,000～10,000 円未満」が 11.1%、「20,000～30,000 円未満」が 11.1%の順となっている。

「1 万円未満」は約 24%、「2 万円未満」は約 49%を占めている。

平均の医療・介護費用月額は、23,300 円となっている。〈図表 V－28〉

〈図表 V－28〉 医療・介護費用月額



性別にみると、「5,000 円未満」は、男性より女性の方が上回っている。一方、「50,000 円以上」は男性の方が女性より高くなっている。

医療・介護費用月額の平均は、男性で 25,300 円、女性で 21,600 円となっており、総じて、男性の方が医療・介護費用月額は高い傾向となっている。

年齢別にみると、「50,000 円以上」は 80～84 歳で高く、60～64 歳で低くなっている。

平均の医療・介護費用月額は、90 歳以上の 38,000 円が最も高く、60～64 歳では 18,600 円と最も低くなっている。他の年齢層は 2 万円台で、そのうちでは 80～84 歳の 29,700 円がより高い傾向となっている。〈図表 V-29〉

〈図表 V-29〉 医療・介護費用月額〔性・年齢別〕

(単位：%)

			5,000円 未満	5,000～ 10,000 円未満	10,000 ～ 15,000 円未満	15,000 ～ 20,000 円未満	20,000 ～ 30,000 円未満	30,000 ～ 50,000 円未満	50,000 円以上	無回答	平介夫 均護婦 (費の 万用医 円月療 額・
	N										
全 体	2,083		13.0	11.1	18.1	6.4	11.1	7.3	11.5	21.5	2.33
性 男	964	▲10.7		9.9	18.6	7.1	12.4	7.2	14.0	20.2	2.53
性 女	1,119	15.0		12.2	17.7	5.9	9.9	7.5	▲9.3	22.5	2.16
本 60～64歳	353	14.7		11.0	20.4	4.5	12.5	6.5	▲8.2	22.1	1.86
人 65～69歳	406	10.6		10.6	17.7	8.6	11.8	8.1	11.3	21.2	2.32
年 70～74歳	497	11.1		12.1	20.5	7.2	10.9	6.6	11.5	20.1	2.34
齢 75～79歳	407	15.0		11.8	18.4	6.1	9.8	7.4	11.3	20.1	2.21
別 80～84歳	242	16.1		9.9	▲12.4	6.6	11.2	9.5	16.1	18.2	2.97
85～89歳	132	13.6		9.8	13.6	3.0	10.6	7.6	10.6	31.1	2.39
90歳以上	46	6.5		8.7	17.4	4.3	8.7	2.2	17.4	34.8	3.80

世帯年収別にみると、「5,000 円未満」は低収入の 300 万円未満の各層で 2 割台と高くなっている。「10,000～15,000 円未満」は 300～700 万円未満の各層で高くなっている。

医療・介護費用月額の平均は、低収入の 300 万円未満の各層で 1 万円台と低くなっている。〈図表 V-30〉

〈図表 V-30〉 医療・介護費用月額〔世帯年収別〕

(単位：%)

			5,000円 未満	5,000～ 10,000 円未満	10,000 ～ 15,000 円未満	15,000 ～ 20,000 円未満	20,000 ～ 30,000 円未満	30,000 ～ 50,000 円未満	50,000 円以上	無回答	平介夫 均護婦 (費の 万用医 円月療 額・
	N										
全 体	2,083		13.0	11.1	18.1	6.4	11.1	7.3	11.5	21.5	2.33
世 100 万 円 未 満	50	26.0		18.0	12.0	4.0	14.0	6.0	12.0	▲8.0	1.80
帯 100 ～ 300 万 円 未 満	311	20.6		13.8	21.9	8.0	14.5	6.1	10.3	▲4.8	1.83
年 300 ～ 500 万 円 未 満	295	9.5		12.5	26.1	8.5	10.5	12.2	15.9	▲4.7	2.48
収 500 ～ 700 万 円 未 満	141	11.3		7.8	26.2	5.7	17.7	7.8	17.7	▲5.7	2.79
別 700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	11.9		16.4	19.4	7.5	11.9	6.0	16.4	▲10.4	2.69
1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	16.7		13.3	20.0	16.7	13.3	6.7	13.3	-	2.53
1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	37.5		-	-	12.5	-	25.0	25.0	-	2.25
2,000 万 円 以 上	10	-		10.0	-	-	30.0	10.0	30.0	20.0	4.58

世帯保有金融資産別にみると、「50,000 円以上」は高資産層ほど高くなる傾向がみられる。

医療・介護費用月額の平均をみると、5,000 万円～1 億円未満層で 3.53 万円、1 億円以上層で 4.00 万円と高額になっている。〈図表 V-31〉

〈図表 V-31〉 医療・介護費用月額〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	5,000円 未満	5,000～ 10,000 円未満	10,000 ～ 15,000 円未満	15,000 ～ 20,000 円未満	20,000 ～ 30,000 円未満	30,000 ～ 50,000 円未満	50,000 円以上	無回答	平介夫 均護婦 (費の 万用医 円)療 額・
全 体		2,083	13.0	11.1	18.1	6.4	11.1	7.3	11.5	21.5	2.33
金融 資産 別	100 万 円 未 満	303	17.8	10.9	17.8	7.6	14.5	6.9	12.2	▲12.2	2.16
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	12.7	12.9	20.9	8.5	11.6	8.5	13.1	▲11.8	2.32
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	15.0	12.5	20.5	7.3	13.9	10.3	12.8	▲7.7	2.29
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	13.9	15.6	20.2	6.6	14.2	9.6	13.2	▲6.6	2.28
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	8.4	11.8	21.0	4.2	16.8	7.6	21.0	▲9.2	3.53
	1 億 円 以 上	23	4.3	4.3	21.7	13.0	17.4	4.3	30.4	▲4.3	4.00

客観的健康状態別にみると、「50,000 円以上」は差し支えなし層と大いに差し支えあり層の、両極で高くなっている。

医療・介護費用月額の平均は、大いに差し支えあり層の 29,500 円、次いで、差し支えなし層の 24,700 円の順に高額となっている。〈図表 V-32〉

〈図表 V-32〉 医療・介護費用月額〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

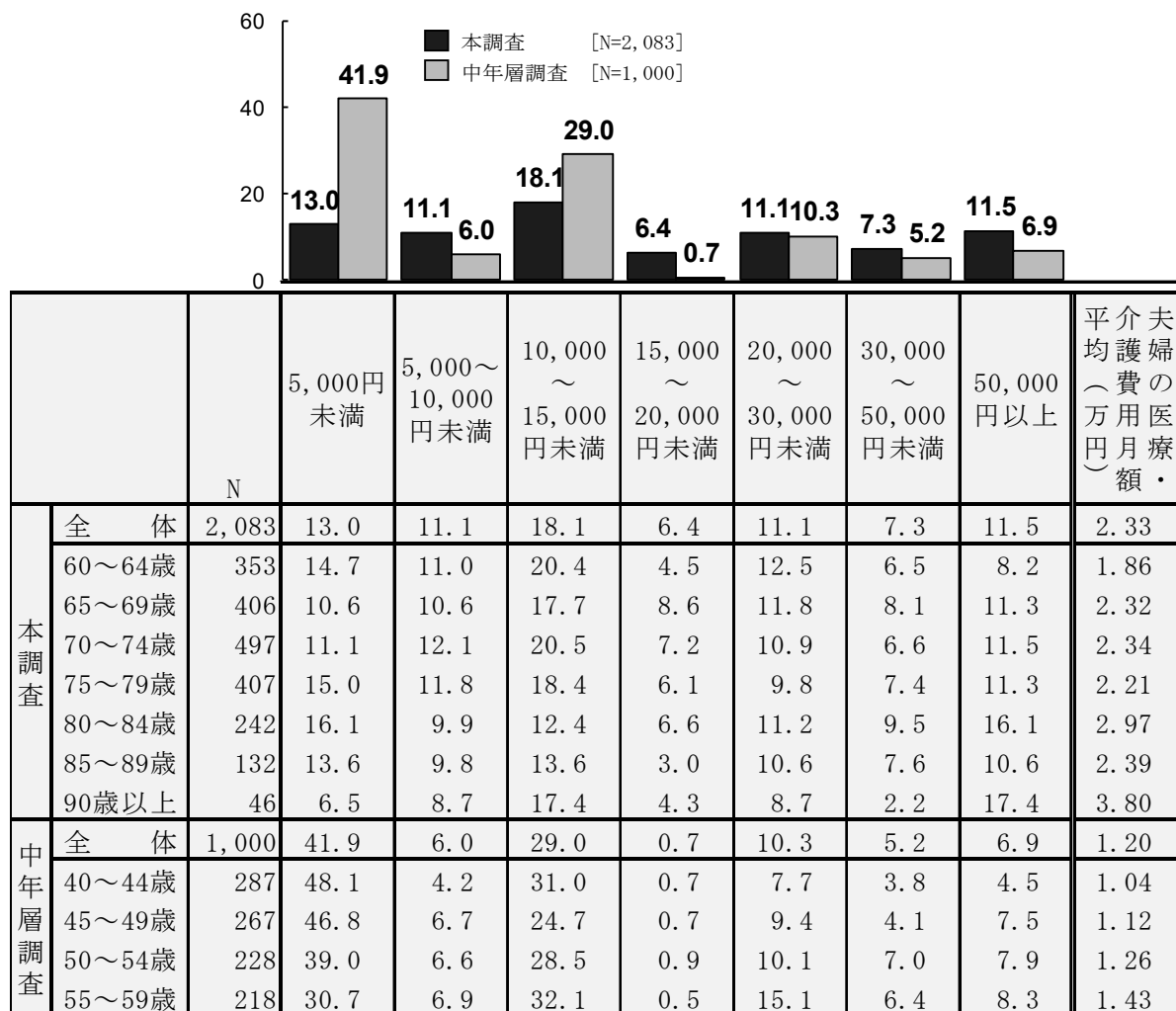
		N	5,000円 未満	5,000～ 10,000 円未満	10,000 ～ 15,000 円未満	15,000 ～ 20,000 円未満	20,000 ～ 30,000 円未満	30,000 ～ 50,000 円未満	50,000 円以上	無回答	平介夫 均護婦 (費の 万用医 円)療 額・
全 体		2,083	13.0	11.1	18.1	6.4	11.1	7.3	11.5	21.5	2.33
客観的 健康 状態 別	差 し 支 え な し	925	13.2	11.1	18.6	6.1	11.1	7.9	13.1	▲18.9	2.47
	ほんの少し差し支えあり	669	13.0	12.3	19.3	6.7	9.9	7.8	10.5	20.6	2.16
	差 し 支 え あ り	303	14.2	9.9	16.8	7.3	14.2	▲4.6	8.3	24.8	2.13
	大いに差し支えあり	125	12.8	8.8	13.6	5.6	9.6	8.0	17.6	24.0	2.95

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上は「5,000 円未満」が中年層を大きく下回っており、逆に「50,000 円以上」は 60 歳代以上が上回っている。

医療・介護費用月額の平均は、60 歳代以上の 23,300 円が、中年層の 12,000 円を大きく上回っている。〈図表 V-33〉

〈図表 V-33〉 医療・介護費用月額 「[中年層調査]」との比較：参考]

(単位：%)



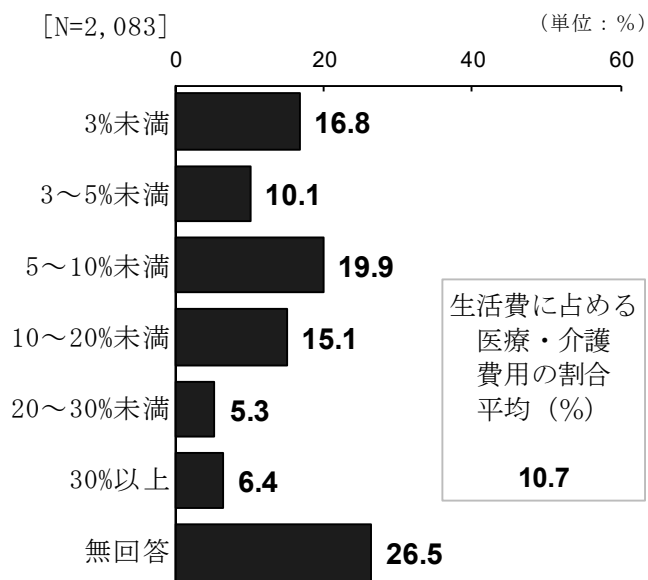
②生活費に占める医療・介護費用の割合

生活費に占める医療・介護費用の割合については、「5～10%未満」が19.9%と最も多く、次いで、「3%未満」が16.8%、「10～20%未満」が15.1%、「3～5%未満」が10.1%の順となっている。

「10%未満」が約47%を占めている。

生活費に占める医療・介護費用の割合の平均は、10.7%となっている。〈図表V－34〉

〈図表V－34〉 生活費に占める医療・介護費用の割合



性別にみると、生活費に占める医療・介護費用の割合の平均は、男性で 11.1%、女性で 10.3%と大きな差はみられない。

年齢別にみると、「3%未満」は 60～64 歳で高く、85 歳以上で低くなっている。「5～10%未満」は 70～74 歳で高く、80～84 歳で低くなっている。「30%以上」は、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。

生活費に占める医療・介護費用の割合の平均も、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられ、90 歳以上では 13.3%となっている。〈図表 V-35〉

〈図表 V-35〉 生活費に占める医療・介護費用の割合〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	3%未満	3～5%未満	5～10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30%以上	無回答	医療・介護費用の割合 生活費に占める 平均(%)
全 体		2,083	16.8	10.1	19.9	15.1	5.3	6.4	26.5	10.7
性別	男 性	964	15.4	9.9	21.4	15.9	6.2	6.7	24.6	11.1
	女 性	1,119	18.0	10.4	18.7	14.4	4.5	6.1	28.1	10.3
本人年齢別	60～64歳	353	23.2	10.2	19.3	15.3	4.2	▲ 3.4	24.4	8.3
	65～69歳	406	15.0	10.8	22.4	14.8	6.2	5.9	24.9	10.8
	70～74歳	497	16.5	10.3	23.7	13.5	4.2	6.8	24.9	10.5
	75～79歳	407	17.4	10.6	19.2	15.5	5.9	6.4	25.1	10.7
	80～84歳	242	16.1	8.7	▲ 13.6	19.0	8.3	9.1	25.2	13.2
	85～89歳	132	▲ 9.1	10.6	15.2	15.9	2.3	9.8	37.1	13.1
	90歳以上	46	▲ 4.3	4.3	15.2	6.5	4.3	4.3	60.9	13.3

世帯年収別にみると、「3%未満」は 500～1,500 万円未満の各層で高くなっている。「5～10%未満」は 100～500 万円未満の各層で高くなっている。

生活費に占める医療・介護費用の割合の平均は、年収別でそれほど大きな差はみられない。〈図表 V-36〉

〈図表 V-36〉 生活費に占める医療・介護費用の割合〔世帯年収別〕

(単位：%)

			3%未満	3～5%未満	5～10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30%以上	無回答	医療・介護費用の割合・平均(%) 生活費に占める
	N									
全 体	2,083		16.8	10.1	19.9	15.1	5.3	6.4	26.5	10.7
世帯年収別	100 万円 未 満	50	20.0	6.0	26.0	8.0	10.0	8.0	22.0	10.4
	100 ～ 300 万円 未 満	311	19.3	10.3	24.1	20.6	6.8	8.7	▲10.3	11.1
	300 ～ 500 万円 未 満	295	15.6	17.3	25.4	17.6	7.8	8.1	▲8.1	11.0
	500 ～ 700 万円 未 満	141	24.1	12.1	26.2	16.3	7.1	8.5	▲5.7	10.6
	700 ～ 1,000 万円 未 満	67	29.9	14.9	19.4	16.4	3.0	6.0	▲10.4	9.2
	1,000 ～ 1,500 万円 未 満	30	33.3	10.0	23.3	20.0	-	10.0	▲3.3	9.4
	1,500 ～ 2,000 万円 未 満	8	37.5	-	25.0	37.5	-	-	-	5.3
	2,000 万 円 以 上	10	10.0	-	30.0	20.0	-	10.0	30.0	13.8

世帯保有金融資産別にみると、「3%未満」「3～5%未満」「5～10%未満」は、2,000～5,000 万円未満層で高くなっている。

生活費に占める医療・介護費用の割合の平均は、100 万円未満層から 2,000～5,000 万円未満層にかけて高資産層になるほど低くなっているが、5,000 万円以上の各層では 12.1%と高くなっている。〈図表 V-37〉

〈図表 V-37〉 生活費に占める医療・介護費用の割合〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

			3%未満	3～5%未満	5～10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30%以上	無回答	医療・介護費用の割合・平均(%) 生活費に占める
	N									
全 体	2,083		16.8	10.1	19.9	15.1	5.3	6.4	26.5	10.7
金融資産別 世帯保有	100 万円 未 満	303	17.2	7.6	19.5	19.8	9.2	7.9	▲18.8	12.2
	100 ～ 1,000 万円 未 満	527	16.9	10.6	22.8	17.5	6.8	8.7	▲16.7	11.9
	1,000 ～ 2,000 万円 未 満	273	19.8	14.3	24.2	17.6	6.6	5.9	▲11.7	9.6
	2,000 ～ 5,000 万円 未 満	302	24.2	13.6	26.2	17.5	4.0	4.6	▲9.9	8.9
	5,000 万円 ～ 1 億円 未 満	119	18.5	14.3	24.4	11.8	5.9	12.6	▲12.6	12.1
	1 億 円 以 上	23	21.7	13.0	26.1	21.7	-	13.0	▲4.3	12.1

客観的健康状態別にみると、「3%未満」は差し支えなし層で高く、大いに差し支えあり層で低くなっている。

生活費に占める医療・介護費用の割合の平均は、大いに差し支えあり層の13.5%が最も高く、次いで、差し支えあり層の11.4%となっており、健康状態が悪い層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表V－38〉

〈図表V－38〉 生活費に占める医療・介護費用の割合〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

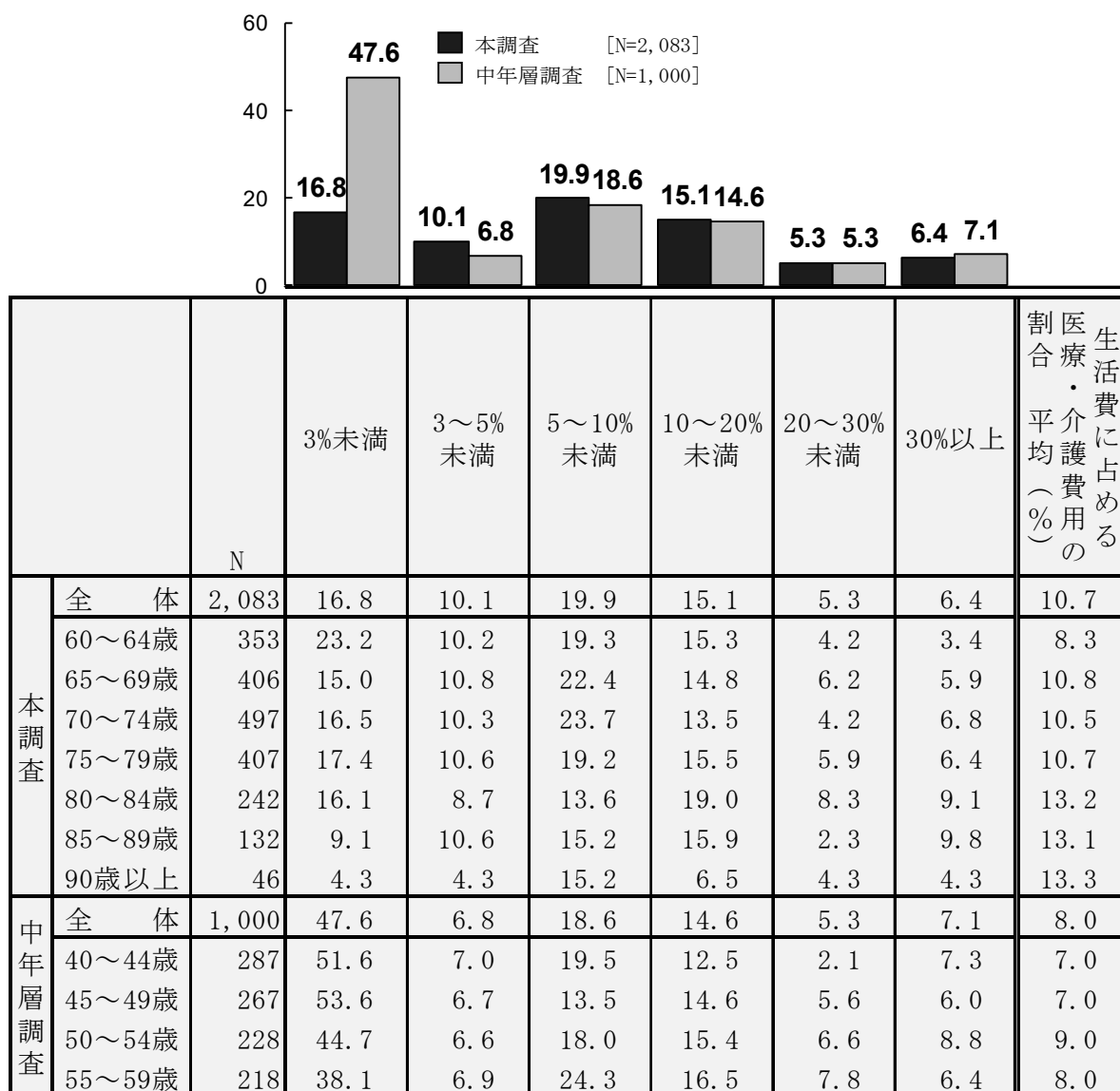
		N	3%未満	3～5%未満	5～10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30%以上	無回答	医療・介護費用に占める割合の平均(%)
全 体		2,083	16.8	10.1	19.9	15.1	5.3	6.4	26.5	10.7
客観的健康状態別	差し支えなし	925	18.8	10.7	19.1	16.2	5.4	6.9	22.8	10.8
	ほんの少し差し支えあり	669	17.6	11.1	22.6	13.0	4.9	6.1	24.7	9.9
	差し支えあり	303	13.2	9.2	18.8	16.8	5.6	5.9	30.4	11.4
	大いに差し支えあり	125	9.6	4.8	17.6	14.4	4.8	8.0	40.8	13.5

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上は「3%未満」が 16.8%と、中年層の 47.6%を大きく下回っている。

生活費に占める医療・介護費用の割合の平均では、60 歳代以上が 10.7%、中年層が 8.0%で、両者で大きな差はみられない。〈図表 V－39〉

〈図表 V－39〉 生活費に占める医療・介護費用の割合 「中年層調査」との比較：参考

(単位：%)



3. 保有金融資産

(1) 世帯保有金融資産額

F17 あなたと家計を同一とする世帯の保有資産（預貯金、株式・公社債、保険等の金融資産）の金額合計はこの中のどれになりますか。わかる範囲で結構です。

（注1） 保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込保険料の総額としてください。

（注2） 株式は時価、公社債は額面金額としてください。

（注3） 不動産や負債（住宅ローン等）の額は除いてください。

- | | | | |
|---|-----------------------|---|-----------------------|
| 1 | 100 万円未満 | 4 | 2,000 万円以上 5,000 万円未満 |
| 2 | 100 万円以上 1,000 万円未満 | 5 | 5,000 万円以上 1 億円未満 |
| 3 | 1,000 万円以上 2,000 万円未満 | 6 | 1 億円以上 |

世帯保有金融資産額については、「100 万円以上 1,000 万円未満」が 25.3%と最も多く、次いで、「100 万円未満」と「2,000 万円以上 5,000 万円未満」がいずれも 14.5%、「1,000 万円以上 2,000 万円未満」が 13.1%の順となっている。

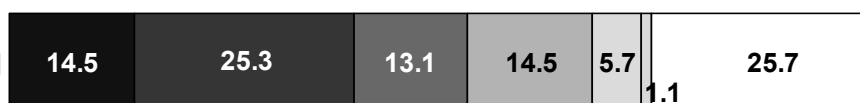
「1,000 万円未満」が約 4 割を占め、一方、「1 億円以上」は 1.1%となっている。〈図表 V-40〉

〈図表 V-40〉 世帯保有金融資産額

（単位：％）

■100万円 ■100万円以上 ■1,000万円以上 □2,000万円以上 □5,000万円以上 □1億円 □無回答
未満 1,000万円未満 2,000万円未満 5,000万円未満 1億円未満 以上

本調査 [N=2, 083]



性別にみると、低額の「100 万円未満」と中間的な「1,000 万円以上 2,000 万円未満」は、男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、資産額が「1,000 万円以上 5,000 万円未満」については 60～64 歳で高く、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。〈図表 V－41〉

〈図表 V－41〉 世帯保有金融資産額〔性・年齢別〕

(単位：％)

		N	100万円 未満	100万円 以上 1,000万 円未満	1,000万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000 万円 以上 1億円 未満	1億円 以上	無回答
全	体	2,083	14.5	25.3	13.1	14.5	5.7	1.1	25.7
性	男	964	16.8	26.0	15.0	14.9	5.8	1.5	▲19.9
別	女	1,119	▲12.6	24.7	▲11.4	14.1	5.6	0.8	30.7
本	60～64歳	353	11.9	24.4	16.7	19.0	5.1	0.8	22.1
人	65～69歳	406	13.5	26.6	15.0	15.0	7.6	1.5	▲20.7
年	70～74歳	497	15.7	24.9	12.1	14.5	7.0	2.0	23.7
齢	75～79歳	407	15.0	25.6	12.5	12.0	5.2	0.7	29.0
別	80～84歳	242	18.2	25.2	10.7	13.2	3.7	－	28.9
	85～89歳	132	15.2	22.7	9.1	13.6	2.3	0.8	36.4
	90歳以上	46	6.5	30.4	8.7	6.5	4.3	－	43.5

世帯年収別にみると、低額の「100 万円未満」「100 万円以上 1,000 万円未満」は、低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。一方、資産額が「2,000 万円以上」については、高収入層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表 V－42〉

〈図表 V－42〉 世帯保有金融資産額〔世帯年収別〕

(単位：％)

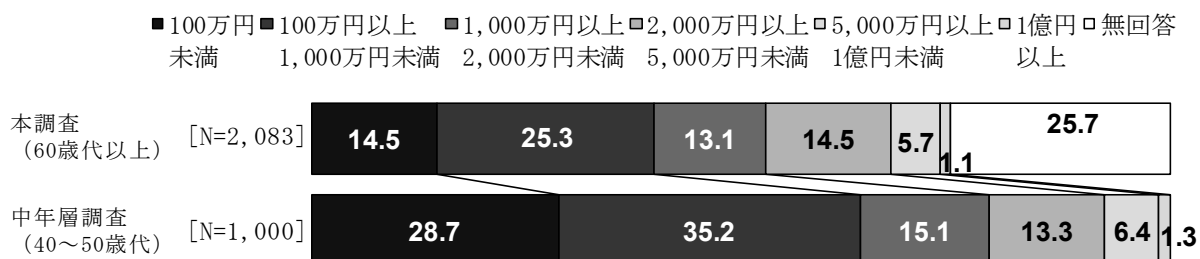
		N	100万円 未満	100万円 以上 1,000万 円未満	1,000万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000 万円 以上 1億円 未満	1億円 以上	無回答
全	体	2,083	14.5	25.3	13.1	14.5	5.7	1.1	25.7
世	100 万 円 未 満	50	34.0	32.0	6.0	▲ 4.0	－	－	24.0
帯	100 ～ 300 万 円 未 満	311	21.9	37.0	13.5	10.9	▲ 1.6	0.3	▲14.8
年	300 ～ 500 万 円 未 満	295	11.9	27.5	18.6	27.5	6.1	0.3	▲ 8.1
収	500 ～ 700 万 円 未 満	141	▲ 7.8	22.0	20.6	24.8	14.9	2.8	▲ 7.1
別	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	▲ 6.0	23.9	17.9	28.4	13.4	4.5	▲ 6.0
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	－	▲ 3.3	23.3	33.3	26.7	10.0	▲ 3.3
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	－	12.5	12.5	37.5	12.5	－	25.0
	2,000 万 円 以 上	10	－	－	20.0	10.0	30.0	40.0	－

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、低額の「100 万円未満」「100 万円以上 1,000 万円未満」は、60 歳代以上が中年層をそれぞれ 14.2 ポイント、9.9 ポイント下回っている。

資産額が「1,000 万円以上」については、両者に大きな差はみられない。〈図表 V-43〉

〈図表 V-43〉 世帯保有金融資産額 [「中年層調査」との比較：参考]

(単位：%)



(単位：%)

		N	100万円未満	100万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上 1億円未満	1億円以上
本調査	全 体	2,083	14.5	25.3	13.1	14.5	5.7	1.1
	60～64歳	353	11.9	24.4	16.7	19.0	5.1	0.8
	65～69歳	406	13.5	26.6	15.0	15.0	7.6	1.5
	70～74歳	497	15.7	24.9	12.1	14.5	7.0	2.0
	75～79歳	407	15.0	25.6	12.5	12.0	5.2	0.7
	80～84歳	242	18.2	25.2	10.7	13.2	3.7	—
	85～89歳	132	15.2	22.7	9.1	13.6	2.3	0.8
	90歳以上	46	6.5	30.4	8.7	6.5	4.3	—
中年層調査	全 体	1,000	28.7	35.2	15.1	13.3	6.4	1.3
	40～44歳	287	28.2	42.9	14.6	10.1	4.2	—
	45～49歳	267	35.6	33.0	15.0	11.6	3.4	1.5
	50～54歳	228	25.9	36.4	15.8	13.2	7.0	1.8
	55～59歳	218	23.9	26.6	15.1	19.7	12.4	2.3

(2) 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）

F18 あなたと家計を同一とする世帯の保有資産のうち、保険の金額合計はこの中のどれになりますか。
わかる範囲で結構です。

（注1） 保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、
加入してからこれまでの払込保険料の総額としてください。

- 1 100 万円未満
- 2 100 万円以上 500 万円未満
- 3 500 万円以上 1,000 万円未満
- 4 1,000 万円以上

既払込保険料総額については、「100 万円未満」が 25.7%、「100 万円以上 500 万円未満」が 24.6%と多く、次いで、「500 万円以上 1,000 万円未満」が 14.6%、「1,000 万円以上」が 8.2%の順となっている。

「500 万円未満」が約半数、「1,000 万円未満」が 7 割弱を占めている。（図表 V-44）

〈図表 V-44〉 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）

（単位：％）

■100万円未満 ■100万円以上 500万円未満 ■500万円以上 1,000万円未満 ■1,000万円以上 □無回答

[N=2, 083]	25.7	24.6	14.6	8.2	26.8
------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------

性別にみると、「100 万円未満」は男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「500 万円以上 1,000 万円未満」は 60～64 歳で 22.4%と高く、80～84 歳までは高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。（図表 V-45）

〈図表 V-45〉 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）〔性・年齢別〕

（単位：％）

		N	100万円未満	100万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全 体		2, 083	25. 7	24. 6	14. 6	8. 2	26. 8
性別	男 性	964	28. 8	25. 5	15. 6	8. 5	▲21. 6
	女 性	1, 119	▲23. 1	23. 9	13. 9	7. 9	31. 4
本人 年齢別	60～64歳	353	23. 5	23. 5	22. 4	8. 8	▲21. 8
	65～69歳	406	26. 4	26. 1	17. 5	8. 6	▲21. 4
	70～74歳	497	28. 2	23. 9	13. 9	9. 3	24. 7
	75～79歳	407	27. 8	25. 8	▲10. 1	6. 9	29. 5
	80～84歳	242	24. 4	26. 4	▲9. 9	8. 3	31. 0
	85～89歳	132	20. 5	▲17. 4	14. 4	6. 8	40. 9
	90歳以上	46	15. 2	28. 3	▲4. 3	2. 2	50. 0

世帯年収別にみると、「100万円未満」は低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。

一方、「500万円以上1,000万円未満」は700～1,000万円未満層まで、「1,000万円以上」は500～700万円未満層まで、それぞれ高収入層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表V－46〉

〈図表V－46〉 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）〔世帯年収別〕

（単位：％）

		N	100万円 未満	100万円 以上 500万円 未満	500万円 以上 1,000 万円 未満	1,000万 円以上	無回答
全 体		2,083	25.7	24.6	14.6	8.2	26.8
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	36.0	30.0	6.0	4.0	24.0
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	35.7	30.9	▲10.9	▲3.9	▲18.6
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	28.8	31.2	21.4	10.8	▲7.8
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	28.4	23.4	22.0	21.3	▲5.0
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	17.9	35.8	25.4	13.4	▲7.5
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	13.3	40.0	10.0	30.0	▲6.7
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0
	2,000 万 円 以 上	10	20.0	10.0	10.0	60.0	－

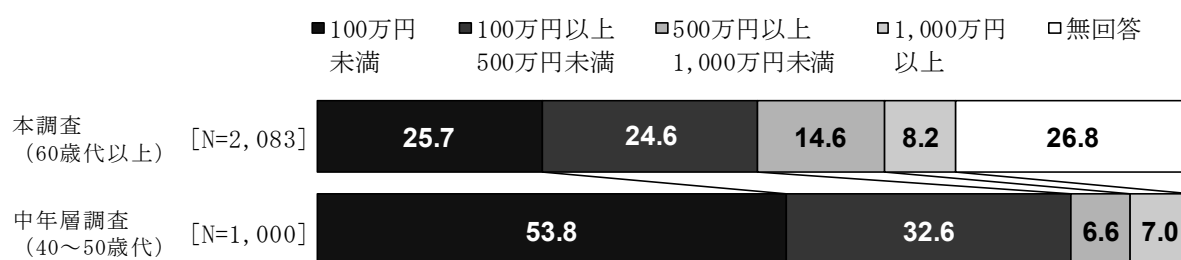
調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、低額の「100 万円未満」「100 万円以上 500 万円未満」は、60 歳代以上が中年層を大きく下回っている（それぞれが 28.1 ポイント差、8.0 ポイント差）。

逆に、「500 万円以上 1,000 万円未満」は 60 歳代以上が中年層を 8.0 ポイント上回っている。

「1,000 万円以上」では、両者に大きな差はみられない。〈図表 V-47〉

〈図表 V-47〉 既払込保険料総額（掛け捨てを除く） [「中年層調査」との比較：参考]

（単位：％）



（単位：％）

		N	100万円未満	100万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上
本調査	全 体	2,083	25.7	24.6	14.6	8.2
	60～64歳	353	23.5	23.5	22.4	8.8
	65～69歳	406	26.4	26.1	17.5	8.6
	70～74歳	497	28.2	23.9	13.9	9.3
	75～79歳	407	27.8	25.8	10.1	6.9
	80～84歳	242	24.4	26.4	9.9	8.3
	85～89歳	132	20.5	17.4	14.4	6.8
	90歳以上	46	15.2	28.3	4.3	2.2
中年層調査	全 体	1,000	53.8	32.6	6.6	7.0
	40～44歳	287	56.4	32.1	5.9	5.6
	45～49歳	267	62.5	28.1	2.6	6.7
	50～54歳	228	47.4	39.0	7.9	5.7
	55～59歳	218	46.3	32.1	11.0	10.6

第Ⅵ章 生活保障意識

ここでは、年金制度を含めた長寿社会における様々な不安に対する準備状況について、捉えている。

1. 老後保障

(1) 老後資産形成

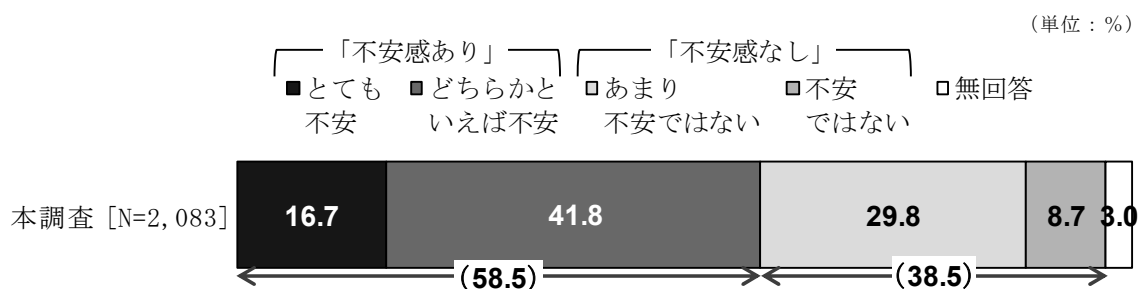
① 老後資産に係る不安

Q23 あなたは退職後の生活資金に不安がありますか。

- 1 とても不安
- 2 どちらかといえば不安
- 3 あまり不安ではない
- 4 不安ではない

老後資産に係る不安について、「不安感あり」（“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計）は58.5%で、「不安感なし」（“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計）の38.5%を大きく上回っている。〈図表Ⅵ-1〉

〈図表Ⅵ-1〉 老後資産に係る不安



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「不安感あり」は60歳代で6割台と高く、高齢層ほど低くなっている。逆に、「不安感なし」は85～89歳で53.8%、90歳以上で73.9%と高くなっている。また、「不安ではない」に注目すると、概ね高齢層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表VI-2)

〈図表VI-2〉 老後資産に係る不安〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり 不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		2,083	16.7	41.8	58.5	38.5	29.8	8.7	3.0
性 別	男 性	964	16.0	41.7	57.7	40.5	30.8	9.6	▲ 1.9
	女 性	1,119	17.3	41.8	59.2	36.8	28.9	8.0	○ 4.0
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	20.1	44.8	○ 64.9	▲ 32.9	29.2	▲ 3.7	2.3
	65～69歳	406	18.0	45.6	○ 63.5	34.5	27.8	6.7	2.0
	70～74歳	497	16.3	43.3	59.6	37.6	29.0	8.7	2.8
	75～79歳	407	17.9	41.8	59.7	36.1	28.5	7.6	4.2
	80～84歳	242	13.2	40.1	53.3	44.2	31.8	○ 12.4	2.5
	85～89歳	132	▲ 9.8	▲ 30.3	▲ 40.2	○ 53.8	○ 38.6	○ 15.2	○ 6.1
	90歳以上	46	10.9	▲ 10.9	▲ 21.7	○ 73.9	34.8	○ 39.1	4.3

世帯年収別にみると、「不安感あり」は低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。逆に「不安感なし」は高収入層ほど高くなっている。(図表VI-3)

〈図表VI-3〉 老後資産に係る不安〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり 不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		2,083	16.7	41.8	58.5	38.5	29.8	8.7	3.0
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	○ 52.0	36.0	○ 88.0	▲ 12.0	▲ 10.0	2.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	19.0	43.7	62.7	36.7	27.3	9.3	▲ 0.6
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	13.6	43.1	56.6	41.7	○ 35.3	6.4	1.7
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	▲ 10.6	38.3	▲ 48.9	○ 49.6	○ 40.4	9.2	1.4
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	▲ 6.0	44.8	50.7	49.3	○ 41.8	7.5	-
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	▲ 3.3	▲ 16.7	▲ 20.0	○ 80.0	○ 63.3	16.7	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	-	37.5	37.5	62.5	25.0	○ 37.5	-
	2,000 万 円 以 上	10	10.0	▲ 10.0	▲ 20.0	○ 80.0	50.0	○ 30.0	-

世帯保有金融資産別にみると、「不安感あり」は低資産層ほど高く、「不安感なし」は高資産層ほど高くなっている。〈図表VI-4〉

〈図表VI-4〉 老後資産に係る不安〔世帯保有金融資産別〕

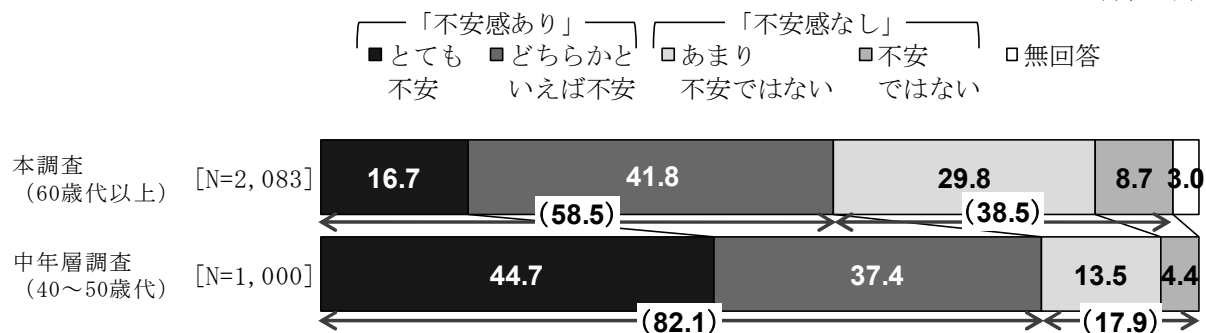
(単位：％)

			単位：%						
		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり 不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		2,083	16.7	41.8	58.5	38.5	29.8	8.7	3.0
金融 資産 別 世帯 保有	100 万 円 未 満	303	34.0	41.3	75.2	▲22.1	▲17.8	▲ 4.3	2.6
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	19.4	47.6	67.0	▲31.3	▲25.0	▲ 6.3	▲ 1.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	▲9.9	46.2	56.0	42.1	34.8	7.3	1.8
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	▲5.0	▲31.8	▲36.8	61.6	51.0	10.6	1.7
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	▲2.5	▲24.4	▲26.9	72.3	52.9	19.3	0.8
	1 億 円 以 上	23	-	▲17.4	▲17.4	82.6	34.8	47.8	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「不安感あり」は中年層の 82.1%に比べて、60 歳代以上は 23.6 ポイント下回っている。一方、「不安感なし」は中年層の 17.9%に比べて、60 歳代以上は 20.6 ポイント上回っている。〈図表VI-5〉

〈図表VI-5〉 老後資産に係る不安 「[中年層調査]」との比較：参考

(単位：%)



(単位：%)

		N	（単位：％）					
			とても不安	どちらか不安と	不安感あり	不安感なし	ではあまり不安	では不安ない
本調査	全 体	2,083	16.7	41.8	58.5	38.5	29.8	8.7
	60～64歳	353	20.1	44.8	64.9	32.9	29.2	3.7
	65～69歳	406	18.0	45.6	63.5	34.5	27.8	6.7
	70～74歳	497	16.3	43.3	59.6	37.6	29.0	8.7
	75～79歳	407	17.9	41.8	59.7	36.1	28.5	7.6
	80～84歳	242	13.2	40.1	53.3	44.2	31.8	12.4
	85～89歳	132	9.8	30.3	40.2	53.8	38.6	15.2
	90歳以上	46	10.9	10.9	21.7	73.9	34.8	39.1
中年層調査	全 体	1,000	44.7	37.4	82.1	17.9	13.5	4.4
	40～44歳	287	48.1	37.6	85.7	14.3	10.5	3.8
	45～49歳	267	49.1	33.7	82.8	17.2	13.5	3.7
	50～54歳	228	40.4	41.7	82.0	18.0	14.5	3.5
	55～59歳	218	39.5	37.2	76.6	23.4	16.5	6.9

②何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか

Q14 あなたは、何歳まで生きると考えて今後の経済的な準備をしていますか。なお、現在の日本人男性の平均寿命は81.25歳、日本人女性の平均寿命は87.32歳です。

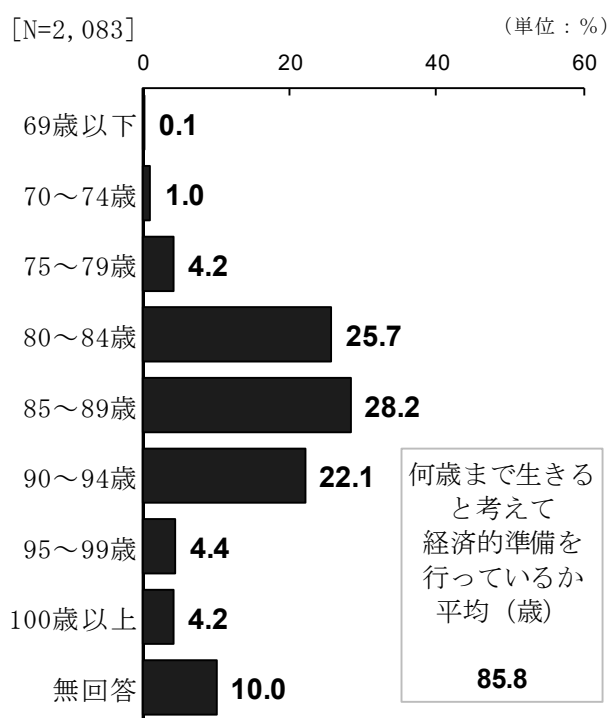
歳

何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているかについて、「85～89歳」が28.2%と最も多く、次いで、「80～84歳」が25.7%、「90～94歳」が22.1%の順となっている。

「80歳代」は約54%、「90歳代」は約27%であり、「90歳未満」は約59%、「90歳以上」は約31%となっている。

平均をみると、85.8歳となっている。〈図表VI-6〉

〈図表VI-6〉 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか



性別にみると、「80～84 歳」は男性の方が女性より高くなっている。一方、「85～89 歳」「90～94 歳」は女性が男性より高くなっている。ただし、平均をみると、男性が 85.4 歳、女性が 86.1 歳で、性別での大きな差はみられない。

年齢別にみると、「80～84 歳」は 60 歳代と 70～74 歳の各層で高くなっている。「85～89 歳」は 75～79 歳、80～84 歳の各層で高く、「90～94 歳」は 80 歳代で高くなっている。「95～99 歳」「100 歳以上」は 85 歳以上の各層で高くなっている。総じて、現在の年齢層よりも 10～15 歳ぐらい先までを考えて、経済的準備を行っている傾向がみられる。

何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているかの平均をみると、高年齢層になるほど高くなっている。(図表Ⅵ-7)

〈図表Ⅵ-7〉 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか〔性・年齢別〕

(単位：％)

		N	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳
全 体		2,083	0.1	1.0	4.2	25.7	28.2
性別	男 性	964	0.2	0.8	5.0	30.9	▲25.3
	女 性	1,119	0.1	1.2	3.5	▲21.3	30.7
本人年齢別	60～64歳	353	0.8	4.8	6.5	36.5	25.8
	65～69歳	406	—	0.7	10.6	36.5	26.1
	70～74歳	497	—	▲0.2	3.8	32.6	28.8
	75～79歳	407	—	—	▲0.5	▲20.6	37.3
	80～84歳	242	—	—	—	▲5.4	34.7
	85～89歳	132	—	—	—	—	▲9.1
	90歳以上	46	—	—	—	—	—
		N	90～94歳	95～99歳	100歳以上	無回答	何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか 平均(歳)
全 体		2,083	22.1	4.4	4.2	10.0	85.8
性別	男 性	964	▲19.6	4.7	4.6	8.9	85.4
	女 性	1,119	24.2	4.2	3.8	11.0	86.1
本人年齢別	60～64歳	353	▲16.4	▲1.1	▲2.0	▲5.9	83.1
	65～69歳	406	▲16.3	▲2.5	▲2.0	▲5.4	83.7
	70～74歳	497	20.1	4.2	▲2.0	8.2	85.1
	75～79歳	407	22.1	▲2.5	5.7	11.3	86.8
	80～84歳	242	36.4	5.4	4.5	13.6	88.9
	85～89歳	132	41.7	16.7	9.1	23.5	92.1
	90歳以上	46	▲6.5	26.1	34.8	32.6	97.6

世帯年収別にみると、特に差はみられない。〈図表VI-8〉

〈図表VI-8〉 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳
全 体		2,083	0.1	1.0	4.2	25.7	28.2
世帯年収別	100万円未満	50	-	-	8.0	20.0	24.0
	100～300万円未満	311	-	1.9	4.8	23.8	30.2
	300～500万円未満	295	-	0.3	3.1	27.8	32.2
	500～700万円未満	141	-	2.1	5.0	30.5	24.8
	700～1,000万円未満	67	-	-	6.0	34.3	29.9
	1,000～1,500万円未満	30	-	-	6.7	33.3	23.3
	1,500～2,000万円未満	8	-	-	-	25.0	12.5
	2,000万円以上	10	-	-	10.0	30.0	20.0
		N	90～94歳	95～99歳	100歳以上	無回答	何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか 平均(歳)
全 体		2,083	22.1	4.4	4.2	10.0	85.8
世帯年収別	100万円未満	50	28.0	2.0	2.0	16.0	85.7
	100～300万円未満	311	22.8	6.8	4.2	▲ 5.5	86.0
	300～500万円未満	295	24.4	4.4	4.1	▲ 3.7	86.0
	500～700万円未満	141	26.2	2.1	5.0	▲ 4.3	85.3
	700～1,000万円未満	67	22.4	3.0	1.5	3.0	84.7
	1,000～1,500万円未満	30	33.3	-	-	3.3	84.5
	1,500～2,000万円未満	8	37.5	12.5	-	12.5	88.4
	2,000万円以上	10	20.0	-	20.0	-	88.8

世帯保有金融資産別にみると、「80～84歳」は100万円未満、1,000～2,000万円未満の各層で高くなっている。「85～89歳」「90～94歳」は2,000～5,000万円未満の層で高くなっている。

何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているかの平均をみると、高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表VI-9)

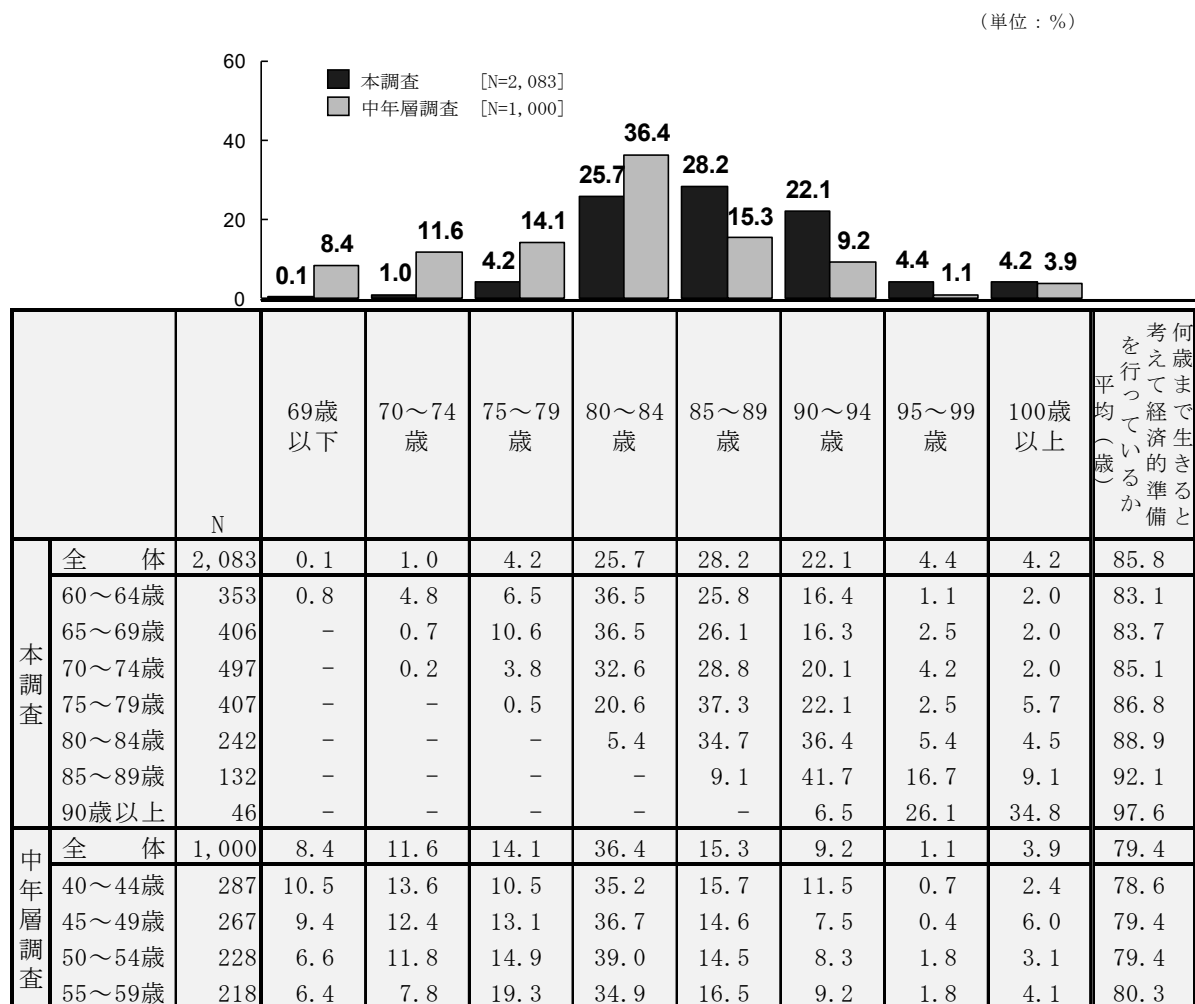
〈図表VI-9〉 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか〔世帯保有金融資産別〕

(単位：％)

		N	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳
全 体		2,083	0.1	1.0	4.2	25.7	28.2
金融資産別 世帯保有	100万円未満	303	0.3	2.0	5.9	31.0	25.1
	100～1,000万円未満	527	－	1.3	5.3	27.7	30.7
	1,000～2,000万円未満	273	－	0.4	3.7	33.0	28.2
	2,000～5,000万円未満	302	－	0.7	▲1.7	▲20.2	33.8
	5,000万円～1億円未満	119	－	－	2.5	24.4	30.3
	1億円以上	23	－	－	4.3	26.1	17.4
		N	90～94歳	95～99歳	100歳以上	無回答	何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか 平均(歳)
全 体		2,083	22.1	4.4	4.2	10.0	85.8
金融資産別 世帯保有	100万円未満	303	▲16.5	5.0	4.0	10.2	84.9
	100～1,000万円未満	527	19.2	4.6	3.8	▲7.4	85.3
	1,000～2,000万円未満	273	24.5	3.3	2.6	▲4.4	85.3
	2,000～5,000万円未満	302	29.1	6.0	5.0	▲3.6	87.0
	5,000万円～1億円未満	119	26.9	7.6	5.9	▲2.5	87.2
	1億円以上	23	39.1	4.3	4.3	4.3	86.7

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているかの平均は、中年層の 79.4 歳に比べ、60 歳代以上は 85.8 歳と上回っている。総じて、中年層よりも 60 歳代以上の方が、経済的準備を考えている年齢は高い傾向がみられる。〈図表VI-10〉

〈図表VI-10〉 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか 「中年層調査」との比較：参考]



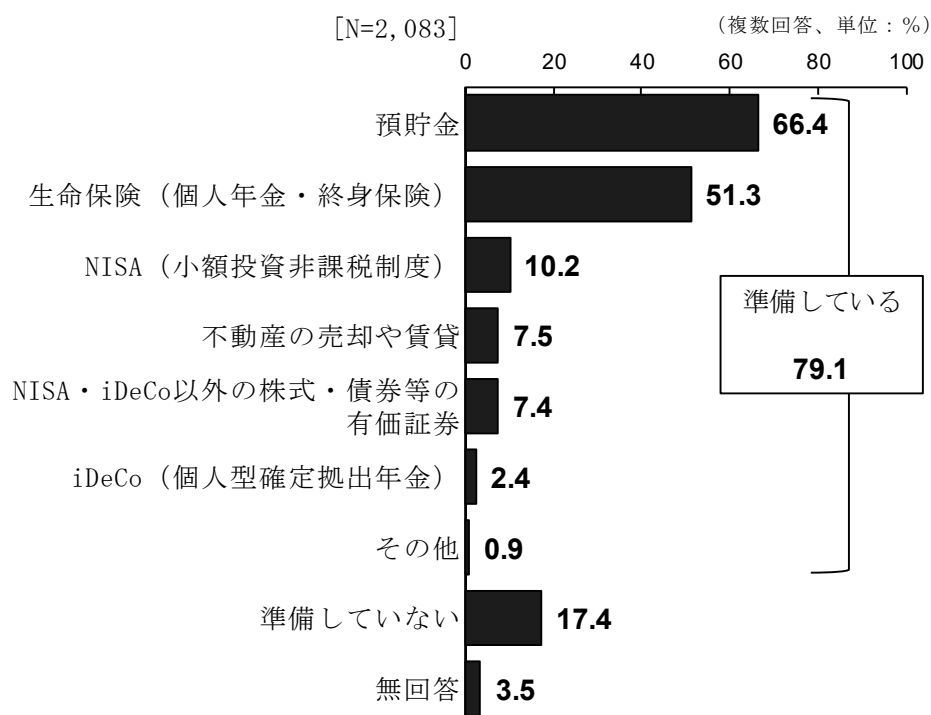
③老後資産形成の私的準備状況

- Q24** あなたは退職後の生活資金形成のための経済的な準備をしていますか（してきましたか）。
準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（○はいくつでも）
- 1 預貯金
 - 2 生命保険（個人年金・終身保険）
 - 3 NISA（小額投資非課税制度）
 - 4 iDeCo（個人型確定拠出年金）
 - 5 NISA・iDeCo以外の株式・債券等の有価証券
 - 6 不動産の売却や賃貸
 - 7 その他
 - 8 準備していない

老後資産形成の私的準備状況については、「準備している」が 79.1%となっている。具体的な準備状況としては、「預貯金」が 66.4%と最も多く、次いで「生命保険（個人年金・終身保険）」が 51.3%と 5 割以上となっている。以下、「NISA（小額投資非課税制度）」が 10.2%、「不動産の売却や賃貸」が 7.5%、「NISA・iDeCo以外の株式・債券等の有価証券」が 7.4%との順になっている。

「準備していない（していなかった）」は 17.4%にとどまる。〈図表VI－11〉

〈図表VI－11〉 老後資産形成の私的準備状況



性別にみると、「生命保険（個人年金・終身保険）」は、女性の方が男性より高くなっている。一方、「不動産の売却や賃貸」「NISA・iDeCo 以外の株式・債券等の有価証券」「iDeCo（個人型確定拠出年金）」は、男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「準備している」は、高齢層ほど低くなっている傾向がみられる。具体的な準備としては、「生命保険（個人年金・終身保険）」「NISA（小額投資非課税制度）」が、概ね高齢層ほど低くなっている。〈図表VI-12〉

〈図表VI-12〉 老後資産形成の私的準備状況〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

			預貯金	終身生命保険 (個人年金・ 終身保険)	NISA (小額投資非 課税制度)	不動産の売却 や賃貸	有価証券 (株式・債券等 のiDeCo以外)	定拠出年金 (個人型確定 拠出年金)	その他	準備している	準備していない	無回答
	N											
全 体	2,083		66.4	51.3	10.2	7.5	7.4	2.4	0.9	79.1	17.4	3.5
性別												
男 性	964		65.1	▲48.3	11.3	9.4	10.2	3.1	1.5	78.8	18.9	▲2.3
女 性	1,119		67.6	53.9	9.3	▲5.8	▲5.0	▲1.7	▲0.4	79.4	16.1	4.6
本人年齢別												
60～64歳	353		69.7	58.6	13.6	5.7	7.6	4.0	1.4	84.1	▲13.6	2.3
65～69歳	406		68.2	53.2	13.3	5.7	9.9	2.7	1.7	80.5	17.2	2.2
70～74歳	497		67.6	53.1	11.1	9.7	8.5	2.4	0.6	79.7	17.1	3.2
75～79歳	407		63.1	49.9	8.1	7.9	5.9	1.7	0.2	77.1	17.9	4.9
80～84歳	242		64.0	▲42.1	▲5.8	7.9	6.6	1.2	0.4	74.4	22.3	3.3
85～89歳	132		62.9	47.0	▲4.5	9.1	▲3.0	1.5	0.8	74.2	18.9	6.8
90歳以上	46		65.2	▲32.6	6.5	4.3	2.2	-	-	78.3	15.2	6.5

世帯年収別にみると、「準備している」は300万円未満の低収入層で低く、300～1,000万円未満の各層で、高くなっている。

「預貯金」は高収入層ほど高くなっている。また、「NISA（小額投資非課税制度）」「不動産の売却や賃貸」「NISA・iDeCo 以外の株式・債券等の有価証券」「iDeCo（個人型確定拠出年金）」は、1,000～1,500万円未満層で高くなっている。〈図表VI-13〉

〈図表VI-13〉 老後資産形成の私的準備状況〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

			預貯金	終身生命保険 (個人年金・ 終身保険)	NISA (小額投資非 課税制度)	不動産の売却 や賃貸	有価証券 (株式・債券等 のiDeCo以外)	定拠出年金 (個人型確定 拠出年金)	その他	準備している	準備していない	無回答
	N											
全 体	2,083		66.4	51.3	10.2	7.5	7.4	2.4	0.9	79.1	17.4	3.5
世帯年収別												
100万円未満	50		▲48.0	▲36.0	6.0	6.0	4.0	2.0	2.0	▲64.0	36.0	-
100～300万円未満	311		63.0	48.2	8.0	▲4.5	▲4.2	1.6	1.0	▲74.3	25.4	▲0.3
300～500万円未満	295		76.6	63.1	11.9	8.8	8.8	3.4	1.0	90.5	▲7.5	2.0
500～700万円未満	141		73.8	58.2	18.4	10.6	17.0	3.5	2.1	89.4	▲9.9	0.7
700～1,000万円未満	67		80.6	62.7	11.9	11.9	9.0	4.5	-	91.0	9.0	-
1,000～1,500万円未満	30		86.7	66.7	36.7	30.0	30.0	10.0	3.3	93.3	6.7	-
1,500～2,000万円未満	8		87.5	62.5	25.0	-	12.5	25.0	12.5	87.5	12.5	-
2,000万円以上	10		100.0	70.0	30.0	40.0	30.0	-	-	100.0	-	-

世帯保有金融資産別にみると、いずれの準備手段についても高資産層ほど高くなっている。〈図表VI-14〉

〈図表VI-14〉 老後資産形成の私的準備状況〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

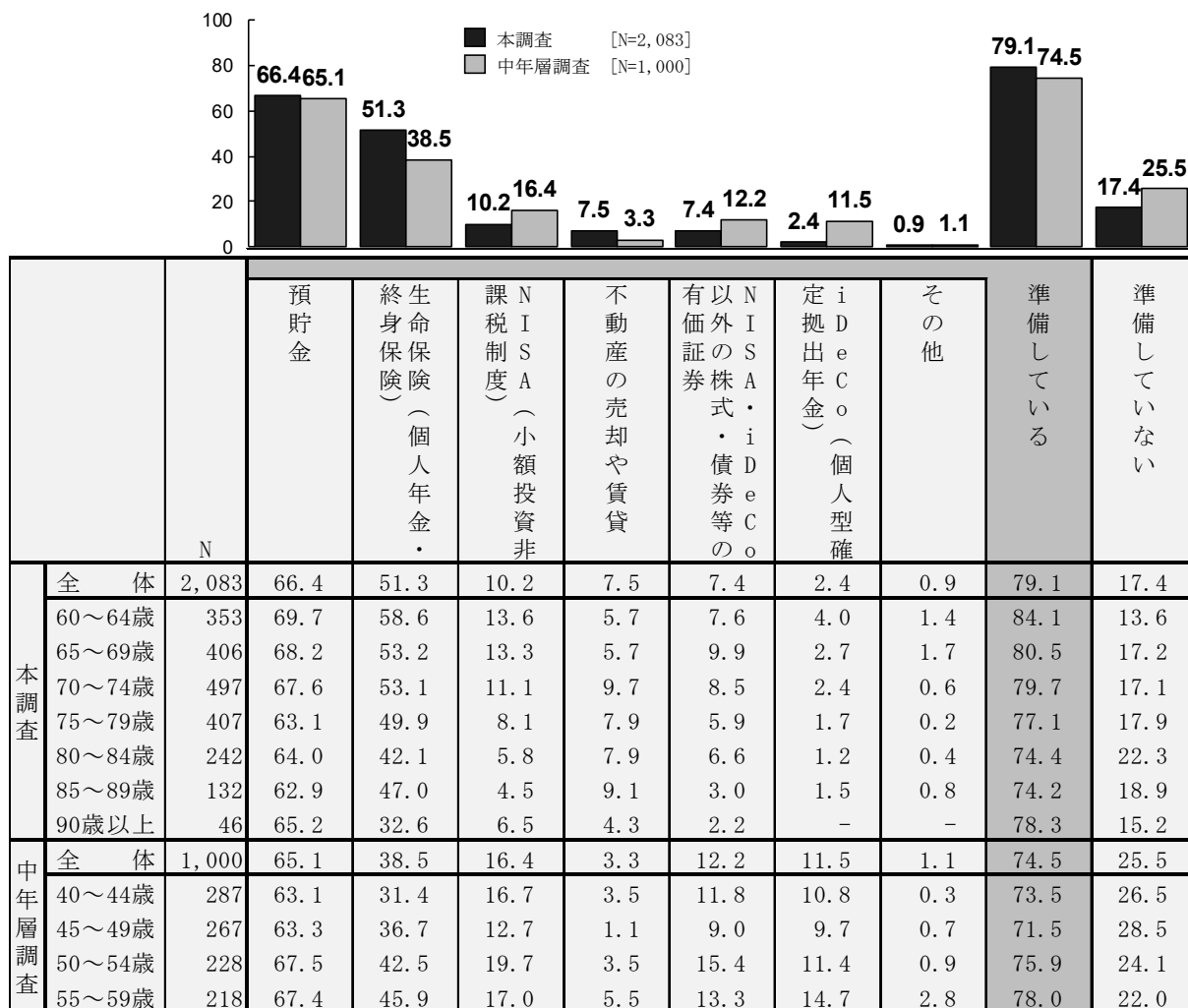
		N	預貯金	終身生命保険 (個人年金・ 終身保険)	NISA (課税制度) (小額投資非 課税制度)	不動産の売却や賃貸	NISA (有価証券 以外の株式・ 債券等の 投資)	定額積立 (iDeCo) (個人型確定拠出年金)	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	66.4	51.3	10.2	7.5	7.4	2.4	0.9	79.1	17.4	3.5
金融資産別 世帯保有	100 万円 未 満	303	▲39.9	▲33.3	▲2.6	▲3.6	▲1.3	▲0.7	1.0	▲55.1	42.6	2.3
	100 ～ 1,000 万円 未 満	527	65.5	52.9	▲6.8	7.0	▲3.4	1.7	0.6	82.4	15.7	▲1.9
	1,000 ～ 2,000 万円 未 満	273	82.8	62.6	12.8	9.9	8.8	3.3	0.7	92.3	▲5.5	2.2
	2,000 ～ 5,000 万円 未 満	302	85.4	64.2	19.9	12.3	17.2	4.6	1.7	94.0	▲4.0	2.0
	5,000 万円 ～ 1 億円 未 満	119	92.4	68.1	29.4	10.9	25.2	5.9	3.4	99.2	-	0.8
	1 億 円 以 上	23	100.0	82.6	30.4	30.4	39.1	8.7	4.3	100.0	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「準備している」は 60 歳代以上が 79.1%、中年層が 74.5%で、両者の差は 4.6 ポイントにとどまっている。

「生命保険（個人年金・終身保険）」は 60 歳代以上が 12.8 ポイント上回っている一方、「iDeCo（個人型確定拠出年金）」「NISA（小額投資非課税制度）」は、中年層がそれぞれ 9.1 ポイント、6.2 ポイント上回っている。〈図表VI－15〉

〈図表VI－15〉 老後資産形成の私的準備状況 「[中年層調査]との比較：参考」

（複数回答、単位：%）



(2) 公的年金

① 公的年金制度の特徴

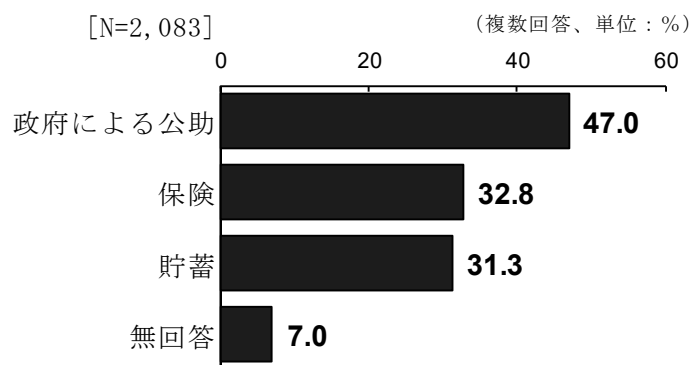
Q13 公的年金制度の特徴は、次のうちどれに近いと思いますか。

この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 貯蓄
- 2 保険
- 3 政府による公助

公的年金制度の特徴がどれに近いかについては、「政府による公助」が 47.0%と最も多い。「保険」は 32.8%、「貯蓄」は 31.3%となっている。〈図表VI-16〉

〈図表VI-16〉 公的年金制度の特徴



性別にみると、「保険」は男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「政府による公助」は 75～84 歳の各層で高く、60～64 歳で低くなっている。〈図表VI-17〉

〈図表VI-17〉 公的年金制度の特徴〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	政府による公助	保険	貯蓄	無回答
全 体		2,083	47.0	32.8	31.3	7.0
性別	男 性	964	47.0	35.3	33.0	▲ 4.5
	女 性	1,119	46.9	▲ 30.7	29.8	9.2
本人年齢別	60～64歳	353	▲ 38.0	36.5	36.8	▲ 3.4
	65～69歳	406	43.6	35.7	35.0	▲ 4.4
	70～74歳	497	47.9	35.2	30.4	6.4
	75～79歳	407	52.1	30.0	27.3	9.1
	80～84歳	242	54.5	▲ 26.9	27.7	9.5
	85～89歳	132	51.5	25.8	30.3	11.4
	90歳以上	46	37.0	28.3	23.9	19.6

本人の現在の職業別にみると、「政府による公助」は無職で 49.6%と高くなっている。
「保険」は自営者で低くなっている。
「貯蓄」は民間企業被用者で高くなっている。〈図表VI-18〉

〈図表VI-18〉 公的年金制度の特徴〔本人職業（現在）別〕

（複数回答、単位：％）

		N	政府 による 公助	保 険	貯 蓄	無 回 答
	全 体	2,083	47.0	32.8	31.3	7.0
本人 職 業 （ 現 在 ） 別	自 営 者	180	44.4	▲26.1	36.1	4.4
	農 林 漁 業	19	31.6	26.3	52.6	－
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	46.8	25.8	36.3	▲ 2.4
	自 由 業 者	37	43.2	27.0	27.0	13.5
	常 雇 被 用 者	222	41.4	36.9	41.0	▲ 2.3
	公 務 員	37	40.5	43.2	37.8	2.7
	民 間 企 業 被 用 者	185	41.6	35.7	41.6	▲ 2.2
	非 正 規 社 員	178	45.5	36.0	31.5	4.5
	派遣社員・契約社員	39	48.7	30.8	43.6	2.6
	パート・アルバイト	139	44.6	37.4	28.1	5.0
	無 職	1,037	49.6	34.3	30.1	6.8
	そ の 他	24	29.2	33.3	45.8	－

金融・保険知識量別にみると、「保険」「貯蓄」はリテラシーが高い層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI-19〉

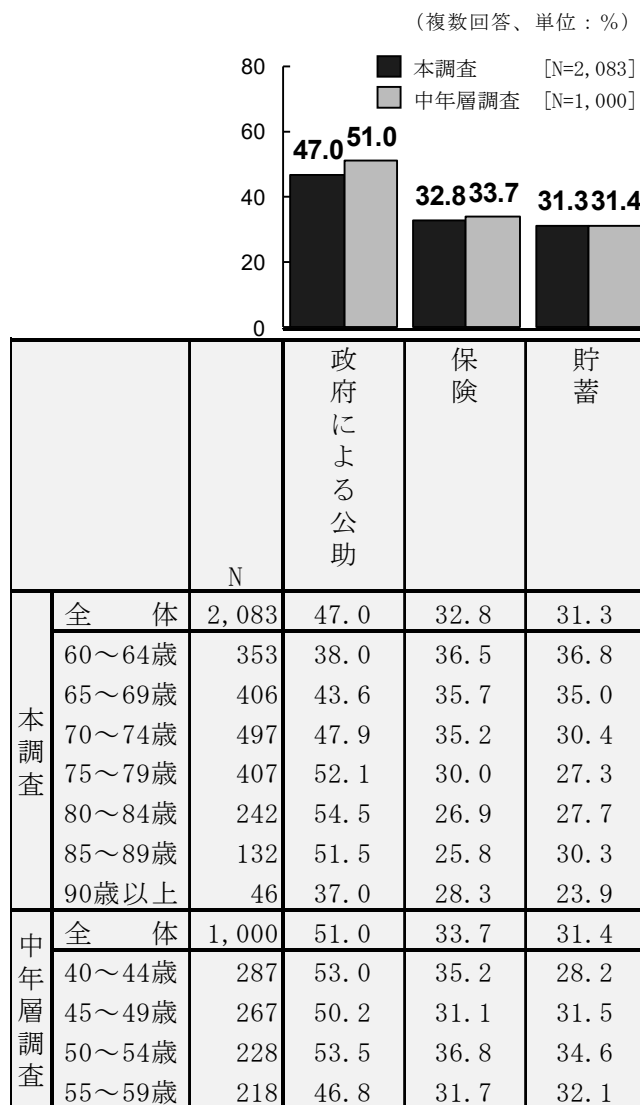
〈図表VI-19〉 公的年金制度の特徴〔金融・保険知識量別〕

（複数回答、単位：％）

		N	政府 による 公助	保 険	貯 蓄	無 回 答
	全 体	2,083	47.0	32.8	31.3	7.0
金 融 ・ 保 険 知 識 量 別	リテラシー高	332	48.5	38.9	36.7	▲ 2.7
	リテラシー中	1,030	48.1	36.2	31.8	▲ 3.3
	リテラシー低	615	48.1	▲26.3	28.6	9.4

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「政府による公助」は 60 歳代以上で 47.0%と、中年層の 51.0%を 4.0 ポイント下回っている。「保険」「貯蓄」は両者に大きな差はみられない。〈図表VI-20〉

〈図表VI-20〉 公的年金制度の特徴 [「中年層調査」との比較：参考]



②公的年金受給開始年齢についての認知

Q15 あなたは公的年金の受給開始年齢を自由に選んで良いことを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

公的年金受給開始年齢を自由に選べることについては、「知っている」が83.8%を占めており、「知らない」は14.1%となっている。〈図表VI-21〉

〈図表VI-21〉 公的年金受給開始年齢についての認知

(単位：%)

	□知っている	□知らない	□無回答
本調査 [N=2, 083]	83.8	14.1	2.2

性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「知っている」は74歳以下の各層で8～9割台と高く、80歳以上の各層で低くなっている。概ね高年齢層ほど認知度は低くなっている傾向がみられる。〈図表VI-22〉

〈図表VI-22〉 公的年金受給開始年齢についての認知〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
	全 体	2, 083	83. 8	14. 1	2. 2
性 別	男 性	964	84. 5	13. 7	1. 8
	女 性	1, 119	83. 1	14. 4	2. 5
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	(87. 5)	▲10. 2	2. 3
	65～69歳	406	(92. 6)	▲ 5. 7	1. 7
	70～74歳	497	(87. 1)	11. 5	1. 4
	75～79歳	407	81. 3	15. 7	2. 9
	80～84歳	242	▲72. 7	(26. 0)	1. 2
	85～89歳	132	▲72. 0	(24. 2)	3. 8
	90歳以上	46	▲54. 3	(39. 1)	(6. 5)

本人の現在の職業別にみると、「知っている」は自営者が 83.9%、常雇被用者が 88.7%、非正規社員が 88.8%、無職が 84.8%となっている。自由業では 70.3%と低くなっている。〈図表VI-23〉

〈図表VI-23〉 公的年金受給開始年齢についての認知〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体		2,083	83.8	14.1	2.2
本人 職業 (現在) 別	自 営 者	180	83.9	13.9	2.2
	農 林 漁 業	19	89.5	10.5	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	87.1	11.3	1.6
	自 由 業	37	▲70.3	24.3	5.4
	常 雇 被 用 者	222	88.7	9.9	1.4
	公 務 員	37	94.6	▲2.7	2.7
	民 間 企 業 被 用 者	185	87.6	11.4	1.1
	非 正 規 社 員	178	88.8	9.6	1.7
	派遣社員・契約社員	39	92.3	5.1	2.6
	パート・アルバイト	139	87.8	10.8	1.4
	無 職	1,037	84.8	13.6	1.6
	そ の 他	24	83.3	16.7	-

金融・保険知識量別にみると、「知っている」は、リテラシーが高い層ほど高く、リテラシー高、リテラシー中の層で、それぞれ 95.8%、90.1%となっている。

一方、リテラシー低の層では、「知らない」が 28.3%を占めている。〈図表VI-24〉

〈図表VI-24〉 公的年金受給開始年齢についての認知〔金融・保険知識量別〕

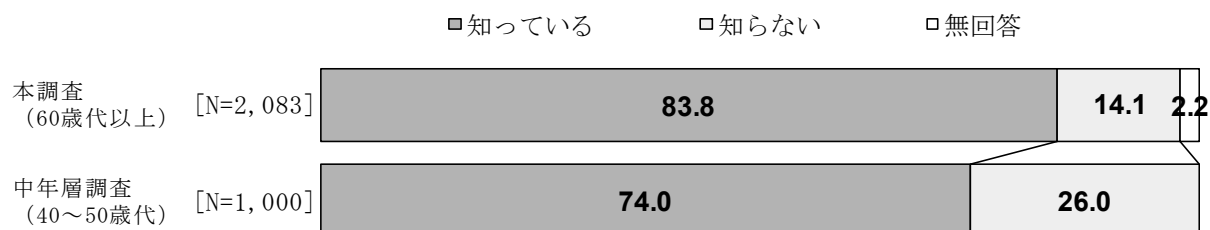
(単位：%)

		N	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体		2,083	83.8	14.1	2.2
金融・ 保険 知識 量別	リテラシー高	332	95.8	▲3.6	▲0.6
	リテラシー中	1,030	90.1	▲9.5	▲0.4
	リテラシー低	615	▲69.6	28.3	2.1

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上では「知っている」が 83.8%と、中年層の 74.0%を大きく上回っている（9.8 ポイント差）。〈図表Ⅵ－25〉

〈図表Ⅵ－25〉 公的年金受給開始年齢についての認知 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）



（単位：％）

		N	知 っ て い る	知 ら な い
本 調 査	全 体	2, 083	83. 8	14. 1
	60～64歳	353	87. 5	10. 2
	65～69歳	406	92. 6	5. 7
	70～74歳	497	87. 1	11. 5
	75～79歳	407	81. 3	15. 7
	80～84歳	242	72. 7	26. 0
	85～89歳	132	72. 0	24. 2
	90歳以上	46	54. 3	39. 1
中 年 層 調 査	全 体	1, 000	74. 0	26. 0
	40～44歳	287	66. 6	33. 4
	45～49歳	267	72. 7	27. 3
	50～54歳	228	77. 2	22. 8
	55～59歳	218	82. 1	17. 9

③公的年金受給の有無

Q16 あなたは、現在、公的年金を受け取っていますか。

- 1 受け取っている
2 受け取っていない

公的年金受給の有無については、「受け取っている」が 85.7%を占めており、「受け取っていない」は 12.6%となっている。〈図表VI-26〉

〈図表VI-26〉 公的年金受給の有無

(単位：%)

■受け取っている □受け取っていない □無回答

本調査 [N=2, 083]

85.7	12.6	1.6
------	------	-----

性別にみると、「受け取っている」は女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「受け取っている」は 60～64 歳で 42.2%と低く、他の年齢層ではいずれも 9 割台となっている。〈図表VI-27〉

〈図表VI-27〉 公的年金受給の有無 [性・年齢別]

(単位：%)

		N	受け取っている	受け取っていない	無回答
	全 体	2, 083	85.7	12.6	1.6
性別	男 性	964	▲82.3	16.0	1.8
	女 性	1, 119	88.7	▲9.7	1.5
本人年齢別	60～64歳	353	▲42.2	56.1	1.7
	65～69歳	406	90.1	▲8.4	1.5
	70～74歳	497	95.4	▲3.4	1.2
	75～79歳	407	97.5	▲1.5	1.0
	80～84歳	242	96.7	▲1.2	2.1
	85～89歳	132	93.9	▲3.0	3.0
	90歳以上	46	91.3	▲2.2	6.5

本人の現在の職業別にみると、「受け取っている」は無職が 93.9%と高くなっている。

一方、「受け取っていない」は、民間企業被用者（39.5%）、自由業（37.8%）、派遣社員・契約社員（35.9%）で3割を超えて特に高くなっている（図表VI-28）

〈図表VI-28〉 公的年金受給の有無〔本人職業（現在）別〕

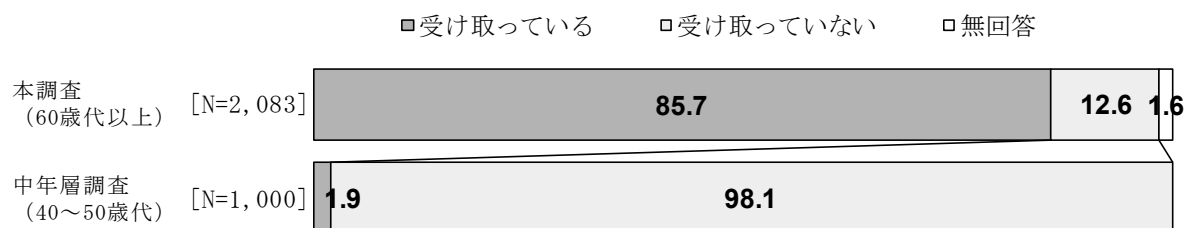
（単位：％）

		N	受け取っている	受け取っていない	無回答
全 体		2,083	85.7	12.6	1.6
本人職業（現在）別	自 営 者	180	▲73.3	(25.0)	1.7
	農 林 漁 業	19	84.2	15.8	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	▲75.8	(22.6)	1.6
	自 由 業	37	▲59.5	(37.8)	2.7
	常 雇 被 用 者	222	▲61.7	(37.4)	0.9
	公 務 員	37	▲70.3	(27.0)	2.7
	民 間 企 業 被 用 者	185	▲60.0	(39.5)	0.5
	非 正 規 社 員	178	▲76.4	(21.9)	1.7
	派遣社員・契約社員	39	▲61.5	(35.9)	2.6
	パート・アルバイト	139	80.6	(18.0)	1.4
	無 職	1,037	(93.9)	▲4.8	1.3
	そ の 他	24	87.5	12.5	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「受け取っている」は 60 歳代以上の 85.7%に対し、中年層では 1.9%にとどまっている。〈図表VI－29〉

〈図表VI－29〉 公的年金受給の有無 「中年層調査」との比較：参考]

(単位：%)



(単位：%)

		N	受け取っている	受け取っていない
本調査	全 体	2,083	85.7	12.6
	60～64歳	353	42.2	56.1
	65～69歳	406	90.1	8.4
	70～74歳	497	95.4	3.4
	75～79歳	407	97.5	1.5
	80～84歳	242	96.7	1.2
	85～89歳	132	93.9	3.0
	90歳以上	46	91.3	2.2
中年層調査	全 体	1,000	1.9	98.1
	40～44歳	287	1.0	99.0
	45～49歳	267	1.9	98.1
	50～54歳	228	1.8	98.2
	55～59歳	218	3.2	96.8

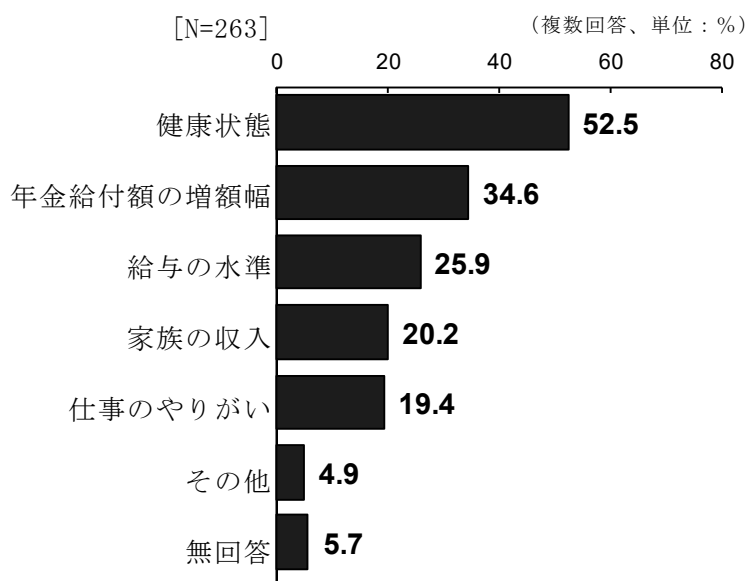
④受給開始年齢を遅らせる場合の基準

公的年金を受け取っていない層に対し、受給開始年齢を遅らせることを検討する際の基準について以下のように尋ねた。

- Q16SQ** (Q16 で「受け取っていない」と答えた方へ) 公的年金の受給開始年齢を遅らせると年金給付額が増額されます。あなたは受給開始年齢を遅らせることを検討する際、何を基準にしますか。(なりそうですか)。この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)
- 1 仕事のやりがい
 - 2 給与の水準
 - 3 健康状態
 - 4 家族の収入
 - 5 年金給付額の増額幅
 - 6 その他

その結果、「健康状態」が 52.5%と半数以上を占め最も多く、次いで、「年金給付額の増額幅」が 34.6%、「給与の水準」が 25.9%、「家族の収入」が 20.2%、「仕事のやりがい」が 19.4%の順となっている。〈図表VI－30〉

〈図表VI－30〉 受給開始年齢を遅らせる場合の基準



性別にみると、「給与の水準」「仕事のやりがい」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「健康状態」「年金給付額の増額幅」「給与の水準」は、60～64 歳から 70～74 歳までの年齢層において、高齢層ほど低くなっている傾向がみられる。〈図表VI-31〉

〈図表VI-31〉 受給開始年齢を遅らせる場合の基準〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

			健康 状態	増 額 幅	年 金 給 付 額 の	給 与 の 水 準	家 族 の 収 入	仕 事 の や り が い	そ の 他	無 回 答
		N								
全 体		263	52.5	34.6	25.9	20.2	19.4	4.9	5.7	
性 別	男 性	154	55.2	31.8	33.8	16.2	24.0	3.2	5.8	
	女 性	109	48.6	38.5	▲14.7	25.7	▲12.8	7.3	5.5	
本 人 年 齢 別	60～64歳	198	54.5	38.4	30.3	20.2	18.7	▲ 3.0	▲ 2.0	
	65～69歳	34	47.1	32.4	20.6	26.5	26.5	11.8	11.8	
	70～74歳	17	▲23.5	▲11.8	5.9	11.8	23.5	11.8	35.3	
	75～79歳	6	66.7	33.3	－	33.3	16.7	－	－	
	80～84歳	3	100.0	－	－	－	－	－	－	
	85～89歳	4	50.0	－	－	－	－	25.0	25.0	
	90歳以上	1	100.0	－	－	－	－	－	－	

本人の現在の職業別にみると、「健康状態」は常雇被用者で高くなっている。

「年金給付額の増額幅」は自営者で低くなっている。

「給与の水準」「仕事のやりがい」は常雇被用者で高く、無職で低くなっている。〈図表VI-32〉

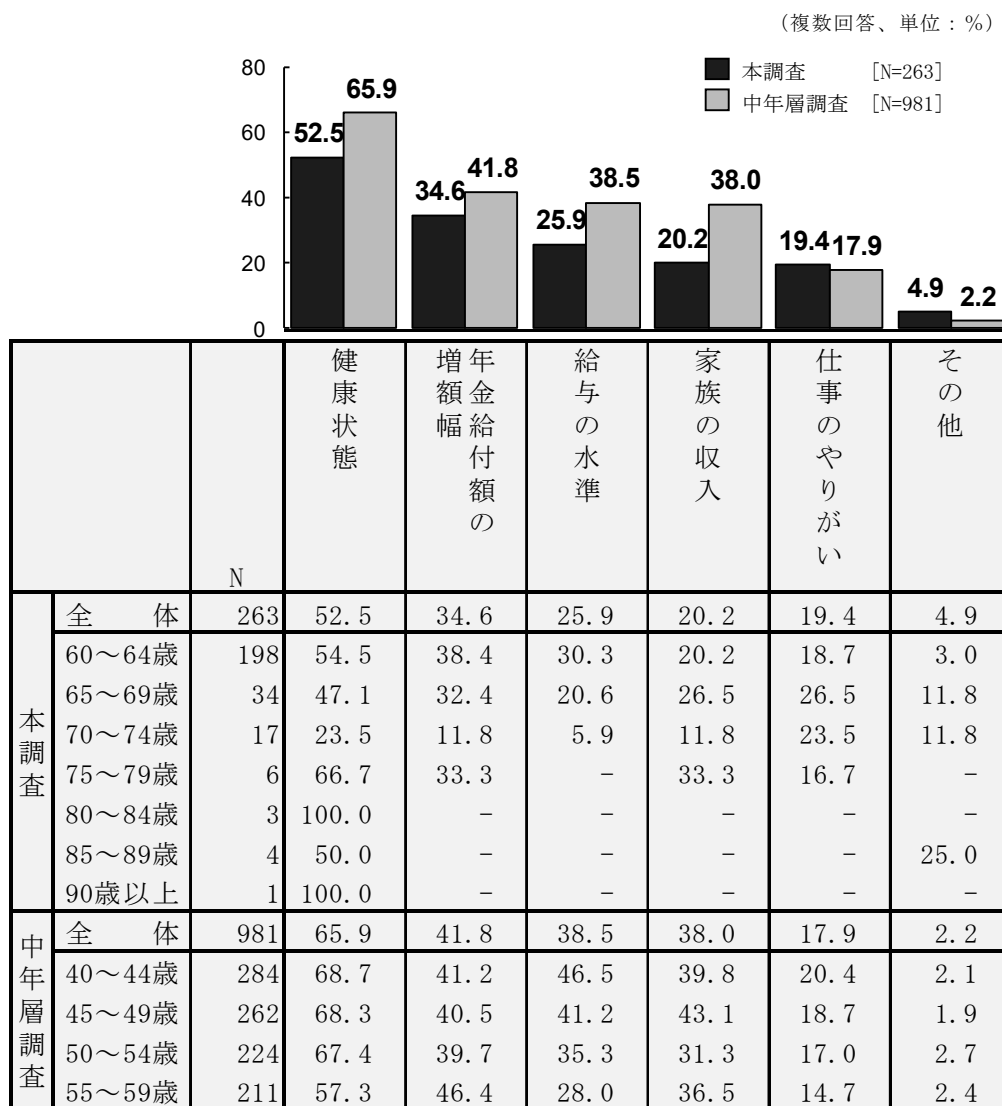
〈図表VI-32〉 受給開始年齢を遅らせる場合の基準〔本人職業（現在）別〕

(複数回答、単位：%)

			健康 状態	増額 年金給 付額の 幅	給与 の水準	家族 の収入	仕事 のやり がい	その他	無回 答
		N							
全 体		263	52.5	34.6	25.9	20.2	19.4	4.9	5.7
本人 職業 （現在） 別	自 営 者	45	48.9	▲20.0	17.8	11.1	26.7	4.4	13.3
	農 林 漁 業	3	66.7	-	-	33.3	-	-	-
	商 工 サ ビ ス 業	28	46.4	21.4	25.0	7.1	25.0	7.1	14.3
	自 由 業 者	14	50.0	21.4	7.1	14.3	35.7	-	14.3
	常 雇 被 用 者	83	61.4	37.3	47.0	19.3	26.5	2.4	▲1.2
	公 務 員	10	70.0	20.0	60.0	10.0	10.0	-	-
	非 正 規 被 用 者	73	60.3	39.7	45.2	20.5	28.8	2.7	1.4
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	39	56.4	38.5	23.1	28.2	28.2	2.6	5.1
	パート ・ アル バ イ ト	14	64.3	35.7	57.1	28.6	28.6	-	-
	無 職 の 他	25	52.0	40.0	▲4.0	28.0	28.0	4.0	8.0
		50	44.0	46.0	▲12.0	20.0	▲6.0	10.0	6.0
		3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上では、「健康状態」「給与の水準」「家族収入」のいずれもが、中年層を 10 ポイント以上下回っている。また、「年金給付額の増額幅」も、60 歳代以上は中年層を 7.2 ポイント下回っている。〈図表VI-33〉

〈図表VI-33〉 受給開始年齢を遅らせる場合の基準 「中年層調査」との比較：参考]



2. 医療保障

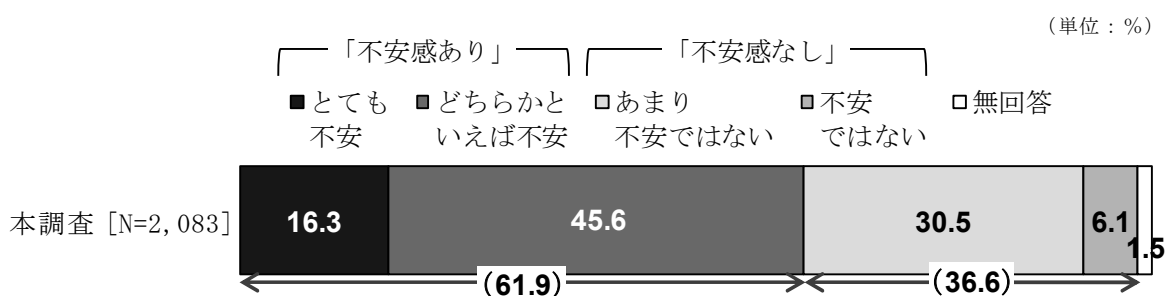
(1) 自分の病気・ケガに係る経済的不安

Q25 あなたはご自身の病気・ケガに経済的な不安がありますか。

- 1 とても不安
- 2 どちらかといえば不安
- 3 あまり不安ではない
- 4 不安ではない

自分の病気・ケガに係る経済的不安について、「不安感あり」（“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計）は61.9%で、「不安感なし」（“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計）の36.6%を大きく上回っている。〈図表VI-34〉

〈図表VI-34〉 自分の病気・ケガに係る経済的不安



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、90歳以上で「不安感あり」は低く、「不安感なし」が52.2%と高くなっている。「不安感あり」「不安感なし」については、89歳以下の各層について、特に傾向はみられない。

なお、「とても不安」に注目すると、75～84歳の各層で高く、「不安ではない」については、85歳以上の各層で高くなっている。〈図表VI-35〉

〈図表VI-35〉 自分の病気・ケガに係る経済的不安 [性・年齢別]

（単位：％）

		N	とても不安	どちらかといえば不安	不安感あり	不安感なし	あまり不安ではない	不安ではない	無回答
全 体		2, 083	16.3	45.6	61.9	36.6	30.5	6.1	1.5
性別	男 性	964	16.7	45.3	62.0	36.8	30.6	6.2	1.1
	女 性	1, 119	15.9	45.8	61.8	36.5	30.5	6.0	1.8
本人年齢別	60～64歳	353	▲12.5	47.0	59.5	39.4	36.0	▲3.4	1.1
	65～69歳	406	14.3	49.5	63.8	34.7	30.3	4.4	1.5
	70～74歳	497	14.1	49.7	63.8	35.0	29.4	5.6	1.2
	75～79歳	407	20.4	43.2	63.6	34.6	28.3	6.4	1.7
	80～84歳	242	21.1	40.9	62.0	37.2	29.3	7.9	0.8
	85～89歳	132	19.7	▲35.6	55.3	40.9	30.3	10.6	3.8
	90歳以上	46	15.2	▲30.4	▲45.7	52.2	30.4	21.7	2.2

世帯年収別にみると、「不安感あり」は概ね低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。逆に「不安感なし」は高収入層ほど高くなっている。〈図表VI-36〉

〈図表VI-36〉 自分の病気・ケガに係る経済的不安〔世帯年収別〕

(単位：％)

		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感あり	不安 感なし	であ はま なり い不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		2,083	16.3	45.6	61.9	36.6	30.5	6.1	1.5
世帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	48.0	32.0	80.0	▲20.0	18.0	2.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	20.9	44.1	65.0	34.4	27.3	7.1	0.6
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	▲10.5	47.1	57.6	41.7	37.6	4.1	0.7
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	▲7.1	43.3	▲50.4	48.2	44.7	3.5	1.4
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	9.0	47.8	56.7	43.3	35.8	7.5	-
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	-	33.3	▲33.3	66.7	60.0	6.7	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	-	50.0	50.0	50.0	37.5	12.5	-
	2,000 万 円 以 上	10	20.0	▲10.0	▲30.0	70.0	50.0	20.0	-

世帯保有金融資産別にみると、「不安感あり」は低資産層ほど高く、「不安感なし」は高資産層ほど高くなっている。〈図表VI-37〉

〈図表VI-37〉 自分の病気・ケガに係る経済的不安〔世帯保有金融資産別〕

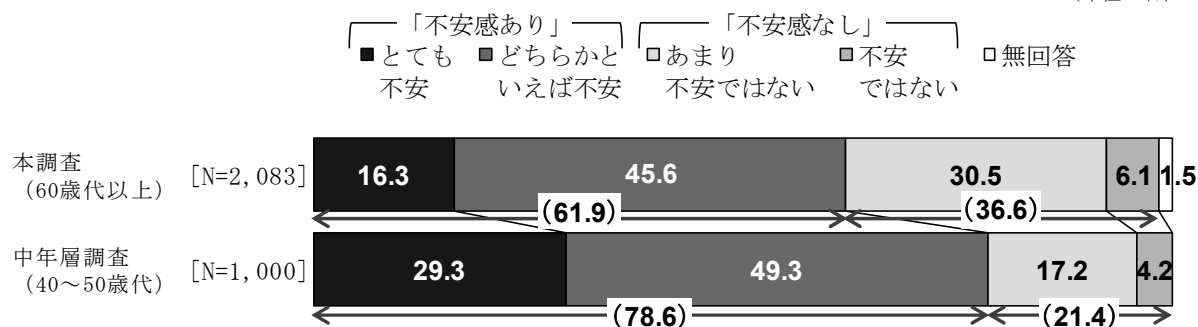
(単位：％)

		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感あり	不安 感なし	であ はま なり い不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		2,083	16.3	45.6	61.9	36.6	30.5	6.1	1.5
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	303	32.0	46.2	78.2	▲20.5	▲17.5	▲3.0	1.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	18.2	50.7	68.9	▲30.0	▲25.0	4.9	1.1
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	▲10.6	48.7	59.3	39.6	35.9	3.7	1.1
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	▲6.6	▲38.7	▲45.4	53.6	48.0	5.6	1.0
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	▲3.4	▲35.3	▲38.7	60.5	45.4	15.1	0.8
	1 億 円 以 上	23	-	▲13.0	▲13.0	87.0	47.8	39.1	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「不安感あり」は中年層の 78.6%に比べて、60 歳代以上は大きく下回っている（16.7 ポイント差）。一方、「不安感なし」は中年層の 21.4%に比べて、60 歳代以上は 15.2 ポイント上回っている。〈図表VI-38〉

〈図表VI-38〉 自分の病気・ケガに係る経済的不安 「[中年層調査]との比較：参考」

(単位：%)



(単位：%)

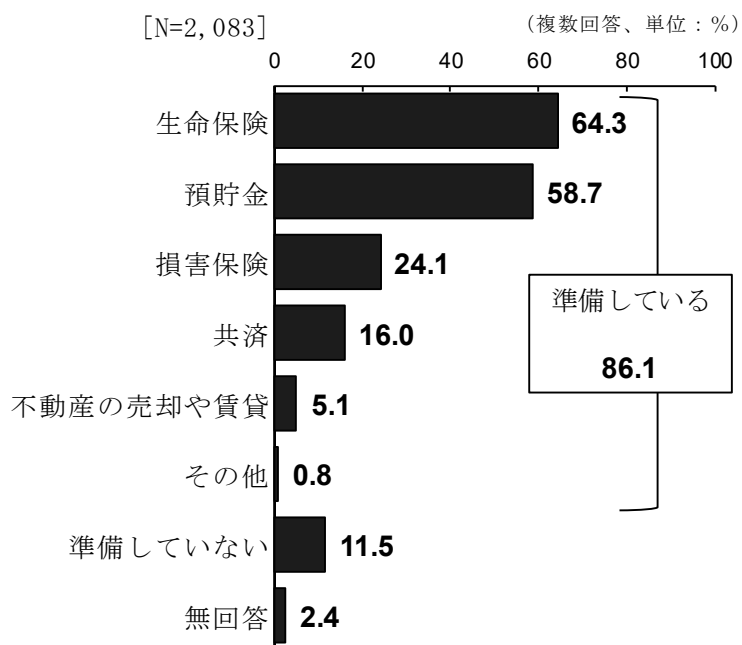
		N	とても不安	どちらかといえば不安	不安感あり	不安感なし	ではあまり不安	では不安ない
本調査	全 体	2,083	16.3	45.6	61.9	36.6	30.5	6.1
	60～64歳	353	12.5	47.0	59.5	39.4	36.0	3.4
	65～69歳	406	14.3	49.5	63.8	34.7	30.3	4.4
	70～74歳	497	14.1	49.7	63.8	35.0	29.4	5.6
	75～79歳	407	20.4	43.2	63.6	34.6	28.3	6.4
	80～84歳	242	21.1	40.9	62.0	37.2	29.3	7.9
	85～89歳	132	19.7	35.6	55.3	40.9	30.3	10.6
	90歳以上	46	15.2	30.4	45.7	52.2	30.4	21.7
中年層調査	全 体	1,000	29.3	49.3	78.6	21.4	17.2	4.2
	40～44歳	287	29.6	49.5	79.1	20.9	18.1	2.8
	45～49歳	267	34.1	44.6	78.7	21.3	16.9	4.5
	50～54歳	228	27.6	52.6	80.3	19.7	15.4	4.4
	55～59歳	218	24.8	51.4	76.1	23.9	18.3	5.5

(2) 医療保障の私的準備状況

- Q26** あなたはご自身の病気・ケガに備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。
準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（○はいくつでも）
- 1 預貯金
 - 2 生命保険
 - 3 損害保険
 - 4 共済
 - 5 不動産の売却や賃貸
 - 6 その他
 - 7 準備していない

医療保障の準備状況については、「準備している」が 86.1%となっている。具体的な準備状況としては、「生命保険」が 64.3%と最も多く、次いで「預貯金」が 58.7%、「損害保険」が 24.1%、「共済」が 16.0%の順となっている。〈図表VI-39〉

〈図表VI-39〉 医療保障の私的準備状況



性別にみると、「損害保険」「不動産の売却や賃貸」は、男性の方が女性より高くなっている。一方、「準備していない」も男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「準備している」は、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。具体的な準備としては、「生命保険」「損害保険」「共済」が、概ね高年齢層ほど低くなっている。〈図表VI-40〉

〈図表VI-40〉 医療保障の私的準備状況〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命保険	預貯金	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	64.3	58.7	24.1	16.0	5.1	0.8	86.1	11.5	2.4
性別	男 性	964	62.9	57.4	27.5	16.8	6.2	1.0	85.7	13.0	1.3
	女 性	1,119	65.5	59.9	21.1	15.4	4.1	0.5	86.4	10.2	3.4
本人年齢別	60～64歳	353	73.1	55.2	24.4	17.8	4.0	－	89.0	8.5	2.5
	65～69歳	406	74.1	57.4	27.6	21.7	4.4	0.7	90.6	7.6	1.7
	70～74歳	497	67.2	60.8	26.4	17.9	4.0	1.2	88.1	10.3	1.6
	75～79歳	407	61.4	58.0	23.6	13.3	6.1	1.0	84.3	12.8	2.9
	80～84歳	242	48.3	60.7	18.6	11.2	5.8	1.2	80.6	16.5	2.9
	85～89歳	132	46.2	62.1	18.2	8.3	9.8	－	75.8	19.7	4.5
	90歳以上	46	39.1	60.9	15.2	4.3	4.3	－	76.1	19.6	4.3

世帯年収別にみると、「準備している」は300万円未満の低収入層で低く、300～700万円未満の各層で高くなっている。

「生命保険」「預貯金」は100万円未満層で低く、300～500万円未満層、700～1,000万円未満層で高くなっている。また、「損害保険」は100万円未満層で低く、700～1,000万円未満層で高くなっている。「共済」は500～700万円未満層で高くなっている。〈図表VI-41〉

〈図表VI-41〉 医療保障の私的準備状況〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命保険	預貯金	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	64.3	58.7	24.1	16.0	5.1	0.8	86.1	11.5	2.4
世帯年収別	100万円未満	50	48.0	38.0	12.0	10.0	6.0	－	72.0	26.0	2.0
	100～300万円未満	311	59.5	54.3	21.5	14.5	2.3	0.3	82.3	17.4	0.3
	300～500万円未満	295	76.3	69.5	26.8	18.3	4.4	0.7	95.3	3.7	1.0
	500～700万円未満	141	68.8	64.5	28.4	25.5	7.1	1.4	93.6	5.7	0.7
	700～1,000万円未満	67	76.1	73.1	38.8	19.4	11.9	－	92.5	7.5	－
	1,000～1,500万円未満	30	80.0	73.3	36.7	13.3	16.7	3.3	93.3	6.7	－
	1,500～2,000万円未満	8	75.0	50.0	25.0	12.5	－	－	75.0	25.0	－
	2,000万円以上	10	70.0	80.0	40.0	30.0	40.0	－	100.0	－	－

世帯保有金融資産別にみると、いずれの準備手段も高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。
 〈図表VI－42〉

〈図表VI－42〉 医療保障の私的準備状況〔世帯保有金融資産別〕

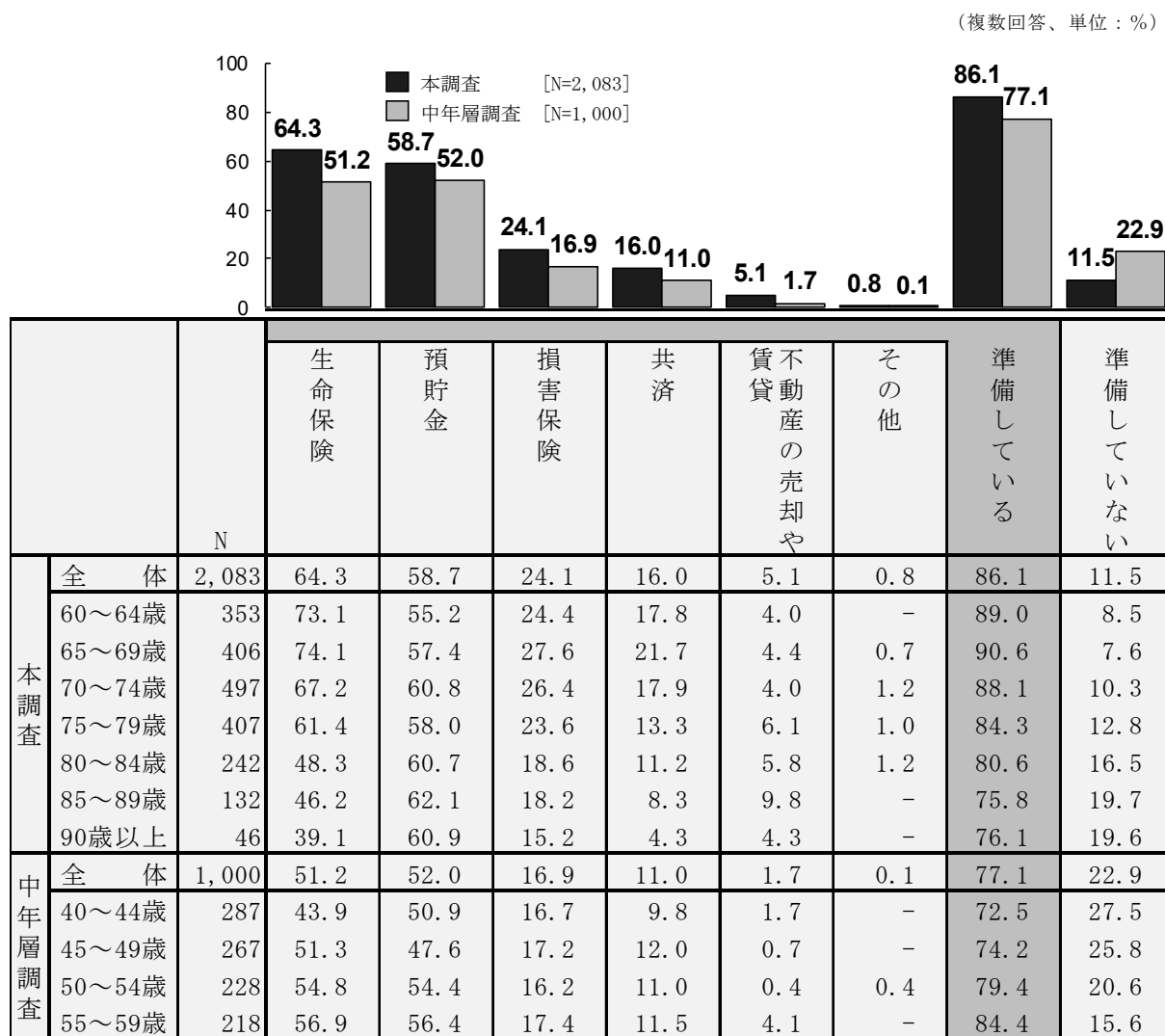
(複数回答、単位：%)

			生命 保 険	預 貯 金	損 害 保 険	共 済	賃 不 貸 動 産 の 売 却 や	そ の 他	準 備 し て い る	準 備 し て い な い	無 回 答
		N									
全 体		2,083	64.3	58.7	24.1	16.0	5.1	0.8	86.1	11.5	2.4
金融 資産 別	100 万 円 未 満	303	▲48.8	▲36.3	▲16.5	14.2	▲2.0	－	▲71.6	○27.1	1.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	○70.0	▲54.5	25.8	17.6	4.4	0.9	○89.2	▲9.1	1.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	66.7	○74.4	○29.3	16.1	5.9	0.4	○94.5	▲4.4	1.1
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	○73.8	○81.1	28.1	18.2	○8.6	○2.0	○96.0	▲3.0	1.0
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	○74.8	○89.9	○34.5	21.0	○12.6	○2.5	○99.2	▲0.8	－
	1 億 円 以 上	23	82.6	○91.3	○56.5	21.7	○21.7	－	100.0	－	－

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「準備している」は、60 歳代以上が中年層を 9.0 ポイント上回っている。

具体的な準備として、「生命保険」は、60 歳代以上が中年層を 13.1 ポイント上回っている。〈図表VI-43〉

〈図表VI-43〉 医療保障の私的準備状況 「中年層調査」との比較：参考]



3. 介護保障

(1) 自分の介護

① 自分の介護の有無

Q27 あなたは現在、介護を受けていますか。

- 1 介護を受けている
- 2 介護を受けていない

自分の介護の有無について、「介護を受けている」という人は 5.2%となっている。〈図表VI-44〉

〈図表VI-44〉 自分の介護の有無

(単位：%)

□ 介護を受けている □ 介護を受けていない □ 無回答



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「介護を受けている」は 85～89 歳で 22.7%、90 歳以上で 37.0%と高くなっており、高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI-45〉

〈図表VI-45〉 自分の介護の有無〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	受 介 護 を い る	受 介 護 を い な い	無 回 答
	全 体	2,083	5.2	93.8	1.0
性 別	男 性	964	4.5	94.6	0.9
	女 性	1,119	5.9	93.1	1.0
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	▲ 0.3	98.3	1.4
	65～69歳	406	▲ 1.0	98.0	1.0
	70～74歳	497	▲ 3.4	95.6	1.0
	75～79歳	407	5.4	93.9	0.7
	80～84歳	242	7.4	91.7	0.8
	85～89歳	132	22.7	▲ 76.5	0.8
	90歳以上	46	37.0	▲ 63.0	-

世帯年収別にみると、「介護を受けている」は100～300万円未満層で7.7%、100万円未満層で16.0%と高くなっており、概ね低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI－46〉

〈図表VI－46〉 自分の介護の有無〔世帯年収別〕

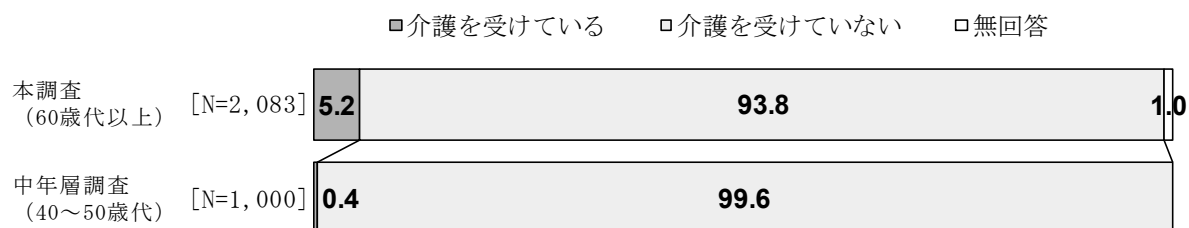
(単位：%)

		N	受 介 け 護 を い る	受 介 け 護 を い な い	無 回 答
全 体		2,083	5.2	93.8	1.0
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	16.0	▲84.0	－
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	7.7	92.0	0.3
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	▲2.7	96.6	0.7
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	▲0.7	98.6	0.7
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	3.0	97.0	－
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	－	100.0	－
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	－	100.0	－
	2,000 万 円 以 上	10	－	100.0	－

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「介護を受けている」は、60 歳代以上の 5.2%が中年層の 0.4%を上回っている。〈図表VI－47〉

〈図表VI－47〉 自分の介護の有無 「中年層調査」との比較：参考

(単位：％)



(単位：％)

		N	受 介 護 を い る	受 介 護 を い な い
本 調 査	全 体	2,083	5.2	93.8
	60～64歳	353	0.3	98.3
	65～69歳	406	1.0	98.0
	70～74歳	497	3.4	95.6
	75～79歳	407	5.4	93.9
	80～84歳	242	7.4	91.7
	85～89歳	132	22.7	76.5
	90歳以上	46	37.0	63.0
中 年 層 調 査	全 体	1,000	0.4	99.6
	40～44歳	287	1.0	99.0
	45～49歳	267	－	100.0
	50～54歳	228	－	100.0
	55～59歳	218	0.5	99.5

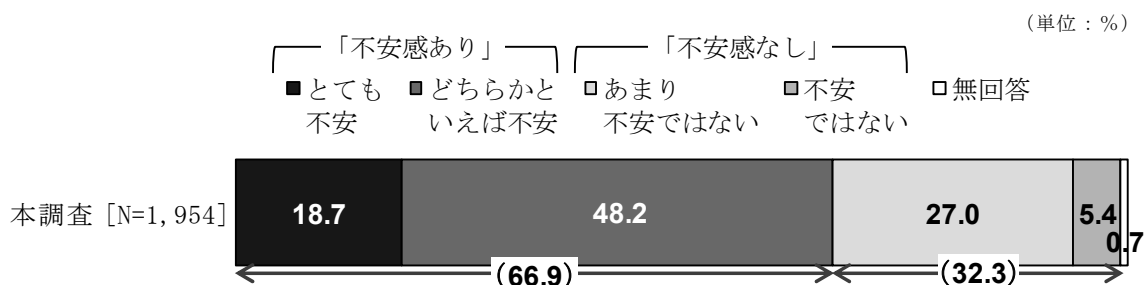
②自分が要介護状態になることへの経済的不安

介護を受けていない層に、自分が要介護状態になることへの経済的不安について以下のように尋ねた。

- Q27SQ (Q27で「介護を受けていない」と答えた方へ) あなたはご自身が要介護状態になることに経済的な不安がありますか。
- 1 とても不安
 - 2 どちらかといえば不安
 - 3 あまり不安ではない
 - 4 不安ではない

その結果、「不安感あり」（“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計）は 66.9%で、「不安感なし」（“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計）の 32.3%を大きく上回っている。〈図表VI-48〉

〈図表VI-48〉 自分が要介護状態になることへの経済的不安



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「不安感あり」は 60～64 歳で 71.8%と高く、概ね高年齢層ほど低くなっている。逆に、「不安感なし」は 85～89 歳で 43.6%、90 歳以上で 69.0%と高くなっている。また、「とても不安」に注目すると、75～79 歳で高くなっている。〈図表VI-49〉

〈図表VI-49〉 自分が要介護状態になることへの経済的不安 [性・年齢別]

(単位：%)

		N	とても不安	どちらかといえば不安	不安感あり	不安感なし	あまり不安ではない	不安ではない	無回答
全 体		1,954	18.7	48.2	66.9	32.3	27.0	5.4	0.7
性別	男 性	912	19.2	47.6	66.8	32.9	26.6	6.3	0.3
	女 性	1,042	18.3	48.8	67.1	31.9	27.3	4.6	1.1
本人年齢別	60～64歳	347	20.5	51.3	71.8	▲27.7	25.4	▲2.3	0.6
	65～69歳	398	16.6	52.8	69.3	29.4	25.9	3.5	1.3
	70～74歳	475	16.8	49.5	66.3	33.5	27.6	5.9	0.2
	75～79歳	382	23.8	45.0	68.8	30.4	25.9	4.5	0.8
	80～84歳	222	19.4	44.1	63.5	36.0	29.3	6.8	0.5
	85～89歳	101	12.9	41.6	▲54.5	43.6	31.7	11.9	2.0
	90歳以上	29	6.9	▲24.1	▲31.0	69.0	31.0	37.9	-

世帯年収別にみると、「不安感あり」は低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。逆に「不安感なし」は高収入層ほど高くなっている。〈図表VI-50〉

〈図表VI-50〉 自分が要介護状態になることへの経済的不安〔世帯年収別〕

(単位：％)

		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり い不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		1,954	18.7	48.2	66.9	32.3	27.0	5.4	0.7
世帯 年 収 別	100 万 円 未 満	42	(45.2)	38.1	(83.3)	▲16.7	▲11.9	4.8	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	286	22.7	50.3	(73.1)	▲26.9	▲20.6	6.3	-
	300 ～ 500 万 円 未 満	285	▲12.6	51.9	64.6	34.7	(32.6)	▲2.1	0.7
	500 ～ 700 万 円 未 満	139	▲8.6	49.6	▲58.3	(41.7)	(38.8)	2.9	-
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	65	10.8	41.5	▲52.3	(47.7)	(41.5)	6.2	-
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	6.7	▲30.0	▲36.7	(63.3)	(53.3)	10.0	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	-	50.0	50.0	50.0	25.0	(25.0)	-
	2,000 万 円 以 上	10	10.0	▲10.0	▲20.0	(80.0)	50.0	(30.0)	-

世帯保有金融資産別にみると、「不安感あり」は低資産層ほど高く、「不安感なし」は高資産層ほど高くなっている。〈図表VI-51〉

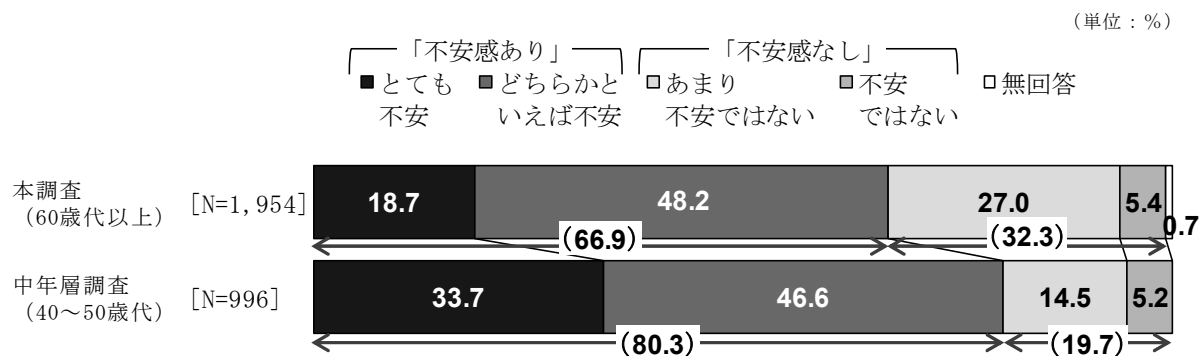
〈図表VI-51〉 自分が要介護状態になることへの経済的不安〔世帯保有金融資産別〕

(単位：％)

		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり い不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		1,954	18.7	48.2	66.9	32.3	27.0	5.4	0.7
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	282	(33.3)	44.7	(78.0)	▲21.6	▲17.0	4.6	0.4
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	490	21.4	(56.3)	(77.8)	▲22.0	▲18.2	3.9	0.2
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	263	▲12.2	(54.4)	66.5	33.1	29.3	3.8	0.4
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	289	▲9.0	▲41.2	▲50.2	(49.1)	(46.4)	▲2.8	0.7
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	118	▲3.4	▲35.6	▲39.0	(61.0)	(45.8)	(15.3)	-
	1 億 円 以 上	22	-	▲13.6	▲13.6	(86.4)	(50.0)	(36.4)	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「不安感あり」は中年層の 80.3%に比べて、60 歳代以上は 13.4 ポイント下回っている。〈図表VI－52〉

〈図表VI－52〉 自分が要介護状態になることへの経済的不安 [「中年層調査」との比較：参考]



(単位：%)

		N	とても不安	どちらかといえば不安	不安感あり	不安感なし	あまり不安ではない	不安ではない
本調査	全 体	1,954	18.7	48.2	66.9	32.3	27.0	5.4
	60～64歳	347	20.5	51.3	71.8	27.7	25.4	2.3
	65～69歳	398	16.6	52.8	69.3	29.4	25.9	3.5
	70～74歳	475	16.8	49.5	66.3	33.5	27.6	5.9
	75～79歳	382	23.8	45.0	68.8	30.4	25.9	4.5
	80～84歳	222	19.4	44.1	63.5	36.0	29.3	6.8
	85～89歳	101	12.9	41.6	54.5	43.6	31.7	11.9
	90歳以上	29	6.9	24.1	31.0	69.0	31.0	37.9
中年層調査	全 体	996	33.7	46.6	80.3	19.7	14.5	5.2
	40～44歳	284	34.9	47.5	82.4	17.6	11.3	6.3
	45～49歳	267	36.7	43.1	79.8	20.2	14.2	6.0
	50～54歳	228	32.0	50.0	82.0	18.0	14.5	3.5
	55～59歳	217	30.4	46.1	76.5	23.5	18.9	4.6

③自分の介護保障の私的準備状況

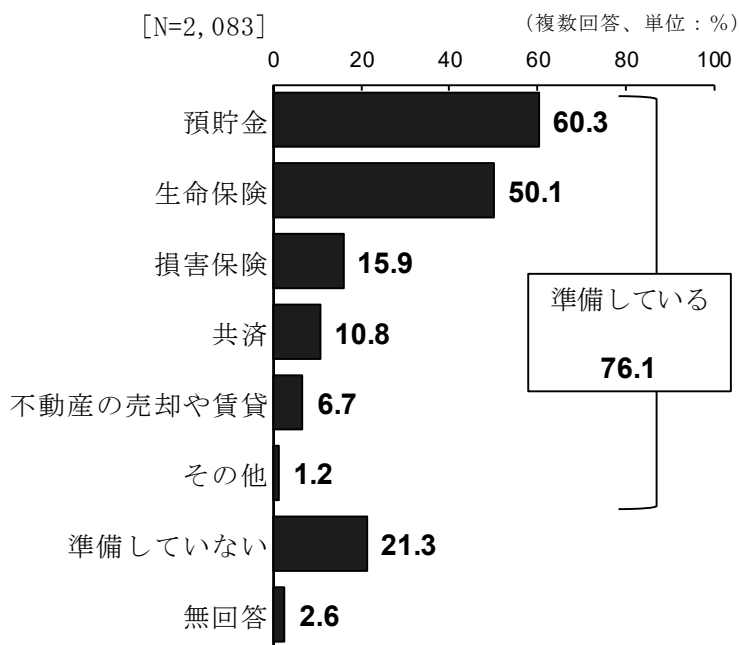
Q28 あなたはご自身が要介護状態になることに備えて、経済的な準備をしていますか(してきましたか)。
準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 預貯金
- 2 生命保険
- 3 損害保険
- 4 共済
- 5 不動産の売却や賃貸
- 6 その他
- 7 準備していない

自分の介護保障の私的準備状況については、「準備している」が 76.1%となっている。具体的な準備状況としては、「預貯金」が 60.3%と最も多く、次いで「生命保険」が 50.1%、「損害保険」が 15.9%、「共済」が 10.8%の順となっている。

「準備していない」は 21.3%となっている。〈図表VI－53〉

〈図表VI－53〉 自分の介護保障の私的準備状況



性別にみると、「損害保険」「不動産の売却や賃貸」は、男性の方が女性より高くなっている。一方、「準備していない」も男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「準備している」は、85～89歳で低くなっている。

具体的な準備としては、「預貯金」は60～64歳で低くなっている。「生命保険」は65～69歳で高く、80歳以上の各層では低くなっている。「損害保険」「共済」は65～69歳で高くなっている。〈図表VI-54〉

〈図表VI-54〉 自分の介護保障の私的準備状況〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

（複数回答、単位：％）

		N									無回答
			預貯金	生命保険	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	
全 体		2,083	60.3	50.1	15.9	10.8	6.7	1.2	76.1	21.3	2.6
性別	男 性	964	58.2	48.5	17.8	11.5	8.0	1.5	74.9	23.2	▲ 1.9
	女 性	1,119	62.1	51.5	▲14.3	10.1	▲ 5.5	1.0	77.1	▲19.6	3.3
本人年齢別	60～64歳	353	▲55.0	53.0	13.3	9.3	5.1	0.6	74.2	23.2	2.5
	65～69歳	406	58.6	57.1	19.7	14.5	▲ 4.4	1.2	77.8	20.2	2.0
	70～74歳	497	62.0	52.1	16.3	12.7	6.8	1.4	78.1	19.9	2.0
	75～79歳	407	61.7	48.9	17.2	8.8	8.6	1.2	77.4	20.4	2.2
	80～84歳	242	63.6	▲41.7	12.8	9.5	8.3	2.5	73.1	23.6	3.3
	85～89歳	132	60.6	▲40.2	14.4	▲ 5.3	8.3	－	▲68.9	24.2	6.8
	90歳以上	46	67.4	▲28.3	8.7	6.5	6.5	－	78.3	17.4	4.3

世帯年収別にみると、「準備している」は100万円未満層で低く、300～1,000万円未満層の各層で、高くなっている。

「預貯金」「生命保険」は100万円未満層で低く、300～500万円未満層および700～1,500万円未満層の各層で高くなっている。〈図表VI-55〉

〈図表VI-55〉 自分の介護保障の私的準備状況〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

(後数四捨、単位：%)											
		N	預貯金	生命保険	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体			2,083	60.3	50.1	15.9	10.8	6.7	1.2	76.1	21.3
世帯年収別	100 万 円 未 満	50	▲42.0	▲36.0	6.0	4.0	8.0	2.0	▲60.0	40.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	56.9	45.7	14.5	10.6	▲ 3.5	1.3	73.3	26.0	▲ 0.6
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	68.1	60.0	15.6	10.8	7.5	0.3	83.7	▲14.9	1.4
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	65.2	56.7	19.1	14.9	12.1	1.4	87.2	▲12.1	0.7
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	74.6	65.7	28.4	16.4	11.9	1.5	86.6	11.9	1.5
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	80.0	70.0	30.0	13.3	16.7	-	86.7	13.3	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	87.5	75.0	12.5	-	-	-	87.5	12.5	-
	2,000 万 円 以 上	10	90.0	50.0	10.0	10.0	40.0	-	100.0	-	-

世帯保有金融資産別にみると、いずれの準備手段も高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。
 〈図表VI－56〉

〈図表VI－56〉 自分の介護保障の私的準備状況〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

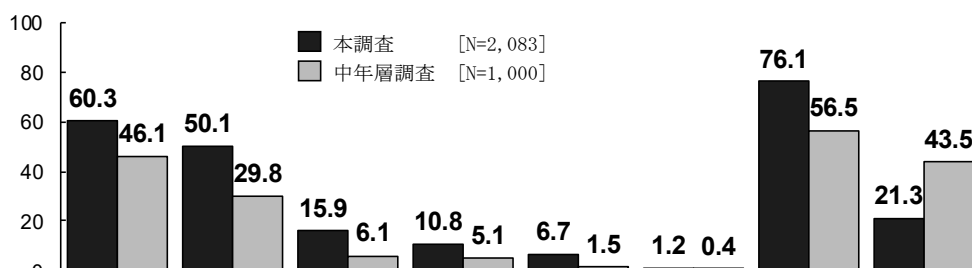
			預貯金	生命保険	損害保険	共済	貸不 貸動 産 の 売 却 や	その他	準備 して いる	準備 して い ない	無 回 答
		N									
全 体		2,083	60.3	50.1	15.9	10.8	6.7	1.2	76.1	21.3	2.6
金融 資産 別 世帯保有	100 万 円 未 満	303	▲38.3	▲37.0	▲9.6	8.9	▲3.0	0.7	▲59.4	39.3	1.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	56.7	53.9	18.4	12.9	5.5	0.9	78.9	19.5	1.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	74.7	53.1	17.6	11.0	7.7	1.1	86.8	▲11.0	2.2
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	81.8	62.6	19.9	10.9	11.3	2.6	90.4	▲7.9	1.7
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	90.8	71.4	25.2	16.0	15.1	3.4	95.0	▲4.2	0.8
	1 億 円 以 上	23	100.0	73.9	43.5	13.0	21.7	4.3	100.0	－	－

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「準備している」は、60 歳代以上が中年層を 19.6 ポイント大きく上回っている。

具体的な準備として、60 歳代以上が中年層を大きく上回っているのは、「生命保険」(20.3 ポイント差)、「預貯金」(14.2 ポイント差)、「損害保険」(9.8 ポイント差)となっている。〈図表VI-57〉

〈図表VI-57〉 自分の介護保障の私的準備状況 「中年層調査」との比較：参考

(複数回答、単位：%)



		N	預貯金	生命保険	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない
本調査	全 体	2,083	60.3	50.1	15.9	10.8	6.7	1.2	76.1	21.3
	60～64歳	353	55.0	53.0	13.3	9.3	5.1	0.6	74.2	23.2
	65～69歳	406	58.6	57.1	19.7	14.5	4.4	1.2	77.8	20.2
	70～74歳	497	62.0	52.1	16.3	12.7	6.8	1.4	78.1	19.9
	75～79歳	407	61.7	48.9	17.2	8.8	8.6	1.2	77.4	20.4
	80～84歳	242	63.6	41.7	12.8	9.5	8.3	2.5	73.1	23.6
	85～89歳	132	60.6	40.2	14.4	5.3	8.3	－	68.9	24.2
	90歳以上	46	67.4	28.3	8.7	6.5	6.5	－	78.3	17.4
中年層調査	全 体	1,000	46.1	29.8	6.1	5.1	1.5	0.4	56.5	43.5
	40～44歳	287	39.0	25.1	6.6	4.9	1.0	－	50.5	49.5
	45～49歳	267	41.6	29.2	7.1	4.9	0.4	0.4	52.4	47.6
	50～54歳	228	50.0	31.6	4.8	5.3	0.9	0.4	60.5	39.5
	55～59歳	218	56.9	34.9	5.5	5.5	4.1	0.9	65.1	34.9

④介護スタッフに対する意向

自分自身に介護が必要になった場合の介護スタッフに対する意向について、以下のように尋ねた。

Q29 あなたご自身に介護が必要になった状況を想像して、あなたご自身のお考えを聞かせてください。

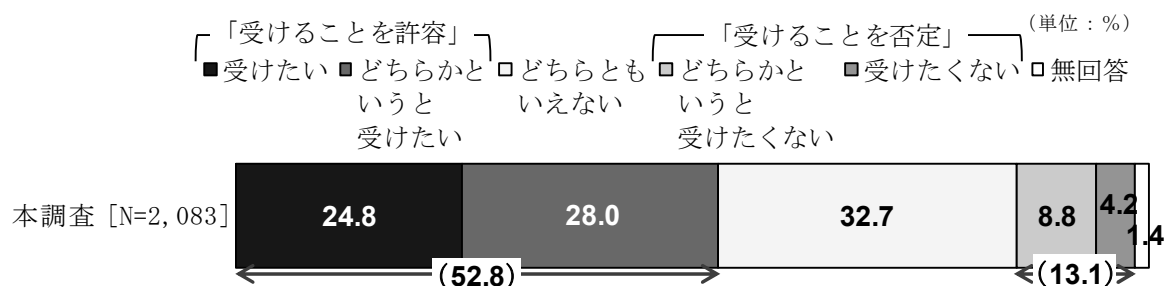
- | | |
|--|---|
| (1) 家族以外の、日本人のスタッフから
介護サービスの提供を受けることについて
どう思いますか | 1 受けたい
2 どちらかというと受けたい
3 どちらともいえない
4 どちらかというと受けたくない
5 受けたくない |
| (2) 外国人のスタッフから介護サービスの提供を
受けることについてどう思いますか | |

ア) 日本人スタッフから受ける介護サービス

日本人スタッフから受ける介護サービスについては、「受けることを許容」（“受けたい”と“どちらかというと受けたい”の回答の合計）は 52.8%で、「受けることを否定」（“どちらかというと受けたくない”と“受けたくない”の回答の合計）の 13.1%を大きく上回っている。

なお、「どちらともいえない」は 32.7%を占めている。〈図表VI-58〉

〈図表VI-58〉 日本人スタッフから受ける介護サービス



性別にみると、より積極的な「受けたい」は、女性が男性を上回っている。

年齢別にみると、「受けることを許容」は、特に傾向がみられない。一方、「受けることを否定」は 90 歳以上で 28.3%と高く、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。なお、「どちらともいえない」は概ね高年齢層ほど低くなっている。〈図表VI-59〉

〈図表VI-59〉 日本人スタッフから受ける介護サービス [性・年齢別]

（単位：％）

		N	受けたい	どちらかというとうと受けたい	を許容すること	いどちらならいとも	を否定すること	たいくうちなとらい受けと	い受けたくな	無回答
全体		2, 083	24.8	28.0	52.8	32.7	13.1	8.8	4.2	1.4
性別	男性	964	▲22.4	28.5	50.9	34.2	13.7	9.4	4.3	1.1
	女性	1, 119	(26.9)	27.5	54.4	31.4	12.5	8.3	4.2	1.7
本人年齢別	60～64歳	353	25.5	27.8	53.3	36.3	▲8.8	6.2	2.5	1.7
	65～69歳	406	24.4	29.1	53.4	34.0	11.3	7.1	4.2	1.2
	70～74歳	497	24.3	28.8	53.1	32.4	13.7	9.9	3.8	0.8
	75～79歳	407	24.8	29.5	54.3	31.4	12.5	8.6	3.9	1.7
	80～84歳	242	25.2	25.6	50.8	32.6	16.1	11.6	4.5	0.4
	85～89歳	132	23.5	25.8	49.2	28.0	18.2	11.4	6.8	(4.5)
	90歳以上	46	30.4	17.4	47.8	21.7	(28.3)	13.0	(15.2)	2.2

世帯年収別にみると、「受けることを許容」は、100万円未満層で68.0%と高く、概ね低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI-60〉

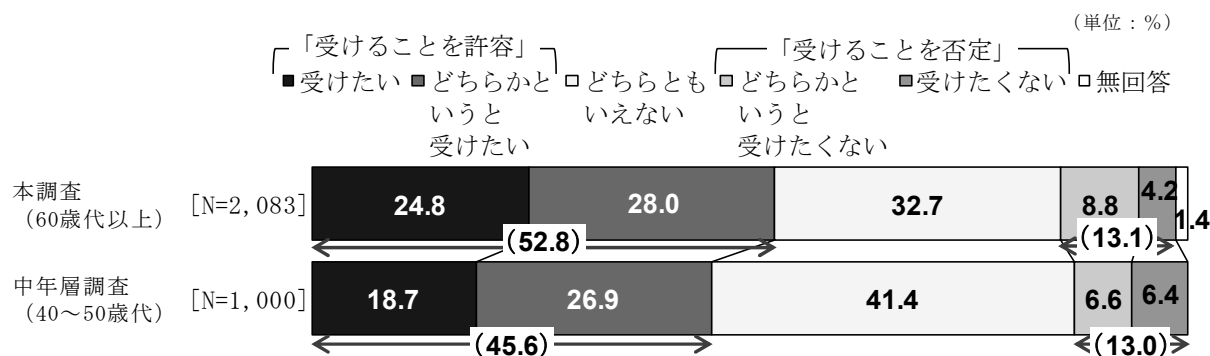
〈図表VI-60〉 日本人スタッフから受ける介護サービス〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	受 け た い	た い ど い う ち と ら 受 か け と	を 受 け る こ と	い ど え ち な ら い と も	を 受 け る こ と を 否 定 す	た い ど く う ち な い 受 か け と	い 受 け た く な い	無 回 答
全 体		2,083	24.8	28.0	52.8	32.7	13.1	8.8	4.2	1.4
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	24.0	44.0	68.0	26.0	6.0	4.0	2.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	25.7	29.6	55.3	31.2	13.2	9.3	3.9	0.3
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	26.1	28.1	54.2	33.2	11.5	8.8	2.7	1.0
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	26.2	31.2	57.4	30.5	11.3	7.8	3.5	0.7
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	17.9	31.3	49.3	35.8	14.9	13.4	1.5	-
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	20.0	26.7	46.7	33.3	20.0	13.3	6.7	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	50.0	25.0	75.0	25.0	-	-	-	-
	2,000 万 円 以 上	10	50.0	20.0	70.0	30.0	-	-	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「受けることを許容」は中年層の 45.6%に比べて、60 歳代以上は 52.8%と 7.2 ポイント上回っている。一方、「受けることを否定」は、両者で大きな差はみられない。なお、中年層では「どちらともいえない」が 41.4%と 60 歳以上の 32.7%を大きく上回っている。〈図表VI－61〉

〈図表VI－61〉 日本人スタッフから受ける介護サービス 「中年層調査」との比較：参考



(単位：%)

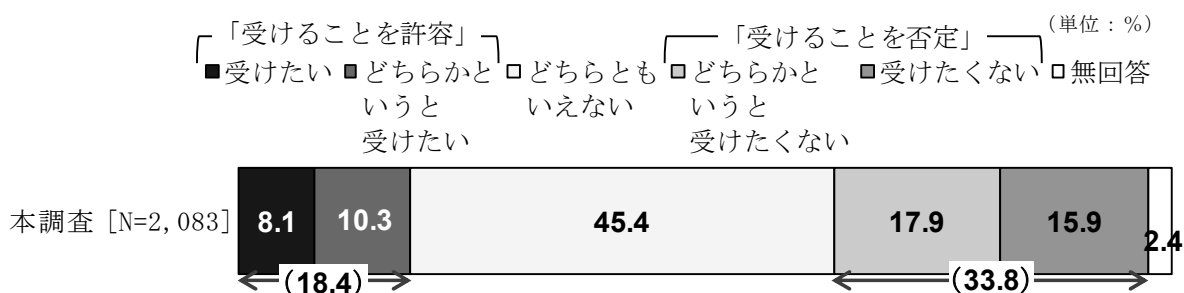
		N	受けたい	たいどちらかという うと受か	を許容すること	いどちらかという えちな	を否定すること	たいどちらかという くうと受か	い受けたくない
本調査	全 体	2,083	24.8	28.0	52.8	32.7	13.1	8.8	4.2
	60～64歳	353	25.5	27.8	53.3	36.3	8.8	6.2	2.5
	65～69歳	406	24.4	29.1	53.4	34.0	11.3	7.1	4.2
	70～74歳	497	24.3	28.8	53.1	32.4	13.7	9.9	3.8
	75～79歳	407	24.8	29.5	54.3	31.4	12.5	8.6	3.9
	80～84歳	242	25.2	25.6	50.8	32.6	16.1	11.6	4.5
	85～89歳	132	23.5	25.8	49.2	28.0	18.2	11.4	6.8
	90歳以上	46	30.4	17.4	47.8	21.7	28.3	13.0	15.2
中年層調査	全 体	1,000	18.7	26.9	45.6	41.4	13.0	6.6	6.4
	40～44歳	287	16.4	27.9	44.3	42.5	13.2	7.3	5.9
	45～49歳	267	17.6	28.5	46.1	41.9	12.0	4.5	7.5
	50～54歳	228	18.0	24.6	42.5	43.0	14.5	6.6	7.9
	55～59歳	218	23.9	26.1	50.0	37.6	12.4	8.3	4.1

イ) 外国人スタッフから受ける介護サービス

外国人スタッフから受ける介護サービスについては、「受けることを許容」（“受けたい”と“どちらかという受けたい”の回答の合計）は 18.4%で、「受けることを否定」（“どちらかという受けたくない”と“受けたくない”の回答の合計）の 33.8%を大きく下回っている。

なお、「どちらともいえない」は 45.4%を占めている。〈図表VI-62〉

〈図表VI-62〉 外国人スタッフから受ける介護サービス



性別にみると、「受けることを許容」は、男性が女性を上回っている。一方、「受けることを否定」は女性の方が男性より高く、総じて、外国人スタッフから受ける介護サービスについては、女性の方が否定傾向となっている。

年齢別にみると、「受けることを許容」は、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。逆に、「受けることを否定」は概ね高年齢層ほど高く、総じて、高年齢層ほど否定傾向が顕著となっている。「受けたくない」に注目すると、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。なお、「どちらともいえない」は高年齢層ほど低くなっている。〈図表VI-63〉

〈図表VI-63〉 外国人スタッフから受ける介護サービス [性・年齢別]

（単位：％）

		N	受けたい	たいどちら受か	を許けること	いどえならいとも	を否けること	たいくうどちら受か	い受けたくない	無回答
全 体		2,083	8.1	10.3	18.4	45.4	33.8	17.9	15.9	2.4
性別	男 性	964	9.0	12.9	21.9	46.2	▲29.8	17.1	▲12.7	2.2
	女 性	1,119	7.3	▲8.1	▲15.5	44.7	37.4	18.6	18.8	2.5
本人年齢別	60～64歳	353	11.6	11.3	22.9	48.7	▲26.6	14.7	▲11.9	1.7
	65～69歳	406	8.9	12.8	21.7	48.3	▲28.3	18.0	▲10.3	1.7
	70～74歳	497	8.9	10.3	19.1	45.3	34.6	15.9	18.7	▲1.0
	75～79歳	407	6.1	8.6	▲14.7	44.7	38.1	20.9	17.2	2.5
	80～84歳	242	5.4	9.9	15.3	42.1	40.5	21.9	18.6	2.1
	85～89歳	132	5.3	8.3	13.6	40.2	37.9	17.4	20.5	8.3
	90歳以上	46	6.5	4.3	10.9	32.6	45.7	17.4	28.3	10.9

世帯年収別にみると、「受けることを許容」は、500～700 万円未満層で高くなっている。〈図表 VI-64〉

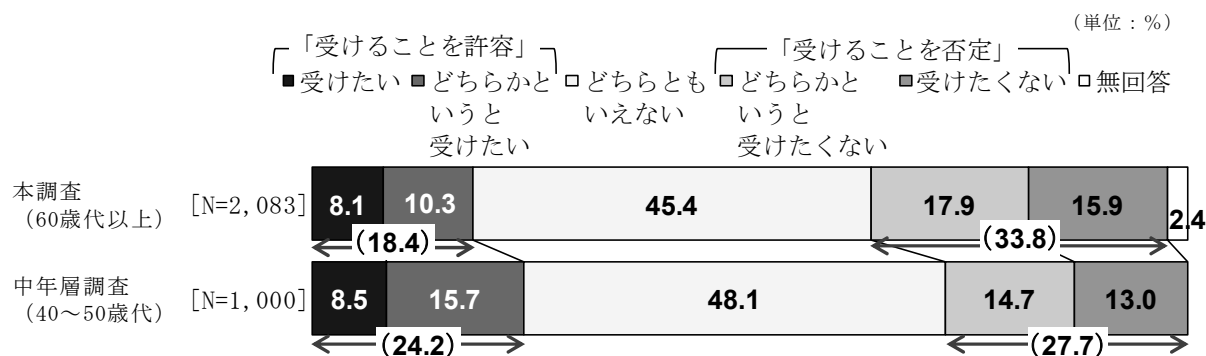
〈図表 VI-64〉 外国人スタッフから受ける介護サービス〔世帯年収別〕

(単位：％)

		N	受 け た い	た い ど い う ち と ら 受 か け と	を 受 け る こ と	い ど え ち な ら い も	を 受 け る こ と	た い ど く う ち な い 受 か け と	い 受 け た く な	無 回 答
全 体		2,083	8.1	10.3	18.4	45.4	33.8	17.9	15.9	2.4
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	10.0	14.0	24.0	44.0	32.0	16.0	16.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	6.8	10.6	17.4	48.6	33.4	19.6	13.8	▲ 0.6
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	5.8	11.9	17.6	48.1	33.6	20.7	12.9	▲ 0.7
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	10.6	14.2	24.8	40.4	32.6	19.9	12.8	2.1
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	7.5	4.5	11.9	53.7	34.3	20.9	13.4	-
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	10.0	16.7	26.7	56.7	▲16.7	6.7	10.0	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	37.5	-	37.5	37.5	12.5	12.5	-	12.5
2,000 万 円 以 上		10	20.0	10.0	30.0	60.0	10.0	10.0	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「受けることを許容」は中年層の 24.2%に比べて、60 歳代以上は 18.4%と 5.8 ポイント下回っている。一方、「受けることを否定」は、中年層の 27.7%に比べて、60 歳代以上は 33.8%と 6.1 ポイント上回っている。（図表VI－65）

〈図表VI－65〉 外国人スタッフから受ける介護サービス 「中年層調査」との比較：参考]



（単位：％）

		N	受けたい	どちらかというくらい受か	を許容すること	いどちらでもない	を否定すること	たいどちらかというくらい受か	い受けたくない
本調査	全 体	2,083	8.1	10.3	18.4	45.4	33.8	17.9	15.9
	60～64歳	353	11.6	11.3	22.9	48.7	26.6	14.7	11.9
	65～69歳	406	8.9	12.8	21.7	48.3	28.3	18.0	10.3
	70～74歳	497	8.9	10.3	19.1	45.3	34.6	15.9	18.7
	75～79歳	407	6.1	8.6	14.7	44.7	38.1	20.9	17.2
	80～84歳	242	5.4	9.9	15.3	42.1	40.5	21.9	18.6
	85～89歳	132	5.3	8.3	13.6	40.2	37.9	17.4	20.5
	90歳以上	46	6.5	4.3	10.9	32.6	45.7	17.4	28.3
中年層調査	全 体	1,000	8.5	15.7	24.2	48.1	27.7	14.7	13.0
	40～44歳	287	8.7	14.3	23.0	49.1	27.9	16.7	11.2
	45～49歳	267	6.7	18.7	25.5	46.8	27.7	12.7	15.0
	50～54歳	228	8.3	14.9	23.2	49.6	27.2	14.0	13.2
	55～59歳	218	10.6	14.7	25.2	46.8	28.0	15.1	12.8

(2) 親の介護

①親の介護の有無

Q30 あなたのご両親は、現在、介護を受けていますか。

- 1 介護を受けている
- 2 介護を受けていない
- 3 すでに他界した

親の介護の有無については、「介護を受けている」が 11.2%、「介護を受けていない」は 8.5%となっている。なお、「すでに他界した」が 78.8%を占めている。〈図表VI-66〉

〈図表VI-66〉 親の介護の有無

(単位：%)

■ 介護を受けている ■ 介護を受けていない □ すでに他界した □ 無回答



性別にみると、「介護を受けていない」は、男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「介護を受けている」は高年齢層ほど低くなっている。ちなみに、「すでに他界した」は高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI-67〉

〈図表VI-67〉 親の介護の有無〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	介護を受けている	介護を受けていない	すでに他界した	無回答
全体		2,083	11.2	8.5	78.8	1.4
性別	男性	964	10.6	9.9	78.0	1.6
	女性	1,119	11.8	▲ 7.4	79.4	1.3
本人年齢別	60～64歳	353	27.8	26.3	▲ 44.2	1.7
	65～69歳	406	20.0	12.1	▲ 66.7	1.2
	70～74歳	497	▲ 7.0	▲ 4.8	87.9	▲ 0.2
	75～79歳	407	▲ 4.2	▲ 2.0	91.9	2.0
	80～84歳	242	▲ 0.8	▲ 1.2	96.7	1.2
	85～89歳	132	▲ 0.8	▲ 0.8	97.0	1.5
	90歳以上	46	-	-	89.1	10.9

世帯年収別にみると、「介護を受けていない」は、高収入層ほど高くなっている傾向がみられる。
 〈図表VI－68〉

〈図表VI－68〉 親の介護の有無〔世帯年収別〕

(単位：％)

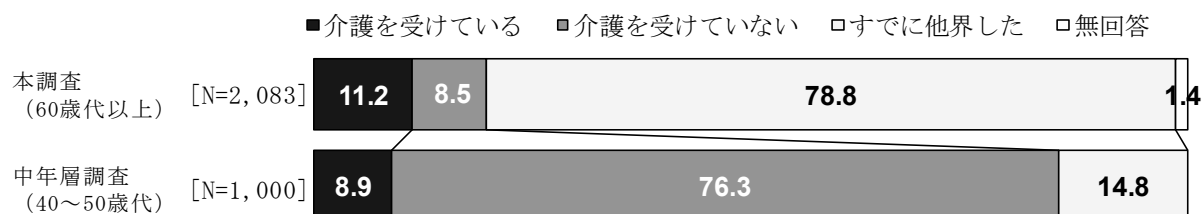
		N	受介 け護 てを い る	受介 け護 てを い ない	他す 界で しに た	無 回 答
全 体		2,083	11.2	8.5	78.8	1.4
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	10.0	4.0	86.0	－
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	10.3	6.1	83.0	0.6
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	13.6	8.5	77.6	0.3
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	12.8	14.9	72.3	－
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	20.9	16.4	▲59.7	3.0
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	6.7	20.0	70.0	3.3
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	37.5	12.5	▲50.0	－
	2,000 万 円 以 上	10	30.0	20.0	▲50.0	－

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「すでに他界した」は 60 歳代以上が中年層を大きく上回っている。

「介護を受けている」は 60 歳代以上が 11.2%、中年層が 8.9%と、大きな差はみられない。〈図表VI-69〉

〈図表VI-69〉 親の介護の有無 「中年層調査」との比較：参考]

(単位：%)



(単位：%)

		N	受 介 け 護 て を い る	受 介 け 護 て を い ない	他 ず 界 で し に た
本 調 査	全 体	2,083	11.2	8.5	78.8
	60～64歳	353	27.8	26.3	44.2
	65～69歳	406	20.0	12.1	66.7
	70～74歳	497	7.0	4.8	87.9
	75～79歳	407	4.2	2.0	91.9
	80～84歳	242	0.8	1.2	96.7
	85～89歳	132	0.8	0.8	97.0
	90歳以上	46	－	－	89.1
中 年 層 調 査	全 体	1,000	8.9	76.3	14.8
	40～44歳	287	4.9	88.5	6.6
	45～49歳	267	7.1	85.4	7.5
	50～54歳	228	8.8	71.9	19.3
	55～59歳	218	16.5	53.7	29.8

②親が要介護状態になることへの経済的不安

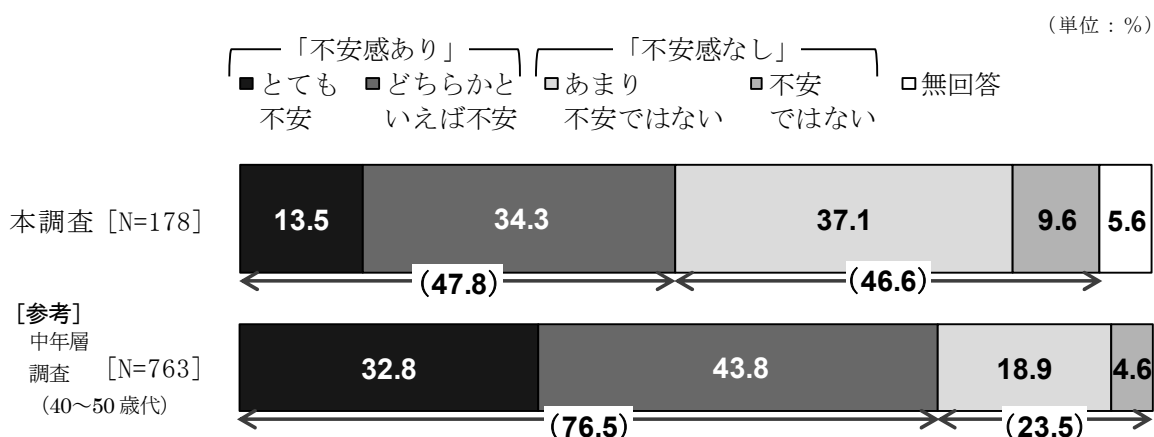
親が介護を受けていないという層に、親が要介護状態になることへの経済的不安について以下の
ように尋ねた。

- Q30SQ** (Q30 で「介護を受けていない」と答えた方へ) あなたはあなたのご両親が要介護状態になる
ことに経済的な不安がありますか。
- 1 とても不安
 - 2 どちらかといえば不安
 - 3 あまり不安ではない
 - 4 不安ではない

その結果、「不安感あり」（“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計）が 47.8%、
「不安感なし」（“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計）が 46.6%と拮抗してい
る。

なお、調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「不
安感あり」は中年層の 76.5%に比べて、60 歳代以上は大きく下回っている（28.7 ポイント差）。〈図
表Ⅵ－70〉

〈図表Ⅵ－70〉 親が要介護状態になることへの経済的不安



③親の介護保障の私的準備状況

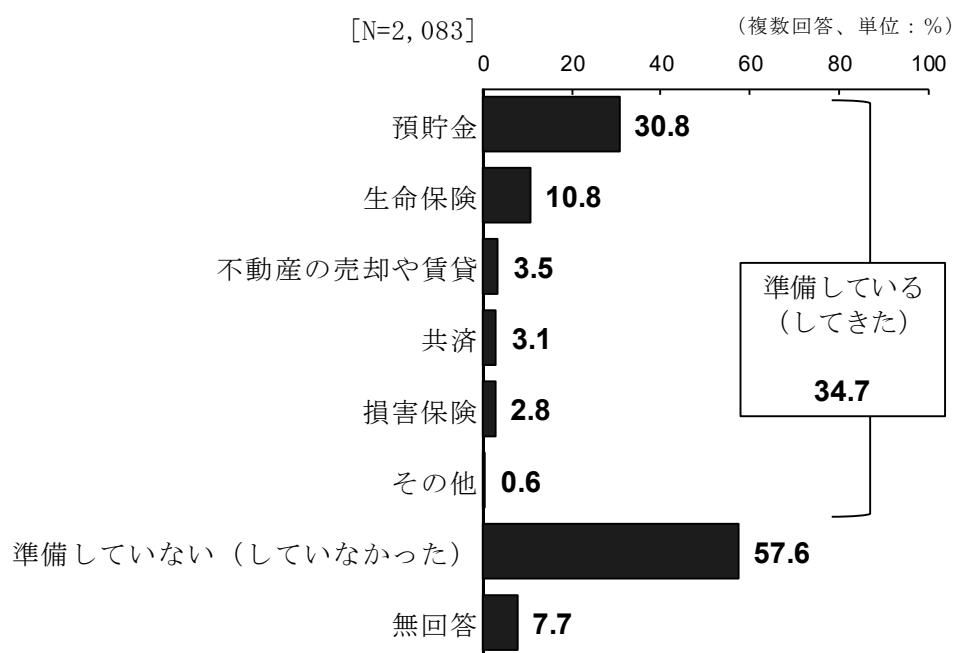
Q31 あなたはあなたのご両親が要介護状態になることに備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（○はいくつでも）

- 1 預貯金
- 2 生命保険
- 3 損害保険
- 4 共済
- 5 不動産の売却や賃貸
- 6 その他
- 7 準備していない（していなかった）

親の介護保障の私的準備状況については、「準備していない（していなかった）」が 57.6%を占めている。

一方、「準備している（してきた）」は 34.7%となっており、具体的な準備状況としては、「預貯金」が 30.8%と最も多く、次いで「生命保険」が 10.8%、「不動産の売却や賃貸」が 3.5%の順となっている。〈図表VI－71〉

〈図表VI－71〉 親の介護保障の私的準備状況



性別にみると、「準備している（してきた）」と、具体的な「預貯金」「生命保険」「共済」「損害保険」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「準備している（してきた）」は、65～69歳で高く、80～84歳で低くなっている。

「生命保険」は65～69歳、「不動産の売却や賃貸」は85～89歳で、それぞれ高くなっている。
 〈図表VI-72〉

〈図表VI-72〉 親の介護保障の私的準備状況〔性・年齢別〕

（複数回答、単位：％）

			預貯金	生命保険	賃貸不動産の売却や	共済	損害保険	その他	（準備している （してきた）	た（準備していない （していない）	無回答
	N										
全 体	2,083		30.8	10.8	3.5	3.1	2.8	0.6	34.7	57.6	7.7
性別											
男 性	964		33.1	13.5	4.0	4.3	4.0	0.5	38.0	55.2	6.8
女 性	1,119		28.8	8.6	2.9	2.1	1.7	0.7	31.8	59.7	8.5
本人年齢別											
60～64歳	353		33.4	9.6	2.0	1.7	1.7	0.8	35.7	60.3	4.0
65～69歳	406		34.2	14.8	3.9	3.9	3.7	1.0	39.4	55.2	5.4
70～74歳	497		33.2	11.7	3.4	2.6	2.2	0.4	37.4	55.3	7.2
75～79歳	407		30.2	7.6	3.2	3.4	2.9	0.2	32.7	57.0	10.3
80～84歳	242		20.2	9.9	3.3	3.7	4.1	1.2	26.0	64.9	9.1
85～89歳	132		24.2	9.1	6.8	3.0	2.3	-	28.0	59.8	12.1
90歳以上	46		32.6	15.2	4.3	6.5	2.2	-	37.0	43.5	19.6

世帯年収別にみると、「準備している（してきた）」は300～700万円未満の各層で高くなっている。一方、「準備していない（していなかった）」は300万円未満の低収入層で高くなっている。

「預貯金」は100万円未満層で低く、300～1,000万円未満層の各層で高くなっている。「不動産の売却や賃貸」は500～700万円未満層、1,000～1,500万円未満層で高くなっている。〈図表VI-73〉

〈図表VI-73〉 親の介護保障の私的準備状況〔世帯年収別〕

（複数回答、単位：％）

			預貯金	生命保険	賃貸不動産の売却や	共済	損害保険	その他	（準備している （してきた）	た（準備していない （していない）	無回答
	N										
全 体	2,083		30.8	10.8	3.5	3.1	2.8	0.6	34.7	57.6	7.7
世帯年収別											
100万円未満	50		14.0	12.0	6.0	2.0	2.0	-	26.0	74.0	-
100～300万円未満	311		28.0	7.7	2.6	3.5	2.6	0.6	31.2	63.3	5.5
300～500万円未満	295		40.0	13.2	2.4	3.1	2.4	1.0	43.7	53.2	3.1
500～700万円未満	141		41.8	10.6	8.5	2.8	3.5	-	46.1	53.2	0.7
700～1,000万円未満	67		41.8	14.9	6.0	3.0	4.5	-	43.3	56.7	-
1,000～1,500万円未満	30		36.7	13.3	10.0	-	3.3	-	40.0	60.0	-
1,500～2,000万円未満	8		50.0	12.5	-	-	-	-	50.0	37.5	12.5
2,000万円以上	10		40.0	20.0	30.0	10.0	10.0	-	50.0	40.0	10.0

世帯保有金融資産別にみると、「準備している（してきた）」は100万円～1億円未満の各層で高資産層ほど高くなっている。

「預貯金」は1,000万円～1億円未満の各層で高くなっている。

「生命保険」「不動産の売却や賃貸」「共済」「損害保険」は5,000万円～1億円未満層で高くなっている。〈図表VI-74〉

〈図表VI-74〉 親の介護保障の私的準備状況〔世帯保有金融資産別〕

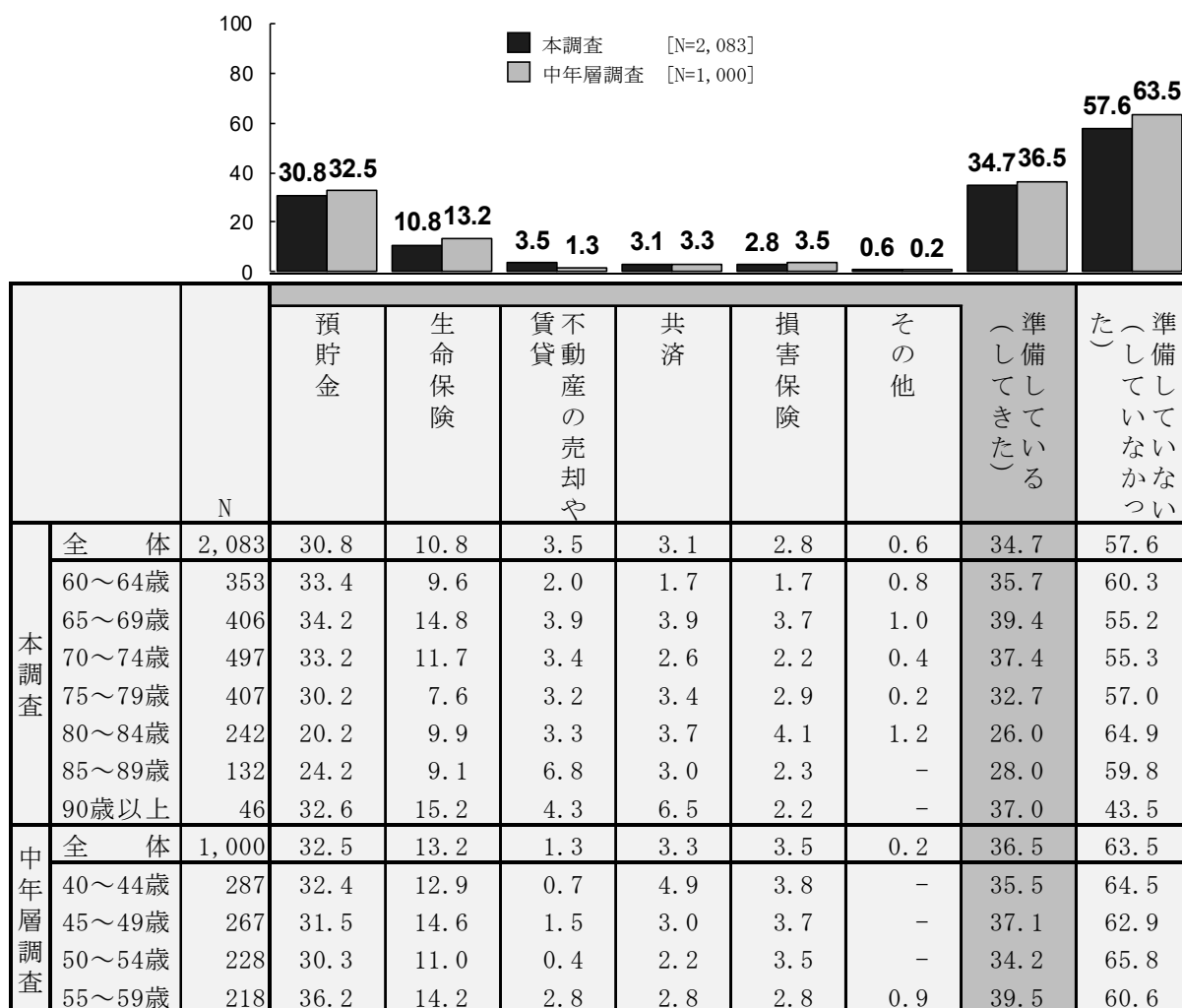
(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	賃貸不動産の売却や	共済	損害保険	その他	準備している (してきた)	準備していない (したくない)	無回答
全 体		2,083	30.8	10.8	3.5	3.1	2.8	0.6	34.7	57.6	7.7
金融資産別 世帯保有	100 万 円 未 満	303	▲24.4	8.9	▲1.0	3.0	1.7	0.3	▲28.4	65.3	6.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	▲26.9	12.1	3.4	4.4	3.8	0.8	32.1	60.2	7.8
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	37.7	10.6	5.1	2.6	2.6	-	40.7	56.0	▲3.3
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	43.0	12.3	4.6	2.0	3.3	1.0	45.7	▲51.3	▲3.0
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	49.6	21.8	9.2	6.7	7.6	-	52.9	▲41.2	5.9
	1 億 円 以 上	23	39.1	8.7	-	-	4.3	-	39.1	60.9	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「準備している（してきた）」は、60 歳代以上と中年層で大きな差はみられない。〈図表VI－75〉

〈図表VI－75〉 親の介護保障の私的準備状況 「中年層調査」との比較：参考

（複数回答、単位：％）



4. 遺族保障

(1) 自分が万一の際の経済的不安

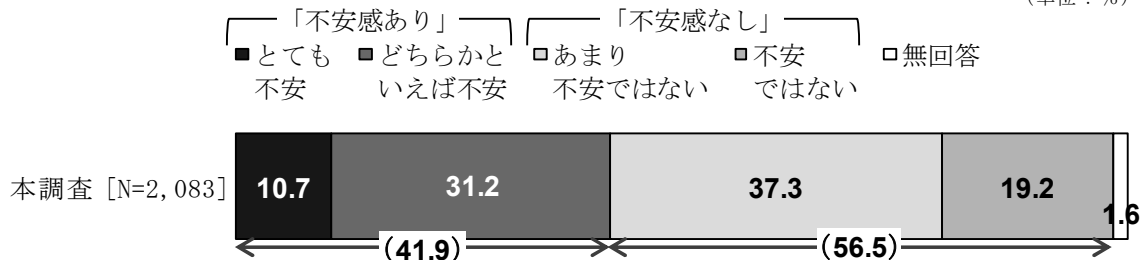
Q32 あなたはご自身の万一の際の、残されたご家族の生活に経済的な不安がありますか。

- 1 とても不安
- 2 どちらかといえば不安
- 3 あまり不安ではない
- 4 不安ではない

自分が万一の際の経済的不安について、「不安感あり」（“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計）は 41.9%となっている。「不安感なし」（“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計）は 56.5%で、「不安感なし」の方が 14.6 ポイント上回っている。〈図表VI-76〉

〈図表VI-76〉 自分が万一の際の経済的不安

（単位：％）



性別にみると、「不安感あり」は男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「不安感あり」は75～79歳で高くなっている。一方、「不安感なし」は80歳以上の層で高くなっている傾向がみられる。また、「不安ではない」に注目すると、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI-77〉

〈図表VI-77〉 自分が万一の際の経済的不安〔性・年齢別〕

（単位：％）

		N	とても不安	どちらかといえば不安	不安感あり	不安感なし	あまり不安ではない	不安ではない	無回答
全 体		2,083	10.7	31.2	41.9	56.5	37.3	19.2	1.6
性別	男 性	964	13.3	34.6	47.9	50.8	35.3	15.6	1.2
	女 性	1,119	8.5	28.2	36.7	61.3	39.0	22.3	2.0
本人年齢別	60～64歳	353	11.6	33.1	44.8	54.1	40.5	13.6	1.1
	65～69歳	406	11.6	32.8	44.3	55.4	38.2	17.2	0.2
	70～74歳	497	9.5	33.8	43.3	55.3	37.4	17.9	1.4
	75～79歳	407	13.0	33.4	46.4	51.8	33.2	18.7	1.7
	80～84歳	242	9.1	25.6	34.7	63.2	39.3	24.0	2.1
	85～89歳	132	9.1	22.7	31.8	62.9	34.8	28.0	5.3
	90歳以上	46	2.2	8.7	10.9	82.6	34.8	47.8	6.5

世帯年収別にみると、「不安感あり」は、概ね低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。この傾向は、「とても不安」でも同様にみられる。〈図表VI-78〉

〈図表VI-78〉 自分が万一の際の経済的不安〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感あり	不安 感なし	であ はま なり い不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		2,083	10.7	31.2	41.9	56.5	37.3	19.2	1.6
世帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	22.0	22.0	44.0	56.0	30.0	26.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	12.2	30.5	42.8	57.2	33.4	23.8	-
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	10.2	34.2	44.4	55.3	41.4	▲13.9	0.3
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	9.9	29.1	39.0	61.0	40.4	20.6	-
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	4.5	34.3	38.8	59.7	40.3	19.4	1.5
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	-	26.7	26.7	73.3	56.7	16.7	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	-	25.0	25.0	62.5	25.0	37.5	12.5
	2,000 万 円 以 上	10	10.0	-	▲10.0	90.0	60.0	30.0	-

世帯保有金融資産別にみると、「不安感あり」は低資産層ほど高く、「不安感なし」は高資産層ほど高くなっている。〈図表VI-79〉

〈図表VI-79〉 自分が万一の際の経済的不安〔世帯保有金融資産別〕

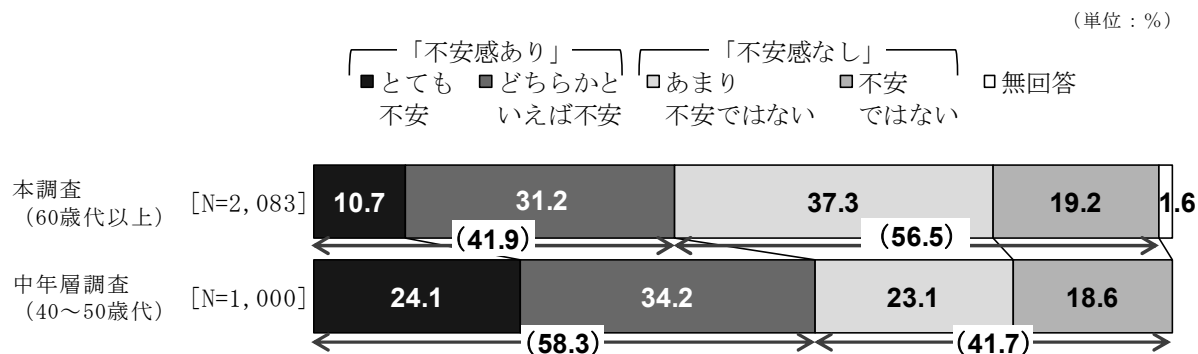
(単位：%)

		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感あり	不安 感なし	であ はま なり い不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		2,083	10.7	31.2	41.9	56.5	37.3	19.2	1.6
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	303	23.1	35.0	58.1	▲41.3	▲24.4	16.8	0.7
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	12.7	37.0	49.7	▲48.6	▲32.4	▲16.1	1.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	▲5.1	31.5	36.6	63.4	46.9	16.5	-
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	▲6.3	▲25.5	▲31.8	67.5	45.0	22.5	0.7
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	▲0.8	▲20.2	▲21.0	77.3	52.1	25.2	1.7
	1 億 円 以 上	23	-	13.0	▲13.0	87.0	52.2	34.8	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「不安感あり」は、60 歳代以上では、中年層（58.3%）に比べて 16.4 ポイント下回っている。

「不安感なし」の方が大きく上回っている 65 歳以上に比べ、中年層では逆に、「不安感あり」が「不安感なし」を上回っている。〈図表VI－80〉

〈図表VI－80〉 自分が万一の際の経済的不安 「中年層調査」との比較：参考]



(単位：%)

		N	とても不安	どちらかといえば不安	不安感あり	不安感なし	ではまなり不安	では不安ない
本調査	全 体	2,083	10.7	31.2	41.9	56.5	37.3	19.2
	60～64歳	353	11.6	33.1	44.8	54.1	40.5	13.6
	65～69歳	406	11.6	32.8	44.3	55.4	38.2	17.2
	70～74歳	497	9.5	33.8	43.3	55.3	37.4	17.9
	75～79歳	407	13.0	33.4	46.4	51.8	33.2	18.7
	80～84歳	242	9.1	25.6	34.7	63.2	39.3	24.0
	85～89歳	132	9.1	22.7	31.8	62.9	34.8	28.0
	90歳以上	46	2.2	8.7	10.9	82.6	34.8	47.8
中年層調査	全 体	1,000	24.1	34.2	58.3	41.7	23.1	18.6
	40～44歳	287	26.1	35.5	61.7	38.3	23.0	15.3
	45～49歳	267	27.7	34.5	62.2	37.8	19.9	18.0
	50～54歳	228	21.1	33.8	54.8	45.2	24.6	20.6
	55～59歳	218	20.2	32.6	52.8	47.2	25.7	21.6

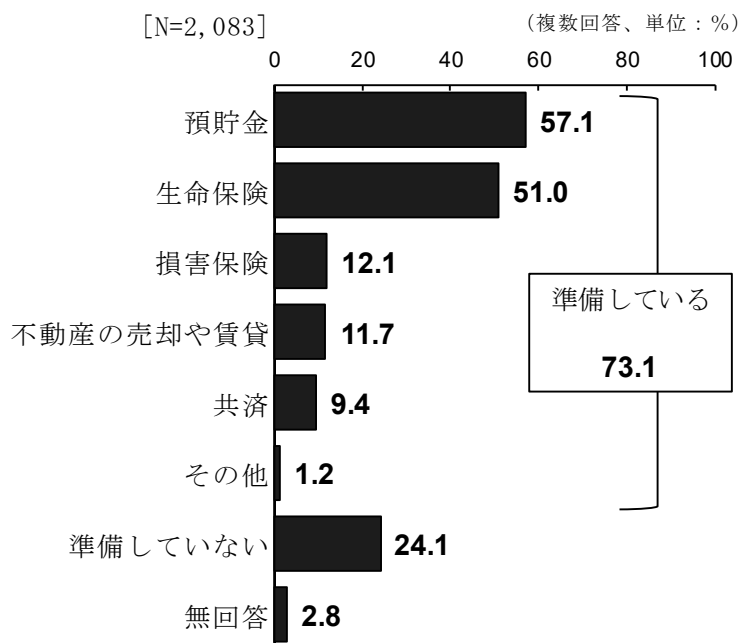
(2) 遺族保障の私的準備状況

Q33 あなたはご自身の万一の際の、残されたご家族の生活に備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（〇はいくつでも）

- 1 預貯金
- 2 生命保険
- 3 損害保険
- 4 共済
- 5 不動産の売却や賃貸
- 6 その他
- 7 準備していない

遺族保障の準備状況については、「準備している」が 73.1%となっている。具体的な準備状況としては、「預貯金」が 57.1%と最も多く、次いで「生命保険」の 51.0%が 5 割以上となっている。以下、「損害保険」が 12.1%、「不動産の売却や賃貸」が 11.7%、「共済」が 9.4%の順となっている。「準備していない」は 24.1%となっている。〈図表VI－81〉

〈図表VI－81〉 遺族保障の私的準備状況



性別にみると、「準備している」と、具体的な「預貯金」「損害保険」「不動産の売却や賃貸」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「準備している」は、74歳以下の各層で高く、80歳以上の各層で低くなっている。「生命保険」は概ね高齢層ほど低くなっている傾向がみられる。〈図表VI-82〉

〈図表VI-82〉 遺族保障の私的準備状況〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	損害保険	賃貸不動産の売却や	共済	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	57.1	51.0	12.1	11.7	9.4	1.2	73.1	24.1	2.8
性別	男 性	964	60.3	53.0	15.5	13.8	10.6	2.2	76.1	21.9	2.0
	女 性	1,119	54.3	49.2	9.3	9.9	8.4	0.4	70.5	25.9	3.6
本人年齢別	60～64歳	353	58.6	57.8	11.0	7.4	10.2	1.4	78.2	19.8	2.0
	65～69歳	406	59.4	59.6	15.3	10.8	12.1	1.7	77.1	20.9	2.0
	70～74歳	497	59.4	54.5	11.5	13.3	11.9	0.8	77.1	21.5	1.4
	75～79歳	407	52.8	47.2	14.0	13.0	7.6	1.0	69.8	26.5	3.7
	80～84歳	242	52.1	39.3	9.9	14.0	4.5	2.1	63.2	32.6	4.1
	85～89歳	132	59.1	35.6	9.8	13.6	5.3	0.8	65.2	28.0	6.8
	90歳以上	46	58.7	23.9	2.2	6.5	6.5	-	60.9	32.6	6.5

世帯年収別にみると、「準備している」は300万円未満の低収入層で低く、300～700万円未満の各層で、高くなっている。

「預貯金」「生命保険」「不動産の売却や賃貸」は、概ね高収入層ほど高くなっている。〈図表VI-83〉

〈図表VI-83〉 遺族保障の私的準備状況〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	損害保険	賃貸不動産の売却や	共済	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	57.1	51.0	12.1	11.7	9.4	1.2	73.1	24.1	2.8
世帯年収別	100万円未満	50	24.0	26.0	4.0	2.0	6.0	2.0	44.0	54.0	2.0
	100～300万円未満	311	48.6	46.6	9.6	6.8	9.0	0.3	65.3	34.4	0.3
	300～500万円未満	295	69.2	63.1	14.2	13.2	10.2	1.0	83.7	15.3	1.0
	500～700万円未満	141	72.3	60.3	16.3	22.0	12.8	3.5	88.7	11.3	-
	700～1,000万円未満	67	74.6	64.2	16.4	17.9	14.9	1.5	82.1	16.4	1.5
	1,000～1,500万円未満	30	73.3	70.0	16.7	33.3	6.7	-	83.3	16.7	-
	1,500～2,000万円未満	8	87.5	75.0	25.0	12.5	12.5	12.5	87.5	-	12.5
	2,000万円以上	10	100.0	60.0	10.0	40.0	30.0	10.0	100.0	-	-

世帯保有金融資産別にみると、いずれの準備手段も高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。
 〈図表VI－84〉

〈図表VI－84〉 遺族保障の私的準備状況〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

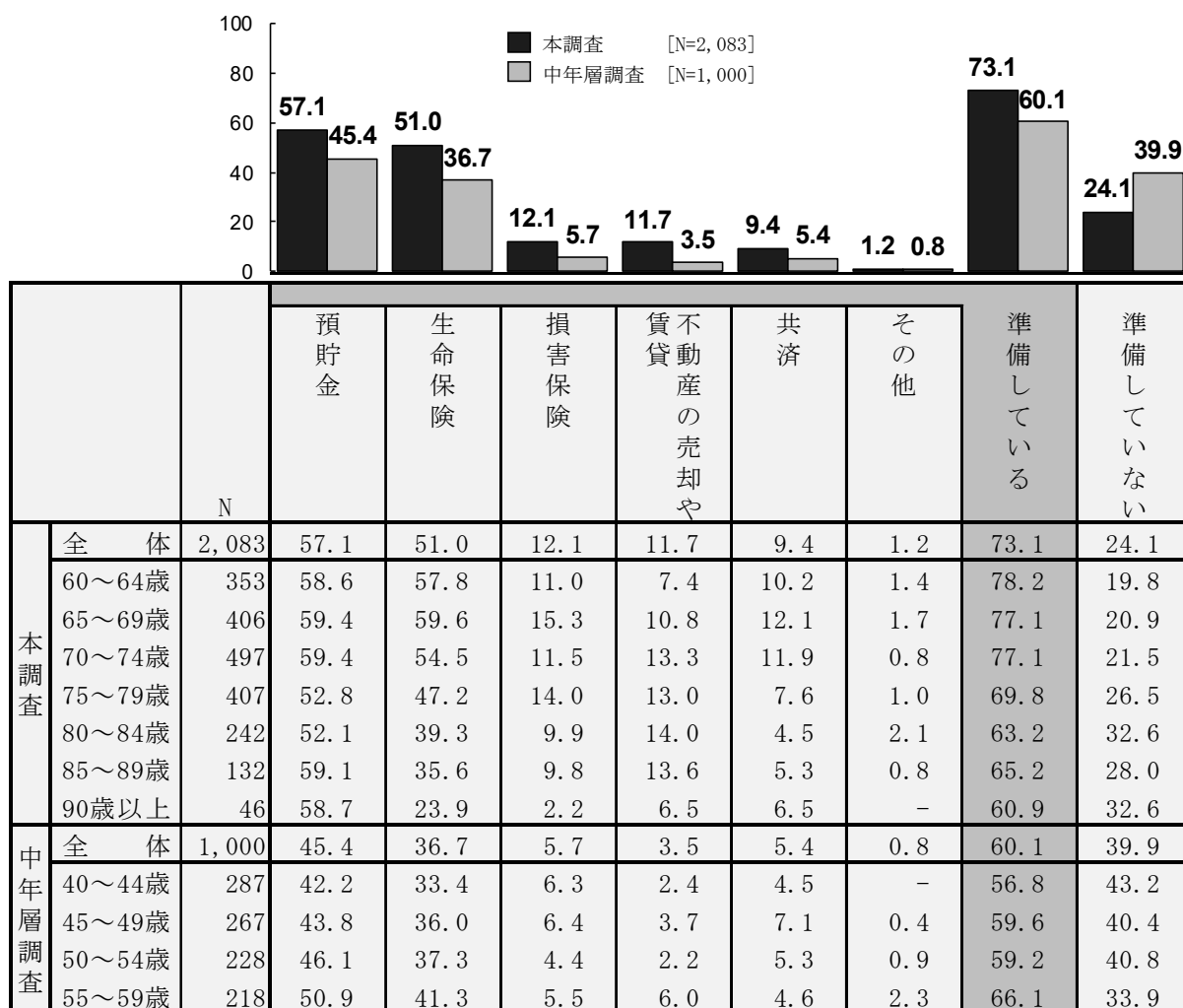
			預貯金	生命保険	損害保険	賃貸不動産の売却や	共済	その他	準備している	準備していない	無回答
		N									
全 体		2,083	57.1	51.0	12.1	11.7	9.4	1.2	73.1	24.1	2.8
金融資産別 世帯保有	100 万 円 未 満	303	▲35.3	▲35.6	▲ 7.9	▲ 5.6	7.6	－	▲54.8	○44.2	▲ 1.0
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	53.5	54.5	13.1	12.0	11.0	0.9	76.1	22.0	1.9
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	○74.4	55.7	14.3	14.7	8.4	1.1	○85.0	▲13.9	1.1
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	○81.8	○65.9	15.2	○16.6	10.9	○2.6	○90.7	▲ 8.9	▲ 0.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	○86.6	○69.7	○21.0	○22.7	12.6	○5.0	○90.8	▲ 7.6	1.7
	1 億 円 以 上	23	○100.0	○73.9	21.7	○30.4	13.0	○13.0	○100.0	－	－

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「準備している」は、60 歳代以上が中年層を 13.0 ポイント上回っている。

具体的な準備として、60 歳代以上が中年層を大きく上回っているのは「生命保険」「預貯金」であり、それぞれ 14.3 ポイント差、11.7 ポイント差となっている。(図表VI-85)

〈図表VI-85〉 遺族保障の私的準備状況 「中年層調査」との比較：参考

(複数回答、単位：%)



5. しておけばよかったと思う保障準備

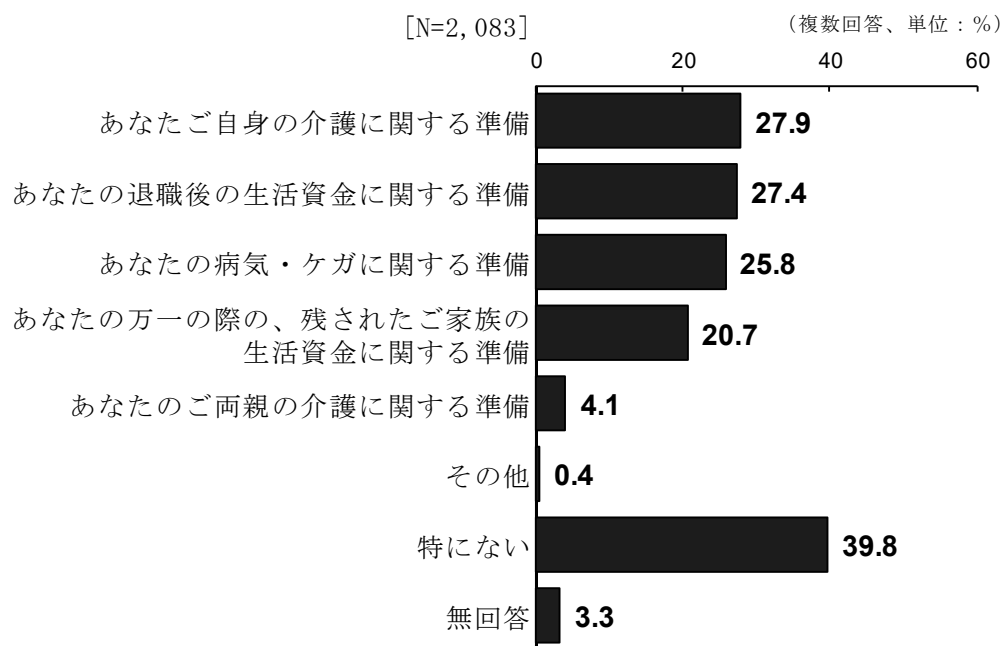
Q34 あなたは、今振り返って、経済的な準備を（もっと）しておけばよかったと思うものはありますか。
この中からすべてお答えください。（〇はいくつでも）

- 1 あなたの退職後の生活資金に関する準備
- 2 あなたの病気・ケガに関する準備
- 3 あなたご自身の介護に関する準備
- 4 あなたのご両親の介護に関する準備
- 5 あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備
- 6 その他
- 7 特にない

しておけばよかったと思う保障準備については、「特にない」が 39.8%を占めている。

具体的な保障準備としては、「あなたご自身の介護に関する準備」が 27.9%と最も多く、次いで「あなたの退職後の生活資金に関する準備」が 27.4%、「あなたの病気・ケガに関する準備」が 25.8%、「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」が 20.7%の順となっている。〈図表VI-86〉

〈図表VI-86〉 おしておけばよかったと思う保障準備



性別にみると、「あなたの退職後の生活資金に関する準備」「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」は、男性の方が女性より高くなっている。一方、「特にない」は女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「あなたの退職後の生活資金に関する準備」は60歳代で高く、高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。また、「あなたのご両親の介護に関する準備」も、高年齢層ほど低くなっている。

「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」は、75～79歳で高くなっている。

「特にない」は、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。 〈図表VI－87〉

〈図表VI－87〉 しておけばよかったと思う保障準備〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：％)

		N	あなたのご自身の介護に関する準備	あなたの退職後の生活資金に関する準備	あなたの病気・ケガに関する準備	残されたご家族の生活資金に関する準備	あなたのご両親の介護に関する準備	その他	特にない	無回答
全 体		2,083	27.9	27.4	25.8	20.7	4.1	0.4	39.8	3.3
性別	男 性	964	26.8	33.9	27.4	28.5	4.8	0.2	35.2	2.9
	女 性	1,119	29.0	21.7	24.5	13.9	3.5	0.6	43.7	3.6
本人年齢別	60～64歳	353	24.6	35.7	23.2	19.8	10.5	0.3	35.7	2.0
	65～69歳	406	26.4	35.5	23.6	19.0	5.4	0.7	35.5	1.5
	70～74歳	497	30.2	28.0	29.2	22.1	2.8	0.4	40.4	1.8
	75～79歳	407	29.7	21.4	27.0	25.1	2.0	0.5	39.1	4.4
	80～84歳	242	28.1	18.6	26.9	20.2	1.2	0.4	44.6	5.0
	85～89歳	132	32.6	18.9	27.3	14.4	0.8	－	43.2	8.3
	90歳以上	46	13.0	8.7	8.7	8.7	－	－	71.7	10.9

世帯年収別にみると、「あなたご自身の介護に関する準備」「あなたの病気・ケガに関する準備」は、100万円未満層を除き、低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」は、300～500万円未満層で高くなっている。〈図表VI－88〉

〈図表VI－88〉 しておけばよかったと思う保障準備〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：％)

		N	あなたご自身の介護に関する準備	あなたに退る職後の生活資金に関する準備	あなたの病気・ケガに関する準備	残されたご家族の生活資金に関する準備	あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備	あなたのご両親の介護に関する準備	その他	特にない	無回答
全 体		2,083	27.9	27.4	25.8	20.7	4.1	0.4	39.8	3.3	
世帯年収別	100万円未満	50	22.0	26.0	26.0	26.0	8.0	－	46.0	2.0	
	100～300万円未満	311	33.4	23.8	33.1	18.3	4.8	0.3	39.5	▲1.3	
	300～500万円未満	295	25.1	29.8	26.8	25.1	3.4	1.4	38.6	▲1.0	
	500～700万円未満	141	23.4	28.4	20.6	20.6	4.3	0.7	46.1	0.7	
	700～1,000万円未満	67	23.9	31.3	▲11.9	19.4	7.5	－	49.3	1.5	
	1,000～1,500万円未満	30	16.7	▲6.7	▲3.3	20.0	－	－	63.3	－	
	1,500～2,000万円未満	8	37.5	－	－	25.0	－	－	50.0	12.5	
	2,000万円以上	10	20.0	－	10.0	10.0	10.0	－	60.0	－	

世帯保有金融資産別にみると、「あなたのご両親の介護に関する準備」を除くすべての準備で低資産層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI－89〉

〈図表VI－89〉 しておけばよかったと思う保障準備〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：％)

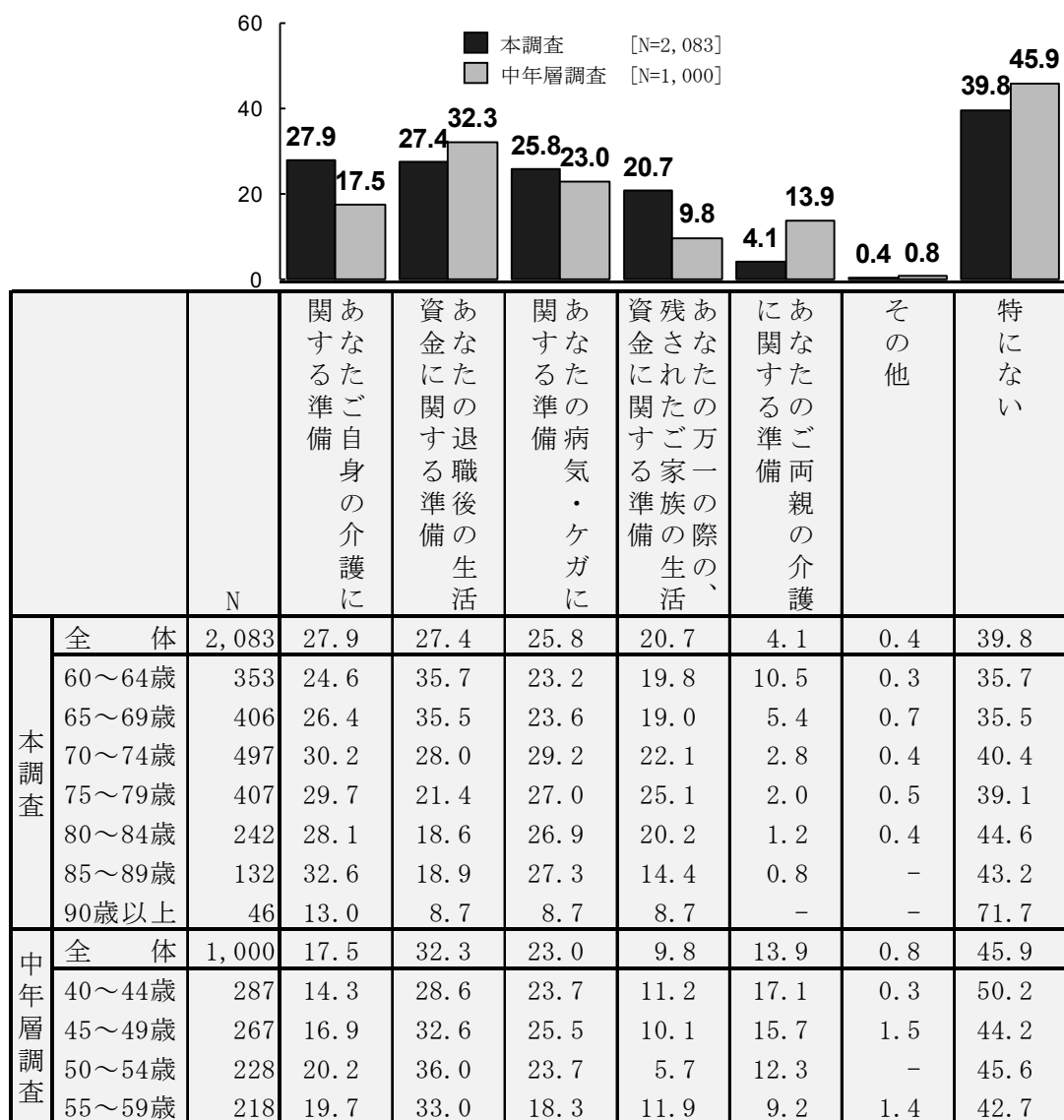
		N	あなたご自身の介護に関する準備	あなたに退る職後の生活資金に関する準備	あなたの病気・ケガに関する準備	残されたご家族の生活資金に関する準備	あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備	あなたのご両親の介護に関する準備	その他	特にない	無回答
全 体		2,083	27.9	27.4	25.8	20.7	4.1	0.4	39.8	3.3	
金融資産別	100万円未満	303	33.7	32.3	35.6	29.4	4.6	1.0	▲26.7	1.7	
	100～1,000万円未満	527	32.4	37.6	30.2	25.2	5.7	0.4	▲31.3	▲1.7	
	1,000～2,000万円未満	273	30.8	30.0	23.4	16.5	4.8	0.4	41.8	1.8	
	2,000～5,000万円未満	302	▲22.8	▲18.9	▲19.5	19.9	2.3	0.3	51.3	▲0.7	
	5,000万円～1億円未満	119	21.8	▲10.1	18.5	▲8.4	3.4	0.8	60.5	1.7	
	1億円以上	23	▲8.7	▲8.7	▲4.3	－	4.3	－	73.9	4.3	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上の方が中年層を大きく上回っているのは「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」「あなたご自身の介護に関する準備」で、それぞれ 10.9 ポイント差、10.4 ポイント差となっている。

一方、中年層の方が 60 歳代以上を大きく上回っているのは「あなたのご両親の介護に関する準備」で、9.8 ポイント差となっている。〈図表VI-90〉

〈図表VI-90〉 しておけばよかったと思う保障準備 「[中年層調査]との比較：参考」

(複数回答、単位：%)



第VII章 長寿社会に対する意識

ここでは、長寿社会の到来に係る価値観について、捉えている。

1. 何歳まで生きたいと思うか

Q20 人生100年時代の到来も間近といわれていますが、あなたは何歳まで生きたいと思いますか。

- 1 69歳以下
- 2 70歳代
- 3 80歳代
- 4 90歳代
- 5 100歳以上

何歳まで生きたいと思うかについては、「80歳代」が53.9%と最も多く、次いで、「90歳代」が30.6%の順となっている。これに「100歳以上」(6.0%)を加えると、80歳代以上で約9割を占めている。〈図表VII-1〉

〈図表VII-1〉 何歳まで生きたいと思うか

(単位：%)



性別にみると、特に差がみられない。

年齢別にみると、「80歳代」は74歳以下の層で高くなっている。一方、「90歳代」「100歳以上」は、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VII-2〉

〈図表VII-2〉 何歳まで生きたいと思うか〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	無回答
全 体		2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0	2.8
性別	男 性	964	0.3	6.7	54.7	29.3	6.7	2.3
	女 性	1,119	0.4	5.8	53.3	31.8	5.5	3.3
本人年齢別	60～64歳	353	1.7	13.9	60.3	▲18.1	▲3.7	2.3
	65～69歳	406	0.2	11.8	62.8	▲18.5	▲3.9	2.7
	70～74歳	497	—	5.4	63.4	▲26.8	▲2.8	1.6
	75～79歳	407	—	▲1.5	58.0	31.2	6.9	2.5
	80～84歳	242	—	—	▲38.0	51.2	8.3	2.5
	85～89歳	132	—	—	▲9.1	69.7	12.9	8.3
	90歳以上	46	—	—	—	50.0	39.1	10.9

本人年収別にみると、特に差はみられない。〈図表Ⅶ－3〉

〈図表Ⅶ－3〉 何歳まで生きたいと思うか〔本人年収別〕

(単位：％)

		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	無回答
	全 体	2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0	2.8
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	0.3	6.2	51.4	30.1	7.9	4.1
	100 万 円 未 満	435	0.7	7.6	54.7	30.3	4.6	2.1
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	0.2	5.6	55.4	31.1	5.7	▲ 2.1
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	－	8.1	55.6	26.7	5.9	3.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	－	－	56.0	36.0	4.0	4.0
	2,000 万 円 以 上	13	－	－	38.5	46.2	15.4	－

世帯保有金融資産別にみると、「80 歳代」は 100～2,000 万円未満の各層で高くなっている。また、「90 歳代」は 2,000～5,000 万円未満層で高く、100～1,000 万円未満層で低くなっている。

一方、「69 歳以下」「70 歳代」は 100 万円未満層で、高くなっている傾向がみられる。〈図表Ⅶ－4〉

〈図表Ⅶ－4〉 何歳まで生きたいと思うか〔世帯保有金融資産別〕

(単位：％)

		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	無回答
	全 体	2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0	2.8
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	303	○1.0	○10.2	51.2	29.0	6.9	1.7
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	－	6.5	○58.4	▲26.8	6.1	2.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	0.4	4.8	○61.2	28.6	3.7	1.5
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	－	4.0	51.7	○37.4	6.0	▲1.0
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	－	5.0	56.3	33.6	4.2	0.8
	1 億 円 以 上	23	－	4.3	43.5	39.1	13.0	－

家族形態別にみると、「80 歳代」は夫婦と子のみで高く、単身層で低くなっている。一方、「100 歳以上」は自分（夫婦）と子と孫の層で高く、夫婦と子のみで低くなっている。〈図表Ⅶ－5〉

〈図表Ⅶ－5〉 何歳まで生きたいと思うか〔家族形態別〕

(単位：％)

		N	69歳 以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳 以上	無回答
	全 体	2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0	2.8
家 族 形 態 別	単 身	333	0.9	7.5	▲48.3	33.0	6.9	3.3
	夫 婦 の み	773	0.3	5.4	54.1	31.2	5.7	3.4
	2 世 代 世 帯	424	0.2	6.4	61.1	27.4	▲3.8	▲1.2
	夫 婦 と 子 の み	354	0.3	6.5	60.5	27.7	▲3.7	1.4
	親と自分（夫婦）のみ	70	－	5.7	64.3	25.7	4.3	－
	3 世 代 世 帯	227	－	5.7	53.7	28.2	8.8	3.5
	自分（夫婦）と子と孫	195	－	5.1	51.8	29.7	9.7	3.6
	親と自分（夫婦）と子 そ の 他	32 299	－ －	9.4 7.0	65.6 51.5	18.8 33.1	3.1 6.7	3.1 1.7

客観的健康状態別にみると、「80 歳代」は、差し支えなし層で高く、健康状態が悪化するにつれて低くなっている傾向がみられる。一方、「90 歳代」「100 歳以上」は、大いに差し支えあり層で高くなっている。〈図表Ⅶ－6〉

〈図表Ⅶ－6〉 何歳まで生きたいと思うか〔客観的健康状態別〕

(単位：％)

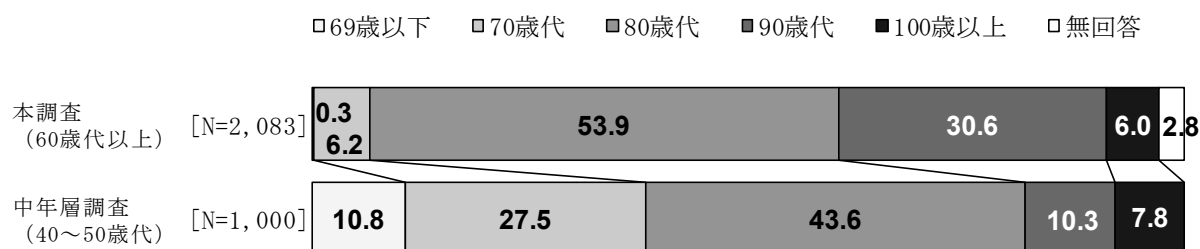
		N	69歳 以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳 以上	無回答
	全 体	2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0	2.8
客 観 的 健 康 状 態 別	差 し 支 え な し	925	－	5.5	56.3	31.0	5.5	▲1.6
	ほんの少し差し支えあり	669	0.3	6.9	54.1	30.2	4.8	3.7
	差 し 支 え あ り	303	1.0	6.6	54.8	26.4	7.9	3.3
	大 い に 差 し 支 え あ り	125	0.8	5.6	▲39.2	39.2	12.0	3.2

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、60 歳代以上が中年層を大きく上回っているのは「80 歳代」と「90 歳代」で、それぞれ 10.3 ポイント差、20.3 ポイント差となっている。一方、「70 歳代」は中年層が 27.5%と 60 歳代以上の 6.2%を大きく上回っている（21.3 ポイント差）。

総じて、中年層に比べて、60 歳代以上はより高年齢まで長生きしたいと思っている傾向がみられる〈図表Ⅶ－7〉

〈図表Ⅶ－7〉 何歳まで生きたいと思うか 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）



（単位：％）

		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上
本調査	全 体	2,083	0.3	6.2	53.9	30.6	6.0
	60～64歳	353	1.7	13.9	60.3	18.1	3.7
	65～69歳	406	0.2	11.8	62.8	18.5	3.9
	70～74歳	497	－	5.4	63.4	26.8	2.8
	75～79歳	407	－	1.5	58.0	31.2	6.9
	80～84歳	242	－	－	38.0	51.2	8.3
	85～89歳	132	－	－	9.1	69.7	12.9
	90歳以上	46	－	－	－	50.0	39.1
中年層調査	全 体	1,000	10.8	27.5	43.6	10.3	7.8
	40～44歳	287	15.0	25.1	38.7	11.2	10.1
	45～49歳	267	10.5	28.1	44.9	8.6	7.9
	50～54歳	228	8.8	27.6	46.5	9.6	7.5
	55～59歳	218	7.8	29.8	45.4	11.9	5.0

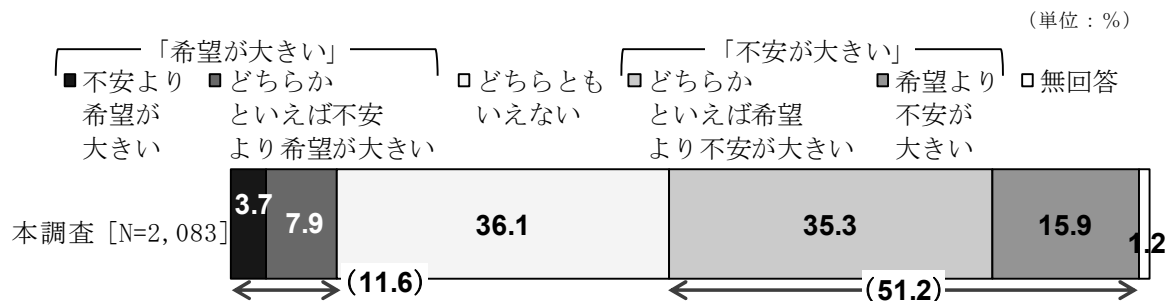
2. 長寿社会への不安感

Q21 人生 100 年時代の到来に対し、あなたは希望と不安どちらのほうが大きいですか。

- 1 不安より希望が大きい
- 2 どちらかといえば不安より希望が大きい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば希望より不安が大きい
- 5 希望より不安が大きい

人生 100 年時代の到来に対しては、「不安が大きい」（“どちらかといえば希望より不安が大きい”と“希望より不安が大きい”の回答の合計）が 51.2%と半数を超え、「希望が大きい」（“不安より希望が大きい”と“どちらかといえば不安より希望が大きい”の回答の合計）の 11.6%を大きく上回っている。「どちらともいえない」は 36.1%で 4 割弱となっている。〈図表Ⅶ－8〉

〈図表Ⅶ－8〉 長寿社会への不安感



性別にみると、「不安が大きい」は男性に比べて女性で高くなっている。逆に、「希望が大きい」は男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「不安が大きい」は高年齢層になるほど低くなっている傾向がみられる。ちなみに、「希望が大きい」は 85～89 歳で 18.2%、90 歳以上で 23.9%と 2 割前後を占めている。〈図表Ⅶ－9〉

〈図表Ⅶ－9〉 長寿社会への不安感〔性・年齢別〕

（単位：％）

		N	不安より希望が大きい	どちらかといえば不安より希望が大きい	希望が大きい	どちらともいえない	不安が大きい	どちらかといえば希望より不安が大きい	希望より不安が大きい	無回答
全 体		2, 083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9	1.2
性別	男 性	964	3.9	9.6	13.6	37.8	47.4	33.2	14.2	1.2
	女 性	1, 119	3.5	6.3	9.8	34.6	54.5	37.2	17.3	1.1
本人年齢別	60～64歳	353	2.8	7.6	10.5	34.3	54.1	35.7	18.4	1.1
	65～69歳	406	3.2	7.1	10.3	33.7	54.7	36.7	18.0	1.2
	70～74歳	497	3.2	7.0	10.3	36.4	51.9	40.0	11.9	1.4
	75～79歳	407	2.9	7.6	10.6	37.3	51.4	35.9	15.5	0.7
	80～84歳	242	3.7	9.9	13.6	36.8	49.2	32.6	16.5	0.4
	85～89歳	132	7.6	10.6	18.2	37.9	41.7	23.5	18.2	2.3
	90歳以上	46	15.2	8.7	23.9	45.7	28.3	13.0	15.2	2.2

本人年収別にみると、「不安が大きい」は低収入層ほど高くなっている。逆に、概ね高収入層になるほど、「希望が大きい」は高くなっている傾向がみられ、1,000万円以上の層では「不安が大きい」よりも「希望が大きい」が多くなっている。〈図表Ⅶ－10〉

〈図表Ⅶ－10〉 長寿社会への不安感〔本人年収別〕

(単位：％)

		N	不安が 大きい より 希望が	がばど 大不安 ちらか いより と希 い望え	希望が 大きい	など いちら とも いえ	不安が 大きい	がばど 大希望 ちらか いより と不 いい え	大希望 いより 不安が	無 回 答
全 体		2,083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9	1.2
本人 年 収 別	収 入 は な い	292	3.4	▲ 4.5	▲ 7.9	33.9	57.2	33.6	23.6	1.0
	100 万 円 未 満	435	2.8	▲ 4.4	▲ 7.1	36.3	55.9	39.1	16.8	0.7
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	3.3	9.0	12.3	35.5	50.8	36.2	14.6	1.3
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	4.4	14.8	19.3	43.7	▲ 36.3	30.4	▲ 5.9	0.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	16.0	16.0	32.0	44.0	▲ 24.0	▲ 12.0	12.0	-
	2,000 万 円 以 上	13	30.8	23.1	53.8	▲ 7.7	38.5	30.8	7.7	-

世帯保有金融資産別にみると、「不安が大きい」は100～1,000万円未満層で高く、高資産層になるほど低くなっている。〈図表Ⅶ－11〉

〈図表Ⅶ－11〉 長寿社会への不安感〔世帯保有金融資産別〕

(単位：％)

		N	不安が 大きい より 希望が	がばど 大不安 ちらか いより と希 い望え	希望が 大きい	など いちら とも いえ	不安が 大きい	がばど 大希望 ちらか いより と不 いい え	大希望 いより 不安が	無 回 答
全 体		2,083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9	1.2
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	303	3.0	6.3	9.2	34.3	55.8	31.7	24.1	0.7
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	4.6	7.0	11.6	▲ 31.1	56.2	39.8	16.3	1.1
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	1.8	9.9	11.7	36.3	50.9	37.7	13.2	1.1
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	2.3	10.3	12.6	40.4	▲ 45.7	33.4	12.3	1.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	4.2	13.4	17.6	42.9	▲ 39.5	31.9	▲ 7.6	-
	1 億 円 以 上	23	8.7	21.7	30.4	39.1	▲ 30.4	30.4	-	-

家族形態別にみると、「不安が大きい」は親と自分（夫婦）のみの層で高くなっている。〈図表Ⅶ－12〉

〈図表Ⅶ－12〉 長寿社会への不安感〔家族形態別〕

（単位：％）

		N	不安 が 大きい より 希望 が	がばど ち 不安 ら い より 希 い 望 え	希 望 が 大 き い	な ど い ち ら と も い え	不 安 が 大 き い	がばど ち 大 き い より と 不 い 安 え	大 希 望 い より 不 安 が	無 回 答
全 体		2,083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9	1.2
家 族 形 態 別	単 身	333	2.4	6.6	9.0	38.7	51.7	34.2	17.4	0.6
	夫 婦 の み	773	3.9	7.8	11.6	37.4	49.3	34.0	15.3	1.7
	2 世 代 世 帯	424	3.5	9.2	12.7	▲31.1	55.4	39.2	16.3	0.7
	夫 婦 と 子 の み	354	3.7	9.0	12.7	32.5	54.0	38.4	15.5	0.8
	親と自分（夫婦）のみ	70	2.9	10.0	12.9	▲24.3	62.9	42.9	20.0	-
	3 世 代 世 帯	227	5.7	7.9	13.7	35.7	49.3	35.2	14.1	1.3
	自分（夫婦）と子と孫	195	6.2	8.7	14.9	36.9	46.7	32.8	13.8	1.5
	親と自分（夫婦）と子 そ の 他	32 299	3.1 3.3	3.1 7.4	6.3 10.7	28.1 37.5	65.6 51.2	50.0 35.1	15.6 16.1	- 0.7

客観的健康状態別にみると、「不安が大きい」は差し支えあり層で高く、差し支えなし層で低くなっている。〈図表Ⅶ－13〉

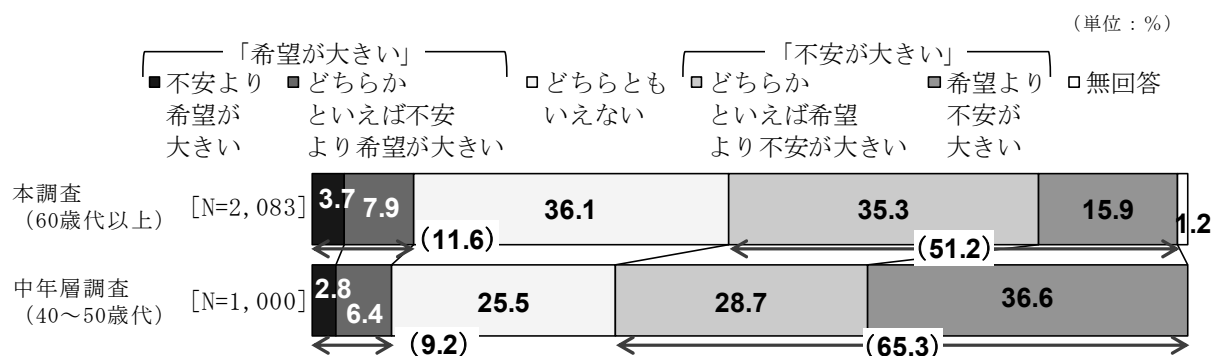
〈図表Ⅶ－13〉 長寿社会への不安感〔客観的健康状態別〕

（単位：％）

		N	不安 が 大きい より 希望 が	がばど ち 不安 ら い より 希 い 望 え	希 望 が 大 き い	な ど い ち ら と も い え	不 安 が 大 き い	がばど ち 大 き い より と 不 い 安 え	大 希 望 い より 不 安 が	無 回 答
全 体		2,083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9	1.2
客 観 的 健 康 状 態 別	差 し 支 え な し	925	3.8	8.3	12.1	38.6	▲48.1	36.6	▲11.5	1.2
	ほんの少し差し支えあり	669	3.3	9.1	12.4	34.5	52.5	35.1	17.3	0.6
	差 し 支 え あ り	303	4.0	5.9	9.9	▲31.0	56.8	34.0	22.8	2.3
	大 い に 差 し 支 え あ り	125	2.4	4.8	7.2	35.2	57.6	31.2	26.4	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「不安が大きい」は中年層の 65.3%に比べて、60 歳代以上は 51.2%と、14.1 ポイント下回っている。一方、「希望が大きい」は 2.4 ポイント差で 60 歳代以上がやや上回っている。〈図表Ⅶ－14〉

〈図表Ⅶ－14〉 長寿社会への不安感 「中年層調査」との比較：参考



(単位：％)

		N	不安 より 希望が 大きい	ど ち ら か と 希 望 え	希 望 が 大 き い	ど ち ら と も い え	不 安 が 大 き い	ど ち ら か と 不 安 え	大 き い よ り 不 安 が
本調査	全 体	2,083	3.7	7.9	11.6	36.1	51.2	35.3	15.9
	60～64歳	353	2.8	7.6	10.5	34.3	54.1	35.7	18.4
	65～69歳	406	3.2	7.1	10.3	33.7	54.7	36.7	18.0
	70～74歳	497	3.2	7.0	10.3	36.4	51.9	40.0	11.9
	75～79歳	407	2.9	7.6	10.6	37.3	51.4	35.9	15.5
	80～84歳	242	3.7	9.9	13.6	36.8	49.2	32.6	16.5
	85～89歳	132	7.6	10.6	18.2	37.9	41.7	23.5	18.2
	90歳以上	46	15.2	8.7	23.9	45.7	28.3	13.0	15.2
中年層調査	全 体	1,000	2.8	6.4	9.2	25.5	65.3	28.7	36.6
	40～44歳	287	2.8	6.6	9.4	22.6	67.9	30.3	37.6
	45～49歳	267	4.9	3.7	8.6	23.2	68.2	28.5	39.7
	50～54歳	228	1.3	6.1	7.5	30.3	62.3	27.2	35.1
	55～59歳	218	1.8	9.6	11.5	27.1	61.5	28.4	33.0

3. 長寿社会において最も不安なこと

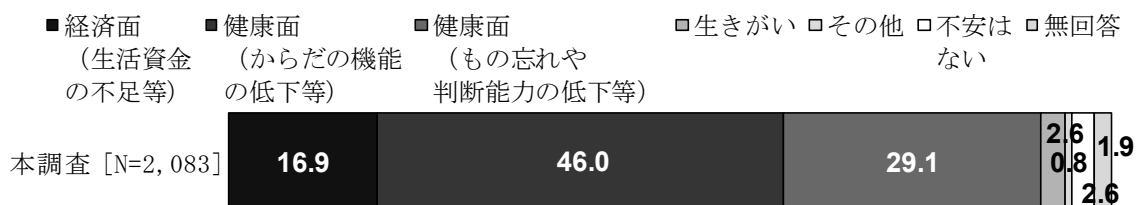
Q22 人生 100 年時代の到来に対し、あなたが最も不安に感じることはなんですか。この中から 1 つだけお答えください。

- 1 経済面（生活資金の不足等）
- 2 健康面（からだの機能の低下等）
- 3 健康面（もの忘れや判断能力の低下等）
- 4 生きがい
- 5 その他
- 6 不安はない

長寿社会において最も不安なことについては、「健康面（からだの機能の低下等）」が 46.0%と最も多く、「健康面（もの忘れや判断能力の低下等）」の 29.1%が続いている。これらに比べると、「経済面（生活資金の不足等）」は 16.9%と低くなっている。また、「生きがい」は 2.6%、「不安はない」は 2.6%にとどまっている。（図表Ⅶ－15）

〈図表Ⅶ－15〉 長寿社会において最も不安なこと

（単位：％）



性別にみると、「健康面（もの忘れや判断能力の低下等）」は、女性の方が男性を上回っている。これ以外は、特に差がみられない。

年齢別にみると、「経済面（生活資金の不足等）」は60歳代の層で高くなっており、85～89歳で低くなっている。一方、「健康面（からだの機能の低下等）」は85～89歳で高く、低年齢層になるほど、低くなっている傾向がみられる。

また、「不安はない」は80歳以上の層で高く、90歳以上では13.0%と80歳代に比べても高くなっている。〈図表Ⅶ－16〉

〈図表Ⅶ－16〉 長寿社会において最も不安なこと〔性・年齢別〕

（単位：％）

		N	金 経 済 面 （ 生 活 資 金 の 不 足 等 ）	等 の 健 康 面 （ か ら だ の 機 能 の 低 下 等 ）	低 れ 健 下 等 ） 断 （ 能 力 の 忘 れ や 判 断 能 力 の 低 下 等 ）	生 き が い	そ の 他	不 安 は な い	無 回 答
全 体		2,083	16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6	1.9
性 別	男 性	964	18.0	46.4	▲26.7	3.0	0.8	3.3	1.8
	女 性	1,119	15.8	45.8	○31.3	2.2	0.8	2.1	2.1
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	○21.5	▲38.5	32.3	3.1	0.6	1.7	2.3
	65～69歳	406	○22.4	43.8	27.6	1.7	0.7	▲1.2	2.5
	70～74歳	497	15.9	47.1	29.8	2.4	1.2	2.2	1.4
	75～79歳	407	14.3	48.4	29.5	2.5	0.7	2.2	2.5
	80～84歳	242	12.8	49.6	28.5	3.3	0.8	○4.5	0.4
	85～89歳	132	▲8.3	○55.3	24.2	3.8	0.8	○5.3	2.3
	90歳以上	46	10.9	45.7	26.1	2.2	－	○13.0	2.2

本人年収別にみると、「経済面（生活資金の不足等）」は、収入はない層で高く、高収入層ほど低くなっている。収入はない層では「不安はない」も高くなっており、一方、「健康面（もの忘れや判断能力の低下等）」は低くなっている。〈図表Ⅶ－17〉

〈図表Ⅶ－17〉 長寿社会において最も不安なこと〔本人年収別〕

（単位：％）

		N	金 経 済 面 （ 生 活 資 金 の 不 足 等 ）	等 の 健 康 面 （ か ら だ の 機 能 の 低 下 等 ）	低 れ 健 下 等 ） 断 （ 能 力 の 忘 れ や 判 断 能 力 の 低 下 等 ）	生 き が い	そ の 他	不 安 は な い	無 回 答
全 体		2,083	16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6	1.9
本 人 年 収 別	収 入 は な い	292	○22.3	44.5	▲21.6	3.8	0.7	○4.5	2.7
	100 万 円 未 満	435	19.1	44.6	30.6	2.1	0.5	2.5	▲0.7
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,072	16.0	46.2	30.0	2.5	1.0	2.2	2.1
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	135	11.9	49.6	33.3	2.2	－	1.5	1.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	25	8.0	44.0	36.0	4.0	－	8.0	－
	2,000 万 円 以 上	13	15.4	61.5	23.1	－	－	－	－

世帯保有金融資産別にみると、「経済面（生活資金の不足等）」は1,000万円未満の各層で2割台と高く、高資産層になるほど低くなっている。

「健康面（からだの機能の低下等）」は5,000万円～1億円未満層で56.3%と高くなっており、低資産層になるほど低くなっている。

「生きがい」は2,000～5,000万円未満層で高く、1,000～2,000万円未満層で低くなっている。
 〈図表Ⅶ－18〉

〈図表Ⅶ－18〉 長寿社会において最も不安なこと〔世帯保有金融資産別〕

(単位：％)

		N	金 経 の 不 足 (等 生 活 資 金	等 の 健 機 能 面 の (低 か 下 ら だ	低 れ 健 下 や 康 等 判 面 断 (能 力 の 忘	生 き が い	そ の 他	不 安 は な い	無 回 答
全 体		2,083	16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6	1.9
金融 資産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	303	27.7	▲37.3	26.1	3.6	0.3	3.0	2.0
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	21.6	43.6	27.9	2.5	0.6	2.1	1.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	▲12.5	49.1	33.0	▲0.7	0.4	2.6	1.8
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	▲7.6	50.0	32.8	4.6	1.3	2.3	1.3
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	▲4.2	56.3	31.9	2.5	0.8	3.4	0.8
	1 億 円 以 上	23	-	56.5	43.5	-	-	-	-

家族形態別にみると、特に差はみられない。〈図表Ⅶ－19〉

〈図表Ⅶ－19〉 長寿社会において最も不安なこと〔家族形態別〕

(単位：％)

		N	金 経 の 不 足 (等 生 活 資 金	等 の 健 機 能 面 の (低 か 下 ら だ	低 れ 健 下 や 康 等 判 面 断 (能 力 の 忘	生 き が い	そ の 他	不 安 は な い	無 回 答
全 体		2,083	16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6	1.9
家族 形 態 別	単 身	333	14.7	45.9	30.6	2.1	1.2	3.9	1.5
	夫 婦 の み	773	15.4	47.1	28.6	3.5	0.8	2.2	2.5
	2 世 代 世 帯	424	17.7	46.2	30.9	1.7	0.7	1.4	1.4
	夫 婦 と 子 の み	354	18.4	46.3	29.7	1.7	0.8	1.4	1.7
	親と自分（夫婦）のみ	70	14.3	45.7	37.1	1.4	-	1.4	-
	3 世 代 世 帯	227	18.9	47.6	24.2	2.2	0.4	4.4	2.2
	自分（夫婦）と子と孫	195	17.9	49.2	24.1	2.1	-	4.1	2.6
	親と自分（夫婦）と子	32	25.0	37.5	25.0	3.1	3.1	6.3	-
	そ の 他	299	18.7	42.1	31.4	2.7	1.0	2.7	1.3

客観的健康状態別にみると、「経済面（生活資金の不足等）」は、差し支えあり層で高く、差し支えなし層で低くなっている。一方、「健康面（からだの機能の低下等）」は、差し支えあり層で低くなっている。〈図表Ⅶ－20〉

〈図表Ⅶ－20〉 長寿社会において最も不安なこと〔客観的健康状態別〕

（単位：％）

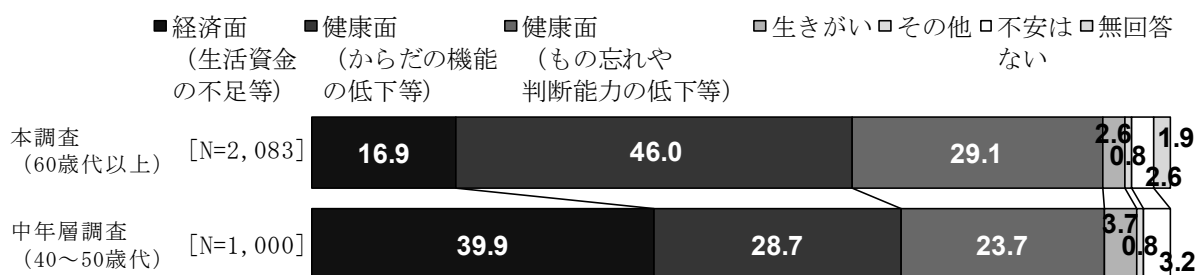
		N	金経 の 不面 足等 （生活 資	等）の健康 機能面 の低 下 だ	低れ健康 下や判断 等断へも 力 の忘	生 き が い	そ の 他	不 安 は な い	無 回 答
	全 体		16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6	1.9
客観的 健康 状態 別	差 し 支 え な し	925	▲14.2	47.1	30.7	2.9	0.8	2.3	2.1
	ほんの少し差し支えあり	669	16.9	47.2	29.4	2.8	1.0	▲1.2	1.3
	差 し 支 え あ り	303	22.4	▲40.6	28.4	1.3	1.0	4.0	2.3
	大いに差し支えあり	125	21.6	44.8	23.2	1.6	－	8.0	0.8

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50 歳代の中年層調査と比べると、「経済面（生活資金の不足等）」は、中年層よりも 60 歳代以上が大きく下回っている（23.0 ポイント差）。逆に、「健康面（からだの機能の低下等）」は、中年層に比べて、60 歳代以上が大きく上回っている（17.3 ポイント差）。

なお、「健康面（もの忘れや判断能力の低下等）」は両者の差が 5.4 ポイントにとどまり、上記に比べると、開きは小さい。〈図表Ⅶ－21〉

〈図表Ⅶ－21〉 長寿社会において最も不安なこと 「中年層調査」との比較：参考

（単位：％）



（単位：％）

		N	経済面 (生活資金の不足等)	健康面 (からだの機能の低下等)	健康面 (もの忘れや判断能力の低下等)	生きがい	その他	不安はない
本調査	全 体	2,083	16.9	46.0	29.1	2.6	0.8	2.6
	60～64歳	353	21.5	38.5	32.3	3.1	0.6	1.7
	65～69歳	406	22.4	43.8	27.6	1.7	0.7	1.2
	70～74歳	497	15.9	47.1	29.8	2.4	1.2	2.2
	75～79歳	407	14.3	48.4	29.5	2.5	0.7	2.2
	80～84歳	242	12.8	49.6	28.5	3.3	0.8	4.5
	85～89歳	132	8.3	55.3	24.2	3.8	0.8	5.3
	90歳以上	46	10.9	45.7	26.1	2.2	－	13.0
中年層調査	全 体	1,000	39.9	28.7	23.7	3.7	0.8	3.2
	40～44歳	287	42.5	27.9	21.3	4.9	1.4	2.1
	45～49歳	267	44.6	24.7	22.1	3.4	0.4	4.9
	50～54歳	228	39.5	27.6	26.3	3.5	0.4	2.6
	55～59歳	218	31.2	35.8	26.1	2.8	0.9	3.2

「付属統計資料」

1. 属性間クロス

(1) 高齢者調査

- | | |
|------------|------------------|
| ①性別 | ⑨家族形態 |
| ②本人年齢 | ⑩本人または夫婦年収（世帯年収） |
| ③本人職業（現在） | ⑪世帯保有金融資産額 |
| ④本人年収 | ⑫住居形態 |
| ⑤未既婚 | ⑬市郡規模別 |
| ⑥配偶者年齢 | ⑭地域ブロック別 |
| ⑦配偶者職業（現在） | |
| ⑧配偶者年収 | |

(2) 中年層調査

- ①性別
- ②本人年齢
- ③本人職業
- ④本人年収
- ⑤未既婚
- ⑥家族形態
- ⑦就労収入年額
- ⑧世帯保有金融資産額
- ⑨住居形態

2. サンプルデザイン（高齢者調査）

3. 質問票および単純集計結果

- (1) 高齢者調査
- (2) 中年層調査

1. 属性間クロス（１）高齢者調査

① 性別

(単位：％)

	N	男性	女性
全 体	2083	46.3	53.7
本 人 年 齢			
60～64歳	353	46.2	53.8
65～69歳	406	49.8	50.2
70～74歳	497	46.3	53.7
75～79歳	407	42.3	57.7
80～84歳	242	49.2	50.8
85～89歳	132	40.9	59.1
90歳以上	46	52.2	47.8
本 人 職 業			
自営者	180	70.0	30.0
農林漁業	19	63.2	36.8
商工サービス業	124	69.4	30.6
自由業	37	75.7	24.3
常雇被用者	222	73.9	26.1
公務員	37	70.3	29.7
民間企業被用者	185	74.6	25.4
非正規社員	178	25.3	74.7
派遣社員・契約社員	39	59.0	41.0
パート・アルバイト	139	15.8	84.2
無職	1037	45.1	54.9
その他	24	66.7	33.3
本 人 年 収			
収入はない	292	21.6	78.4
100万円未満	435	19.1	80.9
100～500万円未満	1072	58.5	41.5
500～1,000万円未満	135	83.0	17.0
1,000～2,000万円未満	25	80.0	20.0
2,000万円以上	13	61.5	38.5
未 既 婚			
未婚	88	60.2	39.8
既婚(配偶者あり)	1471	52.5	47.5
既婚(離別・死別)	506	26.3	73.7
配 偶 者 年 齢			
49歳以下	13	76.9	23.1
50～59歳	90	88.9	11.1
60～64歳	191	64.9	35.1
65～69歳	296	57.4	42.6
70～74歳	341	49.9	50.1
75～79歳	249	45.4	54.6
80～84歳	157	29.3	70.7
85～89歳	62	41.9	58.1
90歳以上	21	33.3	66.7
配 偶 者 職 業			
自営者	110	42.7	57.3
農林漁業	12	66.7	33.3
商工サービス業	82	41.5	58.5
自由業	16	31.3	68.8
常雇被用者	123	35.0	65.0
公務員	22	40.9	59.1
民間企業被用者	101	33.7	66.3
非正規社員	157	70.1	29.9
派遣社員・契約社員	28	32.1	67.9
パート・アルバイト	129	78.3	21.7
無職	684	55.4	44.6
その他	9	44.4	55.6
配 偶 者 年 収			
収入はない	295	74.2	25.8
100万円未満	347	82.1	17.9
100～500万円未満	600	34.3	65.7
500～1,000万円未満	84	19.0	81.0
1,000～2,000万円未満	14	21.4	78.6
2,000万円以上	7	14.3	85.7

① 性別

(単位：%)

	N	男性	女性
全 体	2083	46.3	53.7
家 族 形 態			
単身	333	39.0	61.0
夫婦のみ	773	50.3	49.7
2世代世帯	424	54.5	45.5
夫婦と子のみ	354	53.4	46.6
親と自分(夫婦)のみ	70	60.0	40.0
3世代世帯	227	41.9	58.1
自分(夫婦)と子と孫	195	40.5	59.5
親と自分(夫婦)と子	32	50.0	50.0
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0
その他	299	36.5	63.5
本人または夫婦年収			
100万円未満	50	30.0	70.0
100～300万円未満	311	42.1	57.9
300～500万円未満	295	52.9	47.1
500～700万円未満	141	57.4	42.6
700～1,000万円未満	67	47.8	52.2
1,000～1,500万円未満	30	56.7	43.3
1,500～2,000万円未満	8	87.5	12.5
2,000万円以上	10	70.0	30.0
世帯保有金融資産額			
100万円未満	303	53.5	46.5
100～1,000万円未満	527	47.6	52.4
1,000～2,000万円未満	273	53.1	46.9
2,000～5,000万円未満	302	47.7	52.3
5,000万円～1億円未満	119	47.1	52.9
1億円以上	23	60.9	39.1
住 居 形 態			
持家	1783	46.0	54.0
持家・ローンあり	252	48.8	51.2
持家・ローンなし	1376	47.5	52.5
持家・夫婦以外名義	155	28.4	71.6
借家	248	49.6	50.4
賃貸住宅	242	49.2	50.8
社宅	6	66.7	33.3
その他	19	36.8	63.2
市 郡 規 模 別			
21大市	706	47.0	53.0
人口10万人以上の市	835	46.0	54.0
人口10万人未満の市	382	44.8	55.2
郡部	160	48.1	51.9
地 域 ブ ロ ッ ク 別			
東京	434	47.7	52.3
愛知	276	48.2	51.8
大阪	324	47.5	52.5
北海道	65	36.9	63.1
東北	100	36.0	64.0
関東(東京都除く)	300	47.7	52.3
北陸	61	54.1	45.9
中部(愛知県除く)	106	42.5	57.5
近畿(大阪府除く)	117	48.7	51.3
中国	96	37.5	62.5
四国	43	48.8	51.2
北九州	96	45.8	54.2
南九州	65	47.7	52.3

② 本人年齢

(単位：％)

	N	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	平均(歳)
全 体	2083	16.9	19.5	23.9	19.5	11.6	6.3	2.2	72.9
性 別									
男性	964	16.9	21.0	23.9	17.8	12.3	5.6	2.5	72.8
女性	1119	17.0	18.2	23.9	21.0	11.0	7.0	2.0	72.9
本 人 職 業									
自営者	180	18.9	28.3	27.8	13.9	7.8	3.3	0.0	70.4
農林漁業	19	21.1	42.1	26.3	10.5	0.0	0.0	0.0	67.9
商工サービス業	124	18.5	25.8	29.0	14.5	7.3	4.8	0.0	70.8
自由業	37	18.9	29.7	24.3	13.5	13.5	0.0	0.0	70.3
常雇被用者	222	49.5	25.7	17.1	6.3	1.4	0.0	0.0	66.1
公務員	37	48.6	29.7	16.2	5.4	0.0	0.0	0.0	65.9
民間企業被用者	185	49.7	24.9	17.3	6.5	1.6	0.0	0.0	66.1
非正規社員	178	38.2	33.7	20.8	6.7	0.6	0.0	0.0	66.7
派遣社員・契約社員	39	46.2	33.3	20.5	0.0	0.0	0.0	0.0	65.4
パート・アルバイト	139	36.0	33.8	20.9	8.6	0.7	0.0	0.0	67.1
無職	1037	8.6	16.1	25.6	23.7	16.1	7.2	2.7	74.8
その他	24	20.8	41.7	33.3	0.0	4.2	0.0	0.0	67.9
本 人 年 収									
収入はない	292	19.5	15.1	22.9	20.5	11.0	6.8	4.1	73.3
100万円未満	435	14.9	19.5	25.7	21.8	11.7	4.8	1.4	72.8
100～500万円未満	1072	14.5	20.7	23.4	19.7	12.9	7.1	1.8	73.3
500～1,000万円未満	135	28.9	26.7	23.7	12.6	4.4	1.5	2.2	69.1
1,000～2,000万円未満	25	56.0	16.0	8.0	4.0	16.0	0.0	0.0	67.2
2,000万円以上	13	23.1	30.8	7.7	7.7	7.7	15.4	7.7	73.2
未 既 婚									
未婚	88	26.1	26.1	23.9	15.9	5.7	2.3	0.0	69.6
既婚(配偶者あり)	1471	19.9	21.3	25.2	18.6	9.9	4.0	1.2	71.7
既婚(離別・死別)	506	6.7	13.4	20.0	23.1	17.8	13.8	5.1	76.7
配 偶 者 年 齢									
49歳以下	13	38.5	7.7	38.5	15.4	0.0	0.0	0.0	68.1
50～59歳	90	75.6	23.3	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	63.1
60～64歳	191	58.6	34.0	6.3	1.0	0.0	0.0	0.0	64.4
65～69歳	296	25.0	42.9	28.0	4.1	0.0	0.0	0.0	67.5
70～74歳	341	5.0	23.8	47.2	21.4	2.3	0.0	0.3	71.7
75～79歳	249	0.4	4.0	30.5	39.0	24.1	2.0	0.0	76.6
80～84歳	157	0.6	0.6	10.8	46.5	31.2	10.2	0.0	79.2
85～89歳	62	0.0	0.0	1.6	8.1	37.1	41.9	11.3	84.4
90歳以上	21	0.0	0.0	9.5	4.8	0.0	42.9	42.9	87.5
配 偶 者 職 業									
自営者	110	23.6	25.5	29.1	13.6	5.5	2.7	0.0	69.9
農林漁業	12	16.7	41.7	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	68.6
商工サービス業	82	26.8	20.7	25.6	15.9	7.3	3.7	0.0	70.4
自由業	16	12.5	37.5	43.8	6.3	0.0	0.0	0.0	68.8
常雇被用者	123	48.8	26.0	14.6	8.9	0.8	0.8	0.0	66.3
公務員	22	59.1	27.3	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	65.3
民間企業被用者	101	46.5	25.7	16.8	8.9	1.0	1.0	0.0	66.5
非正規社員	157	40.8	35.0	19.1	3.8	1.3	0.0	0.0	66.5
派遣社員・契約社員	28	60.7	21.4	17.9	0.0	0.0	0.0	0.0	64.5
パート・アルバイト	129	36.4	38.0	19.4	4.7	1.6	0.0	0.0	66.9
無職	684	10.7	18.0	28.7	23.8	13.0	4.2	1.6	73.6
その他	9	22.2	55.6	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	66.2
配 偶 者 年 収									
収入はない	295	18.6	21.7	24.1	19.3	11.2	3.4	1.7	72.0
100万円未満	347	14.4	19.3	26.2	16.7	14.4	6.6	2.3	73.3
100～500万円未満	600	19.7	22.2	26.3	20.3	8.7	2.7	0.2	71.3
500～1,000万円未満	84	41.7	27.4	17.9	8.3	2.4	1.2	1.2	67.3
1,000～2,000万円未満	14	50.0	21.4	14.3	7.1	0.0	7.1	0.0	67.2
2,000万円以上	7	14.3	14.3	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	72.7

② 本人年齢

(単位：％)

	N	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	平均(歳)
全 体	2083	16.9	19.5	23.9	19.5	11.6	6.3	2.2	72.9
家 族 形 態									
単身	333	8.4	15.0	27.3	21.3	15.9	9.6	2.4	75.0
夫婦のみ	773	15.1	20.7	27.4	19.9	11.0	4.8	1.0	72.5
2世代世帯	424	32.1	24.5	20.8	14.2	5.9	1.9	0.7	69.2
夫婦と子のみ	354	28.0	22.0	23.4	16.4	7.1	2.3	0.8	70.0
親と自分(夫婦)のみ	70	52.9	37.1	7.1	2.9	0.0	0.0	0.0	65.0
3世代世帯	227	11.9	12.8	23.8	26.0	12.8	8.4	4.4	74.8
自分(夫婦)と子と孫	195	5.1	11.3	24.6	29.2	14.9	9.7	5.1	76.4
親と自分(夫婦)と子	32	53.1	21.9	18.8	6.3	0.0	0.0	0.0	65.2
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	299	12.7	20.4	15.4	19.7	15.7	11.7	4.3	74.9
本人または夫婦年収									
100万円未満	50	14.0	4.0	20.0	28.0	24.0	10.0	0.0	75.6
100～300万円未満	311	9.6	16.4	19.0	25.1	16.4	10.6	2.9	75.1
300～500万円未満	295	18.3	22.7	26.8	20.3	8.5	2.7	0.7	71.4
500～700万円未満	141	28.4	27.7	22.7	12.8	5.7	1.4	1.4	69.5
700～1,000万円未満	67	40.3	28.4	23.9	1.5	1.5	3.0	1.5	67.3
1,000～1,500万円未満	30	40.0	23.3	23.3	10.0	3.3	0.0	0.0	67.3
1,500～2,000万円未満	8	37.5	37.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	68.4
2,000万円以上	10	30.0	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	70.7
世帯保有金融資産額									
100万円未満	303	13.9	18.2	25.7	20.1	14.5	6.6	1.0	73.3
100～1,000万円未満	527	16.3	20.5	23.5	19.7	11.6	5.7	2.7	72.9
1,000～2,000万円未満	273	21.6	22.3	22.0	18.7	9.5	4.4	1.5	71.5
2,000～5,000万円未満	302	22.2	20.2	23.8	16.2	10.6	6.0	1.0	71.7
5,000万円～1億円未満	119	15.1	26.1	29.4	17.6	7.6	2.5	1.7	71.6
1億円以上	23	13.0	26.1	43.5	13.0	0.0	4.3	0.0	70.7
住 居 形 態									
持家	1783	17.0	19.5	24.3	19.2	11.3	6.2	2.4	72.8
持家・ローンあり	252	22.2	25.8	23.0	12.3	9.1	4.8	2.8	71.2
持家・ローンなし	1376	15.8	18.7	25.1	20.4	11.7	6.3	2.1	73.0
持家・夫婦以外名義	155	20.0	16.8	20.0	19.4	11.6	8.4	3.9	73.4
借家	248	15.3	21.0	21.4	22.6	13.7	6.0	0.0	72.8
賃貸住宅	242	14.5	21.1	21.9	22.7	13.6	6.2	0.0	72.9
社宅	6	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	69.3
その他	19	15.8	5.3	26.3	15.8	10.5	21.1	5.3	76.8
市 郡 規 模 別									
21大市	706	18.0	18.7	24.4	18.4	11.5	6.1	3.0	72.9
人口10万人以上の市	835	15.9	20.6	23.4	20.2	13.3	5.4	1.2	72.7
人口10万人未満の市	382	17.0	17.3	24.6	20.2	9.7	8.4	2.9	73.2
郡部	160	17.5	22.5	22.5	19.4	8.1	7.5	2.5	72.6
地 域 ブ ロ ッ ク 別									
東京	434	16.8	17.3	25.6	18.4	12.0	8.1	1.8	73.2
愛知	276	15.9	21.7	21.0	18.8	12.0	6.9	3.6	73.3
大阪	324	14.2	20.7	24.4	21.9	12.0	4.9	1.9	72.9
北海道	65	18.5	15.4	27.7	26.2	7.7	3.1	1.5	72.1
東北	100	19.0	24.0	20.0	17.0	11.0	4.0	5.0	72.4
関東(東京都除く)	300	18.0	20.0	25.7	19.3	9.7	7.0	0.3	72.2
北陸	61	23.0	21.3	21.3	18.0	13.1	3.3	0.0	71.3
中部(愛知県除く)	106	17.0	18.9	20.8	22.6	10.4	5.7	4.7	73.4
近畿(大阪府除く)	117	14.5	12.8	26.5	23.9	12.0	6.8	3.4	74.2
中国	96	17.7	19.8	26.0	13.5	13.5	9.4	0.0	72.6
四国	43	18.6	18.6	32.6	16.3	7.0	7.0	0.0	71.7
北九州	96	21.9	19.8	16.7	19.8	13.5	3.1	5.2	72.5
南九州	65	15.4	24.6	20.0	15.4	16.9	6.2	1.5	73.0

③本人職業（現在）

(単位：％)

	N	自営者	農林漁業	商工サービス業	自由業	常雇被用者	公務員	民間企業被用者	非正規社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	無職	その他	無回答
全 体	1643	11.0	1.2	7.5	2.3	13.5	2.3	11.3	10.8	2.4	8.5	63.1	1.5	0.1
性 別														
男性	819	15.4	1.5	10.5	3.4	20.0	3.2	16.8	5.5	2.8	2.7	57.1	2.0	0.0
女性	824	6.6	0.8	4.6	1.1	7.0	1.3	5.7	16.1	1.9	14.2	69.1	1.0	0.2
本 人 年 齢														
60～64歳	307	11.1	1.3	7.5	2.3	35.8	5.9	30.0	22.1	5.9	16.3	29.0	1.6	0.3
65～69歳	346	14.7	2.3	9.2	3.2	16.5	3.2	13.3	17.3	3.8	13.6	48.3	2.9	0.3
70～74歳	398	12.6	1.3	9.0	2.3	9.5	1.5	8.0	9.3	2.0	7.3	66.6	2.0	0.0
75～79歳	297	8.4	0.7	6.1	1.7	4.7	0.7	4.0	4.0	0.0	4.0	82.8	0.0	0.0
80～84歳	186	7.5	0.0	4.8	2.7	1.6	0.0	1.6	0.5	0.0	0.5	89.8	0.5	0.0
85～89歳	81	7.4	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.6	0.0	0.0
90歳以上	28	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
本 人 年 収														
収入はない	184	4.3	1.6	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.5	0.5	94.6	0.0	0.0
100万円未満	338	8.9	1.5	5.6	1.8	3.0	0.3	2.7	20.1	0.9	19.2	67.2	0.9	0.0
100～500万円未満	910	10.7	0.8	7.3	2.6	16.7	2.9	13.8	11.0	3.3	7.7	59.9	1.6	0.1
500～1,000万円未満	123	20.3	1.6	17.1	1.6	37.4	8.1	29.3	3.3	2.4	0.8	36.6	2.4	0.0
1,000～2,000万円未満	22	50.0	4.5	36.4	9.1	40.9	0.0	40.9	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0
2,000万円以上	10	50.0	0.0	30.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
未 既 婚														
未婚	73	6.8	0.0	5.5	1.4	21.9	1.4	20.5	15.1	6.8	8.2	54.8	1.4	0.0
既婚(配偶者あり)	1192	12.3	1.2	8.6	2.6	14.5	2.5	12.0	11.4	2.8	8.6	60.3	1.3	0.2
既婚(離別・死別)	369	7.3	1.1	4.9	1.4	8.7	1.4	7.3	8.4	0.3	8.1	73.4	2.2	0.0
配 偶 者 年 齢														
49歳以下	11	9.1	0.0	9.1	0.0	45.5	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0	36.4	9.1	0.0
50～59歳	80	22.5	1.3	13.8	7.5	48.8	6.3	42.5	6.3	5.0	1.3	20.0	2.5	0.0
60～64歳	167	12.0	2.4	8.4	1.2	32.9	6.0	26.9	18.6	6.0	12.6	33.5	2.4	0.6
65～69歳	263	14.1	1.9	9.1	3.0	15.2	3.4	11.8	19.4	4.6	14.8	50.2	1.1	0.0
70～74歳	283	13.8	0.7	10.2	2.8	8.1	1.4	6.7	11.0	2.1	8.8	65.7	1.4	0.0
75～79歳	197	8.6	1.0	6.1	1.5	3.0	0.0	3.0	6.6	0.5	6.1	81.2	0.0	0.5
80～84歳	115	8.7	0.0	7.0	1.7	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	88.7	0.0	0.0
85～89歳	42	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4	92.9	0.0	0.0
90歳以上	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
配 偶 者 職 業														
自営者	98	60.2	10.2	44.9	5.1	4.1	1.0	3.1	13.3	2.0	11.2	21.4	1.0	0.0
農林漁業	10	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商工サービス業	75	58.7	0.0	57.3	1.3	5.3	1.3	4.0	14.7	2.7	12.0	21.3	0.0	0.0
自由業	13	38.5	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	15.4	38.5	7.7	0.0
常雇被用者	108	11.1	0.9	5.6	4.6	27.8	4.6	23.1	22.2	1.9	20.4	38.9	0.0	0.0
公務員	18	11.1	0.0	5.6	5.6	16.7	5.6	11.1	27.8	5.6	22.2	44.4	0.0	0.0
民間企業被用者	90	11.1	1.1	5.6	4.4	30.0	4.4	25.6	21.1	1.1	20.0	37.8	0.0	0.0
非正規社員	141	9.9	0.0	7.1	2.8	34.8	5.0	29.8	24.8	7.1	17.7	29.1	1.4	0.0
派遣社員・契約社員	25	8.0	0.0	8.0	0.0	16.0	0.0	16.0	36.0	12.0	24.0	40.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	116	10.3	0.0	6.9	3.4	38.8	6.0	32.8	22.4	6.0	16.4	26.7	1.7	0.0
無職	593	5.6	0.0	3.7	1.9	9.8	1.5	8.3	6.6	2.4	4.2	76.7	1.2	0.2
その他	9	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	55.6	22.2	0.0
配 偶 者 年 収														
収入はない	248	10.1	0.8	7.7	1.6	20.2	2.0	18.1	10.5	4.4	6.0	56.5	2.8	0.0
100万円未満	303	16.5	1.7	10.9	4.0	14.5	2.3	12.2	8.9	3.0	5.9	59.4	0.7	0.0
100～500万円未満	491	11.0	1.2	8.4	1.4	12.6	3.1	9.6	12.8	2.2	10.6	62.7	0.6	0.2
500～1,000万円未満	62	14.5	0.0	11.3	3.2	8.1	1.6	6.5	16.1	3.2	12.9	59.7	1.6	0.0
1,000～2,000万円未満	11	9.1	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0	18.2	9.1	0.0	9.1	54.5	9.1	0.0
2,000万円以上	4	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

③本人職業（現在）

(単位：%)

	N	自営者	農林漁業	商工サービス業	自由業	常雇被用者	公務員	民間企業被用者	非正規社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	無職	その他	無回答
全 体	1643	11.0	1.2	7.5	2.3	13.5	2.3	11.3	10.8	2.4	8.5	63.1	1.5	0.1
家 族 形 態														
単身	250	7.2	0.4	4.8	2.0	12.4	1.6	10.8	8.4	0.8	7.6	69.6	2.4	0.0
夫婦のみ	621	11.3	0.8	7.9	2.6	11.3	2.1	9.2	9.2	1.4	7.7	67.3	0.6	0.3
2世代世帯	359	12.8	1.9	8.9	1.9	19.2	1.9	17.3	15.9	5.3	10.6	49.6	2.5	0.0
夫婦と子のみ	292	12.0	1.7	8.6	1.7	17.5	2.4	15.1	15.4	5.1	10.3	52.4	2.7	0.0
親と自分(夫婦)のみ	67	16.4	3.0	10.4	3.0	26.9	0.0	26.9	17.9	6.0	11.9	37.3	1.5	0.0
3世代世帯	177	11.9	1.1	8.5	2.3	14.7	4.5	10.2	9.0	1.7	7.3	63.8	0.6	0.0
自分(夫婦)と子と孫	146	11.6	1.4	8.2	2.1	11.6	3.4	8.2	7.5	0.7	6.8	69.2	0.0	0.0
親と自分(夫婦)と子	31	12.9	0.0	9.7	3.2	29.0	9.7	19.4	16.1	6.5	9.7	38.7	3.2	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	225	10.7	1.8	7.1	1.8	10.7	1.8	8.9	12.0	2.7	9.3	65.3	1.3	0.0
本人または夫婦年収														
100万円未満	41	12.2	2.4	7.3	2.4	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	4.9	82.9	0.0	0.0
100～300万円未満	259	6.9	0.8	4.2	1.9	5.4	1.2	4.2	9.3	0.8	8.5	77.2	1.2	0.0
300～500万円未満	260	11.9	2.3	9.2	0.4	16.5	3.8	12.7	10.8	3.1	7.7	59.2	1.5	0.0
500～700万円未満	133	16.5	0.8	12.8	3.0	24.1	3.0	21.1	14.3	3.0	11.3	42.1	2.3	0.0
700～1,000万円未満	60	18.3	0.0	15.0	3.3	21.7	8.3	13.3	25.0	11.7	13.3	35.0	0.0	0.8
1,000～1,500万円未満	24	25.0	8.3	12.5	4.2	29.2	8.3	20.8	8.3	4.2	4.2	37.5	0.0	0.0
1,500～2,000万円未満	8	37.5	0.0	25.0	12.5	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0
2,000万円以上	7	42.9	0.0	28.6	14.3	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
世帯保有金融資産額														
100万円未満	253	12.3	2.0	8.3	2.0	11.9	0.8	11.1	12.6	2.8	9.9	63.2	0.0	0.0
100～1,000万円未満	431	8.6	1.2	5.8	1.6	13.9	1.9	12.1	13.2	2.3	10.9	61.9	2.1	0.2
1,000～2,000万円未満	234	10.7	0.9	8.1	1.7	20.1	3.8	16.2	10.3	3.4	6.8	57.3	1.7	0.0
2,000～5,000万円未満	269	12.3	0.7	8.9	2.6	16.4	4.5	11.9	10.0	2.6	7.4	60.6	0.7	0.0
5,000万円～1億円未満	98	14.3	1.0	9.2	4.1	14.3	2.0	12.2	7.1	2.0	5.1	62.2	2.0	0.0
1億円以上	19	26.3	0.0	26.3	0.0	15.8	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	52.6	5.3	0.0
住 居 形 態														
持家	1419	11.0	1.2	7.5	2.3	13.4	2.5	10.9	10.2	2.1	8.1	63.7	1.6	0.1
持家・ローンあり	206	17.0	1.5	14.6	1.0	17.0	2.9	14.1	15.0	1.9	13.1	50.0	0.5	0.5
持家・ローンなし	1092	9.8	1.0	6.5	2.3	13.1	2.6	10.5	9.0	2.1	6.9	66.3	1.7	0.1
持家・夫婦以外名義	121	11.6	2.5	4.1	5.0	9.9	0.8	9.1	13.2	2.5	10.7	63.6	1.7	0.0
借家	195	9.2	0.5	6.7	2.1	13.8	0.5	13.3	15.4	4.6	10.8	60.5	1.0	0.0
賃貸住宅	191	8.4	0.5	5.8	2.1	13.6	0.5	13.1	15.2	4.2	11.0	61.8	1.0	0.0
社宅	4	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13	15.4	0.0	15.4	0.0	15.4	0.0	15.4	7.7	0.0	7.7	61.5	0.0	0.0
市 郡 規 模 別														
21大市	550	13.6	0.2	10.4	3.1	11.8	1.8	10.0	10.4	1.8	8.5	61.5	2.5	0.2
人口10万人以上の市	665	8.7	1.4	5.4	2.0	13.1	2.1	11.0	11.1	3.3	7.8	65.6	1.4	0.2
人口10万人未満の市	298	12.4	2.3	8.1	2.0	14.4	2.7	11.7	9.4	1.7	7.7	63.4	0.3	0.0
郡部	130	7.7	1.5	5.4	0.8	20.8	3.8	16.9	14.6	1.5	13.1	56.9	0.0	0.0
地 域 ブ ロ ッ ク 別														
東京	339	13.0	0.0	9.7	3.2	10.3	0.3	10.0	11.8	3.2	8.6	62.2	2.7	0.0
愛知	221	10.0	1.8	6.3	1.8	17.2	3.6	13.6	11.3	1.4	10.0	60.6	0.9	0.0
大阪	252	9.5	0.4	6.3	2.8	9.1	0.8	8.3	9.5	2.4	7.1	68.3	3.2	0.4
北海道	46	4.3	2.2	0.0	2.2	8.7	2.2	6.5	21.7	2.2	19.6	60.9	4.3	0.0
東北	79	16.5	5.1	6.3	5.1	13.9	2.5	11.4	11.4	1.3	10.1	58.2	0.0	0.0
関東(東京都除く)	239	9.6	1.7	6.7	1.3	17.6	2.5	15.1	9.6	3.3	6.3	61.9	1.3	0.0
北陸	57	19.3	0.0	15.8	3.5	17.5	0.0	17.5	12.3	3.5	8.8	50.9	0.0	0.0
中部(愛知県除く)	90	6.7	1.1	5.6	0.0	13.3	3.3	10.0	11.1	2.2	8.9	68.9	0.0	0.0
近畿(大阪府除く)	92	7.6	0.0	4.3	3.3	10.9	3.3	7.6	6.5	0.0	6.5	75.0	0.0	0.0
中国	71	9.9	1.4	7.0	1.4	18.3	5.6	12.7	8.5	0.0	8.5	63.4	0.0	0.0
四国	35	5.7	0.0	5.7	0.0	20.0	2.9	17.1	8.6	0.0	8.6	65.7	0.0	0.0
北九州	70	17.1	2.9	12.9	1.4	17.1	4.3	12.9	10.0	2.9	7.1	54.3	0.0	1.4
南九州	52	13.5	1.9	11.5	0.0	9.6	5.8	3.8	15.4	5.8	9.6	61.5	0.0	0.0

④ 本人年収

(単位：％)

	N	収入はない	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全 体	2083	14.0	20.9	51.5	6.5	1.2	0.6	5.3
性 別								
男性	964	6.5	8.6	65.0	11.6	2.1	0.8	5.3
女性	1119	20.5	31.5	39.8	2.1	0.4	0.4	5.4
本 人 年 齢								
60～64歳	353	16.1	18.4	43.9	11.0	4.0	0.8	5.7
65～69歳	406	10.8	20.9	54.7	8.9	1.0	1.0	2.7
70～74歳	497	13.5	22.5	50.5	6.4	0.4	0.2	6.4
75～79歳	407	14.7	23.3	51.8	4.2	0.2	0.2	5.4
80～84歳	242	13.2	21.1	57.0	2.5	1.7	0.4	4.1
85～89歳	132	15.2	15.9	57.6	1.5	0.0	1.5	8.3
90歳以上	46	26.1	13.0	41.3	6.5	0.0	2.2	10.9
本 人 職 業								
営業者	180	4.4	16.7	53.9	13.9	6.1	2.8	2.2
農林漁業	19	15.8	26.3	36.8	10.5	5.3	0.0	5.3
商工サービス業	124	4.0	15.3	53.2	16.9	6.5	2.4	1.6
自由業	37	0.0	16.2	64.9	5.4	5.4	5.4	2.7
常雇被用者	222	0.0	4.5	68.5	20.7	4.1	0.5	1.8
公務員	37	0.0	2.7	70.3	27.0	0.0	0.0	0.0
民間企業被用者	185	0.0	4.9	68.1	19.5	4.9	0.5	2.2
非正規社員	178	1.1	38.2	56.2	2.2	0.6	0.0	1.7
派遣社員・契約社員	39	2.6	7.7	76.9	7.7	2.6	0.0	2.6
パート・アルバイト	139	0.7	46.8	50.4	0.7	0.0	0.0	1.4
無職	1037	16.8	21.9	52.6	4.3	0.0	0.2	4.2
その他	24	0.0	12.5	62.5	12.5	4.2	8.3	0.0
未 既 婚								
未婚	88	9.1	13.6	59.1	11.4	0.0	1.1	5.7
既婚(配偶者あり)	1471	13.7	22.5	49.2	6.9	1.6	0.7	5.4
既婚(離別・死別)	506	15.6	17.4	57.7	4.5	0.4	0.2	4.2
配 偶 者 年 齢								
49歳以下	13	7.7	15.4	46.2	15.4	0.0	0.0	15.4
50～59歳	90	7.8	4.4	51.1	23.3	6.7	1.1	5.6
60～64歳	191	10.5	15.7	49.2	14.7	4.2	1.6	4.2
65～69歳	296	12.2	20.6	57.1	5.7	1.4	0.0	3.0
70～74歳	341	13.8	22.9	51.6	6.2	0.6	0.6	4.4
75～79歳	249	14.5	26.5	50.2	2.0	0.4	0.8	5.6
80～84歳	157	19.7	32.5	38.2	1.9	1.3	1.3	5.1
85～89歳	62	16.1	35.5	35.5	4.8	0.0	1.6	6.5
90歳以上	21	14.3	33.3	42.9	0.0	0.0	0.0	9.5
配 偶 者 職 業								
営業者	110	10.9	20.9	52.7	6.4	5.5	0.9	2.7
農林漁業	12	8.3	25.0	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7
商工サービス業	82	8.5	20.7	56.1	4.9	7.3	1.2	1.2
自由業	16	25.0	18.8	50.0	6.3	0.0	0.0	0.0
常雇被用者	123	17.1	27.6	46.3	7.3	0.0	0.0	1.6
公務員	22	13.6	18.2	40.9	22.7	0.0	0.0	4.5
民間企業被用者	101	17.8	29.7	47.5	4.0	0.0	0.0	1.0
非正規社員	157	7.6	15.9	63.1	10.8	1.3	0.6	0.6
派遣社員・契約社員	28	14.3	35.7	46.4	3.6	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	129	6.2	11.6	66.7	12.4	1.6	0.8	0.8
無職	684	13.2	22.2	51.9	5.7	1.6	0.7	4.7
その他	9	11.1	22.2	55.6	0.0	11.1	0.0	0.0
配 偶 者 年 収								
収入はない	295	28.8	12.2	39.7	9.2	3.4	1.0	5.8
100万円未満	347	4.6	16.7	67.7	9.2	0.9	0.3	0.6
100～500万円未満	600	9.3	31.5	52.2	4.7	1.0	0.3	1.0
500～1,000万円未満	84	23.8	26.2	32.1	11.9	2.4	2.4	1.2
1,000～2,000万円未満	14	42.9	21.4	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0
2,000万円以上	7	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	42.9	0.0

④ 本人年収

(単位：％)

	N	収入はない	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全 体	2083	14.0	20.9	51.5	6.5	1.2	0.6	5.3
家 族 形 態								
単身	333	14.4	14.1	58.3	7.8	0.3	0.3	4.8
夫婦のみ	773	13.5	25.0	47.6	5.6	1.9	0.6	5.8
2世代世帯	424	12.3	19.3	51.4	9.7	1.4	0.7	5.2
夫婦と子のみ	354	12.1	20.9	50.3	8.8	1.4	0.8	5.6
親と自分(夫婦)のみ	70	12.9	11.4	57.1	14.3	1.4	0.0	2.9
3世代世帯	227	15.4	18.1	55.9	4.8	0.4	0.9	4.4
自分(夫婦)と子と孫	195	16.4	16.4	55.9	5.1	0.0	1.0	5.1
親と自分(夫婦)と子	32	9.4	28.1	56.3	3.1	3.1	0.0	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	299	16.4	22.7	50.8	4.0	0.7	0.3	5.0
本人または夫婦年収								
100万円未満	50	36.0	48.0	14.0	2.0	0.0	0.0	0.0
100～300万円未満	311	15.4	22.2	60.1	0.3	0.0	0.0	1.9
300～500万円未満	295	8.1	23.7	67.5	0.3	0.3	0.0	0.0
500～700万円未満	141	5.0	12.8	59.6	22.0	0.0	0.0	0.7
700～1,000万円未満	67	7.5	14.9	31.3	43.3	1.5	0.0	1.5
1,000～1,500万円未満	30	10.0	3.3	20.0	36.7	30.0	0.0	0.0
1,500～2,000万円未満	8	12.5	0.0	0.0	37.5	50.0	0.0	0.0
2,000万円以上	10	0.0	0.0	30.0	0.0	30.0	40.0	0.0
世帯保有金融資産額								
100万円未満	303	19.5	27.1	47.9	3.0	0.0	0.0	2.6
100～1,000万円未満	527	12.3	20.9	60.2	4.4	0.2	0.0	2.1
1,000～2,000万円未満	273	9.9	20.5	57.1	10.3	0.7	0.7	0.7
2,000～5,000万円未満	302	8.6	20.2	56.6	9.6	3.3	1.0	0.7
5,000万円～1億円未満	119	9.2	16.8	47.1	21.0	3.4	1.7	0.8
1億円以上	23	4.3	4.3	39.1	21.7	17.4	13.0	0.0
住 居 形 態								
持家	1783	13.7	20.4	52.3	6.7	1.3	0.7	4.8
持家・ローンあり	252	13.5	23.8	51.6	6.3	0.8	1.2	2.8
持家・ローンなし	1376	13.1	19.3	52.5	7.3	1.5	0.7	5.5
持家・夫婦以外名義	155	20.0	23.9	51.6	2.6	0.6	0.0	1.3
借家	248	16.1	26.2	47.2	5.6	0.4	0.0	4.4
賃貸住宅	242	16.5	26.4	47.1	5.4	0.0	0.0	4.5
社宅	6	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0
その他	19	10.5	21.1	57.9	0.0	0.0	0.0	10.5
市 郡 規 模 別								
21大市	706	13.5	21.8	49.0	6.8	2.4	1.0	5.5
人口10万人以上の市	835	15.3	20.6	51.9	6.2	0.8	0.6	4.6
人口10万人未満の市	382	12.6	21.5	53.1	5.5	0.3	0.3	6.8
郡部	160	13.1	16.9	56.3	8.8	0.0	0.0	5.0
地 域 ブ ロ ッ ク 別								
東京	434	14.3	21.0	49.3	7.6	3.0	1.2	3.7
愛知	276	11.2	18.8	56.5	6.5	1.8	0.4	4.7
大阪	324	16.4	22.8	49.7	3.4	0.6	0.6	6.5
北海道	65	10.8	23.1	58.5	1.5	3.1	0.0	3.1
東北	100	15.0	33.0	42.0	6.0	0.0	1.0	3.0
関東(東京都除く)	300	11.0	18.0	54.3	7.7	0.3	0.7	8.0
北陸	61	4.9	16.4	60.7	13.1	0.0	0.0	4.9
中部(愛知県除く)	106	19.8	17.0	50.9	7.5	0.0	0.0	4.7
近畿(大阪府除く)	117	16.2	26.5	45.3	5.1	0.0	0.0	6.8
中国	96	24.0	21.9	45.8	5.2	1.0	0.0	2.1
四国	43	4.7	18.6	69.8	4.7	0.0	0.0	2.3
北九州	96	19.8	16.7	45.8	8.3	1.0	2.1	6.3
南九州	65	6.2	18.5	55.4	9.2	0.0	0.0	10.8

⑤ 未既婚

(単位：％)

	N	未婚	既婚(配偶者あり)	既婚(離別・死別)	無回答
全 体	2083	4.2	70.6	24.3	0.9
性 別					
男性	964	5.5	80.1	13.8	0.6
女性	1119	3.1	62.5	33.3	1.1
本 人 年 齢					
60～64歳	353	6.5	82.7	9.6	1.1
65～69歳	406	5.7	77.3	16.7	0.2
70～74歳	497	4.2	74.6	20.3	0.8
75～79歳	407	3.4	67.1	28.7	0.7
80～84歳	242	2.1	59.9	37.2	0.8
85～89歳	132	1.5	44.7	53.0	0.8
90歳以上	46	0.0	37.0	56.5	6.5
本 人 職 業					
自営者	180	2.8	81.7	15.0	0.6
農林漁業	19	0.0	73.7	21.1	5.3
商工サービス業	124	3.2	82.3	14.5	0.0
自由業	37	2.7	83.8	13.5	0.0
常雇被用者	222	7.2	77.9	14.4	0.5
公務員	37	2.7	81.1	13.5	2.7
民間企業被用者	185	8.1	77.3	14.6	0.0
非正規社員	178	6.2	76.4	17.4	0.0
派遣社員・契約社員	39	12.8	84.6	2.6	0.0
パート・アルバイト	139	4.3	74.1	21.6	0.0
無職	1037	3.9	69.3	26.1	0.7
その他	24	4.2	62.5	33.3	0.0
本 人 年 収					
収入はない	292	2.7	69.2	27.1	1.0
100万円未満	435	2.8	76.1	20.2	0.9
100～500万円未満	1072	4.9	67.4	27.2	0.5
500～1,000万円未満	135	7.4	75.6	17.0	0.0
1,000～2,000万円未満	25	0.0	92.0	8.0	0.0
2,000万円以上	13	7.7	84.6	7.7	0.0
配 偶 者 年 齢					
49歳以下	13	0.0	100.0	0.0	0.0
50～59歳	90	0.0	100.0	0.0	0.0
60～64歳	191	0.0	100.0	0.0	0.0
65～69歳	296	0.0	100.0	0.0	0.0
70～74歳	341	0.0	100.0	0.0	0.0
75～79歳	249	0.0	100.0	0.0	0.0
80～84歳	157	0.0	100.0	0.0	0.0
85～89歳	62	0.0	100.0	0.0	0.0
90歳以上	21	0.0	100.0	0.0	0.0
配 偶 者 職 業					
自営者	110	0.0	100.0	0.0	0.0
農林漁業	12	0.0	100.0	0.0	0.0
商工サービス業	82	0.0	100.0	0.0	0.0
自由業	16	0.0	100.0	0.0	0.0
常雇被用者	123	0.0	100.0	0.0	0.0
公務員	22	0.0	100.0	0.0	0.0
民間企業被用者	101	0.0	100.0	0.0	0.0
非正規社員	157	0.0	100.0	0.0	0.0
派遣社員・契約社員	28	0.0	100.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	129	0.0	100.0	0.0	0.0
無職	684	0.0	100.0	0.0	0.0
その他	9	0.0	100.0	0.0	0.0
配 偶 者 年 収					
収入はない	295	0.0	100.0	0.0	0.0
100万円未満	347	0.0	100.0	0.0	0.0
100～500万円未満	600	0.0	100.0	0.0	0.0
500～1,000万円未満	84	0.0	100.0	0.0	0.0
1,000～2,000万円未満	14	0.0	100.0	0.0	0.0
2,000万円以上	7	0.0	100.0	0.0	0.0

⑤ 未既婚

(単位：%)

	N	未婚	既婚(配偶者あり)	既婚(離別・死別)	無回答
全 体	2083	4.2	70.6	24.3	0.9
家 族 形 態					
単身	333	17.1	7.2	74.2	1.5
夫婦のみ	773	0.0	100.0	0.0	0.0
2世代世帯	424	2.6	95.8	1.7	0.0
夫婦と子のみ	354	0.0	100.0	0.0	0.0
親と自分(夫婦)のみ	70	15.7	74.3	10.0	0.0
3世代世帯	227	0.0	65.6	33.5	0.9
自分(夫婦)と子と孫	195	0.0	61.0	37.9	1.0
親と自分(夫婦)と子	32	0.0	93.8	6.3	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	299	5.7	37.1	55.9	1.3
本人または夫婦年収					
100万円未満	50	8.0	32.0	60.0	0.0
100～300万円未満	311	5.5	48.2	46.0	0.3
300～500万円未満	295	2.7	88.8	8.5	0.0
500～700万円未満	141	1.4	91.5	7.1	0.0
700～1,000万円未満	67	1.5	86.6	11.9	0.0
1,000～1,500万円未満	30	0.0	93.3	6.7	0.0
1,500～2,000万円未満	8	0.0	100.0	0.0	0.0
2,000万円以上	10	0.0	100.0	0.0	0.0
世帯保有金融資産額					
100万円未満	303	5.3	63.7	29.7	1.3
100～1,000万円未満	527	3.2	68.3	28.1	0.4
1,000～2,000万円未満	273	5.1	77.3	17.2	0.4
2,000～5,000万円未満	302	3.3	84.4	12.3	0.0
5,000万円～1億円未満	119	6.7	80.7	12.6	0.0
1億円以上	23	4.3	87.0	8.7	0.0
住 居 形 態					
持家	1783	3.1	74.5	21.9	0.4
持家・ローンあり	252	1.6	80.2	18.3	0.0
持家・ローンなし	1376	2.9	77.3	19.4	0.4
持家・夫婦以外名義	155	7.7	40.0	50.3	1.9
借家	248	11.3	47.2	40.3	1.2
賃貸住宅	242	11.6	46.7	40.5	1.2
社宅	6	0.0	66.7	33.3	0.0
その他	19	21.1	26.3	47.4	5.3
市 郡 規 模 別					
21大市	706	6.8	65.6	26.9	0.7
人口10万人以上の市	835	2.4	74.1	22.3	1.2
人口10万人未満の市	382	3.9	71.7	23.6	0.8
郡部	160	3.1	71.9	25.0	0.0
地 域 ブ ロ ッ ク 別					
東京	434	6.7	69.4	23.5	0.5
愛知	276	2.5	70.3	27.2	0.0
大阪	324	3.4	70.1	25.0	1.5
北海道	65	1.5	60.0	38.5	0.0
東北	100	1.0	79.0	19.0	1.0
関東(東京都除く)	300	5.7	70.3	23.7	0.3
北陸	61	3.3	72.1	24.6	0.0
中部(愛知県除く)	106	2.8	63.2	34.0	0.0
近畿(大阪府除く)	117	4.3	75.2	17.9	2.6
中国	96	1.0	76.0	20.8	2.1
四国	43	7.0	72.1	20.9	0.0
北九州	96	4.2	71.9	19.8	4.2
南九州	65	6.2	73.8	20.0	0.0

⑥ 配偶者年齢

(単位：％)

	N	49歳以下	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答	平均(歳)
全 体	1471	0.9	6.1	13.0	20.1	23.2	16.9	10.7	4.2	1.4	3.5	71.2
性 別												
男性	772	1.3	10.4	16.1	22.0	22.0	14.6	6.0	3.4	0.9	3.4	69.1
女性	699	0.4	1.4	9.6	18.0	24.5	19.5	15.9	5.2	2.0	3.6	73.4
本 人 年 齢												
60～64歳	292	1.7	23.3	38.4	25.3	5.8	0.3	0.3	0.0	0.0	4.8	62.3
65～69歳	314	0.3	6.7	20.7	40.4	25.8	3.2	0.3	0.0	0.0	2.5	66.6
70～74歳	371	1.3	0.0	3.2	22.4	43.4	20.5	4.6	0.3	0.5	3.8	71.6
75～79歳	273	0.7	0.0	0.7	4.4	26.7	35.5	26.7	1.8	0.4	2.9	76.5
80～84歳	145	0.0	0.7	0.0	0.0	5.5	41.4	33.8	15.9	0.0	2.8	80.0
85～89歳	59	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	27.1	44.1	15.3	5.1	85.2
90歳以上	17	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	41.2	52.9	0.0	88.6
本 人 職 業												
自営者	147	0.7	12.2	13.6	25.2	26.5	11.6	6.8	1.4	0.0	2.0	68.5
農林漁業	14	0.0	7.1	28.6	35.7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	67.4
商工サービス業	102	1.0	10.8	13.7	23.5	28.4	11.8	7.8	2.0	0.0	1.0	68.8
自由業	31	0.0	19.4	6.5	25.8	25.8	9.7	6.5	0.0	0.0	6.5	67.9
常雇被用者	173	2.9	22.5	31.8	23.1	13.3	3.5	1.7	0.0	0.0	1.2	63.6
公務員	30	3.3	16.7	33.3	30.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	63.5
民間企業被用者	143	2.8	23.8	31.5	21.7	13.3	4.2	2.1	0.0	0.0	0.7	63.6
非正規社員	136	0.0	3.7	22.8	37.5	22.8	9.6	0.0	0.7	0.0	2.9	67.6
派遣社員・契約社員	33	0.0	12.1	30.3	36.4	18.2	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.3
パート・アルバイト	103	0.0	1.0	20.4	37.9	24.3	11.7	0.0	1.0	0.0	3.9	68.4
無職	719	0.6	2.2	7.8	18.4	25.9	22.3	14.2	5.4	1.5	1.8	73.3
その他	15	6.7	13.3	26.7	20.0	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	63.4
本 人 年 収												
収入はない	202	0.5	3.5	9.9	17.8	23.3	17.8	15.3	5.0	1.5	5.4	72.9
100万円未満	331	0.6	1.2	9.1	18.4	23.6	19.9	15.4	6.6	2.1	3.0	73.7
100～500万円未満	723	0.8	6.4	13.0	23.4	24.3	17.3	8.3	3.0	1.2	2.2	70.6
500～1,000万円未満	102	2.0	20.6	27.5	16.7	20.6	4.9	2.9	2.9	0.0	2.0	65.4
1,000～2,000万円未満	23	0.0	26.1	34.8	17.4	8.7	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	64.2
2,000万円以上	11	0.0	9.1	27.3	0.0	18.2	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	71.5
未 既 婚												
未婚	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
既婚(配偶者あり)	1471	0.9	6.1	13.0	20.1	23.2	16.9	10.7	4.2	1.4	3.5	71.2
既婚(離別・死別)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配 偶 者 職 業												
自営者	110	0.0	6.4	12.7	26.4	30.0	17.3	4.5	2.7	0.0	0.0	69.9
農林漁業	12	0.0	8.3	25.0	33.3	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	67.1
商工サービス業	82	0.0	7.3	12.2	24.4	26.8	19.5	6.1	3.7	0.0	0.0	70.3
自由業	16	0.0	0.0	6.3	31.3	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	69.9
常雇被用者	123	3.3	16.3	32.5	28.5	10.6	4.9	3.3	0.8	0.0	0.0	64.3
公務員	22	4.5	13.6	36.4	27.3	9.1	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	63.9
民間企業被用者	101	3.0	16.8	31.7	28.7	10.9	5.0	3.0	1.0	0.0	0.0	64.4
非正規社員	157	1.3	18.5	27.4	35.7	14.0	2.5	0.6	0.0	0.0	0.0	64.4
派遣社員・契約社員	28	0.0	10.7	28.6	46.4	10.7	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	64.6
パート・アルバイト	129	1.6	20.2	27.1	33.3	14.7	2.3	0.8	0.0	0.0	0.0	64.4
無職	684	0.4	2.5	8.3	17.8	26.9	23.2	12.7	5.7	1.9	0.4	73.4
その他	9	0.0	33.3	11.1	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.7
配 偶 者 年 収												
収入はない	295	1.7	7.1	17.3	14.6	26.4	14.6	8.5	4.4	1.4	4.1	70.4
100万円未満	347	0.3	5.5	11.5	25.1	21.6	17.6	10.7	5.2	1.7	0.9	71.7
100～500万円未満	600	1.0	5.2	11.2	20.5	24.2	18.8	12.5	4.2	1.3	1.2	71.7
500～1,000万円未満	84	0.0	16.7	22.6	21.4	20.2	10.7	4.8	2.4	0.0	1.2	67.2
1,000～2,000万円未満	14	0.0	14.3	28.6	42.9	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	65.6
2,000万円以上	7	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	75.9

⑥ 配偶者年齢

(単位：％)												
	N	49歳以下	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答	平均(歳)
全 体	1471	0.9	6.1	13.0	20.1	23.2	16.9	10.7	4.2	1.4	3.5	71.2
家 族 形 態												
単身	24	8.3	4.2	0.0	8.3	16.7	12.5	33.3	8.3	4.2	4.2	73.5
夫婦のみ	773	0.1	4.9	10.0	20.2	24.3	19.1	12.0	4.7	1.6	3.1	72.3
2世代世帯	406	2.0	9.4	18.5	22.7	21.9	12.3	6.4	3.2	0.7	3.0	68.6
夫婦と子のみ	354	2.0	7.9	16.9	20.9	23.4	13.8	7.3	3.7	0.8	3.1	69.4
親と自分(夫婦)のみ	52	1.9	19.2	28.8	34.6	11.5	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9	63.3
3世代世帯	149	0.0	2.7	16.8	13.4	22.8	20.1	13.4	4.7	2.7	3.4	72.9
自分(夫婦)と子と孫	119	0.0	0.0	6.7	12.6	25.2	25.2	16.8	5.9	3.4	4.2	75.4
親と自分(夫婦)と子	30	0.0	13.3	56.7	16.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.5
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	111	1.8	8.1	12.6	23.4	21.6	14.4	9.0	3.6	0.9	4.5	70.0
本人または夫婦年収												
100万円未満	16	0.0	0.0	6.3	12.5	25.0	31.3	0.0	12.5	0.0	12.5	75.0
100～300万円未満	150	1.3	4.7	7.3	19.3	25.3	18.7	14.0	7.3	1.3	0.7	72.7
300～500万円未満	262	0.8	4.2	11.8	24.8	26.7	13.7	9.5	5.0	1.9	1.5	71.2
500～700万円未満	129	0.0	10.1	19.4	28.7	19.4	14.0	4.7	1.6	1.6	0.8	68.6
700～1,000万円未満	58	0.0	24.1	24.1	22.4	19.0	3.4	3.4	1.7	0.0	1.7	65.5
1,000～1,500万円未満	28	0.0	17.9	32.1	25.0	21.4	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	65.0
1,500～2,000万円未満	8	0.0	37.5	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	64.5
2,000万円以上	10	0.0	10.0	40.0	10.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	69.1
世帯保有金融資産額												
100万円未満	193	1.0	6.2	12.4	18.7	21.2	21.2	11.9	4.1	1.0	2.1	71.6
100～1,000万円未満	360	0.8	5.8	12.2	21.9	22.8	16.9	11.1	3.3	1.4	3.6	71.1
1,000～2,000万円未満	211	1.4	9.0	16.6	18.5	25.1	17.1	6.6	4.3	0.5	0.9	69.7
2,000～5,000万円未満	255	0.0	6.7	12.9	23.1	27.1	12.5	9.8	5.5	1.2	1.2	71.1
5,000万円～1億円未満	96	0.0	8.3	15.6	17.7	26.0	17.7	12.5	2.1	0.0	0.0	70.4
1億円以上	20	0.0	0.0	25.0	35.0	20.0	10.0	5.0	5.0	0.0	0.0	69.5
住 居 形 態												
持家	1328	0.8	6.1	12.8	20.9	23.4	16.4	10.5	4.2	1.6	3.2	71.2
持家・ローンあり	202	1.0	9.9	14.4	30.7	19.3	10.4	5.9	2.5	2.5	3.5	68.9
持家・ローンなし	1064	0.8	4.7	12.3	19.3	24.5	17.7	11.3	4.7	1.5	3.2	71.7
持家・夫婦以外名義	62	0.0	17.7	16.1	17.7	17.7	14.5	11.3	1.6	0.0	3.2	68.9
借家	117	0.9	7.7	15.4	13.7	21.4	21.4	12.8	5.1	0.0	1.7	71.3
賃貸住宅	113	0.9	8.0	14.2	14.2	20.4	22.1	13.3	5.3	0.0	1.8	71.4
社宅	4	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.3
その他	5	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	77.0
市 郡 規 模 別												
21大市	463	1.7	6.9	12.7	18.1	24.2	14.3	11.7	5.4	0.9	4.1	70.9
人口10万人以上の市	619	0.6	4.7	13.2	21.2	22.8	18.7	11.1	2.9	1.5	3.2	71.4
人口10万人未満の市	274	0.4	6.6	13.5	20.4	21.9	17.2	9.1	4.4	2.6	4.0	71.3
郡部	115	0.0	9.6	11.3	21.7	24.3	17.4	7.8	6.1	0.9	0.9	70.8
地 域 ブ ロ ッ ク 別												
東京	301	0.7	9.0	10.6	16.6	23.6	17.3	10.6	3.7	1.7	6.3	71.4
愛知	194	0.5	4.6	15.5	21.6	27.3	12.4	9.3	5.2	0.5	3.1	70.9
大阪	227	0.4	4.4	10.1	20.3	26.0	19.4	10.6	4.0	1.3	3.5	71.9
北海道	39	2.6	7.7	15.4	15.4	20.5	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0	69.6
東北	79	0.0	5.1	15.2	16.5	24.1	13.9	13.9	7.6	2.5	1.3	72.5
関東(東京都除く)	211	1.4	5.7	15.6	23.2	21.3	14.7	9.0	4.3	0.9	3.8	70.1
北陸	44	0.0	4.5	20.5	29.5	20.5	15.9	6.8	2.3	0.0	0.0	69.4
中部(愛知県除く)	67	1.5	9.0	9.0	23.9	19.4	19.4	10.4	6.0	1.5	0.0	70.9
近畿(大阪府除く)	88	2.3	4.5	8.0	17.0	20.5	22.7	11.4	9.1	2.3	2.3	72.7
中国	73	1.4	8.2	11.0	23.3	20.5	20.5	8.2	1.4	4.1	1.4	71.1
四国	31	0.0	3.2	16.1	29.0	12.9	19.4	9.7	0.0	3.2	6.5	70.7
北九州	69	0.0	4.3	14.5	18.8	21.7	10.1	21.7	4.3	0.0	4.3	72.1
南九州	48	2.1	6.3	20.8	14.6	25.0	14.6	12.5	0.0	2.1	2.1	69.9

⑦ 配偶者職業（現在）

（単位：％）

	N	自営者	農林漁業	商工サービス業	自由業	常雇被用者	公務員	民間企業被用者	非正規社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	無職	その他	無回答
全 体	1084	10.1	1.1	7.6	1.5	11.3	2.0	9.3	14.5	2.6	11.9	63.1	0.8	0.1
性 別														
男性	583	8.1	1.4	5.8	0.9	7.4	1.5	5.8	18.9	1.5	17.3	65.0	0.7	0.0
女性	501	12.6	0.8	9.6	2.2	16.0	2.6	13.4	9.4	3.8	5.6	60.9	1.0	0.2
本 人 年 齢														
60～64歳	226	11.5	0.9	9.7	0.9	26.5	5.8	20.8	28.3	7.5	20.8	32.3	0.9	0.4
65～69歳	243	11.5	2.1	7.0	2.5	13.2	2.5	10.7	22.6	2.5	20.2	50.6	2.1	0.0
70～74歳	278	11.5	1.4	7.6	2.5	6.5	0.4	6.1	10.8	1.8	9.0	70.5	0.7	0.0
75～79歳	195	7.7	0.5	6.7	0.5	5.6	1.0	4.6	3.1	0.0	3.1	83.6	0.0	0.0
80～84歳	98	6.1	0.0	6.1	0.0	1.0	0.0	1.0	2.0	0.0	2.0	90.8	0.0	0.0
85～89歳	33	9.1	0.0	9.1	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	87.9	0.0	0.0
90歳以上	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
本 人 職 業														
自営者	119	49.6	8.4	37.0	4.2	10.1	1.7	8.4	11.8	1.7	10.1	27.7	0.8	0.0
農林漁業	11	90.9	90.9	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商工サービス業	83	53.0	0.0	51.8	1.2	7.2	1.2	6.0	12.0	2.4	9.6	26.5	1.2	0.0
自由業	25	20.0	0.0	4.0	16.0	20.0	4.0	16.0	16.0	0.0	16.0	44.0	0.0	0.0
常雇被用者	142	2.8	0.0	2.8	0.0	21.1	2.1	19.0	34.5	2.8	31.7	40.8	0.7	0.0
公務員	22	4.5	0.0	4.5	0.0	22.7	4.5	18.2	31.8	0.0	31.8	40.9	0.0	0.0
民間企業被用者	120	2.5	0.0	2.5	0.0	20.8	1.7	19.2	35.0	3.3	31.7	40.8	0.8	0.0
非正規社員	112	11.6	0.0	9.8	1.8	21.4	4.5	17.0	31.3	8.0	23.2	34.8	0.0	0.9
派遣社員・契約社員	28	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	3.6	3.6	35.7	10.7	25.0	50.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	84	13.1	0.0	10.7	2.4	26.2	4.8	21.4	29.8	7.1	22.6	29.8	0.0	1.2
無職	564	3.7	0.0	2.8	0.9	7.4	1.4	6.0	7.3	1.8	5.5	80.7	0.9	0.0
その他	12	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	58.3	16.7	0.0
本 人 年 収														
収入はない	136	8.8	0.7	5.1	2.9	15.4	2.2	13.2	8.8	2.9	5.9	66.2	0.7	0.0
100万円未満	236	9.7	1.3	7.2	1.3	14.4	1.7	12.7	10.6	4.2	6.4	64.4	0.8	0.0
100～500万円未満	575	10.1	0.7	8.0	1.4	9.9	1.6	8.3	17.2	2.3	15.0	61.7	0.9	0.2
500～1,000万円未満	72	9.7	2.8	5.6	1.4	12.5	6.9	5.6	23.6	1.4	22.2	54.2	0.0	0.0
1,000～2,000万円未満	20	30.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	55.0	5.0	0.0
2,000万円以上	7	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	71.4	0.0	0.0
未 既 婚														
未婚	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
既婚（配偶者あり）	1084	10.1	1.1	7.6	1.5	11.3	2.0	9.3	14.5	2.6	11.9	63.1	0.8	0.1
既婚（離別・死別）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配 偶 者 年 齢														
49歳以下	9	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	11.1	33.3	22.2	0.0	22.2	33.3	0.0	0.0
50～59歳	76	9.2	1.3	7.9	0.0	26.3	3.9	22.4	38.2	3.9	34.2	22.4	3.9	0.0
60～64歳	155	9.0	1.9	6.5	0.6	25.8	5.2	20.6	27.7	5.2	22.6	36.8	0.6	0.0
65～69歳	245	11.8	1.6	8.2	2.0	14.3	2.4	11.8	22.9	5.3	17.6	49.8	1.2	0.0
70～74歳	255	12.9	1.2	8.6	3.1	5.1	0.8	4.3	8.6	1.2	7.5	72.2	0.8	0.4
75～79歳	188	10.1	0.5	8.5	1.1	3.2	0.5	2.7	2.1	0.5	1.6	84.6	0.0	0.0
80～84歳	97	5.2	0.0	5.2	0.0	4.1	1.0	3.1	1.0	0.0	1.0	89.7	0.0	0.0
85～89歳	43	7.0	0.0	7.0	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	90.7	0.0	0.0
90歳以上	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
配 偶 者 年 収														
収入はない	184	1.1	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	98.4	0.0	0.0
100万円未満	272	8.5	1.5	5.9	1.1	3.3	0.4	2.9	25.0	0.7	24.3	63.2	0.0	0.0
100～500万円未満	496	11.1	1.2	8.7	1.2	15.3	2.2	13.1	17.1	5.0	12.1	55.0	1.2	0.2
500～1,000万円未満	70	30.0	0.0	24.3	5.7	38.6	11.4	27.1	1.4	0.0	1.4	27.1	2.9	0.0
1,000～2,000万円未満	12	25.0	0.0	16.7	8.3	58.3	8.3	50.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
2,000万円以上	6	83.3	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0

⑦配偶者職業（現在）

（単位：％）

	N	自営者	農林漁業	商工サービス業	自由業	常雇被用者	公務員	民間企業被用者	非正規社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	無職	その他	無回答
全 体	1084	10.1	1.1	7.6	1.5	11.3	2.0	9.3	14.5	2.6	11.9	63.1	0.8	0.1
家 族 形 態														
単身	16	6.3	0.0	0.0	6.3	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	75.0	6.3	0.0
夫婦のみ	565	8.5	0.7	6.4	1.4	9.7	1.4	8.3	12.2	2.5	9.7	69.0	0.4	0.2
2世代世帯	314	10.8	1.6	8.3	1.0	15.3	4.1	11.1	18.2	3.5	14.6	54.8	1.0	0.0
夫婦と子のみ	268	10.4	1.5	7.8	1.1	14.6	3.7	10.8	17.5	3.0	14.6	56.7	0.7	0.0
親と自分(夫婦)のみ	46	13.0	2.2	10.9	0.0	19.6	6.5	13.0	21.7	6.5	15.2	43.5	2.2	0.0
3世代世帯	108	12.0	0.0	10.2	1.9	11.1	0.9	10.2	14.8	0.9	13.9	61.1	0.9	0.0
自分(夫婦)と子と孫	82	12.2	0.0	9.8	2.4	2.4	0.0	2.4	13.4	1.2	12.2	72.0	0.0	0.0
親と自分(夫婦)と子	26	11.5	0.0	11.5	0.0	38.5	3.8	34.6	19.2	0.0	19.2	26.9	3.8	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	79	17.7	3.8	11.4	2.5	7.6	0.0	7.6	19.0	2.5	16.5	53.2	2.5	0.0
本人または夫婦年取														
100万円未満	7	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0
100～300万円未満	120	4.2	0.0	2.5	1.7	2.5	0.0	2.5	7.5	0.8	6.7	85.0	0.8	0.0
300～500万円未満	229	9.6	1.7	7.9	0.0	10.5	2.2	8.3	17.5	3.1	14.4	61.1	1.3	0.0
500～700万円未満	111	11.7	0.0	10.8	0.9	14.4	1.8	12.6	24.3	4.5	19.8	48.6	0.9	0.0
700～1,000万円未満	50	18.0	0.0	14.0	4.0	30.0	6.0	24.0	22.0	0.0	22.0	28.0	2.0	0.0
1,000～1,500万円未満	21	33.3	9.5	19.0	4.8	28.6	14.3	14.3	9.5	0.0	9.5	28.6	0.0	0.0
1,500～2,000万円未満	7	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0
2,000万円以上	8	50.0	0.0	37.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0
世帯保有金融資産額														
100万円未満	140	12.1	2.1	7.1	2.9	8.6	0.7	7.9	17.1	5.7	11.4	62.1	0.0	0.0
100～1,000万円未満	285	7.4	0.4	6.7	0.4	13.3	1.4	11.9	18.6	2.5	16.1	60.0	0.7	0.0
1,000～2,000万円未満	175	12.0	1.1	8.0	2.9	6.3	1.7	4.6	20.0	5.1	14.9	60.6	1.1	0.0
2,000～5,000万円未満	207	9.7	0.5	8.2	1.0	14.5	5.3	9.2	9.7	0.0	9.7	64.7	1.4	0.0
5,000万円～1億円未満	88	12.5	1.1	10.2	1.1	12.5	0.0	12.5	9.1	1.1	8.0	63.6	2.3	0.0
1億円以上	13	23.1	0.0	23.1	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	61.5	0.0	0.0
住 居 形 態														
持家	992	10.4	1.2	7.6	1.6	11.7	2.2	9.5	13.5	2.2	11.3	63.4	0.9	0.1
持家・ローンあり	143	16.1	1.4	11.9	2.8	19.6	3.5	16.1	23.1	4.2	18.9	40.6	0.7	0.0
持家・ローンなし	800	9.5	1.0	7.0	1.5	10.1	2.1	8.0	11.6	2.0	9.6	67.9	0.8	0.1
持家・夫婦以外名義	49	8.2	4.1	4.1	0.0	14.3	0.0	14.3	16.3	0.0	16.3	57.1	4.1	0.0
借家	83	7.2	0.0	7.2	0.0	8.4	0.0	8.4	25.3	7.2	18.1	59.0	0.0	0.0
賃貸住宅	80	6.3	0.0	6.3	0.0	8.8	0.0	8.8	25.0	7.5	17.5	60.0	0.0	0.0
社宅	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
その他	5	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0
市 郡 規 模 別														
21大市	334	11.1	0.3	9.0	1.8	13.2	2.1	11.1	13.8	3.6	10.2	60.8	0.9	0.3
人口10万人以上の市	467	9.4	1.5	6.9	1.1	9.4	2.1	7.3	15.4	2.8	12.6	65.3	0.4	0.0
人口10万人未満の市	198	10.1	1.5	6.6	2.0	11.6	2.0	9.6	11.6	0.5	11.1	64.6	2.0	0.0
郡部	85	10.6	1.2	8.2	1.2	14.1	1.2	12.9	18.8	2.4	16.5	56.5	0.0	0.0
地 域 ブ ロ ッ ク 別														
東京	227	11.9	0.0	11.0	0.9	13.2	2.2	11.0	10.1	1.8	8.4	63.0	1.3	0.4
愛知	146	11.0	2.7	6.8	1.4	6.2	0.0	6.2	17.1	2.7	14.4	65.1	0.7	0.0
大阪	171	5.8	0.0	4.1	1.8	10.5	1.2	9.4	14.6	2.9	11.7	68.4	0.6	0.0
北海道	33	12.1	3.0	9.1	0.0	12.1	6.1	6.1	18.2	9.1	9.1	54.5	3.0	0.0
東北	55	16.4	5.5	7.3	3.6	10.9	1.8	9.1	9.1	0.0	9.1	61.8	1.8	0.0
関東(東京都除く)	142	11.3	1.4	7.7	2.1	8.5	2.1	6.3	16.2	1.4	14.8	63.4	0.7	0.0
北陸	34	8.8	0.0	8.8	0.0	11.8	0.0	11.8	17.6	0.0	17.6	61.8	0.0	0.0
中部(愛知県除く)	54	5.6	0.0	5.6	0.0	16.7	9.3	7.4	18.5	1.9	16.7	59.3	0.0	0.0
近畿(大阪府除く)	59	10.2	0.0	8.5	1.7	18.6	3.4	15.3	5.1	1.7	3.4	66.1	0.0	0.0
中国	56	7.1	0.0	3.6	3.6	14.3	0.0	14.3	25.0	3.6	21.4	53.6	0.0	0.0
四国	25	4.0	0.0	4.0	0.0	12.0	0.0	12.0	24.0	12.0	12.0	60.0	0.0	0.0
北九州	46	13.0	2.2	8.7	2.2	10.9	0.0	10.9	15.2	4.3	10.9	60.9	0.0	0.0
南九州	36	13.9	2.8	11.1	0.0	11.1	5.6	5.6	11.1	2.8	8.3	61.1	2.8	0.0

⑧ 配偶者年収

(単位：％)

	N	収入はない	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全 体	1471	20.1	23.6	40.8	5.7	1.0	0.5	8.4
性 別								
男性	772	28.4	36.9	26.7	2.1	0.4	0.1	5.4
女性	699	10.9	8.9	56.4	9.7	1.6	0.9	11.7
本 人 年 齢								
60～64歳	292	18.8	17.1	40.4	12.0	2.4	0.3	8.9
65～69歳	314	20.4	21.3	42.4	7.3	1.0	0.3	7.3
70～74歳	371	19.1	24.5	42.6	4.0	0.5	0.8	8.4
75～79歳	273	20.9	21.2	44.7	2.6	0.4	0.4	9.9
80～84歳	145	22.8	34.5	35.9	1.4	0.0	0.0	5.5
85～89歳	59	16.9	39.0	27.1	1.7	1.7	1.7	11.9
90歳以上	17	29.4	47.1	5.9	5.9	0.0	0.0	11.8
本 人 職 業								
自営者	147	17.0	34.0	36.7	6.1	0.7	1.4	4.1
農林漁業	14	14.3	35.7	42.9	0.0	0.0	0.0	7.1
商工サービス業	102	18.6	32.4	40.2	6.9	0.0	1.0	1.0
自由業	31	12.9	38.7	22.6	6.5	3.2	3.2	12.9
常雇被用者	173	28.9	25.4	35.8	2.9	1.2	0.0	5.8
公務員	30	16.7	23.3	50.0	3.3	0.0	0.0	6.7
民間企業被用者	143	31.5	25.9	32.9	2.8	1.4	0.0	5.6
非正規社員	136	19.1	19.9	46.3	7.4	0.7	0.0	6.6
派遣社員・契約社員	33	33.3	27.3	33.3	6.1	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	103	14.6	17.5	50.5	7.8	1.0	0.0	8.7
無職	719	19.5	25.0	42.8	5.1	0.8	0.3	6.4
その他	15	46.7	13.3	20.0	6.7	6.7	0.0	6.7
本 人 年 収								
収入はない	202	42.1	7.9	27.7	9.9	3.0	0.0	9.4
100万円未満	331	10.9	17.5	57.1	6.6	0.9	0.3	6.6
100～500万円未満	723	16.2	32.5	43.3	3.7	0.4	0.3	3.6
500～1,000万円未満	102	26.5	31.4	27.5	9.8	1.0	0.0	3.9
1,000～2,000万円未満	23	43.5	13.0	26.1	8.7	4.3	4.3	0.0
2,000万円以上	11	27.3	9.1	18.2	18.2	0.0	27.3	0.0
未 既 婚								
未婚	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
既婚(配偶者あり)	1471	20.1	23.6	40.8	5.7	1.0	0.5	8.4
既婚(離別・死別)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配 偶 者 年 齢								
49歳以下	13	38.5	7.7	46.2	0.0	0.0	0.0	7.7
50～59歳	90	23.3	21.1	34.4	15.6	2.2	0.0	3.3
60～64歳	191	26.7	20.9	35.1	9.9	2.1	0.0	5.2
65～69歳	296	14.5	29.4	41.6	6.1	2.0	0.3	6.1
70～74歳	341	22.9	22.0	42.5	5.0	0.0	0.3	7.3
75～79歳	249	17.3	24.5	45.4	3.6	0.4	1.2	7.6
80～84歳	157	15.9	23.6	47.8	2.5	0.6	0.6	8.9
85～89歳	62	21.0	29.0	40.3	3.2	0.0	1.6	4.8
90歳以上	21	19.0	28.6	38.1	0.0	0.0	0.0	14.3
配 偶 者 職 業								
自営者	110	1.8	20.9	50.0	19.1	2.7	4.5	0.9
農林漁業	12	8.3	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	8.3
商工サービス業	82	1.2	19.5	52.4	20.7	2.4	3.7	0.0
自由業	16	0.0	18.8	37.5	25.0	6.3	12.5	0.0
常雇被用者	123	0.0	7.3	61.8	22.0	5.7	0.0	3.3
公務員	22	0.0	4.5	50.0	36.4	4.5	0.0	4.5
民間企業被用者	101	0.0	7.9	64.4	18.8	5.9	0.0	3.0
非正規社員	157	0.6	43.3	54.1	0.6	0.0	0.0	1.3
派遣社員・契約社員	28	0.0	7.1	89.3	0.0	0.0	0.0	3.6
パート・アルバイト	129	0.8	51.2	46.5	0.8	0.0	0.0	0.8
無職	684	26.5	25.1	39.9	2.8	0.1	0.1	5.4
その他	9	0.0	0.0	66.7	22.2	11.1	0.0	0.0

⑧ 配偶者年収

(単位：％)

	N	収入はない	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全 体	1471	20.1	23.6	40.8	5.7	1.0	0.5	8.4
家 族 形 態								
単身	24	8.3	41.7	29.2	0.0	4.2	4.2	12.5
夫婦のみ	773	20.6	24.3	40.0	5.3	0.8	0.5	8.5
2世代世帯	406	19.2	20.4	44.3	7.4	1.5	0.0	7.1
夫婦と子のみ	354	19.2	20.3	44.4	7.1	1.1	0.0	7.9
親と自分(夫婦)のみ	52	19.2	21.2	44.2	9.6	3.8	0.0	1.9
3世代世帯	149	20.8	25.5	38.9	6.0	0.0	0.0	8.7
自分(夫婦)と子と孫	119	21.0	28.6	37.8	2.5	0.0	0.0	10.1
親と自分(夫婦)と子	30	20.0	13.3	43.3	20.0	0.0	0.0	3.3
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	111	20.7	23.4	41.4	3.6	0.9	0.9	9.0
本人または夫婦年収								
100万円未満	16	43.8	18.8	31.3	0.0	6.3	0.0	0.0
100～300万円未満	150	30.7	33.3	34.0	0.7	0.0	0.0	1.3
300～500万円未満	262	18.3	28.2	50.8	1.5	0.0	0.0	1.1
500～700万円未満	129	13.2	25.6	53.5	7.0	0.0	0.0	0.8
700～1,000万円未満	58	5.2	15.5	41.4	34.5	0.0	0.0	3.4
1,000～1,500万円未満	28	14.3	14.3	25.0	35.7	10.7	0.0	0.0
1,500～2,000万円未満	8	25.0	12.5	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0
2,000万円以上	10	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0
世帯保有金融資産額								
100万円未満	193	30.1	26.4	40.4	1.0	0.5	0.0	1.6
100～1,000万円未満	360	18.3	27.5	44.2	4.7	0.0	0.3	5.0
1,000～2,000万円未満	211	23.2	23.7	42.2	8.5	0.9	0.0	1.4
2,000～5,000万円未満	255	15.3	23.9	50.6	5.5	2.7	0.4	1.6
5,000万円～1億円未満	96	11.5	21.9	43.8	15.6	3.1	2.1	2.1
1億円以上	20	15.0	25.0	30.0	15.0	0.0	15.0	0.0
住 居 形 態								
持家	1328	19.4	23.3	41.1	6.1	1.1	0.5	8.4
持家・ローンあり	202	16.8	26.2	41.6	5.9	1.0	0.5	7.9
持家・ローンなし	1064	19.7	22.5	41.5	6.0	0.9	0.6	8.7
持家・夫婦以外名義	62	22.6	29.0	32.3	8.1	3.2	0.0	4.8
借家	117	26.5	26.5	40.2	2.6	0.0	0.0	4.3
賃貸住宅	113	26.5	26.5	39.8	2.7	0.0	0.0	4.4
社宅	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市 郡 規 模 別								
21大市	463	22.0	23.1	39.3	6.3	1.3	0.4	7.6
人口10万人以上の市	619	20.7	22.8	42.0	6.3	0.5	0.5	7.3
人口10万人未満の市	274	17.9	25.2	39.8	3.3	1.1	0.7	12.0
郡部	115	13.9	26.1	42.6	6.1	1.7	0.0	9.6
地 域 ブ ロ ッ ク 別								
東京	301	21.3	21.3	37.9	8.3	2.3	0.3	8.6
愛知	194	21.1	25.3	40.2	4.6	0.5	1.5	6.7
大阪	227	23.3	22.5	38.8	5.7	0.4	0.9	8.4
北海道	39	15.4	7.7	61.5	10.3	0.0	0.0	5.1
東北	79	22.8	15.2	46.8	2.5	1.3	1.3	10.1
関東(東京都除く)	211	20.4	26.1	32.7	7.1	1.4	0.0	12.3
北陸	44	9.1	31.8	59.1	0.0	0.0	0.0	0.0
中部(愛知県除く)	67	17.9	23.9	52.2	1.5	0.0	0.0	4.5
近畿(大阪府除く)	88	18.2	26.1	45.5	3.4	0.0	0.0	6.8
中国	73	16.4	24.7	45.2	5.5	0.0	0.0	8.2
四国	31	6.5	29.0	51.6	6.5	0.0	0.0	6.5
北九州	69	20.3	27.5	36.2	5.8	0.0	0.0	10.1
南九州	48	20.8	29.2	31.3	4.2	2.1	0.0	12.5

⑨ 家族形態

(単位：％)

	N	単身	夫婦のみ	2世代世帯	夫婦と子のみ	親と自分(夫婦)のみ	3世代世帯	自分(夫婦)と子と孫	親と自分(夫婦)と子	祖父母と親と自分(夫婦)	その他	無回答
全 体	2083	16.0	37.1	20.4	17.0	3.4	10.9	9.4	1.5	0.0	14.4	1.3
性 別												
男性	964	13.5	40.4	24.0	19.6	4.4	9.9	8.2	1.7	0.0	11.3	1.0
女性	1119	18.1	34.3	17.2	14.7	2.5	11.8	10.4	1.4	0.0	17.0	1.5
本 人 年 齢												
60～64歳	353	7.9	33.1	38.5	28.0	10.5	7.6	2.8	4.8	0.0	10.8	2.0
65～69歳	406	12.3	39.4	25.6	19.2	6.4	7.1	5.4	1.7	0.0	15.0	0.5
70～74歳	497	18.3	42.7	17.7	16.7	1.0	10.9	9.7	1.2	0.0	9.3	1.2
75～79歳	407	17.4	37.8	14.7	14.3	0.5	14.5	14.0	0.5	0.0	14.5	1.0
80～84歳	242	21.9	35.1	10.3	10.3	0.0	12.0	12.0	0.0	0.0	19.4	1.2
85～89歳	132	24.2	28.0	6.1	6.1	0.0	14.4	14.4	0.0	0.0	26.5	0.8
90歳以上	46	17.4	17.4	6.5	6.5	0.0	21.7	21.7	0.0	0.0	28.3	8.7
本 人 職 業												
自営者	180	10.0	38.9	25.6	19.4	6.1	11.7	9.4	2.2	0.0	13.3	0.6
農林漁業	19	5.3	26.3	36.8	26.3	10.5	10.5	10.5	0.0	0.0	21.1	0.0
商工サービス業	124	9.7	39.5	25.8	20.2	5.6	12.1	9.7	2.4	0.0	12.9	0.0
自由業	37	13.5	43.2	18.9	13.5	5.4	10.8	8.1	2.7	0.0	10.8	2.7
常雇被用者	222	14.0	31.5	31.1	23.0	8.1	11.7	7.7	4.1	0.0	10.8	0.9
公務員	37	10.8	35.1	18.9	18.9	0.0	21.6	13.5	8.1	0.0	10.8	2.7
民間企業被用者	185	14.6	30.8	33.5	23.8	9.7	9.7	6.5	3.2	0.0	10.8	0.5
非正規社員	178	11.8	32.0	32.0	25.3	6.7	9.0	6.2	2.8	0.0	15.2	0.0
派遣社員・契約社員	39	5.1	23.1	48.7	38.5	10.3	7.7	2.6	5.1	0.0	15.4	0.0
パート・アルバイト	139	13.7	34.5	27.3	21.6	5.8	9.4	7.2	2.2	0.0	15.1	0.0
無職	1037	16.8	40.3	17.2	14.8	2.4	10.9	9.7	1.2	0.0	14.2	0.7
その他	24	25.0	16.7	37.5	33.3	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0	12.5	4.2
本 人 年 収												
収入はない	292	16.4	35.6	17.8	14.7	3.1	12.0	11.0	1.0	0.0	16.8	1.4
100万円未満	435	10.8	44.4	18.9	17.0	1.8	9.4	7.4	2.1	0.0	15.6	0.9
100～500万円未満	1072	18.1	34.3	20.3	16.6	3.7	11.8	10.2	1.7	0.0	14.2	1.2
500～1,000万円未満	135	19.3	31.9	30.4	23.0	7.4	8.1	7.4	0.7	0.0	8.9	1.5
1,000～2,000万円未満	25	4.0	60.0	24.0	20.0	4.0	4.0	0.0	4.0	0.0	8.0	0.0
2,000万円以上	13	7.7	38.5	23.1	23.1	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7
未 既 婚												
未婚	88	64.8	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	19.3	3.4
既婚(配偶者あり)	1471	1.6	52.5	27.6	24.1	3.5	10.1	8.1	2.0	0.0	7.5	0.5
既婚(離別・死別)	506	48.8	0.0	1.4	0.0	1.4	15.0	14.6	0.4	0.0	33.0	1.8
配 偶 者 年 齢												
49歳以下	13	15.4	7.7	61.5	53.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0
50～59歳	90	1.1	42.2	42.2	31.1	11.1	4.4	0.0	4.4	0.0	10.0	0.0
60～64歳	191	0.0	40.3	39.3	31.4	7.9	13.1	4.2	8.9	0.0	7.3	0.0
65～69歳	296	0.7	52.7	31.1	25.0	6.1	6.8	5.1	1.7	0.0	8.8	0.0
70～74歳	341	1.2	55.1	26.1	24.3	1.8	10.0	8.8	1.2	0.0	7.0	0.6
75～79歳	249	1.2	59.4	20.1	19.7	0.4	12.0	12.0	0.0	0.0	6.4	0.8
80～84歳	157	5.1	59.2	16.6	16.6	0.0	12.7	12.7	0.0	0.0	6.4	0.0
85～89歳	62	3.2	58.1	21.0	21.0	0.0	11.3	11.3	0.0	0.0	6.5	0.0
90歳以上	21	4.8	57.1	14.3	14.3	0.0	19.0	19.0	0.0	0.0	4.8	0.0
配 偶 者 職 業												
自営者	110	0.9	43.6	30.9	25.5	5.5	11.8	9.1	2.7	0.0	12.7	0.0
農林漁業	12	0.0	33.3	41.7	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
商工サービス業	82	0.0	43.9	31.7	25.6	6.1	13.4	9.8	3.7	0.0	11.0	0.0
自由業	16	6.3	50.0	18.8	18.8	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
常雇被用者	123	1.6	44.7	39.0	31.7	7.3	9.8	1.6	8.1	0.0	4.9	0.0
公務員	22	0.0	36.4	59.1	45.5	13.6	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0
民間企業被用者	101	2.0	46.5	34.7	28.7	5.9	10.9	2.0	8.9	0.0	5.9	0.0
非正規社員	157	0.0	43.9	36.3	29.9	6.4	10.2	7.0	3.2	0.0	9.6	0.0
派遣社員・契約社員	28	0.0	50.0	39.3	28.6	10.7	3.6	3.6	0.0	0.0	7.1	0.0
パート・アルバイト	129	0.0	42.6	35.7	30.2	5.4	11.6	7.8	3.9	0.0	10.1	0.0
無職	684	1.8	57.0	25.1	22.2	2.9	9.6	8.6	1.0	0.0	6.1	0.3
その他	9	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0
配 偶 者 年 収												
収入はない	295	0.7	53.9	26.4	23.1	3.4	10.5	8.5	2.0	0.0	7.8	0.7
100万円未満	347	2.9	54.2	23.9	20.7	3.2	11.0	9.8	1.2	0.0	7.5	0.6
100～500万円未満	600	1.2	51.5	30.0	26.2	3.8	9.7	7.5	2.2	0.0	7.7	0.0
500～1,000万円未満	84	0.0	48.8	35.7	29.8	6.0	10.7	3.6	7.1	0.0	4.8	0.0
1,000～2,000万円未満	14	7.1	42.9	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
2,000万円以上	7	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3

⑨ 家族形態

(単位：％)

	N	単身	夫婦のみ	2世代世帯	夫婦と子のみ	親と自分(夫婦)のみ	3世代世帯	自分(夫婦)と子と孫	親と自分(夫婦)と子	祖父母と親と自分(夫婦)	その他	無回答
全 体	2083	16.0	37.1	20.4	17.0	3.4	10.9	9.4	1.5	0.0	14.4	1.3
本人または夫婦年収												
100万円未満	50	32.0	18.0	10.0	8.0	2.0	12.0	12.0	0.0	0.0	28.0	0.0
100～300万円未満	311	24.8	26.0	16.4	12.9	3.5	12.5	12.2	0.3	0.0	20.3	0.0
300～500万円未満	295	8.1	49.8	25.8	24.1	1.7	9.2	6.1	3.1	0.0	6.4	0.7
500～700万円未満	141	7.1	41.1	32.6	28.4	4.3	12.1	8.5	3.5	0.0	7.1	0.0
700～1,000万円未満	67	7.5	40.3	38.8	29.9	9.0	6.0	4.5	1.5	0.0	6.0	1.5
1,000～1,500万円未満	30	3.3	40.0	40.0	30.0	10.0	6.7	3.3	3.3	0.0	10.0	0.0
1,500～2,000万円未満	8	0.0	37.5	62.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2,000万円以上	10	0.0	50.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0
世帯保有金融資産額												
100万円未満	303	17.2	34.7	13.9	10.9	3.0	13.5	11.6	2.0	0.0	19.8	1.0
100～1,000万円未満	527	18.4	35.5	19.9	16.1	3.8	11.0	9.7	1.3	0.0	15.0	0.2
1,000～2,000万円未満	273	13.6	37.7	29.7	24.2	5.5	10.6	8.4	2.2	0.0	7.7	0.7
2,000～5,000万円未満	302	8.9	45.7	27.2	22.2	5.0	8.3	6.6	1.7	0.0	9.6	0.3
5,000万円～1億円未満	119	16.0	47.9	24.4	21.0	3.4	3.4	2.5	0.8	0.0	7.6	0.8
1億円以上	23	8.7	47.8	26.1	26.1	0.0	8.7	4.3	4.3	0.0	8.7	0.0
住 居 形 態												
持家	1783	12.5	38.4	22.2	18.5	3.6	11.8	10.0	1.7	0.0	14.3	0.9
持家・ローンあり	252	5.2	32.9	26.6	22.2	4.4	15.5	14.3	1.2	0.0	18.7	1.2
持家・ローンなし	1376	13.7	42.5	21.9	19.0	2.9	10.0	8.3	1.7	0.0	10.8	0.9
持家・夫婦以外名義	155	13.5	10.3	16.8	7.7	9.0	21.3	18.7	2.6	0.0	38.1	0.0
借家	248	40.3	30.6	9.7	7.7	2.0	5.2	4.8	0.4	0.0	12.9	1.2
賃貸住宅	242	40.9	30.2	9.9	7.9	2.1	4.5	4.5	0.0	0.0	13.2	1.2
社宅	6	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
その他	19	36.8	10.5	5.3	5.3	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	36.8	5.3
市 郡 規 模 別												
21大市	706	19.7	34.1	20.7	18.4	2.3	9.6	8.5	1.1	0.0	13.9	2.0
人口10万人以上の市	835	14.7	39.4	21.0	17.6	3.4	9.3	7.8	1.6	0.0	14.7	0.8
人口10万人未満の市	382	12.8	37.4	19.1	14.1	5.0	14.1	12.0	2.1	0.0	15.2	1.3
郡部	160	13.8	37.5	18.8	14.4	4.4	16.9	15.0	1.9	0.0	12.5	0.6
地 域 ブ ロ ッ ク 別												
東京	434	16.4	35.5	22.4	20.0	2.3	9.7	8.3	1.4	0.0	14.3	1.8
愛知	276	12.3	35.9	19.9	16.3	3.6	12.0	10.5	1.4	0.0	19.2	0.7
大阪	324	18.2	38.6	19.1	17.0	2.2	11.1	9.9	1.2	0.0	11.4	1.5
北海道	65	30.8	40.0	15.4	10.8	4.6	10.8	7.7	3.1	0.0	3.1	0.0
東北	100	4.0	42.0	21.0	13.0	8.0	13.0	12.0	1.0	0.0	18.0	2.0
関東(東京都除く)	300	17.3	34.0	24.0	20.3	3.7	7.3	5.3	2.0	0.0	16.7	0.7
北陸	61	11.5	36.1	19.7	18.0	1.6	18.0	16.4	1.6	0.0	14.8	0.0
中部(愛知県除く)	106	21.7	28.3	20.8	15.1	5.7	17.0	14.2	2.8	0.0	10.4	1.9
近畿(大阪府除く)	117	16.2	41.9	14.5	12.8	1.7	15.4	12.8	2.6	0.0	9.4	2.6
中国	96	9.4	44.8	16.7	14.6	2.1	8.3	7.3	1.0	0.0	19.8	1.0
四国	43	20.9	30.2	27.9	23.3	4.7	7.0	7.0	0.0	0.0	14.0	0.0
北九州	96	19.8	40.6	16.7	9.4	7.3	11.5	11.5	0.0	0.0	10.4	1.0
南九州	65	10.8	44.6	18.5	16.9	1.5	7.7	6.2	1.5	0.0	16.9	1.5

⑩ 本人または夫婦年収（世帯年収）

(単位：％)

	N	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平均(万円)
全 体	2083	2.4	14.9	14.2	6.8	3.2	1.4	0.4	0.5	56.2	421.3
性 別											
男性	964	1.6	13.6	16.2	8.4	3.3	1.8	0.7	0.7	53.7	458.9
女性	1119	3.1	16.1	12.4	5.4	3.1	1.2	0.1	0.3	58.4	385.3
本 人 年 齢											
60～64歳	353	2.0	8.5	15.3	11.3	7.6	3.4	0.8	0.8	50.1	544.5
65～69歳	406	0.5	12.6	16.5	9.6	4.7	1.7	0.7	0.7	53.0	495.5
70～74歳	497	2.0	11.9	15.9	6.4	3.2	1.4	0.0	0.2	59.0	409.8
75～79歳	407	3.4	19.2	14.7	4.4	0.2	0.7	0.0	0.2	57.0	310.4
80～84歳	242	5.0	21.1	10.3	3.3	0.4	0.4	0.8	0.4	58.3	313.6
85～89歳	132	3.8	25.0	6.1	1.5	1.5	0.0	0.0	0.8	61.4	394.6
90歳以上	46	0.0	19.6	4.3	4.3	2.2	0.0	0.0	0.0	69.6	287.7
本 人 職 業											
自営者	180	2.8	10.0	17.2	12.2	6.1	3.3	1.7	1.7	45.0	563.5
農林漁業	19	5.3	10.5	31.6	5.3	0.0	10.5	0.0	0.0	36.8	464.1
商工サービス業	124	2.4	8.9	19.4	13.7	7.3	2.4	1.6	1.6	42.7	566.7
自由業	37	2.7	13.5	2.7	10.8	5.4	2.7	2.7	2.7	56.8	624.1
常雇被用者	222	0.0	6.3	19.4	14.4	5.9	3.2	0.9	0.9	49.1	569.0
公務員	37	0.0	8.1	27.0	10.8	13.5	5.4	0.0	0.0	35.1	560.5
民間企業被用者	185	0.0	5.9	17.8	15.1	4.3	2.7	1.1	1.1	51.9	571.3
非正規社員	178	1.1	13.5	15.7	10.7	8.4	1.1	0.0	0.0	49.4	455.0
派遣社員・契約社員	39	0.0	5.1	20.5	10.3	17.9	2.6	0.0	0.0	43.6	568.5
パート・アルバイト	139	1.4	15.8	14.4	10.8	5.8	0.7	0.0	0.0	51.1	418.3
無職	1037	3.3	19.3	14.9	5.4	2.0	0.9	0.2	0.0	54.1	332.9
その他	24	0.0	12.5	16.7	12.5	0.0	0.0	4.2	8.3	45.8	857.1
本 人 年 収											
収入はない	292	6.2	16.4	8.2	2.4	1.7	1.0	0.3	0.0	63.7	302.5
100万円未満	435	5.5	15.9	16.1	4.1	2.3	0.2	0.0	0.0	55.9	308.4
100～500万円未満	1072	0.7	17.4	18.6	7.8	2.0	0.6	0.0	0.3	52.7	375.2
500～1,000万円未満	135	0.7	0.7	0.7	23.0	21.5	8.1	2.2	0.0	43.0	769.5
1,000～2,000万円未満	25	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	36.0	16.0	12.0	28.0	1404.2
2,000万円以上	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	69.2	3911.5
未 既 婚											
未婚	88	4.5	19.3	9.1	2.3	1.1	0.0	0.0	0.0	63.6	254.5
既婚(配偶者あり)	1471	1.1	10.2	17.8	8.8	3.9	1.9	0.5	0.7	55.1	491.6
既婚(離別・死別)	506	5.9	28.3	4.9	2.0	1.6	0.4	0.0	0.0	56.9	233.1
配 偶 者 年 齢											
49歳以下	13	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.2	269.5
50～59歳	90	0.0	7.8	12.2	14.4	15.6	5.6	3.3	1.1	40.0	673.5
60～64歳	191	0.5	5.8	16.2	13.1	7.3	4.7	0.5	2.1	49.7	638.4
65～69歳	296	0.7	9.8	22.0	12.5	4.4	2.4	0.7	0.3	47.3	494.2
70～74歳	341	1.2	11.1	20.5	7.3	3.2	1.8	0.3	0.0	54.5	427.2
75～79歳	249	2.0	11.2	14.5	7.2	0.8	0.0	0.0	0.4	63.9	371.5
80～84歳	157	0.0	13.4	15.9	3.8	1.3	0.6	0.6	1.3	63.1	458.0
85～89歳	62	3.2	17.7	21.0	3.2	1.6	0.0	0.0	1.6	51.6	543.4
90歳以上	21	0.0	9.5	23.8	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	367.8
配 偶 者 職 業											
自営者	110	2.7	4.5	20.0	11.8	8.2	6.4	0.9	3.6	41.8	698.2
農林漁業	12	8.3	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	41.7	557.1
商工サービス業	82	1.2	3.7	22.0	14.6	8.5	4.9	1.2	3.7	40.2	698.1
自由業	16	6.3	12.5	0.0	6.3	12.5	6.3	0.0	6.3	50.0	822.0
常雇被用者	123	0.0	2.4	19.5	13.0	12.2	4.9	1.6	0.8	45.5	657.5
公務員	22	0.0	0.0	22.7	9.1	13.6	13.6	4.5	0.0	36.4	740.1
民間企業被用者	101	0.0	3.0	18.8	13.9	11.9	3.0	1.0	1.0	47.5	635.7
非正規社員	157	0.0	5.7	25.5	17.2	7.0	1.3	0.6	0.0	42.7	508.9
派遣社員・契約社員	28	0.0	3.6	25.0	17.9	0.0	0.0	0.0	0.0	53.6	441.5
パート・アルバイト	129	0.0	6.2	25.6	17.1	8.5	1.6	0.8	0.0	40.3	520.3
無職	684	0.6	14.9	20.5	7.9	2.0	0.9	0.3	0.4	52.5	402.6
その他	9	0.0	11.1	33.3	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	677.6
配 偶 者 年 収											
収入はない	295	2.4	15.6	16.3	5.8	1.0	1.4	0.7	1.0	55.9	409.2
100万円未満	347	0.9	14.4	21.3	9.5	2.6	1.2	0.3	0.3	49.6	421.7
100～500万円未満	600	0.8	8.5	22.2	11.5	4.0	1.2	0.2	0.0	51.7	444.3
500～1,000万円未満	84	0.0	1.2	4.8	10.7	23.8	11.9	3.6	0.0	44.0	861.7
1,000～2,000万円未満	14	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	7.1	14.3	50.0	1439.3
2,000万円以上	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9	3693.5

⑩ 本人または夫婦年収（世帯年収）

(単位：%)

	N	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平均(万円)
全 体	2083	2.4	14.9	14.2	6.8	3.2	1.4	0.4	0.5	56.2	421.3
家 族 形 態											
単身	333	4.8	23.1	7.2	3.0	1.5	0.3	0.0	0.0	60.1	255.0
夫婦のみ	773	1.2	10.5	19.0	7.5	3.5	1.6	0.4	0.6	55.8	470.2
2世代世帯	424	1.2	12.0	17.9	10.8	6.1	2.8	1.2	0.7	47.2	520.8
夫婦と子のみ	354	1.1	11.3	20.1	11.3	5.6	2.5	1.4	0.6	46.0	517.0
親と自分(夫婦)のみ	70	1.4	15.7	7.1	8.6	8.6	4.3	0.0	1.4	52.9	542.9
3世代世帯	227	2.6	17.2	11.9	7.5	1.8	0.9	0.0	0.4	57.7	384.3
自分(夫婦)と子と孫	195	3.1	19.5	9.2	6.2	1.5	0.5	0.0	0.5	59.5	358.9
親と自分(夫婦)と子	32	0.0	3.1	28.1	15.6	3.1	3.1	0.0	0.0	46.9	502.1
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	299	4.7	21.1	6.4	3.3	1.3	1.0	0.0	0.3	61.9	302.1
世帯保有金融資産額											
100万円未満	303	5.6	22.4	11.6	3.6	1.3	0.0	0.0	0.0	55.4	260.8
100～1,000万円未満	527	3.0	21.8	15.4	5.9	3.0	0.2	0.2	0.0	50.5	334.1
1,000～2,000万円未満	273	1.1	15.4	20.1	10.6	4.4	2.6	0.4	0.7	44.7	464.2
2,000～5,000万円未満	302	0.7	11.3	26.8	11.6	6.3	3.3	1.0	0.3	38.7	495.5
5,000万円～1億円未満	119	0.0	4.2	15.1	17.6	7.6	6.7	0.8	2.5	45.4	704.9
1億円以上	23	0.0	4.3	4.3	17.4	13.0	13.0	0.0	17.4	30.4	1436.4
住 居 形 態											
持家	1783	2.1	14.3	15.4	7.4	3.3	1.6	0.4	0.6	54.9	438.7
持家・ローンあり	252	2.4	13.9	17.1	8.7	4.0	3.2	0.8	0.4	49.6	459.3
持家・ローンなし	1376	1.8	13.8	15.6	7.4	3.3	1.5	0.4	0.7	55.6	446.1
持家・夫婦以外名義	155	4.5	19.4	10.3	5.2	2.6	0.6	0.6	0.0	56.8	332.5
借家	248	4.8	21.4	7.3	3.2	3.2	0.4	0.0	0.0	59.7	287.6
賃貸住宅	242	5.0	21.9	7.4	2.9	3.3	0.0	0.0	0.0	59.5	277.1
社宅	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	66.7	806.0
その他	19	0.0	15.8	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.4	267.8
市 郡 規 模 別											
21大市	706	2.3	12.9	12.9	7.4	4.0	1.8	0.8	0.7	57.2	464.9
人口10万人以上の市	835	2.8	18.4	16.9	7.1	3.6	1.2	0.1	0.5	49.5	403.5
人口10万人未満の市	382	1.0	11.5	9.9	4.7	1.8	1.0	0.3	0.3	69.4	404.9
郡部	160	4.4	13.8	15.6	7.5	1.3	1.9	0.0	0.0	55.6	368.3
地 域 ブ ロ ッ ク 別											
東京	434	2.5	9.7	11.8	8.3	4.1	2.8	0.7	0.9	59.2	512.0
愛知	276	2.2	19.6	16.7	8.7	4.3	1.4	0.0	0.4	46.7	397.2
大阪	324	4.0	12.0	13.3	7.1	2.2	1.2	0.0	1.2	59.0	475.5
北海道	65	1.5	23.1	21.5	1.5	1.5	1.5	3.1	0.0	46.2	374.9
東北	100	5.0	11.0	9.0	4.0	4.0	2.0	0.0	0.0	65.0	393.8
関東(東京都除く)	300	2.0	17.0	17.7	7.7	2.3	0.7	0.0	0.0	52.7	360.0
北陸	61	0.0	16.4	1.6	8.2	4.9	0.0	0.0	0.0	68.9	410.1
中部(愛知県除く)	106	1.9	18.9	14.2	6.6	1.9	0.9	0.0	0.0	55.7	353.8
近畿(大阪府除く)	117	2.6	12.8	16.2	0.9	0.9	0.0	1.7	0.0	65.0	356.1
中国	96	2.1	14.6	20.8	7.3	4.2	2.1	0.0	0.0	49.0	397.2
四国	43	0.0	30.2	20.9	4.7	2.3	0.0	0.0	0.0	41.9	315.1
北九州	96	1.0	11.5	7.3	3.1	4.2	2.1	0.0	1.0	69.8	516.3
南九州	65	0.0	24.6	12.3	7.7	4.6	0.0	1.5	0.0	49.2	381.5

⑪ 世帯保有金融資産額

(単位：％)

	N	100万円未満	100万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上5,000万円未満	5,000万円以上1億円未満	1億円以上	無回答
全 体	2083	14.5	25.3	13.1	14.5	5.7	1.1	25.7
性 別								
男性	964	16.8	26.0	15.0	14.9	5.8	1.5	19.9
女性	1119	12.6	24.7	11.4	14.1	5.6	0.8	30.7
本 人 年 齢								
60～64歳	353	11.9	24.4	16.7	19.0	5.1	0.8	22.1
65～69歳	406	13.5	26.6	15.0	15.0	7.6	1.5	20.7
70～74歳	497	15.7	24.9	12.1	14.5	7.0	2.0	23.7
75～79歳	407	15.0	25.6	12.5	12.0	5.2	0.7	29.0
80～84歳	242	18.2	25.2	10.7	13.2	3.7	0.0	28.9
85～89歳	132	15.2	22.7	9.1	13.6	2.3	0.8	36.4
90歳以上	46	6.5	30.4	8.7	6.5	4.3	0.0	43.5
本 人 職 業								
自営者	180	17.2	20.6	13.9	18.3	7.8	2.8	19.4
農林漁業	19	26.3	26.3	10.5	10.5	5.3	0.0	21.1
商工サービス業	124	16.9	20.2	15.3	19.4	7.3	4.0	16.9
自由業	37	13.5	18.9	10.8	18.9	10.8	0.0	27.0
常雇被用者	222	13.5	27.0	21.2	19.8	6.3	1.4	10.8
公務員	37	5.4	21.6	24.3	32.4	5.4	0.0	10.8
民間企業被用者	185	15.1	28.1	20.5	17.3	6.5	1.6	10.8
非正規社員	178	18.0	32.0	13.5	15.2	3.9	0.0	17.4
派遣社員・契約社員	39	17.9	25.6	20.5	17.9	5.1	0.0	12.8
パート・アルバイト	139	18.0	33.8	11.5	14.4	3.6	0.0	18.7
無職	1037	15.4	25.7	12.9	15.7	5.9	1.0	23.3
その他	24	0.0	37.5	16.7	8.3	8.3	4.2	25.0
本 人 年 収								
収入はない	292	20.2	22.3	9.2	8.9	3.8	0.3	35.3
100万円未満	435	18.9	25.3	12.9	14.0	4.6	0.2	24.1
100～500万円未満	1072	13.5	29.6	14.6	16.0	5.2	0.8	20.3
500～1,000万円未満	135	6.7	17.0	20.7	21.5	18.5	3.7	11.9
1,000～2,000万円未満	25	0.0	4.0	8.0	40.0	16.0	16.0	16.0
2,000万円以上	13	0.0	0.0	15.4	23.1	15.4	23.1	23.1
未 既 婚								
未婚	88	18.2	19.3	15.9	11.4	9.1	1.1	25.0
既婚(配偶者あり)	1471	13.1	24.5	14.3	17.3	6.5	1.4	22.8
既婚(離別・死別)	506	17.8	29.2	9.3	7.3	3.0	0.4	33.0
配 偶 者 年 齢								
49歳以下	13	15.4	23.1	23.1	0.0	0.0	0.0	38.5
50～59歳	90	13.3	23.3	21.1	18.9	8.9	0.0	14.4
60～64歳	191	12.6	23.0	18.3	17.3	7.9	2.6	18.3
65～69歳	296	12.2	26.7	13.2	19.9	5.7	2.4	19.9
70～74歳	341	12.0	24.0	15.5	20.2	7.3	1.2	19.6
75～79歳	249	16.5	24.5	14.5	12.9	6.8	0.8	24.1
80～84歳	157	14.6	25.5	8.9	15.9	7.6	0.6	26.8
85～89歳	62	12.9	19.4	14.5	22.6	3.2	1.6	25.8
90歳以上	21	9.5	23.8	4.8	14.3	0.0	0.0	47.6
配 偶 者 職 業								
自営者	110	15.5	19.1	19.1	18.2	10.0	2.7	15.5
農林漁業	12	25.0	8.3	16.7	8.3	8.3	0.0	33.3
商工サービス業	82	12.2	23.2	17.1	20.7	11.0	3.7	12.2
自由業	16	25.0	6.3	31.3	12.5	6.3	0.0	18.8
常雇被用者	123	9.8	30.9	8.9	24.4	8.9	0.8	16.3
公務員	22	4.5	18.2	13.6	50.0	0.0	0.0	13.6
民間企業被用者	101	10.9	33.7	7.9	18.8	10.9	1.0	16.8
非正規社員	157	15.3	33.8	22.3	12.7	5.1	0.6	10.2
派遣社員・契約社員	28	28.6	25.0	32.1	0.0	3.6	0.0	10.7
パート・アルバイト	129	12.4	35.7	20.2	15.5	5.4	0.8	10.1
無職	684	12.7	25.0	15.5	19.6	8.2	1.2	17.8
その他	9	0.0	22.2	22.2	33.3	22.2	0.0	0.0
配 偶 者 年 収								
収入はない	295	19.7	22.4	16.6	13.2	3.7	1.0	23.4
100万円未満	347	14.7	28.5	14.4	17.6	6.1	1.4	17.3
100～500万円未満	600	13.0	26.5	14.8	21.5	7.0	1.0	16.2
500～1,000万円未満	84	2.4	20.2	21.4	16.7	17.9	3.6	17.9
1,000～2,000万円未満	14	7.1	0.0	14.3	50.0	21.4	0.0	7.1
2,000万円以上	7	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	42.9	0.0

⑪ 世帯保有金融資産額

(単位：％)

	N	100万円未満	100万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上5,000万円未満	5,000万円以上1億円未満	1億円以上	無回答
全 体	2083	14.5	25.3	13.1	14.5	5.7	1.1	25.7
家 族 形 態								
単身	333	15.6	29.1	11.1	8.1	5.7	0.6	29.7
夫婦のみ	773	13.6	24.2	13.3	17.9	7.4	1.4	22.3
2世代世帯	424	9.9	24.8	19.1	19.3	6.8	1.4	18.6
夫婦と子のみ	354	9.3	24.0	18.6	18.9	7.1	1.7	20.3
親と自分(夫婦)のみ	70	12.9	28.6	21.4	21.4	5.7	0.0	10.0
3世代世帯	227	18.1	25.6	12.8	11.0	1.8	0.9	30.0
自分(夫婦)と子と孫	195	17.9	26.2	11.8	10.3	1.5	0.5	31.8
親と自分(夫婦)と子	32	18.8	21.9	18.8	15.6	3.1	3.1	18.8
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	299	20.1	26.4	7.0	9.7	3.0	0.7	33.1
本人または夫婦年収								
100万円未満	50	34.0	32.0	6.0	4.0	0.0	0.0	24.0
100～300万円未満	311	21.9	37.0	13.5	10.9	1.6	0.3	14.8
300～500万円未満	295	11.9	27.5	18.6	27.5	6.1	0.3	8.1
500～700万円未満	141	7.8	22.0	20.6	24.8	14.9	2.8	7.1
700～1,000万円未満	67	6.0	23.9	17.9	28.4	13.4	4.5	6.0
1,000～1,500万円未満	30	0.0	3.3	23.3	33.3	26.7	10.0	3.3
1,500～2,000万円未満	8	0.0	12.5	12.5	37.5	12.5	0.0	25.0
2,000万円以上	10	0.0	0.0	20.0	10.0	30.0	40.0	0.0
住 居 形 態								
持家	1783	12.4	25.6	14.2	16.5	6.3	1.3	23.7
持家・ローンあり	252	23.0	25.8	10.7	7.5	3.2	2.0	27.8
持家・ローンなし	1376	9.9	25.2	15.4	18.7	7.4	1.3	22.1
持家・夫婦以外名義	155	17.4	28.4	9.0	12.3	1.9	0.0	31.0
借家	248	31.0	27.4	7.3	1.6	2.4	0.0	30.2
賃貸住宅	242	31.8	27.3	7.0	1.2	2.1	0.0	30.6
社宅	6	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7
その他	19	21.1	15.8	10.5	10.5	0.0	0.0	42.1
市 郡 規 模 別								
21大市	706	12.2	24.5	12.3	13.9	8.1	1.4	27.6
人口10万人以上の市	835	15.3	25.4	14.5	15.3	4.9	1.1	23.5
人口10万人未満の市	382	14.1	25.7	11.8	14.4	4.5	1.0	28.5
郡部	160	21.9	27.5	12.5	13.1	2.5	0.0	22.5
地 域 ブ ロ ッ ク 別								
東京	434	12.4	24.0	12.0	15.4	9.0	2.8	24.4
愛知	276	10.5	24.6	11.2	17.4	8.7	1.8	25.7
大阪	324	16.4	24.1	14.5	12.0	5.2	0.6	27.2
北海道	65	18.5	27.7	12.3	6.2	3.1	0.0	32.3
東北	100	19.0	32.0	12.0	9.0	4.0	0.0	24.0
関東(東京都除く)	300	11.7	24.0	16.7	18.3	5.0	1.0	23.3
北陸	61	23.0	23.0	8.2	21.3	1.6	0.0	23.0
中部(愛知県除く)	106	17.9	23.6	13.2	17.0	2.8	0.0	25.5
近畿(大阪府除く)	117	16.2	29.9	12.8	17.1	2.6	0.9	20.5
中国	96	21.9	19.8	13.5	12.5	2.1	0.0	30.2
四国	43	14.0	30.2	16.3	9.3	4.7	0.0	25.6
北九州	96	11.5	32.3	13.5	7.3	4.2	0.0	31.3
南九州	65	16.9	27.7	9.2	9.2	4.6	0.0	32.3

⑫ 住居形態

(単位：％)

	N	持家	持家・ローンあり	持家・ローンなし	持家・夫婦以外名義	借家	賃貸住宅	社宅	その他	無回答
全 体	2083	85.6	12.1	66.1	7.4	11.9	11.6	0.3	0.9	1.6
性 別										
男性	964	85.1	12.8	67.7	4.6	12.8	12.3	0.4	0.7	1.5
女性	1119	86.1	11.5	64.6	9.9	11.2	11.0	0.2	1.1	1.7
本 人 年 齢										
60～64歳	353	86.1	15.9	61.5	8.8	10.8	9.9	0.8	0.8	2.3
65～69歳	406	85.7	16.0	63.3	6.4	12.8	12.6	0.2	0.2	1.2
70～74歳	497	87.3	11.7	69.4	6.2	10.7	10.7	0.0	1.0	1.0
75～79歳	407	84.0	7.6	69.0	7.4	13.8	13.5	0.2	0.7	1.5
80～84歳	242	83.5	9.5	66.5	7.4	14.0	13.6	0.4	0.8	1.7
85～89歳	132	84.1	9.1	65.2	9.8	11.4	11.4	0.0	3.0	1.5
90歳以上	46	91.3	15.2	63.0	13.0	0.0	0.0	0.0	2.2	6.5
本 人 職 業										
自営者	180	86.7	19.4	59.4	7.8	10.0	8.9	1.1	1.1	2.2
農林漁業	19	89.5	15.8	57.9	15.8	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3
商工サービス業	124	85.5	24.2	57.3	4.0	10.5	8.9	1.6	1.6	2.4
自由業	37	89.2	5.4	67.6	16.2	10.8	10.8	0.0	0.0	0.0
常雇被用者	222	85.6	15.8	64.4	5.4	12.2	11.7	0.5	0.9	1.4
公務員	37	94.6	16.2	75.7	2.7	2.7	2.7	0.0	0.0	2.7
民間企業被用者	185	83.8	15.7	62.2	5.9	14.1	13.5	0.5	1.1	1.1
非正規社員	178	81.5	17.4	55.1	9.0	16.9	16.3	0.6	0.6	1.1
派遣社員・契約社員	39	76.9	10.3	59.0	7.7	23.1	20.5	2.6	0.0	0.0
パート・アルバイト	139	82.7	19.4	54.0	9.4	15.1	15.1	0.0	0.7	1.4
無職	1037	87.2	9.9	69.8	7.4	11.4	11.4	0.0	0.8	0.7
その他	24	91.7	4.2	79.2	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0
本 人 年 収										
収入はない	292	83.9	11.6	61.6	10.6	13.7	13.7	0.0	0.7	1.7
100万円未満	435	83.4	13.8	61.1	8.5	14.9	14.7	0.2	0.9	0.7
100～500万円未満	1072	87.0	12.1	67.4	7.5	10.9	10.6	0.3	1.0	1.0
500～1,000万円未満	135	88.9	11.9	74.1	3.0	10.4	9.6	0.7	0.0	0.7
1,000～2,000万円未満	25	96.0	8.0	84.0	4.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0
2,000万円以上	13	100.0	23.1	76.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未 既 婚										
未婚	88	63.6	4.5	45.5	13.6	31.8	31.8	0.0	4.5	0.0
既婚(配偶者あり)	1471	90.3	13.7	72.3	4.2	8.0	7.7	0.3	0.3	1.4
既婚(離別・死別)	506	77.3	9.1	52.8	15.4	19.8	19.4	0.4	1.8	1.2
配 偶 者 年 齢										
49歳以下	13	84.6	15.4	69.2	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7
50～59歳	90	90.0	22.2	55.6	12.2	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	191	89.0	15.2	68.6	5.2	9.4	8.4	1.0	0.0	1.6
65～69歳	296	93.9	20.9	69.3	3.7	5.4	5.4	0.0	0.3	0.3
70～74歳	341	91.2	11.4	76.5	3.2	7.3	6.7	0.6	0.3	1.2
75～79歳	249	87.6	8.4	75.5	3.6	10.0	10.0	0.0	0.4	2.0
80～84歳	157	88.5	7.6	76.4	4.5	9.6	9.6	0.0	1.3	0.6
85～89歳	62	90.3	8.1	80.6	1.6	9.7	9.7	0.0	0.0	0.0
90歳以上	21	100.0	23.8	76.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配 偶 者 職 業										
自営者	110	93.6	20.9	69.1	3.6	5.5	4.5	0.9	0.9	0.0
農林漁業	12	100.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商工サービス業	82	91.5	20.7	68.3	2.4	7.3	6.1	1.2	1.2	0.0
自由業	16	100.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
常雇被用者	123	94.3	22.8	65.9	5.7	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0
公務員	22	100.0	22.7	77.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民間企業被用者	101	93.1	22.8	63.4	6.9	6.9	6.9	0.0	0.0	0.0
非正規社員	157	85.4	21.0	59.2	5.1	13.4	12.7	0.6	0.0	1.3
派遣社員・契約社員	28	78.6	21.4	57.1	0.0	21.4	21.4	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	129	86.8	20.9	59.7	6.2	11.6	10.9	0.8	0.0	1.6
無職	684	92.0	8.5	79.4	4.1	7.2	7.0	0.1	0.6	0.3
その他	9	100.0	11.1	66.7	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配 偶 者 年 収										
収入はない	295	87.5	11.5	71.2	4.7	10.5	10.2	0.3	0.0	2.0
100万円未満	347	89.3	15.3	68.9	5.2	8.9	8.6	0.3	0.3	1.4
100～500万円未満	600	91.0	14.0	73.7	3.3	7.8	7.5	0.3	0.7	0.5
500～1,000万円未満	84	96.4	14.3	76.2	6.0	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0
1,000～2,000万円未満	14	100.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2,000万円以上	7	100.0	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑫ 住居形態

(単位：％)

	N	持家	持家・ローンあり	持家・ローンなし	持家・夫婦以外名義	借家	賃貸住宅	社宅	その他	無回答
全 体	2083	85.6	12.1	66.1	7.4	11.9	11.6	0.3	0.9	1.6
家 族 形 態										
単身	333	67.0	3.9	56.8	6.3	30.0	29.7	0.3	2.1	0.9
夫婦のみ	773	88.5	10.7	75.7	2.1	9.8	9.4	0.4	0.3	1.4
2世代世帯	424	93.2	15.8	71.2	6.1	5.7	5.7	0.0	0.2	0.9
夫婦と子のみ	354	93.2	15.8	74.0	3.4	5.4	5.4	0.0	0.3	1.1
親と自分(夫婦)のみ	70	92.9	15.7	57.1	20.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
3世代世帯	227	92.5	17.2	60.8	14.5	5.7	4.8	0.9	0.4	1.3
自分(夫婦)と子と孫	195	91.8	18.5	58.5	14.9	6.2	5.6	0.5	0.5	1.5
親と自分(夫婦)と子	32	96.9	9.4	75.0	12.5	3.1	0.0	3.1	0.0	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	299	85.3	15.7	49.8	19.7	10.7	10.7	0.0	2.3	1.7
本人または夫婦年収										
100万円未満	50	76.0	12.0	50.0	14.0	24.0	24.0	0.0	0.0	0.0
100～300万円未満	311	82.0	11.3	61.1	9.6	17.0	17.0	0.0	1.0	0.0
300～500万円未満	295	92.9	14.6	72.9	5.4	6.1	6.1	0.0	1.0	0.0
500～700万円未満	141	93.6	15.6	72.3	5.7	5.7	5.0	0.7	0.0	0.7
700～1,000万円未満	67	88.1	14.9	67.2	6.0	11.9	11.9	0.0	0.0	0.0
1,000～1,500万円未満	30	96.7	26.7	66.7	3.3	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0
1,500～2,000万円未満	8	100.0	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2,000万円以上	10	100.0	10.0	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
世帯保有金融資産額										
100万円未満	303	72.9	19.1	44.9	8.9	25.4	25.4	0.0	1.3	0.3
100～1,000万円未満	527	86.5	12.3	65.8	8.3	12.9	12.5	0.4	0.6	0.0
1,000～2,000万円未満	273	92.7	9.9	77.7	5.1	6.6	6.2	0.4	0.7	0.0
2,000～5,000万円未満	302	97.7	6.3	85.1	6.3	1.3	1.0	0.3	0.7	0.3
5,000万円～1億円未満	119	95.0	6.7	85.7	2.5	5.0	4.2	0.8	0.0	0.0
1億円以上	23	100.0	21.7	78.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市 郡 規 模 別										
21大市	706	81.7	10.6	63.7	7.4	14.4	14.2	0.3	1.7	2.1
人口10万人以上の市	835	85.6	13.7	65.9	6.1	12.3	12.0	0.4	0.6	1.4
人口10万人未満の市	382	91.6	11.5	70.2	9.9	6.5	6.3	0.3	0.5	1.3
郡部	160	88.1	11.9	67.5	8.8	11.3	11.3	0.0	0.0	0.6
地 域 ブ ロ ッ ク 別										
東京	434	87.1	10.8	68.4	7.8	9.2	8.5	0.7	2.3	1.4
愛知	276	91.7	18.1	66.7	6.9	7.2	6.9	0.4	0.7	0.4
大阪	324	71.0	9.9	54.6	6.5	25.3	25.0	0.3	0.6	3.1
北海道	65	70.8	7.7	58.5	4.6	24.6	24.6	0.0	1.5	3.1
東北	100	95.0	16.0	67.0	12.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0
関東(東京都除く)	300	91.0	11.7	72.3	7.0	7.7	7.7	0.0	0.7	0.7
北陸	61	96.7	9.8	82.0	4.9	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0
中部(愛知県除く)	106	89.6	4.7	78.3	6.6	8.5	8.5	0.0	0.0	1.9
近畿(大阪府除く)	117	86.3	8.5	73.5	4.3	9.4	8.5	0.9	0.9	3.4
中国	96	84.4	12.5	63.5	8.3	12.5	12.5	0.0	0.0	3.1
四国	43	86.0	20.9	60.5	4.7	14.0	14.0	0.0	0.0	0.0
北九州	96	79.2	13.5	55.2	10.4	17.7	17.7	0.0	1.0	2.1
南九州	65	90.8	18.5	56.9	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	1.5

⑬ 市郡規模別

(単位：％)

	N	21大市	人口10万人以上の市	人口10万人未満の市	郡部
全 体	2083	33.9	40.1	18.3	7.7
性 別					
男性	964	34.4	39.8	17.7	8.0
女性	1119	33.4	40.3	18.9	7.4
本 人 年 齢					
60～64歳	353	36.0	37.7	18.4	7.9
65～69歳	406	32.5	42.4	16.3	8.9
70～74歳	497	34.6	39.2	18.9	7.2
75～79歳	407	31.9	41.5	18.9	7.6
80～84歳	242	33.5	45.9	15.3	5.4
85～89歳	132	32.6	34.1	24.2	9.1
90歳以上	46	45.7	21.7	23.9	8.7
本 人 職 業					
自営者	180	41.7	32.2	20.6	5.6
農林漁業	19	5.3	47.4	36.8	10.5
商工サービス業	124	46.0	29.0	19.4	5.6
自由業	37	45.9	35.1	16.2	2.7
常雇被用者	222	29.3	39.2	19.4	12.2
公務員	37	27.0	37.8	21.6	13.5
民間企業被用者	185	29.7	39.5	18.9	11.9
非正規社員	178	32.0	41.6	15.7	10.7
派遣社員・契約社員	39	25.6	56.4	12.8	5.1
パート・アルバイト	139	33.8	37.4	16.5	12.2
無職	1037	32.6	42.0	18.2	7.1
その他	24	58.3	37.5	4.2	0.0
本 人 年 収					
収入はない	292	32.5	43.8	16.4	7.2
100万円未満	435	35.4	39.5	18.9	6.2
100～500万円未満	1072	32.3	40.4	18.9	8.4
500～1,000万円未満	135	35.6	38.5	15.6	10.4
1,000～2,000万円未満	25	68.0	28.0	4.0	0.0
2,000万円以上	13	53.8	38.5	7.7	0.0
未 既 婚					
未婚	88	54.5	22.7	17.0	5.7
既婚(配偶者あり)	1471	31.5	42.1	18.6	7.8
既婚(離別・死別)	506	37.5	36.8	17.8	7.9
配 偶 者 年 齢					
49歳以下	13	61.5	30.8	7.7	0.0
50～59歳	90	35.6	32.2	20.0	12.2
60～64歳	191	30.9	42.9	19.4	6.8
65～69歳	296	28.4	44.3	18.9	8.4
70～74歳	341	32.8	41.3	17.6	8.2
75～79歳	249	26.5	46.6	18.9	8.0
80～84歳	157	34.4	43.9	15.9	5.7
85～89歳	62	40.3	29.0	19.4	11.3
90歳以上	21	19.0	42.9	33.3	4.8
配 偶 者 職 業					
自営者	110	33.6	40.0	18.2	8.2
農林漁業	12	8.3	58.3	25.0	8.3
商工サービス業	82	36.6	39.0	15.9	8.5
自由業	16	37.5	31.3	25.0	6.3
常雇被用者	123	35.8	35.8	18.7	9.8
公務員	22	31.8	45.5	18.2	4.5
民間企業被用者	101	36.6	33.7	18.8	10.9
非正規社員	157	29.3	45.9	14.6	10.2
派遣社員・契約社員	28	42.9	46.4	3.6	7.1
パート・アルバイト	129	26.4	45.7	17.1	10.9
無職	684	29.7	44.6	18.7	7.0
その他	9	33.3	22.2	44.4	0.0
配 偶 者 年 収					
収入はない	295	34.6	43.4	16.6	5.4
100万円未満	347	30.8	40.6	19.9	8.6
100～500万円未満	600	30.3	43.3	18.2	8.2
500～1,000万円未満	84	34.5	46.4	10.7	8.3
1,000～2,000万円未満	14	42.9	21.4	21.4	14.3
2,000万円以上	7	28.6	42.9	28.6	0.0

⑬ 市郡規模別

(単位：％)

	N	21大市	人口10万人以上の市	人口10万人未満の市	郡部
全 体	2083	33.9	40.1	18.3	7.7
家 族 形 態					
単身	333	41.7	36.9	14.7	6.6
夫婦のみ	773	31.2	42.6	18.5	7.8
2世代世帯	424	34.4	41.3	17.2	7.1
夫婦と子のみ	354	36.7	41.5	15.3	6.5
親と自分(夫婦)のみ	70	22.9	40.0	27.1	10.0
3世代世帯	227	30.0	34.4	23.8	11.9
自分(夫婦)と子と孫	195	30.8	33.3	23.6	12.3
親と自分(夫婦)と子	32	25.0	40.6	25.0	9.4
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	299	32.8	41.1	19.4	6.7
本人または夫婦年収					
100万円未満	50	32.0	46.0	8.0	14.0
100～300万円未満	311	29.3	49.5	14.1	7.1
300～500万円未満	295	30.8	47.8	12.9	8.5
500～700万円未満	141	36.9	41.8	12.8	8.5
700～1,000万円未満	67	41.8	44.8	10.4	3.0
1,000～1,500万円未満	30	43.3	33.3	13.3	10.0
1,500～2,000万円未満	8	75.0	12.5	12.5	0.0
2,000万円以上	10	50.0	40.0	10.0	0.0
世帯保有金融資産額					
100万円未満	303	28.4	42.2	17.8	11.6
100～1,000万円未満	527	32.8	40.2	18.6	8.3
1,000～2,000万円未満	273	31.9	44.3	16.5	7.3
2,000～5,000万円未満	302	32.5	42.4	18.2	7.0
5,000万円～1億円未満	119	47.9	34.5	14.3	3.4
1億円以上	23	43.5	39.1	17.4	0.0
住 居 形 態					
持家	1783	32.4	40.1	19.6	7.9
持家・ローンあり	252	29.8	45.2	17.5	7.5
持家・ローンなし	1376	32.7	40.0	19.5	7.8
持家・夫婦以外名義	155	33.5	32.9	24.5	9.0
借家	248	41.1	41.5	10.1	7.3
賃貸住宅	242	41.3	41.3	9.9	7.4
社宅	6	33.3	50.0	16.7	0.0
その他	19	63.2	26.3	10.5	0.0
地 域 ブ ロ ッ ク 別					
東京	434	64.5	27.6	5.1	2.8
愛知	276	31.9	44.2	19.2	4.7
大阪	324	37.0	50.9	9.9	2.2
北海道	65	38.5	30.8	15.4	15.4
東北	100	10.0	40.0	30.0	20.0
関東(東京都除く)	300	23.3	46.7	23.0	7.0
北陸	61	16.4	32.8	34.4	16.4
中部(愛知県除く)	106	18.9	41.5	28.3	11.3
近畿(大阪府除く)	117	25.6	37.6	27.4	9.4
中国	96	22.9	43.8	21.9	11.5
四国	43	0.0	51.2	23.3	25.6
北九州	96	21.9	34.4	32.3	11.5
南九州	65	15.4	35.4	32.3	16.9

⑭ 地域ブロック別

(単位：％)

	N	東京都	愛知県	大阪府	北海道	東北	関東(東京都除く)	北陸	中部(愛知県除く)	近畿(大阪府除く)	中国	四国	北九州	南九州
全 体	2083	20.8	13.3	15.6	3.1	4.8	14.4	2.9	5.1	5.6	4.6	2.1	4.6	3.1
性 別														
男性	964	21.5	13.8	16.0	2.5	3.7	14.8	3.4	4.7	5.9	3.7	2.2	4.6	3.2
女性	1119	20.3	12.8	15.2	3.7	5.7	14.0	2.5	5.5	5.4	5.4	2.0	4.6	3.0
本 人 年 齢														
60～64歳	353	20.7	12.5	13.0	3.4	5.4	15.3	4.0	5.1	4.8	4.8	2.3	5.9	2.8
65～69歳	406	18.5	14.8	16.5	2.5	5.9	14.8	3.2	4.9	3.7	4.7	2.0	4.7	3.9
70～74歳	497	22.3	11.7	15.9	3.6	4.0	15.5	2.6	4.4	6.2	5.0	2.8	3.2	2.6
75～79歳	407	19.7	12.8	17.4	4.2	4.2	14.3	2.7	5.9	6.9	3.2	1.7	4.7	2.5
80～84歳	242	21.5	13.6	16.1	2.1	4.5	12.0	3.3	4.5	5.8	5.4	1.2	5.4	4.5
85～89歳	132	26.5	14.4	12.1	1.5	3.0	15.9	1.5	4.5	6.1	6.8	2.3	2.3	3.0
90歳以上	46	17.4	21.7	13.0	2.2	10.9	2.2	0.0	10.9	8.7	0.0	0.0	10.9	2.2
本 人 職 業														
自営者	180	24.4	12.2	13.3	1.1	7.2	12.8	6.1	3.3	3.9	3.9	1.1	6.7	3.9
農林漁業	19	0.0	21.1	5.3	5.3	21.1	21.1	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3
商工サービス業	124	26.6	11.3	12.9	0.0	4.0	12.9	7.3	4.0	3.2	4.0	1.6	7.3	4.8
自由業	37	29.7	10.8	18.9	2.7	10.8	8.1	5.4	0.0	8.1	2.7	0.0	2.7	0.0
常雇被用者	222	15.8	17.1	10.4	1.8	5.0	18.9	4.5	5.4	4.5	5.9	3.2	5.4	2.3
公務員	37	2.7	21.6	5.4	2.7	5.4	16.2	0.0	8.1	8.1	10.8	2.7	8.1	8.1
民間企業被用者	185	18.4	16.2	11.4	1.6	4.9	19.5	5.4	4.9	3.8	4.9	3.2	4.9	1.1
非正規社員	178	22.5	14.0	13.5	5.6	5.1	12.9	3.9	5.6	3.4	3.4	1.7	3.9	4.5
派遣社員・契約社員	39	28.2	7.7	15.4	2.6	2.6	20.5	5.1	5.1	0.0	0.0	0.0	5.1	7.7
パート・アルバイト	139	20.9	15.8	12.9	6.5	5.8	10.8	3.6	5.8	4.3	4.3	2.2	3.6	3.6
無職	1037	20.3	12.9	16.6	2.7	4.4	14.3	2.8	6.0	6.7	4.3	2.2	3.7	3.1
その他	24	37.5	8.3	33.3	8.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
本 人 年 収														
収入はない	292	21.2	10.6	18.2	2.4	5.1	11.3	1.0	7.2	6.5	7.9	0.7	6.5	1.4
100万円未満	435	20.9	12.0	17.0	3.4	7.6	12.4	2.3	4.1	7.1	4.8	1.8	3.7	2.8
100～500万円未満	1072	20.0	14.6	15.0	3.5	3.9	15.2	3.5	5.0	4.9	4.1	2.8	4.1	3.4
500～1,000万円未満	135	24.4	13.3	8.1	0.7	4.4	17.0	5.9	5.9	4.4	3.7	1.5	5.9	4.4
1,000～2,000万円未満	25	52.0	20.0	8.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0
2,000万円以上	13	38.5	7.7	15.4	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0
未 既 婚														
未婚	88	33.0	8.0	12.5	1.1	1.1	19.3	2.3	3.4	5.7	1.1	3.4	4.5	4.5
既婚(配偶者あり)	1471	20.5	13.2	15.4	2.7	5.4	14.3	3.0	4.6	6.0	5.0	2.1	4.7	3.3
既婚(離別・死別)	506	20.2	14.8	16.0	4.9	3.8	14.0	3.0	7.1	4.2	4.0	1.8	3.8	2.6
配 偶 者 年 齢														
49歳以下	13	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	23.1	0.0	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7
50～59歳	90	30.0	10.0	11.1	3.3	4.4	13.3	2.2	6.7	4.4	6.7	1.1	3.3	3.3
60～64歳	191	16.8	15.7	12.0	3.1	6.3	17.3	4.7	3.1	3.7	4.2	2.6	5.2	5.2
65～69歳	296	16.9	14.2	15.5	2.0	4.4	16.6	4.4	5.4	5.1	5.7	3.0	4.4	2.4
70～74歳	341	20.8	15.5	17.3	2.3	5.6	13.2	2.6	3.8	5.3	4.4	1.2	4.4	3.5
75～79歳	249	20.9	9.6	17.7	4.8	4.4	12.4	2.8	5.2	8.0	6.0	2.4	2.8	2.8
80～84歳	157	20.4	11.5	15.3	1.9	7.0	12.1	1.9	4.5	6.4	3.8	1.9	9.6	3.8
85～89歳	62	17.7	16.1	14.5	0.0	9.7	14.5	1.6	6.5	12.9	1.6	0.0	4.8	0.0
90歳以上	21	23.8	4.8	14.3	0.0	9.5	9.5	0.0	4.8	9.5	14.3	4.8	0.0	4.8
配 偶 者 職 業														
自営者	110	24.5	14.5	9.1	3.6	8.2	14.5	2.7	2.7	5.5	3.6	0.9	5.5	4.5
農林漁業	12	0.0	33.3	0.0	8.3	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
商工サービス業	82	30.5	12.2	8.5	3.7	4.9	13.4	3.7	3.7	6.1	2.4	1.2	4.9	4.9
自由業	16	12.5	12.5	18.8	0.0	12.5	18.8	0.0	0.0	6.3	12.5	0.0	6.3	0.0
常雇被用者	123	24.4	7.3	14.6	3.3	4.9	9.8	3.3	7.3	8.9	6.5	2.4	4.1	3.3
公務員	22	22.7	0.0	9.1	9.1	4.5	13.6	0.0	22.7	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1
民間企業被用者	101	24.8	8.9	15.8	2.0	5.0	8.9	4.0	4.0	8.9	7.9	3.0	5.0	2.0
非正規社員	157	14.6	15.9	15.9	3.8	3.2	14.6	3.8	6.4	1.9	8.9	3.8	4.5	2.5
派遣社員・契約社員	28	14.3	14.3	17.9	10.7	0.0	7.1	0.0	3.6	3.6	7.1	10.7	7.1	3.6
パート・アルバイト	129	14.7	16.3	15.5	2.3	3.9	16.3	4.7	7.0	1.6	9.3	2.3	3.9	2.3
無職	684	20.9	13.9	17.1	2.6	5.0	13.2	3.1	4.7	5.7	4.4	2.2	4.1	3.2
その他	9	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
配 偶 者 年 収														
収入はない	295	21.7	13.9	18.0	2.0	6.1	14.6	1.4	4.1	5.4	4.1	0.7	4.7	3.4
100万円未満	347	18.4	14.1	14.7	0.9	3.5	15.9	4.0	4.6	6.6	5.2	2.6	5.5	4.0
100～500万円未満	600	19.0	13.0	14.7	4.0	6.2	11.5	4.3	5.8	6.7	5.5	2.7	4.2	2.5
500～1,000万円未満	84	29.8	10.7	15.5	4.8	2.4	17.9	0.0	1.2	3.6	4.8	2.4	4.8	2.4
1,000～2,000万円未満	14	50.0	7.1	7.1	0.0	7.1	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
2,000万円以上	7	14.3	42.9	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑭ 地域ブロック別

(単位：％)

	N	東京都	愛知県	大阪府	北海道	東北	関東(東京都除く)	北陸	中部(愛知県除く)	近畿(大阪府除く)	中国	四国	北九州	南九州
全 体	2083	20.8	13.3	15.6	3.1	4.8	14.4	2.9	5.1	5.6	4.6	2.1	4.6	3.1
家 族 形 態														
単身	333	21.3	10.2	17.7	6.0	1.2	15.6	2.1	6.9	5.7	2.7	2.7	5.7	2.1
夫婦のみ	773	19.9	12.8	16.2	3.4	5.4	13.2	2.8	3.9	6.3	5.6	1.7	5.0	3.8
2世代世帯	424	22.9	13.0	14.6	2.4	5.0	17.0	2.8	5.2	4.0	3.8	2.8	3.8	2.8
夫婦と子のみ	354	24.6	12.7	15.5	2.0	3.7	17.2	3.1	4.5	4.2	4.0	2.8	2.5	3.1
親と自分(夫婦)のみ	70	14.3	14.3	10.0	4.3	11.4	15.7	1.4	8.6	2.9	2.9	2.9	10.0	1.4
3世代世帯	227	18.5	14.5	15.9	3.1	5.7	9.7	4.8	7.9	7.9	3.5	1.3	4.8	2.2
自分(夫婦)と子と孫	195	18.5	14.9	16.4	2.6	6.2	8.2	5.1	7.7	7.7	3.6	1.5	5.6	2.1
親と自分(夫婦)と子	32	18.8	12.5	12.5	6.3	3.1	18.8	3.1	9.4	9.4	3.1	0.0	0.0	3.1
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	299	20.7	17.7	12.4	0.7	6.0	16.7	3.0	3.7	3.7	6.4	2.0	3.3	3.7
本人または夫婦年収														
100万円未満	50	22.0	12.0	26.0	2.0	10.0	12.0	0.0	4.0	6.0	4.0	0.0	2.0	0.0
100～300万円未満	311	13.5	17.4	12.5	4.8	3.5	16.4	3.2	6.4	4.8	4.5	4.2	3.5	5.1
300～500万円未満	295	17.3	15.6	14.6	4.7	3.1	18.0	0.3	5.1	6.4	6.8	3.1	2.4	2.7
500～700万円未満	141	25.5	17.0	16.3	0.7	2.8	16.3	3.5	5.0	0.7	5.0	1.4	2.1	3.5
700～1,000万円未満	67	26.9	17.9	10.4	1.5	6.0	10.4	4.5	3.0	1.5	6.0	1.5	6.0	4.5
1,000～1,500万円未満	30	40.0	13.3	13.3	3.3	6.7	6.7	0.0	3.3	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0
1,500～2,000万円未満	8	37.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5
2,000万円以上	10	40.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
世帯保有金融資産額														
100万円未満	303	17.8	9.6	17.5	4.0	6.3	11.6	4.6	6.3	6.3	6.9	2.0	3.6	3.6
100～1,000万円未満	527	19.7	12.9	14.8	3.4	6.1	13.7	2.7	4.7	6.6	3.6	2.5	5.9	3.4
1,000～2,000万円未満	273	19.0	11.4	17.2	2.9	4.4	18.3	1.8	5.1	5.5	4.8	2.6	4.8	2.2
2,000～5,000万円未満	302	22.2	15.9	12.9	1.3	3.0	18.2	4.3	6.0	6.6	4.0	1.3	2.3	2.0
5,000万円～1億円未満	119	32.8	20.2	14.3	1.7	3.4	12.6	0.8	2.5	2.5	1.7	1.7	3.4	2.5
1億円以上	23	52.2	21.7	8.7	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
住 居 形 態														
持家	1783	21.2	14.2	12.9	2.6	5.3	15.3	3.3	5.3	5.7	4.5	2.1	4.3	3.3
持家・ローンあり	252	18.7	19.8	12.7	2.0	6.3	13.9	2.4	2.0	4.0	4.8	3.6	5.2	4.8
持家・ローンなし	1376	21.6	13.4	12.9	2.8	4.9	15.8	3.6	6.0	6.3	4.4	1.9	3.9	2.7
持家・夫婦以外名義	155	21.9	12.3	13.5	1.9	7.7	13.5	1.9	4.5	3.2	5.2	1.3	6.5	6.5
借家	248	16.1	8.1	33.1	6.5	2.0	9.3	0.8	3.6	4.4	4.8	2.4	6.9	2.0
賃貸住宅	242	15.3	7.9	33.5	6.6	2.1	9.5	0.8	3.7	4.1	5.0	2.5	7.0	2.1
社宅	6	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	19	52.6	10.5	10.5	5.3	0.0	10.5	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0
市 郡 規 模 別														
21大市	706	39.7	12.5	17.0	3.5	1.4	9.9	1.4	2.8	4.2	3.1	0.0	3.0	1.4
人口10万人以上の市	835	14.4	14.6	19.8	2.4	4.8	16.8	2.4	5.3	5.3	5.0	2.6	4.0	2.8
人口10万人未満の市	382	5.8	13.9	8.4	2.6	7.9	18.1	5.5	7.9	8.4	5.5	2.6	8.1	5.5
郡部	160	7.5	8.1	4.4	6.3	12.5	13.1	6.3	7.5	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9

1. 属性間クロス（2）中年層調査

① 性別

(単位：%)

	N	男性	女性
全 体	1000	49.6	50.4
本 人 年 齢			
40～44歳	287	49.1	50.9
45～49歳	267	48.7	51.3
50～54歳	228	51.3	48.7
55～59歳	218	49.5	50.5
本 人 職 業			
自営者	109	68.8	31.2
農林漁業	6	66.7	33.3
商工サービス業	61	73.8	26.2
自由業	42	61.9	38.1
常雇被用者	475	72.6	27.4
公務員	47	80.9	19.1
民間企業被用者	428	71.7	28.3
非正規社員	240	20.0	80.0
派遣社員・契約社員	71	28.2	71.8
パート・アルバイト	169	16.6	83.4
無職	152	10.5	89.5
その他	15	53.3	46.7
本 人 年 収			
収入はない	101	6.9	93.1
100 万円未満	154	16.9	83.1
100 ～500 万円未満	423	46.6	53.4
500 ～1,000 万円未満	271	80.4	19.6
1,000 万円以上	51	94.1	5.9
未 既 婚			
未婚	298	62.4	37.6
既婚(配偶者あり)	617	44.4	55.6
既婚(離・死別)	85	42.4	57.6
家 族 形 態			
単身	191	63.4	36.6
夫婦のみ	192	38.0	62.0
2世代世帯	487	53.2	46.8
夫婦と子のみ	358	49.7	50.3
親と自分(夫婦)のみ	129	62.8	37.2
3世代世帯	34	38.2	61.8
自分(夫婦)と子と孫	2	50.0	50.0
親と自分(夫婦)と子	29	41.4	58.6
祖父母と親と自分(夫婦)	3	0.0	100.0
その他	96	31.3	68.8
就 労 収 入 年 額			
就労収入なし	34	41.2	58.8
100 万円未満	49	49.0	51.0
100 ～300 万円未満	153	43.8	56.2
300 ～500 万円未満	200	49.0	51.0
500 ～700 万円未満	210	51.0	49.0
700 ～1,000 万円未満	253	53.8	46.2
1,000 ～1,500 万円未満	82	50.0	50.0
1,500 万円以上	19	47.4	52.6
世 帯 保 有 金 融 資 産 額			
100 万円未満	287	52.3	47.7
100 ～1,000 万円未満	352	43.5	56.5
1,000 ～2,000 万円未満	151	56.3	43.7
2,000 ～5,000 万円未満	133	48.9	51.1
5,000 万～1 億円未満	64	51.6	48.4
1 億円以上	13	76.9	23.1
住 居 形 態			
一戸建て	456	52.6	47.4
マンション	229	44.5	55.5
賃貸住宅、社宅・独身寮	313	49.2	50.8
その他	2	0.0	100.0

② 本人年齢

(単位：%)

	N	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
全 体	1000	28.7	26.7	22.8	21.8
性 別					
男性	496	28.4	26.2	23.6	21.8
女性	504	29.0	27.2	22.0	21.8
本 人 職 業					
自営者	109	16.5	25.7	28.4	29.4
農林漁業	6	33.3	0.0	33.3	33.3
商工サービス業	61	16.4	21.3	24.6	37.7
自由業	42	14.3	35.7	33.3	16.7
常雇被用者	475	31.8	27.2	22.3	18.7
公務員	47	27.7	29.8	21.3	21.3
民間企業被用者	428	32.2	26.9	22.4	18.5
非正規社員	240	31.3	27.5	22.5	18.8
派遣社員・契約社員	71	31.0	26.8	23.9	18.3
パート・アルバイト	169	31.4	27.8	21.9	18.9
無職	152	25.7	25.7	20.4	28.3
その他	15	13.3	33.3	33.3	20.0
本 人 年 収					
収入はない	101	21.8	25.7	21.8	30.7
100 万円未満	154	33.8	29.2	18.8	18.2
100 ～500 万円未満	423	29.8	27.4	22.5	20.3
500 ～1,000 万円未満	271	28.4	25.8	24.7	21.0
1,000 万円以上	51	19.6	19.6	29.4	31.4
未 既 婚					
未婚	298	35.6	26.8	23.2	14.4
既婚(配偶者あり)	617	27.1	27.2	21.9	23.8
既婚(離・死別)	85	16.5	22.4	28.2	32.9
家 族 形 態					
単身	191	28.8	23.0	28.8	19.4
夫婦のみ	192	20.3	22.9	24.0	32.8
2世代世帯	487	32.2	30.2	19.1	18.5
夫婦と子のみ	358	31.3	29.9	19.6	19.3
親と自分(夫婦)のみ	129	34.9	31.0	17.8	16.3
3世代世帯	34	29.4	20.6	26.5	23.5
自分(夫婦)と子と孫	2	0.0	0.0	0.0	100.0
親と自分(夫婦)と子	29	31.0	20.7	27.6	20.7
祖父母と親と自分(夫婦)	3	33.3	33.3	33.3	0.0
その他	96	27.1	26.0	26.0	20.8
就 労 収 入 年 額					
就労収入なし	34	26.5	20.6	20.6	32.4
100 万円未満	49	26.5	22.4	26.5	24.5
100 ～300 万円未満	153	29.4	24.2	21.6	24.8
300 ～500 万円未満	200	30.5	32.5	20.0	17.0
500 ～700 万円未満	210	35.7	25.7	19.5	19.0
700 ～1,000 万円未満	253	26.9	27.3	25.7	20.2
1,000 ～1,500 万円未満	82	17.1	24.4	28.0	30.5
1,500 万円以上	19	10.5	21.1	31.6	36.8
世 帯 保 有 金 融 資 産 額					
100 万円未満	287	28.2	33.1	20.6	18.1
100 ～1,000 万円未満	352	34.9	25.0	23.6	16.5
1,000 ～2,000 万円未満	151	27.8	26.5	23.8	21.9
2,000 ～5,000 万円未満	133	21.8	23.3	22.6	32.3
5,000 万～1 億円未満	64	18.8	14.1	25.0	42.2
1 億円以上	13	0.0	30.8	30.8	38.5
住 居 形 態					
一戸建て	456	27.2	25.7	22.8	24.3
マンション	229	22.3	26.2	26.6	24.9
賃貸住宅、社宅・独身寮	313	35.5	28.4	20.1	16.0
その他	2	50.0	50.0	0.0	0.0

③ 本人職業

(単位：％)

	N	自営者	農林漁業	商工サービス業	自由業	常雇被用者	公務員	民間企業被用者	非正規社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	無職	その他	不明
全 体	1000	10.9	0.6	6.1	4.2	47.5	4.7	42.8	24.0	7.1	16.9	15.2	1.5	0.9
性 別														
男性	496	15.1	0.8	9.1	5.2	69.6	7.7	61.9	9.7	4.0	5.6	3.2	1.6	0.8
女性	504	6.7	0.4	3.2	3.2	25.8	1.8	24.0	38.1	10.1	28.0	27.0	1.4	1.0
本 人 年 齢														
40～44歳	287	6.3	0.7	3.5	2.1	52.6	4.5	48.1	26.1	7.7	18.5	13.6	0.7	0.7
45～49歳	267	10.5	0.0	4.9	5.6	48.3	5.2	43.1	24.7	7.1	17.6	14.6	1.9	0.0
50～54歳	228	13.6	0.9	6.6	6.1	46.5	4.4	42.1	23.7	7.5	16.2	13.6	2.2	0.4
55～59歳	218	14.7	0.9	10.6	3.2	40.8	4.6	36.2	20.6	6.0	14.7	19.7	1.4	2.8
本 人 年 収														
収入はない	101	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	96.0	0.0	2.0
100万円未満	154	10.4	1.3	3.9	5.2	2.6	0.0	2.6	57.1	3.2	53.9	26.0	1.3	2.6
100～500万円未満	423	13.2	0.9	6.9	5.4	45.9	1.7	44.2	35.2	15.1	20.1	2.8	2.1	0.7
500～1,000万円未満	271	11.1	0.0	7.7	3.3	85.6	14.0	71.6	1.1	0.7	0.4	0.7	1.5	0.0
1,000万円以上	51	11.8	0.0	7.8	3.9	86.3	3.9	82.4	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
未 既 婚														
未婚	298	15.1	1.0	5.4	8.7	49.0	3.4	45.6	25.8	11.1	14.8	6.7	2.3	1.0
既婚(配偶者あり)	617	8.1	0.3	6.0	1.8	47.8	5.7	42.1	21.7	4.5	17.2	20.6	1.0	0.8
既婚(離・死別)	85	16.5	1.2	9.4	5.9	40.0	2.4	37.6	34.1	11.8	22.4	5.9	2.4	1.2
家 族 形 態														
単身	191	15.7	0.5	5.2	9.9	51.3	3.1	48.2	23.6	12.0	11.5	4.7	3.7	1.0
夫婦のみ	192	9.4	1.0	5.7	2.6	42.2	5.2	37.0	25.0	6.8	18.2	21.9	1.0	0.5
2世代世帯	487	10.5	0.4	7.2	2.9	49.7	5.1	44.6	21.6	4.5	17.0	16.4	0.8	1.0
夫婦と子のみ	358	8.4	0.3	6.7	1.4	49.7	5.6	44.1	20.4	3.6	16.8	19.8	0.6	1.1
親と自分(夫婦)のみ	129	16.3	0.8	8.5	7.0	49.6	3.9	45.7	24.8	7.0	17.8	7.0	1.6	0.8
3世代世帯	34	2.9	0.0	2.9	0.0	55.9	5.9	50.0	23.5	5.9	17.6	14.7	2.9	0.0
自分(夫婦)と子と孫	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
親と自分(夫婦)と子	29	3.4	0.0	3.4	0.0	58.6	6.9	51.7	17.2	6.9	10.3	17.2	3.4	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
その他	96	9.4	1.0	4.2	4.2	36.5	4.2	32.3	35.4	11.5	24.0	16.7	1.0	1.0
就 労 収 入 年 額														
就労収入なし	34	5.9	5.9	0.0	0.0	20.6	0.0	20.6	2.9	0.0	2.9	70.6	0.0	0.0
100万円未満	49	14.3	2.0	6.1	6.1	16.3	0.0	16.3	49.0	4.1	44.9	12.2	2.0	6.1
100～300万円未満	153	19.0	0.7	9.8	8.5	21.6	2.0	19.6	46.4	17.0	29.4	9.8	2.6	0.7
300～500万円未満	200	10.5	0.5	5.5	4.5	51.0	1.0	50.0	23.0	11.0	12.0	13.5	2.0	0.0
500～700万円未満	210	11.9	0.5	7.6	3.8	51.4	3.8	47.6	18.6	5.2	13.3	16.2	1.4	0.5
700～1,000万円未満	253	5.9	0.0	4.0	2.0	61.7	10.3	51.4	16.2	2.0	14.2	14.2	0.8	1.2
1,000～1,500万円未満	82	7.3	0.0	6.1	1.2	59.8	9.8	50.0	18.3	3.7	14.6	12.2	1.2	1.2
1,500万円以上	19	21.1	0.0	5.3	15.8	63.2	0.0	63.2	15.8	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0
世 帯 保 有 金 融 資 産 額														
100万円未満	287	11.5	1.0	5.2	5.2	41.5	3.5	38.0	27.5	8.7	18.8	16.7	2.4	0.3
100～1,000万円未満	352	8.8	0.3	5.7	2.8	46.0	3.7	42.3	27.8	8.0	19.9	15.1	1.1	1.1
1,000～2,000万円未満	151	15.9	0.7	9.9	5.3	55.6	6.0	49.7	15.9	6.0	9.9	10.6	1.3	0.7
2,000～5,000万円未満	133	11.3	0.8	4.5	6.0	49.6	6.8	42.9	19.5	3.0	16.5	15.8	1.5	2.3
5,000万～1億円未満	64	6.3	0.0	4.7	1.6	59.4	6.3	53.1	17.2	4.7	12.5	17.2	0.0	0.0
1億円以上	13	15.4	0.0	15.4	0.0	46.2	15.4	30.8	15.4	15.4	0.0	23.1	0.0	0.0
住 居 形 態														
一戸建て	456	11.4	1.1	7.0	3.3	51.3	7.5	43.9	21.1	3.9	17.1	14.5	0.9	0.9
マンション	229	9.2	0.4	5.7	3.1	44.1	2.6	41.5	24.9	6.6	18.3	19.2	1.3	1.3
賃貸住宅、社宅・独身寮	313	11.5	0.0	5.1	6.4	44.1	2.2	41.9	27.8	12.1	15.7	13.4	2.6	0.6
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

④ 本人年収

(単位：％)

	N	収入はない	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	平均(万円)
全 体	1000	10.1	15.4	42.3	27.1	4.8	0.3	417.4
性 別								
男性	496	1.4	5.2	39.7	44.0	9.3	0.4	600.6
女性	504	18.7	25.4	44.8	10.5	0.4	0.2	237.0
本 人 年 齢								
40～44歳	287	7.7	18.1	43.9	26.8	3.5	0.0	394.3
45～49歳	267	9.7	16.9	43.4	26.2	3.7	0.0	391.6
50～54歳	228	9.6	12.7	41.7	29.4	5.7	0.9	459.2
55～59歳	218	14.2	12.8	39.5	26.1	6.9	0.5	435.6
本 人 職 業								
自営者	109	0.9	14.7	51.4	27.5	4.6	0.9	459.6
農林漁業	6	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	216.7
商工サービス業	61	1.6	9.8	47.5	34.4	6.6	0.0	504.1
自由業	42	0.0	19.0	54.8	21.4	2.4	2.4	429.8
常雇被用者	475	0.2	0.8	40.8	48.8	8.8	0.4	632.4
公務員	47	0.0	0.0	14.9	80.9	4.3	0.0	714.9
民間企業被用者	428	0.2	0.9	43.7	45.3	9.3	0.5	623.4
非正規社員	240	0.0	36.7	62.1	1.3	0.0	0.0	214.0
派遣社員・契約社員	71	0.0	7.0	90.1	2.8	0.0	0.0	295.1
パート・アルバイト	169	0.0	49.1	50.3	0.6	0.0	0.0	179.9
無職	152	63.8	26.3	7.9	1.3	0.7	0.0	56.6
その他	15	0.0	13.3	60.0	26.7	0.0	0.0	386.7
未 既 婚								
未婚	298	1.7	14.8	59.7	22.5	1.3	0.0	375.3
既婚(配偶者あり)	617	15.2	16.9	31.3	30.0	6.3	0.3	430.1
既婚(離・死別)	85	2.4	7.1	61.2	22.4	5.9	1.2	472.4
家 族 形 態								
単身	191	1.0	6.8	62.8	26.2	2.6	0.5	440.6
夫婦のみ	192	16.1	19.3	35.4	22.4	6.8	0.0	385.4
2世代世帯	487	12.1	16.8	34.3	31.2	5.1	0.4	432.7
夫婦と子のみ	358	15.6	15.9	27.4	34.1	6.7	0.3	453.2
親と自分(夫婦)のみ	129	2.3	19.4	53.5	23.3	0.8	0.8	375.6
3世代世帯	34	8.8	17.6	38.2	32.4	2.9	0.0	410.3
自分(夫婦)と子と孫	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	525.0
親と自分(夫婦)と子	29	10.3	17.2	34.5	34.5	3.4	0.0	422.4
祖父母と親と自分(夫婦)	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	216.7
その他	96	6.3	16.7	57.3	15.6	4.2	0.0	359.9
就 労 収 入 年 額								
就労収入なし	34	26.5	32.4	26.5	11.8	2.9	0.0	227.9
100 万円未満	49	4.1	67.3	24.5	4.1	0.0	0.0	137.8
100 ～300 万円未満	153	6.5	15.0	75.2	3.3	0.0	0.0	257.5
300 ～500 万円未満	200	11.0	9.5	76.0	3.0	0.5	0.0	262.8
500 ～700 万円未満	210	13.8	11.4	30.5	43.3	1.0	0.0	436.4
700 ～1,000 万円未満	253	9.5	13.0	22.5	51.0	4.0	0.0	515.8
1,000 ～1,500 万円未満	82	6.1	13.4	14.6	32.9	32.9	0.0	791.5
1,500 万円以上	19	0.0	0.0	10.5	36.8	36.8	15.8	1255.3
世 帯 保 有 金 融 資 産 額								
100 万円未満	287	13.2	17.4	48.1	19.5	1.7	0.0	325.4
100 ～1,000 万円未満	352	9.7	19.3	46.0	22.7	2.0	0.3	355.1
1,000 ～2,000 万円未満	151	8.6	8.6	36.4	41.1	4.6	0.7	507.6
2,000 ～5,000 万円未満	133	7.5	11.3	35.3	34.6	11.3	0.0	540.2
5,000 万～1 億円未満	64	6.3	10.9	28.1	35.9	17.2	1.6	656.3
1 億円以上	13	15.4	7.7	23.1	30.8	23.1	0.0	650.0
住 居 形 態								
一戸建て	456	10.5	13.2	42.1	29.4	4.2	0.7	432.2
マンション	229	10.9	22.7	30.6	27.9	7.9	0.0	430.6
賃貸住宅、社宅・独身寮	313	8.9	13.4	51.4	22.7	3.5	0.0	383.9
その他	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	750.0

⑤ 未既婚

(単位：％)

	N	未婚	既婚(配偶者あり)	既婚(離別・死別)
全 体	1000	29.8	61.7	8.5
性 別				
男性	496	37.5	55.2	7.3
女性	504	22.2	68.1	9.7
本 人 年 齢				
40～44歳	287	36.9	58.2	4.9
45～49歳	267	30.0	62.9	7.1
50～54歳	228	30.3	59.2	10.5
55～59歳	218	19.7	67.4	12.8
本 人 職 業				
自営者	109	41.3	45.9	12.8
農林漁業	6	50.0	33.3	16.7
商工サービス業	61	26.2	60.7	13.1
自由業	42	61.9	26.2	11.9
常雇被用者	475	30.7	62.1	7.2
公務員	47	21.3	74.5	4.3
民間企業被用者	428	31.8	60.7	7.5
非正規社員	240	32.1	55.8	12.1
派遣社員・契約社員	71	46.5	39.4	14.1
パート・アルバイト	169	26.0	62.7	11.2
無職	152	13.2	83.6	3.3
その他	15	46.7	40.0	13.3
本 人 年 収				
収入はない	101	5.0	93.1	2.0
100 万円未満	154	28.6	67.5	3.9
100 ～500 万円未満	423	42.1	45.6	12.3
500 ～1,000 万円未満	271	24.7	68.3	7.0
1,000 万円以上	51	7.8	80.4	11.8
家 族 形 態				
単身	191	76.4	4.7	18.8
夫婦のみ	192	0.0	98.4	1.6
2世代世帯	487	22.4	75.6	2.1
夫婦と子のみ	358	0.0	99.4	0.6
親と自分(夫婦)のみ	129	84.5	9.3	6.2
3世代世帯	34	8.8	82.4	8.8
自分(夫婦)と子と孫	2	0.0	50.0	50.0
親と自分(夫婦)と子	29	0.0	93.1	6.9
祖父母と親と自分(夫婦)	3	100.0	0.0	0.0
その他	96	41.7	24.0	34.4
就 労 収 入 年 額				
就労収入なし	34	50.0	32.4	17.6
100 万円未満	49	57.1	24.5	18.4
100 ～300 万円未満	153	53.6	29.4	17.0
300 ～500 万円未満	200	49.5	43.0	7.5
500 ～700 万円未満	210	15.7	76.2	8.1
700 ～1,000 万円未満	253	15.0	81.8	3.2
1,000 ～1,500 万円未満	82	1.2	96.3	2.4
1,500 万円以上	19	0.0	89.5	10.5
世 帯 保 有 金 融 資 産 額				
100 万円未満	287	30.0	59.2	10.8
100 ～1,000 万円未満	352	27.6	63.1	9.4
1,000 ～2,000 万円未満	151	33.1	60.3	6.6
2,000 ～5,000 万円未満	133	30.1	66.2	3.8
5,000 万～1 億円未満	64	28.1	67.2	4.7
1 億円以上	13	53.8	23.1	23.1
住 居 形 態				
一戸建て	456	27.4	66.0	6.6
マンション	229	24.9	68.1	7.0
賃貸住宅、社宅・独身寮	313	37.1	50.5	12.5
その他	2	0.0	100.0	0.0

⑥ 家族形態

(単位：％)

	N	単身	夫婦のみ	2世代世帯	夫婦と子の み	親と自分 (夫婦)の み	3世代世帯	自分(夫 婦)と子と 孫	親と自分 (夫婦)と 子	祖父母と 親と自分 (夫婦)	その他
全 体	1000	19.1	19.2	48.7	35.8	12.9	3.4	0.2	2.9	0.3	9.6
性 別											
男性	496	24.4	14.7	52.2	35.9	16.3	2.6	0.2	2.4	0.0	6.0
女性	504	13.9	23.6	45.2	35.7	9.5	4.2	0.2	3.4	0.6	13.1
本 人 年 齢											
40～44歳	287	19.2	13.6	54.7	39.0	15.7	3.5	0.0	3.1	0.3	9.1
45～49歳	267	16.5	16.5	55.1	40.1	15.0	2.6	0.0	2.2	0.4	9.4
50～54歳	228	24.1	20.2	40.8	30.7	10.1	3.9	0.0	3.5	0.4	11.0
55～59歳	218	17.0	28.9	41.3	31.7	9.6	3.7	0.9	2.8	0.0	9.2
本 人 職 業											
自営者	109	27.5	16.5	46.8	27.5	19.3	0.9	0.0	0.9	0.0	8.3
農林漁業	6	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
商工サービス業	61	16.4	18.0	57.4	39.3	18.0	1.6	0.0	1.6	0.0	6.6
自由業	42	45.2	11.9	33.3	11.9	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5
常雇被用者	475	20.6	17.1	50.9	37.5	13.5	4.0	0.2	3.6	0.2	7.4
公務員	47	12.8	21.3	53.2	42.6	10.6	4.3	0.0	4.3	0.0	8.5
民間企業被用者	428	21.5	16.6	50.7	36.9	13.8	4.0	0.2	3.5	0.2	7.2
非正規社員	240	18.8	20.0	43.8	30.4	13.3	3.3	0.4	2.1	0.8	14.2
派遣社員・契約社員	71	32.4	18.3	31.0	18.3	12.7	2.8	0.0	2.8	0.0	15.5
パート・アルバイト	169	13.0	20.7	49.1	35.5	13.6	3.6	0.6	1.8	1.2	13.6
無職	152	5.9	27.6	52.6	46.7	5.9	3.3	0.0	3.3	0.0	10.5
その他	15	46.7	13.3	26.7	13.3	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7
本 人 年 収											
収入はない	101	2.0	30.7	58.4	55.4	3.0	3.0	0.0	3.0	0.0	5.9
100万円未満	154	8.4	24.0	53.2	37.0	16.2	3.9	0.0	3.2	0.6	10.4
100～500万円未満	423	28.4	16.1	39.5	23.2	16.3	3.1	0.2	2.4	0.5	13.0
500～1,000万円未満	271	18.5	15.9	56.1	45.0	11.1	4.1	0.4	3.7	0.0	5.5
1,000万円以上	51	11.8	25.5	52.9	49.0	3.9	2.0	0.0	2.0	0.0	7.8
未 既 婚											
未婚	298	49.0	0.0	36.6	0.0	36.6	1.0	0.0	0.0	1.0	13.4
既婚(配偶者あり)	617	1.5	30.6	59.6	57.7	1.9	4.5	0.2	4.4	0.0	3.7
既婚(離・死別)	85	42.4	3.5	11.8	2.4	9.4	3.5	1.2	2.4	0.0	38.8
就 労 収 入 年 額											
就労収入なし	34	20.6	14.7	52.9	26.5	26.5	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
100万円未満	49	28.6	6.1	38.8	14.3	24.5	4.1	0.0	2.0	2.0	22.4
100～300万円未満	153	32.0	15.0	30.7	12.4	18.3	2.6	0.7	1.3	0.7	19.6
300～500万円未満	200	30.0	14.5	42.5	22.5	20.0	3.0	0.0	2.5	0.5	10.0
500～700万円未満	210	14.3	21.4	54.3	44.8	9.5	3.3	0.5	2.9	0.0	6.7
700～1,000万円未満	253	10.7	22.9	58.5	51.0	7.5	3.6	0.0	3.6	0.0	4.3
1,000～1,500万円未満	82	3.7	28.0	56.1	56.1	0.0	7.3	0.0	7.3	0.0	4.9
1,500万円以上	19	5.3	31.6	52.6	47.4	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5
世帯保有金融資産額											
100万円未満	287	22.3	18.1	44.6	34.8	9.8	3.5	0.7	2.4	0.3	11.5
100～1,000万円未満	352	19.6	17.0	50.3	38.4	11.9	3.7	0.0	3.1	0.6	9.4
1,000～2,000万円未満	151	17.2	18.5	52.3	37.1	15.2	3.3	0.0	3.3	0.0	8.6
2,000～5,000万円未満	133	13.5	21.1	55.6	36.8	18.8	3.0	0.0	3.0	0.0	6.8
5,000万～1億円未満	64	15.6	35.9	37.5	25.0	12.5	3.1	0.0	3.1	0.0	7.8
1億円以上	13	30.8	7.7	38.5	15.4	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1
住 居 形 態											
一戸建て	456	7.5	16.0	57.9	39.3	18.6	6.8	0.4	6.1	0.2	11.8
マンション	229	15.3	21.8	54.1	42.8	11.4	0.4	0.0	0.0	0.4	8.3
賃貸住宅、社宅・独身寮	313	39.0	21.7	31.3	25.6	5.8	0.6	0.0	0.3	0.3	7.3
その他	2	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑦ 就労収入年額

(単位：％)

	N	就労収入 なし	100万円未 満	100～300 万円未満	300～500 万円未満	500～700 万円未満	700～ 1,000万円 未満	1,000～ 1,500万円 未満	1,500万円 以上
全 体	1000	3.4	4.9	15.3	20.0	21.0	25.3	8.2	1.9
性 別									
男性	496	2.8	4.8	13.5	19.8	21.6	27.4	8.3	1.8
女性	504	4.0	5.0	17.1	20.2	20.4	23.2	8.1	2.0
本 人 年 齢									
40～44歳	287	3.1	4.5	15.7	21.3	26.1	23.7	4.9	0.7
45～49歳	267	2.6	4.1	13.9	24.3	20.2	25.8	7.5	1.5
50～54歳	228	3.1	5.7	14.5	17.5	18.0	28.5	10.1	2.6
55～59歳	218	5.0	5.5	17.4	15.6	18.3	23.4	11.5	3.2
本 人 職 業									
自営者	109	1.8	6.4	26.6	19.3	22.9	13.8	5.5	3.7
農林漁業	6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
商工サービス業	61	0.0	4.9	24.6	18.0	26.2	16.4	8.2	1.6
自由業	42	0.0	7.1	31.0	21.4	19.0	11.9	2.4	7.1
常雇被用者	475	1.5	1.7	6.9	21.5	22.7	32.8	10.3	2.5
公務員	47	0.0	0.0	6.4	4.3	17.0	55.3	17.0	0.0
民間企業被用者	428	1.6	1.9	7.0	23.4	23.4	30.4	9.6	2.8
非正規社員	240	0.4	10.0	29.6	19.2	16.3	17.1	6.3	1.3
派遣社員・契約社員	71	0.0	2.8	36.6	31.0	15.5	7.0	4.2	2.8
パート・アルバイト	169	0.6	13.0	26.6	14.2	16.6	21.3	7.1	0.6
無職	152	15.8	3.9	9.9	17.8	22.4	23.7	6.6	0.0
その他	15	0.0	6.7	26.7	26.7	20.0	13.3	6.7	0.0
本 人 年 収									
収入はない	101	8.9	2.0	9.9	21.8	28.7	23.8	5.0	0.0
100 万円未満	154	7.1	21.4	14.9	12.3	15.6	21.4	7.1	0.0
100 ～500 万円未満	423	2.1	2.8	27.2	35.9	15.1	13.5	2.8	0.5
500 ～1,000 万円未満	271	1.5	0.7	1.8	2.2	33.6	47.6	10.0	2.6
1,000 万円以上	51	2.0	0.0	0.0	2.0	3.9	19.6	52.9	19.6
未 既 婚									
未婚	298	5.7	9.4	27.5	33.2	11.1	12.8	0.3	0.0
既婚(配偶者あり)	617	1.8	1.9	7.3	13.9	25.9	33.5	12.8	2.8
既婚(離・死別)	85	7.1	10.6	30.6	17.6	20.0	9.4	2.4	2.4
家 族 形 態									
単身	191	3.7	7.3	25.7	31.4	15.7	14.1	1.6	0.5
夫婦のみ	192	2.6	1.6	12.0	15.1	23.4	30.2	12.0	3.1
2世代世帯	487	3.7	3.9	9.7	17.5	23.4	30.4	9.4	2.1
夫婦と子のみ	358	2.5	2.0	5.3	12.6	26.3	36.0	12.8	2.5
親と自分(夫婦)のみ	129	7.0	9.3	21.7	31.0	15.5	14.7	0.0	0.8
3世代世帯	34	0.0	5.9	11.8	17.6	20.6	26.5	17.6	0.0
自分(夫婦)と子と孫	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
親と自分(夫婦)と子	29	0.0	3.4	6.9	17.2	20.7	31.0	20.7	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	96	4.2	11.5	31.3	20.8	14.6	11.5	4.2	2.1
世帯保有金融資産額									
100 万円未満	287	3.1	8.0	25.8	21.6	23.7	14.3	3.5	0.0
100 ～1,000 万円未満	352	3.1	4.0	13.4	23.3	24.4	26.4	4.5	0.9
1,000 ～2,000 万円未満	151	2.6	3.3	9.3	22.5	21.2	26.5	12.6	2.0
2,000 ～5,000 万円未満	133	2.3	4.5	9.0	10.5	9.8	40.6	17.3	6.0
5,000 万～1 億円未満	64	6.3	1.6	6.3	10.9	17.2	31.3	20.3	6.3
1 億円以上	13	23.1	0.0	15.4	7.7	0.0	38.5	7.7	7.7
住 居 形 態									
一戸建て	456	3.5	4.4	15.1	18.9	20.8	27.2	8.1	2.0
マンション	229	6.1	6.1	8.3	12.7	22.7	30.1	10.9	3.1
賃貸住宅、社宅・独身寮	313	1.3	4.8	20.8	27.2	19.8	19.2	6.4	0.6
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

⑧ 世帯保有金融資産額

(単位：%)

	N	100万円未満	100万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上5,000万円未満	5,000万円以上1億円未満	1億円以上
全 体	1000	28.7	35.2	15.1	13.3	6.4	1.3
性 別							
男性	496	30.2	30.8	17.1	13.1	6.7	2.0
女性	504	27.2	39.5	13.1	13.5	6.2	0.6
本 人 年 齢							
40～44歳	287	28.2	42.9	14.6	10.1	4.2	0.0
45～49歳	267	35.6	33.0	15.0	11.6	3.4	1.5
50～54歳	228	25.9	36.4	15.8	13.2	7.0	1.8
55～59歳	218	23.9	26.6	15.1	19.7	12.4	2.3
本 人 職 業							
自営者	109	30.3	28.4	22.0	13.8	3.7	1.8
農林漁業	6	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
商工サービス業	61	24.6	32.8	24.6	9.8	4.9	3.3
自由業	42	35.7	23.8	19.0	19.0	2.4	0.0
常雇被用者	475	25.1	34.1	17.7	13.9	8.0	1.3
公務員	47	21.3	27.7	19.1	19.1	8.5	4.3
民間企業被用者	428	25.5	34.8	17.5	13.3	7.9	0.9
非正規社員	240	32.9	40.8	10.0	10.8	4.6	0.8
派遣社員・契約社員	71	35.2	39.4	12.7	5.6	4.2	2.8
パート・アルバイト	169	32.0	41.4	8.9	13.0	4.7	0.0
無職	152	31.6	34.9	10.5	13.8	7.2	2.0
その他	15	46.7	26.7	13.3	13.3	0.0	0.0
本 人 年 収							
収入はない	101	37.6	33.7	12.9	9.9	4.0	2.0
100 万円未満	154	32.5	44.2	8.4	9.7	4.5	0.6
100 ～500 万円未満	423	32.6	38.3	13.0	11.1	4.3	0.7
500 ～1,000 万円未満	271	20.7	29.5	22.9	17.0	8.5	1.5
1,000 万円以上	51	9.8	15.7	15.7	29.4	23.5	5.9
未 既 婚							
未婚	298	28.9	32.6	16.8	13.4	6.0	2.3
既婚(配偶者あり)	617	27.6	36.0	14.7	14.3	7.0	0.5
既婚(離・死別)	85	36.5	38.8	11.8	5.9	3.5	3.5
家 族 形 態							
単身	191	33.5	36.1	13.6	9.4	5.2	2.1
夫婦のみ	192	27.1	31.3	14.6	14.6	12.0	0.5
2世代世帯	487	26.3	36.3	16.2	15.2	4.9	1.0
夫婦と子のみ	358	27.9	37.7	15.6	13.7	4.5	0.6
親と自分(夫婦)のみ	129	21.7	32.6	17.8	19.4	6.2	2.3
3世代世帯	34	29.4	38.2	14.7	11.8	5.9	0.0
自分(夫婦)と子と孫	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親と自分(夫婦)と子	29	24.1	37.9	17.2	13.8	6.9	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	96	34.4	34.4	13.5	9.4	5.2	3.1
就 労 収 入 年 額							
就労収入なし	34	26.5	32.4	11.8	8.8	11.8	8.8
100 万円未満	49	46.9	28.6	10.2	12.2	2.0	0.0
100 ～300 万円未満	153	48.4	30.7	9.2	7.8	2.6	1.3
300 ～500 万円未満	200	31.0	41.0	17.0	7.0	3.5	0.5
500 ～700 万円未満	210	32.4	41.0	15.2	6.2	5.2	0.0
700 ～1,000 万円未満	253	16.2	36.8	15.8	21.3	7.9	2.0
1,000 ～1,500 万円未満	82	12.2	19.5	23.2	28.0	15.9	1.2
1,500 万円以上	19	0.0	15.8	15.8	42.1	21.1	5.3
住 居 形 態							
一戸建て	456	27.2	34.2	14.5	16.2	6.4	1.5
マンション	229	17.0	38.4	18.8	14.8	8.3	2.6
賃貸住宅、社宅・独身寮	313	39.3	34.5	13.4	7.7	5.1	0.0
その他	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

⑨ 住居形態

(単位：%)

	N	一戸建て	マンション	賃貸住宅、社宅・ 独身寮	その他
全 体	1000	45.6	22.9	31.3	0.2
性 別					
男性	496	48.4	20.6	31.0	0.0
女性	504	42.9	25.2	31.5	0.4
本 人 年 齢					
40～44歳	287	43.2	17.8	38.7	0.3
45～49歳	267	43.8	22.5	33.3	0.4
50～54歳	228	45.6	26.8	27.6	0.0
55～59歳	218	50.9	26.1	22.9	0.0
本 人 職 業					
自営者	109	47.7	19.3	33.0	0.0
農林漁業	6	83.3	16.7	0.0	0.0
商工サービス業	61	52.5	21.3	26.2	0.0
自由業	42	35.7	16.7	47.6	0.0
常雇被用者	475	49.3	21.3	29.1	0.4
公務員	47	72.3	12.8	14.9	0.0
民間企業被用者	428	46.7	22.2	30.6	0.5
非正規社員	240	40.0	23.8	36.3	0.0
派遣社員・契約社員	71	25.4	21.1	53.5	0.0
パート・アルバイト	169	46.2	24.9	29.0	0.0
無職	152	43.4	28.9	27.6	0.0
その他	15	26.7	20.0	53.3	0.0
本 人 年 収					
収入はない	101	47.5	24.8	27.7	0.0
100 万円未満	154	39.0	33.8	27.3	0.0
100 ～500 万円未満	423	45.4	16.5	38.1	0.0
500 ～1,000 万円未満	271	49.4	23.6	26.2	0.7
1,000 万円以上	51	43.1	35.3	21.6	0.0
未 既 婚					
未婚	298	41.9	19.1	38.9	0.0
既婚(配偶者あり)	617	48.8	25.3	25.6	0.3
既婚(離・死別)	85	35.3	18.8	45.9	0.0
家 族 形 態					
単身	191	17.8	18.3	63.9	0.0
夫婦のみ	192	38.0	26.0	35.4	0.5
2世代世帯	487	54.2	25.5	20.1	0.2
夫婦と子のみ	358	50.0	27.4	22.3	0.3
親と自分(夫婦)のみ	129	65.9	20.2	14.0	0.0
3世代世帯	34	91.2	2.9	5.9	0.0
自分(夫婦)と子と孫	2	100.0	0.0	0.0	0.0
親と自分(夫婦)と子	29	96.6	0.0	3.4	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	3	33.3	33.3	33.3	0.0
その他	96	56.3	19.8	24.0	0.0
就 労 収 入 年 額					
就労収入なし	34	47.1	41.2	11.8	0.0
100 万円未満	49	40.8	28.6	30.6	0.0
100 ～300 万円未満	153	45.1	12.4	42.5	0.0
300 ～500 万円未満	200	43.0	14.5	42.5	0.0
500 ～700 万円未満	210	45.2	24.8	29.5	0.5
700 ～1,000 万円未満	253	49.0	27.3	23.7	0.0
1,000 ～1,500 万円未満	82	45.1	30.5	24.4	0.0
1,500 万円以上	19	47.4	36.8	10.5	5.3
世 帯 保 有 金 融 資 産 額					
100 万円未満	287	43.2	13.6	42.9	0.3
100 ～1,000 万円未満	352	44.3	25.0	30.7	0.0
1,000 ～2,000 万円未満	151	43.7	28.5	27.8	0.0
2,000 ～5,000 万円未満	133	55.6	25.6	18.0	0.8
5,000 万～1 億円未満	64	45.3	29.7	25.0	0.0
1 億円以上	13	53.8	46.2	0.0	0.0

2. サンプルデザイン（高齢者調査）

1. 母 集 団……全国の市区町村に居住する 60 歳以上の男女個人
2. 地 点 数……200 地点
3. 抽 出 方 法……層化 2 段無作為抽出

〔層 化〕

● 全国の市町村を、県または市を単位に次のように13ブロックに分類した。

- ① 北 海 道……北海道全域
- ② 東 北……青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- ③ 関 東……群馬県、栃木県、山梨県、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県
- ④ 東 京……東京都全域
- ⑤ 北 陸……新潟県、富山県、石川県、福井県
- ⑥ 中 部……静岡県、長野県、岐阜県、三重県
- ⑦ 愛 知 県……愛知県全域
- ⑧ 近 畿……滋賀県、和歌山県、京都府、兵庫県、奈良県
- ⑨ 大 阪 府……大阪府全域
- ⑩ 中 国……鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ⑪ 四 国……徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ⑫ 北 九 州……福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
- ⑬ 南 九 州……熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

● 各ブロック内においてはさらに、都市規模によって次のように分類し、層化した。

- ・ 21 大都市（札幌市、仙台市、さいたま市、東京都区部、横浜市、川崎市、相模原市、千葉市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市）
- ・ 人口 10 万人以上の市
- ・ 人口 10 万人未満の市
- ・ 郡 部

（注）ここでのいう市とは、標本抽出時での市制施行の地域とした。

〔標本数の配分〕

各ブロック、市郡規模別の層における推定 60 歳以上人口（2019 年 1 月 1 日現在住民基本台帳値と国勢調査比率による）の大きさにより標本を比例配分した。

〔抽 出〕

1. 平成 27（2015）年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第一次抽出単位として使用した。
2. 調査地点数については、層ごとに
層における利用可能な国調人口の合計／層で算出された調査地点数＝抽出間隔
を算出し、等間隔抽出法によって該当番目が含まれる基本調査区を抽出し、抽出の起点とした。
（利用可能な国調人口：65 歳以上人口）
3. 抽出に際しての各層内における区市町村の配列順序は、総務省設定の市区町村コードに従った。
4. 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳等により、抽出の起点から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果得られた、各ブロック・各市郡規模別（層別）の 60 歳以上人口・回収数・地点数および調査地点の所在する市区町村は次のとおり。

市郡規模別 ブロック	2 1 大市	人口10万人 以上の市	人口10万人 未満の市	郡 部	計
北 海 道	644, 535 25 (2)	572, 191 20 (2)	369, 895 10 (1)	404, 427 10 (1)	1, 991, 048 65 (6)
東 北	309, 864 10 (1)	1, 222, 716 40 (4)	1, 155, 720 30 (3)	672, 027 20 (2)	3, 360, 327 100 (10)
関 東	2, 344, 672 70 (7)	4, 635, 058 140 (14)	2, 052, 601 69 (6)	740, 355 21 (2)	9, 772, 686 300 (29)
東 京 都	2, 463, 360 280 (28)	1, 041, 541 120 (12)	206, 597 22 (2)	33, 127 12 (1)	3, 744, 625 434 (43)
北 陸	278, 137 10 (1)	693, 934 20 (2)	801, 366 21 (2)	167, 011 10 (1)	1, 940, 448 61 (6)
中 部	515, 690 20 (2)	1, 385, 870 44 (4)	1, 069, 624 30 (3)	457, 658 12 (1)	3, 428, 842 106 (10)
愛 知 県	677, 851 88 (8)	949, 613 122 (11)	481, 129 53 (5)	122, 875 13 (1)	2, 231, 468 276 (25)
近 畿	964, 592 30 (3)	1, 523, 200 44 (4)	1, 152, 721 32 (3)	378, 535 11 (1)	4, 019, 048 117 (11)
大 阪 府	1, 069, 133 120 (12)	1, 368, 497 165 (16)	273, 240 32 (3)	67, 861 7 (1)	2, 778, 731 324 (32)
中 国	580, 513 22 (2)	1, 238, 283 42 (4)	623, 277 21 (2)	243, 596 11 (1)	2, 685, 669 96 (9)
四 国		706, 763 22 (2)	506, 398 10 (1)	264, 672 11 (1)	1, 477, 833 43 (4)
北 九 州	755, 711 21 (2)	956, 968 33 (3)	898, 985 31 (3)	344, 464 11 (1)	2, 956, 128 96 (9)
南 九 州	233, 393 10 (1)	768, 651 23 (2)	717, 808 21 (2)	397, 759 11 (1)	2, 117, 611 65 (6)
計	10, 837, 451 706 (69)	17, 063, 285 835 (80)	10, 309, 361 382 (36)	4, 294, 367 160 (15)	42, 504, 464 2083 (200)

（注 1）上段は推定母集団数、下段左側は回収数、下段右側（ ）内は地点数

（注 2）推定母集団数は平成 31（2019）年 1 月 1 日現在住民基本台帳値と平成 27(2015)年
国勢調査比率に基づいて算出

質問票および単純集計結果（高齢者調査）

◎ 人生 100 年時代における生活設計に関する調査 ◎

単純集計結果は、全体（ゴシック体）のみを掲載している。

〔単位：％（平均値を除く）〕

2020 年 10 月

（全体 N：2,083）

Q 1 あなたの今日の健康状態はいかがですか。この中から 1 つだけお答えください。

24.7	21.0	38.9	11.9	1.8	
よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答 1.8

Q 2 ここにあげられている日常生活にさしつかえがないか、1 つ 1 つについて「はい」か「いいえ」でお答えください。

	はい	いいえ	無回答
(1) バスや電車を使って一人で外出できますか	90.4	9.1	0.5
(2) 日用品の買い物ができますか	94.6	5.2	0.2
(3) お湯をわかせますか	97.6	2.1	0.3
(4) 請求書の支払いができますか	95.9	3.7	0.4
(5) 銀行預金・郵便貯金のおし入れができますか	93.7	6.0	0.3
(6) 年金などの書類が書けますか	92.7	6.5	0.9
(7) 新聞を読んでいますか	85.5	14.1	0.4
(8) 本や雑誌を読んでいますか	81.0	18.4	0.6
(9) 健康についての記事や番組に興味がありますか	89.1	10.5	0.4
(10) 友達の家を訪ねることがありますか	63.9	35.6	0.4
(11) 家族や友達の相談にのることがありますか	81.4	18.0	0.6
(12) 病人を見舞うことができますか	89.6	9.7	0.6
(13) 若い人に自分から話しかけることがありますか	80.2	19.2	0.7
(14) 一人で電話をかけられますか	98.2	1.6	0.2
(15) 一人で薬を服用できますか	98.4	1.3	0.3

Q 3 あなたは普段の生活の中で 1 日に何分くらい歩いていますか。散歩だけでなく、買い物や通勤・外出など移動時の歩行時間を含めてお答えください。また、杖・歩行器・車椅子などを使う場合も含めてお答えください。

4.5	ほとんど歩かない	24.4	60 分から 90 分未満	
15.6	30 分未満	23.5	90 分以上	
29.7	30 分から 60 分未満	0.9	外出しない・できない	無回答 1.5

Q 4 あなたは過去1年間にボランティアのような社会貢献活動をしましたか。

24.8
はい
↓
(Q 5へ)

74.4
いいえ
↓
(S Qへ)

無回答
0.8

(Q 4で「いいえ」と答えた方へ)

S Q できることがあれば今後ボランティアのような社会貢献活動をやりたいと思いますか。

(全体N : 1,549)

36.3
やってみたいと思う

61.3
やってみたいと思わない

無回答
2.4

(全員の方へ)

【ここからは、あなたご自身の普段の行動、性格や考え方についてお尋ねします。】

Q 5 まず、あなたご自身の性格や考え方についてお尋ねします。次の(1)から(10)までの言葉は、あなたご自身にどのくらい当てはまりますか。文章全体を見て、自分にどれだけ当てはまるかを評価してください。「強くそう思う」を「7」、「全く違うと思う」を「1」として、1つ選んでください。

私は自分自身のことを…	強く そう 思う	まあ まあ そう 思う	少し そう 思う	どちら でもない	少し 違う と思う	おお よそ 違う と思う	全く 違う と思う	無回答
(1) 活発で、外交的だと思う	4.7	24.5	20.6	28.5	10.7	5.7	3.8	1.5
(2) 他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う	0.3	0.6	4.9	20.1	12.5	27.4	32.5	1.7
(3) しっかりしていて、自分に厳しいと思う	3.3	13.5	24.7	36.7	12.8	4.8	2.7	1.5
(4) 心配性で、うろたえやすいと思う	3.1	7.7	27.1	26.4	15.0	11.0	8.1	1.7
(5) 新しいことが好きで、変った考えをもつと思う	2.4	8.6	17.2	35.2	16.0	11.7	7.1	1.8
(6) ひかえめで、おとなしいと思う	1.8	10.4	20.3	31.9	19.5	8.9	5.4	1.7
(7) 人に気をつかう、やさしい人間だと思う	7.5	27.3	36.2	21.5	4.6	0.9	0.6	1.4
(8) だらしなく、うっかりしていると思う	0.7	2.9	12.9	25.5	22.1	19.7	14.3	1.9
(9) 冷静で、気分が安定していると思う	3.1	21.9	25.7	32.6	11.1	2.5	1.4	1.6
(10) 発想力に欠けた、平凡な人間だと思う	2.2	11.3	21.7	30.1	20.5	8.3	4.2	1.5

Q 6 あなたの普段の生活についてお尋ねします。あなたは、お出かけになるとき、天気予報の降水確率が何%以上ならば傘を持って出かけますか。

40.1 (%)				
	%以上	いつも傘を持ち歩いている	12.9	無回答 5.3

Q 7 あなたの過去の経験についてお尋ねします。あなたが子どもの時、夏休みや冬休みのような長い休みに出された宿題をいつ頃やるが多かったですか。この中から 1 つだけお答えください。

8.2	休みが始まると最初の頃にやった	
25.2	どちらかというとも最初の頃にやった	
14.0	毎日ほぼ均等にやった	
34.9	どちらかというとも終わりの頃にやった	
13.6	休みの終わりの頃にやった	
0.5	提出期限を過ぎてからやった	
1.0	出された宿題をやらなかった	
1.4	宿題はなかった	無回答 1.2

【ここからは、様々な状況を思い浮かべて、あなたならどうしたいかお考えください。】

Q 8 あなたはお金をもらえることになりました。今すぐお金をもらうなら、1 万円受け取ることができます。1 年待ってお金をもらうなら、1 万円以上のお金を受け取ることができます。それぞれの金額の組合せについてあなたが好む方をお答えください。

(1) 今すぐ、10,000 円受け取るのと、1 年後、10,020 円受け取るのでは、いかがですか。

90.4	今すぐ、10,000 円受け取る	
7.8	1 年後、10,020 円受け取る	無回答 1.8

(2) それでは、今すぐ、10,000 円受け取るのと、1 年後、10,400 円受け取るのでは、いかがですか。

84.3	今すぐ、10,000 円受け取る	
13.4	1 年後、10,400 円受け取る	無回答 2.4

(3) それでは、今すぐ、10,000 円受け取るのと、1 年後、14,000 円受け取るのでは、いかがですか。

30.1	今すぐ、10,000 円受け取る	
67.7	1 年後、14,000 円受け取る	無回答 2.2

(4) それでは、今すぐ、10,000 円受け取るのと、1 年後、18,000 円受け取るのでは、いかがですか。

17.6	今すぐ、10,000 円受け取る	
80.7	1 年後、18,000 円受け取る	無回答 1.7

Q 9 あなたは自由に使える 10 万円のお金を持っています。その 10 万円を使って金融商品に投資すると、2 万円増えて 12 万円になる可能性と 1 万円減って 9 万円になる可能性が半分ずつあります。あなたなら、10 万円を使ってこの金融商品に投資しますか。それとも、投資しないですか。この中から 1 つだけお答えください。

15.4	投資する	
54.9	投資しない	
28.9	どんな金融商品であっても投資しない	無回答 0.8

【ここからは、自動車の運転についてお尋ねします。】

Q10 普段の生活の中で、あなたは自動車を運転しますか。仕事で運転する場合も含みます。

55.2
運転する
↓
(SQ1へ)

44.1
運転しない
↓
(SQ2へ)

無回答
0.7

(SQ1はQ10で「運転する」と答えた方へ)

SQ1 運転する場合、どのくらいの頻度で運転をしますか。

(全体N : 1,150)

- 60.3 ほとんど毎日運転する
- 23.7 週に2、3回は運転する
- 8.6 週に1回くらいは運転する
- 5.3 月に数回しか運転しない
- 2.1 年に数回しか運転しない

無回答
-

(SQ2はQ10で「運転しない」と答えた方へ)

SQ2 運転しない場合は、その理由をお答えください。

(全体N : 919)

- 11.4 運転免許証を持っているが、運転する習慣がないから
- 53.9 もともと運転免許証を持っていないから
- 6.3 運転免許証を持っていたが、更新せず失効したから
- 22.0 運転免許証を持っていたが、自主返納したから
- 3.5 その他(具体的に)
- 0.3 わからない

→ (Q11へ)

無回答
2.6

(SQ3はSQ1で(1)～(5)またはSQ2で(1)か(6)と答えた方へ)

SQ3 現在、運転免許証を持っている方にお伺いします。運転免許証の自主返納について、あなたの考え方に最も近いものをこの中から1つだけお答えください。

(全体N : 1,258)

- 1.4 1年以内に、自主返納する心づもりがある
- 3.1 3年以内に、自主返納する心づもりがある
- 41.0 自主返納する心づもりがあるが、返納時期は決めていない
- 2.8 次回の更新時に更新せず、失効させる心づもりがある
- 45.7 特に決めていない
- 0.2 自主返納制度の存在や内容についてよく知らない
- 4.0 その他(具体的に)

無回答
1.8

(全員の方へ)

Q11 あなたは、過去1年間に、次のような詐欺の電話やハガキを受けとったことはありますか。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)

- 4.4 あなたの子や孫を装った人間からの「電話番号が変わった」「鞆をなくした」などの電話
3.6 市役所や税務署などの公的機関を装った人間からの「税金や医療費が還付される」などの電話
2.1 身に覚えのない、未払い代金を要求する電話
6.2 身に覚えのない、未払い代金を要求するハガキ
4.2 その他(具体的に)
77.6 そのような電話やハガキを受けとったことはない

→ (Q12へ)
無回答
3.8

(Q11で(1)～(3)のいずれかを回答した人に)

SQ その電話がかかってきた時、どういう対応をしましたか。この中から**1つ**お答えください。

(全体N : 191)

- 75.9 電話で相手と話している時に詐欺だと気がついた
14.1 電話で相手と話している時は詐欺だと気がつかなかったが、被害には遭わなかった
0.5 詐欺であることを最後まで気がつかずに被害に遭ってしまった
3.7 その他(具体的に)

無回答
5.8

(全員の方へ)

Q12 あなたは現在、振り込め詐欺や還付金等詐欺などの特殊詐欺の被害を防ぐために行っていることはありますか。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)

- 4.9 電話のそばに標語などを置いている
2.7 家族と電話で話す際の合言葉を決めている
14.0 電話帳(ハローページ)から名前を外している
26.4 ナンバーディスプレイを使っている
32.2 家に居る時も留守番機能を使っている
4.9 防犯用電話(自動通話録音機)を使っている
9.7 固定電話を使用しない・固定電話を持っていない
37.2 こちらから名乗らない
28.5 電話を早く切る
10.3 家族に代わる・家族に相談する
4.2 その他(具体的に)
13.7 特に心がけていることはない

無回答
1.1

【ここからは、年金制度についてお伺いします。】

Q13 公的年金制度の特徴は、次のうちどれに近いと思いますか。この中から**すべて**お答えください。
(○はいくつでも)

31.3
貯蓄

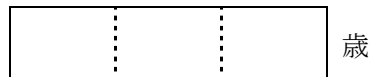
32.8
保険

47.0
政府による公助

無回答
7.0

Q14 あなたは、何歳まで生きると考えて今後の経済的な準備をしていますか。なお、現在の日本人男性の平均寿命は 81.25 歳、日本人女性の平均寿命は 87.32 歳です。

85.8 (歳)



無回答
10.0

Q15 あなたは公的年金の受給開始年齢を自由に選んで良いことを知っていますか。

83.8
知っている

14.1
知らない

無回答
2.2

Q16 あなたは、現在、公的年金を受け取っていますか。

85.7
受け取っている
→ (Q17 へ)

12.6
受け取っていない
↓

無回答
1.6

(Q16 で「受け取っていない」と答えた方へ)

S Q 公的年金の受給開始年齢を遅らせると年金給付額が増額されます。あなたは受給開始年齢を遅らせることを検討する際、何を基準にしますか。(なりそうですか)。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)

(全体 N : 263)

19.4 仕事のやりがい

25.9 給与の水準

52.5 健康状態

20.2 家族の収入

34.6 年金給付額の増額幅

4.9 その他(具体的に

)

無回答
5.7

(全員の方へ)

【ここからは、金融・保険に関する知識についてお伺いします。】

Q17 あなたは、他の人と比べて、金融や保険について詳しいと思いますか。

- 2.5 詳しい
7.6 どちらかといえば詳しい
39.9 平均的
28.0 どちらかといえば詳しくない
20.7 詳しくない

無回答
1.2

Q18 あなたは、100 万円を預貯金口座に預け入れました。金利は、年率2%だとします。また、この口座には誰もこれ以上お金を預け入れないとしてします。1年後、口座の残高はいくらになっていると思いますか。次の中から、最も近いと思う金額をお答えください。

- 6.4 100 万円
69.6 102 万円
0.4 110 万円
4.9 その他（具体的に 万円）
15.9 わからない

→ (Q19 へ)

無回答
2.7

(Q18 で (1) ~ (4) と答えた方へ)

SQ では、5年後には口座の残高はいくらになっていると思いますか。

(全体N : 1,696)

- 43.6 110 万円より多い
23.7 ちょうど 110 万円
20.7 110 万円より少ない
4.1 その他（具体的に 万円）
5.9 わからない

無回答
1.9

(全員の方へ)

Q19 ここにあげられている保険や金融に関する説明は正しいと思いますか。それとも間違っていると思いますか。

	正しいと思う	間違っていると思う	わからない	無回答
(1) 定期保険は満期時に満期保険金を受け取れる	58.0	13.4	24.8	3.7
(2) 一般的に、多くの会社の株式を同時に保有するよりも 1社の株式だけを保有する方が投資収益は安定する	7.3	40.8	48.4	3.5
(3) 収益率が高い金融資産は、安全性が低い傾向にある	48.6	7.5	40.3	3.6
(4) 生命保険の保険料は、同じ年齢で比較すると、男女間で同じである	14.8	56.4	25.6	3.2
(5) お金を預ける場合、金利が下がり続けているときは固定金利の商品が望ましい	54.5	7.9	34.3	3.4
(6) 物価上昇率が高い時期は金利が高くなる	35.4	15.7	45.4	3.5

【ここからは、長寿社会の到来に係る価値観についてお伺いします。】

Q20 人生 100 年時代の到来も間近といわれていますが、あなたは何歳まで生きたいと思いますか。

0.3	69 歳以下	
6.2	70 歳代	
53.9	80 歳代	
30.6	90 歳代	
6.0	100 歳以上	無回答 2.8

Q21 人生 100 年時代の到来に対し、あなたは希望と不安どちらのほうが大きいですか。

3.7	不安より希望が大きい	
7.9	どちらかといえば不安より希望が大きい	
36.1	どちらともいえない	
35.3	どちらかといえば希望より不安が大きい	
15.9	希望より不安が大きい	無回答 1.2

Q22 人生 100 年時代の到来に対し、あなたが最も不安に感じることはなんですか。この中から 1 つだけお答えください。

16.9	経済面（生活資金の不足等）	
46.0	健康面（からだの機能の低下等）	
29.1	健康面（もの忘れや判断能力の低下等）	
2.6	生きがい	
0.8	その他（具体的に	
2.6	不安はない	無回答 1.9

【ここからは、長寿社会における様々な不安に対する準備状況についてお伺いします。】

Q23 あなたは退職後の生活資金に不安がありますか。

16.7	41.8	29.8	8.7	
とても	どちらかといえば	あまり	不安ではない	
不安	不安	不安ではない		無回答 3.0

Q24 あなたは退職後の生活資金形成のための経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（〇はいくつでも）

66.4	預貯金	
51.3	生命保険（個人年金・終身保険）	
10.2	N I S A（小額投資非課税制度）	
2.4	i D e C o（個人型確定拠出年金）	
7.4	N I S A・i D e C o 以外の株式・債券等の有価証券	
7.5	不動産の売却や賃貸	
0.9	その他（具体的に	
17.4	準備していない	無回答 3.5

Q25 あなたはご自身の病気・ケガに経済的な不安がありますか。

16.3	45.6	30.5	6.1	
とても	どちらかといえば	あまり	不安ではない	
不安	不安	不安ではない		無回答
				1.5

Q26 あなたはご自身の病気・ケガに備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中から**すべて**お答えください。（○はいくつでも）

58.7 預貯金	5.1 不動産の売却や賃貸	
64.3 生命保険	0.8 その他（具体的	）
24.1 損害保険	11.5 準備していない	
16.0 共済		無回答
		2.4

Q27 あなたは現在、介護を受けていますか。

5.2	93.8	
介護を受けている	介護を受けていない	
↓	↓	
→ (Q28 へ)		無回答
		1.0

（Q27で「介護を受けていない」と答えた方へ）

S Q あなたはご自身が要介護状態になることに経済的な不安がありますか。

（全体N：1,954）

18.7	48.2	27.0	5.4	
とても	どちらかといえば	あまり	不安ではない	
不安	不安	不安ではない		無回答
				0.7

（全員の方へ）

Q28 あなたはご自身が要介護状態になることに備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中から**すべて**お答えください。（○はいくつでも）

60.3 預貯金	6.7 不動産の売却や賃貸	
50.1 生命保険	1.2 その他（具体的に	）
15.9 損害保険	21.3 準備していない	
10.8 共済		無回答
		2.6

Q29 あなたご自身に介護が必要になった状況を想像して、あなたご自身のお考えをお聞かせください。

	受 け た い	受 け た い ど ち ら か と い う と	ど ち ら と も い え な い	受 け た く な い ど ち ら か と い う と	受 け た く な い	
（1）家族以外の、日本人のスタッフから介護サービスの提供を受けることについてどう思いますか	24.8	28.0	32.7	8.8	4.2	無回答 1.4
（2）外国人のスタッフから介護サービスの提供を受けることについてどう思いますか	8.1	10.3	45.4	17.9	15.9	2.4

【ここからは、あなたのご両親の介護についてお伺いします。】

Q30 あなたのご両親は、現在、介護を受けていますか。

11.2	介護を受けている			
8.5	介護を受けていない			(Q31へ)
78.8	すでに他界した			
				無回答 1.4

(Q30で「介護を受けていない」と答えた方へ)

SQ あなたはあなたのご両親が要介護状態になることに経済的な不安がありますか。

(全体N : 178)	13.5	34.3	37.1	9.6	
	とても不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	不安ではない	
					無回答 5.6

(全員の方へ)

Q31 あなたはあなたのご両親が要介護状態になることに備えて、経済的な準備をしていますか(してきましたか)。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

30.8	預貯金	3.5	不動産の売却や賃貸	
10.8	生命保険	0.6	その他(具体的に)	
2.8	損害保険	57.6	準備していない(していなかった)	
3.1	共済			無回答 7.7

Q32 あなたはご自身の万一の際の、残されたご家族の生活に経済的な不安がありますか。

10.7	31.2	37.3	19.2	
とても不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	不安ではない	
				無回答 1.6

Q33 あなたはご自身の万一の際の、残されたご家族の生活に備えて、経済的な準備をしていますか(してきましたか)。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

57.1	預貯金	11.7	不動産の売却や賃貸	
51.0	生命保険	1.2	その他(具体的に)	
12.1	損害保険	24.1	準備していない	
9.4	共済			無回答 2.8

Q34 あなたは、今振り返って、経済的な準備を(もっと)しておけばよかったと思うものはありますか。この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

27.4	あなたの退職後の生活資金に関する準備			
25.8	あなたの病気・ケガに関する準備			
27.9	あなたご自身の介護に関する準備			
4.1	あなたのご両親の介護に関する準備			
20.7	あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備			
0.4	その他(具体的に)			
39.8	特になし			無回答 3.3

Q35 あなたはご自身に万一があった場合のための相続準備をしていますか。この中から**すべて**お答えください。（○はいくつでも）

- | | | |
|------|-----------|------------|
| 7.2 | 遺言の作成 | |
| 8.2 | 生前贈与 | |
| 28.6 | 生命保険加入 | |
| 1.1 | その他（具体的に | ） |
| 61.1 | 特に何もしていない | 無回答
1.8 |
-

Q36 将来、判断能力が不十分になったときに備えてどのような準備をしていますか。この中から**すべて**お答えください。（○はいくつでも）

- | | | |
|------|----------------|------------|
| 10.4 | ノート等での意思表示 | |
| 0.5 | 信託制度 | |
| 1.7 | 任意後見制度 | |
| 30.0 | 家族に自分の希望を伝えている | |
| 2.4 | 認知症保険への加入 | |
| 62.0 | 特に準備はしていない | 無回答
1.2 |
-

Q37 将来、判断能力が不十分になったときにどのような相談相手がいますか。この中から**すべて**お答えください。（○はいくつでも）

- | | | | | |
|------|---------|-----|------------|------------|
| 59.2 | 配偶者 | 7.1 | 地域包括支援センター | |
| 82.2 | 子ども | 0.4 | NPO法人 | |
| 21.1 | その他親族 | 1.6 | 弁護士 | |
| 2.6 | 近隣住民 | 1.7 | 司法書士 | |
| 0.9 | 町内会 | 1.0 | 社会福祉士 | |
| 11.8 | 友人 | 0.5 | その他（具体的に | ） |
| 3.6 | 社会福祉協議会 | | | 無回答
1.7 |
-

Q38 将来、判断能力が不十分になったときに株や証券などの金融資産を家族や成年後見人にどのように扱って欲しいですか。（○は**1つだけ**）

- | | | |
|------|-------------|------------|
| 8.5 | そのまま保持する | |
| 19.8 | 適切に運用する | |
| 12.0 | 売却して現金資産にする | |
| 43.3 | 保持していない | |
| 10.5 | 回答したくない | |
| 1.5 | その他（具体的に | ） |
| | | 無回答
4.5 |

最後に、あなたやご家族のことについて、もう少しお尋ねいたします。

F 1 あなたの性別をお知らせください。

46.3 男

53.7 女

F 2 あなたの生年月日はいつですか。

大正 72.9 (歳)
昭和 年 月

F 3 あなたのご職業は何ですか。(何でしたか。)この中から1つだけお答えください。
なお、既にご退職された方は、最も長く従事したご職業をお答えください。

2.7 農・林・漁業の自営者・家族従事者	31.7 民間企業(正社員)
3.7 商工・サービス業の自営者(法人組織の経営者)	2.7 派遣社員・契約社員
6.0 商工・サービス業の自営者(個人事業の経営者)	13.4 パート・アルバイト
2.6 商工・サービス業の家族従事者	20.4 無職(専業主婦・主夫を含む)
4.1 自由業	2.1 その他(具体的に)
6.4 公務員	無回答 4.2

(F 3で「無職(専業主婦・主夫を含む)」と答えた方へ)

S Q あなたができる仕事があれば働きたいと思いますか。

(全体N : 424)

17.9

は い

80.0

いいえ

無回答
2.1

(全員の方へ)

F 4 あなたご自身の昨年1年間の収入は、税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょう。

14.0 収入はない	6.5 500万円以上1,000万円未満
20.9 100万円未満	1.2 1,000万円以上2,000万円未満
51.5 100万円以上500万円未満	0.6 2,000万円以上
	無回答 5.3

F 5 あなたの退職・引退(予定)年齢は何歳ですか。定年後の再就職なども含め、収入を伴う仕事から完全に退職・引退した(する予定の)年齢をお答えください。

歳で 55.3 退職・引退済 (平均) 59.7 (歳)
30.2 退職・引退予定 (平均) 72.6 (歳)

無回答
14.5

F 6 あなたご自身が今後受け取る予定の退職金の見込み額は税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。

2.4 100万円未満	0.6 2,000万円以上
2.8 100万円以上1,000万円未満	82.3 今後受け取る退職金はない
1.3 1,000万円以上2,000万円未満	(既に受け取り済も含む)

無回答
10.5

F 7 あなたは結婚していらっしゃいますか。この中からお答えください。

4.2	未婚			
70.6	既婚（配偶者あり）	→ (14 ページ F 13 へ)		
24.3	既婚（離別・死別）			

無回答 0.9

(F 8～F 12 は F 7 で「既婚（配偶者あり）」と答えた方へ)

F 8 あなたの配偶者の生年月日はいつですか。

(全体 N : 1,471)

大正	71.2 (歳)				
昭和		年		月	
平成					

無回答 3.5

F 9 あなたの配偶者のご職業は何ですか（何でしたか）。この中から 1 つだけお答えください。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 2.5 農・林・漁業の自営者・家族従事者 | 27.0 民間企業（正社員） |
| 3.1 商工・サービス業の自営者（法人組織の経営者） | 2.9 派遣社員・契約社員 |
| 5.2 商工・サービス業の自営者（個人事業の経営者） | 14.4 パート・アルバイト |
| 2.4 商工・サービス業の家族従事者 | 23.5 無職（専業主婦・主夫を含む） |
| 2.7 自由業 | 1.4 その他（具体的に |
| 7.3 公務員 | |
- 無回答 7.6

F 10 あなたの配偶者の昨年 1 年間の収入は、税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 20.1 収入はない | 5.7 500 万円以上 1,000 万円未満 |
| 23.6 100 万円未満 | 1.0 1,000 万円以上 2,000 万円未満 |
| 40.8 100 万円以上 500 万円未満 | 0.5 2,000 万円以上 |
- 無回答 8.4

F 11 あなたの配偶者の退職・引退（予定）年齢は何歳ですか。定年後の再就職なども含め、収入を伴う仕事から完全に退職・引退した（する予定の）年齢をお答えください。

	歳で	55.1	退職・引退済	（平均）	57.1	（歳）
		29.2	退職・引退予定	（平均）	71.2	（歳）

無回答 15.8

F 12 あなたの配偶者が今後受け取る予定の退職金の見込み額は税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 2.9 100 万円未満 | 1.1 2,000 万円以上 |
| 2.7 100 万円以上 1,000 万円未満 | 81.7 今後受け取る退職金はない |
| 1.0 1,000 万円以上 2,000 万円未満 | （既に受け取り済も含む） |

無回答 10.5

(全員の方へ)

F13 あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。なお、ご回答はあなたからみた続柄^{つづきがら}でお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 66.1 配偶者 | 0.5 あなたもしくは配偶者の祖父母 |
| 26.5 未婚の子ども (<input type="text"/> 名) 平均 1.3 (人) | 2.0 兄弟・姉妹 |
| 14.5 既婚の子ども (<input type="text"/> 名) 平均 1.3 (人) | 2.5 その他 (具体的に <input type="text"/>) |
| 12.9 孫 (<input type="text"/> 名) 平均 1.9 (人) | 16.0 同居している家族はいない |
| 5.8 あなたもしくは配偶者の父母 | |

無回答
1.3

F14 あなたのご家族や付き合いのある親族をこの中からすべてあげてください。ここでは、単身赴任^{つづきがら}や施設などに入居されているご家族や親族も含みます。なお、ご回答はあなたからみた続柄^{つづきがら}でお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 68.1 配偶者 | 1.8 あなたもしくは配偶者の祖父母 |
| 38.5 未婚の子ども (<input type="text"/> 名) 平均 1.4 (人) | 63.9 兄弟・姉妹 |
| 67.2 既婚の子ども (<input type="text"/> 名) 平均 1.8 (人) | 8.9 その他 (具体的に <input type="text"/>) |
| 58.9 孫 (<input type="text"/> 名) 平均 3.1 (人) | 1.5 家族や付き合いのある親族はいない |
| 20.5 あなたもしくは配偶者の父母 | |

無回答
1.8

F15 あなたと配偶者の夫婦2人(配偶者がいらっしゃらない場合はあなた)の昨年1年間の収入額(税込み)の内訳はどのようになりますか。(1) 公的年金と(2) 働いて得る収入、(3) その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですのでお答えください。なお、収入がない場合は、0円とお答えください。

- | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|----------------------|----------------------|---|---|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------|
| (1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金)・年間約 | <table border="1"><tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>一</td></tr><tr><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td></tr></table> 万円 | 千 | 百 | 十 | 一 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 無回答
25.4 |
| 千 | 百 | 十 | 一 | | | | | | | |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | | | | | | | |
| 202.7 (万円) | | | | | | | | | | |
| (2) 働いて得る収入年間約 | <table border="1"><tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>一</td></tr><tr><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td></tr></table> 万円 | 千 | 百 | 十 | 一 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 無回答
40.2 |
| 千 | 百 | 十 | 一 | | | | | | | |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | | | | | | | |
| 216.7 (万円) | | | | | | | | | | |
| (3) その他の収入年間約 | <table border="1"><tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>一</td></tr><tr><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td></tr></table> 万円 | 千 | 百 | 十 | 一 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 無回答
49.3 |
| 千 | 百 | 十 | 一 | | | | | | | |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | | | | | | | |
| 55.5 (万円) | | | | | | | | | | |

F16 あなたと配偶者の夫婦2人(配偶者がいらっしゃらない場合はあなた)の生活費についてお伺いします。(1) 月々の生活費(注)と(2) 医療・介護費用として窓口で支払っている月々の金額のそれぞれについて、おおよそで結構ですのでお答えください。なお、費用の支出がない場合は、0円とお答えください。

(注) 含めるもの：衣食住関連費や光熱費、交通費、通信費などの他、医療・介護費や教養・娯楽費、子供や孫・親等への仕送り、教育費、税・社会保険料
除くもの：住宅ローンなどのローン返済額や貯蓄や保険料の支払い

- | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|----------------------|----------------------|---|---|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------|
| (1) 月々の生活費月額約 | <table border="1"><tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>一</td></tr><tr><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td></tr></table> 万円 | 千 | 百 | 十 | 一 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 無回答
20.7 |
| 千 | 百 | 十 | 一 | | | | | | | |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | | | | | | | |
| 21.1 (万円) | | | | | | | | | | |
| (2) 医療・介護費用月額約 | <table border="1"><tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>一</td></tr><tr><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td></tr></table> 万 <input type="text"/> 千円 | 千 | 百 | 十 | 一 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 無回答
21.5 |
| 千 | 百 | 十 | 一 | | | | | | | |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | | | | | | | |
| 2.33 (万円) | | | | | | | | | | |

F 17 あなたと家計を同一とする世帯の保有資産（預貯金、株式・公社債、保険等の金融資産）の金額合計はこの中のどれになりますか。わかる範囲で結構です。

（注 1）保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込保険料の総額としてください。
（注 2）株式は時価、公社債は額面金額としてください。
（注 3）不動産や負債（住宅ローン等）の額は除いてください。

14.5 100 万円未満

25.3 100 万円以上 1,000 万円未満

13.1 1,000 万円以上 2,000 万円未満

14.5 2,000 万円以上 5,000 万円未満

5.7 5,000 万円以上 1 億円未満

1.1 1 億円以上

無回答
25.7

F 18 あなたと家計を同一とする世帯の保有資産のうち、保険の金額合計はこの中のどれになりますか。わかる範囲で結構です。

（注 1）保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込保険料の総額としてください。

25.7 100 万円未満

24.6 100 万円以上 500 万円未満

14.6 500 万円以上 1,000 万円未満

8.2 1,000 万円以上

無回答
26.8

F 19 あなたの現在のお住まいについて、この中から 1 つだけお答えください。

11.1 一戸建て（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払い中）

61.8 一戸建て（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払いなし）

7.1 一戸建て（ご両親など、配偶者を除く家族の名義）

1.0 マンション（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払い中）

4.3 マンション（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払いなし）

0.4 マンション（ご両親など、配偶者を除く家族の名義）

11.6 賃貸住宅（借家など）

0.3 社宅・独身寮など

0.9 その他（具体的に)

無回答
1.6

たいへん長い間ありがとうございました。

質問票および単純集計結果（中年層調査）

◎ 生活についてのアンケート ◎

単純集計結果は、全体（ゴシック体）のみを掲載している。

〔単位：％（平均値を除く）〕

2020 年 10 月

（全体 N：1,000）

Q 1 あなたの今日の健康状態はいかがですか。この中から 1 つだけお答えください。

19.7	31.4	35.5	10.7	2.7
よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない

Q 2 ここにあげられている日常生活にさしつかえがないか、1 つ 1 つについて「はい」か「いいえ」でお答えください。

	はい	いいえ
(1) バスや電車を使って一人で外出できますか	97.9	2.1
(2) 日用品の買い物ができますか	99.5	0.5
(3) お湯をわかせますか	99.6	0.4
(4) 請求書の支払いができますか	99.1	0.9
(5) 銀行預金・郵便貯金の出し入れができますか	99.3	0.7
(6) 年金などの書類が書けますか	95.4	4.6
(7) 新聞を読んでいますか	62.8	37.2
(8) 本や雑誌を読んでいますか	78.9	21.1
(9) 健康についての記事や番組に興味がありますか	81.1	18.9
(10) 友達の家を訪ねることがありますか	54.5	45.5
(11) 家族や友達の相談にのることがありますか	82.2	17.8
(12) 病人を見舞うことができますか	92.5	7.5
(13) 若い人に自分から話しかけることがありますか	74.6	25.4
(14) 一人で電話をかけられますか	99.4	0.6
(15) 一人で薬を服用できますか	99.5	0.5

Q 3 あなたは普段の生活の中で 1 日に何分くらい歩いていますか。散歩だけでなく、買い物や通勤・外出など移動時の歩行時間を含めてお答えください。また、杖・歩行器・車椅子などを使う場合も含めてお答えください。

9.9 ほとんど歩かない	10.8 60 分から 90 分未満
31.1 30 分未満	17.5 90 分以上
30.2 30 分から 60 分未満	0.5 外出しない・できない

Q 4 あなたは過去1年間にボランティアのような社会貢献活動をしましたか。

12.3
はい
↓
(Q 5へ)

87.7
いいえ
↓
(S Qへ)

(Q 4で「いいえ」と答えた方へ)

S Q できることがあれば今後ボランティアのような社会貢献活動をやりたいと思いますか。

(全体N : 877)

34.7
やってみたいと思う

65.3
やってみたいと思わない

(全員の方へ)

【ここからは、あなたご自身の普段の行動、性格や考え方についてお尋ねします。】

Q 5 まず、あなたご自身の性格や考え方についてお尋ねします。次の(1)から(10)までの言葉は、あなたご自身にどのくらい当てはまりますか。文章全体を見て、自分にどれだけ当てはまるかを評価してください。「強くそう思う」を「7」、「全く違うと思う」を「1」として、1つ選んでください。

私は自分自身のことを…	強く そう 思う	まあ まあ そう 思う	少し そう 思う	どちら でも ない	少し 違う と思う	おお よそ 違う と思う	全く 違う と思う
(1) 活発で、外交的だと思う	2.8	10.0	15.9	19.7	18.2	18.9	14.5
(2) 他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う	1.4	3.5	8.9	23.1	20.1	28.0	15.0
(3) しっかりしていて、自分に厳しいと思う	3.1	10.0	16.7	39.9	16.9	8.1	5.3
(4) 心配性で、うろたえやすいと思う	6.8	12.2	24.1	29.8	13.5	8.4	5.2
(5) 新しいことが好きで、変った考えをもつと思う	3.3	10.2	19.6	36.0	16.2	8.4	6.3
(6) ひかえめで、おとなしいと思う	6.2	10.3	22.0	32.7	16.2	7.9	4.7
(7) 人に気をつかう、やさしい人間だと思う	5.8	14.7	31.2	35.8	7.9	1.9	2.7
(8) だらしなく、うっかりしていると思う	4.5	8.6	21.5	31.7	17.8	9.8	6.1
(9) 冷静で、気分が安定していると思う	2.9	10.9	24.7	38.9	15.3	3.9	3.4
(10) 発想力に欠けた、平凡な人間だと思う	7.7	11.1	19.7	35.8	16.0	5.9	3.8

Q 6 あなたの普段の生活についてお尋ねします。あなたは、お出かけになるとき、天気予報の降水確率が何%以上ならば傘を持って出かけますか。



Q 7 あなたの過去の経験についてお尋ねします。あなたが子どもの時、夏休みや冬休みのような長い休みに出された宿題をいつ頃やるが多かったですか。この中から 1 つだけお答えください。

- 19.1 休みが始まると最初の頃にやった
- 20.7 どちらかというとも最初の頃にやった
- 10.3 毎日ほぼ均等にやった
- 23.1 どちらかというとも終わりの頃にやった
- 21.8 休みの終わりの頃にやった
- 2.8 提出期限を過ぎてからやった
- 1.3 出された宿題をやらなかった
- 0.9 宿題はなかった

【ここからは、様々な状況を思い浮かべて、あなたならどうしたいかお考えください。】

Q 8 あなたはお金をもらえることになりました。今すぐお金をもらうなら、1 万円受け取ることができます。1 年待ってお金をもらうなら、1 万円以上のお金を受け取ることができます。それぞれの金額の組合せについてあなたが好む方をお答えください。

(1) 今すぐ、10,000 円受け取ると、1 年後、10,020 円受け取るのでは、いかがですか。

- 85.7 今すぐ、10,000 円受け取る
- 14.3 1 年後、10,020 円受け取る

(2) それでは、今すぐ、10,000 円受け取ると、1 年後、10,400 円受け取るのでは、いかがですか。

- 72.3 今すぐ、10,000 円受け取る
- 27.7 1 年後、10,400 円受け取る

(3) それでは、今すぐ、10,000 円受け取ると、1 年後、14,000 円受け取るのでは、いかがですか。

- 19.4 今すぐ、10,000 円受け取る
- 80.6 1 年後、14,000 円受け取る

(4) それでは、今すぐ、10,000 円受け取ると、1 年後、18,000 円受け取るのでは、いかがですか。

- 11.3 今すぐ、10,000 円受け取る
- 88.7 1 年後、18,000 円受け取る

Q 9 あなたは自由に使える 10 万円のお金を持っています。その 10 万円を使って金融商品に投資すると、2 万円増えて 12 万円になる可能性と 1 万円減って 9 万円になる可能性が半分ずつあります。あなたなら、10 万円を使ってこの金融商品に投資しますか。それとも、投資しないですか。この中から 1 つだけお答えください。

- 36.0 投資する
- 48.5 投資しない
- 15.5 どんな金融商品であっても投資しない

【ここからは、自動車の運転についてお尋ねします。】

Q10 普段の生活の中で、あなたは自動車を運転しますか。仕事で運転する場合も含みます。



(SQ1はQ10で「運転する」と答えた方へ)

SQ1 運転する場合、どのくらいの頻度で運転をしますか。

(全体N : 639)

- 44.6** ほとんど毎日運転する
- 23.8** 週に2、3回は運転する
- 18.5** 週に1回くらいは運転する
- 9.2** 月に数回しか運転しない
- 3.9** 年に数回しか運転しない

(SQ2はQ10で「運転しない」と答えた方へ)

SQ2 運転しない場合は、その理由をお答えください。

(全体N : 361)

- 64.5** 運転免許証を持っているが、運転する習慣がないから
- 31.0** もともと運転免許証を持っていないから
- 1.9** 運転免許証を持っていたが、更新せず失効したから
- 0.8** 運転免許証を持っていたが、自主返納したから
- 0.8** その他（具体的に)
- 0.8** わからない

(SQ3はSQ1で(1)～(5)またはSQ2で(1)か(6)と答えた方へ)

SQ3 現在、運転免許証を持っている方にお伺いします。運転免許証の自主返納について、あなたの考え方に最も近いものをこの中から1つだけお答えください。

(全体N : 875)

- 0.2** 1年以内に、自主返納する心づもりがある
- 0.1** 3年以内に、自主返納する心づもりがある
- 11.7** 自主返納する心づもりがあるが、返納時期は決めていない
- 0.2** 次回の更新時に更新せず、失効させる心づもりがある
- 3.0** その他（具体的に)
- 2.6** 自主返納制度の存在や内容についてよく知らない
- 82.2** 特に決めていない

(全員の方へ)

Q11 あなたは、過去1年間に、次のような詐欺の電話やハガキを受けとったことはありますか。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)

- 0.6 あなたの子や孫を装った人間からの「電話番号が変わった」「鞆をなくした」などの電話
0.8 市役所や税務署などの公的機関を装った人間からの「税金や医療費が還付される」などの電話
1.3 身に覚えのない、未払い代金を要求する電話
6.6 身に覚えのない、未払い代金を要求するハガキ
1.5 その他(具体的に)
90.8 そのような電話やハガキを受けとったことはない
- (Q12へ)

(Q11で(1)～(3)のいずれかを回答した人に)

SQ その電話がかかってきた時、どういう対応をしましたか。この中から**1つ**お答えください。

(全体N : 24)

- 79.2 電話で相手と話している時に詐欺だと気がついた
16.7 電話で相手と話している時は詐欺だと気がつかなかったが、被害には遭わなかった
4.2 詐欺であることを最後まで気がつかずに被害に遭ってしまった
- その他(具体的に)

(全員の方へ)

Q12 あなたは現在、振り込め詐欺や還付金等詐欺などの特殊詐欺の被害を防ぐために行っていることはありますか。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)

- 0.8 電話のそばに標語などを置いている
2.1 家族と電話で話す際の合言葉を決めている
9.6 電話帳(ハローページ)から名前を外している
17.8 ナンバーディスプレイを使っている
19.5 家に居る時も留守番機能を使っている
1.9 防犯用電話(自動通話録音機)を使っている
12.4 固定電話を使用しない・固定電話を持っていない
28.8 こちらから名乗らない
9.8 電話を早く切る
3.4 家族に代わる・家族に相談する
1.2 その他(具体的に)
41.0 特に心がけていることはない

【ここからは、年金制度についてお伺いします。】

Q13 公的年金制度の特徴は、次のうちどれに近いと思いますか。この中から**すべて**お答えください。
(○はいくつでも)

31.4
貯蓄

33.7
保険

51.0
政府による公助

Q14 あなたは、何歳まで生きると考えて今後の経済的な準備をしていますか。なお、現在の日本人男性の平均寿命は 81.25 歳、日本人女性の平均寿命は 87.32 歳です。

79.4 (歳)



Q15 あなたは公的年金の受給開始年齢を自由に選んで良いことを知っていますか。

74.0
知っている

26.0
知らない

Q16 あなたは、現在、公的年金を受け取っていますか。

1.9
受け取っている
→ (Q17 へ)

98.1
受け取っていない
↓

(Q16 で「受け取っていない」と答えた方へ)

S Q 公的年金の受給開始年齢を遅らせると年金給付額が増額されます。あなたは受給開始年齢を遅らせることを検討する際、何を基準にしますか。(なりそうですか)。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)

(全体 N : 981)

17.9 仕事のやりがい

38.5 給与の水準

65.9 健康状態

38.0 家族の収入

41.8 年金給付額の増額幅

2.2 その他(具体的に)

(全員の方へ)

【ここからは、金融・保険に関する知識についてお伺いします。】

Q17 あなたは、他の人と比べて、金融や保険について詳しいと思いますか。

3.3 詳しい

9.4 どちらかといえば詳しい

34.7 平均的

26.4 どちらかといえば詳しくない

26.2 詳しくない

Q18 あなたは、100 万円を預貯金口座に預け入れました。金利は、年率2%だとします。また、この口座には誰もこれ以上お金を預け入れないとしてします。1年後、口座の残高はいくらになっていると思いますか。次の中から、最も近いと思う金額をお答えください。

4.2 100 万円

84.1 102 万円

1.0 110 万円

1.1 その他（具体的に 万円）

9.6 わからない → (Q19 へ)

(Q18 で (1) ~ (4) と答えた方へ)

SQ では、5年後には口座の残高はいくらになっていると思いますか。

(全体N : 904)

55.4 110 万円より多い

23.1 ちょうど 110 万円

17.0 110 万円より少ない

0.4 その他（具体的に 万円）

4.0 わからない

(全員の方へ)

Q19 ここにあげられている保険や金融に関する説明は正しいと思いますか。それとも間違っていると思いますか。

	正しいと思う	間違っていると思う	わからない
(1) 定期保険は満期時に満期保険金を受け取れる	51.8	19.2	29.0
(2) 一般的に、多くの会社の株式を同時に保有するよりも 1社の株式だけを保有する方が投資収益は安定する	6.7	57.6	35.7
(3) 収益率が高い金融資産は、安全性が低い傾向にある	55.1	16.0	28.9
(4) 生命保険の保険料は、同じ年齢で比較すると、男女間で同じである	8.7	59.9	31.4
(5) お金を預ける場合、金利が下がり続けているときは固定金利の商品が望ましい	41.6	23.5	34.9
(6) 物価上昇率が高い時期は金利が高くなる	40.1	15.1	44.8

【ここからは、長寿社会の到来に係る価値観についてお伺いします。】

Q20 人生 100 年時代の到来も間近といわれていますが、あなたは何歳まで生きたいと思いますか。

- 10.8 69 歳以下
- 27.5 70 歳代
- 43.6 80 歳代
- 10.3 90 歳代
- 7.8 100 歳以上

Q21 人生 100 年時代の到来に対し、あなたは希望と不安どちらのほうが大きいですか。

- 2.8 不安より希望が大きい
- 6.4 どちらかといえば不安より希望が大きい
- 25.5 どちらともいえない
- 28.7 どちらかといえば希望より不安が大きい
- 36.6 希望より不安が大きい

Q22 人生 100 年時代の到来に対し、あなたが最も不安に感じることはなんですか。この中から 1 つだけお答えください。

- 39.9 経済面（生活資金の不足等）
- 28.7 健康面（からだの機能の低下等）
- 23.7 健康面（もの忘れや判断能力の低下等）
- 3.7 生きがい
- 0.8 その他（具体的に ）
- 3.2 不安はない

【ここからは、長寿社会における様々な不安に対する準備状況についてお伺いします。】

Q23 あなたは退職後の生活資金に不安がありますか。

- | | | | |
|------|----------|--------|--------|
| 44.7 | 37.4 | 13.5 | 4.4 |
| とても | どちらかといえば | あまり | 不安ではない |
| 不安 | 不安 | 不安ではない | |

Q24 あなたは退職後の生活資金形成のための経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（○はいくつでも）

- 65.1 預貯金
- 38.5 生命保険（個人年金・終身保険）
- 16.4 N I S A（小額投資非課税制度）
- 11.5 i D e C o（個人型確定拠出年金）
- 12.2 N I S A・i D e C o 以外の株式・債券等の有価証券
- 3.3 不動産の売却や賃貸
- 1.1 その他（具体的に ）
- 25.5 準備していない

Q25 あなたはご自身の病気・ケガに経済的な不安がありますか。

29.3	49.3	17.2	4.2
とても	どちらかといえば	あまり	不安ではない
不安	不安	不安ではない	

Q26 あなたはご自身の病気・ケガに備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中から**すべて**お答えください。（○はいくつでも）

52.0 預貯金	1.7 不動産の売却や賃貸
51.2 生命保険	0.1 その他（具体的
16.9 損害保険	22.9 準備していない
11.0 共済	

Q27 あなたは現在、介護を受けていますか。

0.4	99.6
介護を受けている	介護を受けていない
↓	↓
→ (Q28 へ)	

（Q27で「介護を受けていない」と答えた方へ）

SQ あなたはご自身が要介護状態になることに経済的な不安がありますか。

（全体N：996）

33.7	46.6	14.5	5.2
とても	どちらかといえば	あまり	不安ではない
不安	不安	不安ではない	

（全員の方へ）

Q28 あなたはご自身が要介護状態になることに備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中から**すべて**お答えください。（○はいくつでも）

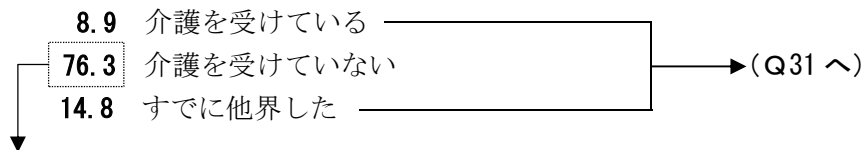
46.1 預貯金	1.5 不動産の売却や賃貸
29.8 生命保険	0.4 その他（具体的に
6.1 損害保険	43.5 準備していない
5.1 共済	

Q29 あなたご自身に介護が必要になった状況を想像して、あなたご自身のお考えをお聞かせください。

	受 け た い	受 け た い ど ち ら か と い う と	ど ち ら と も い え な い	受 け た く な い ど ち ら か と い う と	受 け た く な い
（1）家族以外の、日本人のスタッフから介護サービスの提供を受けることについてどう思いますか	18.7	26.9	41.4	6.6	6.4
（2）外国人のスタッフから介護サービスの提供を受けることについてどう思いますか	8.5	15.7	48.1	14.7	13.0

【ここからは、あなたのご両親の介護についてお伺いします。】

Q30 あなたのご両親は、現在、介護を受けていますか。



(Q30で「介護を受けていない」と答えた方へ)

SQ あなたはあなたのご両親が要介護状態になることに経済的な不安がありますか。

(全体N : 763)	32.8	43.8	18.9	4.6
	とても不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	不安ではない

(全員の方へ)

Q31 あなたはあなたのご両親が要介護状態になることに備えて、経済的な準備をしていますか(してきましたか)。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。

(○はいくつでも)

32.5	預貯金	1.3	不動産の売却や賃貸
13.2	生命保険	0.2	その他(具体的に)
3.5	損害保険	63.5	準備していない(していなかった)
3.3	共済		

Q32 あなたはご自身の万一の際の、残されたご家族の生活に経済的な不安がありますか。

24.1	34.2	23.1	18.6
とても不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	不安ではない

Q33 あなたはご自身の万一の際の、残されたご家族の生活に備えて、経済的な準備をしていますか(してきましたか)。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

45.4	預貯金	3.5	不動産の売却や賃貸
36.7	生命保険	0.8	その他(具体的に)
5.7	損害保険	39.9	準備していない
5.4	共済		

Q34 あなたは、今振り返って、経済的な準備を(もっと)しておけばよかったと思うものはありますか。この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

- 32.3 あなたの退職後の生活資金に関する準備
- 23.0 あなたの病気・ケガに関する準備
- 17.5 あなたご自身の介護に関する準備
- 13.9 あなたのご両親の介護に関する準備
- 9.8 あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備
- 0.8 その他(具体的に)
- 45.9 特になし

Q35 あなたはご自身に万一があった場合のための相続準備をしていますか。この中から**すべて**お答えください。（○はいくつでも）

- 4.2 遺言の作成
 - 3.8 生前贈与
 - 21.2 生命保険加入
 - 0.5 その他（具体的に ）
 - 74.2 特に何もしていない
-

Q36 将来、判断能力が不十分になったときに備えてどのような準備をしていますか。この中から**すべて**お答えください。（○はいくつでも）

- 8.1 ノート等での意思表示
 - 1.6 信託制度
 - 1.9 任意後見制度
 - 8.6 家族に自分の希望を伝えている
 - 0.9 認知症保険への加入
 - 83.7 特に準備はしていない
-

Q37 将来、判断能力が不十分になったときにどのような相談相手がいますか。この中から**すべて**お答えください。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------|----------------|
| 55.0 配偶者 | 4.5 地域包括支援センター |
| 40.9 子ども | 1.0 NPO法人 |
| 26.5 その他親族 | 2.8 弁護士 |
| 1.0 近隣住民 | 1.2 司法書士 |
| 1.0 町内会 | 0.7 社会福祉士 |
| 14.5 友人 | 6.3 その他（具体的に ） |
| 3.1 社会福祉協議会 | |
-

Q38 将来、判断能力が不十分になったときに株や証券などの金融資産を家族や成年後見人にどのように扱って欲しいですか。（○は**1つだけ**）

- 9.1 そのまま保持する
- 26.0 適切に運用する
- 20.7 売却して現金資産にする
- 0.9 その他（具体的に ）
- 31.7 保持していない
- 11.6 回答したくない

最後に、あなたやご家族のことについて、もう少しお尋ねいたします。

F 1 あなたの性別をお知らせください。

49.6 男

50.4 女

F 2 あなたの生年月日はいつですか。

大正 48.9 (歳)
昭和 年 月

F 3 あなたのご職業は何ですか。(何でしたか。)この中から1つだけお答えください。

なお、既にご退職された方は、最も長く従事したご職業をお答えください。

0.6 農・林・漁業の自営者・家族従事者

43.1 民間企業(正社員)

1.6 商工・サービス業の自営者(法人組織の経営者)

7.3 派遣社員・契約社員

3.4 商工・サービス業の自営者(個人事業の経営者)

16.9 パート・アルバイト

1.2 商工・サービス業の家族従事者

15.2 無職(専業主婦・主夫を含む)

4.4 自由業

1.6 その他(具体的に)

4.7 公務員

(F 3で「無職(専業主婦・主夫を含む)」と答えた方へ)

S Q あなたができる仕事があれば働きたいと思いますか。

(全体N : 152)

68.4

31.6

は い

いいえ

(全員の方へ)

F 4 あなたご自身の昨年1年間の収入は、税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょう。

10.1 収入はない

27.1 500万円以上1,000万円未満

15.4 100万円未満

4.8 1,000万円以上2,000万円未満

42.3 100万円以上500万円未満

0.3 2,000万円以上

F 5 あなたの退職・引退(予定)年齢は何歳ですか。定年後の再就職なども含め、収入を伴う仕事から完全に退職・引退した(する予定の)年齢をお答えください。

歳で 5.4 退職・引退済 平均 42.0 (歳)
94.6 退職・引退予定 平均 64.8 (歳)

F 6 あなたご自身が今後受け取る予定の退職金の見込み額は税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。

8.5 100万円未満

8.0 2,000万円以上

19.8 100万円以上1,000万円未満

52.9 今後受け取る退職金はない

10.8 1,000万円以上2,000万円未満

(既に受け取り済も含む)

F 7 あなたは結婚していらっしゃいますか。この中からお答えください。

29.8 未婚

61.7 既婚（配偶者あり）

8.5 既婚（離別・死別）

→（14 ページ F 13 へ）

（F 8～F 12 は F 7 で「既婚（配偶者あり）」と答えた方へ）

F 8 あなたの配偶者の生年月日はいつですか。

（全体 N : 617）

大正

49.8（歳）

昭和

年

月

平成

F 9 あなたの配偶者のご職業は何ですか（何でしたか）。この中から **1 つだけ** お答えください。

0.2 農・林・漁業の自営者・家族従事者

50.1 民間企業（正社員）

0.5 商工・サービス業の自営者（法人組織の経営者）

4.4 派遣社員・契約社員

3.9 商工・サービス業の自営者（個人事業の経営者）

18.0 パート・アルバイト

0.6 商工・サービス業の家族従事者

13.6 無職（専業主婦・主夫を含む）

1.9 自由業

1.9 その他（具体的に）

4.9 公務員

F 10 あなたの配偶者の昨年 1 年間の収入は、税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。

12.0 収入はない

30.6 500 万円以上 1,000 万円未満

14.6 100 万円未満

6.0 1,000 万円以上 2,000 万円未満

36.8 100 万円以上 500 万円未満

－ 2,000 万円以上

F 11 あなたの配偶者の退職・引退（予定）年齢は何歳ですか。定年後の再就職なども含め、収入を伴う仕事から完全に退職・引退した（する予定の）年齢をお答えください。

歳で

6.2 退職・引退済

平均 45.7（歳）

93.8 退職・引退予定

平均 63.8（歳）

F 12 あなたの配偶者が今後受け取る予定の退職金の見込み額は税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。

13.9 100 万円未満

5.5 2,000 万円以上

24.3 100 万円以上 1,000 万円未満

44.4 今後受け取る退職金はない

11.8 1,000 万円以上 2,000 万円未満

（既に受け取り済も含む）

(全員の方へ)

F 13 あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。なお、ご回答はあなたからみた続柄^{つづきがら}でお答えください。(〇はいくつでも)

59.5 配偶者

43.1 未婚の子ども (名)

0.5 既婚の子ども (名)

0.3 孫 (名)

20.3 あなたもしくは配偶者の父母

0.6 あなたもしくは配偶者の祖父母

4.3 兄弟・姉妹

1.2 その他 (具体的に)

19.1 同居している家族はいない

F 14 あなたのご家族や付き合いのある親族をこの中からすべてあげてください。ここでは、単身赴任^{つづきながら}や施設などに入居されているご家族や親族も含みます。なお、ご回答はあなたからみた続柄^{つづきがら}でお答えください。(〇はいくつでも)

48.7 配偶者

36.8 未婚の子ども (名)

3.7 既婚の子ども (名)

1.5 孫 (名)

64.0 あなたもしくは配偶者の父母

14.2 あなたもしくは配偶者の祖父母

58.4 兄弟・姉妹

4.0 その他 (具体的に)

14.2 家族や付き合いのある親族はいない

F 15 あなたと配偶者の夫婦 2 人 (配偶者がいらっしゃらない場合はあなた) の昨年 1 年間の収入額 (税込み) の内訳はどのようになりますか。(1) 公的年金と (2) 働いて得る収入、(3) その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですのでお答えください。なお、収入がない場合は、0 円とお答えください。

(1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金)・年間約
17.6 (万円)

千	百	十	一

 万円

(2) 働いて得る収入年間約
575.5 (万円)

千	百	十	一

 万円

(3) その他の収入年間約
19.0 (万円)

千	百	十	一

 万円

F 16 あなたと配偶者の夫婦 2 人 (配偶者がいらっしゃらない場合はあなた) の生活費についてお伺いします。(1) 月々の生活費 (注) と (2) 医療・介護費用として窓口で支払っている月々の金額のそれぞれについて、おおよそで結構ですのでお答えください。なお、費用の支出がない場合は、0 円とお答えください。

(注) 含めるもの：衣食住関連費や光熱費、交通費、通信費などの他、医療・介護費や教養・娯楽費、子供や孫・親等への仕送り、教育費、税・社会保険料
除くもの：住宅ローンなどのローン返済額や貯蓄や保険料の支払い

(1) 月々の生活費月額約
20.3 (万円)

千	百	十	一

 万円

(2) 医療・介護費用月額約
1.20 (万円)

千	百	十	一

 万 千円

F 17 あなたと家計を同一とする世帯の保有資産（預貯金、株式・公社債、保険等の金融資産）の金額合計はこの中のどれになりますか。わかる範囲で結構です。

（注 1）保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込保険料の総額としてください。
（注 2）株式は時価、公社債は額面金額としてください。
（注 3）不動産や負債（住宅ローン等）の額は除いてください。

- 28.7 100 万円未満
- 35.2 100 万円以上 1,000 万円未満
- 15.1 1,000 万円以上 2,000 万円未満
- 13.3 2,000 万円以上 5,000 万円未満
- 6.4 5,000 万円以上 1 億円未満
- 1.3 1 億円以上

F 18 あなたと家計を同一とする世帯の保有資産のうち、保険の金額合計はこの中のどれになりますか。わかる範囲で結構です。

（注 1）保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込保険料の総額としてください。

- 53.8 100 万円未満
- 32.6 100 万円以上 500 万円未満
- 6.6 500 万円以上 1,000 万円未満
- 7.0 1,000 万円以上

F 19 あなたの現在のお住まいについて、この中から **1 つだけ**お答えください。

- 20.0 一戸建て（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払い中）
- 15.3 一戸建て（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払いなし）
- 10.3 一戸建て（ご両親など、配偶者を除く家族の名義）
- 12.5 マンション（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払い中）
- 7.8 マンション（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払いなし）
- 2.6 マンション（ご両親など、配偶者を除く家族の名義）
- 29.8 賃貸住宅（借家など）
- 1.5 社宅・独身寮など
- 0.2 その他（具体的に

たいへん長い間ありがとうございました。

掲載データ・本文のご利用（転載）について

調査データ・図表の転載に関しては申請が不要となりましたが、下記の点に留意して転載を行ってください。

- ① 調査データ・図表の転載にあたっては、著作権法およびその他の法律を遵守してください。利用者が著作権者の権利を侵害した場合には、著作権法により罰せられますのでご注意ください。
- ② 調査データ・図表の転載にあたっては、必ず出典を明記してください。
- ③ 調査データ・図表の選択肢の転載にあたっては、すべて掲載するか、上位5項目などとし、恣意的な選択は禁止します。また、選択肢の統合も禁止します。

※お問い合わせ先：（公財）生命保険文化センター
保険研究室
TEL. 03-5220-8512
FAX. 03-5220-9090

ライフマネジメントに関する 高齢者の意識調査

2021年6月発行

（公財）生命保険文化センター
保険研究室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1
新国際ビル3階

TEL. 03-5220-8512

ホームページアドレス <https://www.jili.or.jp/>